

平成24年度

市政年報

栃木市

# ごあいさつ



平成24年度市政年報を発行するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

平成24年度は、本市にとりまして新市発足から3年目にあたるとともに、旧西方町との合併から2年目にあたる年でありました。新生栃木市のまちづくりの方向性を形作っていくための重要な1年であったのではないかと考えております。

その一端を申し上げます、多くの市民や市議会の方々のご協力の下、住民自治を目指しました本市の自治の最高規範となる「栃木市自治基本条例」を制定するとともに、10年後の目指すべき将来都市像を見据えた本市の最上位計画となる「栃木市総合計画」を策定いたしました。

自治基本条例においては、市政運営の透明化や市民参画の拡充を図るために、外部監査制度の整備並びに審議会等の設置及び運営に関するガイドラインを策定いたしました。今後同条例に基づき、主権者である市民が積極的に市政に参画できるルール作りを進めて参ります。

また、総合計画は平成25年度からの計画であります。市民生活の向上や地域間格差の解消に向けた取り組みと、地域の特性を活かしたまちづくりを市民の皆さまと協働して進めることで、「来て・観て・住んで、あったか“とちぎ”」を感じていただけるように、各分野の事業を進めて参ります。

これらの制定等により、新生「栃木市」の今後の市政発展のための礎はほぼ確立することができたものと考えておりますが、今後はその目標を達成するための具体的な施策の実施が重要になってまいります。また、平成26年4月には岩舟町との合併を控えているなど、今後も本市の将来に大きな影響を与える重要な出来事や事業が続くものと考えております。

以上申し上げますように、この年報は、新生「栃木市」発足後の重要な時期であった平成24年度の市政運営の記録としてまとめたものでありますので、ご活用いただければ幸いと存じます。また、今後の市政運営におきましても、市議会をはじめ関係各位のご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

平成25年8月

栃木市長 鈴木俊美



栃木市・岩舟町合併協定調印式

とちぎ小江戸ブランド



渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録



米国インディアナ州エバンズビル市  
姉妹都市提携の確認



とちぎ秋まつり



高規格救急車更新



なつこい



おおひら黒大豆オーナー制度



市道〇486号線道路改修工事



渡良瀬遊水地ヨシ焼き



栃木市渡良瀬遊水地フェスティバル 2012



第13回よさこい藤岡パレード



花彩祭 2012



大柿コミュニティセンター改修工事



まるまるまるごとつがまつり 2012



ど田舎にしかた祭り



どんど焼き



西方中新校舎完成

# 目 次

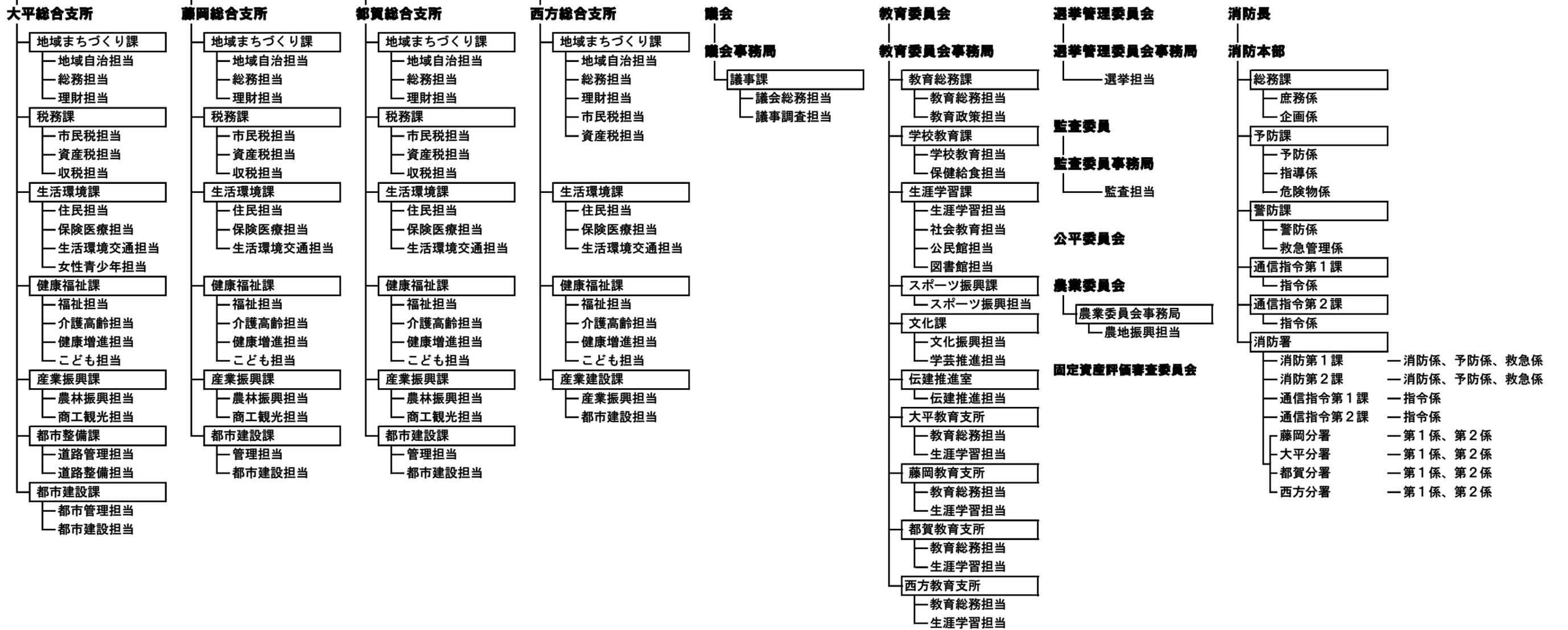
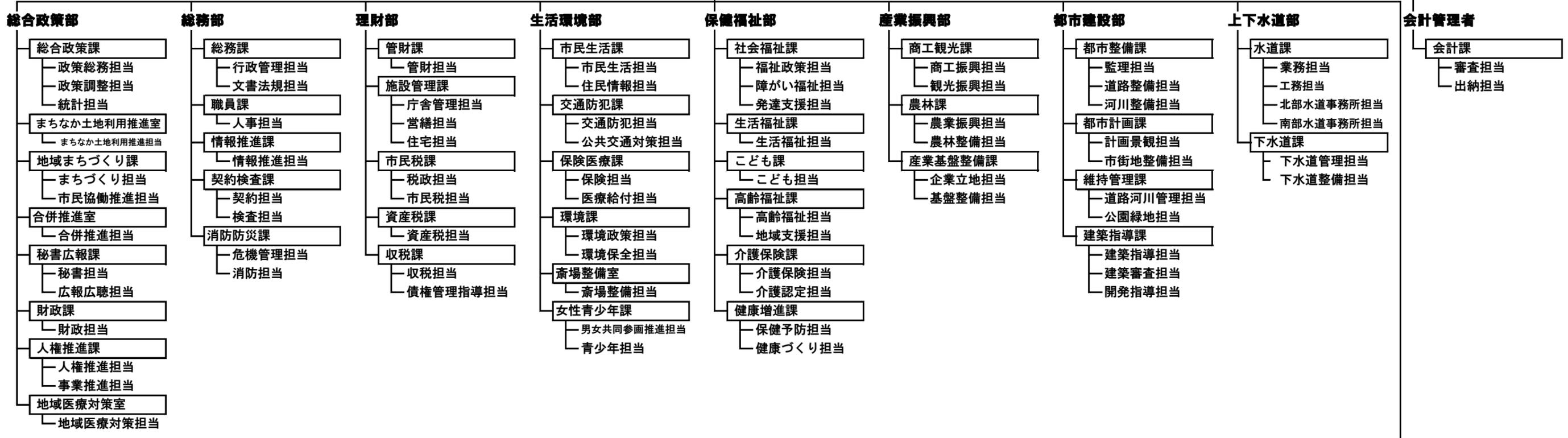
## 組織機構図

第1章 総合政策部	
第1節 総合政策課	1
第2節 まちなか土地利用推進室	14
第3節 地域まちづくり課	17
第4節 合併推進室	29
第5節 秘書広報課	33
第6節 財政課	39
第7節 人権推進課	46
第8節 地域医療対策室	58
第2章 総務部	
第1節 総務課	60
第2節 職員課	78
第3節 情報推進課	87
第4節 契約検査課	90
第5節 消防防災課	95
第3章 理財部	
第1節 管財課	108
第2節 施設管理課	110
第3節 市民税課	117
第4節 資産税課	126
第5節 収税課	129
第4章 生活環境部	
第1節 市民生活課	136
第2節 交通防犯課	152
第3節 保険医療課	161
第4節 環境課	171
第5節 斎場整備室	180
第6節 女性青少年課	182
第5章 保健福祉部	
第1節 社会福祉課	196
第2節 生活福祉課	211
第3節 こども課	215
第4節 高齢福祉課	231
第5節 介護保険課	247
第6節 健康増進課	250
第6章 産業振興部	
第1節 商工観光課	268
第2節 農林課	290
第3節 産業基盤整備課	308
第7章 都市建設部	
第1節 都市整備課	313
第2節 都市計画課	318
第3節 維持管理課	323
第4節 建築指導課	337
第8章 上下水道部	
第1節 水道課（公営企業事務局）	342
第2節 下水道課	352

第9章	大平総合支所	
第1節	地域まちづくり課	368
第2節	税務課	384
第3節	生活環境課	388
第4節	健康福祉課	406
第5節	産業振興課	442
第6節	都市整備課	452
第7節	都市建設課	456
第10章	藤岡総合支所	
第1節	地域まちづくり課	462
第2節	税務課	476
第3節	生活環境課	480
第4節	健康福祉課	494
第5節	産業振興課	522
第6節	都市建設課	532
第11章	都賀総合支所	
第1節	地域まちづくり課	538
第2節	税務課	550
第3節	生活環境課	554
第4節	健康福祉課	566
第5節	産業振興課	592
第6節	都市建設課	602
第12章	西方総合支所	
第1節	地域まちづくり課	606
第2節	生活環境課	622
第3節	健康福祉課	633
第4節	産業建設課	657
第13章	会計課	666
第14章	議会事務局	
第1節	議事課	680
第15章	教育委員会	
第1節	教育総務課	699
第2節	学校教育課	706
第3節	生涯学習課	731
第4節	スポーツ振興課	790
第5節	文化課	805
第6節	伝建推進室	819
第7節	大平教育支所	821
第8節	藤岡教育支所	830
第9節	都賀教育支所	838
第10節	西方教育支所	849
第16章	選挙管理委員会事務局	859
第17章	監査委員事務局	873
第18章	公平委員会	877
第19章	農業委員会事務局	878
第20章	固定資産評価審査委員会	890
第21章	消防本部	
第1節	総務課	891
第2節	予防課	897
第3節	警防課	902
第4節	通信指令課	907
第5節	消防署	910

市長

副市長



# 第 1 章 総合政策部

## 第 1 節 総合政策課

### 〔総括概要〕

総合政策課の主な分掌事務は、市政の総合的企画及び調整関係、広域行政関係、土地利用・水資源及びエネルギー対策等の調整関係、国際国内交流事業関係及び各種の統計関係である。

総合計画については、市民アンケート調査などを行うとともに、各界各層の代表者や公募員などで組織する栃木市総合計画策定懇談会を設置し、総合計画の基本構想の策定を行った。

渡良瀬遊水地については、2012年7月にラムサール条約の登録湿地となったことから、広く市民等にPRするため、パネルディスカッションや講演会を開催するとともに、イベント開催時に渡良瀬遊水地PRブースを開設した。

福田屋百貨店栃木店関係については、閉店に伴い本市に対し建物について無償譲渡の申し入れがあったことから、当該建物の利活用についての検討を行った結果、市庁舎として利活用することとした。

庁議、部長会議、政策会議等については、栃木市の施策の方向性の決定、重要案件の審議、全庁的な意見調整及び協議が必要な事案の審議を行う場として、定例的に会議を開催した。

国際交流事業については、まず、米国エバンズビル市に対しては、新生栃木市として姉妹都市協定の再調印を行うため同市を訪問したほか、南インドアナ日本人補習校の2012年度姉妹都市留学プログラムにより1人が訪米した。次に中国金華市に対しては、同市からの小学生訪問団を受け入れたほか、日中国交正常化40周年を記念した友好都市中学生卓球交歓大会に選手を派遣した。

このほか、市内中学2年生を対象とした中学生海外派遣事業を実施した。

国内交流事業については、北海道滝川市との友好親善都市盟約30周年に当たることから、記念式典を開催し同市からの訪問団を受け入れたほか、東京都中央区との交流を推進した。

統計関係では、就業構造基本調査、工業統計調査、住宅・土地統計単位区設定及び学校基本調査の基幹統計調査のほか、県単統計調査として毎月人口統計調査を実施した。また、平成25年版県民手帳の予約受付及び配付を行った。

### 政策総務担当

#### 1 地下水揚水施設届出

栃木県地下水揚水施設に係る指導等に関する要綱に基づき、各種届出を本市経由で県へ提出した。なお、本業務は平成25年4月1日から環境課所管となる。

- ・受理区分、件数

(単位：件)

区 分	件数
揚水施設設置事前協議書	1
揚水機設置届出書	3
揚水機工事完了届出書・揚水機変更工事完了届出書	3
氏名等変更届出書・揚水施設承継届出書	1
揚水施設廃止届出書	4
地下水採取量報告書	30
計	42

2 栃木県南部水資源開発促進協議会（3市3町：小山市、栃木市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町）

栃木県における水資源の総合的調査検討と思川開発事業促進を図ることを目的として、栃木県南部水資源開発促進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月29日（金）	総会	小山市役所
9月21日（金）	幹事会	小山市役所
10月11日（木）	要望活動	国土交通本省ほか

3 国際交流関係

(1) 友好・姉妹都市との交流

ア 金華市関係

金華市小学生訪問団を2団受け入れた。

(ア) 第1団

- ・実施期間 6月30日（土）～7月5日（木）  
※栃木市受入期間 7月1日（日）～3日（火）
- ・参加者 小学生40人、教員4人、外事弁公室通訳1人
- ・訪日校 金華師範学校附属小学校
- ・交流校 栃木第三小学校

(イ) 第2団

- ・実施期間 7月16日（月）～21日（土）  
※栃木市受入期間 7月16日（月）～17日（火）
- ・参加者 小学生36人、教員5人、外事弁公室通訳1人
- ・訪日校 蘭溪市雲山小学校、蘭溪市聚仁教育集团聚仁学校
- ・交流校 大平西小学校、藤岡小学校

イ エバンズビル市関係

合併後姉妹都市協定再確認調印のため、市長及び議長がエバンズビル市を訪問した。

- ・訪問者 市長、市議会議長、総務部長（前議会事務局長）、秘書広報課長
- ・日程

期 日	内 容
4月30日（月）	栃木市発 アメリカ合衆国 インディアナ州エバンズビル市到着 エバンズビル市内泊
5月1日（火）	エバンズビル市庁舎訪問 姉妹都市協定の再確認 エバンズビル市内泊
5月2日（水）	トヨタインディアナ工場訪問 桜の木記念植樹 南インディアナ大学訪問 本市留学生と面会 エバンズビル市内泊
5月3日（木）	エバンズビル市からワシントン D.C. へ フリーア美術館訪問 ダレス市内泊
5月4日（金）	アメリカ合衆国を出発 機内泊
5月5日（土）	栃木市着

(2) 在住外国人支援事業

栃木市国際交流協会及び市役所において、外国人生活相談を受け付けた。

- ・相談内容内訳

相談内容	件数(件)
福祉・医療費・生活費	150
医療・病院・心理	125
税金・年金・保険	131
学校教育	30
雇用・契約・労災	36
その他	756
合 計	1,228

(3) 日中友好都市中学生卓球交歓大会参加

日中国交正常化40周年記念行事として中国北京市で開催された、日中友好都市中学生卓球交歓大会に参加した。

- ・場 所 中国北京市中国オリンピックセンター体育館
- ・派遣期間 8月16日（木）～21日（火）
- ・参加者 選手（中学3年生）2人、監督・役員等4人、通訳1人
- ・日 程

期 日	内 容
8月16日（木）	栃木市発 中国北京市到着 北京市内泊
8月17日（金）	日中友好都市卓球大会 開会式・公式練習 北京市内泊

8月18日(土)	日中友好都市卓球大会 予選リーグ戦	北京市内泊
8月19日(日)	日中友好都市卓球大会 決勝トーナメント	北京市内泊
8月20日(月)	日中友好都市卓球大会表彰式 日中合同万里の長城見学	北京市内泊
8月21日(火)	北京市を出発 栃木市着	

#### 4 中学生海外派遣事業

本市の次代を担う中学生を海外に派遣することにより、外国の自然、文化及び社会に接し、人々との交流を通して、国際理解及び国際感覚の基礎を培い、コミュニケーション能力を高めるなど中学生の資質向上を図るとともに、本市の国際交流の進展への一助とすることを目的として、中学生海外派遣事業を実施した。

- ・派遣先 オーストラリア ニューサウスウェールズ州 シドニー市
  - ・派遣期間 8月17日(金)～24日(金)
  - ・派遣人数 中学2年生 28人  

{	応募者 50人 1次選考(面接) : 6月23日(土)実施 2次選考(抽選) : 6月30日(土)実施
---	---
- 引率者 2人

##### (1) 事業概要

###### ア 事前研修

実施日	場所	内容	講師等
6月30日(土) 抽選会後	市役所正庁	事前研修日程説明 負担金の納入・旅券申請説明	市職員
7月24日(火)	栃木文化会館 リハーサル室	海外研修日程説明(保険の内容説明)、携行品、心構え、マナー等現地での注意事項、レンタルスーツケースの申し込みについて	旅行会社
		自己紹介、班編成(ホームステイ)について	市職員
8月1日(水)	市役所正庁	英会話研修 ホームステイ及び学校での自己紹介・栃木の紹介ができるようにする。	市職員
8月6日(月)	市役所正庁	英会話研修 ホームステイ及び学校での自己紹介・栃木の紹介ができるようにする。	市職員

8月10日(金)	市役所正庁	壮行会（終了後記念写真撮影） ・出席者 市長、教育長、総合政策部長 教育次長、派遣生徒、保護者 ・内 容 市長等挨拶、代表者挨拶	市職員
		最終確認 出入国手続、服装、持参物、外貨の使い方	旅行会社

イ 海外研修

期 日	内 容
8月17日(金)	栃木市発
8月18日(土)	オーストラリア シドニーへ到着 ブルーマウンテンを見学 ホストファミリーと対面
8月19日(日)	ホストファミリーと1日行動
8月20日(月)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ ウェルカムセレモニー、英語レッスン、文化交流等 授業終了後、ホームステイ先へ
8月21日(火)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ 英語レッスン、文化交流等 授業終了後、ホームステイ先へ
8月22日(水)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ 英語レッスン、文化交流、フェアウェルパーティ等 授業終了後、ホームステイ先へ
8月23日(木)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ シドニー市内見学 ボンダイビーチ、ミセスマッコリー岬、オペラハウス、ロックス地区等 シドニー市内ホテル宿泊
8月24日(金)	オーストラリア シドニーを出発 栃木市着

ウ 事後研修

実施日	場 所	内 容
9月21日(金)	市役所正庁	帰国報告会練習
10月5日(金)	市役所正庁	生徒達による帰国報告会 ・出席者 副市長、総合政策部長、総合政策課長、 教育次長、学校教育課長、派遣生徒、保護者 ・内 容 グループ単位による訪問時の感想等の発表

5 国内交流関係

(1) 北海道滝川市

友好親善都市である北海道滝川市と交流を行った。

ア 友好親善都市盟約30周年記念式典

- ・実施日 11月9日（金）
  - ・会場 栃木グランドホテル
  - ・訪問者 滝川市長、副市長、教育委員会教育長、市職員4人、  
滝川市議会議長、副議長、議員12人、市議会事務局長、  
滝川商工会議所会頭 ほか1人、  
國學院大學北海道短期大学学長 ほか1人、  
たきかわ観光協会会長 ほか1人
- 計30人

イ 第35回栃木市の産業と物産展

- ・実施日 11月10日（土）、11日（日）
- ・会場 蔵の街第一駐車場
- ・訪問者 滝川市職員1人 ほか 参加事業所 1社
- ・内容 物産販売、観光PR

(2) 東京都中央区

本市の山車が名橋日本橋創架400年記念パレードへ参加したことがきっかけとなり、東京都中央区との交流が始まった。

第23回中央区大江戸まつり盆おどり大会

- ・実施日 8月24日（金）、25日（土）
- ・会場 中央区立浜町公園
- ・参加者 ひめ俱樂部、日向野商店、みそ工房蔵、栃木市観光協会  
総合政策部長、商工観光課・農林課より職員延べ16人
- ・内容 物産販売、観光PR

6 両毛線整備促進期成同盟会（9市1町 高崎市、前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、足利市、佐野市、栃木市、小山市、岩舟町）

両毛線整備促進及び列車増発を図るため、両毛線整備促進期成同盟会による活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
4月27日（金）	平成23年度決算監査	栃木市役所
5月29日（火）	幹事会	桐生市役所
7月 2日（月）	総会	桐生市市民文化会館
10月30日（火）	視察研修	思川駅・栃木駅・岩舟駅
11月13日（火）	J R 両毛線整備促進要望活動	J R 東日本高崎支社

7 東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会（3市1町 栃木市、鹿沼市、日光市、岩舟町）

東武日光・鬼怒川線沿線自治体の連携と交流を深め、東武鉄道を利用した沿線自治体の振興を図る東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会の活動に参加した。

(1) 活動内容

実施日	内 容	場 所
5月18日（金）	幹事会	鹿沼市役所
6月25日（月）	総会	鹿沼市役所

(2) 「沿線情報誌」の発行

県事業の「わがまち自慢」推進事業を導入し、「沿線情報誌」を作成後、東武日光線・鬼怒川線・伊勢崎線沿線の各駅や東京スカイツリーで配布した。

8 東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会（8市 結城市、筑西市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、下野市）

小山駅に接続する宇都宮線、両毛線、水戸線沿線地域の発展と地域住民の利便性の向上を図る東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月 8日（金）	幹事会	小山市中央公民館
6月22日（金）	総会（文書総会）	—
8月17日（金）	要望活動	J R 東日本株式会社 本社

9 北関東・新潟地域連携軸推進協議会（15市5町 新潟市、加茂市、長岡市、柏崎市、湯沢町、沼田市、渋川市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、玉村町、みなかみ町、足利市、佐野市、岩舟町、小山市、栃木市、水戸市、茨城町、ひたちなか市）

北関東及び新潟地域との連携を図るため、北関東・新潟地域連携軸推進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
5月25日（金）	総会	高崎市役所
6月29日（金）	栃木県ブロック会議	佐野市役所
7月28日（土）	パンフレット提供	渋川市「物産展」
2月 7日（木）	担当課長会議・視察研修	蔵の街観光館

政策調整担当

1 栃木市総合計画策定

本市の自治の最高規範である「栃木市自治基本条例」の規定により、総合計画を策定し、市の最上位計画として位置付け、総合的な行政運営を行っていくこととした。

計画の策定にあたっては、合併後の新市のまちづくりの基本方針等を明らかにした「新市まちづくり計画」を踏まえ、将来目指すべき都市像を設定し、それに向けて地域の特性を生かしつつ、早期に市民の一体感を醸成するよう努めることとした。

平成24年度においては、昨年度より継続して市民代表による栃木市総合計画策定懇談

会をはじめとする各策定体制により、基本構想・基本計画を決定のうえ、平成24年12月  
栃木市議会定例会による議決を経て、栃木市総合計画を策定した。

(1) 栃木市総合計画策定懇談会

- ・開催日 7月13日（金）、10月5日（金）、11月7日（水）
- ・委嘱委員 48人

（関係団体選出32、公募10、学識経験者1、市議会議員選出5）

- ・開催回数 3回

(2) 地域協議会への意見聴取

- ・実施期間 6月19日（火）～29日（金）  
9月21日（金）～27日（木）

(3) パブリックコメントの実施

- ・実施期間 8月31日（金）～9月28日（金）
- ・意見件数 14件

2 広域行政事務組合（1市1町 栃木市、岩舟町）

栃木地区広域行政事務事業推進のため、各種会議等に参加した。

(1) 各種会議

会 議	回数（回）
正副管理者会議	4
企画・財政・衛生担当部課長合同会議	2
企画・財政・衛生・担当者合同会議	1

(2) 主な業務及び負担割合

主な業務	本市負担割合（%）
総務 栃木市、岩舟町	87.49
ごみ 栃木市、岩舟町	90.81

3 栃木県南部地方拠点都市地域整備推進協議会（5市2町 足利市、栃木市、佐野市、小山市、下野市、野木町、岩舟町）

地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律に基づく地域整備のための基本計画及び整備事業の推進に資することを目的として、次の事業を実施した。

開催日	内 容	場 所
7月18日（水）	幹事会	小山市役所
8月 8日（水）	総 会（文書総会）	—

4 庁議

市長が主宰し、市政の基本方針等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 20回（うち、臨時庁議7回、定例庁議13回）
- ・内 容 審議事項 90件

報告事項 27件  
 連絡事項 5件

5 部長会議

副市長が主宰し、重要な事業等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 12回
- ・内 容 審議事項 72件  
           報告事項 9件  
           連絡事項 3件

6 幹事課長会議

総合政策部長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

- ・開催回数 12回
- ・内 容 審議事項 57件  
           報告事項 9件  
           連絡事項 1件

7 政策会議

市長が主宰し、総合計画、施策評価、予算編成方針等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 12回（うち、臨時政策会議1回、定例政策会議11回）
- ・内 容 審議事項 28件  
           報告事項 10件

8 政策調整会議

総合政策部長が主宰し、政策会議附議事項のうち調整を必要とする事項等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 9回
- ・内 容 審議事項 17件  
           報告事項 2件

9 土地利用対策

本市の総合的かつ計画的な土地利用を図るため、次の事務処理を行った。なお、平成24年度は、栃木市土地利用対策委員会の開催はなし。

- ・意見照会 (単位：件)

採取計画認可申請に係る意見	12
廃棄物処理施設設置等事前協議書に係る意見	6
公有地の拡大の推進に関する法律第4条第1項の規定に基づく土地有償譲渡の届出書に係る意見	7
鉱業法第24条による協議に係る意見	1

国土利用計画法第23条第1項の規定に基づく届出書に係る意見	1
太陽光発電設置に係る意見	1
計	28

#### 10 行政評価

政策評価、施策評価を含めた行政評価については、総合計画を踏まえて検討を行っている。平成24年度においては、従来の事務事業評価のうち、事務事業事前評価を実施計画と改め、その一部を予算編成に先行する形で作成した。

実施日	内 容
7月 4日（水）～ 6日（金）	事務事業評価等説明会
7月31日（火）～ 8月 2日（木）	実施計画二役協議
9月24日（月）	平成25年度実施計画 評価・検討部会
10月 1日（月）	平成25年度実施計画に係る政策的事業等の内示
10月 3日（水）～ 5日（金）	事務事業評価及び実施計画の作成に係る説明会
11月12日（月）～ 15日（木）	事務事業評価・予算編成作業部会ヒアリング
11月 6日（火）～ 11日（火）	評価作業
12月12日（水）～ 21日（金）	二役・評価部会合同会議
12月27日（木）	政策会議付議（平成25年度当初予算査定状況について）
	経常・義務的的事业内示
1月10日（木）	政策会議付議（平成25年度当初予算査定状況について）
	政策的事业一次内示、経常・義務的的事业最終内示
1月24日（木）	政策会議付議（平成25年度当初予算最終内示について）
	政策的事业最終内示
2月28日（木）	政策会議（平成24年度事務事業評価（平成25・26年度実施計画）の内示について）
	平成25部分事務事業評価内示

#### 11 土地開発基金に関すること

##### (1) 基金の額 (単位：円)

平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
60,101,605	11,983	60,113,588

##### (2) 運用の状況 (単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
貸付金	—	—	—
現金	60,101,605	11,983	60,113,588
計	60,101,605	11,983	60,113,588

## 12 栃木市土地開発公社に関すること

公有地拡大の推進に関する法律第19条に基づき、オリン晃電社工場跡地購入問題に伴う対応について、元理事長と土地の売主に対し損害賠償請求を行うよう栃木市土地開発公社に業務命令を発した。

これを受け土地開発公社は、両者に損害賠償請求を求めていたが期日までに応じなかったため、平成24年1月31日、宇都宮地方裁判所に両者を提訴した。平成24年度末時点で結審せず。

### ・経過

内 容	回数（回）
口頭弁論	2
準備的口頭弁論	5

## 13 渡良瀬遊水地関係

### (1) ラムサール条約登録記念イベント

渡良瀬遊水地がラムサール条約登録湿地となったことに伴いイベントを開催した。

#### ア 渡良瀬遊水地ラムサール条約登録記念パネルディスカッション

～これからの渡良瀬遊水地に期待すること～

- ・実施日 2月17日（日）
- ・会場 藤岡遊水池会館 大会議室
- ・コーディネーター  
鈴木俊美 栃木市長
- ・パネリスト  
白井勝二氏 （財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 専務理事  
島田稔氏 渡良瀬遊水地利用組合連合会 会長  
水上麗子氏 日本気球連盟 理事  
町田佳子氏 NPO法人渡良瀬エコビレッジ  
重原龍汰郎氏 東洋大学 学生ボランティアセンター板倉 元副代表  
大下翔平氏 栃木県立栃木農業高校 環境科学部
- ・参加者数 80人

#### イ 渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録記念講演会

（栃木県、小山市、野木町と共催）

- ・実施日 9月29日（土）
- ・会場 第1部 藤岡文化会館  
第2部 渡良瀬遊水地環境学習フィールド
- ・内 容  
第1部 記念講演会  
講演1 渡良瀬遊水地の生物多様性について（青木章彦氏 作新学院大学短期大学部教授）  
講演2 渡良瀬遊水地の治水について（須見徹太郎氏 国土交通省関東地方

整備局利根川上流河川事務所長)

報 告 認定証授与式に出席して(浅野正富氏 渡良瀬遊水地をラムサール条約登録地にする会事務局長)

研究発表 渡良瀬遊水地のヨシの恵みで環境保全活動(栃木農業高校環境科学部地域おこしプロジェクト班)

## 第2部 自然観察会

・参加者数 第1部 約300人、第2部 約70人

### (2) 渡良瀬遊水地PR活動

ラムサール条約登録湿地となった渡良瀬遊水地の周知を図るため、各イベントでブースを設置してPR活動を行った。

#### ア 渡良瀬遊水地フェスティバル2012

・実施日 9月2日(日)  
・会場 渡良瀬遊水地子供広場ゾーン

#### イ 第9回とちぎ協働まつり2012

・実施日 10月28日(日)  
・会場 総合運動公園

#### ウ とちぎ秋まつり

・実施日 11月9日(金)～11日(日)  
・会場 とちぎ蔵の街大通り

## 統計担当

### 1 基幹統計調査

#### (1) 学校基本調査(文部科学省)

学校に関する基本的な事項(学校数、学級数、在学者数、教職員数、施設等)について調査を行った。

・調査期日 平成24年5月1日  
・調査校

区 分	対象数
小学校	27校
中学校	14校
幼稚園	16園
専修学校	4校
各種学校	4校

#### (2) 就業構造基本調査

国民の就業・不就業の状態を調査し、就業構造に関する基礎資料を得るために実施した。(総務省)

・調査期日 平成24年10月1日  
・調査対象 総務大臣が指定した調査区に居住する15歳以上の者

- ・調査区数 45調査区
- ・調査員 45人
- ・指導員 5人

(3) 工業統計調査

製造業に属する事業所を対象として、事業所数・従業員数・出荷額等を調査し、工業の実態を明らかにするために実施した。（経済産業省）

- ・調査期日 平成24年12月31日
- ・調査対象 市内の製造業を主とする事業所
- ・調査区数 184調査区
- ・調査員 50人
- ・指導員 2人

(4) 住宅・土地統計単位区設定

平成25年度に実施する住宅・土地統計調査に先立ち、調査区域内の住宅等を把握し、調査区の規模を適正に設定するために実施した。（総務省）

- ・調査期日 平成25年2月1日
- ・調査対象 総務省が指定する調査区内の住宅等
- ・調査区数 174調査区
- ・指導員 16人

2 県単統計調査

栃木県毎月人口調査

県内に常住する人を毎月1日現在で推計するもので（年齢別人口は10月1日現在で推計）、本市における毎月の出生・死亡・転入・転出の状況を市民生活課の資料により作成し、本市における人口・世帯の増減を報告した。

3 その他の事業

(1) 平成25年版県民手帳の予約受付及び配付

県統計協会からの依頼を受け、県民手帳の予約受付をし、希望者に配付した。また、市内コンビニエンスストア（セブンイレブン・ローソン）及び一部書店にて販売される記事を広報とちぎに掲載し、一般の方へ周知した。

- ・大型版 203冊
- ・ポケット版 240冊

(2) 統計調査員確保対策事業

指定統計調査を円滑に行うため、県の指導の下、統計調査協力員を確保し、統計調査協力員の資質向上を図るため統計調査員による研修会への参加及び栃木県統計大会への参加等を行った。

- ・統計調査協力員数 464人

## 第2節 まちなか土地利用推進室

### 〔総括概要〕

まちなか土地利用推進室の主な分掌事務は、新市庁舎の整備及び栃木地域中心市街地における大規模遊休地等の土地利用方針等の検討などである。

新市庁舎の整備については、旧福田屋百貨店栃木店を新市庁舎とするため、土地及び建物を取得し、市庁舎として改修するための設計及び工事発注を行った。

設計にあたっては、市民や各種団体、また議員や職員など多くの意見を反映させるため、庁内検討委員会や市民検討会を設置するとともに、市民の意見を伺うため、パブリックコメントを実施した。

また、新市庁舎の1階には、市民などから要望の声が高い生鮮食料品を主とした商業施設を誘致することとし、公募により商業施設運営事業者の優先交渉権者を決定した。

栃木地域中心市街地の栃木警察署跡地等の大規模遊休地等の検討については、学識経験者や各種団体等の意見を反映させるため、まちなか土地利用検討委員会を設置し、今後の土地利用の方向性等の検討を行った。

### まちなか土地利用推進担当

#### 1 市庁舎整備事業

##### (1) 栃木市役所の位置を定める条例の改正

旧福田屋百貨店栃木店を新市庁舎とすることとしたため、市庁舎の位置を、現在の「栃木市入舟町7番26号」から、「栃木市万町9番25号」に変更する条例の改正を行った。

- ・公布日 平成24年6月29日
- ・施行日 平成26年2月10日

##### (2) 土地建物の取得

旧福田屋百貨店栃木店を新市庁舎とするため、土地及び建物を取得した。

- ・相手方 株式会社 福田屋百貨店

区分	種類	面積等	取得価格(円)
信託受益権	土地	5,621.54㎡	273,550,000
	建物	百貨店(6階建)	無償
		駐車場(7階建)	194,250,000
不動産	土地	3,310.62㎡	169,850,000
	建物	店舗(1階の一部)	7,350,000
合計			645,000,000

(3) 市庁舎整備検討委員会

新市庁舎の整備に関し、庁内での検討及び調整等を行うため、市庁舎整備検討委員会を設置した。また、具体的な検討を行うため、検討部会を設置した。

- ・委員数 19人
- ・委員長 副市長
- ・開催状況 第1回 6月15日(金) 第2回 7月19日(木)  
第3回 8月20日(月) 第4回 9月20日(木)

(4) 市庁舎整備市民検討会

新市庁舎の整備に関し、市民や各種団体等の意見を伺うため、市庁舎整備市民検討会を設置した。

- ・委員数 21人
- ・委員長 総合政策部長
- ・開催状況 第1回 7月25日(水) 第2回 8月8日(水)  
第3回 8月27日(月) 第4回 9月18日(火)

(5) パブリックコメント

新市庁舎の整備に関し、広く市民の意見等を伺うため、パブリックコメントを実施した。

- ・実施期間 8月6日～9月5日
- ・意見数 97件

(6) 新市庁舎1階商業施設運営事業者

ア 優先交渉権者の決定

新市庁舎1階には、市民等から要望の声が高い、生鮮食料品等を中心とした商業施設を誘致することとしており、公募により商業施設運営事業者の優先交渉権者及び次順位交渉権者を決定した。

- ・優先交渉権者 株式会社 東武宇都宮百貨店
- ・次順位交渉権者 株式会社 ヤオハン

イ 市庁舎商業施設選定委員会

優先交渉権者を公平公正に選定するため、市庁舎商業施設選定委員会を設置した。

- ・委員数 6人
- ・委員長 増山正明氏(足利工業大学教授)
- ・開催状況 第1回 1月28日(月) 第2回 3月1日(金)  
第3回 3月12日(火)

ウ 優先交渉権者決定までの流れ

- ・事業者募集期間 2月1日～3月1日
- ・応募事業者数 3事業者
- ・選定委員会の開催 3回
- ・優先交渉権者決定 庁議(3月18日)

(7) 新市庁舎整備に係る設計・工事等

新市庁舎の整備について、次のとおり設計及び工事等を実施した。

工事等名	事業者名	請負金額(円)	備考
市庁舎整備設計 業務委託	(株)荒井設計	72,072,000	
新市庁舎整備工事 (建築工事)	舘野・牧田 特定建設工事共同企業体	850,500,000	H24・H25 継続費
新市庁舎整備工事 (電気設備工事)	幸和・大興 特定建設工事共同企業体	570,150,000	H24・H25 継続費
新市庁舎整備工事 (機械設備工事)	トリタ・日向野 特定建設工事共同企業体	955,500,000	H24・H25 継続費
新市庁舎整備工事 (立体駐車場)	栃木アンカー工業(株)	87,045,000	H24・H25 継続費
市庁舎整備工事 監理業務委託	(株)酒井建築設計事務所	12,474,000	H24・H25 継続費
市庁舎移転統括 監理業務委託	コクヨ北関東販売(株)	2,900,100	H24・H25 継続費

## 2 まちなか土地利用調査

栃木地域の中心市街地における大規模遊休地等について、今後の土地利用方針等の検討を行った。

### (1) 調査対象施設地

施設地名	面積(m <sup>2</sup> )	用途地域
栃木警察署跡地	約 5,333	商業地域
栃木駅前市有地	約 4,322	商業地域
栃木中央小学校跡地	約 14,545	第1種住居専用地域
栃木市役所本庁舎敷地	約 8,000	第1種住居専用地域
市民会館敷地	約 3,803	第1種住居専用地域
下都賀総合病院(民有地)	約 16,382	第1種住居専用地域

### (2) まちなか土地利用検討委員会

学識経験者や関係団体等の意見等を伺うため、まちなか土地利用検討委員会を設置した。

- ・委員数 14人
- ・委員長 永井 護氏 (宇都宮大学名誉教授)
- ・開催状況 第1回 10月23日(火) 第2回 12月3日(月)  
第3回 1月30日(水) 第4回 3月25日(月)

### (3) パブリックコメント

調査対象地の土地利用方針等について、広く市民の意見を伺うため、パブリックコメントを実施した。

- ・実施期間 2月8日～3月8日
- ・意見数 46件

### 第3節 地域まちづくり課

#### 〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域自治の推進、地域自治区の連絡及び調整、自治会との連絡調整、地域のまちづくり、市民活動の推進などである。

地域自治の推進については、現在の地域自治区制度が平成27年3月31日で終了することから、栃木市地域自治制度検討委員会及び同検討部会を設置し、新たな地域自治制度について検討を行った。

地域自治区の連絡及び調整関係については、栃木市地域自治区地域協議会連絡会を設置し、地域協議会の活動等に関する連絡調整等を行った。また、地域協議会委員の任期が平成25年3月31日をもって満了することに伴い、平成25年4月1日から平成27年3月31日までを任期とする地域協議会委員の選任に係る事務を行った。

地域のまちづくり関係については、栃木地域の資源や特性を活かしたまちづくりを推進するため、栃木市栃木地域まちづくり検討委員会を設置した。

自治会については、栃木市自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図るとともに、栃木、大平、藤岡、都賀及び西方地域における自治会連合組織の全市的組織である栃木市自治会連絡協議会の事務局として運営を支援し、自治会組織の強化を図った。

市民活動の推進については、市民活動推進の拠点施設である市民活動推進センター「くらら」において、指定管理者制度により特定非営利活動法人ハイジに業務を委託し、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を行うとともに、庁内における市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置し、研修会等を開催した。

また、市民団体の主体的、公益的な市民活動を支援することを目的に、市民協働まちづくりファンド(基金)を設け、NPO団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、今年度から新たな支援制度として市民活動推進補助金“夢ファーレ”事業を実施した。

さらに、市民自らが毎年テーマを掲げ、企画運営する「とちぎ協働まつり」を、実行委員会との共催により開催した。

また、NPO等、企業及び行政が協働し、地域課題の解決に取り組む地域版プラットフォーム事業として、新市の一体感の醸成事業、市民協働被災者支援事業、災害時市民協働ネットワーク事業の3つを実施した。

## 1 地域自治の推進

### (1) 栃木市地域自治制度検討委員会

現在の地域自治制度が平成 27 年 3 月 31 日をもって終了することから、その後の新たな地域自治制度の構築に関する事項を検討するため、栃木市地域自治制度検討委員会を設置した。

- ・任期 平成 24 年 8 月 7 日から平成 27 年 3 月 31 日まで
- ・委員数 15 人（うち、オブザーバー 1 人）
- ・委員長 児玉博昭（白鷗大学法学部教授）
- ・副委員長 田中久己（藤岡町地域協議会会長）
- ・会議開催状況 第 1 回 8 月 7 日（火）  
第 2 回 10 月 5 日（金）  
第 3 回 12 月 13 日（木）  
第 4 回 2 月 5 日（火）
- ・検討内容 地域自治制度の方向性について  
地域自治組織を置く区域の単位について  
地域自治制度の組織について

### (2) 栃木市地域自治制度検討部会

栃木市地域自治制度検討委員会において新たな地域自治制度の構築に関する事項を検討するに当たり、地域自治制度に関する調査研究及び検討を行うため、栃木市地域自治制度検討部会を設置した。

- ・委員数 19 人（うち、オブザーバー 2 人）
- ・部会長 赤羽根正夫（総合政策部長）
- ・副部会長 和久井弘之（総務部長）
- ・会議開催状況 第 1 回 5 月 18 日（金）  
第 2 回 6 月 19 日（火）  
第 3 回 7 月 23 日（月）  
第 4 回 8 月 24 日（金）  
第 5 回 9 月 19 日（水）  
第 6 回 10 月 19 日（金）  
第 7 回 11 月 21 日（水）  
第 8 回 12 月 25 日（火）  
第 9 回 2 月 18 日（月）  
第 10 回 3 月 19 日（火）

## 2 地域自治区の連絡及び調整

### (1) 栃木市地域自治区地域協議会連絡会

各地域協議会の正副会長及び地域自治区長を構成員とする栃木市地域自治区地域協議会連絡会により、地域協議会の活動等に関する調整及び連絡を行った。

会 長	田中 久己（藤岡町地域協議会会長）
副会長	安生 孝章（都賀町地域協議会会長）
副会長	和賀井政雄（西方町地域協議会会長）
副会長	柴田 保男（大平町地域協議会会長）

(2) 平成 24 年度地域自治交流会

地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会間の情報共有化と地域間の交流を促進し、地域のまちづくり活動の活性化を図るため、栃木市地域自治区地域協議会連絡会及び栃木市栃木地域まちづくり検討委員会の共催による地域自治交流会を実施した。

- ・実施日 9月1日（土）
- ・会 場 大平公民館
- ・参加者 地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会委員等 78人
- ・内 容 平成 24 年度意見書の提出  
地域自慢（地域資源）の発表  
地域自慢（地域資源）の活用についての意見交換及び発表

(3) 地域協議会委員選任に関する事務

平成 22 年 7 月 26 日付で選任した大平町、藤岡町及び都賀町地域協議会委員並びに平成 23 年 11 月 9 日付で選任した西方町地域協議会委員の任期が、平成 25 年 3 月 31 日で満了することに伴い、平成 25 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までを任期とする地域協議会委員の選任に関する事務を行った。

ア 委員公募

- ・実施期間 1月18日（金）～2月8日（金）
- ・応募者数 大平町地域協議会 12人  
藤岡町地域協議会 5人  
都賀町地域協議会 3人  
西方町地域協議会 3人

イ 地域協議会公募委員選考会議

各地域協議会 3 人ずつの委員を選定した。

- ・実施日 2月21日（木）

ウ 地域協議会委員選任

- ・委員数 各地域協議会 15人
- ・任 期 平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

(4) 地域協議会等から提出された意見書の処理

地域協議会及び栃木市栃木地域まちづくり検討委員会から提出された意見書に関して、関係部局間で連携を図りながら回答書を作成し、地域協議会等へ送付した。

ア 意見書提出日 9月1日（土）

イ 意見書の件数及び事項

- (ア) 大平町地域協議会 4件
- ・大平地域内の水害対策について
  - ・小中学校関係予算の充実について

- ・市内道路の安全対策について
- ・合併後調整案件の段階的措置等要望について
- (イ) 藤岡町地域協議会 2件
  - ・渡良瀬遊水地エリアの活性化について
  - ・道路環境の改善について
- (ウ) 都賀町地域協議会 5件
  - ・都賀西方パーキングエリアへのスマートインターチェンジ新設に関わる利活用計画の策定と要望活動の推進について
  - ・「つがの里」をはじめとする公共施設への案内看板や説明標識の見直しと充実について
  - ・通学路の中で特に交通事故等の発生が予想される箇所の歩道整備について
  - ・市西部の南北に連なる山間地へのウォーキングコースやハイキングコースの整備について
  - ・環境保全に配慮した下水道整備事業等の推進について
- (エ) 西方町地域協議会 4件
  - ・西方総合支所を含めた市のホームページの充実等について
  - ・西方町中心地区形成プロジェクトの具現化について
  - ・西方地域の通学路の交通安全対策について
  - ・小中学校の高温対策について
- (オ) 栃木市栃木地域まちづくり検討委員会 3件
  - ・安全安心のまちづくりについて
  - ・おもてなしのまちづくりについて
  - ・個性豊かなまちづくりについて

### 3 平成24年度栃木市地域まちづくり講演会

地域の自発的な取組を支援し、地域の魅力をより輝かせるまちづくりを推進するため、「地域づくり人」の育成に携わる元NHKアナウンサーの森吉弘氏による講演会を実施し、まちづくりの実践に必要な「伝える力」について理解を深めた。

- ・実施日 3月8日（金）
- ・会場 藤岡遊水池会館
- ・参加者 80人
- ・講師 森 吉弘 氏
- ・テーマ 『おもてなしコミュニケーション』で、地域づくり・人づくり

### 4 栃木市栃木地域まちづくり検討委員会

栃木地域のまちづくりの課題について調査研究し、市に対して意見を述べることにより、栃木地域の資源や特性を活かしたまちづくりを推進するため、栃木市栃木地域まちづくり検討委員会を設置した。

- ・任期 平成24年4月18日から平成27年3月31日まで
- ・委員数 30人

- ・委員長 内藤弘司
- ・副委員長 岸 貞吉
- ・会議開催状況
 

第 1 回	4 月 18 日 (水)	
第 2 回	5 月 21 日 (月)	
第 3 回	6 月 25 日 (月)	
第 4 回	7 月 30 日 (月)	
第 5 回	8 月 22 日 (水)	
第 6 回	9 月 24 日 (月)	
第 7 回	10 月 29 日 (月)	
第 8 回	11 月 19 日 (月)	(先進地視察：前橋市及び桐生市)
第 9 回	12 月 19 日 (水)	
第 10 回	1 月 21 日 (月)	
第 11 回	2 月 15 日 (金)	
第 12 回	3 月 22 日 (金)	
- ・意見書の提出
 

安全安心のまちづくりについて
おもてなしのまちづくりについて
個性豊かなまちづくりについて

## 5 自治会関係

住みよい環境をつくり、住民の福祉増進に寄与することを目的とした栃木市自治会連合会の各種活動を助成し、市政への協力を得るための連絡を行うとともに、同連合会主催のまちづくり懇談会を支援した。

また、市全域の自治会相互の連絡調整を図り、地域間の情報を交換するとともに、自治会組織を強化し、もって地域住民の福祉の向上に寄与することを目的とする栃木市自治会連絡協議会の事務局として運営を支援した。

### (1) 自治会活動の推進

#### ア 単位自治会の把握

次年度自治会長名簿の取りまとめ

- ・受付期間 平成 25 年 2 月～5 月
- ・対 象 173 自治会

#### イ 自治会功労者表彰式

栃木市自治会連合会と共催事業（当連合会の事業欄を参照）

#### ウ 自治会長等報償金の支出

- ・各単位自治会の世帯数調査（基準日 10 月 1 日現在）
- ・報償金の支出
 

2 月 27 日	支払い	354 件	(栃木、大平、藤岡、都賀地域)
8 月 1 日、1 月 9 日	支払い	39 件	(西方地域)

### (2) 栃木市自治会連合会（事務局）

#### ア 組織構成

- ・組織

単位自治会 173 自治会

・役員

会長 1 人、副会長 3 人、監事 3 人（総会で選出、任期 2 年）

理事 9 人（地区自治会連合会長）うち会計 2 人を会長が任命

イ 会議等

(ア) 総会

・実施日 5 月 24 日（木）

・場 所 サンプラザ

・出席者 93 人

(イ) 役員会

第 1 回	4 月 23 日（月）	通常総会の運営について まちづくり懇談会について 自治会長等視察研修及び役員視察研修について
第 2 回	6 月 26 日（火）	まちづくり懇談会について 自治会功労者表彰について 自治会長等視察研修及び役員視察研修について
第 3 回	9 月 25 日（火）	自治会功労者表彰式及び自治会連合会研修会について 自治会長等視察研修について
第 4 回	11 月 26 日（月）	役員視察研修について 新自治会連合組織に関する経過について
第 5 回	2 月 25 日（月）	解散総会の議案について

ウ 主な事業

(ア) まちづくり懇談会

8 月 1 日（水）	第 6 地区コミュニティセンター（第 6・7 地区全自治会）
8 月 2 日（木）	第 4 地区コミュニティセンター（第 2・3・4 地区全自治会）
8 月 6 日（月）	寺尾公民館（吹上地区・寺尾地区全自治会）
8 月 8 日（水）	第 5 地区コミュニティセンター（第 1・5 地区全自治会）
8 月 20 日（月）	皆川公民館（皆川地区全自治会）
8 月 24 日（金）	国府公民館（大宮地区・国府地区全自治会）

(イ) 視察研修等

a 自治会長等視察研修

・実施期間 10 月 30 日（火）、31 日（水）

・場 所 宮城県石巻市

・内 容 大震災まなびの研修

（現地視察及びボランティアガイドによる復興状況説明）

・出席者 自治会長等 61 人

b 役員視察研修

・実施期間 12 月 17 日（月）、18 日（火）

・場 所 福島県伊達市

・内 容 災害時における自治会の役割について

・出席者 自治会連合会役員 6 人

(ウ) 自治会功労者表彰式（市と共催事業）

・実施日 11 月 5 日（月）

・場 所 栃木文化会館

・内 容 特別表彰 3 人、一般表彰 11 人、感謝状 2 人

(エ) 自治会連合会研修会

・実施日 11 月 5 日（月）

・場 所 栃木文化会館

・出席者 自治会長等 101 人

・内 容 演題 住民協働を行政が支援するまちづくり

講師 富永一夫 氏

(3) 栃木市自治会連絡協議会（事務局）

ア 組織構成

・組織

地域連合会（栃木市自治会連合会、大平町自治会長連合会、藤岡町自治会連合会、都賀町自治会長会及び西方町自治会長会）をもって組織

・役員

地域連合会から理事を各 4 人ずつ選出（任期 1 年）

会長 1 人、副会長 4 人（理事のうちから互選で定める）

監事 2 人（理事のうちから会長が指名する）

イ 会議等

(ア) 理事会

第 1 回	6 月 18 日（月）	栃木市自治会連絡協議会の役割とこれまでの経過について 新自治会連合組織の会費について 新自治会連合組織の事業等について 茨城県及び栃木県竜巻災害義援金の取組みについて
第 2 回	8 月 23 日（木）	新自治会連合組織の事業等について
第 3 回	10 月 12 日（金）	新自治会連合組織の事業等について （新）栃木市自治会連合会設立準備会への移行について
第 4 回	1 月 28 日（月）	（新）栃木市自治会連合会功労者表彰について （新）栃木市自治会連合会の加入について
第 5 回	3 月 25 日（月）	栃木市自治会連合会設立総会について 栃木市自治会連合会功労者表彰式について 栃木市自治会連合会設立記念講演会について 栃木市自治会連合会役員を選出方法について

(イ) 総会

- ・実施日 6月18日(月)
- ・場 所 市役所 正庁
- ・内 容 平成23年度事業報告について  
平成23年度収支決算報告について  
平成24年度事業計画(案)について  
平成24年度収支予算(案)について  
役員の改選について

ウ 主な事業

(ア) 栃木県自治会連合会事業への参加

- ・参加事業 常任理事会・定期総会(サンプラザ)  
先進都市視察研修(宮城県仙台市)  
会長研修大会(日光市今市文化会館)  
県南ブロック会議(栃木グランドホテル)

(イ) 新春賀詞交歓会

- ・実施日 1月8日(火)
- ・場 所 サンプラザ
- ・主催団体 当連絡協議会、市、市議会、商工会議所、下野農業協同組合  
ほか5団体

市民協働推進担当

1 市民活動の推進

市民による営利を目的としない社会貢献活動を支援するため、市民活動推進センター「くらら」の管理運営を、指定管理者制度により特定非営利活動法人ハイジに委託し、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を実施するとともに、特定非営利活動法人の認証等の事務を行った。

また、行政と市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置するとともに、更なる意識の向上のための研修会等を開催した。

(1) 市民活動推進センター

ア 登録数

- ・団体 239団体

イ 運営委員会の開催

実施日	場所	出席者(人)
8月3日(金)	本庁舎 第5会議室	10
2月21日(木)	別館 第2会議室	6

ウ 利用状況

来館者(人)	会議室使用		作業室使用(人)	相談件数(件)	印刷回数(回)
	団体数	人数			
18,658	548	6,466	1,508	253	736

エ ホームページ閲覧 6,947 件  
 オ 情報紙発行 毎月 2,000 部発行  
 カ 広報とちぎ（2月号）へ情報紙折込み 全戸配布

(2) 特定非営利活動法人の認証等

栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、権限移譲を受け、平成 19 年度から特定非営利活動促進法及び県の特定非営利活動促進法施行条例に基づく特定非営利活動法人の設立、解散または合併の認証等の事務を行った。

取扱件数 (単位：件)

設立	解散	定款変更	役員変更受付	事業報告書等受付
3	1	2	18	29

(3) 市民協働推進員の設置及び研修会等の開催

庁内における市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置するとともに、行政と市民との協働に関する意識の更なる向上を目指し、研修会等を開催した。

協働推進研修会

対象者	実施日	場所	出席者（人）
職員	5月16日（水）	国府公民館 大交流室	56
市民・職員	1月30日（水）	国府公民館 大交流室	58

(4) 市民活動支援事業

NPO団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、市民協働まちづくりファンド（基金）を設け、主体的・公益的な活動を行う市民団体に市民活動推進事業費補助金“夢ファーレ”事業により活動経費の一部を助成した。

- ・助成団体数 29 団体
- ・助成総額 4,766,000 円
- ・寄附件数 11 件

ファンド（基金）への積立て

種別	金額（円）
市民・企業からの寄附金	1,689,360
積立金利子	635
市の積立金	1,689,360
合計	3,379,355

(5) とちぎ協働まつり

市民自らが毎年テーマを掲げ、企画運営する「とちぎ協働まつり 2012」を、実行委員会との共催により開催した。

- ・実施日 10月28日（日）
- ・会場 総合運動公園
- ・テーマ つなぐ
- ・来場者 11,000 人

## 2 市民総合賠償補償保険制度の実施

市民総合賠償補償保険制度とは、市が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び市の業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を総合的に補てんする賠償責任保険並びに市が主催する行事等に参加している住民の急激かつ偶然な外来の事故について、法律上の損害賠償責任の有無に関係なく、市が支払う補償金（見舞金）を補てんする補償保険により構成されている制度であり、全国市長会が加入市を被保険者とする団体保険契約を損害保険会社と締結して実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額（円）
損害賠償請求	—	—
補償金	1	30,000

## 3 市民活動補償制度の実施

市民活動補償制度とは、市民により自主的に構成された市民団体やその指導者が行う地域住民活動、青少年育成活動、社会福祉・社会奉仕活動、社会教育活動等で、本来の職場を離れて無報酬で行う継続的、計画的な実践活動中の事故について、指導者が賠償責任を負う場合の損害を補てんする賠償責任保険並びに指導者等や参加者が活動中に発生した急激かつ偶然な外来の事故について補償するために、市が保険会社と傷害保険を締結し実施する制度で、平成 22 年度から実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額（円）
損害賠償請求	—	—
補償金	3	275,000

## 4 地域版プラットフォーム事業

NPO等（NPO法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協同組合等）、企業、行政を含むメンバーでプラットフォームを構成し次の 3 つの事業を実施した。

### (1) 新市の一体感の醸成事業

合併後の新市において、それぞれの地域の特徴や資源を他地域の市民にも知っていただくことができるよう、各地域において地域資源の再発見ができる事業を実施した。

#### ア 栃木のとちぎ交流事業

コース	実施日	テーマ等	参加者数(人)
第 1 回【藤岡地域】	5 月 24 日（木）	うずま川河口、藤岡町部屋地区の今昔	30
第 2 回【都賀地域】	6 月 6 日（水）	ほたるの里を訪ねて	22
第 3 回【大平地域】	7 月 25 日（水）	大平町内の史跡探訪ぶどう狩り	28
第 4 回【栃木地域】	9 月 4 日（火）	栃木県名発祥の地を散策	21
第 5 回【西方地域】	10 月 18 日（木）	地域文化と八重姫の里めぐり	25
第 6 回【栃木地域】	12 月 4 日（火）	いにしえの地を訪ねて	19
記録映像試写会	2 月 19 日（火）	皆勤賞授与（9 名）、記録映像試写等	21

#### イ めがせ！とちぎふるさと子ども観光大使事業

コース	実施日	内容	参加者数(人)
第1回【大平地域】	6月23日(土)	座禅体験と七不思議の伝説	子ども45
第2回【都賀地域】	8月11日(土)	大柿の里山体験	子ども24
第3回【栃木地域】	9月8日(土)	栃木県名はじまりの地を歩こう①	子ども33
第4回【藤岡地域】	10月13日(土)	渡良瀬遊水地内バス見学	子ども21
第5回【栃木地域】	12月8日(土)	栃木県名はじまりの地を歩こう②	子ども31
第6回【西方地域】	1月26日(土)	いちごと八重姫のふるさとへ	子ども31
第7回【認定式】	2月9日(土)	とちぎふるさと子ども観光大使神明宮 教室及び認定証授与式	子ども37 (認定:41)

(2) 市民協働被災者支援事業

震災等の災害発生時の支援活動、被災避難者の市への受け入れや生活支援等のためのプラットフォームを作り、被災避難者の支援体制を作る事業を検討した。また、東日本大震災で被災され、市に避難されている被災者への支援を行った。

ア 栃木市への避難移住ガイドブック作成事業

民間ベースで様々な市の情報を盛り込んだガイドブックを作成し、市への避難移住及び一時避難等への支援を行った。

実施日	場所	出席者(人)	備考
4月13日(金)	とちぎ市民活動推進センター	8	プラットフォーム事業会議
7月27日(金)	とちぎ市民活動推進センター	6	プラットフォーム事業会議
9月4日(火)	とちぎ市民活動推進センター	4	プラットフォーム事業会議
11月13日(火)	とちぎ市民活動推進センター	6	プラットフォーム事業会議
11月29日(木)	とちぎ市民活動推進センター	3	ガイドブック編纂会議
1月22日(火)	とちぎ市民活動推進センター	3	ガイドブック編纂会議
2月16日(土)	とちぎ市民活動推進センター	6	プラットフォーム事業会議

イ 避難者交流事業

市へ避難されている方同士の交流を図るとともに、被災支援者への相談及び生活支援を行った。

実施日	場所	参加者(人)	備考
6月3日(日)	佐野市総合福祉センター	30	第1回県南合同茶話会
10月7日(日)	太平山(ハイキング)	24	第2回県南合同茶話会

(3) 災害時市民協働ネットワーク事業

災害時における被災者支援、情報収集等がスムーズに行える体制づくりを構築するため、関係団体により協働事業を企画するとともに、東日本大震災への被災地支援をNPO法人ハイジへの委託により実施した。

ア 災害時対応研修会等

実施日	場所	参加者(人)
6月11日(月)～13日(水)	皆川公民館	74
10月20日(土)	國學院大學栃木学園教育センター	95

3月28日(木)	とちぎ市民活動推進センター	25
----------	---------------	----

- イ 災害ボランティアセンター設置運営マニュアル作成事業
- ウ 被災地グッズ売り上げ促進事業
- エ 被災地におけるボランティア活動

## 第4節 合併推進室

### 〔総括概要〕

合併推進室の主な分掌事務は、栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会及び栃木市・西方町合併協議会において「合併後」に再編等とされた事務事業の調整状況の把握、事後処理に関すること及びその他合併に関することである。

「合併後」に再編等としている事務事業の調整状況を照会し、その結果について、庁議、議員研究会及び地域協議会において報告後、市ホームページ等を活用し、市民への周知を図った。

市町村合併については、平成23年度に引き続き、栃木市・岩舟町合併協議会において、合併協定項目をはじめとする合併協議を行った。第5回合併協議会から第11回合併協議会まで計7回の合併協議会を開催し、合併の期日等の合併協定項目について協議し、全55項目について確認が得られたことから、合併協定調印式を開催し、栃木市・岩舟町の両首長が合併協定書に調印を行った。後日、両首長により栃木県知事へ合併申請書の提出が行われた。

### 合併推進担当

#### 1 合併調整管理事業

(1) 「合併後」再編等とされた事務事業数の内、平成24年度以降の調整状況（単位：事業）

区 分	Aランク	Bランク	Cランク	計
事務事業総数	147	43	41	231
24年度中に調整済み	109	21	22	152
25年度中に調整予定	14	8	5	27
26年度中に調整予定	24	14	14	52

(2) 広報紙への合併関連記事掲載

- ・掲載回数 1回（2月号掲載）

(3) ホームページでの広報（新市で進めている主な事務調整の経過のお知らせ）

- ・掲載回数 1回（8月掲載）

#### 2 栃木市・岩舟町合併協議会

栃木市・岩舟町合併協議会の事務局として行った主な事務は、次のとおりである。

(1) 住民アンケート

- ・名 称 「新市のまちづくりに関する住民アンケート」
- ・目 的 新市における行政の優先施策課題や、住民の意向等を把握し、新市まちづくり計画に反映させる。
- ・実施期間 4月13日～4月30日
- ・対 象 者 栃木市及び岩舟町在住の満15歳以上7,000人（4月1日現在）

・回収率 36.3%

(2) 協議会開催

ア 第5回合併協議会

- ・開催日 5月23日（水）
- ・場所 栃木保健福祉センター 大会議室
- ・報告事項 平成23年合併協議会予算の流用について  
平成24年合併協議会予算の専決処分について
- ・審議事項 平成24年合併協議会事業計画について
- ・協議事項 合併協定項目14 一部事務組合等の取扱いについて  
合併協定項目 5 財産及び債務の取扱いについて  
合併協定項目10 一般職の職員の身分の取扱いについて  
合併協定項目12 条例、規則等の取扱いについて  
合併協定項目13 事務組織及び機構の取扱いについて  
合併協定項目19 慣行の取扱いについて  
合併協定項目22 消防団の取扱いについて

イ 第6回合併協議会

- ・開催日 7月20日（金）
- ・場所 栃木保健福祉センター 大会議室
- ・審議事項 平成23年度合併協議会決算について  
平成24年度合併協議会補正予算について
- ・協議事項 合併協定項目 2 合併の期日について  
合併協定項目 8 地方税の取扱いについて  
合併協定項目 9 地域自治制度の取扱いについて  
合併協定項目18 町名、字名の取扱いについて  
合併協定項目23 行政区の取扱いについて  
合併協定項目25- 1 国内・国際交流事業について  
合併協定項目25- 3 広報広聴関係事業について  
合併協定項目25- 4 人権推進事業について  
合併協定項目25- 5 納税関係事業について  
合併協定項目25- 7 交通関係事業について  
合併協定項目25- 8 窓口業務について  
合併協定項目25-10 障がい者福祉事業について  
合併協定項目25-15 その他の福祉事業について  
合併協定項目25-16 健康づくり事業について  
合併協定項目25-17 ごみ収集運搬業務事業について  
合併協定項目25-18 環境対策事業について  
合併協定項目25-28 青少年健全育成事業について  
合併協定項目25-29 男女共同参画事業について

ウ 第7回合併協議会

- ・開催日 8月27日（月）

- ・場 所 藤岡遊水池会館 大会議室
- ・協議事項 合併協定項目 7 農業委員会の委員の定数及び任期の取扱いについて
- 合併協定項目 8 地方税の取扱いについて
- 合併協定項目15 使用料、手数料の取扱いについて
- 合併協定項目16 公共的団体等の取扱いについて
- 合併協定項目17 補助金、交付金等の取扱いについて
- 合併協定項目20 国民健康保険事業の取扱いについて
- 合併協定項目21 介護保険事業の取扱いについて
- 合併協定項目25－ 2 電算システム事業について
- 合併協定項目25－11 高齢者福祉事業について
- 合併協定項目25－14 生活保護事業について
- 合併協定項目25－19 農林水産関係事業について
- 合併協定項目25－20 商工、観光関係事業について
- 合併協定項目25－21 勤労者、消費者関連事業について
- 合併協定項目25－22 建設関係事業について
- 合併協定項目25－23 上・下水道事業について
- 合併協定項目25－26 文化振興事業について
- 合併協定項目25－27 社会教育事業について
- 合併協定項目25－30 社会福祉協議会について

エ 第8回合併協議会

- ・開催日 9月26日（水）
- ・場 所 岩舟町健康福祉センター 検診室
- ・協議事項 合併協定項目の変更について
- 合併協定項目11 特別職の身分の取扱いについて
- 合併協定項目14 一部事務組合等の取扱いについて
- 合併協定項目24 諮問機関の取扱いについて
- 合併協定項目25－ 9 保健衛生事業について
- 合併協定項目25－12 児童福祉事業について
- 合併協定項目25－13 保育事業について
- 合併協定項目25－24 市町立学校に通学区域、学校名について
- 合併協定項目25－25 学校教育事業について
- 合併協定項目26 合併市町村基本計画について

オ 第9回合併協議会

- ・開催日 11月12日（月）
- ・場 所 国府公民館 大交流室
- ・報告事項 合併協定項目以外の調整方針について
- 合併に関する住民説明会の実施結果について
- ・協議事項 合併協定項目 6 議会の議員の定数及び任期の取扱いについて
- 合併協定項目14 一部事務組合等の取扱いについて

合併協定項目25- 6 消防防災関係事業について  
 合併協定項目26 合併市町村基本計画について

カ 第10回合併協議会

- ・開催日 1月17日（木）
- ・場所 大平総合支所 別館大会議室
- ・協議事項 合併協定項目25- 6 消防防災関係事業について  
 合併協定項目26 合併市町村基本計画について
- ・報告事項 合併協定項目以外の調整方針について
- ・審議事項 平成25年度合併協議会予算の専決処分について  
 平成24年合併協議会補正予算について

キ 第11回合併協議会

- ・開催日 2月14日（木）
- ・場所 栃木市 サンプラザ 芙蓉の間
- ・協議事項 合併協定項目26 合併市町村基本計画について

(3) 住民説明会

月 日	時 間	場 所
10月14日（日）	10:00～12:00	岩舟町静和連絡所
	15:00～16:45	岩舟町商工会館
10月16日（火）	18:30～20:30	岩舟町健康福祉センター

- ・内 容 合併協議会の協議内容について  
 新市まちづくり計画（合併市町村基本計画）について  
 新市誕生までのスケジュールについて  
 質疑応答

(4) 合併協定調印式

- ・開催日 2月14日（木）
- ・場所 栃木市 サンプラザ 平安・飛鳥の間

(5) 合併申請書提出

- ・日 時 3月27日（水）
- ・場所 栃木県知事応接室

(6) 広報関係

- ア 広報とちぎ記事掲載  
 4月号「岩舟町と合併協定を締結」
- イ ホームページ記事掲載  
 「栃木市・岩舟町合併協議会」

## 第5節 秘書広報課

### 〔総括概要〕

秘書広報課の主な分掌事務は、秘書関係及び広報広聴関係業務である。

秘書関係業務については、市長のトップマネジメントが十分発揮できるよう秘書機能の充実に努めたほか、市政功労者等の表彰や市内各団体等との円滑な交流推進を図るための新春賀詞交歓会などを、関係団体等の協力の下実施した。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等の活用、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、見やすく、親しみやすいものとするためA3判に改訂し、毎月1回発行した。また、ホームページに加えてSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した広報活動として、公式ツイッター及び公式フェイスブックを開始した。

広聴業務については、まちづくり懇談会ふれあいトーク、市民討議会、市長へのアイデア直通便などを実施し、市政に関する意見・提案を広く求めた。

### 秘書担当

#### 1 市長のホームページの管理

- ・市長のメッセージの更新 年4回（春夏秋冬）
- ・市長の主な動きの更新 月1回（各月ごとにその翌月に写真で紹介）
- ・市長の交際費支出状況の更新 月1回（各月ごとにその翌月1日頃）

#### 2 下野新聞社への市長日程の提供

毎週水曜日に次週の市長日程の抜粋を報告した。

#### 3 表彰

市政功労者、徳行者及び市民栄誉賞受賞者の表彰式を開催した。

- ・実施日 11月20日（火）
- ・場 所 栃木保健福祉センター
- ・市政功労者表彰（敬称略）

表彰条例第3条第1項による表彰（各種委員等における永年在職者）

消防団員	在職22年 7か月	高山 尚 久
学校歯科医	在職20年 7か月	坂本 正 雄
学校歯科医	在職20年 7か月	野尻 郁 夫
学校歯科医	在職28年 7か月	町田 太 瑞
学校歯科医	在職20年 7か月	渡邊 俊 郎
学校歯科医	在職20年 7か月	横倉 正 典

学校薬剤師	在職 28年 7か月	櫻本 哲雄
学校薬剤師	在職 29年 7か月	高瀬 千賀子
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	阿部 和彦
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	大谷 美智子
スポーツ推進委員	在職 30年 7か月	小笠原 義仁
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	貝塚 みどり
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	河本 進
スポーツ推進委員	在職 26年 7か月	栗田 達也
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	小坂 晴美
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	小宮 剛
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	滝田 賢一
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	館野 勝也

・徳行者表彰（敬称略）

表彰条例第4条第1項による表彰

徳行	清水 正巳
徳行	田村 門一
徳行	栃木アンカー工業(株) 代表取締役 荒金 憲一
徳行	栃木商工会議所 会頭 岩下 邦夫
徳行	中村 和男

・市民栄誉賞表彰（敬称略）

表彰条例第5条による表彰

市民栄誉賞（イギリスのダンスフェスティバル日本代表チームとして優勝）

中澤 麗

市民栄誉賞（イギリスのダンスフェスティバル日本代表チームとして優勝）

濱田 琉衣

市民栄誉賞（文部科学大臣表彰）

ふじおかおはなし会「コロポックル」

4 新春賀詞交歓会

- ・実施日 1月8日（火）
- ・場所 サンプラザ
- ・主催団体 市・市議会・栃木商工会議所・大平町商工会・藤岡町商工会  
都賀町商工会・西方商工会・下野農業協同組合・上都賀農業協同組合  
栃木市自治会連絡協議会
- ・参加者数 379人

（ 栃木市168人、市議会32人、商工会議所82人、  
商工会33人（大平14人、藤岡7人、都賀7人、西方5人）  
J A しもつけ47人、自治会関係17人 ）

広報広聴担当

1 広報関係

(1) 広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を発行し、市政のPRに努めた。

広報とちぎ

- ・発行部数 5月号～4月号 1回47,500部
- ・仕様 5月号～7月号A4判 8月～4月号A3判2つ折り

号	ページ数		号	ページ数		号	ページ数	
	4色	2色		4色	2色		4色	2色
25(5月号)	4	24	29(9月号)	4	12	33(1月号)	4	12
26(6月号)	4	24	30(10月号)	4	12	34(2月号)	4	12
27(7月号)	4	28	31(11月号)	4	12	35(3月号)	4	12
28(8月号)	4	12	32(12月号)	4	12	36(4月号)	4	12

(2) 視聴覚障がい者等への広報

ア 広報とちぎ点字版

- ・発行回数 定期6回(2か月に1回)
- ・発行部数 1回29部
- ・仕様 B5判点字用紙(約30ページ)

イ 声の広報とちぎ

朗読ボランティアあかり及び朗読グループいずみの協力を得て発行

- ・発行回数 定期12回
- ・発行時期 広報とちぎの発行後録音(カセット・CD)

(3) ホームページによる広報

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、公式ホームページを開設し、市政情報やイベント、観光案内、生活ガイド等の情報を積極的に市内外に発信し、広報活動のより一層の充実に努めた。

- ・アクセス件数(ページビュー数) 3,752,050件

(4) SNSを活用した広報

3月25日より、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)による広報を開始した。

市ホームページのトップページに公式ツイッターと公式フェイスブックのバナーを設け、簡単にアクセスできるようにした。

また、栃木市SNS利用マニュアル、栃木市公式ツイッター・公式フェイスブック運用ポリシーを策定した。

(5) テレビ・ラジオ等による広報

ア CATVコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル(デジタル111チャンネル)で放送した。

主な番組

- ・自治体広報番組「栃木市からこんにちは」  
15分番組で、3月25日（月）から30日（土）の間放送した。
- ・生活文字情報  
文字スクロールによる生活情報で、毎週月・水・金曜日に10分間放送した。  
（1日4回）
- ・エリア便  
イベント等の告知情報で、毎週月・火・水曜日に1分前後放送した。
- ・新春特別番組「新年のご挨拶 栃木市」  
10分番組で、1月1日（火）に放送した。

#### イ とちぎテレビ

市政のPRを行うため、（株）とちぎテレビに番組制作を委託し、同社で放送した。

- ・新春特別番組「2013年 わが街発！」  
30分番組のうち10分間で、1月1日（火）、2日（水）（再放送）に放送した。

#### ウ 栃木放送（CRT）

市政のPRを行うため、（株）栃木放送に番組制作を委託。市長が街づくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・2013年新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」  
10分番組で、1月1日（火）、2日（水）（再放送）に放送した。

#### エ エフエム栃木

本市のイメージアップや観光への誘客を図るために、市政のPR及び市内の各種行事等の情報を県内全域に発信する市の広報番組の製作を（株）エフエム栃木に委託した。

- ・「MY CITY とちぎFM」  
生放送で毎週月曜日に30分間放送した。

### (6) 報道機関等への情報提供

#### ア 記者会見

- ・定例記者会見 毎月1回
- ・予算記者会見 年1回
- ・臨時記者会見 随時(8回)

※その他の報道機関へは、定例・臨時記者会見資料を随時提供

#### イ 市政情報の提供（FAXにより随時）

- ・情報提供件数 272件

### (7) 広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための研修を行った。

- ・実施日 2月4日（月）参加者103人（広報活動推進員、各課長）
- ・テーマ「新聞紙面で紹介したくなる行政情報とは何か」
- ・講師 朝日新聞社栃木支局長 平井隆昭記者

(8) 栃木市ふるさと大使

今年度より、本市の魅力を広く効果的に情報発信することと、本市の知名度及びイメージの向上並びに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使制度」を設け、栃木市にゆかりのある方に委嘱した。

栃木市ふるさと大使 8人（澤村拓一氏、春風亭柳橋氏、寺内崇幸氏、富田晋伍氏  
山田五郎氏、山田昌彦氏、吉川真氏、渡辺俊介氏）  
1団体（栃木ウーヴァFC）

2 広聴関係

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見・提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図ることができた。

・栃木地域

実施日	出席者（人）	会場
8月 1日（水）	114	第6地区コミュニティセンター
8月 2日（木）	66	第4地区コミュニティセンター
8月 6日（月）	117	寺尾公民館
8月 8日（水）	76	第5地区コミュニティセンター
8月20日（月）	80	皆川公民館
8月24日（金）	94	国府公民館

・大平地域

実施日	出席者（人）	会場
10月1日（月）	114	大平東地区公民館
10月3日（水）	84	大平南地区公民館
10月9日（火）	98	大平西地区公民館

・藤岡地域

実施日	出席者（人）	会場
10月15日（月）	24	部屋地区公民館
10月17日（水）	17	藤岡遊水池会館
10月22日（月）	35	赤麻地区公民館
10月25日（木）	36	三鴨地区公民館

・都賀地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 2日（月）	36	合戦場小学校体育館
7月 9日（月）	41	都賀公民館
7月12日（木）	49	都賀公民館

・西方地域

実施日	出席者（人）	会場
7月19日（木）	28	西方総合文化体育館
7月20日（金）	40	西方保健センター
7月26日（木）	24	真名子夢ホール

(2) 市民討議会

無作為に抽出した市民1,000人を対象に参加を促し、（一社）栃木青年会議所との共催により、とちぎ市民討議会2012を開催した。

・実施日 7月29日（日）

・場 所 市役所 正庁

・参加者 26人

・テーマ 「旧栃木警察署跡地の活用について」

①栃木市中心市街地に期待するものは何ですか？

②栃木市に訪れる人にとって、旧栃木警察署跡地の良い活用方法は何ですか？

③栃木市に住まう人にとって、旧栃木警察署跡地の良い活用方法は何ですか？

(3) 市長へのアイデア直通便

市民から、市政に対する幅広いアイデアや意見・提案等をうかがい、施策に反映させるとともに、市民との協働・共生のまちづくりに資するため、広報とちぎに料金受取人払いの「市長へのアイデア直通便」を掲載し、投書受付を実施した。

・受付通数 42通（提案件数 56件）

(4) 市政メール箱（電子メール）

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

・投書件数 108件

(5) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

・投書件数 40件

(6) 市政に関する意見の郵送及びFAXの受付

・投書件数 16件

(7) 来庁やお電話による市政に関するご意見の受付

・ご意見数 19件

(8) パブリックコメント

重要な施策の策定の過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、パブリックコメント（市民意見提出制度）を実施した。

・実施件数 19件

## 第6節 財政課

### 〔総括概要〕

平成24年度の当初予算については、旧西方町を含めた新生栃木市として初めての予算編成であり、新市まちづくり計画の実現及び市長マニフェストに掲げた施策の推進を図り、かつ緊急的な課題に対応したものであった。また、限られた財源の効率的・効果的な活用に努めるとともに、合併後における多種多様な行政需要に的確に対応するため、九次にわたる補正予算を編成し、一般会計において2,305,431千円増額するなど、臨機応変に対応した。

一方で、財政の透明性の確保や市民への説明責任を果たすため、「予算のあらまし」や「ホームページ」等を通して、わかりやすい予算・決算の公表に努めた。

平成25年度の当初予算については、平成25年度が初年度となる栃木市総合計画基本計画における7つの基本方針の実現に向け、貢献度及び実効性の高い事業に予算を重点的に配分、そして、市町合併により市民サービス及び市民負担に不均衡が生じないように配慮するとともに、各地域の特徴を活かすため、地域協議会等からの意見や提案を積極的に取り入れた予算編成を行った。

### 財政担当

#### 1 平成24年度歳入歳出予算

##### (1) 一般会計

(単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成24年 3月22日	—	53,200,000
補正第 1号	5月15日	721,205	53,921,205
〃 2号	6月21日	296,807	54,218,012
専決処分補正第3号	7月26日	24,194	54,242,206
補正第 4号	9月27日	879,073	55,121,279
〃 5号	11月12日	△6,797	55,114,482
〃 6号	12月20日	364,709	55,479,191
〃 7号	11月30日	59,555	55,538,746
〃 8号	平成25年 3月22日	△250,411	55,288,335
〃 9号	3月22日	217,096	55,505,431

##### (2) 特別会計

##### ア 国民健康保険

(単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成24年 3月22日	—	16,562,400
補正第 1号	12月20日	155,797	16,718,197

〃	2号	平成25年	3月22日	189,314	16,907,511
---	----	-------	-------	---------	------------

イ 後期高齢者医療 (単位：千円)

区分	議決等年月日		補正額	累計
当初予算	平成24年	3月22日	—	1,269,900
補正第1号		12月20日	32,970	1,302,870
〃 2号	平成25年	3月22日	115,484	1,418,354

ウ 介護保険 (保険事業勘定) (単位：千円)

区分	議決等年月日		補正額	累計
当初予算	平成24年	3月22日	—	9,860,800
補正第1号		9月27日	—	9,860,800
〃 2号		12月20日	389,801	10,250,601
〃 3号	平成25年	3月22日	71,643	10,322,244

エ 介護保険 (介護サービス事業勘定) (単位：千円)

区分	議決等年月日		補正額	累計
当初予算	平成24年	3月22日	—	35,100
補正第1号		12月20日	6,417	41,517

オ 下水道 (単位：千円)

区分	議決等年月日		補正額	累計
当初予算	平成24年	3月22日	—	4,164,700
補正第1号		12月20日	586	4,165,286
〃 2号	平成25年	3月22日	△275,734	3,889,552

カ 農業集落排水 (単位：千円)

区分	議決等年月日		補正額	累計
当初予算	平成24年	3月22日	—	341,400
補正第1号		12月20日	1,291	342,691
〃 2号	平成25年	3月22日	0	342,691

キ JR大平下駅前土地区画整理 (単位：千円)

区分	議決等年月日		補正額	累計
当初予算	平成24年	3月22日	—	57,200

ク 医療福祉モール (単位：千円)

区分	議決等年月日		補正額	累計
当初予算	平成24年	3月22日	—	24,300
補正第1号	平成25年	3月22日	119,318	143,618

ケ 中根産業団地 (単位：千円)

区分	議決等年月日		補正額	累計
当初予算	平成24年	3月22日	—	6,800
補正第1号		11月12日	434,699	441,499

## (3) 水道事業会計

(単位：千円)

区 分	議決等 年月日	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
		収 入	支 出	収 入	支 出
当 初 予 算	平成24年3月22日	2,217,549	2,185,213	204,958	1,319,107
補正第1号	12月20日	—	27,500	—	—
補正第2号	平成25年3月22日	—	—	△1,000	—
計		2,217,549	2,212,713	203,958	1,319,107

## 2 平成24年度決算状況

## (1) 一般会計及び特別会計

(単位：千円)

区 分	予算現額	決算額			翌年度へ繰越 すべき財源	実質収支額
		歳 入	歳 出	差引額		
一 般 会 計	56,994,611	56,643,157	53,426,147	3,217,010	115,609	3,101,401
国民健康保険特別会計	16,907,511	16,680,268	16,306,184	374,084	—	374,084
後期高齢者医療 特別会計	1,418,354	1,419,316	1,398,127	21,189	—	21,189
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	10,322,244	10,311,760	10,085,874	225,886	—	225,886
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	41,517	40,141	38,940	1,201	—	1,201
下水道特別会計	4,012,487	3,974,041	3,889,180	84,861	16,337	68,524
農業集落排水 特別会計	342,691	344,342	320,433	23,909	—	23,909
JR大平下駅前土地 区画整理特別会計	79,200	82,635	72,729	9,906	—	9,906
医療福祉モール 特別会計	143,618	143,621	143,410	211	—	211
中根産業団地 特別会計	615,299	441,598	441,438	160	—	160
計	90,877,532	90,080,879	86,122,462	3,958,417	131,946	3,826,471

## (2) 水道事業会計

(単位：千円)

区 分	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	収 入	支 出	収 入	支 出
予算額	2,217,549	2,218,033	203,958	1,363,924
決算額	2,237,350	1,956,583	180,802	1,235,985
決算額-予算額	19,801		△23,156	

繰越額		-		-
不用額		261,450		127,939

3 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の収入額 (単位：千円)

区 分	交付月	期 間	交 付 額	
地方譲与税	地方揮発油譲与税	6月 平成24年 3月～ 5月	47,301	
		11月 " 6月～ 10月	66,376	
		3月 " 11月～平成25年 2月	48,621	
		計	162,298	
	自動車重量譲与税	6月 平成24年 2月～ 4月	118,899	
		11月 " 5月～ 9月	149,295	
		3月 " 10月～平成25年 1月	115,222	
		計	383,416	
	地方道路譲与税	6月 平成24年 3月～ 5月	0	
		11月 " 6月～ 10月	0	
		3月 " 11月～平成25年 2月	0	
		計 (千円未満部分を足し合せた額を切り上げ)	1	
	小 計			545,715
	利子割交付金	8月 平成24年 3月～ 7月	13,128	
		12月 " 8月～ 11月	13,354	
		3月 " 12月～平成25年 2月	8,623	
計		35,105		
配当割交付金	8月 平成24年 3月～ 7月	8,233		
	12月 " 8月～ 11月	1,237		
	3月 " 12月～平成25年 2月	21,428		
	計	30,898		
株式等譲渡所得割交付金	3月 平成24年 3月～平成25年 2月	8,988		
地方消費税交付金	6月 平成24年 2月～ 4月	331,464		
	9月 " 5月～ 7月	436,817		
	12月 " 8月～ 10月	255,972		
	3月 " 11月～平成25年 1月	356,001		
	計	1,380,254		

ゴルフ場利用税 交付金	8月	平成24年	3月～	7月	158,960
	12月	〃	8月～	11月	133,263
	3月	〃	12月～平成25年	2月	88,501
	計				380,724
自動車取得税 交付金	8月	平成24年	4月～	7月	67,510
	12月	〃	8月～	11月	58,105
	3月	〃	12月～平成25年	3月	62,724
	計				188,339
地方特例交付金	4月				42,173
	9月				51,380
	11月				0
	計				93,553
交通安全対策 特別交付金	9月	平成24年	3月～	8月	11,758
	3月	〃	9月～平成25年	2月	10,356
	計				22,114
合	計				2,685,690

#### 4 地方交付税

##### (1) 算定額 (単位：千円)

区 分	平成24年度算定額
基準財政需要額 ①	21,992,703
基準財政収入額 ②	15,738,992
交付基準額 ③ (①－②)	6,253,711
錯誤額・調整額 ④	44,369
普通交付税 ⑤	8,836,120
特別交付税 ⑥	1,226,065
合 計 (⑤＋⑥)	10,062,185

※平成24年度算定額の ①～③：一本算定による算定額

※平成24年度算定額の ⑤：合併算定替による算定額

##### (2) 収入額 (単位：千円)

区 分	交 付 月	交 付 額	区 分	交 付 月	交 付 額
普通交付税	4月	2,223,911	特別交付税	9月 (震災復興特別交付税)	50
	4月 (追加交付)	10,393		12月	172,752
	6月	2,234,304		3月	1,051,566
	9月	2,161,572		3月 (震災復興特別交付税)	1,697

	11月	2,161,571		
	3月(追加交付)	44,369		
小	計	8,836,120	小	計
				1,226,065
合			計	10,062,185

5 市債の状況(一般会計)

(単位:千円)

名称(予算書の起債の目的)	借入額	年利率(%)	借入先
市庁舎整備事業	789,500	0.27	栃木銀行
児童福祉施設整備事業	44,000	0.19	鹿沼相互信用金庫
農業生産基盤整備事業	91,500	0.19	鹿沼相互信用金庫
農道整備事業	18,100	0.19	鹿沼相互信用金庫
	2,900	0.19	鹿沼相互信用金庫
道路維持事業	6,100	0.27	栃木銀行
	94,700	0.27	栃木銀行
	129,800	0.27	栃木銀行
道路新設改良事業	8,800	0.40	地方公共団体金融機構
	154,500	0.27	栃木銀行
	270,600	0.27	栃木銀行
まちづくり事業(道路)	1,800	0.19	鹿沼相互信用金庫
橋りょう維持事業	3,100	0.19	鹿沼相互信用金庫
橋りょう新設改良事業	11,800	0.19	鹿沼相互信用金庫
橋りょう耐震化事業	1,500	0.40	地方公共団体金融機構
河川等整備事業	19,800	0.40	地方公共団体金融機構
公園整備事業	42,700	0.30	栃木県市町村振興協会
まちづくり事業(公園)	36,400	0.19	鹿沼相互信用金庫
公営住宅改修事業	23,700	0.40	地方公共団体金融機構
消防施設整備事業	10,600	0.10	全国市有物件災害共済会
	12,700	0.19	鹿沼相互信用金庫
	19,100	0.10	全国市有物件災害共済会
	47,000	0.19	鹿沼相互信用金庫
防災基盤整備事業	4,100	0.40	地方公共団体金融機構
小学校施設整備事業	295,900	0.40	地方公共団体金融機構
	50,300	0.19	鹿沼相互信用金庫
	29,000	0.30	栃木県市町村振興協会
中学校施設整備事業	408,400	0.40	地方公共団体金融機構
まちづくり事業(体育施設)	3,300	0.19	鹿沼相互信用金庫
臨時財政対策債	1,684,200	0.60	財務省

		1,211,500	0.27	足利銀行
合	計	5,527,400		

6 財政状況の公表

告示番号	告示年月日	内	容
第225号	平成24年6月28日	平成23年度予算執行状況等	
第385号	〃 12月27日	平成24年度予算執行状況及び平成23年度決算状況等	

7 水道事業業務状況の公表

告示番号	告示年月日	内	容
第226号	平成24年6月28日	平成23年度下半期分	
第386号	〃 12月27日	平成24年度上半期分	

## 第7節 人権推進課

### 〔総括概要〕

人権推進課の主な分掌事務は、人権問題、人権啓発、人権擁護委員、人権関係機関及び人権関係団体に関すること、大平隣保館、厚生センターの管理運営及び隣保館相談事業等に関することである。

主な事務事業の実施状況については、次のとおりである。

人権啓発活動については、特に人権擁護委員と連携を図り、市民の中に潜在的に存在するあらゆる差別や偏見を根絶し、一人ひとりがすべての人権問題の解決を自らの課題として受け止め、人権意識の高揚が図られるよう積極的に活動を推進し、各種啓発事業を実施した。

また、人権講演会や研修会、出前講座等の人権教育啓発推進事業を実施し、啓発活動の充実を図った。

大平隣保館並びに厚生センターは、人権問題の活動拠点として、地域住民に対して生活上の各種相談事業や地域交流のための事業を実施した。また、大平隣保館での機関誌の発行、厚生センターでの啓発用ビデオの貸し出しなど、広く市民に対する人権意識の高揚に努めた。

### 人権推進担当

#### 1 啓発事業

##### (1) 啓発活動の実施

###### ア 啓発記事の掲載

広報とちぎに「幸せを求めて」と題して啓発記事を掲載した。

###### イ 人権教育啓発推進事業委託実施状況

研修会等の名称	開催回数(回)	参加人数(人)	関係課等
特定職業従事者(消防職員)人権研修会	1	27	消防本部
人権連続講座(市職員対象)	4	239	全課
人権問題研修会並びに人権問題職場啓発推進員研修会	1	59	職員課
要保護児童対策地域協議会人権講演会	1	24	こども課
介護講演会	1	59	社会福祉協議会
P T A 関係研修会	1	26	西方小学校
民生委員研修会	1	67	大平 健康福祉課
民生委員研修会	1	42	藤岡 健康福祉課
高齢者相談員研修会	1	62	都賀地域包括支援センター

ウ 人権研修会各課開催状況

研修会等の名称	開催回数(回)	参加人数(人)	担当課
学校人権教育研修会	1	40	学校教育課
女性学級	6	219	生涯学習課
高齢者教室	5	194	生涯学習課

(2) 「栃木県人権教育・啓発推進県民運動強調月間」(8月)における市民啓発

ア 「とちぎ蔵の街サマーフェスタ2012」において、人権擁護委員と街頭啓発を実施し、啓発物品の配布を行った。

- ・実施日 8月4日(土)
- ・参加者 人権擁護委員7人、職員4人
- ・配布物 啓発用うちわ 450枚

イ 藤岡地域の事業所に対し、人権擁護委員と職場訪問をして企業啓発をし、啓発物品を配布した。

- ・実施日 8月10日(金)
- ・参加者 人権擁護委員6人、職員3人
- ・配布物 啓発用うちわ、ボールペン、化学雑巾 200セット

(3) 「人権週間」における市民啓発

12月4日(火)～10日(月)の「人権週間」において各種啓発活動を実施した。

ア 街頭啓発の実施

「人権週間」中、人権尊重思想の普及と高揚を図るため、街頭啓発を実施し、啓発物品の配布を行った。

- ・実施日 12月4日(火)
- ・啓発場所 ヤオハンアイム店、イオン栃木店、ヨークベニマル栃木祝町店
- ・参加者 人権擁護委員7人、運動団体4人(部落解放同盟栃木市協議会、部落解放愛する会栃木市協議会)、宇都宮地方法務局栃木支局職員1人、市職員5人
- ・配布物 啓発物品(チラシ、LEDライト、ボールペン、クリアファイル、ティッシュ) 450セット
- ・実施日 12月5日(水)
- ・啓発場所 とりせん藤岡店
- ・参加者 人権擁護委員6人、市職員2人
- ・配布物 啓発物品(靴磨き、チラシ、ティッシュ) 250セット

イ 懸垂幕、横看板の掲出

市役所本庁舎に懸垂幕、足利銀行栃木支店に横看板を掲出した。

- ・実施期間 12月3日(月)～11日(火)
- ・看板イメージ

12月4日～10日 「人権週間」
育てよう やさしい心と思いやり 栃木市

(4) 「地域のイベント」における市民啓発

各地域で開催されるイベントにおいて街頭啓発を実施し啓発物品の配布を行った。

ア 藤岡ふくしまつり

- ・実施日 10月21日（日）
- ・啓発場所 藤岡公民館ほか
- ・参加者 人権擁護委員6人、市職員2人
- ・配布物 啓発物品（LEDライト、ティッシュ） 250セット

イ まるまるまるごとつがまつり

- ・実施日 11月17日（土）
- ・啓発場所 都賀産文通り
- ・参加者 人権擁護委員2人、市職員1人
- ・配布物 啓発物品（LEDライト、ティッシュ） 200セット

ウ りんぼかんまつり

- ・実施日 3月10日（日）
- ・啓発場所 大平隣保館
- ・参加者 人権擁護委員6人、市職員1人
- ・配布物 啓発物品（LEDライト、人権マスコット人形） 250セット

(5) 「人権出前講座」の実施【平成24年度から実施】

学校や団体等へ職員が出向き、人権をテーマとした講座を行った。

実施日	場所	対象	参加者（人）
12月 5日（水）	栃木南小学校	5～6年生	132
12月 6日（木）	栃木第四小学校	6年生	24
12月13日（木）	栃木中央小学校	6年生	84

2 人権を考える市民の集い

- ・実施日 12月8日（土）
- ・場 所 栃木文化会館（大ホール及びホワイエ）
- ・備 考 教育委員会と共催
- ・参加者 約400人
- ・人権問題講演会 オープニング 童謡合唱(童謡歌おう会)  
 講演 自分色に輝く～21世紀の人権～  
 講師 作家・クレヨンハウス代表 落合恵子氏
- ・人権作品展 栃木人権擁護委員協議会主催 人権書道展2012年応募作品  
 栃木県子どもの人権ポスター原画コンテスト2012年応募作品  
 人権啓発物品の配布 エコバッグ、LEDライト、ボールペン  
 クリアファイル 400セット

3 人権擁護委員関係

(1) 人権相談所

各地域において定期の人権相談を実施したほか、特設相談を2回実施した。

・定期相談

地域	実施日	会場
栃木	毎月第2・第4金曜日	市役所正庁
大平	毎月第2火曜日	大平地域福祉センター
藤岡	偶数月第2水曜日	各地区公民館
都賀	毎月第4火曜日	老人憩いの家
西方	毎月18日	西方保健センター

・特設相談

名称	実施日	会場
人権擁護委員 の日	6月1日(金)	厚生センター・大平隣保館・藤岡公民館 老人憩いの家・西方保健センター
人権週間	12月4日(火)	厚生センター・大平隣保館
	12月5日(水)	藤岡公民館
	12月10日(月)	老人憩いの家・西方保健センター

(2) 人権週間

街頭啓発、小中学校・保育園等における人権講演会への講師としての参加等を行い人権尊重思想の普及高揚を図った。

(3) 「人権の花」運動

人権思想の普及高揚のための啓発活動は、幼少期のころから行うことがより効果的であることから、「人権の花」運動を実施した。児童がお互いに協力して花を栽培し、その花を他人に観賞してもらうこと等により、児童の情操をより豊かにし、人権思想への理解促進を図った。

・贈呈式

実施日	実施校	参加者(人)
6月5日(火)	藤岡小学校	256
6月11日(月)	合戦場小学校	347
6月12日(火)	大平南小学校	354
6月19日(火)	大宮南小学校	55
6月20日(水)	真名子小学校	55
7月2日(月)	皆川城東小学校	190
7月4日(水)	大宮北小学校	831

(4) 人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い法務局から推薦の依頼を受け、候補者を選出し、議会の議決を経て推薦をした。

・推薦 13人(再任9人、新任4人)

#### 4 同和対策関係事業の実施状況

##### (1) 民間団体との話し合い

同和対策事業及び同和教育について、円滑な推進を図るため、民間2団体役員と随時協議を行った。

##### (2) 部落解放同盟からの要請対応

###### ア 人権施策推進本部幹事会

- ・開催日 4月18日（水）
- ・会場 厚生センター
- ・出席者 幹事（総合政策部長・教育次長・全課長）
- ・内容 部落解放・人権行政確立のための要請書に係る経過等について  
2011年・2012年 部落解放・人権行政確立のための要請書回答（素案）  
について

###### イ 人権施策推進本部会議

- ・開催日 5月18日（金）
- ・会場 厚生センター
- ・出席者 本部員（副市長・教育長・全部長）、回答担当課長及び関係職員
- ・内容 部落解放・人権行政確立のための要請書に係る経過等について  
2011年・2012年 部落解放・人権行政確立のための要請書回答（原案）  
について

###### ウ 要請書回答に係る話し合い

- ・開催日 1月28日（月）
- ・会場 厚生センター
- ・出席者 市長、副市長、教育長、全部長、全課長、回答課の関係職員及び部落解放同盟栃木県連合会役員
- ・内容 部落解放・人権行政確立のための要請書に係る経過等について  
「2011年・2012年 部落解放・人権行政確立のための要請書」に係る  
主旨説明、質疑応答

##### (3) 「栃木市人権教育・啓発推進行動計画」の策定

###### ア 栃木市人権施策推進審議会

- ・開催日 12月25日（火）
- ・会場 市役所 3階 第5会議室
- ・出席者 市長・総合政策部長・人権推進課長・担当職員及び人権施策推進審議会委員
- ・内容 委嘱状交付、正副会長の選出、「栃木市人権教育・啓発推進行動計画」  
策定に係る主旨説明、質疑応答

###### イ 人権問題に関する市民意識調査の実施

- ・対象 市内在住の満20歳以上の中から無作為抽出した3,000人  
市職員、民間運動団体会員

## 5 研修会等参加状況

研 修 会 等 名	期 日	場 所	参加者(人)
栃木人権擁護委員協議会第一部会定期総会及び第1回研修会	4月17日(火)	ニューアプロニー	5
部落解放同盟栃木市協議会第3回総会	4月29日(日)	大平隣保館	10
栃木人権擁護委員協議会定時総会	5月15日(火)	厚生センター	2
部落解放同盟栃木県連合会第40回記念大会及び記念集会	5月27日(日) 28日(月)	鬼怒川観光ホテル	11
部落解放愛する会栃木県連合会第37回定期大会	6月2日(土)	小山市文化センター	16
平成24年度下都賀地区人権フォーラム	6月28日(木)	大平文化会館	6
第9回栃木県人権研究集会	6月30日(土)	とちぎ健康の森	18
部落解放第44回東日本研究集会	7月4日(水) 5日(木)	群馬県みなかみ町	2
部落解放愛する会栃木県連合会県連役員と担当行政職員との合同視察研究会	7月4日(水) ～6日(金)	大阪府・奈良県	1
部落解放愛する会栃木県連合会女性部第34回定期大会	7月7日(土)	佐野市城北地区公民館	4
栃木・真岡人権啓発活動地域ネットワーク協議会	7月25日(水)	宇都宮地方法務局栃木支局	1
部落解放同盟栃木市協議会「2012人権セミナー」	8月10日(金)	大平文化会館	10
映画と講演の集い	8月22日(水)	栃木県総合文化センター	2
部落解放第57回関東女性集会	8月25日(土) 26日(日)	群馬県みなかみ町	2
2012年度人権センターとちぎ連続講座①～⑥	9月～12月	人権センターとちぎ(小山市)	延べ11
部落解放愛する会栃木県連合会女性部役員研修会	9月12日(水) 13日(木)	長野県千曲市	2
第14回栃木県ヒューマンライツセミナー	10月2日(火)	パルティ(宇都宮市)	20
部落解放愛する会二市一町合同視察研修会	10月3日(水) ～5日(金)	宮城県登米市	2
栃木人権擁護委員協議会第一部会視察研修	10月19日(金)	茨城県水戸市	2
部落解放同盟栃木市協議会2012年会員研修	10月26日(金) 27日(土)	宮城県気仙沼市 岩手県陸前高田市	5
部落解放愛する会栃木県連合会「人権講演会」	10月26日(金)	小山市文化センター	15
部落解放研究第46回全国集会	11月7日(水) ～9日(金)	滋賀県長浜市	2
部落解放愛する会栃木県連合会会員研修会	11月19日(月) 20日(火)	日光市	8
第64回全国人権・「同和」教育研究大会	12月1日(土) 2日(日)	岡山県倉敷市	1

世界人権宣言64周年記念東京集会	12月5日(水)	東京都千代田区	1
部落解放同盟栃木県連合会2013年荊冠旗びらき	1月11日(金)	サンプラザ	9
第27回人権啓発研究集会	1月31日(木) 2月1日(金)	和歌山県白浜町	2
栃木人権擁護委員協議会第一部会研修会	2月19日(火)	厚生センター	2

## 事業推進担当

### 1 大平隣保館事業

#### (1) 相談事業

##### ア 外国人相談

通訳を招き、日本語講座と併せて開設。

- ・実施日時 毎月第3土曜日 午後8時～10時
- ・実施回数 12回
- ・相談件数 2件

##### イ 年金相談

専門相談員を招き開設。

- ・実施日時 毎月第4土曜日 午前10時～12時
- ・実施回数 12回
- ・相談件数 8件

##### ウ 弁護士相談

弁護士を招き、予約制にて開設。

- ・実施日時 奇数月第3木曜日 午前10時～12時
- ・実施回数 6回
- ・相談件数 35件

##### エ 生活困りごと相談

大平隣保館にフリーダイヤルを設けて、職員による生活相談を随時行った。

- ・相談件数 27件

##### オ 内容別相談件数

項 目	件 数(件)	項 目	件 数(件)
生活相談	37	福祉相談	7
健康相談	-	医療年金相談	8
教育児童相談	1	職業相談	2
住宅相談	6	人権相談	4
市税等相談	6	環境衛生相談	1
計		72	

#### (2) 啓発事業

##### ア 人権講演会(栃木市集会所・大平隣保館合同)

- ・実施日 11月21日(水)

- ・場 所 大平文化会館
- ・内 容 講演 「栃木県における部落解放運動について」～よき日のために～  
講師 部落解放同盟栃木県連合会 事務局長 戸田 眞 氏
- ・参加者 300人

イ 情報誌の発行

隣保館事業の周知と人権問題を広く啓発普及するため、人権教育啓発情報誌「こだま」を年3回発行し、大平地域内に全戸配布した。

- ・情報誌発行状況 7月・11月・3月号
- ・発行部数 各9,200部（A4版 10頁）

ウ 児童生徒による人権作文集の発行

小中学生の人権意識の目覚めと高揚を目的に、人権に関する作文・標語・書道作品を児童生徒から募り、作文集「こころのまど」を発行した。

- ・作文集発行状況 平成25年3月号
- ・発行部数 600部（A4版 104頁）

(3) 地域交流事業

ア 野外研修事業

大平隣保館の利用者間の交流と親睦を深めるため、市有バスを使用して野外研修を行った。

研修先及び内容	実施日	参加者(人)
群馬県太田市 工場見学	6月22日(金)	28
東京都千代田区 美術鑑賞・プラネトリウム	6月27日(水)	28
群馬県沼田市 自然散策	7月10日(火)	27

イ 隣保館主催教室

教 室 名	開催回数(回)	延べ参加者(人)
シルバー生き生き塾	8	174
日本語講座	19	24
健康運動教室	9	132
ウクレレ教室	6	38

ウ りんぽかんまつり

隣保館事業の成果発表と地域交流を目的に、部落解放同盟栃木市協議会及び大平町新第3・第4自治会の協賛にて、りんぽかんまつりを開催した。

- ・実施日時 3月10日(日) 9:30～15:00
- ・場 所 大平隣保館
- ・来 場 者 約1,300人
- ・内 容 自主グループによる作品の展示、実演、即売、実技発表会  
協賛団体による各種模擬店、もちつき大会  
人権擁護員による人権啓発物品の配布、人形劇の開催

地元消防団による消防ポンプ車試乗会  
 義援金活動  
 非常食の配布

エ 夏休み親子体験教室

- ・実施日 8月3日（金）
- ・参加者 12人
- ・内容 「エコクラフト」によるカゴ等の作成を親子で体験

オ 夏休み子どもお楽しみ劇場

- ・実施日 8月7日（火）
- ・参加者 68人
- ・内容 「しゃぼん玉パフォーマンスと体験指導」、映画「ATOM」鑑賞

カ りんぼかん書初め席書大会

- ・実施日 1月5日（土）
- ・参加者 21人
- ・内容 園児から小学生を対象にした書初め

キ 自主グループ活動

施設を定期利用する団体(自主グループ)による活動を通じて、地域交流を図った。

活動団体	利用件数	利用人数
31団体	739件	6,411人

(4) 地域福祉事業

事業名及び内容	開催回数(回)	延べ参加者(人)	備考
ふれあい交流会 高齢者の地域交流・健康維持事業等	12	186	
藤岡ふれあいの集い 耳うどん作り体験・園児発表会ほか	1	39	
子育て支援研修会 「心がホッとする子育て」～親と子の絆づくり～	1	26	大平総合支所 健康福祉課と共催

(5) 栃木県隣保館連絡協議会並びに全国隣保館連絡協議会主催研修会等への参加

ア 栃木県隣保館連絡協議会

各種会議や研修会に参加した。

区分	実施日	会場等
定期総会	4月12日（木）	大平隣保館
理事会	6月8日（金）	鹿沼市
	10月10日（水）	県外視察時車中
	2月19日（火）	鹿沼市
研修会	7月20日（金）	栃木市
	8月30日（木）	足利市
	11月1日（木）	小山市

県外研修会	10月10日（水）、11日（木）	千葉県香取市ほか
県連懇談会	5月16日（水）	鹿沼市

イ 全国隣保館連絡協議会  
各種会議や研修会等へ参加した。

区 分	実施日	開催地
第49回全国隣保館職員東日本ブロック研修会	11月27日（火）、28日（水）	埼玉県熊谷市

## 2 厚生センター事業

### (1) 相談事業

項 目	件 数(件)	項 目	件 数(件)
生活相談	94	福祉相談	113
健康相談	7	医療年金相談	23
教育児童相談	-	職業相談	10
住宅相談	21	人権相談	7
市税等相談	-	環境衛生相談	-
計		275	

### (2) 啓発事業

#### ア 啓発用ビデオの貸出し

各種研修会・講演会等において、人権問題を広く啓発普及するため、啓発用ビデオの貸出しを行った。また、啓発用ビデオを1本新規購入した。

- ・貸出状況 90件（延べ視聴者3,942人）
- ・購入ビデオ 「職場の日常から考えるパワーハラスメント」

#### イ 図書及び啓発資料の貸出し

人権問題、同和問題の啓発等に関する図書及び資料の貸出しを行った。

### (3) 地域交流事業

#### ア 夏休み交流事業「レクリエーションとビデオ上映会」

- ・実施日 7月24日（火）
- ・参加者 48人
- ・内 容 レクリエーション、昼食、啓発物品等配布、  
人権啓発ビデオ上映「えっ！これも人権？」

#### イ 冬休み交流事業「レクリエーションとビデオ上映会」

- ・実施日 12月26日（水）
- ・参加者 55人
- ・内 容 レクリエーション、昼食、啓発物品等配布、  
人権啓発ビデオ上映「ねずみくんの気持ち」

#### ウ 読み聞かせ学習・発表会

##### (ア) 読み聞かせ体験講座 3回連続

- ・実施日 2月5日（火）、12日（火）、19日（火）
- ・場 所 厚生センター

- ・参加者 9人
- ・内 容 「なめとこ山の熊」「手ぶくろを買いに」
- ・協 力 読み聞かせボランティア「九輪草の会」

(イ) 読み聞かせ会

「ほんとあそぼう」おはなしの会

- ・実施日 2月17日（日）
- ・場 所 厚生センター
- ・参加者 29人

・内 容 朗読とスライド映写

「ひさの星」「手ぶくろを買いに」「風の又三郎」

・協 力 読み聞かせボランティア「九輪草の会」

エ 厚生センター自主講座【平成 24 年度から実施】

(ア) 第 1 回 布ぞうり作り（2 日間連続講座）

- ・実施日 10月29日（月）13時30分～15時30分  
10月30日（火）13時30分～15時30分
- ・場 所 厚生センター 和室
- ・参加者 延べ43人

(イ) 第 2 回 布ぞうり作り（2 日間連続講座）

- ・実施日 11月29日（木）9時00分～11時00分  
11月30日（金）13時30分～15時30分
- ・場 所 厚生センター 和室
- ・参加者 延べ47人（第1回に参加できなかった方々）

(4) ボランティア団体等の活動支援

ア 登録団体への無償貸館

登録団体	貸出件数	利用人数
8団体	196件	1,297人

イ 読み聞かせ学習グループ「九輪草の会」の活動支援

朝の読み聞かせ	栃木第四小学校
保育園訪問読み聞かせ	はこのもり保育園
	ぬまわだ保育園
要請による出張朗読	吹上地区高齢者学級
	紬の会

(5) 栃木県隣保館連絡協議会並びに全国隣保館連絡協議会主催研修会等への参加

ア 栃木県隣保館連絡協議会

各種会議や研修会に参加した。

区 分	実施日	会場等
定期総会	4月12日（木）	大平隣保館
理事会	6月8日（金）	鹿沼市
	10月10日（水）	県外視察時車中

	2月19日(火)	鹿沼市
研修会	7月20日(金)	栃木市
	8月30日(木)	足利市
	11月1日(木)	小山市
	10月10日(水)、11日(木)	千葉県香取市ほか
県外研修会	10月10日(水)、11日(木)	千葉県香取市ほか
県連懇談会	5月16日(水)	鹿沼市

イ 全国隣保館連絡協議会  
各種会議や研修会等へ参加した。

区 分	実施日	開催地
第49回全国隣保館職員東日本ブロック研修会	11月27日(火)、28日(水)	埼玉県熊谷市

## 第 8 節 地域医療対策室

### 〔総括概要〕

地域医療対策室の主な分掌事務は、地域医療再生対策に関する事務である。

下都賀総合病院運転資金貸付事業については、栃木県南医療圏において二次救急を担う中核的病院である下都賀総合病院は、建物及び設備の老朽化が進行するとともに、医師不足により一部診療科の休止・縮小を余儀なくされるなど厳しい運営状況にあるため、開設者である栃木県厚生農業協同組合連合会に運転資金の貸付を行い、下都賀総合病院の運営を支援した。

地域医療対策基金積立事業については、市民の保健福祉の増進、地域医療の充実及び強化を図る事業の財源に充てるための基金を設置し、設置目的事業への充当と、利子収入等の積立てを行った。

栃木地区病院統合再編事業については、栃木地区メディカルセンター第1病院（仮称）の建替え整備及び栃木地区の3病院（下都賀郡市医師会病院、下都賀総合病院、とちの木病院）の統合再編の取組に対して、支援を行った。

### 地域医療対策担当

#### 1 下都賀総合病院運転資金貸付事業

- ・貸付名称：栃木県厚生連運転資金貸付金
- ・用途：栃木県厚生連が開設する下都賀総合病院の運営に要する運転資金
- ・貸付金額：3億円
- ・貸付期間：4月2日から3月13日

#### 2 地域医療対策基金積立事業

（単位：円）

平成 23 年度末現在高	積立金額	繰出金額	平成 24 年度末現在高
473,522,088	1,501,017,943	△180,618,042	1,793,921,989

#### 3 栃木地区病院統合再編事業

##### (1) 栃木地区病院統合再編協議会の開催支援

栃木地区病院統合再編協議会の事務局として、栃木地区の3基幹病院の統合再編と、新法人の立ち上げが円滑に進むよう支援した。

開催日	場所	内容
6月19日 (火)	栃木保健福祉センター	(1)平成23年度事業実績報告及び決算報告について (2)平成24年度事業計画（案）について (3)栃木地区メディカルセンター（仮称）構想について
10月2日 (火)	栃木保健福祉センター	(1)栃木地区メディカルセンター（仮称）構想の進捗について ア 法人設立の進捗状況について イ 設整備等の進捗状況について

3月27日 (水)	栃木保健福祉センター	(1)一般財団法人とちぎメディカルセンターの設立等 について (2)協議会の今後の運営について
--------------	------------	---

(2) 栃木市地域医療確保対策本部会議の開催について

栃木地区医療圏が抱える喫緊の課題に全庁を挙げて迅速に対応するため、栃木市地域医療確保対策本部会議を開催した。

開催日	議題
5月25日(金)	栃木地区メディカルセンター（仮称）基本構想について
12月14日(金)	栃木地区メディカルセンター（仮称）について
3月18日(月)	栃木地区メディカルセンター（仮称）について

(3) 新病院建設に係る地元説明会の開催

栃木地区メディカルセンター第1病院（仮称）の建設に伴い、周辺道路の整備や農業用水路の付け替え等が必要になるため、説明会を開催し、地元住民の意見を聴取した。

開催日	会場	対象者	参加人員(人)
10月25日(木)	栃木文化会館 小ホール	病院建設予定地周辺居住者	31
10月26日(金)			84
10月28日(日)	市役所 正庁		13
12月10日(月)	上牛久公民館		33
1月22日(火)	大平東地区公民館	病院建設予定地周辺農業者	23

(4) 広報とちぎへの掲載

3病院の統合再編の進捗状況や地域医療に関する情報を広報とちぎへ掲載し、市民への周知を図った。

掲載時期	記事内容
10月号	栃木地区メディカルセンター（構想）について
11月号	栃木地区メディカルセンター（仮称）の概要について
12月号	地域医療連携について
1月号	救急医療について
2月号	救急医療と救急車について
3月号	とちぎメディカルセンターの診療体制について

## 第2章 総務部

### 第1節 総務課

#### 〔総括概要〕

総務課の主な分掌事務は、組織機構、行政区域、事務の合理化、行政改革、指定管理者、情報公開、個人情報保護、文書管理、条例規則の制定改廃、市議会との連絡調整等である。

平成24年度は、重点事業として、組織機構の見直し、自治基本条例制定、非核平和事業、指定管理者の管理状況評価、文書管理システムの導入、情報公開及び個人情報保護制度の適切な運用に努めた。

主な事務事業の実施状況については、次のとおりである。

組織機構については、効率的な行財政運営を実現し、なおかつ市民ニーズに的確に対応した、市民目線の分かりやすい組織機構の確立を目指し、全部課長のヒアリングを経て、政策会議等において審議検討を行い、見直しを実施した。

行政改革については、行政改革大綱の策定について総合計画策定懇談会の意向やパブリックコメントに寄せられた意見などを踏まえ、行政改革大綱・財政自立計画並びに実施計画を策定した。

自治基本条例については、前年度取りまとめられた条例案を6月定例議会に上程し、同議会による議決を経て10月1日に施行された。

指定管理者制度については、全ての制度導入施設について管理状況評価を行い、評価結果をホームページにおいて公表した。また、新たな管理状況評価の制度を策定し、次年度から実施することとした。なお、指定管理者の選定については、公募及び公募外により2施設について、選定を行った。

非核平和事業では、平成24年3月の非核平和都市宣言を基に、原爆パネル展及び戦争体験を聞く会等の啓発事業を実施し、また、本市として初めて広島平和記念式典に中学生を派遣した。

職員提案については、すべての職員が気軽に提案できる組織風土、職場環境を整備すること等を目的として11月に栃木市職員提案制度「市長ホットライン」実施要項を制定し、職員から提案を募集した。

情報公開及び個人情報保護については、「栃木市情報公開条例」や「栃木市個人情報保護条例」の円滑な運用に努めた。また、情報公開・個人情報保護審査会を開催し、2件の事案を審査した。

文書管理については、文書の収受、配布、発送の迅速かつ的確な処理を行うとともに、文書管理システムの導入により本庁及び総合支所ごとに異なっていた文書管理事務の標準化を図り、文書管理の適正な運用に努めた。

市議会については、定例会及び臨時会を6回招集し、189件の議案等を提出した。

また、条例、規則及び訓令については、150件の制定改廃を行った。なお、例規集については平成22年11月からデータベース化し、パソコンでの検索を可能とした。

## 行政管理担当

### 1 組織機構の見直し

#### (1) 平成24年度中に実施した見直しの主な内容

- ・老朽化した斎場の再整備推進のため、生活環境部に斎場整備室を新設した。

#### (2) 平成24年度に検討し平成25年4月に実施した見直しの主な内容

##### ア 総合政策部

- ・総合政策課に遊水地ワイズユース担当を新設した。
- ・総合政策課に水資源対策及び土地利用に関する分掌事務を一元化した。
- ・財政課に財政状況の調査に関する分掌事務を一元化した。
- ・人権推進課を生活環境部へ移管し、女性青少年課と統合した。

##### イ 総務部

- ・総務課に例規に関する分掌事務を一元化した。
- ・契約検査課に建設工事等及び物品購入等の契約に関する分掌事務を一元化した。
- ・消防防災課を危機管理課に改め、防災その他危機管理に関する分掌事務及び自衛官募集に関する分掌事務を一元化した。

##### ウ 理財部

- ・施設管理課庁舎管理担当を管財課へ移管した。
- ・施設管理課を建築課に改め、都市整備部に移管した。
- ・収税課債権管理指導担当を収税担当に統合した。

##### エ 生活環境部

- ・新エネルギー対策室を新設し、新エネルギー対策担当を置いた。
- ・人権推進課及び女性青少年課を統合し人権・男女共同参画課とし、人権推進担当及び男女共同参画担当を置いた。
- ・人権・男女共同参画課に男女共同参画に関する分掌事務を一元化した。
- ・働く婦人の家等労働関連施設を商工観光課へ移管した。
- ・青少年健全育成に関する分掌事務を教育委員会生涯学習課へ移管した。

##### オ 保健福祉部

- ・社会福祉課に調査指導担当を新設し、認可外保育施設の届出の受理等に関する分掌事務を一元化した。
- ・こども課に養育支援家庭訪問事業に関する分掌事務を一元化した。
- ・こども課に児童館、地域子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターに関する分掌事務を一元化した。
- ・保育課を新設し、保育担当を置き、保育所及び幼稚園就園奨励費その他の分掌事務を一元化した。
- ・高齢福祉課にねんりんピック推進担当を新設した。

##### カ 産業振興部

- ・商工観光課に労働関連施設等に関する分掌事務を一元化した。

##### キ 都市建設部・上下水道部

- ・都市建設部及び上下水道部を建設水道部及び都市整備部に統合再編した。

- ・道路及び河川等の土木分野に関する分掌事務を建設水道部に一元化した。

(ア) 建設水道部

- ・都市整備課及び維持管理課並びに水道課を再編し、建設水道部に道路課、河川緑地課、下水道課、水道業務課、水道工務課を置いた。
- ・道路課に監理担当、道路整備担当及び道路維持担当を置き、道路に係る整備及び維持管理を所掌することとした。
- ・河川緑地課に河川担当及び公園緑地担当を置き、河川及び公園等に係る整備及び維持管理を所掌することとした。
- ・水道業務課に業務担当を、水道工務課に工務担当を置いた。

(イ) 都市整備部

- ・都市整備部に都市計画課、建築課及び建築指導課を置いた。
- ・都市計画課に伝建まちづくり担当を新設した。
- ・建築課に市有建築物の営繕に関する分掌事務を一元化し、住宅担当及び建築担当を置いた。

ク 部の体制強化のため、必要に応じて副部長を置くことができることとした。

ケ 各総合支所

- ・総合支所次長の職名を総合支所長とした。
- ・地域まちづくり課総務担当及び理財担当を統合し総務担当とした。

コ 教育委員会

- ・教育次長の職名を教育部長とした。
- ・組織体制強化のため、必要に応じて教育副部長を置くことができることとした。
- ・各教育支所教育総務担当を教育総務課に統合した。

サ 消防本部

- ・総務課を消防総務課に改め、庶務係及び企画係を統合し消防総務係を置いた。
- ・予防課指導係を予防係に統合した。
- ・通信指令第1課と通信指令第2課を統合し通信指令課とし、指令第1係及び指令第2係を置いた。
- ・消防署消防第1課及び消防第2課の予防係を消防係に統合した。
- ・消防署通信指令第1課及び通信指令第2課を廃止した。

2 市政年報

平成23年度の栃木市政の概要を収録した市政年報を作成した。

配布部数

配布先	冊子版 (冊)	CD版 (枚)	配布先	冊子版 (冊)	CD版 (枚)
市議会議員	34	-	市長、副市長、教育長	3	-
各地域自治区区長	4	-	総務課	3	3
情報推進課	-	1	議事課	1	-
各総合支所(幹事課)	4	-	生涯学習課	6	-

図書館	5	-	監査委員事務局	1	-
			合計	61	4

### 3 地縁による団体の法人認可

地縁による団体（自治会等）が不動産等に関する権利等を保有するための法人格を付与する認可等を行った。

#### (1) 認可地縁団体登録

地縁による団体の法人認可登録件数

74団体（栃木地域 44団体、大平地域 5団体、藤岡地域 22団体、都賀地域 3団体）

#### (2) 認可地縁団体印鑑登録

認可地縁団体の印鑑登録件数

57団体（栃木地域 43団体、大平地域 4団体、藤岡地域 10団体）

#### (3) 各種申請状況 （単位：件）

申請	件数	申請	件数
認可申請	2	規約変更認可申請	—
印鑑登録申請	1	告示事項証明申請	5
告示事項変更申請	1	印鑑登録証明申請	2

### 4 行政改革

新市の行政改革大綱は、総合計画との一体的な計画策定を進めるため、総合計画策定懇談会やパブリックコメントに寄せられた意見などを踏まえ、11月に行政改革大綱・財政自立計画を策定した。

また、3月には行政改革大綱・財政自立計画の着実な実施と目標とする成果を達成するためのツールとして、実施計画を策定した。

### 5 指定管理者制度

#### (1) 指定管理者選定委員会の開催

開催日	内容
8月21日（火）	管理状況評価
9月20日（木）	指定管理者選定
10月2日（火）	指定管理者選定

#### (2) 選定委員会による管理状況評価（3次評価）を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称	評価
1	とちぎ蔵の街観光館	社団法人栃木市観光協会	A
2	倭町駐車場	社団法人栃木市観光協会	A
3	そのべ児童館	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	A
4	長寿園	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	A

5	おおひら歴史民俗資料館	NPO 法人自然と人間の森おおひら	A
6	大平健康福祉センター	いすゞビルメンテナンス株式会社	A
7	大平まちづくり交流センター	株式会社プラッツおおひら	A

※評価はA・B・Cの3段階評価

※上記施設以外は、指定管理者による自己評価（1次評価）及び施設所管課による評価（2次評価）を実施

(3) 公募により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称
1	渡良瀬の里	株式会社メディカルフィットネスとちの木

※指定管理者制度新規導入

(4) 公募外により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称
1	藤岡高齢者生きがいセンター	社団法人栃木市シルバー人材センター

6 自治基本条例

自治の基本理念及び基本原則や行政運営のルールを定めた自治基本条例を10月1日に施行し、同条例の効果的な運用を図るため関連例規等の整備を行った。

また、制定に際して、広く市民への周知を図るため、記念講演会の開催、パンフレットの作成及び配布を行った。

(1) 周知活動

ア 栃木市自治基本条例施行記念講演会の開催

- ・ 講 師 児玉博昭氏（白鷗大学法学部教授）  
「栃木市自治基本条例の目指すもの」
- ・ 実 施 日 9月21日（金）
- ・ 場 所 栃木文化会館小ホール
- ・ 参加人数 268人

イ パンフレット作成

- ・ 作成部数 49,000部（A4 2色刷り 8ページ）
- ・ 周知方法 広報とちぎ全戸配布・自治基本条例施行記念講演会及びとちぎ協働まつり会場で配布。

(2) 自治基本条例関連例規等の整備

No.	自治基本条例の関連条文	制定した例規等	制定年度
1	第27条5項	栃木市審議会等の設置及び運営に関するガイドライン	24
2	第33条	栃木市個別外部監査契約に基づく監査に関する条例	24

3	第 33 条	栃木市個別外部監査契約を締結しようとする相手方の資格を証する書面等の閲覧に関する規則	24
---	--------	--	----

## 7 非核平和事業

### (1) 原爆パネル展

開催期間	会場	来場者数(人)
7月31日(火)～8月5日(日)	都賀公民館ロビー	141
7月31日(火)～8月5日(日)	西方総合文化体育館 ロビー	
8月1日(水)～15日(水)	大平公民館	150
8月6日(月)～11日(土)	栃木文化会館 リハーサル室	246
8月14日(火)～18日(土)	藤岡公民館 ロビー	171
合 計		708

・ 展示内容 原爆投下後の惨状を収めた写真パネル等

・ 栃木文化会館では、原爆の図複製パネル(原画の1/2サイズ)も併せて展示

〔 原爆の図第4部 虹/第5部 少年少女/第6部 原子野/第7部 竹やぶ/  
第8部 焼津 丸木位里・丸木俊 作 原爆の図丸木美術館より借用 〕

・ 各会場に折鶴作製スペースを設置

(618羽回収・平成25年度広島派遣にて原爆の子の像に奉納予定)

### (2) 戦争体験を聞く会

戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識する機会として、戦地に出征した方や空襲を経験した地元の方に戦時中の貴重な体験を話していただいた。

	開催日時	会場	来場者数(人)
第1回	8月4日(土) 午前10時～	都賀公民館 講堂	27
第2回	8月5日(日) 午前10時～	西方総合文化体育館 研修室	83
第3回	8月11日(土) 午前10時～	大平公民館 第1・2会議室	47
第4回	8月12日(日) 午前9時30分～	栃木文化会館 リハーサル室	73
第5回	8月18日(土) 午前10時～	藤岡公民館 大会議室	35
合 計			265

### (3) 広島平和記念式典中学生派遣

・ 派遣団員 市立中学校2年生男女各1人ずつ 計26人

・ 随行 派遣団長、学校教育課職員1人及び総務課職員2人 計4名

	開催日時	会場	内容
事前説明会	7月20日(金)18時～	正庁	団長挨拶 自己紹介 事業内容・行程等説明
壮行会	7月28日(土)10時～	正庁	市長、教育長挨拶 団員代表挨拶 記念撮影
事前学習会	7月28日(土)壮行会終了後	正庁	広島への原爆投下等に関する 事前学習
広島派遣	8月5日(日)～7日(火)	—	広島市原爆死没者慰霊式・平 和祈念式参列 広島平和記念資料館・平和記 念公園見学 元安川灯籠流し 被爆体験講話受講 ほか
報告会準備・ リハーサル	8月18日(土)9時～	正庁	報告会の準備・リハーサル
報告会	8月25日(土)10時～	正庁	研修内容の発表 講評(副市長)

## 8 職員提案

職員提案については、すべての職員が気軽に提案できる組織風土、職場環境を整備すること等を目的として11月に栃木市職員提案制度「市長ホットライン」実施要項を制定し、職員から提案を募集した。また、4名の職員より9件の提案があり、うち5件の提案について採用された。

### (1) 提案分野及び件数

- ・市の政策、施策に関する分野 4件
- ・市の業務の改善に関する分野 2件
- ・組織や職場環境に関する分野 3件
- ・市長が特定の課題を設け提案を求める分野 0件

### (2) 採用された提案

- ・市の「ゆるキャラ」の設定
- ・庁内LANを使った幹部職員の在席状況の表示
- ・不要な消耗品の再利用
- ・時間外勤務の削減
- ・イントラネットにおけるバナー広告の実施

## 9 調査委員会の開催

- (1) 西方総合支所産業建設課職員が関与した同課所管任意団体からの預り金の使途不

明金について事実関係を明らかにするため「西方総合支所産業建設課所管任意団体からの預り金の使途不明金調査委員会」を設置、開催した。

ア 調査委員会委員

- ・委員長 総務部長
- ・副委員長 西方総合支所次長
- ・委員 総務部参事、総務課長、職員課長

イ 調査委員会開催回数

5月8日(火)～6月18日(月)までの期間 合計12回開催

ウ 報告書提出日

6月21日(木)

- (2) 7月17日(火)にはこのもり保育園で発生した誤嚥死亡事故について、事実関係を明らかにするとともに、今後の防止対策を検討するため「はこのもり保育園嚥事故調査委員会」を設置、開催した。

ア 調査委員会委員

- ・委員長 川瀬善美氏(白鷗大学教授)
- ・副委員長 斉藤伸夫氏(栃木市医師会長)
- ・委員 砂川智弘氏(弁護士)、大塚和子氏(栃木県栄養士会栃木支部長)

イ 調査委員会開催回数

8月28日(火)～11月9日(金)までの期間 合計7回開催

ウ 報告書提出日

11月26日(月)

文書法規担当

1 情報公開・個人情報保護関係

- (1) 市政情報センター及び市政情報コーナーの設置

情報公開の総合窓口として市役所3階に設置した市政情報センターにおいて、市民の相談に応じるほか、各種行政資料を常時公開するとともに、各公民館の図書コーナーにも市政情報コーナーを設け、各種行政資料を常時公開した。

- (2) 市民へのPRの実施

情報公開制度及び個人情報保護制度の案内について、市ホームページに掲載した。

- (3) 実施状況

平成24年度には、情報公開請求が35件、個人情報開示請求が12件あり、状況は次のとおりである。

・請求件数及び公開等の決定状況(単位:件)

情報公開 請求件数	公開等の決定状況		
	公開	部分公開	非公開
35	10	24	1

個人情報開示 請求件数	開示等の決定状況		
	開示	部分開示	非開示
12	6	4	2

- (4) 審査会開催状況

情報公開・個人情報保護審査会

- ・実施日 8月7日(火)

- ・議 題 建築行政共用データベースシステムについて  
各種証明書等のコンビニ交付システムについて

2 告示

- ・件数 401 件

3 栃木市公報の発行

- ・年 12 回発行 第 25 号（4 月 15 日）～第 36 号（3 月 15 日）

4 文書管理関係

(1) 文書管理システムの導入

全庁的に文書管理の統一的な運用を図るため、新たな文書管理システムを導入した。

ア 文書管理システム導入検討部会等

- ・文書管理担当者会議の開催 3 回
- ・文書管理研究会の開催 6 回
- ・文書管理システム導入検討部会の開催 2 回

イ 文書管理システム操作研修会の実施

職員を対象として、新たに導入した文書管理システムの操作研修会を実施した。

実施期間	2 月 14 日（木）・15 日（金）・19 日（火）
受講者数	242 人

(2) 文書取扱件数

（単位：件）

区 分	郵便文書	県文書使送車による県庁からの文書	合計
收受文書	167,782	6,669	174,451
発送文書	881,501	2,165	883,666

5 文書印刷

- (1) 印刷機年間利用枚数 4,233,509 枚
- (2) コピー機年間利用枚数 6,179,591 枚（内 カラーコピー枚数 154,612 枚）

6 市議会関係

招 集 日	会議別	提 出 議 案 等
5 月 15 日（火）	臨時会	議案第 56 号～議案第 59 号 報告第 10 号
6 月 1 日（金）	定例会	議案第 60 号～議案第 73 号 報告第 11 号～報告第 21 号
8 月 31 日（金）	定例会	議案第 74 号～議案第 91 号 報告第 22 号～報告第 28 号 認定第 9 号～認定第 20 号

11月12日(月)	臨時会	議案第92号～議案第97号
11月30日(金)	定例会	議案第98号～議案第142号 報告第29号～報告第30号
2月25日(月)	定例会	議案第1号～議案第66号 報告第1号～報告第3号

## 7 条例、規則等の審査、制定及び改廃

### (1) 例規審査委員会

本市において制定する条例等の適正を期するため、条例等を審査し、立案を指導助言する栃木市例規審査委員会を開催した。

- ・委員会の開催 27回
- ・審議件数 289件

### (2) 法令の制定・改廃等に伴い、本市の条例・規則等を整備した。(番号は暦年)

#### ア 条例

番号	題 名	公布年月日	施行年月日
27	栃木市自治基本条例	平成24年6月1日	平成24年10月1日
28	栃木市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例	平成24年6月29日	平成26年2月10日
29	栃木市税条例の一部を改正する条例	平成24年6月29日	平成24年6月29日
30	栃木市印鑑条例の一部を改正する条例	平成24年6月29日	平成24年7月9日
31	栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	平成24年6月29日	平成24年6月29日
32	栃木市災害見舞金条例の一部を改正する条例	平成24年6月29日	平成24年7月9日
33	栃木市立学校設置条例の一部を改正する条例	平成24年6月29日	平成26年4月1日
34	栃木市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例	平成24年6月29日	平成24年8月1日
35	栃木市斎場条例の一部を改正する条例	平成24年6月29日	平成24年7月1日
36	栃木市議会基本条例の一部を改正する条例	平成24年9月6日	平成24年10月1日
37	栃木市債権管理条例	平成24年9月28日	平成25年4月1日
38	栃木市人権施策推進審議会条例の一部を改正する条例	平成24年9月28日	平成24年10月1日
39	栃木市防災会議条例及び栃木市災害対策本部条例の一部を改正する条例	平成24年9月28日	平成24年9月28日
40	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	平成24年9月28日	平成24年9月28日

41	栃木市火災予防条例の一部を改正する条例	平成24年9月28日	平成24年12月1日
42	栃木市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	平成24年11月19日	平成24年12月1日
43	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	平成24年12月4日	平成24年12月4日
44	栃木市重要伝統的建造物群保存地区における栃木市税条例及び栃木市都市計画税条例の特例を定める条例	平成24年12月28日	平成24年12月28日
45	栃木市住民基本台帳カードの利用に関する条例	平成24年12月28日	平成25年4月15日
46	栃木市道路構造条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
47	栃木市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
48	栃木市都市公園法に基づく都市公園及び公園施設の設置の基準を定める条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
49	栃木市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
50	栃木州市道に設ける道路標識の寸法を定める条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
51	栃木市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
52	栃木市衛生センター条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
53	栃木市下水道条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
54	栃木市隣保館条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
55	栃木市農村振興総合センター条例等の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
56	栃木市藤岡城山コミュニティセンター条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
57	栃木市藤岡遊水池会館条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
58	栃木市渡良瀬の里条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
59	栃木市真名子夢ホール条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
60	栃木市公民館条例等の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日

61	栃木市公園有料公園施設に関する条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
62	栃木市公園条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
63	栃木市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
64	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成24年12月28日
65	栃木市税条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成24年12月28日
66	栃木市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年4月1日
67	栃木市学童保育施設条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年2月21日
68	栃木市遺児手当支給条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成24年12月28日
69	栃木市学童保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成24年12月28日
70	栃木市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成24年12月28日	平成25年1月1日
1	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	平成25年3月1日	平成25年3月1日
2	栃木市部設置条例等の一部を改正する条例	平成25年3月1日	平成25年4月1日
3	栃木市議会委員会条例の一部を改正する条例	平成25年3月1日	平成25年3月1日
4	栃木市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	平成25年3月1日	平成25年3月1日
5	栃木市議会基本条例の一部を改正する条例	平成25年3月1日	平成25年3月1日
6	栃木市個別外部監査契約に基づく監査に関する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
7	栃木市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
8	栃木市被災者住宅復旧支援条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
9	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
10	栃木市新型インフルエンザ等対策本部条例	平成25年3月26日	平成25年4月13日
11	栃木市営住宅等整備基準条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日

12	栃木市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
13	栃木市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
14	栃木市障がい者支援施設の設備及び運営に関する基準を定める条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
15	栃木市指定障がい者支援施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
16	栃木市障がい福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
17	栃木市指定障がい福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
18	栃木市福祉ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
19	栃木市地域活動支援センターの設備及び運営に関する基準を定める条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
20	栃木市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
21	栃木市営住宅条例の一部を改正する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
22	栃木市小集落改良住宅条例の一部を改正する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
23	栃木市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
24	栃木市職員定数条例の一部を改正する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
25	栃木市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
26	栃木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
27	栃木市障がい程度区分審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日
28	栃木市手数料条例の一部を改正する条例	平成25年3月26日	平成25年3月26日
29	栃木市つがスポーツ公園管理事務所条例を廃止する条例	平成25年3月26日	平成25年4月1日

30	栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例	平成25年3月30日	平成25年4月1日
31	栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	平成25年3月30日	平成25年4月1日

イ 規則

番号	題 名	公布年月日	施行年月日
24	栃木市予防接種事故災害補償規則の一部を改正する規則	平成24年4月27日	平成24年4月27日
25	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	平成24年5月24日	平成24年5月24日
26	栃木市職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則	平成24年5月24日	平成24年5月24日
27	栃木市赤ちゃん誕生祝金条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年6月11日	平成24年7月9日
28	栃木市児童手当事務取扱規則	平成24年6月11日	平成24年6月11日
29	栃木市行政組織規則の一部を改正する規則	平成24年6月29日	平成24年7月1日
30	栃木市印鑑条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年6月29日	平成24年7月9日
31	栃木市自動車の臨時運行の許可に関する規則の一部を改正する規則	平成24年6月29日	平成24年7月9日
32	特定非営利活動促進法施行条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年6月29日	平成24年7月9日
33	栃木市下水道排水設備指定工事店規則の一部を改正する規則	平成24年7月4日	平成24年7月9日
34	栃木市都市計画法施行細則	平成24年8月3日	平成24年8月3日
35	栃木市指定特定相談支援事業者及び指定障がい児相談支援事業者の業務管理体制の整備の届出に関する規則	平成24年8月22日	平成24年8月22日
36	栃木市債権管理条例施行規則	平成24年10月15日	平成24年10月15日
37	栃木市ひとり親家庭医療費助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年10月22日	平成24年10月22日
38	栃木市火災予防条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年10月29日	平成24年12月1日
39	栃木市土地区画整理審議会委員選挙事務取扱規則	平成24年10月29日	平成24年11月1日
40	栃木市予防接種に関する規則の一部を改正する規則	平成24年11月1日	平成24年11月1日
41	栃木市財務規則の一部を改正する規則	平成24年11月28日	平成24年12月1日

42	栃木市職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則	平成24年12月28日	平成25年1月1日
43	栃木市障害者自立支援法施行細則の一部を改正する規則	平成24年12月28日	平成24年12月28日
44	栃木市遺児手当支給条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年12月28日	平成24年12月28日
45	栃木市児童福祉法施行細則の一部を改正する規則	平成24年12月28日	平成24年12月28日
46	栃木市こども医療費助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年12月28日	平成25年4月1日
1	栃木市下水道条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年1月8日	平成25年4月1日
2	栃木市住民基本台帳カードの利用に関する条例施行規則	平成25年2月13日	平成25年4月15日
3	栃木市学童保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年2月19日	平成25年2月21日
4	栃木市藤岡遊水池会館条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年2月20日	平成25年4月1日
5	栃木市保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年2月20日	平成25年4月1日
6	栃木市土地区画整理事業清算金事務取扱規則	平成25年2月20日	平成25年2月20日
7	栃木市災害見舞金条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年2月20日	平成25年4月1日
8	栃木市行政組織規則等の一部を改正する規則	平成25年3月1日	平成25年4月1日
9	栃木市青少年育成センター条例施行規則を廃止する規則	平成25年3月1日	平成25年4月1日
10	栃木市議会政務調査費の交付に関する規則の一部を改正する規則	平成25年3月1日	平成25年3月1日
11	栃木市真名子夢ホール条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年3月5日	平成25年4月1日
12	栃木市職員の管理職手当支給に関する規則の一部を改正する規則	平成25年3月15日	平成25年4月1日
13	栃木市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年3月26日	平成25年4月1日
14	栃木市指定管理者選定委員会規則の一部を改正する規則	平成25年3月26日	平成25年4月1日

15	栃木市個別外部監査契約を締結しようとする相手方の資格を証する書面等の閲覧に関する規則	平成25年3月27日	平成25年4月1日
16	栃木市消防団の組織等に関する規則の一部を改正する規則	平成25年3月27日	平成25年4月1日
17	栃木市被災者住宅復旧支援条例施行規則	平成25年3月27日	平成25年4月1日
18	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例施行規則	平成25年3月28日	平成25年4月1日
19	栃木市都市の低炭素化の促進に関する法律施行細則	平成25年3月29日	平成25年3月29日
20	栃木市職員の給料等の支給に関する規則の一部を改正する規則	平成25年3月29日	平成25年4月1日
21	栃木市職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則	平成25年3月29日	平成25年4月1日
22	栃木市技能労務職員の給与に関する規則の一部を改正する規則	平成25年3月29日	平成25年4月1日
23	公益的法人等への職員の派遣等に関する規則の一部を改正する規則	平成25年3月29日	平成25年4月1日
24	栃木市指定障がい福祉サービス事業者等の指定等に関する規則	平成25年3月29日	平成25年4月1日
25	栃木市社会福祉法施行細則	平成25年3月29日	平成25年4月1日
26	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	平成25年3月29日	平成25年4月1日
27	栃木市農村振興総合センター条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年3月29日	平成25年4月1日
28	栃木市コミュニティセンター条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年3月29日	平成25年4月1日
29	都市計画法に基づく開発行為の許可基準に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年3月29日	平成25年3月29日

ウ 訓令

番号	題 名	公布年月日	施行年月日
12	広報とちぎ広告掲載取扱要領の一部を改正する要領	平成24年5月10日	平成24年5月10日
13	栃木州市庁舎整備検討委員会設置要綱	平成24年5月29日	平成24年6月1日
14	栃木市事務決裁規程及び栃木市文書取扱規程の一部を改正する規程	平成24年6月29日	平成24年7月9日
15	栃木市庁議等規程の一部を改正する規程	平成24年7月18日	平成24年7月18日

16	栃木市男女共同参画推進本部設置要綱の一部を改正する要綱	平成24年7月20日	平成24年7月20日
17	藤岡町農産加工技術協力員に関する要綱を廃止する要綱	平成24年8月3日	平成24年8月3日
18	藤岡町特定農産物栽培補助金交付要綱を廃止する要綱	平成24年8月3日	平成24年8月3日
19	都賀町地産地消・食育推進協議会設置要綱を廃止する要綱	平成24年8月23日	平成24年8月23日
20	ふじおかブランド認定要綱等を廃止する訓令	平成24年11月1日	平成24年11月1日
21	栃木市嘱託員の任用等に関する要綱の一部を改正する要綱	平成24年12月28日	平成24年12月28日
22	栃木市非常勤職員等の任用等に関する要綱の一部を改正する要綱	平成24年12月28日	平成24年12月28日
1	栃木市職員の勤務時間に関する規程の一部を改正する規程	平成25年2月13日	平成25年4月1日
2	栃木市庁議等規程等の一部を改正する規程	平成25年3月1日	平成25年4月1日
3	栃木市青少年育成センター職員服務規程を廃止する規程	平成25年3月1日	平成25年4月1日
4	栃木市物品購入等契約事務取扱規程の一部を改正する規程	平成25年3月5日	平成25年4月1日
5	栃木市建設工事等請負者選考委員会規程の一部を改正する規程	平成25年3月5日	平成25年4月1日
6	栃木市郵便入札実施要領の一部を改正する要領	平成25年3月5日	平成25年4月1日
7	大平町優良建設業者表彰要綱を廃止する要綱	平成25年3月13日	平成25年4月1日
8	栃木市災害対策本部に関する規程の一部を改正する規程	平成25年3月28日	平成25年4月1日
9	栃木市防災対策推進委員会規程の一部を改正する規程	平成25年3月28日	平成25年4月1日
10	栃木市文書取扱規程の一部を改正する規程	平成25年3月29日	平成25年4月1日
11	栃木市職員のハラスメント防止に関する規程	平成25年3月29日	平成25年4月1日
12	栃木市市有バスの使用に関する規程の一部を改正する規程	平成25年3月29日	平成25年4月1日

## 8 顧問弁護士

市長その他市の執行機関の相談に応じ、行政執行上の問題について顧問弁護士(1人)から意見、助言等を受けた。

・相談件数 3件

## 9 特定任期付職員（弁護士）

市長その他市の執行機関の相談に応じ、行政執行上の問題について庁内弁護士から意見、助言等を受けた。

・相談件数 60件

## 第2節 職員課

### 〔総括概要〕

職員課の主たる分掌事務は、人事関係、職員研修関係及び職員厚生関係業務である。

職員の人事については、新たに策定した総合計画の将来都市像の実現に向け、新栃木市の職員としての一体感の醸成を図りながら、個々の職員が意欲をもって、その能力を最大限発揮できるよう、「適材適所の配置」、「女性・若手職員の登用」、「人材育成」の視点から、本庁・総合支所間、また、各総合支所間の人事異動を積極的に行った。

職員研修については、職員の意識改革及び資質と能力の向上を目的として、全職員を対象に各種研修を計画的に実施した。

職員厚生事業については、職員厚生会を主体として各種事業を実施した。また、職員の安全衛生管理については、栃木市安全衛生管理委員会で協議していただくとともに、各種健康診断等を実施した。

### 人事担当

#### 1 職員数

##### (1) 部局別職員数

(4月1日現在 単位：人)

区 分	職員数	男	女
市長の事務部局の職員	849	515	334
議会の事務部局の職員	9	7	2
選挙管理委員会の事務部局の職員	3	2	1
監査委員の事務部局の職員	4	2	2
公平委員会の事務部局の職員	-	-	-
教育委員会の事務部局の職員	204	135	69
農業委員会の事務部局の職員	9	6	3
企業職員	27	22	5
消防職員(※)	167	166	1
計	1,272	855	417

※消防職員の人事に関しては消防本部総務課を参照

##### (2) 級別職員数(教育長、特定任期付職員を除く)

###### ア 行政職給料表

(単位：人)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
男	17	118	91	105	134	51	60	36	612
女	-	15	24	58	143	35	70	38	383
計	17	133	115	163	277	86	130	74	995

イ 技能労務職給料表 (単位：人)

区分	5級	4級	3級	2級	1級	計
男	42	18	14	1	-	75
女	18	12	-	-	-	30
計	60	30	14	1	-	105

ウ 市費負担教職員給料表 (単位：人)

区分	1級
男	1
女	2
計	3

(3) 職種別職員数(教育長を除く) (単位：人)

区 分	事 務	技 術	技 労	消 防	計
男	530	83	75	166	854
女	339	47	30	1	417
計	869	130	105	167	1,271

2 人事

(1) 行政委員の就任

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
教育委員会委員	筑比地 幸 子	平成 24 年 5 月 19 日
監査委員	梅 澤 米 満	平成 24 年 6 月 1 日
農業委員会委員	条 谷 一 郎	平成 24 年 6 月 1 日
	宇賀神 一 夫	平成 24 年 6 月 1 日

(2) 職員の採用 (単位：人)

職 種	人 員	男	女
一 般 事 務	16	11	5
保 健 師	2	-	2
保 育 士	5	-	5
土 木	2	2	-
建 築	3	2	1
文 化 財 技 師	1	1	-
学 芸 員	1	-	1
臨 床 心 理 士	1	1	-
小 計	31	17	14
国・県等からの採用職員	5	4	1
合 計	36	21	15

(3) 職員の退職 (単位：人)

職 種	人 員
行 政 職	50
技 能 労 務 職	8
計	58

(4) 職員採用試験の実施状況

ア 一般行政職職員採用試験

・試験実施状況

実施日	内 容
9月16日(日)	第一次試験(筆記試験)実施
10月12日(金)	第二次試験(適性、作文)実施
10月13日(土)	第二次試験(集団面接試験)実施
11月15日(木)、16日(金)	第三次試験(個別面接試験)実施

・受験状況

区 分	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			倍率 (倍)
			男	女	計	
一 般 事 務	251	199	15	7	22	9.0
保 健 師	16	11	-	3	3	3.7
保育士(幼稚園教諭)	19	17	1	4	5	3.4
土 木	14	12	1	3	4	3.0
建 築	8	5	3	0	3	1.7

イ 身体障がい者を対象とする職員採用試験

・試験実施状況

実施日	内 容
9月16日(日)	第一次試験(筆記試験)実施
10月15日(月)	第二次試験(適性、作文、個別面接試験)実施

・受験状況

区 分	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			倍率 (倍)
			男	女	計	
一 般 事 務	5	3	1	-	1	3.0

ウ 一般行政職職員採用試験(管理栄養士)

・試験実施状況

実施日	内 容
12月1日(土)	第一次試験(筆記試験)実施
1月12日(土)	第二次試験(適性、作文、個別面接試験)実施

・受験状況

区 分	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数 (人)			倍率 (倍)
			男	女	計	
管 理 栄 養 士	35	29	-	3	3	9.7

3 職員研修

(1) 一般研修

ア 栃木市主催単独自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月2日(月)、3日(火) 4日(水)	新採用職員研修	新採用職員	31
10月2日(火)	新任課長級研修	参事・課長及び主幹に昇任した職員	23
11月1日(木)、7日(水)	コンプライアンス研修	主査	243
11月6日(火)	管理監督者研修(すぐやる研修)	副主幹の職にある職員	143
11月22日(木)	おもてなし研修	主任	94
12月11日(火)、12日(水) 18日(火)	交通安全教室	全職員	479
2月6日(水)	政策立案のプロセスについて	職場研修推進員	63
2月12日(火)	人権研修会並びに人権啓発 職場推進員研修	人権啓発職場推進員	59
2月26日(火)	実務研修(法制執務)	主事・技師級の指名した職員	24
2月27日(水)	実務研修(財務会計事務)	主事・技師級の指名した 職員及び希望者	49

イ 栃木地区職員研修協議会主催広域自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月6日(金) 4月9日(月)～11日(水) 5月29日(火)、30(水)	新採用職員前期研修	新採用職員	43
5月9日(水)、10日(木)	接遇研修	主事・技師級	43
5月15日(火)、16日(水) 5月17日(木)、18日(金)	ディベート研修	主査・主任級	31
5月16日(水)～18(金)	行政法講座	主査以下	31
6月5日(火)、6日(水)	民法講座	主査以下	37
6月21日(木)、22日(金)	経営管理研修	課長級	27
7月4日(水) 9月3日(月) 11月14日(水)ほか3日	政策課題立案研修	主査級	30
7月10日(火)、11日(水)	問題解決研修	主任・主事級	37
7月18日(水)	段取り力研修	主任以下	45

7月20日(金)	メンタルヘルスケア研修	係長級	19
7月26日(木)、27日(金)	政策形成研修	主査級	32
9月10日(月)～14日(金)	新採用職員後期研修	新採用職員	43
9月25日(火)～28日(金)	初級職員研修	主事・技師級	50
10月23日(火)～26日(金)			
10月3日(水)、4日(木)	交渉力研修	主査級	26
10月11日(木)、12日(金)	マネジメント研修	主幹・課長補佐級	20

ウ 栃木県市町村振興協会主催市町村広域研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
6月6日(水)～8日(金)	管理監督者研修 (地方自治制度指導者養成講座)	地方公務員制度研修の 指導者候補職員	1
6月20日(水) 7月19日(木)	管理監督者研修 (自治体職員広聴広報向上講座)	全職員	1
6月21日(木)、22日(金)	管理監督者研修 (ファシリテーション講座)	係長級	2
6月28日(木)、29日(金)	管理監督者研修 (職場リーダー研修)	係長級	2
7月3日(火)	管理監督者研修 (パワーハラスメント防止講座)	課長・係長級	2
7月5日(木)	管理監督者研修	係長級	2
7月6日(金)	(メンタルヘルス講座)		2
7月24日(火)、25日(水)	一般職員研修 (接遇レベルアップ講座)	主事・技師級	21
8月2日(木)、3日(金)	管理監督者研修 (政策法務実践講座)	係長級	2
8月6日(月)、7日(火)	管理監督者研修 (トピック講座)	係長級	2
8月8日(水)、9日(木)	管理監督者研修 (民法講座)	課長・係長級	1
8月22日(水)	管理監督者研修 (戦略経営講座)	課長級	2
9月13日(木)、14日(金)	管理監督者研修 (プレゼンテーション講座)	係長級	1
9月20日(木)、21日(金)	一般職員研修 (法務基礎養成講座)	主査級	17
10月23日(火)、24日(水)	管理監督者研修 (コミュニケーション・カウンセリング講座)	課長・係長級	2
10月25日(木)、26日(金)	管理監督者研修 (メンタルヘルスケア講座)	課長・係長級	1

11月2日(金)	管理監督者研修 タイムマネジメント	係長級	2
----------	----------------------	-----	---

エ 栃木県主催市町村広域研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
9月18日(火)、19日(水)	県・市町村職員合同研修 (業務改革研修)	主任級	1
11月13日(火)、14日(水)	県・市町村職員合同研修 (企画力研修)	主任級	1
11月22日(木)	県・市町村職員合同研修 (折衝・交渉力研修)	主任級	1

(2) 派遣研修

実施日	研修内容	派遣先	派遣者数(人)
5月7日(月)、8日(火)	行政管理講座 (情報公開制度検討講座)	日本経営協会 (NOMA)	1
6月14日(木)、15日(金)	行政管理講座 (地方公務員のための給与制度の基本と運用実務)	〃	1
6月20日(水)～22日(金)	行政管理講座 (広報紙、編集入門講座(編集製作・広報写真の基礎))	〃	1
7月12日(木)～13日(金)	行政管理講座 (個人住民税をめぐる課税の実務)	〃	1
7月19日(木)、20日(金)	行政管理講座 (非木造家屋評価演習)	〃	1
7月23日(月)～24日(火)	行政管理講座 (自治体における訴訟手続と訴訟実務)	〃	1
8月9日(木)、10日(金)	行政管理講座	〃	2
1月31日(木)、2月1日(金)	(条例規則担当者のための法令実務)	〃	2
9月18日(火)～26日(水)	専門実務研修課程 (自治体職員に必要とされる交渉力)	市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	1
9月24日(月)、25日(火)	行政管理講座 (土地開発公社の適正な会計処理)	日本経営協会 (NOMA)	1
9月27日(木)、28日(金)	行政管理講座 (建築技術検査の具体的な進め方(建築・土木))	〃	1
10月4日(木)、5日(金)	行政管理講座 (事例演習による住民税課税実務(中級))	〃	1
11月5日(月)、6日(火)	行政管理講座 (外国人に対する住民税とその他の重点項目に関する課税実務)	〃	1
11月5日(月)、6日(火)	行政管理講座 (公共用地取得実務(補償編))	〃	1

11月8日(木)、9日(金)	行政管理講座 (住民参加型行政の推進講座)	〃	1
11月12日(月)～13日(火)	行政管理講座 (監査事務局職員の監査基礎)	〃	1
1月10日(木)、11日(金)	行政管理講座 (選挙管理事務の実務講座)	〃	1
1月15日(火)、16日(水)	行政管理講座 (地方公営公業の消費税)	〃	1
1月21日(月)～29日(火)	専門実務研修課程 (議会事務)	市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	1
2月27日(水)～28日(木)	行政管理講座 (介護保険担当職員のためのケアプラン点検のポイント)	日本経営協会 (NOMA)	1

(3) 人材育成視察研修

実施日	研修内容	派遣者数(人)
5月18日(金)～20日(日)	第65回美術史学会全国大会	1
10月10日(水)	官民協働型監査実践セミナー	4
10月26日(金)、27日(土)	日本女性会議2012仙台	1
3月11日(月)～13日(水)	地域づくり人育成講座	2

(4) その他派遣研修

実施日	研修内容	派遣先	派遣者数(人)
4月1日(日)～3月31日(日)	県派遣研修	栃木県県土整備部都市計画課	1
		栃木県地方税徴収特別対策室	1

(5) 通信教育

職員が、自主的に通信教育を受講することにより、自己の能力開発・向上を図ることを目的とし、通信教育研修を行った。

- ・対象者 全職員(希望者)
- ・期間 6か月
- ・修了者 5人

4 職員厚生

(1) 安全衛生管理関係

健康診断の実施状況

検診名	対象者	受診者数(人)
一般健康診断	全職員	489
胃がん検診	〃	235
肺がん検診(胸部X線撮影)	〃	460
大腸がん検診	〃	329
前立腺がん検診	50歳以上	69

乳がん検診	30歳以上	159
子宮頸がん検診	20歳以上	135
人間(脳)ドック	30歳以上	452

(2) 市職員厚生会関係

ア 厚生給付事業

区 分	件数(件)	金額(円)
病気見舞金	14	140,000
弔 慰 金	37	615,000
災害見舞金	1	100,000
褒 章 祝 金	3	115,000
合 計	55	970,000

イ 各種厚生事業

区 分	件数(件)	金額(円)
旅行等助成金	378	567,000
イベント等参加経費補助	4	20,245
親睦交流会補助	8	610,500

(3) 栃木県市町村職員共済組合関係

ア 組合員数

短 期	1,263人
長 期	1,263人
介 護	790人

イ 被扶養者数

短 期	1,263人
介 護	252人

ウ 貸付事業

普通貸付	1件	1,000,000円
特別貸付	2件	2,100,000円
計	3件	3,100,000円

エ 遺族付加年金加入状況

- ・加入者数 774人

(4) その他

ア 全国市長会任意共済加入状況

- ・加入者数 64人

イ 全国市長会個人年金共済加入状況

- ・加入者数 320人

ウ 全国都市職員災害共済会火災共済加入状況

- ・加入者数 212人

エ 全国都市職員災害共済会自動車共済加入状況

種 類	契約台数（台）
普通及び小型乗用車	103
軽四輪自動車	49
自動二輪車	13

オ 財形貯蓄

- ・加入実人員 777人
- ・加入率 61.3%
- ・積立額

毎 月	11,630,000円
6 月 賞 与	29,723,000円
1 2 月 賞 与	29,141,000円

## 5 公務災害

### (1) 公務災害認定

ア 地方公務員災害補償法対応 11件

イ 栃木市議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例対応 3件

### (2) 通勤災害認定 - 件

## 6 退隠料及び扶助料

退隠料受給者	-	-
扶助料受給者	2人	1,889,600円

### 第3節 情報推進課

#### 〔総括概要〕

情報推進課の主な分掌事務は情報化施策、行政情報化の推進、地域情報化の推進、情報システム及びネットワークの管理運営、情報セキュリティ対策等である。

平成24年度は、重点事業として、行政情報化の推進、情報システム及びネットワークの安定稼働、情報セキュリティ対策に努めた。

主な事務事業の実施状況については、次のとおりである。

行政情報化の推進については、老朽化したパソコン200台の更新を行った。

情報システム及びネットワークの安定稼働については、サーバ機器及びネットワーク機器の監視を行い、障害を未然に防ぐとともに、障害発生時には早急な復旧を行った。さらに、万一の障害発生時においても最低限の機能を保障する、照会発行サーバの導入を行った。

情報セキュリティ対策では、職員に対し、各種事例を紹介するとともに、セキュリティ対策について啓発を行った。

また、平成26年2月に庁舎移転することから、新庁舎において必要とされるネットワーク施設設備を検討し、ネットワーク設計を行った。

#### 情報推進担当

#### 1 パソコンの整備状況

(単位：台)

部名	課名	パソコン配備台数
市長、副市長、教育長		3
総合政策部	総合政策課	15
	まちなか土地利用推進室	4
	地域まちづくり課	6
	合併推進室	9
	秘書広報課	11
	財政課	9
	人権推進課	3
	地域医療対策室	5
総務部	総務課	15
	職員課	17
	情報推進課	13
	契約検査課	7
	消防防災課	8
理財部	管財課	12
	施設管理課	20

	市民税課	9
	資産税課	7
	収税課	11
生活環境部	市民生活課	24
	交通防犯課	11
	保険医療課	18
	環境課	16
	斎場整備室	3
	女性青少年課	9
保健福祉部	社会福祉課	35
	生活福祉課	17
	こども課	46
	高齢福祉課	25
	介護保険課	26
	健康増進課	29
産業振興部	商工観光課	17
	農林課	17
都市建設部	都市整備課	15
	都市計画課	9
	維持管理課	18
	建築指導課	15
上下水道部	水道課	28
	下水道課	27
会計課		15
議会事務局	議事課	15
教育委員会	教育総務課	38
	学校教育課	33
	生涯学習課	44
	スポーツ振興課	7
	文化課	10
	伝建推進室	4
選挙管理委員会事務局		7
監査委員事務局		4
農業委員会事務局		10
消防本部及び消防署		76
合計		852

## 2 電算処理業務の委託契約

平成24年度の電算処理委託契約を、(株)TKCと締結した。

課 名	業 務 名
市民税課	住民税 軽自動車税 国民健康保険税
資産税課	固定資産税
収税課	収税消込
市民生活課	住民情報管理
保険医療課	後期高齢者医療 医療費助成
こども課	児童手当 児童扶養手当
介護保険課	介護保険
健康増進課	健康管理
農業委員会事務局	農業行政

## 第4節 契約検査課

### 〔総括概要〕

契約業務では、本庁発注分及び各総合支所発注分の3,000万円以上の建設工事、業務委託及び物品購入について、指名業者の選考、入札、契約等に関する事務を行った。また、入札・契約事務の透明性の向上や、公正な競争の促進を図るため、入札・契約制度の改善に取り組み、平成25年度からの電子入札システムの運用に向け導入準備を行った。

検査業務では、検査規程に基づき発注工事が契約内容どおりに適正に履行されたか、また、技術的な面から工事の施工状況や施工体制・安全対策等について検査を実施した。

### 契約担当

#### 1 契約件数

原則として130万円以上の建設工事（各総合支所発注分にあっては3,000万円以上）、50万円以上の工事関連業務委託及び総額80万円以上の建設資材・物品の購入、単品で50万円以上の物品購入並びに総額50万円以上の印刷物について入札を執行した。

・入札状況 (単位：件)

入札内容	一般競争入札	指名競争入札	計
建設工事	98	38	136
工事関連業務委託	-	101	101
物品購入(建設資材含む)	-	37	37
印刷物	-	13	13
計	98	189	287

#### 2 見積合せ件数

3万円以上50万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

・件数 152件

#### 3 建設工事等請負者選考委員会

条件付き一般競争入札により施行する予定価格500万円以上の建設工事の入札参加資格要件の設定、予定価格1千万円以上の工事関連業務委託、建設資材購入の指名業者選考について審議した。

##### (1) 建設工事等請負者選考委員会（予定価格3千万円以上）

・開催回数 13回

・審議件数 58件

(2) 建設工事等請負者選考委員会本庁部会（予定価格500万円以上、3千万円未満）

- ・開催回数 11回
- ・審議件数 74件

4 物品購入等業者選考委員会

予定価格1千万円以上の物品購入・役務提供の指名業者選考について審議した。

- ・開催回数 10回
- ・審議件数 44件

5 入札参加資格者登録

(1) 平成24年度追加分として入札参加資格審査申請のあった者について、資格審査委員会に諮った上、登録を行った。

- ・平成23・24年度入札参加資格者登録数 (単位：社)

建設工事	755
工事関連業務委託	436
物品・役務	1,332
計	2,523

(2) 平成25・26年度当初分として入札参加資格審査申請のあった者について、資格審査委員会に諮った上、登録を行った。

(単位：社)

建設工事	790
工事関連業務委託	440
物品・役務	1,019
計	2,249

6 小規模工事等契約希望者登録

契約予定金額が50万円以下の小規模な工事の受注を希望する業者の定期登録及び追加登録を行った。

- ・登録業者数 59社
- ・工種別登録業者数 95工種

土木	建築	大工	左官	とび土工	石	屋根	電気	管	タイル	鋼構造物	鉄筋	舗装	しゅんせつ
2	9	2	2	7	-	1	10	6	2	1	-	1	-
板金	ガラス	塗装	防水	内装仕上	機械器具設置	熱絶縁	電気通信	造園	建具	さく井	消防施設	清掃施設	その他
1	8	5	3	16	1	-	1	2	9	2	2	-	2

7 小規模物品等契約希望者登録

契約予定金額が50万円以下の小規模な物品の納入を希望する業者の定期登録及び追加登録を行った。

(1) 平成24年10月1日～平成26年9月30日有効登録業者

- ・登録業者追加数 24社
- ・業種別登録業者追加数 44業種

事務用品	日用品	教育用品	車両	電気器具	機械器具	精密機器	薬品・医療器具	印刷
1	21	-	6	2	1	-	2	2
燃料・ガス	消防保安用品	その他物品	建設資材等	施設管理	給食	広告	その他役務	
2	-	-	3	-	1	-	3	

(2) 平成25年4月1日～平成27年3月31日有効登録業者

- ・登録業者数 229社
- ・業種別登録業者数 361業種

事務用品	日用品	教育用品	車両	電気器具	機械器具	精密機器	薬品・医療器具	印刷
13	131	4	63	8	5	3	20	8
燃料・ガス	消防保安用品	その他物品	建設資材等	施設管理	給食	広告	その他役務	
49	2	17	13	4	9	2	10	

8 入札・契約制度の改善

(1) 入札適正化委員会の開催

建設工事に係る入札・契約の適正化を図るため、学識経験者4人で構成する入札適正化委員会を設置し、1回開催した。

- ・開催日 3月8日

入札契約制度の一部改正の報告、平成24年4月から平成25年1月までに執行した建設工事のうち、委員が抽出した4件に関して、一般競争入札の参加資格設定の経緯、指名競争入札の指名の経緯等に係る審議を行った。また、平成25年度の入札契約制度について報告、意見聴取を行った。

(2) 電子入札の導入準備

平成25年度からの電子入札の導入に向けて、下記のとおり事務を執行した。

ア 電子入札システム提供事業者の選定

事業者を公募し、プロポーザル方式により電子入札システム提供事業者の選定を行った。

イ 入札参加資格者への説明・周知

下記のとおり、説明会を開催するとともに、適宜、通知及び資料の送付、並びに市ホームページへの掲載により、入札参加資格者への説明・周知を行った。

10月 第1回電子入札導入説明会（参加185社）

2月 第2回電子入札導入説明会（参加157社）

(3) 電子入札の実証実験

下記のとおり、実際に使用する電子入札システムにより実証実験（模擬入札）を行った。

- ・実施日程 3月5日から13日
- ・入札件数 13件
  - ・建設工事の事後審査型条件付き一般競争入札 11件
  - ・測量・建設コンサルタント業務の指名競争入札 2件
- ・参加業者 142社

検査担当

1 工事検査

平成24年度に完成した請負額500万円以上の建設工事について、次のとおり実施した。  
完成検査

・主管課別検査件数

事業主管課	検査件数(件)	備考(工事担当課)
施設管理課	3	
こども課	1	施設管理課1件
農林課	6	
産業基盤整備課	5	
都市整備課	11	
維持管理課	12	施設管理課5件
水道課	38	
下水道課	29	
教育総務課	25	施設管理課2件
生涯学習課	2	施設管理課2件
文化課	4	大平 地域まちづくり課1件 施設管理課1件 教育総務課2件
スポーツ振興課	2	教育総務課1件 施設管理課1件
大平教育支所	3	大平 地域まちづくり課3件
藤岡教育支所	3	藤岡 地域まちづくり課2件
都賀教育支所	5	
西方教育支所	4	
大平総合支所都市整備課	6	
〃 都市建設課	2	

藤岡総合支所都市建設課	2	
都賀総合支所都市建設課	5	
西方総合支所産業建設課	2	
計	170	

・工種別検査件数

(単位：件)

工種	土木	建築	舗装	管	電気	水道	その他	計
件数	52	39	25	10	5	29	10	170

## 第5節 消防防災課

### 〔総括概要〕

消防防災課の主な分掌事務は、地域防災計画（水防計画を含む。）及び防災対策、災害対策本部、消防団、自衛官募集事務等である。

地域防災計画・水防計画については、3月に栃木市防災会議により策定した。

防災対策については、栃木地域防災訓練を実施し、市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化を図った。また、7月17日に発生した突風の被害に対しては、災害復旧費補助金制度を創設し、被害者の支援を行った。

消防団については、全体事業として通常点検を実施するとともに、栃木方面隊の事務局として大火防止消防訓練など各種事業を実施した。また、消防ポンプ自動車を2台購入し、栃木方面隊第6分団、第12分団第2部の車両を更新した。

国民保護については、国民保護計画を栃木市国民保護協議会において審議し、3月に策定した。

自衛官募集事務については、防衛省自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所と協力し、自衛官募集や自衛隊父兄会に関する事務を行った。

### 危機管理担当

#### 1 地域防災計画（水防計画を含む。）及び防災対策

##### (1) 地域防災計画（水防計画を含む。）

地域防災計画・水防計画については、3月に栃木市防災会議により策定した。

・防災会議委員（任期：平成24年12月1日から平成26年11月30日まで）

	機関名	役職
会長	栃木市	市長
委員	関東農政局宇都宮地域センター	センター長
〃	関東地方整備局利根川上流河川事務所藤岡出張所	所長
〃	関東地方整備局渡良瀬川河川事務所佐野河川出張所	出張所長
〃	陸上自衛隊第12特科隊	第1中隊長
〃	栃木土木事務所	所長
〃	県南健康福祉センター	所長
〃	下都賀農業振興事務所	所長
〃	栃木警察署	署長
〃	栃木市消防団	団長
〃	東日本旅客鉄道株式会社高崎支社	室長
〃	東京電力株式会社栃木南支社	支社長
〃	東武鉄道株式会社新栃木駅	駅長
〃	関東自動車株式会社佐野営業所栃木出張所	所長

委員	ケーブルテレビ株式会社	代表取締役
〃	郵便事業株式会社栃木支店	支店長
〃	栃木市医師会	理事
〃	東日本電信電話株式会社栃木支店	設備部長
〃	栃木市女性団体連絡協議会	副会長
〃	婦人(女性)防火クラブ	会長
〃	栃木市老人クラブ連合会	監査
〃	栃木市障がい者団体連絡協議会	会長
〃	箱森中央防災会	会長
〃	公募による者	—
〃	公募による者	—
〃	栃木市社会福祉協議会	会長
〃	栃木市自治会連絡協議会	理事
〃	特定非営利活動法人ハイジ	理事
〃	栃木市教育委員会	教育長
〃	栃木市消防本部	消防長
〃	栃木市	副市長
〃	栃木市	危機管理監
〃	栃木市	総合政策部長
〃	栃木市	総務部長
〃	栃木市	理財部長
〃	栃木市	生活環境部長
〃	栃木市	保健福祉部長
〃	栃木市	産業振興部長
〃	栃木市	都市建設部長
〃	栃木市	上下水道部長
〃	栃木市議会事務局	事務局長

・防災会議の開催

開催日	会場
12月27日(木)	栃木保健福祉センター大会議室
1月11日(金)	大宮公民館大交流室
3月8日(金)	栃木保健福祉センター大会議室

(2) 防災備蓄倉庫

設置	位置
栃木保健福祉センター倉庫	今泉町 2-1-40
総合体育館(倉庫)	川原田町 760
皆川中学校体育館	皆川城内町 1856
大宮公民館	大宮町 422-1

老人福祉センター福寿園	千塚町 210
寺尾公民館	梅沢町 1183
国府公民館	惣社町 228-1
出流ふれあいの森	出流町 417

(3) 主な各種災害時用備蓄品等内訳

項 目	備 蓄 数
非 常 食	12,200食
非常用飲料水	1,300ℓ
毛 布	1,700枚

(4) 孤立集落応急対策

災害時の孤立可能性等地区の通信の途絶を解消するため、衛星携帯電話及び発電機の貸与により、通信体制の確保を図った。

- ・孤立可能性等地区……3地区

2 防災訓練

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化並びに職員の災害応急対策の迅速化を図ることを目的とし、防災訓練を実施した。

- ・実施日 10月13日(土)
- ・会場 国府北小学校
- ・参加団体 惣社西自治会、惣社東自治会、惣社南自治会、国府自治会、萱場自治会、大塚宿自治会、大塚中区自治会、大塚上区自治会、癸生自治会、柳原自治会、大塚団地自治会、旭自治会、四季の森団地自治会、愛宕団地自治会(14自治会)  
市消防団栃木方面隊  
陸上自衛隊第12特科隊  
栃木市婦人防火クラブ連絡協議会  
JARL栃木太平山04クラブ  
イオンリテール株式会社イオン栃木店  
(株)NTTドコモ栃木支店  
とちぎコープ生活協同組合 ほか
- ・参加人数 400人

3 防災無線

防災行政無線については、西方地域への拡張整備のための設計を行った。

また、防災行政無線が設置されている施設担当者と防災行政無線定期通信訓練を毎月実施した。

4 自主防災組織

自主防災組織として、4月に大町自主防災会が、6月に境町五丁目自主防災会が設立さ

れた。

## 5 土砂災害防止関係

5月に栃木土木事務所と土砂災害の危険箇所を現地調査し、6月に栃木土木事務所及び栃木消防署と土砂災害危険箇所及び施設の合同点検を実施した。

また、栃木県において土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を新たに指定したことに伴い、土砂災害ハザードマップを作成した。

## 6 国民保護に関すること

国民保護計画を栃木市国民保護協議会において審議し、3月に策定した。

・国民保護協議会委員（任期：平成24年12月1日から平成26年11月30日まで）

	機関名	役職
会長	栃木市	市長
委員	関東農政局宇都宮地域センター	センター長
〃	関東地方整備局利根川上流河川事務所藤岡出張所	所長
〃	関東地方整備局渡良瀬川河川事務所佐野河川出張所	出張所長
〃	陸上自衛隊第12特科隊	第1中隊長
〃	栃木土木事務所	所長
〃	県南健康福祉センター	所長
〃	下都賀農業振興事務所	所長
〃	栃木警察署	署長
〃	栃木市消防団	団長
〃	東日本旅客鉄道株式会社高崎支社	室長
〃	東京電力株式会社栃木南支社	支社長
〃	東武鉄道株式会社新栃木駅	駅長
〃	関東自動車株式会社佐野営業所栃木出張所	所長
〃	ケーブルテレビ株式会社	代表取締役
〃	郵便事業株式会社栃木支店	支店長
〃	栃木市医師会	理事
〃	東日本電信電話株式会社栃木支店	設備部長
〃	栃木市教育委員会	教育長
〃	栃木市消防本部	消防長
〃	栃木市	副市長
〃	栃木市	危機管理監
〃	栃木市	総合政策部長
〃	栃木市	総務部長
〃	栃木市	理財部長
〃	栃木市	生活環境部長
〃	栃木市	保健福祉部長

〃	栃木市	産業振興部長
〃	栃木市	都市建設部長
〃	栃木市	上下水道部長
〃	栃木市議会事務局	事務局長

・国民保護協議会の開催

開催日	会 場
12月27日（木）	栃木保健福祉センター大会議室
1月11日（金）	大宮公民館大交流室
3月8日（金）	栃木保健福祉センター大会議室

## 7 り災証明書

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震及び平成24年7月17日の突風に伴う被災住家などの被害認定を行い、り災証明書を発行した。

### (1) 平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震によるり災証明書発行件数

ア 住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	2	1,034	1,036

イ 非住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	2	300	302

### (2) 平成24年7月17日の突風によるり災証明書発行件数

ア 住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	10	10

イ 非住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	13	13

## 8 7月17日の突風による被害

### (1) 突風の概要

7月17日（火）午後4時30分頃に大塚町、国府町、都賀町木、都賀町平川等で突風が発生し、住家等の屋根瓦のめくれ及び倒木等の被害が発生した。

このため翌18日、宇都宮地方気象台は、突風現象の調査のため気象庁機動調査班（JMA-MOT）を現地に派遣し、調査を実施した。

・大塚町から国府町にかけて発生した突風について

ア 突風をもたらした現象の種類

突風をもたらした現象は、ダウンバーストと推定。

イ 強さ（藤田スケール）

突風の強さは藤田スケールで F0 と推定。

- ・都賀町木、都賀町平川周辺で発生した突風について

ア 突風をもたらした現象の種類

突風をもたらした現象は、ダウンバーストの可能性のあるものの特定には至らなかった。

イ 強さ（藤田スケール）

突風の強さは藤田スケールで F0 と推定。

(2) 被害の状況

- ・人的被害……………けが人 1 人（やけど、大腿骨骨折）
- ・住家等被害……………25 件
- ・農業用施設被害…… 6 件
- ・事業所、店舗被害… 3 件
- ・その他……………国府北小学校（瓦屋根一部損壊）、倒木 5 か所

(3) 災害復旧費補助金

7 月 17 日の突風に伴い被害を受けた住宅等及び農業用施設に係る復旧を行う者に特別緊急対策として、復旧に必要な経費の一部を補助することにより被災者の生活の安定及び生活再建を図るため、栃木市災害復旧費補助金を交付した。

- ・補助の対象

ア 個人が所有する住宅（併用住宅を含む。）、車庫、物置、塀等

イ 個人が所有するビニールハウス、プラスチックハウス、畜舎、農産物倉庫、作業場等

ウ 市内に事業所を有して事業を営む者が所有する事業所、店舗等

- ・補助金の額

ア 補助率 工事費の 2 分の 1

※10 万円以上の復旧工事を対象

イ 限度額 100,000 円

9 自衛官募集事務

(1) 自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

- ・入隊入校者数 3 人

(2) 自衛隊父兄会

栃木市自衛隊父兄会、大平町自衛隊父兄会、藤岡町自衛隊父兄会、都賀町自衛隊父兄会及び西方町自衛隊父兄会を統合し、新たな栃木市自衛隊父兄会を設立し、事務局として、父兄会活動を支援した。

- ・設立総会

開催日	会場	議題
5 月 23 日（水）	市役所別館 第 2 会議室	(1) 栃木市自衛隊父兄会会則（案）等 について

		(2) 平成 24 年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について (3) 役員の選出について
--	--	---

・役員会

開催日	会 場	議 題
2 月 26 日（火）	市役所 正庁 A・B	(1) 父兄会統合、新父兄会の会則、予算等について (2) 平成 25 年度総会について
3 月 28 日（木）	市役所別館 第 2 会議室	・平成 25 年度総会について

また、栃木市自衛隊父兄会栃木分会の事務局として、父兄会活動を支援した。

## 10 放射線測定事業

### (1) モニタリングポスト

設置場所	設置場所の住所	測定高さ（m）
栃木市役所	入舟町 7-26	1
西方総合支所	西方町本城 1	1

### (2) 放射線測定器の配備状況

・シンチレーションサーバイメータ

型番：株式会社堀場製作所 PA-1000

部課名	台数	備 考
本 庁	環 境 課	4 一般貸出し用 3 台
	こ ども 課	11 市内の公私立の保育園・幼稚園 10 台
	教育総務課	15 市内の公私立の小中学校 14 台
	維持管理課	2
	消防防災課	3
大平総合支所	生活環境課	1
	健康福祉課	1
藤岡総合支所	生活環境課	1
	健康福祉課	1
都賀総合支所	生活環境課	1
	健康福祉課	1
西方総合支所	生活環境課	1
	健康福祉課	1
そ の 他	2	大平総合支所都市建設課・藤岡総合支所都市建設課兼用 1 台 都賀総合支所都市建設課・西方総合支所産業建設課兼用 1 台

・エネルギー補償型シンチレーションサーベイメータ

型番：日立アロカメディカル株式会社 TCS-172B

部課名		台数	備考
本 庁	消防防災課	1	

・食品用放射能濃度測定器

型番：EMF ジャパン株式会社 EMF211 型ガンマ線スペクトロメータ

部課名		台数	備考
本 庁	学校教育課	1	

## 11 東日本大震災に伴う避難状況管理

### (1) 在宅避難者登録制度（全国避難者情報システム）

東日本大震災に伴い、県外から市内の避難所以外に避難している避難者に対して各種情報提供を行うために、申出に基づき避難者情報を登録した。

#### ア 登録申出及び変更届出受付状況

在宅避難者登録申出・・・・・・・・・・91件

在宅避難者登録事項変更届・・・・・・・・33件

#### イ 避難者一覧

・避難先別

(単位：人)

区分	市営住宅	雇用促進	親戚・知人等	小計
栃木地域	1	41	36	78
大平地域	-	10	16	26
藤岡地域	3	-	12	15
都賀地域	-	-	18	18
西方地域	-	-	4	4
合計	4	51	86	141

※親戚・知人等には、民間アパートを含む。

・避難元別

(単位：人)

県名	市町村名	避難者数
福島県(6市4町1村)	福島市	2
	郡山市	7
	いわき市	6
	田村市	1
	伊達市	5
	南相馬市	35
	富岡町	36
	川内村	4
	大熊町	7
	双葉町	2

	浪江町	30
小計		135
宮城県（2市1町）	仙台市	1
	大崎市	2
	山元町	2
小計		5
岩手県（1市）	大船渡市	1
小計		1
合計		141

(2) 原発避難者特例法関係

東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律に基づき、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、通常の行政サービスの提供が困難な指定市町村から非難している住民に対して、特例事務として指定市町村に代わって特定の行政サービスを提供した。

- ・対象者 121人
- ・指定市町村

福島県	市	いわき市、田村市、南相馬市
	町	川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
	村	川内村、葛尾村、飯館村

- ・特例事務

分野	根拠法令	事務
医療・福祉関係	介護保険法	要介護認定等に関する事務
	介護保険法	介護予防等のための地域支援事業に関する事務
	老人福祉法	養護老人ホーム等への入所措置に関する事務
	児童福祉法	保育所入所に関する事務
	予防接種法	予防接種に関する事務
	児童扶養手当法	児童扶養手当に関する事務
	特別児童扶養手当等の支給に関する法律	特別児童扶養手当等に関する事務
	母子保健法	乳幼児、妊産婦等への健康診査、保健指導に関する事務
	障害者自立支援法	障害者、障害児への介護給付費等の支給決定に関する事務
教育関係	学校教育法、学校保健安全法	児童生徒の就学等に関する事務
	学校教育法、学校保健安全法	義務教育段階の就学援助に関する事務

消防担当

1 消防団の活動状況

- (1) 野木町・栃木市合同水防演習
  - ・実施日 6月24日(日)
  - ・場 所 野木町大字友沼下影地先堤防
- (2) 栃木方面隊夏季点検
  - ・実施日 6月30日(土)
  - ・場 所 総合運動公園多目的広場
- (3) 通常点検
  - ・実施日 11月4日(日)
  - ・場 所 総合運動公園多目的広場  
とちぎ蔵の街大通り(分列行進)
- (4) 栃木方面隊大火防止消防訓練
  - ・実施日 2月24日(日)
  - ・場 所 室町地内室町駐車場 うずま公園
- (5) 正副方面隊長会議

開催日	場 所
5月11日(金)	西方総合支所
8月10日(金)	市役所
9月28日(金)	市役所
1月18日(金)	サンプラザ

(6) 栃木方面隊分団長会議

開催日	場 所
6月8日(金)	消防署
9月3日(月)	消防署
10月3日(水)	消防署
1月25日(金)	消防署

2 各種団体の運営支援

栃木市婦人防火クラブ連絡協議会及び栃木市栃木消防協力会の事務局として、運営の支援を行った。

### 3 消防団の現状

#### (1) 配置人員

##### ア 栃木市消防団員

( )の数字は内数 (単位:人)

方面隊名		職名	正副 団長	方面 隊長	方面隊 副隊長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員	計
栃 木	定 員		3	(1)	(2)	13	13	37	102	342	510
	実 員		3	(1)	(2)	13	13	37	102	316	484
大 平	定 員		3	(1)	(2)	4	4	14	13	137	175
	実 員		3	(1)	(2)	4	4	14	13	137	175
藤 岡	定 員		3	(1)	(2)	4	4	8	8	120	147
	実 員		3	(1)	(2)	4	4	8	8	120	147
都 賀	定 員		3	(1)	(2)	4	4	6	12	72	101
	実 員		3	(1)	(2)	4	4	6	12	72	101
西 方	定 員		3	(1)	(2)	5	5	8	14	88	123
	実 員		3	(1)	(2)	5	5	8	14	74	109
合 計	定 員		15	(5)	(10)	30	30	73	149	759	1,056
	実 員		15	(5)	(10)	30	30	73	149	719	1,016

備考 団長及び副団長は、方面隊長を兼任する。

##### イ 栃木方面隊

( )の数字は内数 (単位:人)

分団別		職名	正副 団長	方面 隊長	方面隊 副隊長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員	計
本部分団	定 員		3	(1)	(2)	1	1	2	4	4	15
	実 員		3	(1)	(2)	1	1	2	4	3	14
第1分団	定 員		-	-	-	1	1	2	5	12	21
	実 員		-	-	-	1	1	2	5	8	17
第2分団	定 員		-	-	-	1	1	2	5	15	24
	実 員		-	-	-	1	1	2	5	14	23
第3分団	定 員		-	-	-	1	1	2	5	12	21
	実 員		-	-	-	1	1	2	5	9	18
第4分団	定 員		-	-	-	1	1	2	5	16	25
	実 員		-	-	-	1	1	2	5	9	18
第5分団	定 員		-	-	-	1	1	2	5	16	25
	実 員		-	-	-	1	1	2	5	16	25
第6分団	定 員		-	-	-	1	1	2	5	24	33
	実 員		-	-	-	1	1	2	5	23	32
第7分団	定 員		-	-	-	1	1	2	5	12	21
	実 員		-	-	-	1	1	2	5	8	17
第8分団	定 員		-	-	-	1	1	4	12	44	62

	実 員	-	-	-	1	1	4	12	41	59
第9分団	定 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
	実 員	-	-	-	1	1	4	12	42	60
第10分団	定 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
	実 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
第11分団	定 員	-	-	-	1	1	5	15	55	77
	実 員	-	-	-	1	1	5	15	55	77
第12分団	定 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
	実 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
合 計	定 員	3	(1)	(2)	13	13	37	102	342	510
	実 員	3	(1)	(2)	13	13	37	102	316	484

(2) 消防車等の態勢

ア 消防団

(単位：台)

種別 方面隊名	消防ポンプ 自動車	小型動力ポンプ 付積載車	指揮連絡車	計
栃 木	21	7	2	30
大 平	13	0	2	15
藤 岡	4	4	1	9
都 賀	4	2	1	7
西 方	2	6	1	9
計	44	19	7	70

イ 栃木方面隊

区分 分団・部	種 別	車 名	年 式	備 考
本 部 分 団	指 揮 車	トヨタ	平成15年	
	指 揮 連 絡 車	ニッサン	平成5年	
第1分団	普通ポンプ車	いすゞ	平成14年	
第2分団	〃	トヨタ	平成16年	
第3分団	〃	いすゞ	平成13年	
第4分団	〃	トヨタ	平成22年	
第5分団	〃	日 野	平成24年	
第6分団	〃	いすゞ	平成24年	更新
第7分団	普通ポンプ車	いすゞ	平成8年	
第 8 分 団	第1部	〃	日 野	平成23年
	第2部	〃	いすゞ	平成11年
	第3部	〃	〃	平成13年
	第4部	〃	〃	平成21年
第 9 分 団	第1部	〃	〃	平成21年
	第2部	〃	〃	平成23年

分 団	第3部	〃	日 野	平成24年	
	第4部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成20年	
		積 載 車	い す ゞ	平成20年	
第 10 分 団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成20年	
	第2部	〃	日 野	平成24年	
	第3部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成14年	
		積 載 車	い す ゞ	平成14年	
第4部	普通ポンプ車	〃	平成8年		
第 11 分 団	第1部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成14年	
		積 載 車	い す ゞ	平成14年	
	第2部	普通ポンプ車	〃	平成11年	
	第3部	〃	ト ヨ タ	平成22年	
	第4部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成19年	
		積 載 車	ト ヨ タ	平成19年	
第5部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成17年		
	積 載 車	い す ゞ	平成17年		
第 12 分 団	第1部	普通ポンプ車	日 野	平成19年	
	第2部	〃	い す ゞ	平成24年	更新
	第3部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成13年	
		積 載 車	い す ゞ	平成13年	
	第4部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成17年	
		積 載 車	い す ゞ	平成17年	

## 第3章 理財部

### 第1節 管財課

#### 〔総括概要〕

管財課の主な分掌事務は普通財産の調査、管理及び処分に関する事務、財産区及び財産区議会に関する事務である。

普通財産の貸付については、事業用定期借地権を設定し貸付を行うなど、未利用市有地の有効活用に努め、市内及び東京都内の土地について、43件、合計面積23,521.52㎡の有償貸付を行った。

普通財産の処分については、未利用市有地等の売却を積極的に行い、未利用市有地等46件、合計面積6,379.57㎡を合計金額48,624,776円で売却した。

また、大澤基金、皆川地区振興基金、土地総合調整基金については、設置目的事業への充当と、利子収入等の積立てを行い、確実かつ有利な方法による基金運用に努めた。

寺尾財産区では平成24年11月7日、寺尾財産区議会定例会を開催し、平成23年度寺尾財産区特別会計歳入歳出決算等を審議した。また平成25年3月14日、定例会にて、平成25年度寺尾財産区特別会計歳入歳出予算等を審議した。

#### 管財担当

#### 1 普通財産の貸付

区 分	件数(件)	面 積(㎡)	収入金額(円)
市内市有地(旭町 ほか)	22	20,289.60	19,493,889
都内市有地(渋谷区、大田区)	21	3,231.92	10,923,655
合 計	43	23,521.52	30,417,544

#### 2 普通財産の処分

区 分	件数(件)	面 積(㎡)	売却価格(円)
普通財産(公売・随意契約)	7	1,690.90	30,998,238
旧道水路敷(用途廃止)	39	4,688.67	17,626,538
合 計	46	6,379.57	48,624,776

#### 3 都内市有地(大澤財産)処分状況

(単位：㎡)

寄附受入面積	地積更正等	平成23年度末までの処分	平成24年度中の処分	平成24年度末の保有面積
7,928.44	7,927.77	4,659.98	—	3,267.79

4 大澤基金に関すること (単位：円)

平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
916,983,512	△142,162,231	774,821,281

5 土地総合調整基金に関すること (単位：円)

平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
108,783,981	36,422,241	145,206,222

6 皆川地区振興基金に関すること (単位：円)

平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
29,594,664	△310,310	29,284,354

7 財産区関係

(1) 財産区議会の招集

寺尾財産区議会

招集年月日	会議別	提案議案等
11月7日(水)	定例会	認定第1号
3月14日(木)	定例会	議案第1号

(2) 平成24年度財産区特別会計歳入歳出決算

寺尾財産区特別会計

(単位：円)

歳入	予算現額	収入済額
	32,639,000	28,856,222
歳出	予算現額	支出済額
	32,639,000	25,014,161
差引 残 額		3,842,061

(3) 寺尾財産区有山林貸付状況

貸付件数(件)	面積(m <sup>2</sup> )	収入金額(円)
4	371,343	25,945,966

(4) 寺尾財産区運営基金状況

(単位：円)

平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
300,307,696	22,661,000	322,968,696

## 第2節 施設管理課

### 〔総括概要〕

施設管理課の主な分掌事務は、庁舎及び附属施設等・自動車の管理、市有建築物の設計及び施工監理、住宅政策の総合調整及び推進のほか、市営住宅の全般に関することである。

庁舎等の管理については、ビル衛生管理法に基づく害虫駆除や大掃除、庁舎内の各種管理業務委託、維持補修工事等を実施し、良好な環境づくりを行った。

また、老朽化した市有車（普通自動車4台、消防車4台）をインターネット公有財産売却システムを利用し売却するほか、行政財産（建物、敷地）の一部を、入札等で選定した自動販売機、証明写真機、広告付庁舎案内看板等の各設置事業者に貸付をし、自主財源の確保に努めた。

市有建築物の設計及び施工監理については、各課の依頼等により、設計及び工事監理業務委託が、市庁舎整備設計業務委託ほか3件、施工監理が、吹上小学童保育施設新築工事ほか23件であった。また、建築物の所有者に対して建築物、建築設備及び昇降機等の点検調査が法律により義務付けられたことから、学校、老人福祉施設、市営住宅等の市有建築物76施設175棟について点検業務委託を実施し、点検結果を施設所管課に報告した。

住宅関係については、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とし、子育て世帯や高齢者等に配慮した良質な住宅の供給や良好な住環境の形成を図った。

住宅関係補助金として、定住人口の増加を促進し、市の活性化を図ることを目的とし定住希望者住宅新築等補助制度を行った。本市の特性に応じた総合的な居住環境の形成を図ることを目的として栃木市住生活基本計画を策定した。また、市営住宅の長寿命化を図りライフサイクルコストの縮減につなげるための栃木市公営住宅等長寿命化計画を策定した。

市営住宅管理については、昭和43年度から平成15年度にかけて栃木地域に建設した市営住宅851戸及び特定公共賃貸住宅30戸の建物等を常に良好な状態に維持すると共に、各市営住宅に管理人を設置するなど、迅速・的確に対応できる体制を強化し、管理運営を行った。

市営住宅維持修繕については、城内南市営住宅の屋根葺替工事ほか3件の改修工事及び381件の小破修繕工事を実施した。

庁舎管理担当

- 1 施設点検報告等に基づく職員による不具合箇所修繕状況  
トイレ補修、室外機盗難防止、照明器具移設等 92件

- 2 本庁舎内の業務委託

業 務 名	委託金額 (円)
市庁舎宿直警備業務委託	6,778,989
市庁舎受付等業務委託	3,874,500
市庁舎清掃業務委託	3,291,750
市庁舎電話交換設備等保守業務委託	1,204,812
その他業務委託件数 7件	1,472,842

- 3 本庁舎内の修繕工事等

工 事 名	工事金額 (円)
内線電話配線工事	194,250
本庁舎外壁工事	119,700
その他修繕工事件数 13件	1,881,175

- 4 主な備品売却状況

(インターネット公有財産売却システムを活用した官公庁オークションの実績)

品 名 等	金 額 (円)
庁用車 (日産 シーマ)	504,500
公用車 (トヨタ クラウン)	43,000
公用車 (トヨタ クラウン)	117,200
公用車 (トヨタ クラウン)	148,000
消防車 (三菱)	334,000
消防車 (三菱)	390,000
消防車 (三菱)	393,601
消防車 (トヨタ)	422,000

- 5 庁舎の有効活用状況

- (1) 庁舎貸付状況

貸 付 物 件	貸付収入 (円)
自動販売機 (本庁舎・別館・第2別館・福祉庁舎計7台)	4,256,957
証明写真機 (本庁舎)	150,108
広告付庁舎案内看板 (本庁舎)	85,000

(2) 自動販売機入札実施状況

地 域	入札実施台数 (台)	最高貸付料率 (%)
栃木	5	53.0
大平	1	29.5
都賀	1	41.0
西方	12	55.0

6 市有建物損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

- ・ 件 数 411件
- ・ 共済責任額 5,518,966万円
- ・ 共済分担金 6,294,930円

7 共用車管理状況

区 分	数 量 (台)
普通乗合 (大型バス 51人乗)	1
普通乗合 (中型バス 37人乗)	1
普通乗用	1
小型乗用	3
軽乗用	5
小型貨物	15
軽貨物	4

8 市有自動車損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

- ・ 件 数 自動車 359台  
バイク 39台
- ・ 共済分担金 5,178,726円
- ・ 契約内容(自動車等) 対物 1事故につき 500万円  
対人 1人につき 無制限

9 自動車損害賠償責任保険加入状況

- ・ 保険契約台数 250台
- ・ 保険料 4,130,240円

10 その他

- ・ 特定電気事業者 ( P P S ) との電力需給契約  
グループ 1 (庁舎、出張所等 8 施設) P P S 業者 : 丸紅 (株)  
グループ 2 (小・中学校 33 施設) P P S 業者 : 伊藤忠エネックス (株)

営繕担当

1 設計・工事依頼関係

(1) 設計・工事監理業務委託（4件） 70,465,500円

主 な 業 務 委 託 内 容			
業 務 箇 所	業 務 名	業 務 概 要	委 託 金 額 (円)
万町地内	市庁舎整備設計 業務委託	基本及び実施設計 市庁舎改修 庁舎棟、駐車場棟、連絡橋 市庁舎ネットワーク構築 耐震2次診断 庁舎棟耐震診断	66,097,500
川原田町地内	総合体育館給排水設 備改修設計業務委託	改修設計業務 給排水設備改修	1,837,500
その他業務委託件数 2件			2,530,500

(2) 建築、電気設備、機械設備工事（24件） 386,715,000円

主 な 工 事 内 容			
工 事 箇 所	工 事 名	工 事 概 要	工 事 金 額 (円)
吹上町地内	吹上小学童保育施設 新築工事	建築工事 木造平屋建て 建築面積 269.00 m <sup>2</sup> 延床面積 263.00 m <sup>2</sup> 電気設備工事 電灯設備、動力設備等 機械設備工事 冷暖房設備、換気設備等 外構工事 撤去工事、外構・外柵工 事等	61,530,000
川原田町地内	総合体育館音響設備 改修工事	電気設備工事 音響設備（主競技場、サブ競 技場） 既設機器撤去・処分	58,380,000

川原田町地内	総合体育館空調設備 改修工事	建築工事 内装（天井）改修工事等 電気設備工事 動力幹線設備 機械設備工事 冷暖房設備等	37,590,000
藤岡町藤岡地内	栃木市藤岡文化会館 舞台照明操作卓 改修工事	電気設備工事 舞台照明設備（舞台照明操作 卓）改修	25,935,000
藤岡町大田和地内 （道の駅みかも）	電気自動車充電設備 設置工事	電気設備工事 急速充電器設置 幹線設備 建築工事 専用駐車場設置 案内看板設置	3,969,000
今泉町1丁目地内	老人福祉センター 泉寿園空調機改修工 事	機械設備工事 冷暖房設備改修 配管改修 既設冷暖房設備撤去処分	3,360,000
その他工事件数 18件			195,951,000

(3) 定期点検業務委託（全76施設175棟） 8,935,500円

主 な 業 務 委 託 内 容			
業 務 箇 所	業 務 名	業 務 概 要	委 託 金 額 (円)
今泉町2丁目地内 ほか	市有建築物定期点検 業務委託（その1）	点検業務 栃木保健福祉センター 老人福祉センター福寿園 老人福祉センター泉寿園等 11施設33棟	1,344,000
城内町1丁目地内 ほか	市有建築物定期点検 業務委託（その2）	点検業務 栃木第四小学校 南小学校 栃木南中学校 等 10施設18棟	1,123,500
その他定期点検業務委託件数 5件		55施設124棟	6,468,000

住宅担当

1 公営住宅管理関係

(1) 市営住宅管理戸数

(単位：戸)

種別構造 団地名	木造 2階建	準耐火 平屋建	準耐火 2階建	中層耐火 3階建	中層耐火 4階建	中層耐火 5階建	高層耐火 8階建	計
本町市営住宅	-	-	-	-	-	20	-	20
菌部市営住宅	6	-	-	-	-	-	-	6
城内市営住宅	-	-	-	-	48	-	-	48
神田市営住宅	8	-	-	-	-	-	-	8
大宮市営住宅	-	-	-	42	88	-	-	130
川原田西市営住宅	-	-	-	24	-	-	-	24
川原田市営住宅	-	-	-	58	-	-	60	118
片柳市営住宅	-	84	12	-	-	-	-	96
川原田東市営住宅	-	60	-	-	-	-	-	60
城内南市営住宅	-	45	54	-	-	60	-	159
城内南第2市営住宅	-	-	-	12	88	30	-	130
平井市営住宅	-	-	-	-	16	-	-	16
平柳市営住宅	-	-	-	-	-	-	36	36
計	14	189	66	136	240	110	96	851
退去戸数	39							
入居戸数	34							

(2) 特定公共賃貸住宅管理戸数

管理戸数 30戸

退去戸数 2戸

入居戸数 -戸

(3) 改良住宅管理戸数

管理戸数 3戸

2 市営住宅維持修繕工事関係

(1) 市営住宅改修工事費等 (4件) 47,943,000円

工 事 内 容			
工事箇所	工 事 名	工 事 概 要	工事金額(円)
城内町2丁目 地内	城内南市営住宅屋根 瓦替工事	屋根葺替 低層3棟 (TC-5~7号棟) ガルバリウム鋼板製嵌合式 縦葺き 計 585㎡ 等	12,894,000
城内町2丁目 地内	城内南第2市営住宅 屋上防水改修工事	屋上防水改修 中層2棟 (1号棟・2号棟)	14,805,000

		高反射率塩ビシート防水 計 915㎡ 等	
城内町2丁目 地内	城内南第2市営住宅 排水管改修工事	排水管改修工事 中層2棟（3号棟・4号棟） 浴室・台所排水管改修 等	17,850,000
城内町2丁目 地内	城内南市営住宅建具 取替工事	建具取替 低層3棟（TC-5～7号棟） アルミ製引違窓長棧付 計 18か所 等	2,394,000

(2) 市営住宅維持補修費

市営住宅13団地の小破修繕工事 381件 18,642,639円

3 定住希望者住宅新築等補助制度

受付年度	取得年度	件数	金額（円）
平成24年度	平成21年取得	85	6,158,900
	平成22年取得	138	9,271,700
	平成23年取得	258	19,842,200
	計	481	35,272,800

4 東北地方太平洋沖地震に伴う住宅の修繕工事費補助制度（繰越）

受付別	繰越件数	補助申請金額（円）	（最終補助件数）	（最終補助金額（円））
栃木	24	2,355,000	182	16,961,000
大平	8	765,000	105	9,651,000
藤岡	9	842,000	151	14,345,000
都賀	5	500,000	42	3,796,000
西方	1	100,000	5	454,000
計	47	4,562,000	485	45,207,000

### 第3節 市民税課

#### 〔総括概要〕

我が国の経済は、東日本大震災からの復興需要等が一部に見えたものの、世界経済の減速、領土問題や円高による輸出減等の影響により、景気は弱い動きとなっていた。しかし、年が明けてからは、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大を目指す日本経済再生に向けた緊急経済対策が実施され、株価の上昇や円高の是正等景気回復に明るい兆しが見え始めているが、まだ確かな動きとは感じられず不透明な状況にある。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあるが、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。

また、保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

#### 税政担当

#### 1 調定額

(単位：千円)

税目 \ 区分	本年度	前年度
市民税	8,733,492	8,224,010
軽自動車税	293,638	275,667
市たばこ税	971,545	968,112
鉱産税	3,287	3,187
入湯税	12,966	12,674
国民健康保険税	6,064,284	6,243,872
後期高齢者医療保険料	1,015,138	858,244
介護保険料	1,965,254	1,699,831

## 2 賦課状況

### (1) 軽自動車税（4月1日現在）

車種		区分		総台数 (台)	課税外台数(台)		課税台数 (台)	税額 (千円)
					非課税	減免		
原動機付自転車	50cc以下			7,028	56	6	6,966	6,966
	51cc～90cc			525	4	—	521	625
	91cc～125cc			469	10	—	459	734
	ミニカー			140	—	—	140	350
	小計			8,162	70	6	8,086	8,675
軽自動車及び小型特殊自動車	軽自動車	二輪車		1,763	3	—	1,760	4,224
		三輪車		1	—	—	1	3
	四輪以上	乗用	自家用	25,891	52	241	25,598	184,306
			営業用	13	—	3	10	55
		貨物	自家用	11,980	64	76	11,840	47,360
			営業用	203	—	—	203	609
	小型特殊	農耕作業用		7,169	9	—	7,160	11,456
		フォークリフト等		365	2	—	363	1,706
	小計			47,385	130	320	46,935	249,719
	二輪の小型自動車			2,319	17	—	2,302	9,208
合計			57,866	217	326	57,323	267,602	

### (2) 市たばこ税

区分	課税標準数量(本)	返還控除数量(本)	差引数量(本)	申告納付額(円)
一級品	207,323,003	683,290	206,639,713	954,262,188
旧三級品	7,897,700	5,900	7,891,800	17,283,041
合計	215,220,703	689,190	214,531,513	971,545,229

### (3) 鉱産税

区分	数量(t)	価格(円)	課税標準額(千円)	税額(円)
石灰石 第1類	59,203	17,760,900	-	-
ドロマイト	198,974	79,589,600		
石灰石 第2類	732,679	183,169,750		
珪石	96,759	48,379,500		
合計	1,087,615	328,899,750	328,886	3,287,200

### (4) 入湯税

区分	税率(円/人)	人数(人)	税額(円)
日帰り	50	252,800	12,640,000
宿泊	150	2,170	325,500
合計	-	254,970	12,965,500

3 諸証明等の交付（栃木地域分）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	23,260	3,692	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税、所得及びその他の証明 1件につき200円</li> <li>・土地及び建物の評価証明 1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし 1件増すごとに100円を加算する。</li> <li>・住宅用家屋証明 1件につき1,300円</li> </ul>
公簿閲覧	2,060	1,666	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資産台帳の閲覧 1冊につき200円</li> <li>・公簿等の写し 1枚につき200円</li> </ul>
計	25,320	5,358	

市民税担当

1 個人市民税賦課状況（7月1日現在）

(1) 所得区分別市民税額調

（単位：千円）

区 分	金 額	所 得 区 分 別 金 額					
		給 与	営 業	農 業	そ の 他	分 離 譲 渡	
所得金額	174,310,745	147,409,366	7,013,681	1,456,177	16,828,338	1,603,183	
所 得 控 除 額	雑 損	36,540	24,681	189	828	9,335	1,507
	医 療 費	1,286,658	704,834	69,892	44,008	432,813	35,111
	社会保険料	28,451,897	24,915,917	969,477	272,304	2,087,819	206,380
	小規模企業共済等掛金	372,187	199,913	119,743	5,280	32,640	14,611
	生命保険料	1,846,143	1,567,433	77,481	16,999	170,920	13,310
	地震保険料	82,656	54,082	5,080	5,084	16,977	1,433
	障 害 者	594,620	363,140	31,300	10,860	179,800	9,520
	寡 婦	260,980	206,980	6,040	560	45,280	2,120
	寡 夫	47,840	41,600	4,420	—	1,820	—
	勤労学生	780	780	—	—	—	—
	配 偶 者	5,411,950	3,748,580	150,790	22,170	1,446,770	43,640
	配偶者特別	343,240	266,930	15,670	790	57,780	2,070
	扶 養	6,015,940	5,184,560	350,300	129,560	290,780	60,740
	同居特別障害者	140,530	102,810	9,890	2,760	23,230	1,840
基 礎	20,530,290	16,482,180	757,680	161,040	2,995,740	133,650	
計	65,422,251	53,864,420	2,567,952	672,243	7,791,704	525,932	

課税標準額	108,941,328	93,544,946	4,445,729	783,934	9,036,634	1,130,085	
税額	算出税額	6,600,841	5,610,704	266,652	47,184	542,678	133,623
	調整控除額	137,859	105,630	5,850	1,578	23,989	812
	配当控除額	4,248	1,123	11	18	2,920	176
	住宅借入金等特別税額控除	89,129	85,591	2,652	205	563	118
	寄附金税額控除	10,488	6,356	1,245	141	2,405	341
	外国税額控除	—	—	—	—	—	—
	税額調整額	1,489	1,274	64	—	151	—
	配当割額等控除額	2,591	653	7	15	798	1,118
	減免税額	127	127	—	—	—	—
	所得割額	6,354,349	5,409,909	256,823	45,227	511,843	130,547
	均等割額	208,263	162,441	8,805	1,887	35,130	—
	市民税額合計	6,562,612	5,572,350	265,628	47,114	546,973	130,547
市民税負担割合(%)	100	84.9	4.1	0.7	8.3	2.0	
納税義務者数(人)	69,826	54,147	2,935	629	11,710	405	
所得割人数(人)	62,213	49,946	2,296	488	9,078	405	

(2) 課税標準額段階別市民税所得割額調

課税標準額の段階	納税義務者数(人)	所得金額(千円)	課税標準額(千円)	算出税額(千円)	所得割額(千円)
10万円以下	2,820	1,839,695	849,387	29,939	26,536
10万円を超え100万円以下	22,914	31,070,999	13,141,341	775,612	709,393
100 # 200 #	18,417	44,899,419	26,863,863	1,600,075	1,505,746
200 # 300 #	8,923	33,416,030	21,937,994	1,311,873	1,260,521
300 # 400 #	4,861	24,363,894	16,904,529	1,009,826	996,424
400 # 550 #	2,574	16,262,246	11,912,409	711,501	706,539
550 # 700 #	745	5,952,322	4,721,566	278,295	276,325
700 # 1,000 #	449	4,506,661	3,713,661	221,451	220,200
1,000万円を超える金額	510	11,999,479	11,129,732	662,269	652,665
合計	62,213	174,310,745	111,174,482	6,600,841	6,354,349

※ 「課税標準額の段階」には分離譲渡所得は含まれない。

(3) 課税標準額段階別控除対象配偶者、扶養控除及び事業専従者に関する調 (単位:人)

課税標準額の段階	控除対象配偶者		扶養控除人員	扶養控除人員の内訳			事業専従者	
	うち老人配偶者			老人扶養	同居老親扶養	その他の扶養	青色	白色
1万円以下の金額	40	14	46	1	23	22	8	2
1万円を超え2万円以下	30	3	56	4	26	26	10	4
2 # 3 #	33	9	33	—	20	13	5	3
3 # 4 #	22	4	39	—	16	23	5	1

4	5	35	12	44	4	17	23	8	3
5	6	31	14	41	—	19	22	37	6
6	7	38	9	47	2	23	22	19	4
7	8	34	9	42	1	23	18	25	11
8	9	30	8	34	3	12	19	125	25
9	10	41	7	37	4	16	17	97	25
10	15	212	55	206	15	76	115	94	24
15	20	243	84	234	9	106	119	179	33
20	25	282	104	230	14	93	123	176	35
25	30	268	90	249	19	90	140	108	20
30	40	574	180	434	29	176	229	221	45
40	60	1,199	346	953	48	320	585	171	26
60	80	1,139	303	873	33	324	516	112	22
80	120	2,188	435	1,739	86	579	1,074	47	5
120	160	1,900	178	1,488	69	500	919	45	6
160	200	1,552	72	1,290	62	412	816	48	6
200万円を超える金額		6,194	142	7,085	355	1,971	4,759	18	1
合 計		16,085	2,078	15,200	758	4,842	9,600	1,558	307

2 法人市民税賦課状況  
等割別納税義務者数

区 分		均等割額(千円)	法人数(人)
資 本 金 の 額 等	① 1千万円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	60	2,796
	② 1千万円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	144	29
	③ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	156	505
	④ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	180	51
	⑤ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	192	96
	⑥ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	480	22
	⑦ 10億円を超え、市内の従業者数が50人以下の法人	492	139
	⑧ 10億円を超え50億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	2,100	7
	⑨ 50億円を超え、市内の従業者数が50人を超える法人	3,600	26
合 計			3,671

3 国民健康保険税賦課状況(7月1日現在)

(1) 医療保険分の状況

ア 税率及び課税内訳

- ・賦課限度額 500,000円
- ・所得割 6.6/100

- ・資産割 14/100
- ・均等割 24,000円
- ・平等割 23,500円
- ・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	16,883	14,094	40,304	21,939
退職世帯	1,668	1,612	2,927	1,359
計	18,551	15,706	43,231	23,298

イ 軽減世帯及び限度額世帯 (単位：世帯)

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	5,194	1,100	2,604	8,898	597
退職世帯	210	64	230	504	15
計	5,404	1,164	2,834	9,402	612

ウ 調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	21,939	40,304	2,748,196,509	125,265	68,186
退職世帯	1,359	2,927	218,818,291	161,014	74,758
医療分合計	23,298	43,231	2,967,014,800	127,350	68,631

(2) 後期高齢者支援金分の状況

ア 税率及び課税内訳

- ・賦課限度額 130,000円
- ・所得割 2/100
- ・資産割 3/100
- ・均等割 5,000円
- ・平等割 4,500円
- ・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	16,883	14,094	40,304	21,939
退職世帯	1,668	1,612	2,927	1,359
計	18,551	15,706	43,231	23,298

イ 軽減世帯及び限度額世帯 (単位：世帯)

区分	低所得者軽減	計	限度額世帯

	7割	5割	2割		
一般世帯	5,194	1,100	2,604	8,898	685
退職世帯	210	64	230	504	15
計	5,404	1,164	2,834	9,402	700

ウ 調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	21,939	40,304	694,364,960	31,649	17,228
退職世帯	1,359	2,927	55,795,840	41,056	19,062
特別徴収対象者世帯 合計	23,298	43,231	750,160,800	32,198	17,352

(3) 介護保険分の状況

ア 税率及び課税内訳

- ・賦課限度額 100,000円
- ・所得割 1.5/100
- ・資産割 3/100
- ・均等割 7,000円
- ・平等割 5,000円
- ・課税内訳

区分	所得割(人)	資産割(人)	均等割(人)	平等割(世帯)
一般世帯	6,867	5,486	14,001	10,946
退職世帯	1,204	1,189	2,175	1,491
計	8,071	6,675	16,176	12,437

イ 軽減世帯及び限度額世帯

(単位：世帯)

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	2,206	586	1,036	3,828	383
退職世帯	201	79	263	543	18
計	2,407	665	1,299	4,371	401

ウ 調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	10,946	14,001	295,923,204	27,034	21,135
退職世帯	1,491	2,175	47,341,496	31,751	21,766

介護保険分					
合計	12,437	16,176	343,264,700	27,600	21,220

(4) 国民健康保険税調定額

区分	世帯数(世帯)	調定額(円)
普通徴収対象世帯	21,368	3,728,531,200
特別徴収対象世帯	3,820	331,909,100
合計	25,188	4,060,440,300

4 後期高齢者医療保険料賦課状況(7月1日現在)

(1) 後期高齢者医療保険料の算定料率

- ・賦課限度額 550,000円
- ・所得割 8.54/100
- ・均等割 42,000円

均等割低所得者軽減額(円)			
9割軽減	8.5割軽減	5割軽減	2割軽減
37,800	35,700	21,000	8,400

(2) 保険料軽減区分別被保険者数

区分	内容	被保険者数(人)	
		普通徴収	特別徴収
一般	(所得-33万円)×8.54%+42,000円	1,412	6,207
9割軽減	世帯の合計所得が33万円以下のうち、世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下。(その他所得がない場合)均等割額が9割軽減。	340	3,062
8.5割軽減	世帯の合計所得が33万円以下。均等割額が8.5割軽減。	178	2,391
5割軽減	世帯の合計所得が33万円+(24.5万円×被保険者数(世帯主を除く))以下。均等割額が5割軽減。	45	456
2割軽減	世帯の合計所得が33万円+(35万円×被保険者数)以下。均等割額が2割軽減。	114	1,166
被用者保険の被扶養者軽減	所得割額が免除、均等割額が9割軽減。	209	3,183
計		2,298	16,465

(3) 後期高齢者医療保険料調定額

区分	被保険者(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	2,298	298,751,400
特別徴収対象者	16,465	693,358,100
合計	18,763	992,109,500

5 介護保険料賦課状況（7月1日現在）

(1) 介護保険料段階別保険料等

段 階	対 象 者	被 保 険 者 数 (人)		年 間 保 険 料 (円)
		普通徴収	特別徴収	
第1段階	・ 老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税の方 ・ 生活保護の受給者	296	234	24,800
第2段階	・ 世帯全員が市民税非課税で前年の課税年金収入額と 合計所得金額の合計が80万円以下の方	433	4,759	24,800
特例第3段階	・ 世帯全員が市民税非課税で前年の課税年金収入額と 合計所得金額の合計が120万円以下の方	48	1,816	34,300
第3段階	・ 世帯全員が市民税非課税で前年の課税年金収入額と 合計所得金額の合計が120万円を超える方	46	1,638	39,600
特例第4段階	・ 市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民 税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の 合計が80万円以下の方	696	8,457	44,900
第4段階	・ 市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民 税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の 合計が80万円を超える方	78	5,024	52,800
第5段階	・ 本人が市民税課税で前年の合計所得金額が125万円 以下の方	320	5,311	63,400
第6段階	・ 本人が市民税課税で前年の合計所得金額が125万円 を超え200万円未満の方	205	3,950	68,600
第7段階	・ 本人が市民税課税で前年の合計所得金額が200万円 以上400万円未満の方	195	2,440	79,200
第8段階	・ 本人が市民税課税で前年の合計所得金額が400万円 以上600万円未満の方	37	413	92,400
第9段階	・ 本人が市民税課税で前年の合計所得金額が600万円以 上の方	54	403	105,600
計		2,408	34,445	

(2) 介護保険料調定額

区分	被 保 険 者 数 (人)	調 定 額 (円)
普通徴収対象者	2,408	128,506,500
特別徴収対象者	34,445	1,763,288,100
合計	36,853	1,891,794,600

## 第4節 資産税課

### 〔総括概要〕

我が国の経済は、東日本大震災からの復興需要等が一部に見えたものの、世界経済の減速、領土問題や円高による輸出減等の影響により、景気は弱い動きとなっていた。しかし、年が明けてからは、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大を目指す日本経済再生に向けた緊急経済対策が実施され、株価の上昇や円高の是正等景気回復に明るい兆しが見え始めているが、まだ確かな動きとは感じられず不透明な状況にある。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあるが、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、次期評価替え業務の民間委託や地図情報システムの整備を行うといった、効率的な課税体制の確立に努めた。

また、税務通知書等に基づく現地調査を通して、新增築・滅失家屋や土地利用の現況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等の申告指導を継続して行った。

### 資産税担当

#### 1 調定額 (単位：千円)

税目 \ 区分	本年度	前年度
固定資産税	9,846,140	10,003,654
特別土地保有税	3,218	159,464
都市計画税	990,269	1,069,472

※合併のため前年度には旧西方町収入未済額を含む。

#### 2 固定資産税評価状況 (平成24年1月1日現在)

##### (1) 土地

地目		筆数(筆)	地積(m <sup>2</sup> )	決定価格(千円)
田	一般田	52,205	71,188,828	8,063,846
	宅地介在田等	4,703	3,237,167	30,915,450

畑	一般畑	23,344	13,742,765	852,054
	宅地介在畑等	3,074	1,450,938	14,600,955
宅	地	119,323	32,992,589	466,600,576
鉱	泉地	2	4	443
池	沼	262	123,135	5,156
山	林	18,210	39,665,288	2,957,636
牧	場	13	6,751	317
原	野	2,904	677,460	11,791
雑	種地	22,906	18,942,313	50,691,787
合	計	246,946	182,027,238	574,700,011

(2) 家屋

ア 木造家屋

種類	棟数(棟)	床面積(㎡)	決定価格(千円)	
専用住宅	49,318	4,535,528	117,679,405	
共同住宅・寄宿舎	736	150,157	4,715,667	
併用住宅	3,903	411,745	6,097,128	
農家住宅	2,193	248,022	573,692	
旅館・料亭・ホテル	64	4,958	47,613	
事務所・銀行・店舗	1,543	107,790	2,405,314	
劇場・病院	78	11,554	340,183	
公衆浴場	11	1,615	51,913	
工場・倉庫	1,072	102,049	397,186	
土蔵	1,993	104,614	129,134	
付属家	23,119	914,957	3,131,897	
合	計	84,030	6,592,989	135,569,132

イ 非木造家屋

種 類	棟 数 (棟)	床 面 積 (㎡)	決定価格 (千円)
事 務 所 ・ 店 舗 百 貨 店 ・ 銀 行	1,763	659,755	35,962,857
住 宅 ・ ア パ ー ト	6,840	1,117,684	39,871,943
病 院 ・ ホ テ ル	129	83,136	6,371,889
工 場 ・ 倉 庫 ・ 市 場	5,254	2,194,912	48,697,586
そ の 他	9,644	608,611	5,536,842
合 計	23,630	4,664,098	136,441,117

(3) 償却資産 (単位：千円)

区 分	決 定 価 格	課税標準額	
市 長 し が た 価 も 格 の 等 を 決 定	構 築 物	15,879,282	15,731,025
	機 械 及 び 装 置	65,020,780	64,860,624
	船 舶	333	333
	航 空 機	-	-
	車 両 及 び 運 搬 具	705,052	705,052
	工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	11,464,658	11,459,065
	小 計	93,070,105	92,756,099
総務大臣が価格等を 決定し配分したもの	32,583,100	31,291,275	
県知事が価格等を 決定し配分したもの	-	-	
小 計	32,583,100	31,291,275	
合 計	125,653,205	124,047,374	

## 第5節 収税課

### 〔総括概要〕

我が国の経済は、東日本大震災からの復興需要等が一部に見えたものの、世界経済の減速、領土問題や円高による輸出減等の影響により、景気は弱い動きとなっていた。しかし、年が明けてからは、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大を目指す日本経済再生に向けた緊急経済対策が実施され、株価の上昇や円高の是正等景気回復に明るい兆しが見え始めているが、まだ確かな動きとは感じられず不透明な状況にある。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあるが、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。

また、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、収税担当では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行うとともに、7月からは電話催告員による現年度滞納者への電話催告も行い、加えて全庁的な取組として課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保巡回訪問催告、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室と協働で滞納整理や差押処分を行うなど、収税確保へ向けた取組を展開した。

また、債権管理指導担当では、市の債権を適正に管理回収するため、債権管理に関する職員研修や弁護士による法律相談を実施するとともに、栃木市債権回収対策本部会議を開催し、未収債権の回収計画の策定や債権管理の総合調整を行った。

収税担当

1 市税等徴収状況

市税等徴収状況については【別表】市税等徴収状況のとおり。

2 不納欠損

税 目	件 数 (件)	金 額 (円)
市 税	9,717	188,311,712
国民健康保険税	12,614	264,961,494
介護保険料	2,304	12,209,520
後期高齢者医療保険料	205	1,043,200
計	24,840	466,525,926

3 執行停止

税 目	件 数 (件)	金 額 (円)
市 税	11,168	218,170,874
国民健康保険税	12,561	272,619,229
介護保険料	2,272	12,057,580
後期高齢者医療保険料	246	1,313,300
計	26,247	504,160,983

4 差押（参加差押含む）（上段：市全体/下段：栃木地域）

（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年 度 末
不 動 産	160	2	5	157
	136	2	5	133
自 動 車	5	5	2	8
	2	4	0	6
電話加入権	7	0	0	7
	7	0	0	7
債権その他	120	402	311	211
	65	244	164	145
計	292	409	318	383
	210	250	169	291

※地方税法第48条による県からの引継ぎ件数も含む

5 交付要求（上段：市全体/下段：栃木地域）（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
124	96	133	87
79	63	99	43

6 督促状発送状況（単位：件）

税 目	件 数
市 税	50,375
国 民 健 康 保 険 税	36,863
介 護 保 険 料	6,765
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	2,690
計	96,693

7 催告書発送及び納付状況（上段：市全体/下段：栃木地域）

月 日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月13日（金）	1,731	1,270	24,372,308
	973	—	—
6月22日（金）	4,946	1,593	23,667,546
	2,964	—	—
10月26日（金）	4,047	1,445	28,770,803
	2,356	—	—
1月25日（金）	2,345	1,535	28,610,590
	1,263	—	—
計	13,069	5,843	105,421,247
	7,556	—	—

8 口座振替状況

税 目	件 数（件）	金 額（円）
市 ・ 県 民 税	20,093	1,054,513,790
固定資産税・都市計画税	64,286	3,322,409,500
軽 自 動 車 税	13,077	63,033,800
国 民 健 康 保 険 税	48,672	1,512,612,100
介 護 保 険 料	3,742	27,771,510
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	8,484	164,961,400
計	158,354	6,145,302,100

9 休日納税相談窓口（上段：市全体/下段：栃木地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 日	納付件数(件)	納 付 額 ( 円)
第1回	4月21日(土)	36	945,500
		23	771,300
第2回	7月1日(日)	32	1,097,530
		21	676,930
第3回	11月4日(日)	28	1,202,400
		20	807,600
第4回	2月3日(日)	90	2,197,200
		34	1,259,000
計		186	5,442,630
		98	3,514,830

10 地方税徴収特別対策室との協働徴収（平成19年度から継続）

栃木県地方税徴収特別対策室に職員1人を派遣。協働で徴収に当たった。

徴 収 実 績 ( 累 計 )	
人 数	税 額
1,666人	1,008,244,401円

11 市税等収納員による徴収事業（上段：市全体/下段：栃木地域）

市税等の徴収率向上のため、市税等収納員9人による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
7,484	213,277,172	53	3,832
3,892	117,984,743	29	1,194

12 市税等徴収強化事業（上段：市全体/下段：栃木地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員及び関係課職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間 12月7日(金)～21日(金)

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
1,566	126	3,061,770
854	46	834,200

13 市税等徴収指導員設置事業

職員のスキルアップや人材の育成を図ることにより円滑な滞納処分を実施するため、徴収指導員による直接指導助言や、滞納整理に関する研修を実施した。

・徴収指導員 税理士 宮川昌俊氏

・実施状況

開催日	会場	内容	参加人数(人)
5月29日(火)	大平総合支所	納税者との接し方等について	17
6月27日(水)	大平総合支所	公債権の徴収に関する事	11
7月31日(火)	大平総合支所	債権の差押について	9
9月27日(木)	藤岡総合支所	検索に関する事	12
11月27日(火)	藤岡総合支所	徴収法第26条、第39条関係	9
12月27日(木)	市役所本庁舎	直接指導助言	6

### 債権管理指導担当

#### 1 債権管理職員研修の実施

債権管理に関する正確な法知識を習得することにより、職員のスキルアップを図るため、研修を実施した。

・講師 弁護士 須田徹氏

・実施状況

実施日	会場	内容	参加人数(人)
8月24日(金)	皆川公民館	自治体が有する債権の管理回収について	14
1月22日(火)	吹上公民館	債権回収における法的手続(裁判所手続)の実務	22

#### 2 弁護士法律(メール)相談の実施

債権に関する法律上の問題や実務上の問題の解決を図るため、自治体の債権管理に精通した弁護士に委託して、メールによる法律相談を実施した。

	実施日	件名	所管課
1	4月12日	分割納付者に対する納付通知の送付について	収税課
2	4月12日	受益者負担金の不納欠損について	下水道課
3	5月1日	抵当権設定物件について	施設管理課
4	5月7日	固定資産税延滞金の取扱いについて	総務課
5	6月25日	居住が判明した者への市営住宅使用料について	施設管理課
6	7月3日	換価処分 of 適否について	収税課
7	8月29日	税外徴収職員の権限について	収税課

8	9月11日	保育料特別徴収同意に基づく差押解除について	収税課
9	1月25日	一部納付による債務の承認の範囲について	収税課
10	1月25日	凍結された口座への差押えの可否について	収税課
11	1月29日	法人名義の保険の差押について	収税課
12	1月30日	破産した法人について	収税課

### 3 栃木市債権回収対策本部会議の開催

市の保有する債権の適切な管理と、市税をはじめとする自主財源の確保のため、副市長を本部長とし、各部長を本部員とする「栃木市債権回収対策本部」を設置し、未収債権の回収計画の策定や債権管理の総合調整を行った。

実施日	内 容	会 場
5月22日(火)	(1) 本市の債権管理の現状と課題について (2) 債権管理プランの策定について (3) 債権管理条例について 等	正庁 A, B
6月29日(金)	(1) 債権管理条例について (2) 各課の債権管理プランの策定について	第5会議室
2月12日(火)	(1) 債権管理条例制定後の施策の推進について (2) 平成25年度債権管理プランの策定について	第5会議室

【別表】市税等徴収状況

税目			予算額(円)	調定額(円)	収入済額(円)	収入未済額(円)	不納欠損(円)	収入率%	
普通	市民税	個人	普通徴収	2,425,496,000	2,321,873,451	2,167,288,200	154,585,251	0	93.3
		特別徴収	3,754,112,000	4,269,563,235	4,264,944,847	4,618,388	0	99.9	
		過年度随時	22,738,000	27,290,238	15,021,123	12,269,115	0	55.0	
		滞納繰越分	102,311,000	696,526,693	103,298,773	509,414,340	83,813,580	14.8	
		計	6,304,657,000	7,315,253,617	6,550,552,943	680,887,094	83,813,580	89.5	
		法人	現年課税分	1,098,928,000	1,375,811,700	1,368,974,000	6,837,700	0	99.5
	滞納繰越分	2,851,000	42,426,936	5,903,166	30,447,839	6,075,931	13.9		
	計	1,101,779,000	1,418,238,636	1,374,877,166	37,285,539	6,075,931	96.9		
		合計	7,406,436,000	8,733,492,253	7,925,430,109	718,172,633	89,889,511	90.7	
	固定資産税	現年課税分	8,215,238,000	8,647,848,372	8,445,894,806	201,254,066	699,500	97.7	
		過年度随時				0		-	
		滞納繰越分	117,078,000	963,180,862	129,769,140	750,510,096	82,901,626	13.5	
		交付金	235,210,000	235,110,700	235,110,700	0	0	100.0	
		合計	8,567,526,000	9,846,139,934	8,810,774,646	951,764,162	83,601,126	89.5	
		軽自動車税	現年課税分	256,837,000	267,315,000	259,701,150	7,613,850	0	97.2
	過年度随時				0		-		
	滞納繰越分	4,369,000	26,322,743	4,685,884	17,405,533	4,231,326	17.8		
	合計	261,206,000	293,637,743	264,387,034	25,019,383	4,231,326	90.0		
	たばこ税	現年課税分	925,315,000	971,545,229	971,545,229	0	0	100.0	
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	-	
		合計	925,315,000	971,545,229	971,545,229	0	0	100.0	
	鉱産税	現年課税分	3,030,000	3,287,200	3,287,200	0	0	100.0	
		滞納繰越分	1,000	0	0	0	0	-	
		合計	3,031,000	3,287,200	3,287,200	0	0	100.0	
	保有税	現年課税分				0		-	
		滞納繰越分	1,000	3,218,500	0	3,218,500	0	0.0	
		合計	1,000	3,218,500	0	3,218,500	0	0.0	
	税計	現年課税分	16,936,904,000	18,119,645,125	17,731,767,255	387,178,370	699,500	97.9	
		滞納繰越分	226,611,000	1,731,675,734	243,656,963	1,310,996,308	177,022,463	14.1	
		合計	17,163,515,000	19,851,320,859	17,975,424,218	1,698,174,678	177,721,963	90.6	
目的税	入湯税	11,915,000	12,965,500	12,965,500	0	0	100.0		
	現年課税分	874,719,000	884,223,100	858,702,120	25,371,180	149,800	97.1		
	過年度随時				0		-		
	滞納繰越分	17,538,000	106,046,080	18,049,670	77,556,461	10,439,949	17.0		
	合計	892,257,000	990,269,180	876,751,790	102,927,641	10,589,749	88.5		
	計	現年課税分	886,634,000	897,188,600	871,667,620	25,371,180	149,800	97.2	
滞納繰越分	17,538,000	106,046,080	18,049,670	77,556,461	10,439,949	17.0			
	計	904,172,000	1,003,234,680	889,717,290	102,927,641	10,589,749	88.7		
総計	現年課税分	17,823,538,000	19,016,833,725	18,603,434,875	412,549,550	849,300	97.8		
	滞納繰越分	244,149,000	1,837,721,814	261,706,633	1,388,552,769	187,462,412	14.2		
	合計	18,067,687,000	20,854,555,539	18,865,141,508	1,801,102,319	188,311,712	90.5		
目的	国民健康保険税	一般	現年分(医)特徴	2,432,618,000	263,884,014	264,036,545	-152,531		100.1
			現年分(医)普徴		2,477,436,175	2,170,078,645	307,357,530		87.6
		過年度(医)		23,299,073	14,112,467	9,186,606		60.6	
		現年分(後支)特徴	616,978,000	64,936,699	64,943,768	-7,069		100.0	
		現年分(後支)普徴		630,292,096	552,647,777	77,644,319		87.7	
		過年度(後支)		6,699,041	4,065,260	2,633,781		60.7	
		現年分(介)特徴		0	0	0		-	
		現年分(介)普徴	249,450,000	293,661,665	252,087,314	41,574,351		85.8	
		過年度(介)		2,892,443	1,774,584	1,117,859		61.4	
		滞納繰越(医)	219,932,000	1,398,686,461	238,147,658	937,236,385	223,302,418	17.0	
		滞納繰越(後支)	53,740,000	295,908,182	51,931,071	238,246,322	5,730,789	17.5	
		滞納繰越(介)	32,873,000	213,421,911	35,696,754	148,878,315	28,846,842	16.7	
	合計	3,605,591,000	5,671,117,760	3,649,521,843	1,763,715,868	257,880,049	64.4		
	健康	退	現年分(医)特徴	212,993,000	86	86	0		100.0
			現年分(医)普徴		218,379,425	210,741,943	7,637,482		96.5
		過年度(医)		1,119,827	987,432	132,395		88.2	
		現年分(後支)特徴		101	101	0		100.0	
		現年分(後支)普徴	54,518,000	55,815,004	53,863,735	1,951,269		96.5	
		過年度(後支)		346,659	304,748	41,911		87.9	
	保険	職	現年分(介)特徴		0	0	0		-
			現年分(介)普徴	50,416,000	52,019,335	50,208,638	1,810,697		96.5
		過年度(介)		296,257	264,809	31,448		89.4	
		滞納繰越(医)	8,915,000	45,045,916	9,063,838	29,680,340	6,301,738	20.1	
		滞納繰越(後支)	4,049,000	9,498,084	1,922,806	7,546,095	29,183	20.2	
		滞納繰越(介)	2,340,000	10,645,922	2,184,130	7,711,268	750,524	20.5	
		合計	333,231,000	393,166,616	329,542,266	56,542,905	7,081,445	83.8	
		総計	現年分(医)特徴	2,645,611,000	263,884,100	264,036,631	-152,531	0	100.1
			現年分(医)普徴		2,695,815,600	2,380,820,588	314,995,012	0	88.3
			現年分(後支)特徴	671,496,000	64,936,800	64,943,869	-7,069	0	100.0
			現年分(後支)普徴		686,107,100	606,511,512	79,595,588	0	88.4
			現年分(介)特徴	299,866,000	0	0	0	0	-
			現年分(介)普徴		345,681,000	302,295,952	43,385,048	0	87.4
過年度(医)			0	24,418,900	15,099,899	9,319,001	0	61.8	
過年度(後支)	0		7,045,700	4,370,008	2,675,692	0	62.0		
税計	過年度(介)	0	3,188,700	2,039,393	1,149,307	0	64.0		
	滞納繰越(医)	228,847,000	1,443,732,377	247,211,496	966,916,725	229,604,156	17.1		
	滞納繰越(後支)	57,789,000	305,406,266	53,853,877	245,792,417	5,759,972	17.6		
	滞納繰越(介)	35,213,000	224,067,833	37,880,884	156,589,583	29,597,366	16.9		
	合計	3,938,822,000	6,064,284,376	3,979,064,109	1,820,258,773	264,961,494	65.6		
	後期高齢者医療保険料	現年(特徴)	676,688,000	676,650,900	677,680,800	-1,029,900	0	100.2	
		現年(普徴)		322,441,000	323,312,250	5,295,700		98.4	
		過年度		1,195,900	1,157,900	38,000		96.8	
滞納繰越		3,092,000	8,683,190	3,623,430	4,016,560	1,043,200	41.7		
合計		1,002,221,000	1,015,137,940	1,005,774,380	8,320,360	1,043,200	99.1		
介護保険料		現年(特徴)	1,739,723,000	1,739,420,800	1,740,964,100	-1,543,300	0	100.1	
	現年(普徴)		151,565,000	155,873,880	24,180,120		86.6		
	過年度		1,691,850	1,601,550	90,300		94.7		
	滞納繰越	8,065,000	44,087,784	10,120,488	21,757,776	12,209,520	23.0		
	合計	1,899,353,000	1,965,254,434	1,908,560,018	44,484,896	12,209,520	97.1		

## 第4章 生活環境部

### 第1節 市民生活課

#### 〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次の業務を行った。

市民相談業務については、市の仕事や日常生活での困りごとに関する相談や助言、相談先の案内などを実施した。また、総合相談を開設し、相談業務の利便性を図りながら、弁護士相談等によって市民生活に係る問題の解決促進を図った。

消費者行政については、より豊かで安全・安心な消費生活を送るための情報提供や、悪質商法等に対する啓発を行うとともに、消費生活センター相談員による出前講座を、消費者団体や一般消費者を対象に実施した。消費者問題解決の手法等を相談業務に役立てるため、国や県主催の研修会に参加し、消費生活相談員のスキルアップを図った。さらに、「栃木市消費生活条例」に基づき、市民の消費生活に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画である、栃木市消費生活基本計画を策定中である。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付及び記載、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

新規事業として、住民票の写し等の不正請求や不正取得による個人の権利の侵害を防ぐため、「登録型本人通知制度」を導入した。また、外国人住民の方の利便性の向上や行政の合理化を図るため、従来の外国人登録法が廃止され、新しい在留管理制度が導入され、外国人住民にも日本人と同じく住民基本台帳法が適用されたことから、住民基本台帳への登録を行い住民票の作成を行った。

さらに、平成25年5月15日から開始する証明書（住民票の写し・印鑑登録証明書）のコンビニ交付に向け準備を進めた。

#### 市民生活担当

##### 1 市民相談関係

市政に対する意見、要望、苦情を聴くとともに、国・県の相談機関と相互に協力して市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

##### ・各種相談状況

相談	場所	開設状況	件数(件)
市民相談	市民相談室	常時開設	1,109
総合相談	正庁、そのほか	毎月第2、4金曜日	284(内弁護士相談 223)
行政相談	市民相談室等	常時開設	52

## 2 消費者行政の推進

経済社会全体の情報化、国際化、規制緩和の進展を背景に、消費者を取り巻く環境は、著しく変化しており、また、消費者のニーズも多様化、高度化し、多面的な広がりを見せている。消費者が安全で合理的な消費生活を送るために情報提供、相談業務や啓発事業を実施した。また、4月1日に施行した「栃木市消費生活条例」に基づき、栃木市消費生活基本計画を策定するに当たり、市民の消費生活に関する意識や実態を把握し、今後の施策に反映することを目的としてアンケート調査を実施した。

福島第一原子力発電所の事故を受け、放射性物質汚染の不安がある消費者からの相談に対し、安全・安心の確保を目的とした、食品中の放射性物質簡易検査を11月8日から実施した。

### (1) 消費生活センター事業

市民会館3階に消費生活センターを常時開設し、国民生活センター・栃木県消費生活センターと連動した情報ネットワーク化により、相談業務の拡充と迅速な情報提供を図り、消費者啓発、苦情相談等の解決に当たった。

#### ア 消費生活相談員による苦情生活相談

消費生活相談員5人により消費生活に関する苦情相談、生活相談を行い、問題解決に当たった。また、パンフレット配布等を行い、消費者啓発に努めた。

#### (ア) 相談件数の推移

相談内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
苦情相談	806	93.7	807	94.1	809	91.5
(内架空請求)	20		8		40	
(内不当請求)	65		75		61	
生活相談	54	6.3	51	5.9	75	8.5
計	860	100.0	858	100	884	100

#### (イ) 商品・役務別相談件数

相談の種別		平成24年度(件)	平成23年度(件)	前年比(%)
苦情 相 談	商品一般	25	10	250.0
	食料品	53	38	139.5
	住居品	29	32	90.6
	光熱水費	12	20	60.0
	被服品	23	21	109.5
	保健衛生品	10	19	52.6
	教養娯楽品	61	94	64.9
	車両、乗物	33	25	132.0
	土地、建物、設備	77	78	98.7
	他の商品	4	1	400.0
	役務一般	2	3	66.7
	金融、保険サービス	139	190	73.2

運輸、通信サービス	181	161	112.4
教育サービス	3	2	150.0
教養、娯楽サービス	46	32	143.8
保健、福祉サービス	27	16	168.8
他の役務	27	32	84.4
内職、副業、相場	9	4	225.0
他の行政サービス	28	5	560.0
他の相談	20	24	83.3
計	809	807	100.2
生活相談	75	51	147.1
合計	884	858	103.0

(ウ) 特殊販売別相談件数

	平成24年度（件）		平成23年度（件）		前年比（％）	
		うち苦情相談		うち苦情相談		うち苦情相談
訪問販売	121	121	152	151	79.6	80.1
通信販売	224	223	240	239	93.3	93.3
マルチ販売	5	5	9	9	55.6	55.6
その他無店舗	2	1	4	4	50.0	50.0
計	352	350	405	403	86.2	86.8
その他	532	459	453	404	117.4	113.6
合計	884	809	858	807	103.0	100.2

イ 消費生活講座講師派遣

各自治会への出前講座や高齢者教室等において講座を実施した。

- ・延べ実施回数 28回
- ・延べ参加者数 1,496人

ウ 「消費者月間」関連事業の実施

(ア) 啓発パネル展示

- ・実施期間 5月9日（水）～31日（木）
- ・場 所 市役所ロビー
- ・観 覧 者 約1,000人

(イ) 街頭啓発

悪質商法等に関するチラシ、啓発物資を市内店舗にて配布

- ・実施状況

実施日	実施店舗
5月9日（水）	とりせん大平店、ベイシア大平店、ベイシア大平モール店、ヤオハンNEW大平店
5月10日（木）	イオン栃木店、ヤオハンアイム店、ヨークベニマル栃木祝町店、とりせん栃木店
5月11日（金）	スーパーオータニ西方店、ヤオハン川原田店、とりせん藤岡店

(2) 消費者問題研修会の実施

消費者トラブルが複雑化、高度化する中、市民が被害にあわないための消費者問題解決の手法や課題について認識を深める為に、相談員・市職員・市民を対象とした研修会を開催した。

- ・対象者 消費生活センター相談員、市職員、消費者団体、市民
- ・実施日 12月22日（土）、3月22日（金）
- ・場 所 正庁、栃木文化会館リハーサル室
- ・参加者 74人

(3) 消費者教育研修会の実施

消費生活への関心を深め、地域の消費者リーダー的役割を担う消費者を育成するため消費者教育研修会を実施した。

- ・実施日 1月29日（火）
- ・場 所 栃木県庁（危機管理センター等）、オイシア（株）工場
- ・参加者 29人

(4) 消費生活展の実施

「守ろうよ、みんなを！～なくそう！高齢者の消費者被害～」のテーマで「第3回栃木市消費生活展」を、とちぎ市民環境まつりと共同で開催し、暮らしに役立つ知識、消費生活に関する情報を消費者団体等が展示、発表した。

- ・実施日 2月16日（土）
- ・場 所 市民会館
- ・来場者数 約1,500人
- ・出展協力団体等 栃木県計量協会、関東農政局宇都宮地域センター、イオンリテール(株)イオン栃木店、栃木県金融広報委員会、日本ファイナシヤル・プランナーズ協会栃木支部、製品評価技術基盤機構製品安全センター燃焼技術センター、栃木県看護協会栃木地区支部、関東電気保安協会下野事業所、栃木市消費者友の会、栃木県消費生活リーダー連絡協議会栃木支部、栃木市（消費生活センター、下水道課）

(5) 消費生活用製品安全法及び家庭用品品質表示法に係る立入検査の実施

- ・立入検査実施店 7店  
うち、消費生活用品安全法に基づく長期使用製品安全点検制度に係る立入検査1店
- ・消費生活用製品安全法に係る検査点数 963点
- ・家庭用品品質表示法に係る検査点数 28,266点

(6) 食品中の放射性物質簡易検査の実施

市内に住所を有する消費者に対し、簡易型ガンマ線スペクトロメーターを用いて、食品および農作物（自家消費野菜）の放射性物質簡易検査を行った。

- ・検査件数 16件

住民情報担当

1 戸籍事務

(1) 本籍数及び戸籍人口

・本籍数 65,546件

・本籍人口 162,231人

(2) 戸籍届出事件数（市全体）

（単位：件）

事件の種類	総数	届出			他市町村から送付	
		計	本籍人届出	非本籍人届出		
出生	1,418	974	716	258	444	
国籍留保	11	1	1	-	10	
認知	27	12	9	3	15	
養子縁組	139	94	90	4	45	
養子離縁	55	41	39	2	14	
法73条の2、法69条の2	4	2	2	-	2	
婚姻	1,567	570	532	38	997	
離婚	375	225	216	9	150	
法77条の2、法75条の2	123	86	85	1	37	
親権、後見、後見監督、保佐	10	7	7	-	3	
死亡	2,019	1,761	1,587	174	258	
失踪	-	-	-	-	-	
復氏	2	2	2	-	-	
姻族関係終了	1	1	1	-	-	
入籍	323	201	195	6	122	
分籍	27	12	12	-	15	
国籍取得	1	1	1	-	-	
帰化	5	5	5	-	-	
国籍喪失	-	-	-	-	-	
国籍選択	3	2	2	-	1	
氏の変更	14	13	11	2	1	
名の変更	11	9	9	-	2	
転籍	620	374	374	-	246	
就籍	-	-	-	-	-	
訂正	市町村長職権	87	83	83	-	4
	法24条2項	11	10	10	-	1

・ 更 正	法113条等	-	-	-	-	-
	法116条	4	4	4	-	-
	続柄の記載更正	1	1	1	-	-
	計	103	98	98	-	5
追 完	2	2	-	2	-	
そ の 他	4	-	-	-	4	
不受理申出	30	21	18	3	9	
合 計	6,894	4,514	4,012	502	2,380	

(3) 戸籍処理件数 (単位：件)

処 理 内 容	件 数	処 理 内 容	件 数
新戸籍編製	1,038	戸籍の再製・補完	2
戸籍全部消除	1,099	その他	17
違反通知	-	計	2,156

(4) 相続税法第58条による事務処理件数

・総該当者数 1,760 件

2 身分関係事務

(1) 犯罪関係処理件数 (単位：件)

既決犯罪通知	208	仮釈放期間満了通知	23
他市町村からの民刑事項通知	17	刑執行猶予言渡取消通知	8
自由刑執行終了通知	24	その他	-
財産刑執行終了通知	26	計	306

(2) 身上調査照会件数 (単位：件)

警 察 署	1,592	そ の 他	594
検 察 庁	287	計	2,473

3 人口動態事務

人口動態調査票作成件数 (単位：件)

種 別	件 数	種 別	件 数
婚 姻	576	出 生	986(男505、女481)
離 婚	227	死 亡	1,760(男900、女859、不詳1)
死 産	33	計	3,582

4 外国人登録事務

新しい在留管理制度の導入により、外国人登録制度は7月8日で廃止になりました。

## (1) 国籍別外国人登録人員（市全体） 7月8日現在

（単位：人）

国籍	人員		
	16歳未満	16歳以上	合計
アフガニスタン	-	7	7
アルゼンチン	1	11	12
ボリビア	2	11	13
ブラジル	12	77	89
ミャンマー連邦	-	39	39
カンボジア	-	12	12
カナダ	-	5	5
スリランカ	1	36	37
コロンビア	2	8	10
中国	14	325	339
キューバ	-	1	1
ホンジュラス	1	2	3
インド	2	15	17
インドネシア	-	33	33
イラン	-	4	4
アイルランド	-	1	1
イタリア	-	1	1
朝鮮	-	8	8
韓国	4	86	90
マレーシア	-	5	5
メキシコ	-	1	1
モンゴル	1	12	13
ネパール	3	122	125
オランダ	1	2	3
パキスタン	17	34	51
パラグアイ	-	2	2
ペルー	83	372	455
フィリピン	37	236	273
スペイン	-	1	1
スウェーデン	-	1	1
タイ	-	58	58
英国	-	11	11
アメリカ合衆国	2	19	21
ベネズエラ	-	1	1
バングラディシュ	8	22	30
ベトナム	-	8	8

ドイツ	-	2	2
ロシア連邦	-	3	3
ベラルーシ	-	1	1
ウクライナ	-	1	1
台湾	-	2	2
計	191	1,598	1,789

(2) 各種申請書受理件数（市全体） 7月8日現在 (単位：件)

件名	件数	件名	件数
新規登録	89	居住地変更登録	221
確認申請	73	居住地以外の変更登録	631
再交付申請	12	計	1,046
引替交付申請	20		

(3) 報告その他の事務取扱件数（市全体） 7月8日現在 (単位：件)

件名	件数	件名	件数	
閉鎖	出国	51	登録原票送付	75
	死亡	-	登録原票送付請求	132
	日本国籍取得	4	原票の開示(照会回答等)	407
	その他(上記以外によるもの)	-	計	669

## 5 中長期在留者住居地届出等事務

7月9日から新しい在留管理制度が導入された。対象は入管法上の在留資格をもって中長期在留する外国人。

(1) 在留資格別人口（市全体） (単位：人)

在留資格	人員		
	16歳未満	16歳以上	合計
投資・経営	-	11	11
教育	-	10	10
技術	-	12	12
人文知識・国際業務	-	51	51
企業内転勤	-	4	4
技能	-	16	16
技能実習1号イ	-	10	10
技能実習1号ロ	-	75	75
技能実習2号イ	-	6	6
技能実習2号ロ	-	93	93
留学	-	149	149
家族滞在	15	29	44
特定活動	-	105	105
日本人の配偶者等	3	136	139

永住者の配偶者等	10	25	35
定住者	53	229	282
永住者	103	682	785
特別永住者	2	54	56
出生による経過滞在者	1		1
計	187	1,697	1,884

(2) 各種申請書受理件数（市全体）

中長期在留者

（単位：件）

件名	件数	件名	件数
新規上陸後の住居地届出	140	住居地の変更届出（転入）	202
資格変更等に伴う住居地の届出	19	住居地の変更届出（転居）	161
		計	522

特別永住者

（単位：件）

件名	件数	件名	件数
住居地の届出	-	住居地の変更届出（転居）	2
住居地の変更届出（転入）	1	計	3

その他の事務取扱件数

（単位：件）

件名	件数	件名	件数
特別永住者証明書の交付	6	市町村通知	871
法務省通知	1,249	計	2,126

6 登録型本人通知制度

住民票の写し等の不正請求や不正取得による個人の権利の侵害を防ぐため、住民票の写し等を本人の代理人や第三者に交付した時に、事前に登録した方に交付したことをお知らせする制度。

(1) 各種申請書受理件数（市全体）

登録申請（件）	変更申請（件）	お知らせ通知発送（件）
88	2	8

7 窓口事務（本庁市民生活課）

(1) 窓口届出処理件数

（単位：件）

処理事項		件数	処理事項		件数
戸籍届		3,503	死体埋火葬許可		8
住民異動届		8,436	(栃木市斎場利用なし)		
計		11,939	死胎埋火葬許可		-
印鑑	登録	3,178	(栃木市斎場利用なし)		
	廃止	1,316	死産届		27
計		4,494	計		35
			合計		16,468

## (2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件数(件)	金額(円)	種 別		件数(件)	金額(円)
戸           籍	全部事項証明	14,887	5,683,950	住 民 票	世帯全員	15,147	2,868,600
	個人事項証明	3,446	1,527,750		個 人	26,226	4,917,400
	除籍謄本	16,352	9,373,500		証 明	1,036	207,200
	除籍抄本	145	107,250		閱 覧	24	4,800
	戸籍証明	181	63,350		年金現況証明	5	-
	受理証明	185	73,150		戸籍の附票	4,237	394,200
	廃棄証明	-	-		公 用	4,709	-
	出産証明	-	-		広 域	31	6,200
	不受理証明	-	-		住基カード(有料)	174	87,000
	公 用	6,163	-		住基カード(無料)	104	-
	計	41,359	16,828,950		計	51,693	8,485,400
	証     明   書	印鑑証明	27,992		5,596,400	そ の 他	印鑑登録
諸証明		607	119,400	印鑑登録廃止	1,316		-
身分証明		952	190,400	臨時運行許可証	838		628,500
住居表示証明		41	-	労基証明	3		-
公 用		1	-	人口統計	11		-
選挙証明		-	-	公的個人認証	224		112,000
計		29,593	5,906,200	計	5,570		1,376,100
合 計				128,215 件		32,596,650 円	

## (3) 斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種 類	区 分		件 数 (件)		金 額 (円)
斎 場	市 内	大 人	1,379	1,404	-
		小 人	5		
		死産児	20		
	市 外	大 人	144	151	2,641,000
		小 人	-		
		死産児	7		
	エ ナ		-	-	-
	計		1,555	2,641,000	
霊きゅう車	往 路		1,235	5,625,100	
	帰 路		997	1,623,000	
	計		2,232	7,248,100	
待 合 室	市 内		1,288	3,858,000	
	市 外		67	402,000	
	計		1,355	4,260,000	
合 計			5,142	14,149,100	

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	件 数
戸籍謄抄本交付	849
住民票写し交付	1,763
印鑑登録証明書交付	1,104
印鑑登録	324
戸籍届	191
住民異動届	561
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	55
臨時運行許可証交付	46
窓口及び電話による相談、問合わせ等	1,213
合 計	6,106

8 支所・出張所発行件数 (単位：件)

種 別	件 数				
	国府	寺尾	大宮	皆川	吹上
戸籍謄抄本等交付	638	343	504	221	577
住民票写し等交付	1,208	532	1,290	366	1,038
印鑑登録証明書交付	1,144	546	1,240	496	1,071
印鑑登録	98	35	51	20	66
印鑑登録廃止	50	13	-	12	2
諸証明交付	28	12	17	14	27
合 計	3,166	1,481	3,102	1,129	2,781

9 自動交付機発行件数

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
住民票写し交付	2,131	426,200
印鑑登録証明書交付	4,603	920,600

10 郵便申請月別件数 (戸籍謄抄本、住民票等) (単位：件)

月	件数	月	件数	月	件数	月	件数
4月	1,142	7月	1,047	10月	1,103	1月	1,102
5月	1,180	8月	1,126	11月	1,025	2月	991
6月	972	9月	984	12月	853	3月	1,033
合 計				12,558			

11 住民基本台帳事務（市全体）

(1) 世帯数及び人口

区 分	人 口（人）			世帯数
	男	女	計	
平成24年3月末日現在	72,701	74,767	147,468	53,879
平成25年3月末日現在	72,335	74,332	146,667	54,334
比 較	△366	△435	△801	455

ア 栃木地区

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
万町	461	496	957	410	今泉町2丁目	524	522	1,046	440
倭町	143	166	309	136	仲仕上町	148	135	283	89
旭町	568	576	1,144	492	藤田町	67	74	141	44
室町	150	173	323	135	久保田町	51	54	105	32
城内町1丁目	327	339	666	294	宮田町	31	32	63	23
城内町2丁目	2,044	2,069	4,113	1,653	高谷町	47	46	93	28
神田町	511	594	1,105	444	樋ノ口町	429	464	893	360
本町	569	617	1,186	522	皆川城内町	675	718	1,393	489
日ノ出町	564	593	1,157	481	柏倉町	224	230	454	130
沼和田町	1,407	1,452	2,859	1,187	小野口町	178	147	325	107
河合町	108	118	226	89	志鳥町	100	101	201	50
片柳町1丁目	871	884	1,755	717	岩出町	67	76	143	50
片柳町2丁目	768	758	1,526	624	大皆川町	154	165	319	110
片柳町3丁目	55	61	116	44	泉川町	291	304	595	225
片柳町4丁目	345	342	687	294	新井町	565	582	1,147	443
片柳町5丁目	298	303	601	244	吹上町	696	708	1,404	473
湊町	217	248	465	220	細堀町	82	88	170	48
富士見町	302	342	644	318	木野地町	240	219	459	146
境町	514	562	1,076	450	川原田町	1,921	2,070	3,991	1,581
平井町	1,189	1,217	2,406	986	野中町	809	806	1,615	585
菌部町1丁目	543	597	1,140	504	宮町	232	211	443	135
菌部町2丁目	709	757	1,466	562	千塚町	240	269	509	155
菌部町3丁目	252	246	498	186	大森町	452	467	919	315
菌部町4丁目	385	382	767	275	仲方町	110	101	211	76
入舟町	227	241	468	204	梓町	110	127	237	148
祝町	367	391	758	308	尻内町	346	353	699	232
柳橋町	820	890	1,710	698	梅沢町	379	435	814	274
箱森町	2,508	2,659	5,167	1,928	大久保町	115	117	232	84

小平町	396	410	806	306	鍋山町	531	557	1,088	383
錦町	276	312	588	236	星野町	131	129	260	90
嘉右衛門町	298	306	604	256	出流町	65	55	120	50
泉町	369	396	765	325	惣社町	703	796	1,499	589
大町	855	884	1,739	692	柳原町	46	47	93	37
昭和町	116	125	241	98	大光寺町	198	207	405	125
大宮町	3,495	3,670	7,165	2,593	田村町	249	270	519	280
平柳町1丁目	775	850	1,625	666	寄居町	181	179	360	117
平柳町2丁目	739	746	1,485	643	国府町	520	513	1,033	332
平柳町3丁目	600	658	1,258	514	大塚町	1,041	1,051	2,092	692
今泉町1丁目	1,097	1,106	2,203	848	合計	39,186	40,961	80,147	31,149

イ 大平地区

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
富田	3,935	3,748	7,683	3,023	下高島	152	154	306	92
西山田	590	557	1,147	363	上高島	196	228	424	164
下皆川	754	724	1,478	549	北武井	256	254	510	179
横堀	287	307	594	173	新	1,856	1,971	3,827	1,399
牛久	343	376	719	266	西野田	1,570	1,529	3,099	1,126
川連	296	285	581	214	榎本	364	395	759	259
土与	173	175	348	110	西水代	2,157	2,139	4,296	1,578
蔵井	548	633	1,181	418	伯仲	537	456	993	360
真弓	844	844	1,688	591	合計	14,858	14,775	29,633	10,864

ウ 藤岡地区

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
部屋	388	395	783	212	藤岡	2,972	3,051	6,023	2,261
新波	191	171	362	117	下宮	14	17	31	14
石川	84	81	165	54	内野	1	1	2	1
帯刀	49	44	93	32	赤麻	926	933	1,859	576
緑川	61	60	121	30	大前	980	982	1,962	657
西前原	43	32	75	25	甲	757	803	1,560	483
蛭沼	271	288	559	169	都賀	591	555	1,146	372
富吉	254	253	507	183	大田和	147	168	315	102
中根	281	330	611	222	太田	346	338	684	214
					合計	8,356	8,502	16,858	5,724

エ 都賀地区

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
合戦場	1,366	1,393	2,759	996	臼久保	89	76	165	71
平川	867	875	1,742	603	大橋	176	194	370	130
升塚	413	414	827	265	富張	317	329	646	191
家中	2,035	2,034	4,069	1,338	深沢	194	192	386	109
原宿	352	355	707	230	大柿	413	438	851	264
木	455	466	921	271	合計	6,677	6,766	13,443	4,468

オ 西方地区

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
金崎	813	892	1,705	602	金井	681	634	1,315	424
本城	368	347	715	215	本郷	376	372	748	232
元	434	465	899	282	真名子	586	618	1,204	374
					合計	3,258	3,328	6,586	2,129

(2) 処理件数

ア 住民票記載等件数

種 類	件 数 (件)	人口増（人）			人口減（人）				
		男	女	計	男	女	計		
届	転入届	2,734	1,870	1,800	3,670	-	-	-	
	転居届	2,171	-	-	-	-	-	-	
	転出届	2,913	-	-	-	1,737	1,766	3,503	
	転出取消	10	8	5	13	-	-	-	
	帰化届	5	1	5	6	1	5	6	
	国籍取得	1	1	-	1	1	-	1	
	出	変更届	1,972	-	-	-	-	-	-
		主変更	1,053	-	-	-	-	-	-
		世帯分離	214	-	-	-	-	-	-
		世帯合併	116	-	-	-	-	-	-
職	出生	944	492	455	947	-	-	-	
	死亡	1,738	-	-	-	889	849	1,738	
	職権記載	3	2	2	4	-	-	-	
	職権消除	121	-	-	-	72	51	123	
	回復	43	25	28	53	-	-	-	
	権	職権訂正	4,442	-	-	-	-	-	-
		抹消	-	-	-	-	-	-	-
	追加	30	17	13	30	-	-	-	

通知書	転入通知	2,620	-	-	-	-	-	-
	記載事項の変更通知	340	-	-	-	-	-	-

イ 戸籍の附票記載等件数 (単位：件)

種類	異動届書	戸籍届書	通知書	計
記載	-	2,544	-	2,544
消除	-	3,574	-	3,574
修正	6,273	-	4,599	10,872
合計	6,273	6,118	4,599	16,990

ウ 住民票及び附票の作成、除票の作成 (単位：件)

種類	作成	除票
住民票	4,658	5,371
附票	1,004	1,040
合計	5,662	6,411

(3) 住居表示事務 (単位：件)

家屋新築届による付番	249
付番申出による付番	2
その他変更申出	2
建物廃棄による付番廃止	-
合計	253

## 12 年齢階層別人口統計 (市全体)

年齢 (歳)	男 (人)	女 (人)	人口 (人)	比率 (%)
0～4	2,722	2,580	5,302	3.6
5～9	3,108	2,970	6,078	4.1
10～14	3,510	3,342	6,852	4.7
15～19	3,420	3,337	6,757	4.6
20～24	3,628	3,429	7,057	4.8
25～29	3,803	3,547	7,350	5.0
30～34	4,325	3,948	8,273	5.6
35～39	5,332	4,722	10,054	6.8
40～44	5,226	4,860	10,086	6.9
45～49	4,471	4,188	8,659	5.9
50～54	4,466	4,411	8,877	6.1
55～59	5,182	5,114	10,296	7.0
60～64	6,587	6,527	13,114	8.9
65～69	5,261	5,180	10,441	7.1

70～74	4,224	4,459	8,683	5.9
75～79	3,161	3,987	7,148	4.9
80～84	2,228	3,591	5,819	4.0
85～89	1,260	2,689	3,949	2.7
90～94	354	1,101	1,455	1.0
95～99	90	294	384	0.2
100～	7	56	63	0.0
合 計	72,365	74,332	146,697	100.0

(小数第二位 四捨五入)

13 一般旅券申請・交付件数

(単位:件)

	本 庁		大 平		藤 岡		都 賀		西 方		計	
	申請	交付	申請	交付	申請	交付	申請	交付	申請	交付	申請	交付
4 月	156	163	61	51	22	18	7	12	8	7	254	251
5 月	178	144	49	59	29	32	16	9	5	7	277	251
6 月	214	195	51	47	25	17	14	19	4	2	308	280
7 月	231	207	59	41	19	30	12	12	12	8	333	298
8 月	280	289	70	90	27	18	22	22	9	10	408	429
9 月	151	173	47	44	17	16	5	11	3	5	223	249
10 月	134	122	37	37	20	25	17	11	4	3	212	198
11 月	114	116	24	28	14	15	17	13	2	3	171	175
12 月	107	102	44	45	11	15	11	18	8	5	181	185
1 月	191	167	32	30	35	18	13	14	7	9	278	238
2 月	157	150	39	42	11	27	12	5	5	6	224	230
3 月	130	146	39	32	15	9	2	9	3	2	189	198
計	2,043	1,974	552	546	245	240	148	155	70	67	3,058	2,982

## 第2節 交通防犯課

### 〔総括概要〕

交通防犯課では安全・安心な暮らしの確保、快適で利便性の高い暮らしの実現のため次の事業を行った。

交通安全の推進については、四季の交通安全運動を強力に推進するとともに、交通安全市民大会を開催し、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯業務においては、防犯灯の設置、防犯カメラの運用、防犯パトロールを実施し、安心安全な市民生活の確保に努めた。

地域公共交通の確保については、高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消を図るため、平成22年度に策定した栃木市地域公共交通総合連携計画に基づき、デマンドタクシー及びコミュニティバスの試行運行を実施した。

また、老人福祉センターの利用促進及び福祉バスの廃止に伴う老人福祉センター利用者の利便性の確保のため、老人福祉センター等利用者団体送迎事業を実施した。

### 交通防犯担当

#### 1 交通関係

##### (1) 交通安全運動等

平成24年度中の栃木市内の交通事故発生件数は、575件、死者数は7人、負傷者数は712人である。

今後も交通事故防止のため、市民一人ひとりが交通ルールを順守し、交通マナーの一層の向上に努める必要がある。

##### ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催。

・実施期間 4月6日（金）～15日（日）

交通安全ゲートボール大会

・実施日 4月26日（木）

・場所 総合運動公園

・参加者 135人

##### イ 高齢者交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催。

・実施期間 5月1日（火）～31日（木）

##### ウ 暴走族等根絶推進強化月間

公共施設窓口及び市ホームページによる周知。

・実施期間 6月1日（金）～30日（土）

エ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催。

- ・実施期間 9月21日（金）～30日（日）

オ 交通安全市民大会

小学生による交通安全作文、大会宣言などを行った。

- ・実施日 9月29日（土）
- ・場 所 栃木文化会館
- ・参加者 約800人

カ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車、広報紙等による広報、交通安全教室の開催。

- ・実施期間 12月11日（火）～31日（月）

(2) 交通安全教室の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であるとの考えから、交通教育指導員による交通安全教室を次のとおり開催した。

対 象 者	回数（回）	参加者数（人）
幼児（父兄含む）	3	557
小中学校児童・生徒（父兄含む）	9	1,451
高 齢 者	21	629
複 合	6	431
合 計	39	3,068

(3) 交通安全こども自転車大会

第41回交通安全こども自転車大会栃木地区大会

- ・実施日 6月14日（木）
- ・会 場 壬生町運動公園
- ・出場校 栃木中央小学校チーム（6校6チーム参加中第4位）

(4) その他の交通安全対策

ア 交通指導員の設置（栃木地域）

- ・委嘱人数 34人

イ 栃木駅周辺、新栃木駅周辺及び野州平川駅周辺等の放置自転車の撤去を実施  
撤去実績

実施月	台数(台)	実施月	台数(台)
4月	72	11月	103
6月	33	2月	10
9月	39	3月	12
10月	20	合計	289

## 2 防犯関係

### (1) 防犯灯の設置

区 分		設置灯数(台)
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	117
改修工事	移設、撤去、全器具交換	25
計		142

### (2) 防犯カメラの運用

栃木駅及びその周辺における犯罪の予防等を図り、市民等の安全と安心を確保するため設置されている防犯カメラを運用した。

設置状況

設置場所	台数(台)
駅北口	2
駅南口	2
南北連絡通路	2

### (3) 防犯活動

栃木警察署管内1市2町で組織する栃木地区防犯協会（本市が事務局）において実施した次の事業に参画した。

- ・会議等
- ・地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

### (4) 防犯パトロール

栃木市駅前広場等迷惑行為防止条例に基づき、市民や来訪者が利用する駅の安全で快適な環境の実現を図るため、警察、学校、防犯関係団体と積極的に連携し、随時、パトロールを実施した。特に、4月から7月までを重点対策期間と定め、迷惑行為防止対策を強力に推進した。

## 公共交通対策担当

### 1 デマンドタクシー運行事業

平成22年度に策定した栃木市地域公共交通総合連携計画に基づき、高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消を図るため、市内全域でデマンドタクシーの試行運行を実施した。

#### (1) デマンドタクシー利用登録者数

11,851人

#### (2) デマンドタクシー利用状況

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	4,096	20	205	969,200
5	4,202	21	200	973,300
6	4,329	21	206	995,550

7	4,493	21	214	983,950
8	4,619	23	201	1,046,300
9	4,182	19	220	931,100
10	4,827	22	219	1,037,800
11	4,737	21	226	1,100,300
12	4,488	19	236	1,013,900
1	4,340	19	228	974,050
2	4,474	19	235	1,042,400
3	4,822	20	241	1,099,850
合計	53,609	245	219	12,167,700
月平均	4,467			1,013,975

## 2 コミュニティバス運行事業

平成 22 年度に策定した栃木市地域公共交通総合連携計画に基づき、デマンドタクシーでは利用が困難な、定時性を追及する「通勤・通学・観光」の足を確保するとともに、地域間交流の促進による商業や観光の地域活性化の一翼を担い、新生栃木市の一体感の醸成に資するため、地域間を結ぶ定時定路線運行のコミュニティバスの試行運行を実施した。

コミュニティバス利用状況

### (1) 寺尾線

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	3,613	30	120.4	1,011,726
5	3,873	31	124.9	561,718
6	3,852	30	128.4	654,682
7	3,675	31	118.5	598,651
8	3,166	31	102.1	638,736
9	3,510	30	117.0	594,027
10	4,032	31	130.1	581,342
11	3,877	30	129.2	729,257
12	3,552	31	114.6	430,679
1	3,358	31	108.3	526,140
2	3,379	28	120.7	490,298
3	3,709	31	119.6	539,435
合計	43,596	365	119.4	7,356,691
月平均	3,633			613,058

## (2) 市街地循環線

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	1,839	30	61.3	179,720
5	2,079	31	67.1	182,800
6	1,774	30	59.1	156,000
7	1,987	31	64.1	178,550
8	1,937	31	62.5	159,950
9	1,876	30	62.5	164,450
10	1,991	31	64.2	174,550
11	1,775	30	59.2	159,550
12	1,566	31	50.5	133,650
1	1,347	31	43.5	118,250
2	1,434	28	51.2	116,350
3	1,645	31	53.1	146,300
合計	21,250	365	58.2	1,870,120
月平均	1,771			155,843

## (3) 市街地北部循環線

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	2,702	30	90.1	245,850
5	2,575	31	83.1	237,800
6	2,621	30	87.4	234,250
7	2,881	31	92.9	247,150
8	3,233	31	104.3	276,150
9	2,748	30	91.6	238,650
10	2,571	31	82.9	223,050
11	2,516	30	83.9	233,250
12	2,468	31	79.6	207,650
1	2,304	31	74.3	205,750
2	2,125	28	75.9	189,100
3	2,639	31	85.1	226,050
合計	31,383	365	86.0	2,764,700
月平均	2,615			230,392

## (4) 部屋線

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	3,164	30	105.5	450,320
5	3,231	31	104.2	435,150
6	3,241	30	108.0	438,100
7	3,097	31	99.9	458,900
8	2,942	31	94.9	392,630
9	3,157	30	105.2	385,350
10	3,316	31	107.0	451,720
11	3,395	30	113.2	422,050
12	2,989	31	96.4	352,450
1	2,906	31	93.7	357,820
2	3,116	28	111.3	403,650
3	3,409	31	110.0	411,150
合計	37,963	365	104.0	4,959,290
月平均	3,164			413,274

## (5) 真名子線

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	1,084	30	36.1	216,505
5	1,161	31	37.5	185,868
6	1,185	30	39.5	212,311
7	1,201	31	38.7	180,307
8	1,126	31	36.3	192,078
9	1,146	30	38.2	189,385
10	1,373	31	44.3	186,971
11	1,329	30	44.3	226,084
12	1,344	31	43.4	150,311
1	1,228	31	39.6	166,590
2	1,165	28	41.6	156,930
3	1,551	31	50.0	240,170
合計	14,893	365	40.8	2,303,510
月平均	1,241			191,959

## (6) 金崎線

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	449	30	15.0	70,400
5	484	31	15.6	72,800
6	494	30	16.5	77,150
7	505	31	16.3	82,170
8	501	31	16.2	72,950
9	433	30	14.4	60,600
10	594	31	19.2	89,610
11	533	30	17.8	80,950
12	574	31	18.5	92,800
1	529	31	17.1	86,580
2	538	28	19.2	87,250
3	564	31	18.2	91,510
合計	6,198	365	17.0	964,770
月平均	517			80,398

## (7) 大宮国府線

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	401	30	13.4	65,150
5	390	31	12.6	46,300
6	466	30	15.5	56,850
7	483	31	15.6	55,050
8	420	31	13.5	47,900
9	481	30	16.0	53,300
10	412	31	13.3	51,700
11	384	30	12.8	47,200
12	383	31	12.4	45,950
1	315	31	10.2	39,600
2	433	28	15.5	48,000
3	330	31	10.6	36,650
合計	4,898	365	13.4	593,650
月平均	408			49,471

## (8) 皆川樋ノ口線

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	529	30	17.6	123,239
5	591	31	19.1	74,974
6	673	30	22.4	126,357
7	640	31	20.6	104,802
8	615	31	19.8	98,816
9	779	30	26.0	149,018
10	747	31	24.1	103,767
11	736	30	24.5	113,029
12	950	31	30.6	116,810
1	946	31	30.5	115,020
2	1,007	28	36.0	121,632
3	743	31	24.0	112,225
合計	8,956	365	24.5	1,359,689
月平均	746			113,307

## (9) 藤岡線

月	利 用 状 況			収入総額(円)
	利用者数(人)	日数	日平均(人/日)	
4	795	30	26.5	230,250
5	840	31	27.1	132,050
6	903	30	30.1	142,600
7	844	31	27.2	158,200
8	905	31	29.2	133,500
9	841	30	28.0	135,800
10	1,022	31	33.0	167,150
11	1,010	30	33.7	154,450
12	1,001	31	32.3	142,500
1	965	31	31.1	134,100
2	938	28	33.5	134,950
3	1,134	31	36.6	164,450
合計	11,198	365	30.7	1,830,000
月平均	933			152,500

## 3 老人福祉センター等利用者団体送迎事業

老人福祉センターの利用促進及び福祉バスの廃止に伴う老人福祉センター利用者の利便性の確保のため、老人福祉センター等利用者団体送迎事業を実施した。

団体送迎利用状況

月	利 用 状 況	
	利用件数（件）	利用人数（人）
4	6	118
5	7	128
6	6	109
7	14	277
8	3	59
9	5	101
10	9	166
11	10	190
12	4	71
1	10	183
2	5	70
3	6	107
合計	85	1,579

### 第3節 保険医療課

#### 〔総括概要〕

急速な少子高齢化の進展の中、国民皆保険を堅持し、医療保険制度を将来にわたって安定的で持続可能なものとしていくため、医療費適正化事業の総合的な推進、後期高齢者医療制度、保険者に義務付けられた特定健診・保健指導等の取組が進められている。

そのような状況の下、保険医療課では、国民健康保険事業、各種医療費助成事業、後期高齢者医療事業及び国民年金事業など、地域住民の医療の確保と健康の保持・増進を目指して、「いきいきと健康に暮らし続けられるまちづくり」を推進した。

国民健康保険事業においては、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査・保健指導事業、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業、医療費の適正化対策としてのレセプト点検事業などを積極的に推進した。

また、市町合併後、不均一となっていた国民健康保険税の税率を均一化するとともに、栃木市国民健康保険財政健全化計画に基づいて国民健康保険税収納率の向上対策や医療費適正化の推進を図り、国保財政の健全化に努めた。

各種医療費助成事業においては、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、重度心身障がい者、こども、妊産婦及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。

また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担軽減を図るため、保険適用外治療費の一部を助成した。

後期高齢者医療事業においては、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか生活習慣病の早期発見・早期治療につなげるための健康診査事業を実施するとともに、後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

国民年金事業においては、法定受託事務として各種届出の受理・進達等を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

保険担当

1 国民健康保険被保険者等の状況

(1) 世帯数及び被保険者数

区分	前年度末現在	本年度中増減	本年度末現在	年間平均	年度末加入率
世帯数	23,528 世帯	△39 世帯	23,489 世帯	23,682 世帯	43.2 %
被保険者数	43,920 人	△680 人	43,240 人	43,902 人	29.5 %

※年間平均 国保資格者数は毎月変動するため、毎月末数を合算し12で除したものの。

※年間平均世帯数内訳 一般被保険者：21,709世帯 退職被保険者：1,973世帯

※年間平均被保険者数内訳 一般被保険者：40,991人 退職被保険者：2,911人

※年度末加入率 栃木市の人口と世帯数に対して国保加入者の割合。

(2) 退職被保険者等の適用状況

退職被保険者数	扶養者数	計 (A)	被保険者数 (B)	退職被保険者等の割合 (A)/(B)
1,857 人	735 人	2,592 人	43,240 人	6.0 %

2 国民健康保険運営協議会

(1) 国保運営協議会協議事項

年月日	協議事項	協議事項の処理
7月11日 (水)	1 会長、職務代理者の選挙について	会長に大武委員、職務代理者に海老原委員を選出
2月21日 (木)	1 平成25年度栃木市国民健康保険特別会計予算(案)について	原案どおり承認
	2 第2期特定健康診査等の実施に関する計画(案)の策定について	原案どおり承認
	3 栃木市国民健康保険財政健全化計画の進捗状況について	原案どおり承認

(2) 国保運営協議会委員定数 18人 (単位:人)

区分	被保険者代表	保険医・薬剤師代表	公益代表
人数	6	6	6

3 保険給付状況

(1) 療養給付費

区分	件数(件)	費用額(円)	保険者負担分(円)	一部負担金(円)	他法負担分(円)	
					他法優先	国保優先
一般分	597,217	11,979,699,491	8,695,579,449	2,928,382,054	-	355,737,988
退職者分	48,679	996,534,166	697,082,556	285,768,685	-	13,682,925
計	645,896	12,976,233,657	9,392,662,005	3,214,150,739	-	369,420,913

(注1) 平成24年3月～平成25年2月診療の12か月分の療養給付費である。

(注2) 入院時食事療養費、生活療養費標準負担額差額代は含まれていない。

(2) 療養費

区分	件数(件)	費用額(円)	保険者負担分(円)	一部負担金 (円)	他法負担分(円)	
					他法優先	国保優先
一般分	14,049	146,662,255	106,821,566	35,887,767	-	3,952,922
退職者分	1,078	11,211,233	7,917,605	3,293,628	-	-
計	15,127	157,873,488	114,739,171	39,181,395	-	3,952,922

(3) 高額療養費

区分	件数(件)	支給額(円)
一般分	15,540	1,068,517,895
退職者分	929	101,414,506
計	16,469	1,169,932,401

(4) 高額介護合算療養費

区分	件数(件)	支給額(円)
一般分	18	323,860
退職者分	1	12,951
計	19	336,811

(5) その他の給付

区分	件数(件)	支給額(円)	備考
出産育児一時金	173	71,762,604	産科医療保障制度対象出産の場合1件当たり42万円、対象外出産の場合1件当たり39万円
葬祭費	284	14,200,000	1件当たり5万円
計	457	85,962,604	

4 医療費総費用額（療養給付費・療養費）の状況

区分	総件数(件)	総費用額(円)	1件当たり 費用額(円)	1人当たり 費用額(円)	1世帯当たり 費用額(円)
一般	611,266	12,126,361,746	19,838	295,830	558,587
退職	49,757	1,007,745,399	20,253	346,185	510,768
計	661,023	13,134,107,145	19,869	299,169	554,603

※1件当たり費用額 総費用額を総件数で除したもの。

※1人当たり費用額 総費用額を1に記載の年間平均被保険者数で除したもの。

※1世帯当たり費用額 総費用額を1に記載の年間平均世帯数で除したもの。

5 月別の療養給付費保険者負担分（単位：円）

年度 月	平成24年度
3	795,692,567

4	752,806,177
5	790,430,713
6	791,066,192
7	803,978,551
8	756,514,742
9	740,173,052
10	840,489,730
11	788,975,036
12	800,420,794
1	776,300,570
2	755,813,881
計	9,392,662,005

(注) 一般被保険者分と退職被保険者分の合算分

6 老人保健拠出金の状況 (単位：円)

医療費拠出金	事務費拠出金	計
-	103,453	103,453

7 介護給付費納付金の状況

第2号被保険者数(人)	介護給付費納付金(円)
16,660	989,101,076

(注) 第2号被保険者数は、40歳以上65歳未満の国保被保険者数

8 高額医療費共同事業医療費拠出金と交付金の状況 (単位：円)

拠出金(A)	交付金(B)	差引交付金の増減額(B)-(A)
348,885,870	364,158,465	15,272,595

9 保険財政共同安定化事業拠出金と交付金の状況 (単位：円)

拠出金(A)	交付金(B)	差引交付金の増減額(B)-(A)
1,475,565,282	1,434,966,806	△40,598,476

(注) 1件30万以上の医療費が対象。

10 人間ドック検診状況

実施人数(人)	備考
一般 568	一人当たり費用額の1/2に相当する額を助成する。
脳 103	
宿泊 69	

11 医療費通知実施状況

回数	対象月	件数（件）		発送月
		全 体	本庁分	
1	平成 23 年 12 月・平成 24 年 1 月診療分	18,924	10,491	6 月
2	平成 24 年 2・3 月診療分	19,283	10,703	8 月
3	平成 24 年 4・5 月診療分	19,058	10,594	10 月
4	平成 24 年 6・7 月診療分	18,975	10,652	12 月
5	平成 24 年 8・9 月診療分	18,743	10,438	2 月
6	平成 24 年 10・11 月診療分	19,107	10,637	3 月
計		114,090	63,515	

12 国民年金適用関係

(1) 国民年金被保険者数

区 分	人 数（人）
第 1 号 被 保 険 者	21,257
第 3 号 被 保 険 者	10,341
計	31,598

(2) 国民年金関係諸届の受理件数 (単位：件)

種 別	全 体	本庁分	種 別	全 体	本庁分
新規取得届	1,004	617	転居届	788	566
新規取得申出	-	-	氏名変更届	352	270
再取得届	1,943	1,066	訂正・取消・不在	50	37
再取得申出	23	16	転出届	1,026	677
付加年金取得届	65	48	法定免除該当届	142	116
付加年金喪失届	8	-	法定免除消滅届	24	17
資格喪失届	867	503	手帳再交付届	83	28
資格喪失申出	15	8	種別変更届	551	326
死亡届	80	62	そ の 他	78	-
転入届	811	566	計	7,910	4,923

13 国民年金保険料免除関係

(1) 免除者数

種 別	被保険者数（人）
法 定 免 除	1,288
申 請 免 除（全額免除）	2,317
〃（3/4免除）	224
〃（半額免除）	137

” (1/4免除)	97
若年者納付猶予	444
学生納付特例	1,950
計	6,457

(2) 免除申請受付件数 (単位：件)

種 類	全 体	本庁分
免除・納付猶予申請	3,394	2,161
学生納付特例申請	1,149	833

14 国民年金請求受理件数 (単位：件)

給付種類	全 体	本庁分
老齢基礎年金	90	51
障害基礎年金	77	53
遺族基礎年金	1	1
寡婦年金	2	-
死亡一時金	27	14
未支給年金	174	16
老齢福祉年金	-	-
計	371	135

15 福祉年金関係受理件数 (単位：件)

種 類	老 齢	障 害	計
定時届	1	1,167	1,168
諸届	-	-	-
計	1	1,167	1,168

16 年金相談窓口関係

月平均相談件数 (単位：件)

相談の内訳	全体	本庁
来訪相談	330	188
電話相談	77	43
文書相談	1	1
計	408	232

#### 医療給付担当

1 重度心身障がい者医療費助成

重度心身障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、身体障害者手帳の交付を受

けた1級又は2級の人、3級又は4級でIQ（知能指数）50以下の人並びに療育手帳の交付を受けたA1又はA2又はIQ35以下の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況 【別表1】 重度心身障がい者医療費助成支給状況参照

・障がい別登録人員 (単位：人)

障がいの程度	登録人員	
	23年度末現在(24.3.31)数	24年度末現在(25.3.31)数
身体の障がい1級の者	1,592 ( 891)	1,590 ( 879)
身体の障がい2級の者	884 ( 509)	878 ( 508)
IQが35以下の知的障がい者	318 ( 15)	317 ( 17)
身体の障がい3～4級でIQが50以下の重複障がい者	13 ( -)	13 ( -)
合計	2,807 (1,415)	2,798 (1,404)

※ ( ) 内の数は、後期高齢医療該当者である。

## 2 こども医療費助成

子どもの疾病の早期発見と治療を促し、子どもの健やかな成長と発育を図るため、出生した日から中学校3年修了時までの子どもの医療費（保険診療自己負担分）をその保護者に助成した。

・支給状況 【別表2】 こども医療費助成支給状況参照

## 3 妊産婦医療費助成

妊産婦の疾病の早期発見と治療を促進して母子保健の向上を図るため、妊娠の届出(母子健康手帳の交付)月の初日から出産した月の翌月の末日までの妊産婦の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況 【別表3】 妊産婦医療費助成支給状況参照

## 4 ひとり親家庭医療費助成

ひとり親家庭の親と子の心身の健康の保持及び福祉の増進を図るため、18歳未満の児童のいるひとり親家庭の親と子等（父母のない18歳未満の児童を現に扶養している配偶者のない人及び児童を含む。）で児童扶養手当法の所得制限額未満の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況 【別表4】 ひとり親家庭医療費助成支給状況参照

## 5 各種医療費助成対象者数（受給資格者証交付数） (単位：人)

種別	23年度末現在(24.3.31)数	新規(交付)	資格喪失	24年度末現在(25.3.31)数
重度心身障がい者医療費助成	2,807	220	229	2,798
こども医療費助成	18,255	1,452	1,344	18,363
妊産婦医療費助成	1,628	1,033	996	1,665
ひとり親家庭医療費助成	2,673	348	104	2,917
計	25,363	3,053	2,673	25,743

## 6 不妊治療費補助金

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額（10万円を限度に通算5回）を補助した。

補助件数（件）	101
治療費総額（円）	36,049,231
補助金総額（円）	7,229,600

## 7 後期高齢者医療制度

平成20年4月1日から老人保健制度に替わり、栃木県後期高齢者医療広域連合を運営主体とする後期高齢者医療制度が開始されており、市の窓口では資格及び給付関係の申請受付等を行った。

### (1) 被保険者数 （単位：人）

被保険者数			障害認定者数（再掲）		
男	女	合計	男	女	合計
7,294	11,764	19,058	303	212	515

※障害認定者 一定の障害のある65歳以上75歳未満の方

### (2) 各種申請書等受付件数 （単位：件）

申請書種類	件数
資格関係届出	2,725
高額療養費申請	1,267
その他の療養費申請	1,558
葬祭費申請	1,250
被保険者証等再交付申請	775
合計	7,575

### (3) 健康診査受診状況

受診者数（人）	4,471
健診委託料（円）	32,866,954

【別表1】重度心身障がい者医療費助成支給状況

区分 保険の種別	登録人員 (人)	助成件数 (件)	医療費総額(円)	一部負担金額(円)	控除額(円)				支給額(円)
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	838	15,971	1,351,562,326	113,380,135	24,110,942	-	-	24,110,942	89,269,193
社会保険	556	8,940	665,714,328	61,591,832	10,388,982	2,528,739	-	12,917,721	48,674,111
後期高齢者医療	1,404	24,985	1,814,170,070	96,576,113	13,754,945	-	-	13,754,945	82,821,168
合計	2,798	49,896	3,831,446,724	271,548,080	48,254,869	2,528,739	-	50,783,608	220,764,472

【別表2】こども医療費助成支給状況

区分 保険の種類	登録人員 (人)	助成件数 (件)	医療費総額(円)	一部負担金額 (円)	控除額(円)				支給額(円)	
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計		
3歳未満	国民健康保険	4,085	12,091	109,540,560	19,734,358	-	-	-	-	19,734,358
	社会保険		52,131	443,889,109	89,069,153	55,308	54,504	-	109,812	88,959,341
	計		64,222	553,429,669	108,803,511	55,308	54,504	-	109,812	108,693,699
3歳以上	国民健康保険	14,278	23,885	185,345,708	44,689,825	1,164,674	-	-	1,164,674	43,525,151
	社会保険		129,094	885,262,402	223,848,883	3,392,819	1,892,725	-	5,285,544	218,563,339
	計		152,979	1,070,608,110	268,538,708	4,557,493	1,892,725	-	6,450,218	262,088,490
入院 時食 事療 養費	一般(1食260円)	/	/		4,160	/				4,160
	低所得者(1食210円)				-					-
	低所得者長期該当(1食160円)				-					-
	計				4,160					4,160
合計	18,363	217,201	1,624,037,779	377,346,379	4,612,801	1,947,229	-	6,560,030	370,786,349	

【別表3】妊産婦医療費助成支給状況

区分 保険の種類	登録人員 (人)	助成件 数(件)	医療費総額(円)	一部負担金額 (円)	控除額(円)				支給額(円)
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	299	1,140	33,017,570	6,632,556	598,008	-	-	598,008	6,034,548
社会保険	1,366	5,629	145,015,821	34,230,031	5,526,175	2,534,537	-	8,060,712	26,169,319
合 計	1,665	6,769	178,033,391	40,862,587	6,124,183	2,534,537	-	8,658,720	32,203,867

【別表4】ひとり親家庭医療費助成支給状況

保険の種類	登録人員	助成件数 (件)	医療費総額 (円)	一部負担金額 (円)	控除額(円)				支給額(円)
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	615世帯 1,412人	10,476	105,529,204	26,931,183	1,476,158	-	-	1,476,158	25,455,025
社会保険	623世帯 1,505人	10,685	92,947,046	24,866,610	1,239,689	26,400	-	1,266,089	23,600,521
合 計	1,238世帯 2,917人	21,161	198,476,250	51,797,793	2,715,847	26,400	-	2,742,247	49,055,546

## 第4節 環境課

### 〔総括概要〕

今日の環境問題は、ごみの不法投棄・野外焼却、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、地球温暖化、自然破壊による生物多様性の減少など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑・多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世界を挙げた取組を進めることが求められている。

これらの課題等に対応し、環境行政の円滑で積極的な推進を図るため、環境課においては、2担当3チームの体制により事務を推進している。

具体的な取組として、環境政策担当では、平成23年度に施行した環境基本条例に基づき市民、事業者、市が、それぞれの責務を自覚し、行動し、相互に協力し、一体となって「環境都市とちぎ」を目指して取組を進めていくため「環境基本計画」を策定した。

併せて、地球温暖化防止対策の一環として、大型の太陽光発電設備を配置するため公共施設への屋根貸事業の実施及び市民に対しての住宅用太陽光発電システム設置費補助事業を推進した。

また、資源循環型の社会づくりを目指し、家庭から出る生ごみの自家処理を進めるための補助事業を推進したほか、主に地球温暖化問題やごみ減量・リサイクル等の啓発や、出前講座をはじめとする環境学習の推進に努めた。

環境保全担当では、栃木市斎場について平成23年12月22日公募型プロポーザル方式により指定管理者を選定し、平成24年度から平成28年度まで5年間の指定管理者制度を導入した。斎場の再整備については、7月に設置した斎場整備室に事務を移管した。

また、公害対策について県からの権限移譲に対応しつつ、県と連携して公害発生原因者への指導等を行うとともに、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図ったほか、聖地公園及び市有墓地について円滑な管理・運営に努めた。

また、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、廃棄物・土砂等埋立て監視員による不法投棄の監視、不法投棄ごみの回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のため、保健委員連合会の協力を得て市民意識の啓発推進に努めた。

環境政策担当

1 栃木市役所エコオフィス推進実行計画

地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画として策定した栃木市役所エコオフィス推進実行計画の庁内周知のため、エコ推進員を選任し、研修会を実施した。

- ・計画期間 平成23年度～平成27年度
- ・計画目標 平成22年度と比較し、温室効果ガス排出量や燃料使用量等を5%以上削減する。
- ・研修実施状況

実施日	場 所
2月1日（金）	西方総合文化体育館

2 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

地球温暖化防止対策の一環として、住宅用太陽光発電システム設置費補助事業を実施した。

- ・補助基本額 1kw当たり 25,000円
- ・限度額 4kw 100,000円
- ・補助件数 411件
- ・補助総額 37,954,000円

3 新エネルギー対策事業

民間活力を活かした太陽光発電の推進を図るため、国の固定価格買取制度（全量買取）を活用し、太陽光発電設備を用いて再生可能エネルギー電気を供給しようとする者に対し公共施設の屋根貸出しを実施した。

- ・事業者 栃木メガソーラー株式会社
- ・貸出し公共施設一覧

	施 設 名		施 設 名
1	栃木保健福祉センター	8	栃木図書館
2	栃木中央小学校（西棟校舎）	9	大平図書館
3	同（共同調理場）	10	藤岡第一中学校
4	同（体育館）	11	合戦場小学校
5	旧栃木中央小学校	12	都賀中学校
6	栃木西中学校	13	西方総合文化体育館
7	国府公民館		

4 環境基礎調査事業

(1) 河川等水質調査

市内を流れる河川等について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査河川 瀬戸ヶ原用水、清水川、永野川、巴波川、荒川、杳冷川、県庁堀川、

市内下水

- ・調査期間 通年
- ・調査項目 pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数、全窒素、全リン、全クロム

(2) 巴波川流入支川水質調査

巴波川に流入する支川について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 15地点

巴波川上流、旧巴波川、荒川、旧赤津川、嘉右衛門橋上側溝  
常盤橋上側溝、県庁掘北、県庁掘南、清水川、清水川分流  
開明橋下側溝、新橋上側溝、杣冷川（新橋上流）  
県営城内町住宅南東、愛宕橋南右岸

- ・調査月日 10月19日（金）～11月16日（金）
- ・調査回数 1日4回（午前9時、午後1時、午後4時、午後7時）
- ・調査項目 BOD、SS、pH、流量

(3) 地下水水質調査

市内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 市内 29カ所
- ・調査月日 3月12日（火）
- ・調査項目 全 26項目

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀  
PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、  
1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、  
1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン  
トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン  
1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ  
ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

## 5 環境学習・啓発活動事業

(1) とちぎ市民環境まつりの開催

市における環境の現状と、環境に関する市民の先進的な取組を知らせることで、環境問題に対し、市民、事業者及び市が一体となって取り組み、市民一人ひとりの意識の高揚を図るため、とちぎ市民環境まつりを開催した。

- ・実施日 2月16日（土）午前10時～午後2時30分
- ・会場 市民会館
- ・主催 栃木市、栃木市女性団体連絡協議会
- ・開催内容 市民、企業、学生、行政機関による各種展示
- ・来場者 約1,350人

(2) 親と子の水辺教室の開催

市内の自然環境、特に河川の水質を守ることについての意識、関心を高めるとともに、親と子が協力し、ふれあいながら学べる体験学習の場を提供するため、親と子の水辺教室を開催した。

- ・実施日 8月3日(金)、4日(土) 午前9時～
- ・会場 永野川緑地公園パークセンター
- ・対象 市内小学校4年生から6年生までの児童及びその保護者
- ・講師 環境省登録環境カウンセラー
- ・参加人数 33人(8月3日の部 15人、8月4日の部 18人)

(3) 環境講座

市民団体、グループ、小中学校などの要請により、環境課職員が講師としてその会場に出向き、地球温暖化防止、ごみ減量・リサイクル、水質、廃油石けん作りなどの講義や説明等を行った。

- ・実施回数 15回
- ・参加者数 428人

6 ごみ減量化対策事業

(1) コンポスト容器の普及

生ごみの減量化を目的として、コンポスト容器の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

- ・申込基数 2基
- ・補助額 8,300円

(2) 機械式生ごみ処理機の普及

生ごみの減量化を目的として、機械式生ごみ処理機の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

- ・申込件数 6件
- ・補助額 120,000円

(3) バイオ式生ごみ処理機

ごみの減量化事業の一つとして、生ごみを堆肥化するバイオ式生ごみ処理機を、栃木第三小学校、栃木第四小学校、栃木第五小学校、千塚小学校に導入している。

処理後にできた堆肥については、学校の花壇等で肥料として活用している。

また、余剰分については環境課で引き取り、市民への無料配布、協働まつり及びとちぎ市民環境まつりにおいて来場者への無料配布を行った。

7 レジ袋削減の取組

地球温暖化防止対策の一環として、レジ袋削減の推進を図るため、商工団体、消費者団体、事業者及び行政で構成する栃木市レジ袋削減推進協議会を組織し、協議会会議を開催した。

第2回栃木市レジ袋削減推進協議会

- ・実施日 9月11日(火)
- ・場所 市民会館

## 8 狂犬病予防業務（栃木地域）

### (1) 犬の登録（単位：頭）

新規登録数	登録抹消数	登録総数
359	306	4,903

### (2) 狂犬病予防注射

#### ア 第1次集合注射

- ・実施期間 4月9日（月）～20日（金）
- ・実施会場 地域内29会場
- ・実施数 2,717頭

#### イ 第2次集合注射

- ・実施期間 10月13日（土）、14日（日）
- ・実施会場 地域内9会場
- ・実施数 270頭

#### ウ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 1,742頭

## 環境保全担当

### 1 斎場・霊きゅう車使用状況（単位：件）

区分	斎場				霊きゅう車
	大人	小人	死産児	計	
市内	1,452	4	23	1,479	1,324
市外	200	1	5	206	29
計	1,652	5	28	1,685	1,353

### 2 改葬許可件数

- ・109件

### 3 動力噴霧機・草刈機貸出状況

自治会に対し、衛生害虫駆除のための動力噴霧機の貸出しを行った。また、市民及び自治会に対し病害虫発生の源となる雑草を刈るための草刈機の貸出しを行った。

- ・動力噴霧機 貸出回数 延べ 24台
- ・草刈機 貸出回数 延べ 125台  
刈払面積 延べ 61,770㎡

### 4 聖地公園墓所使用許可状況（単位：区画）

種別及び面積	造成数	許可数
第1種（芝生墓所）5㎡	177	176

第2種（芝生墓所）6㎡	168	168
第3種（芝生墓所）5㎡	344	344
第4種（一般墓所）5㎡	152	152
第5種（芝生墓所）5㎡	555	554
第6種（芝生墓所）5㎡	198	192
第7種（芝生墓所）5㎡	600	592
第8種（一般墓所）5㎡	88	82
計	2,282	2,260

## 5 公害関係

### (1) 大気関係

#### ア 光化学スモッグ注意報発令状況

(単位：回)

発令月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
発令回数	—	—	—	2	—	—	2

#### イ 大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

(単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	5	5	3	3
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	—	—	—

### (2) 水質関係

#### ア 地下水汚染地区の定期モニタリング調査

過去の地下水汚染状況の推移を監視するため、城内町2丁目周辺のテトラクロロエチレン汚染地区の1か所と木野地町、川原田町周辺のトリクロロエチレン汚染地区で2か所の井戸を選定し、地下水の水質調査を継続的に実施した。

- ・調査回数 年4回
- ・調査実施月 8、10、12、2月

#### イ 水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

(単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	12	8	9	1
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	—	—	—

### (3) 騒音関係

#### ア 自動車騒音常時監視業務

栃木県より平成24年4月から権限移譲を受けたもので地域の騒音暴露状況を経年的に統計立て監視業務を実施して環境省（環境大臣宛）に報告を行うもの。

栃木市は県からのデータを基に110か所の道路区間を5年間に分けて自動車騒音常時監視業務を実施する。本年は25か所の業務を実施した。

イ 騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	2	2	—	—	12
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	3	2	—	1

(4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	2	2	—	—	11
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	3	—	—	2

(5) その他

ア 公害苦情受付件数 (単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
57	15	4	1	5	—	5	87

イ 栃木市ゴルフ場環境保全対策連絡協議会

総会において各会員へ決算報告及び事業計画を説明。例会においては次年度の総会にかかる議案の説明と環境保全に関する研修会を行った。

区分	開催日	開催場所
総会	7月30日(月)	エヴァンタインユゴルフクラブ
例会・研修会	3月25日(月)	アパリゾート栃木の森ゴルフコース

ウ 鍋山地区環境整備懇談会

鍋山地区の粉じん公害問題解決のため、9月21日(金)に地元自治会代表と石灰企業各社立会いのもと現地調査を実施し、石灰企業各社に対して改善を要望した。

また、11月19日(月)に懇談会を開催し、地元要望事項について石灰企業各社と協議した。

エ 土壌汚染等の防止

土砂等の埋立て等による土砂汚染や無秩序な埋立て等に伴う災害の発生を未然に防止し、市民生活の安全と生活環境の保全を図った。

- ・土砂等の埋立て等事業許可件数 7件

6 保健委員事業

保健委員連合会の協力を得て、衛生害虫の駆除や、美化キャンペーン等を実施した。

- ・委嘱状況 保健委員 172人  
保健班長 435人

## 7 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみは月2回、資源物のうち、紙類は月1回、空カン・空ビン、ペットボトル・食品用トレイは月2回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、休日・祝日等の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

### (1) ごみ収集搬入量 (単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
23,481.05	1,787.68	2,302.34	995.09	327.42	357.63	29,251.21

### (2) もやすごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
397.43	15,234.87	7,848.75	23,481.05

### (3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
36.43	1,430.13	321.12	1,787.68

### (4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種類	直営	委託	直接搬入	合計
紙類	13.83	2,288.51	-	2,302.34
空カン・空ビン	0.24	984.93	9.92	995.09
ペットボトル・トレイ	0.10	324.50	2.82	327.42
合計	14.17	3,597.94	12.74	3,624.85

### (5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	減免	合計
11.46	28.84	314.67	2.66	357.63

### (6) 休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合計
1	38	20	59

### (7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 (単位：k1)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合計
4,200.99	11,483.24	15,684.23

## 8 環境美化対策事業

### (1) 環境美化推進員の委嘱

地域における環境美化を推進するため、環境美化推進員を委嘱した。

- ・環境美化推進員 164人

(2) 環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

- ・実施日 6月3日（日） 午前9時～
- ・場所 パルスオーヒラ周辺の永野川沿い
- ・内容 ごみ拾い
- ・参加人数 約310人

(3) 市役所周辺清掃活動

市役所周辺の環境美化及び職員の美化活動の拡大を図るため、毎月初めに市職員のボランティアによる清掃活動を行った。

9 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、廃棄物・土砂等埋立監視員を設置し、市内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

(1) 地区別不法投棄物回収件数

(単位：件)

区分 地区	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
栃木	89	11	3	69	-	9	181
大宮	37	4	1	20	-	15	77
皆川	43	9	1	15	3	2	73
吹上	36	14	3	21	1	6	81
寺尾	15	4	2	2	-	4	27
国府	46	11	13	31	2	10	113
計	266	53	23	158	6	46	552

※生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計

(2) 不法投棄調査件数

- ・18件（うち不法投棄者等指導 3件）

## 第5節 斎場整備室

### 〔総括概要〕

栃木市斎場は、昭和29年に日ノ出町から平井町に移転した後、昭和54年に施設を改築し、現在に至っている。

火葬設備は、市民生活に不可欠な都市施設であり、その機能は絶えることなく維持する必要がある。しかし、市町合併や人口構造の変化等により今後火葬件数が増加し、現在の施設規模では対応できなくなることが予想されるほか、現施設は建築後33年が経過し老朽化が進んでいることから、斎場の再整備を行うこととした。

斎場再整備の円滑かつ積極的な推進を図るため、7月に斎場整備室が設置され、1担当1チームの体制により事務を推進している。

事業を進めるにあたっては、斎場再整備の基本構想を策定し、基本計画を経て設計や工事の実施等に進んでいくこととした。そのため、具体的取組みとして、基本構想及び基本計画について業務委託契約を締結し、原案作成を行った後、基本構想を3月に策定した。また、計画等の策定にあたって、内容を審議するため、市民代表等による栃木市斎場再整備検討委員会や市の内部組織として栃木市斎場再整備検討部会等を設置した。

### 斎場整備担当

#### 1 栃木市斎場再整備基本構想・基本計画策定業務

斎場再整備を円滑に進めるため、業務委託を行い、基本構想・基本計画の原案作成を行った。

- ・委託業務名 新火葬場整備基本構想及び基本計画策定業務委託
- ・契約日 7月24日
- ・相手方 (株)日本環境工学設計事務所
- ・委託金額 3,969,000円（1月に変更契約：3,076,500円）

#### 2 栃木市斎場再整備検討委員会

斎場再整備事業を進める上で、広く市民の意見を求めるため、栃木市斎場再整備検討委員会を設置した。

##### (1) 構成（計17人）

学識経験者1人、各地域協議会4人、栃木地域まちづくり検討委員会1人、公共的団体代表者5人（自治会連絡協議会、民生委員児童委員協議会連合会、女性団体連絡会、老人クラブ連合会、PTA連合会）、公募3人、市職員1人（生活環境部長）、市民活動団体1人、葬祭事業者1人

##### (2) 委嘱期間 11月13日から2年間

(3) 会議等開催状況

区 分	開催日	主な協議内容
第1回	11月13日(火)	委嘱状交付、斎場の現状、事業の進め方等
視察研修	11月30日(金)	先進地視察 深丘園(深谷市)、しらゆり聖苑(渋川市)
第2回	12月14日(金)	基本構想案
第3回	1月11日(金)	基本構想案最終確認
第4回	2月 4日(月)	基本計画案(スケジュール、平面構成、炉数等)
第5回	3月15日(金)	基本計画案(平面構成、式場・ペット炉等)

3 庁内組織

(1) 栃木市斎場再整備検討部会

- ・ 構成 生活環境部長、関係課長20人(斎場整備室長含む)、岩舟町職員2人(オブザーバー)
- ・ 開催状況

区 分	開催日	主な協議内容
視察研修	10月10日(水)	先進地視察 深丘園(深谷市)、栃木市斎場
第1回	10月23日(火)	基本構想案についての検討
第2回	12月 3日(月)	〃
第3回	12月27日(木)	〃
第4回	1月30日(水)	基本計画案についての検討
第5回	3月 6日(水)	〃
第6回	3月27日(水)	〃

(2) 栃木市斎場再整備作業部会

- ・ 構成 斎場整備室長、関係課18課の担当者
- ・ 開催状況

区 分	開催日	主な協議内容
第1回	9月20日(木)	基本構想案についての検討
第2回	11月26日(月)	〃
第3回	12月17日(月)	〃
第4回	2月25日(月)	基本計画案についての検討

4 栃木市斎場再整備基本構想の策定

- ・ 策定日 3月18日
- ・ 内容 新たな栃木市斎場を整備する上での基本的な考えをまとめたもの
- ・ その他 2月6日(水)～3月5日(火)までの1か月間パブリックコメントを実施した。

## 第6節 女性青少年課

### 〔総括概要〕

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国の社会を決定する最重要課題と位置づけられており、今日の少子・高齢化の進展や国内経済の成熟化などの社会経済情勢の急速な変化に対応する上でも緊要な課題となっている。

このような状況の中、本市では平成22年6月に、男女共同参画に関する施策の推進について総合的かつ計画的に取り組むための庁内推進体制の整備を図るため、市長を本部長とする「栃木市男女共同参画推進本部」を設置し、男女共同参画社会基本法の理念に基づき、市や市民、事業者及び教育関係者が一体となって男女共同参画の推進に取り組む法的整備を図るため、平成23年3月「栃木市男女共同参画推進条例」を制定した。そして、条例第8条に基づく初めての行動計画として平成25年3月「とちぎ市男女共同参画プラン（平成25年度～平成29年度）」を策定した。

また、男女共同参画社会の実現の意識づくりを図るために、「男女共同参画のつどい」の開催、「男女共同参画週間」啓発のための街頭啓発、「ミニ市民のつどい」の開催、「男女共生大学」の開設、女性団体等の育成支援などを行った。

働く婦人の家については、女性団体や講座OB自主グループに活動場所の提供を行った。また、市内に居住または市内事業所に勤務する女性等を対象に、エコ手芸講座、3B体操講座、レカンフラワー講座、料理講座を開講して福祉の増進に努めた。

青少年行政については、青少年の健全育成と社会参加の促進を目的として、青年団体等の育成・指導や青少年健全育成講演会、非行防止懇談会、家庭の日推進事業、模範児童・生徒の表彰、青少年育成市民会議の設立支援等を行った。また、若者が気軽に立ち寄り、自由な発想で活動できる居場所の整備の参考とするため、市内に通学する高校生・大学生等に対してアンケート調査を行った。

青少年育成センターについては、街頭補導活動、少年相談業務、環境浄化活動等を重点事業として、学校、警察、青少年問題協議会、教育委員会等の関係機関・団体と連携しながら青少年の健全育成に努めた。

栃木勤労青少年ホームについては、平成18年度から指定管理者制度により管理を民間委託し、市内に居住または市内事業所に勤務する青少年を対象に、英会話・テニス・バドミントン・エアロビクス等の教養講座及びスポーツ講座を開講した。

また、各種サークルの育成を図るとともに、ホーム行事の開催及び相談事業の実施により、勤労青少年相互の交流並びに資質の向上、勤労青少年の福祉の増進に努めた。

勤労者体育センターについても、勤労青少年ホーム同様に指定管理者に委託し、勤労者をはじめとした一般市民の健康の保持増進とスポーツの振興を図るための施設として、その有効利用に努めた。

## 男女共同参画推進担当

### 1 各種委員会等への女性・若者（35歳未満）委員構成状況調査の実施

男女共同参画社会の形成に関する施策の推進状況を把握するため、庁内における女性と若者の委員会等への参画状況の調査を実施し、参画の拡大を図った。

#### (1) 女性委員の登用について

- ・委員会等の組織数 44組織
- ・構成人数 590人
- ・うち女性数 155人
- ・女性登用率 26.3%（4月1日現在）

#### (2) 若者（35歳未満）委員の登用について

- ・委員会等の組織数 44組織
- ・うち若者ありの組織数 5組織
- ・若者登用率 11.4%（4月1日現在）

### 2 男女共同参画基本計画の策定

#### (1) 男女共同参画推進本部会議の開催（庁議と兼ねる）

##### ア 第1回会議

- ・開催日 6月15日（金）
- ・会場 市役所正庁
- ・内容 男女共同参画基本計画（案）について  
パブリックコメントについて  
今後のスケジュールについて

##### イ 第2回会議

- ・開催日 10月24日（水）
- ・会場 市役所第5会議室
- ・内容 男女共同参画基本計画（最終案）について

#### (2) 男女共同参画推進本部幹事会・検討部会からの意見聴取

- ・内容 男女共同参画プラン（案）及び目標値の検討
- ・募集期間 5月14日（月）～5月25日（金）
- ・意見提出 11人（32件）

#### (3) パブリックコメントの実施

- ・内容 男女共同参画プラン（案）について
- ・募集期間 6月26日（火）～7月25日（水）
- ・意見提出 4人（19件）

#### (4) 男女共同参画審議会の開催

- ・開催日 9月21日（金）
- ・会場 市民会館
- ・内容 男女共同参画基本計画の策定について
- ・出席者数 12人

### 3 男女共同参画推進本部検討部会部会員研修会の実施

男女共同参画に関する意識啓発と理解を深めるため研修会を実施した。

#### (1) 第1回研修会

- ・実施日 5月24日（木）（男女共生大学第1回講座と兼ねる）
- ・会場 市民会館
- ・内容 講演 「落語で聴こう！ポジティブ・アクション」  
講師 男女共同参画落語創作・口演家 千金亭値千金氏
- ・出席者数 44人（出席率55.8%）

#### (2) 第2回研修会

- ・実施日 8月9日（木）（男女共生大学第5回講座と兼ねる）
- ・会場 市民会館
- ・内容 講演 「東日本大震災等から見た男女共同参画」  
講師 福島県南相馬市男女共同子ども課男女共生参画係長  
小林俊雄氏
- ・出席者数 60人（出席率77.9%）

### 4 男女共同参画啓発事業

#### (1) 男女共同参画週間事業

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する理解を深め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、パネル展の開催並びに広報紙への記事の掲載等を行った。

- ・実施日 6月22日（金）～29日（金）
- ・会場 市役所ロビー、市民会館ロビー
- ・内容 男女共同参画週間パネル展示  
リーフレット配布

#### (2) 男女共同参画地域推進員の活動

ア 「ミニ市民のつどい」の開催

実施日	会場	内容	参加人員(人)
12月1日(土)	昭和町公民館	昭和町自治会ミニ市民のつどい 蔵の町子ファミリーによる紙芝居「向こう三軒両隣」	35
2月4日(月)	室町公民館	室町自治会ミニ市民のつどい ビデオ鑑賞「気づくことがはじめての一步」	32

イ 自主研修会の開催

- ・実施日 6月24日（日）
- ・会場 視察研修に向かう車中
- ・内容 ビデオフォーラム「日常の人権Ⅱ」
- ・参加人数 9人

ウ 男女共同参画週間の街頭啓発

- ・啓発物資の配布

実施日	会場	参加人員(人)
6月22日（金）	カインズモール、ベイシア大平店	4

6月24日(日)	とりせん藤岡店	4
6月26日(火)	フジマート都賀店	7
6月27日(水)	イオン栃木店	12
6月27日(水)	ヨークベニマル栃木祝町店	7

エ 視察研修の開催

県内他団体における取組を参考として今後の啓発活動に役立て、本市の更なる男女共同参画の推進を図るため、栃木県女性団体連絡協議会、栃木県、公益財団法人とちぎ男女共同参画財団主催の「とちぎ県民のつどい」に参加した。

- ・実施日 6月24日(日)
- ・会場 パルティとちぎ男女共同参画センター
- ・内容 地域推進員グループ・団体等の発表  
記念式典  
講演 「ワーク・ライフ・バランス～高齢社会の仕事と子育てから、  
仕事と介護への変化～」  
講師 (株)ニッセイ基礎研究所 主任研究員 土埴内昭雄氏
- ・参加人員 21人

(3) 「とちぎし男女共同参画のつどい」の開催

男女共同参画社会づくりを目指し、「とちぎし男女共同参画のつどい」を開催した。

- ・実施日 6月30日(土)
- ・会場 市民会館
- ・内容 第1部 男女共同参画標語・写真コンテスト表彰  
第2部 講演 「男女共同参画社会の進んだ国ノルウェーの女性や  
男性の生き方から学ぶ」  
講師 元駐ノルウェー大使 河合正男氏  
発表 「男女共同参画スタディツアー」成果発表  
発表者 とちぎつばさの会海外研修実行委員会の皆さん
- ・参加人員 124人

(4) 男女共同参画のつどいに併せての啓発事業

「男女共同参画」に関する標語と写真の募集を行い、表彰した。

区 分		応募数(点)	入 賞
標語	小学生の部	447	最優秀賞1点、優秀賞5点、優良賞10点、佳作20点
	一般の部	22	最優秀賞1点、優秀賞2点
写真		8	最優秀賞1点、優秀賞2点

(5) 北関東男女共同参画会議の参加

男女共同参画社会の実現を目指すため、群馬県・茨城県・栃木県の有志が一堂に会して学習し、共に連携して行動することを目的に開催された「第8回北関東男女平等参画 会議inみと～ぬくもりのある地域を目指して～」に参加した。

- ・開催日 7月29日(日)
- ・会場 水戸市国際交流センター

・参加人数 18人

基調講演「男女平等参画とみとの魅力発信」 講師 水戸市長 高橋 靖氏	
分科会	第1分科会「震災を体験して学んだこと」
	第2分科会「外国人の感じる男女平等」
	第3分科会「ワークライフバランスを目指して」
現地見学会「水戸芸術館館内ツアー」	

(6) 男女共同参画推進事業の広報

市広報紙、市ホームページ、ケーブルテレビによる広報を行った。

5 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業の周知

内閣府では「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」として、長引く避難生活や原子力発電所の事故に伴う不安や悩み、配偶者等からの暴力（DV）などの相談を受けるため、『女性のための電話相談・ふくしま』を開設し、その窓口について市ホームページにおいて周知した。

6 栃木県次世代人材づくり事業への派遣

県民一人ひとりが地域や社会の担い手となり、力を発揮することができる「人づくり」を推進するため、人間性豊かで、地域に貢献する青年リーダー及び女性リーダーの育成を県と市町が共同で実施する次世代人材づくり事業への参加について募集を行った。

・参加者 なし

7 日本女性会議への参加

市内の各女性団体等において活動している市民が、女性団体及びリーダーとしての役割や活動の現状を学ぶとともに、協調と連帯意識を持って、男女共同参画社会の実現に向けた活動を展開していくために、日本女性会議へ参加した。

- ・実施期間 10月26日（金）～28日（日）（3日間）
- ・開催地 宮城県仙台市
- ・参加者数 9人

8 男女共同参画広報紙の発行

男女共同参画について市民の理解と関心を深めるため、男女共同参画広報紙「きららとちぎ（第3号）」を、男女共同参画地域推進員を編集員として3月に発行し、市内全世帯に配付した。

9 男女共生大学の開設

男女共同参画社会の実現に向け、共に学び考え、それぞれの活動を通して、自分らしく生き生きと活躍、行動できる力を身につける人材を育成するため男女共生大学を開設した。

## (1) 実施状況

受講者数 一般55人、 特別4人 計59人

講座	実施日	講座内容	参加人員(人)
第1回	5月24日(木)	*開講式 *落語で聴こう！ 「『自分語』で語ろう！男女共同参画」 男女共同参画落語創作・口演家 埼玉県鶴ヶ島市職員 阪本 真一 氏	30
第2回	6月14日(木)	*はつらつ健康教室 「明るい未来の自分のために ～笑顔で習慣～」 健康運動指導士 原 美穂子 氏	23
第3回	7月14日(土)	*家庭教育学級との共催 *講話「親が子どもとコミュニケーションをうまくとるために」 スマイルコミュニケーション代表 小林 里江 氏	23
第4回	7月26日(木)	*現地見学会 「防災について考えよう」 栃木県防災館 なかがわ水遊園	22
第5回	8月9日(木)	*講話「防災と男女共同参画」 福島県南相馬市職員 小林 俊雄 氏	21
第6回	8月23日(木)	*H23栃木県次世代人材づくり事業研修発表 H23栃木県次世代人材づくり事業研修参加者 青柳 恵美子 氏 宇賀神 祐貴 氏 *しゃべり場	19
第7回	9月13日(木)	*講話と調理実習 ヘルシー料理「健康と食生活について」 管理栄養士 杉山 敦子 氏	17
第8回	9月27日(木)	*講話「心豊かに地域で生きる ～まちづくりの視点から～」 宇都宮大学教授 陣内 雄次 氏 *閉講式・修了証書交付	19

## (2) 運営ボランティアの活動

男女共生大学の受講生自らが大学の運営に主体的に携わることにより、男女共同参画社会の実現に向けた人材育成を図った。

- ・運営ボランティア 6人
- ・活動の内容 講座の運営・記録・託児等、講座に関する役割を分担して行う。
- ・運営委員会の開催 年3回 学習プログラムや活動内容の検討ほか

## 10 女性団体活動支援

### (1) 栃木市栃木女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会 場	事 業 名	参加人員(人)
5月30日(水)	市民会館	定期総会 研修会「防災について」	72
6月 6日(水)	日光市ほか	視察研修会 日光市在宅介護支援施設「ほほえみ」 戦場ヶ原ほか	36
6月 8日(金)	大平公民館	第1回栃木市女性団体連絡会役員会	8
8月23日(木)	栃木文化会館	研修会「サマーコンサート パートⅣ」	225
8月27日(月)	藤岡総合支所	第2回栃木市女性団体連絡会役員会	8
10月3日(水)	渡良瀬遊水地、 おおひら歴史民俗資料 館、おおひら郷土資料館	栃木市女性団体連絡会交流会視察研修	28
2月16日(土)	市民会館	2013とちぎ市民環境まつり 栃木市消費生活展	延べ 1,350
2月25日(月)	都賀公民館	第3回栃木市女性団体連絡会役員会	6
3月22日(金)	市民会館	第4回栃木市女性団体連絡会役員会	6

### (2) 自主学習グループへの活動支援

自主学習グループに対して、会議室の提供、男女共同参画に関する情報提供、活動に対する指導・助言等を行った。

#### ・支援対象グループ

ういめんず・栃木、蔵の町子ファミリー、栃木市女性史研究会「あいの会」、  
栃木市高齢社会を考える「パールの会」、きらきらの会

## 11 働く婦人の家活動状況

### (1) 活動の概要

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
主催事業	65	0.6
自主グループ	7,030	66.8
そ の 他	3,437	32.6
計	10,532	100.0

### (2) 活動区分

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
勤労婦人	4,032	38.3
勤労者家庭婦人	5,323	50.5
そ の 他	1,177	11.2
計	10,532	100.0

## (3) 月別活動状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	924	881	891	1,019	508	876	887	951	797	804	1,001	993

## (4) 曜日別活動状況 (単位：人)

曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
人数	1,850	5,200	284	1,279	1,069	800	50

## (5) 年齢別活動状況 (単位：人)

年齢	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
人数	296	185	96	2,822	7,133

## (6) 事業実施状況

## ア 主催講座

講座名	エコ手芸講座	3B体操講座	レカンフラワー講座	料理講座	計
回数(回)	1	1	1	1	4
延べ人数(人)	15	16	14	20	65

## イ 自主グループ等

区分	回数(回)	延べ参加人数(人)	備考
書道	49	342	2グループ
太極拳	39	468	
ヨーガ	39	136	
卓球(ラージ)	142	1,525	3グループ
押し花	22	85	
茶道	47	313	
フラダンス	14	54	
リズム体操	42	4,107	
計	394	7,030	

## ウ その他

区分	人数(人)	備考
運営委員会	5	
団体利用	3,432	消費生活センター利用等
計	3,437	

## 青少年担当

## 1 青少年行政関係

## (1) 青年団体の育成

市内青年団体等の連携と協調を図るとともに、社会参加活動を通し、青年の交流とリーダーの育成に努めた。

ア とちぎユースネットワークの活動

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
通年	栃木勤労青少年ホーム	月1回 定例会開催	-
5月27日(日)	かかしの里	大平クリーンアップ作戦	10
6月4日(月)	栃木勤労青少年ホーム	平成24年度総会	10
8月26日(日)	あゆみ学園	あゆみ学園納涼祭	16
12月23日(日)	栃木地域内の家庭	サンタの宅配便	12
3月3日(日)	市民会館	国際交流協会ふれあいの集い	14
3月23日(土) 3月24日(日)	寺尾中セミナーハウス	青年リーダー研修会	12

(2) 青少年問題協議会

- ・理事・幹事会、総会の開催
- ・青少年健全育成講演会及び非行防止懇談会の開催(各中学校及び子ども会育成会)
- ・「家庭の日」推進事業
- ・青少年対策(心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動の一環として、青少年の非行・被害防止全国強調月間、子ども・若者育成支援強調月間の推進、とちぎの子ども育成憲章の普及・啓発)
- ・児童生徒対策(模範児童・生徒の表彰)
- ・啓発活動(広報とちぎの7月・11月・3月における啓発記事の掲載及び7月に大型店舗前における街頭啓発キャンペーン)

(3) 青少年育成市民会議

次代を担う心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とする栃木市青少年育成市民会議及び栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部の設立支援に努めた。

- ・栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部 9月13日設立総会開催
- ・栃木市青少年育成市民会議 3月14日設立総会開催

(4) 青少年育成支援施設アンケート調査

若者が気軽に立ち寄り、自由な発想で活動できる居場所の整備計画の参考とするため、アンケート調査を実施した。

ア 対象者

- ・市内の高等学校・大学・専門学校に通学する学生 1,220人
- ・下記区分により無作為抽出をした18歳以上30歳未満の市民 1,000人

(単位:人)

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	計
男	250	100	50	50	50	500
女	250	100	50	50	50	500

計	500	200	100	100	100	1,000
---	-----	-----	-----	-----	-----	-------

イ 調査方法

無記名式の回答用紙による調査

ウ 調査期間

1月～2月

エ 回収結果

- ・回収数 1,406人
- ・回収率 63%

2 青少年育成センター

青少年育成センター活動状況

少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、少年相談業務、啓発広報、環境浄化活動等事業の推進に努めた。

(1) 街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導勤務計画にしたがい、年間255回、延べ760人の少年補導員が街頭補導に従事し、286人（内女子136人）の少年を不良行為等により補導、青少年の非行防止と健全育成に努めた。

街頭補導実施状況（栃木市全体）

区 分	補導実施状況	
	回数（回）	少年補導員（人）
昼 間	125	348
夜 間	130	412
計	255	760

(2) 少年相談

毎月第2、第4金曜日は、市民生活課で実施している総合相談の一部として実施した。また、青少年育成センターでは随時、少年相談業務を行い、23件の相談を受理し問題解決を図った。

平成19年2月19日より開設した「いじめ相談電話」は、青少年相談員が担当しており、平成24年度の相談件数は8件であった。

少年相談状況（いじめ相談8件を含む）

・相談者別内訳

（単位：件）

区 分 内 容	相 談 者						計
	少年本人	保護者	その他 親 族	教 師	雇 主	その他	
教育相談	3(2)	20(18)	3(2)	-	-	1(1)	27(23)
児童福祉相談	-	2(1)	-	-	-	-	2(1)
補導相談	1(-)	1(1)	-	-	-	-	2(1)
計	4(2)	23(20)	3(2)	-	-	1(1)	31(25)

上記のうち電話	4(2)	22(19)	3(2)	-	-	1(1)	30(24)
---------	------	--------	------	---	---	------	--------

※ ( ) 内は、相談者のうち女性の数

・相談対象者別内訳

(単位：件)

内 訳 内 容	対 象 少 年								
	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	各種学生	有職者	無職者	計
教育相談	1(-)	10(4)	13(7)	-	-	-	-	3(2)	27(13)
児童福祉相談	-	-	-	1(1)	1(1)	-	-	-	2(2)
補導相談	-	-	-	-	-	-	1(-)	1(-)	2(-)
計	1(-)	10(4)	13(7)	1(1)	1(1)	-	1(-)	4(2)	31(15)
上記のうち電話	1(-)	10(4)	13(7)	1(1)	1(1)	-	-	4(2)	30(15)

※ ( ) 内は、相談対象者のうち女性の数

(3) 有害環境浄化活動

ア カラオケボックス、レンタルビデオ店、ポルノ雑誌販売店等の立入調査を実施し、指導を行った。また、平成24年10月1日に施行された栃木県青少年健全育成条例の一部改正に伴い、青少年が利用する携帯電話等へのフィルタリングの定着を図るため、携帯電話販売店の立入調査を実施し、指導を行った。

栃木県青少年健全育成条例に基づく立入調査（単位：箇所）

実施施設	調査箇所
自販機	3
ビデオ、DVD販売・レンタル	2
カラオケ、ボウリング場	1
コンビニ	-
複合カフェ	-
ゲームセンター	-
書店、古本店	-
携帯電話等販売店	2
合 計	8

イ 少年補導員が市内公衆電話ボックス等の有害広告物（43枚）の排除を行った。

(4) 広報、啓発等

7月に「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月に「子ども・若者育成支援強調月間」の広報啓発のため、立看板を市役所等12か所に掲出し、周知を図った。

また、広報とちぎへの掲載、ポスターの掲示、啓発用品・チラシ等の配布による広報啓発を行った。チラシは市内小中学校の児童生徒を通じ家庭に配布した。

(5) 少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、研修会を開催した。

少年補導員研修会

実施日	会 場	内 容
5月17日 (木)	市民会館	講話 「少年犯罪発生状況と少年補導活動について」 講師 栃木警察署 生活安全課 安野聖美智 氏

7月12日 (木)	市民会館	講話 「防災対策について」 講師 消防防災課 須藤亮介 氏
8月23日 (木)	赤城少年院 (群馬県前橋市)	先進地視察研修及び情報交換会
11月19日 (月)	市民会館	講話 「市民活動してみませんか」 講師 地域まちづくり課 藤田正人 氏 ほか2人

(6) 青少年育成センター運営協議会の開催

青少年育成センターの運営について審議するために運営協議会を開催した。

- ・実施日 2月8日(金)
- ・会場 市民会館
- ・内容 平成24年度青少年育成センター運営報告  
平成25年度青少年育成センター運営計画
- ・参加人員 7人

3 栃木勤労青少年ホーム利用状況

(1) 概要

(単位：人)

区分	男	女	合計
ホーム利用登録者数	126	278	404
ホーム利用者総数	5,813	11,280	17,093

(2) 月別利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	432	460	464	570	547	489	578	452	421	469	460	471
女	775	1,009	960	922	995	945	1,116	995	831	895	910	927
合計	1,207	1,469	1,424	1,492	1,542	1,434	1,694	1,447	1,252	1,364	1,370	1,398

(3) 年齢層別利用状況

(単位：人)

年齢	15～19歳	20～24歳	25歳～
男	5	13	5,795
女	6	539	10,735
合計	11	552	16,530

(4) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
男	718	946	681	1,084	949	532	903
女	873	1,252	1,955	1,812	2,569	1,644	1,175
合計	1,591	2,198	2,636	2,896	3,518	2,176	2,078

(5) 講座開講、ホーム行事、クラブ活動等状況

ア 定期講座

講座名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
みんなの英会話	20	23	271	月

バドミントン	20	25	342	火
エアロビクス	30	27	415	火
ソフトバレーボール	20	17	259	水
たのしい料理	12	19	202	水
リラックスヨガ	20	31	598	水
ズンバ	25	27	637	木
ピラティス	25	18	403	木
ビギナーズテニス	20	19	262	木
レッツコーラス(合唱)	20	25	365	金
金曜エアロビクス	25	17	253	金
フラダンス	20	23	311	土
合 計		271	4,318	

イ 就職出張相談

就職等相談

- ・実施回数 45回
- ・相談者数 8人
- ・述べ相談者数 152人
- ・内 容 日常の悩みや社会生活に関する相談・助言

ウ 交流事業等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)	実 施 場 所
4rdサマーイベント	8月11日(土)	58	栃木勤労青少年ホーム
ホーム利用者発表会	12月9日(日)	118	
冬のイベント	2月2日(土)	89	

エ クラブ活動

ク ラ ブ 名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
バレーボール遊人会	月	52	780
バドミントン	火・日	75	756
スポーツパラダイス	水	49	735
とちぎユースネット	木	51	316
J Cバンド	木	62	925
着付けクラブ	金	52	420
ブレイクダンス	土	46	184
S S O	土	55	795
街角セッション	土	11	165
フラダンスクラブ	土	66	526

ういすてりあ	日	45	1,235
ベリーダンス	不定期	73	552
インド古典舞踊	不定期	291	291
合 計		928	7,680

#### 4 勤労者体育センター利用状況

##### (1) 利用者総数（単位：人）

市内居住者	41,143
市外居住者	9
合 計	41,152

##### (2) 月別利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市内	3,348	3,542	3,560	3,256	2,630	3,374	3,602	3,560	3,461	3,520	3,547	3,743
市外	—	3	1	1	—	—	2	1	—	—	1	—
合計	3,348	3,545	3,561	3,257	2,630	3,374	3,604	3,561	3,461	3,520	3,548	3,743

##### (3) 曜日別利用状況 (単位：人)

曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
利用者数	3,885	6,196	7,962	6,451	4,206	5,647	6,805

##### (4) 種目別利用状況（団体利用のみ） (単位：人)

種 目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓 球	その他
利用者数	5,040	1,352	9,430	13,707	10,864

## 第5章 保健福祉部

### 第1節 社会福祉課

#### 〔総括概要〕

社会福祉課における主な分掌事務は、高齢者福祉を除く法定・任意の福祉計画の策定、栃木市社会福祉協議会に関する事、福祉制度の見直しに関する事、民生委員児童委員に関する事、地域福祉の推進に関する事、日本赤十字社に関する事、災害救助や災害見舞等に関する事、福祉関係団体の育成指導に関する事、発達障がいを含む障がい児（者）の相談及び支援、理解のための普及及び啓発、関係機関との連絡調整に関する事などである。

福祉政策担当では、社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、栃木市社会福祉施策推進委員会を開催し、発達障がい児支援基本計画（案）や栃木市保育所整備基本計画（案）等について審議を行った。

栃木特別支援学校の生徒が、職場体験を通して、働く際に必要な態度、技能、知識を身につけるために行う就業体験学習の受入れを実施した。

社会福祉法人栃木市社会福祉協議会の組織基盤や財政基盤の健全化を図り、市民から信頼される組織運営を推進するため、経営改善への取組を行った。

障がい福祉担当では、身体障害者手帳及び療育手帳の交付をはじめ、障がい者の生活上の困難を軽減するため、各種福祉サービスの提供や特別障がい者手当等の支給を行った。また、障がい者（児）を取り巻く環境の問題や生活・育成上の問題等について相談業務を行うとともに、関係機関と連携し、障がい者（児）に対する助言や指導を行った。障がい者（児）の自立した日常生活や社会生活の支援等を目的とした仕組みである「障害者自立支援法」による福祉サービスの提供においては、障がい者の自己決定権を尊重し、利用者の立場に立って、介護給付等の自立支援給付、移動支援及び日中一時支援等の地域生活支援事業に係る申請受理、障がい程度区分認定調査、障がい程度区分審査会運営及び支給決定を行うなど、適切な対応に努めた。

発達支援担当では、複数の関係機関との連携を必要とする当事者に対し、総合的かつ長期的視野に立った相談支援活動を行った。

複数の関係機関職員が出席する支援協力ケース会議を開催して、関係課の共通理解を図り、支援方針や対応等の決定などを組織的に行うこと等により、当事者の課題に寄り添い、解決に向けた総合的な取組を行った。

特にライフステージが頻繁に変化し、多くの機関の連携による支援が必要な乳幼児期から学齢期の対応に重点を置き、発達支援担当の専門職が、保育園・幼稚園、小中学校への巡回相談を実施し、具体的な支援の方法についての提案を行った。また、作業療法士を配置して、障がい児等に対する作業療法面からの支援を行った。

健康増進課所管の乳幼児健康診査や5歳児発達相談等に職員を派遣し、発達障がいを含む障がい児等を早期に療育の場につなげるなど、子どもの特性に応じた環境

整備を図った。

平成21年度から、ことばの発達の遅れている幼児等にことばの指導等を行うため、未就学児ことばの教室を開始した。

保育園・幼稚園、小中学校等を始めとした、相談の入り口であり直接支援を行う関係者に対し研修を実施し、的確な対応の図れる体制作りのための人材育成に努めた。

## 福祉政策担当

### 1 社会福祉施策推進委員会の開催

社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、平成22年度に設置した栃木市社会福祉施策推進委員会の推進委員任期満了に伴い新たに21人の委員を委嘱した。また、専門的な事項について調査研究及び検討するため、委員会に、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、就労支援の4つの専門部会を置いた。

会議名	実施日	内容
障がい者福祉部会・ 児童福祉部会合同 会議	5月1日(火)	・発達障がい児支援基本計画(案)について ・栃木市保育所整備基本計画(素案)について
委員会	12月13日(木)	・委嘱状交付 ・栃木市保育所整備基本計画(案)について ・地域自立支援協議会について

### 2 法定・任意計画の策定

すべての人がいきいきと地域で生活できる社会づくりを実現しようとする「地域福祉計画」の策定にあたり、地域福祉に関するアンケート調査を行った。

### 3 障がい者就労支援

栃木特別支援学校の生徒に対し、実際の職場における就業体験を通して、卒業後の就労に向けての訓練に協力した。

### 4 身体障がい者福祉関係

#### (1) 障がい者体力増進事業関係

##### ア 体力回復トレーニング

- ・実施日 9月2日(日)
- ・場 所 那須動物王国ほか
- ・参加者 98人

##### イ 第8回栃木県障害者スポーツ大会

- ・実施日 9月30日(日)
- ・主会場 栃木県総合運動公園陸上競技場

- ・出場者 13人、1団体
- ウ 第7回障がい者軽スポーツ大会
  - ・実施日 3月17日(日)
  - ・会場 栃木勤労者体育センター
  - ・参加者 65人

(2) 身体障がい者相談員の活動状況

身体障がい者の自立更生について、13人の相談員が相談指導に当たった。

5 知的障がい者（児）福祉関係

知的障がい者の自立更生について、14人の相談員が相談指導に当たった。

6 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために実施した。

運営状況

(単位：人)

施設名	所在地	月平均通所者数	通所延べ人員
オープンハウスたんぽぽ	小平町6-11	169.2	2,030
さざなみの家	平柳町1-2-7	147.7	1,772

7 民生委員児童委員関係

栃木地域において民生委員児童委員190人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員24人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況

(単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
815	105	16	152	5	206
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
9	99	105	1,378	2,890	15.2

(2) 調査等状況

(単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
6,968	276	4,877	15,577	20,971	48,669	256

## 8 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

### (1) 日赤募金（栃木地域）

目 標 額(円)	実 績 額(円)	達 成 率(%)
9,032,000	7,677,431	85.0

### (2) 災害による救援品配布状況（栃木地域）

区 分	世帯数	人 数	毛 布	布 団	日用品
火 災	4世帯	10人	6枚	8組	5個

### (3) 講習会等

- ・健康生活支援講習 1回
- ・救急法講習 1回
- ・幼児安全法講習 6回

## 9 災害見舞金給付状況

（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	全壊件数	部分損壊	入院	火災死亡
10	-	2	-	-	1	2

## 障がい福祉担当

### 1 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）

（単位：人）

障 が い 区 分	手帳所持者数	交付者数
視 覚 障 が い	323	6
聴 覚 ・ 平 衡 障 が い	679	32
音声・言語・そしゃく障がい	64	9
肢 体 不 自 由 障 が い	2,800	162
内 部 障 が い	1,539	147
複 合 障 が い	241	-
合 計	5,646	356

### 2 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数）

（単位：人）

区 分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	48	33	199	174	454
中度（B1）	39	18	176	129	362
軽度（B2）	33	26	123	59	241
合 計	120	77	498	362	1,057

3 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

ア 件数

(単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	1	2	3	-	-	-
	義足	5	11	16	-	-	-
装具	下肢	42	9	51	5	-	5
	靴型	12	3	15	2	-	2
	体幹	-	-	-	-	-	-
	上肢	1	-	1	-	1	1
座位保持装置		6	8	14	2	2	4
盲人安全つえ		7	-	7	2	-	2
義眼		4	-	4	1	-	1
眼鏡	矯正眼鏡	1	-	1	-	-	-
	遮光眼鏡	3	-	3	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-
補聴器	高度難聴用ポケット型	1	4	5	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	36	23	59	7	3	10
	重度難聴用ポケット型	1	1	2	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	37	37	74	4	12	16
車いす	普通型	12	34	46	4	3	7
	その他	9	6	15	4	1	5
電動車いす		3	1	4	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	-	-
座位保持いす		-	-	-	3	-	3
歩行器		1	3	4	2	-	2
歩行補助つえ		2	-	2	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		1	1	2	-	-	-
特例補装具		-	-	-	1	1	2
合計		185	143	328	37	23	60

イ 費用

(単位：円)

区分	総額	区分	
		公費分	自己負担額分
身体障がい者	20,992,956	20,515,399	477,557
身体障がい児	4,612,351	4,169,975	442,376

※公費分の給付に加え、市単独の事業として自己負担額分についても全額助成を行った。

## (2) 障がい者（児）等の日常生活用具の給付

ア 件数

(単位：件)

区 分	障がい者	障がい児	難病患者	小児慢性特定疾患児
特 殊 寝 台	-	1	-	-
特 殊 マ ッ ト	1	-	-	-
特 殊 尿 器	-	-	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-	-	-
訓 練 い す	-	2	-	-
入 浴 補 助 用 具	4	2	-	-
体 位 変 換 器	-	1	-	-
便 器	-	-	1	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	2	-	-	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	5	2	-	-
頭 部 保 護 帽	-	2	-	-
特 殊 便 器	-	-	-	-
火 災 警 報 器	-	-	-	-
自 動 消 火 器	-	-	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	2	-	-	-
透 析 液 加 温 器	2	-	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	1	-	2
電 気 式 た ん 吸 引 器	4	-	1	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	6	-	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	1	-	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	4	-	-	-
盲 人 用 時 計	1	-	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-	-	-
盲 人 用 体 重 計	2	-	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-	-	-
聴覚障がい者用通信装置	1	-	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	1	-	-	-
人 工 喉 頭	1	-	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-	-	-

情報・通信支援用具	4	-	-	-
点字図書	-	-	-	-
ストマ用器具	2,819	-	-	-
紙おむつ	457	183	-	-
収尿器	2	-	-	-
居宅生活動作補助用具	1	1	-	-
パルスオキシメーター	-	-	-	-
車いす	-	-	-	-
クールベスト	-	-	-	-
紫外線カットクリーム	-	-	-	-
合計	3,320	195	2	2

イ 費用 (単位:円)

区分	総額
障がい者	33,678,607
障がい児	2,258,965
難病患者	61,900
小児慢性特定疾患児	49,403

#### 4 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

(1) 件数 (単位:件)

区分	給付決定件数
音声・言語・そしゃく機能障がい	8
肢体不自由	10
心臓機能障がい	80
腎臓機能障がい	425
肝臓機能障がい	1
免疫機能障がい	16
計	540

(2) 費用 (単位:円)

総額	国県負担金対象分	市単独助成分
169,086,269	167,414,173	1,672,096

## 5 各種手当の状況

### 障がいに関係する手当

種 別		受給者数（人）	支給額（円）
特定疾患介護手当		913	31,905,000
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	118	37,361,040
	障がい児福祉手当	60	9,473,190
	福祉手当(経過的)	5	857,300
重度障がい児支援手当		124	4,116,000
特別児童扶養手当		203	県で支給

## 6 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区 分		実施状況
交付者数		3,916人
	うち障がい者	918人
	高齢者	2,998人
交付枚数		47,574枚
利用枚数		31,584枚
利用率（利用枚数/交付枚数）		66.4%
助成額		15,792,000円

## 7 障がい者福祉関係

### (1) 障害者自立支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

平成18年4月から障害者自立支援法が施行されたことに伴い、障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい者の状況は次のとおりである。

#### ア 障害者自立支援給付費

サービスの種類		支給決定障がい者数 (人)				給付額 (円)	備考
		身体	知的	精神	計		
介護給付費	居宅介護	71	78	49	198	96,421,971	
	行動援護	1	4	-	5	482,942	
	同行援護	25	-	-	25	2,619,456	
	短期入所	51	85	3	139	41,406,837	
	重度訪問介護	1	-	-	1	2,009,742	

	療養介護	19	3	-	22	58,687,570	
	生活介護	118	213	9	340	744,676,533	
	重度障害者等包括支援	3	-	-	3	9,762,360	
	共同生活介護	6	50	13	69	93,686,228	
	施設入所支援	65	119	-	184	232,587,567	
	サービス利用計画作成費	-	-	-	-	26,000	
	身体障害者更生施設(入所)	-	-	-	-	-	
	身体障害者更生施設(通所)	-	-	-	-	-	
	身体障害者療護施設(入所)	-	-	-	-	-	
	身体障害者療護施設(通所)	-	-	-	-	-	
	身体障害者授産施設(入所)	-	-	-	-	-	
	身体障害者授産施設(通所)	-	-	-	-	-	
	知的障害者更生施設(入所)	-	-	-	-	3,546,950	
	知的障害者更生施設(通所)	-	-	-	-	-	
	知的障害者授産施設(入所)	-	-	-	-	1,373,580	
	知的障害者授産施設(通所)	-	-	-	-	3,350,110	
	知的障害者通勤寮	-	-	-	-	315,580	
	特定障害者特別給付費	-	-	-	-	40,145,414	
	計	360	552	74	986	1,331,098,840	
訓練等給付費	共同生活援助	-	28	12	40	22,114,111	
	自立訓練	3	22	3	28	38,643,246	
	就労移行支援	3	29	7	39	69,938,348	
	就労継続支援	30	161	92	283	316,056,048	
	計	36	240	114	390	446,751,753	
	相談支援給付費	40	125	33	198	2,714,209	
	合計	436	917	221	1,574	1,780,564,802	

イ 地域生活支援事業

サービスの種類	利用決定障がい者数(人)				支出額 (円)
	身体	知的	精神	計	
成年後見制度利用支援事業	-	1	-	1	280,000
コミュニケーション支援事業	25	-	-	25	773,240
移動支援事業	99	114	41	254	17,082,625
訪問入浴サービス事業	3	-	-	3	2,525,000
更生訓練費及び就職支度金給付事業	5	4	-	9	271,630

日中一時支援事業	38	103	54	195	79,192,050
自動車改造費助成事業	3	-	-	3	300,000
自動車運転免許取得助成事業	-	-	-	-	-
計	173	222	95	490	100,424,545

(2) 障がい程度区分審査会実施状況

障害者自立支援法に定める、介護給付費の支給に関する障がい程度区分の審査・判定及び市の障がい福祉サービス支給要否決定に当たって審査会委員が意見を述べることを目的として設置された審査会で24回開催された。実施状況は次のとおりである。

障がい程度区分	身体		知的		精神		身体・知的		身体・精神		知的・精神		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1	3	3.3	6	4.1	3	6.8	-	-	-	-	1	14.3	13	3.8
2	10	10.9	30	20.3	27	61.4	2	4.1	-	-	1	14.3	70	20.4
3	14	15.2	29	19.6	9	20.5	2	4.1	-	-	3	42.9	57	16.6
4	12	13.0	25	16.9	3	6.8	4	8.2	2	66.7	2	28.6	48	14.0
5	15	16.3	25	16.9	-	-	6	12.2	-	-	-	-	46	13.4
6	38	41.3	33	22.3	2	4.5	35	71.4	1	33.3	-	-	109	31.8
計	92	100.0	148	100.0	44	100.0	49	100.0	3	100.0	7	100.0	343	100.0
平均区分	4.52		3.89		2.45		5.43		4.67		2.86		4.08	

8 障がい児福祉関係

(1) 児童福祉法に基づく障害児通所支援の利用状況

平成24年4月の児童福祉法の改正に伴い、障害児通所支援給付費により障害児通所支援を利用した障がい児の状況は次のとおりである。

ア 障害児通所給付費

サービスの種類	利用決定障がい児数(人)	支出額(円)	備考
障害児相談支援	31	517,000	
児童発達支援	120	39,487,629	
放課後等デイサービス	111	54,942,794	
計	262	94,947,423	

(2) 障害者自立支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

平成18年4月から障害者自立支援法が施行されたことに伴い、障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい児の状況は次のとおりである。

ア 障害者自立支援給付費

サービスの種類		支給決定障がい児数(人)	給付額(円)	備考
介護給付費	居宅介護	5	2,819,658	
	行動援護	1	-	
	デイサービス	-	5,378,200	
	短期入所	33	6,420,704	
	計	39	14,618,562	

イ 地域生活支援事業

サービスの種類	利用決定障がい児数(人)	支出額(円)	備考
コミュニケーション支援事業	-	-	
移動支援事業	2	55,605	
訪問入浴サービス事業	1	978,750	
日中一時支援事業	113	25,851,996	
計	116	26,886,351	

9 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区分	交付者数(人)	比率(%)
1 級	100	18.1
2 級	348	63.2
3 級	103	18.7
合計	551	100.0

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、1,303人が受給した。

発達支援担当

1 支援協力ケース会議

支援協力ケース会議は隔週火曜日に開催した。

	平成 23 年度	平成 24 年度
開催数(回)	19	14
ケース数(件)	78	59

2 発達支援担当相談支援等業務状況

関係機関との横断的な連携を図り、乳幼児期・学齢期・青年期とそれぞれのライフステージに合わせた支援を継続的に実施した。心理関係の専門職及び言語聴覚士を配置し、

保育園・幼稚園、小中学校への巡回相談を行い、対応に配慮が必要なお子さんに対して具体的な支援の方法について提案することで、園や学校生活の安定を図った。

また、作業療法士を配置して作業療法面からの支援を行った。

機関別巡回相談実績

(単位:回)

	平成 23 年度	平成 24 年度
幼稚園・保育園（民間）	91	52
市立保育園	52	47
小学校	332	234
中学校	34	49
適応指導教室	-	15
合計	509	397

### 3 健康診査等職員派遣状況

健康増進課所管の5歳児発達相談、乳幼児発達相談等に発達支援担当の職員(心理職、言語聴覚士等)を派遣し、発達障がいを含む障がい児等を早期に療育の場につなげる等、子どもの特性に応じた環境整備を図った。

#### (1) 5歳児発達相談実施状況（面接、行動観察）

- ・派遣回数 36回
- ・観察人数 182人
- ・心理職等派遣延べ人数 68人

#### (2) 乳幼児発達相談実施状況（保護者面接、受診者のアセスメント）

- ・派遣回数 20回
- ・対象延べ人数 103人
- ・心理職等派遣延べ人数 74人

### 4 啓発活動及び研修状況

保育園・幼稚園、小中学校を始めとした関係機関等に対し発達障がいの基本的な理解や支援に対する研修を実施した。

支援協力者研修は、障がいや虐待等何らかの支援ニーズを抱える児童や家庭に対して、関係課が協力して支援を行うために、支援者の資質向上を図ることを目的に研修を実施した。

また、地域福祉について市民の理解を促進し、お互いを理解する心を育てる観点から障がい児者アートセミナーを開催した。

#### (1) 啓発活動（講演会等）参加

実施日	演題等	主催
6月5日(火)	小中学校学校支援員研修会 「特別な支援を要する児童生徒の理解と支援について」	学校教育課

6月13日(水)	栃木市ことばを育てる会 講演会 「子どもたちの今とこれから」	栃木市ことばを育てる会
6月13日(水) 7月4日(水) 10月10日(水) 11月7日(水) 2月13日(水)	ゆっくり学習会 「特別な教育的支援を必要とする児童生徒の理解」 ①栃木市の支援体制②支援事例の紹介	学校教育課
7月25日(水) 8月1日(水) 8月2日(木) 〃 8月3日(金) 〃 8月9日(木) 8月30日(木) 10月31日(水)	校内研修 特別支援教育研修会 「発達障がいの理解と支援」	栃木第三小学校 赤津小学校 栃木第五小学校 家中小学校 栃木第四小学校 大宮南小学校 国府南小学校 合戦場小学校 藤岡小学校
8月1日(水)	特別支援学校地域センター的機能充実事業研修会 「発達障がいの理解と支援 様々な情報を生かした教育的支援とは」	栃木県立栃木特別支援学校
8月7日(火)	問題行動等未然防止プログラム事業 児童・生徒指導研修会 「発達障がいの理解と支援」	下都賀教育事務所 壬生町立壬生東小学校
9月6日(木)	園内研修会	大平西保育園
10月15日(月) 11月16日(金) 12月5日(水)	栃木市家庭教育学級 「大人になること ～反抗期・不登校・非行の理解～」 「ペアレントトレーニングを活かした子育て」	生涯学習課
10月18日(木)	下都賀地区特別支援教育振興大会 「子どもたちの今とこれから」	下都賀地区特別支援教育 研究協議会
11月22日(木)	思春期講座 「思春期の子どもの理解とかかわり方」 ～思春期を乗り越えて自分らしさを 獲得させるために～	小山市立間々田中学校
2月7日(木)	いきいき元気教室 「孫育て」について ～孫と上手に関わるためのノウハウを学ぼう～	国府地域包括支援センター

5月23日(水) 7月17日(火) 9月20日(木) 12月21日(金) 2月1日(金)	すくすく教室(子育て支援教室) 「子育てアドバイス」	健康増進課
6月23日(土) 10月6日(土) 2月16日(土)	両親教室講話 「家族のふれあいの大切さ」	大平・藤岡総合支所 健康福祉課

(2) 発達障がい研修会

実施日	演題等	参加人数(人)	講師
9月7日(金) 9月20日(木) 10月3日(水) 10月24日(水) 11月28日(水) 12月6日(木) 12月20日(木) 1月17日(木)	市民研修 ペアレントトレーニング (全8回)	延べ141	明星大学 人文学部心理学科 准教授 竹内 康二氏

(3) 支援協力者研修

実施日	演題等	講師
5月15日(火)	特別支援教育のいま	宇都宮市教育センター所長 上澤 久子氏
6月12日(火)	セラピーの実際 ～音楽療法や乗馬を通してのアプローチ～	こども課 家庭相談員 関根雅子氏・吉澤栄里子氏
9月11日(火)	児童相談所と市の連携について ～児相から市に求める役割～	栃木県南児童相談所所長補佐 君島 健一氏
10月2日(火)	被災地の子どもたちのいま 現状とこれからの支援	遠藤 則靖氏
12月18日(火)	心に悩みをもつ人々への対応について	社会福祉課 トータルサポート専門員 寺山 寿氏
1月15日(火)	障がいを持つ子どもたちの社会参加 に向けて	栃木県立栃木特別支援学校 A部門高等部進路指導部長 渡邊 哲郎氏
2月19日(火)	医療との連携に基づく児童支援の 現状と課題	自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 星野 美幸氏

(4) 検討会議

実施日	会議名	内容
8月28日(火)	支援事業課題検討会議	○児童虐待防止の啓発活動と早期発見のための相談、通告をよりスムーズにしてもらうための方策について ○児童・生徒支援チームによる学校巡回事業について
11月6日(火)	発達障害者等支援都市システム事業評価・検討会議	○栃木市における発達障害者支援体制についての評価・意見交換ほか
2月5日(火)		○平成24年度発達障害者支援都市システム事業について

(5) 障がい児者アートセミナー

- ・実施日 10月14日(日) 午後1時30分～午後3時30分
- ・会場 栃木文化会館小ホール
- ・来場者 138人
- ・実施内容 第一部：増田太郎氏による講演ライブ「心の握手」  
第二部：栃木特別支援学校生徒とのコラボレーション  
「世界に一つだけの花」・「毎日が歌ってる」

5 未就学児ことばの教室

栃木市に住所を有する、就学前でことばやコミュニケーションに課題のある幼児等を対象に、ことばの指導を行い社会への適応能力の育成を図った。

	実人数(人)	延べ回数(回)	実施場所
栃木教室	50	840	栃木保健福祉センター
大平教室	31	675	大平健康福祉センター、大平隣保館、大平地域福祉センター
藤岡教室	25	422	藤岡公民館
都賀教室	9	117	都賀保健センター
計	115	2,054	

※西方は、人数が少ないため都賀教室にて行っています。

6 いろどり教室（放課後等巡回指導教室）

集団生活で課題を持つ幼児・児童・生徒を対象に、社会性の獲得を目指したプログラムを実施して集団への適応力を育むとともに、その経過を保護者、支援者と共有することで子どもの特徴に合わせた支援方法についての理解と啓発を図り、その後の継続的支援を行った。

参加者数 (単位:人)

	平成23年度	平成24年度
未就学児	2	4
学齢児	15	65

## 第2節 生活福祉課

### 〔総括概要〕

昨今の世界的な経済不況や大震災等の影響で、経済・雇用環境が悪化するとともに、急速な高齢化の進展や核家族化の進行により、生活保護受給者が急増している状況の中、生活保護法、実施要領等関係法令を順守し生活困窮者に対して公平かつ適切な保護を心がけ、最低生活の保障と自立助長を図るとともに生活保護業務の組織的管理を推進し、生活保護の適正実施に努めた。

### 生活福祉担当

#### 1 生活保護及び支援給付関係

##### (1) 被保護世帯数

###### ア 地区別状況

区 分	総 数	栃 木	大 平	藤 岡	都 賀	西 方
世 帯 数	962	651	152	79	58	22
比 率 %	100	67.7	15.8	8.2	6.0	2.3

###### イ 世帯類型別状況

区 分	総 数	高 齢 者	障 が い 者	傷 病 者	母 子	そ の 他
世 帯 数	962	453	85	243	33	148
比 率 %	100	47.1	8.8	25.3	3.4	15.4

###### ウ 労働力類型別状況

区 分	総 数	世 帯 主 常用勤労者	世 帯 主 日雇労働者	世 帯 主 内 職 者	そ の 他 の 就 労 者	世 帯 員 が 稼 働	稼 働 者 な し
世 帯 数	962	15	52	6	6	24	859
比 率 %	100	1.6	5.4	0.6	0.6	2.5	89.3

##### (2) 生活保護新規相談及び開始・廃止ケースの状況

	新 規 ケ ー ス の 処 理 状 況					
	相 談 件 数	申 請 件 数	開 始 数	取 下 数	却 下 数	廃 止 件 数
4 月	57	15	15	—	—	9
5 月	79	14	12	—	—	11
6 月	71	21	15	2	2	5
7 月	61	15	16	1	1	11
8 月	40	7	8	—	—	6
9 月	40	10	7	1	1	7

10月	70	10	6	—	1	11
11月	61	15	12	1	1	7
12月	40	14	13	1	1	11
1月	68	17	15	—	—	8
2月	56	16	12	1	1	8
3月	40	12	16	1	—	4
合計	683	166	147	8	8	98
月平均	57	14	12	1	1	8

(3) 保護施設入所者状況

生活保護法による保護施設の入所状況は次のとおりである。

- ・施設名 共生の杜（救護施設）
- ・入所者数 72人（年間延べ）

(4) 生活保護費等の支出状況

- ・支出状況 【別表1】生活保護費等の支出状況

(5) 中国残留邦人支援給付費の支出状況

- ・支出状況 【別表2】中国残留邦人支援給付費の支出状況

2 行旅死病人等取扱状況

取扱件数及び扶助費の支出額は次のとおりである。

区分	件数(人)	支出額(円)
行旅死亡人	1	126,016
行旅病人	—	—
行旅人	39	17,560
合計	40	143,576

【別表1】生活保護費等の支出状況

(単位：円)

月 別	被 保 護		生 活 扶 助 費	住 宅 扶 助 費	教 育 扶 助 費	介 護 扶 助 費	医 療 扶 助 費	出 産 扶 助 費	生 業 扶 助 費	葬 祭 扶 助 費	保 護 施 設 事 務 費	合 計
	世帯数	人 員										
4 月	923	1,263	48,922,790	18,410,215	787,255	4,536,306	75,249,742	-	757,554	-	819,903	149,483,765
5 月	927	1,256	49,487,441	18,371,988	731,080	4,704,202	72,358,205	-	536,916	324,980	627,183	147,141,995
6 月	931	1,257	48,044,827	18,904,671	1,244,540	4,296,720	68,978,297	-	336,280	388,400	413,526	142,607,261
7 月	942	1,274	48,788,147	18,722,643	712,100	5,034,374	84,960,281	-	352,660	361,130	649,420	159,580,755
8 月	939	1,271	49,404,052	18,782,103	524,520	4,516,457	85,767,379	-	276,380	207,400	627,833	160,106,124
9 月	940	1,269	50,270,360	19,500,151	764,070	4,700,169	81,475,703	-	276,230	340,000	627,833	157,954,516
10 月	939	1,266	49,760,647	19,288,109	769,080	4,698,277	86,141,829	293,000	296,550	416,650	627,833	162,291,975
11 月	940	1,266	54,580,647	19,168,191	754,640	4,342,446	99,329,306	-	296,550	346,619	627,833	179,446,232
12 月	946	1,279	69,056,418	20,402,023	799,150	5,086,175	83,611,144	-	300,400	135,215	693,374	180,083,899
1 月	950	1,280	54,781,032	19,574,024	754,640	5,007,393	85,191,073	-	288,390	644,688	2,024,234	168,265,474
2 月	954	1,288	54,598,487	19,517,945	741,595	5,296,539	71,337,686	-	296,400	160,286	737,474	152,686,412
3 月	962	1,295	56,401,445	20,343,527	808,560	6,499,390	84,409,186	-	276,230	888,138	931,634	170,558,110
合 計	11,293	15,264	634,096,293	230,985,590	9,391,230	58,718,448	978,809,831	293,000	4,290,540	4,213,506	9,408,080	1,930,206,518
月 平均	941	1,272	52,841,358	19,248,799	782,603	4,893,204	81,567,486	24,417	357,545	351,126	784,007	160,850,543
扶助別構成比			32.8%	12.0%	0.5%	3.0%	50.7%	0.1%	0.2%	0.2%	0.5%	100.0%

※ 保護率 9.04‰  
前年度比保護費 7.5%増  
前年比保護世帯数 4.2%増  
前年比保護人員 1.9%増

【別表2】中国残留邦人支援給付費の支出状況

(単位：円)

月 別	支 援 給 付		生 活	住 宅	医 療	介 護	出 産	生 業	葬 祭	合 計
	世帯数	人 員	支 援 給 付 費	支 援 給 付 費	支 援 給 付 費	支 援 給 付 費	支 援 給 付 費	支 援 給 付 費	支 援 給 付 費	
4 月	1	1	59,211	22,300	41,950	-	-	-	-	123,461
5 月	1	1	59,211	22,300	74,660	-	-	-	-	156,171
6 月	1	1	59,211	22,300	47,230	-	-	-	-	128,741
7 月	1	1	10,231	22,300	449,710	-	-	-	-	482,241
8 月	1	1	80,678	22,300	759,500	-	-	-	-	862,478
9 月	1	1	49,222	22,300	204,720	-	-	-	-	276,242
10 月	1	1	50,542	22,300	27,070	-	-	-	-	99,912
11 月	1	1	64,562	22,300	106,240	1,620	-	-	-	194,722
12 月	1	1	76,192	22,300	47,430	3,984	-	-	-	149,906
1 月	1	1	64,562	22,300	42,260	6,930	-	-	-	136,052
2 月	1	1	64,262	22,300	104,340	4,761	-	-	-	195,663
3 月	1	1	64,462	22,300	70,230	-	-	-	-	156,992
合 計	12	12	702,346	267,600	1,975,340	17,295	-	-	-	2,962,581
月 平 均	1	1	58,529	22,300	164,612	1,441	-	-	-	246,882
支援給付別構成比			23.7%	9.0%	66.7%	0.6%	-	-	-	100.0%

### 第3節 こども課

#### 〔総括概要〕

こども担当では、昼間仕事をしている保護者が、子どもを保育園へ預けるための入園手続きの受理や子育てに関する相談業務を行った。

学童保育事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。

幼稚園就園奨励費補助事業では、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金を交付した。

ファミリー・サポート・センターでは、仕事と育児の両立を図り、安心して働ける環境づくりを進めるため、地域における子育て支援機能の強化に努めた。

地域子育て支援センターでは、子育て家庭への育児支援を図るため、子育てに関する情報提供や育児不安等に関する相談支援を行った。また、保護者間の交流を図るとともに、親子・子ども同士が楽しく触れ合うことのできる事業を企画実施した。

児童館では、地域における子育て支援の拠点として、児童の健全育成を図るため、地域社会と連携しながら、子どもたちに健全な遊びや情報の提供を行った。

児童に関する手当等については、児童手当・児童扶養手当・遺児手当の支給を行うとともに、市単独事業として、第2子以降の児童の出生に対し、赤ちゃん誕生祝金の支給を行った。

保育園では、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、延長保育事業、一時預かり事業、特別支援保育事業、休日保育事業等の特別保育を実施し、児童の福祉の向上を図った。

家庭児童相談室では、児童の家族関係の健全化や児童養育の適正化に努めた。

ひとり親家庭の福祉については、相談業務等を通してひとり親家庭の抱えている問題を把握し、関係機関と連携し問題解決に努めたほか、経済的支援として母子寡婦福祉資金貸付の申請の受付等を行った。

要保護女子等については、「売春防止法」、「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律」に基づき、被害女性の保護及び自立支援を行った。

こども担当

1 学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を十分に受けることができない児童を対象とし、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として実施した。（栃木地域7小学校区内・10学童保育）

学童保育利用者数

（単位：人）

学年 学童保育名	1 学年			2 学年			3 学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
なかよし(栃木中央小)	14	9	23	8	8	16	7	10	17	29	27	56
ひまわり(栃木第三小)	5	4	9	8	5	13	3	16	19	16	25	41
しろのうち(栃木第四小)	4	3	7	2	3	5	5	2	7	11	8	19
杉の木(栃木第五小)	4	8	12	6	10	16	5	5	10	15	23	38
のびっこ(南小)	7	4	11	3	10	13	4	5	9	14	19	33
宮の子第1(大宮北小)	8	5	13	7	2	9	4	6	10	19	13	32
宮の子第2(大宮北小)	4	4	8	3	4	7	7	6	13	14	14	28
宮の子第3(大宮北小)	4	6	10	3	6	9	8	7	15	15	19	34
宮の子第4(大宮北小)	5	8	13	7	3	10	5	4	9	17	15	32
いとひば(吹上小)	7	4	11	6	10	16	9	9	18	22	23	45
計	62	55	117	53	61	114	57	70	127	172	186	358

2 地域組織活動（母親クラブ）への支援

保護者等が組織し、児童館等を拠点に、世代間交流や児童養護に関する研修活動、児童の事故防止活動等を自主的に実施する母親クラブに対し、活動の支援・指導を行った。

組 織 名	活 動 場 所	会 員 数 (人)
栃木市チャレンジ母親クラブ	いまいずみ児童館	33
栃木市母親クラブゆるく	大宮公民館	35

3 幼稚園就園奨励費補助金交付事業（本庁交付分）

私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金を交付した。

(1) 国庫補助事業交付額

- ・ 交付園 26 園
- ・ 交付対象人数 924 人
- ・ 交付額 98,486,000 円

(2) 県補助事業交付額

- ・ 交付園 7 園
  - ・ 交付対象人数 22 人
  - ・ 交付額 2,471,800 円
- (3) 市単独補助事業幼稚園第三子以降支援特別補助金交付額
- ・ 交付園 10 園
  - ・ 交付対象人数 122 人
  - ・ 交付額 20,444,200 円
- (4) 市単独補助事業幼稚園就園奨励費国庫非該当世帯特別補助金交付額
- ・ 交付園 14 園
  - ・ 交付対象人数 162 人
  - ・ 交付額 972,000 円

4 幼稚園教育助成補助事業

市内の私立幼稚園に対し、幼児教育振興のために補助金を交付した。

- ・ 交付対象 14園
- ・ 交付額 300,000円×14園＝4,200,000円

5 幼稚園子育て支援事業費補助事業

市内の私立幼稚園に対し、子育て支援事業拡充のために補助金を交付した。

- ・ 交付対象 14園
- ・ 交付額 500,000円×14園＝7,000,000円

6 幼稚園障がい児教育補助事業

私立幼稚園における障がい児教育の充実を図るため、障がい児が1人のみ就園する市内の幼稚園に対し補助金を交付した。

- ・ 交付対象 6園
- ・ 交付額 392,000円×6園＝2,352,000円

7 幼保小連絡協議会交付金交付事業

幼稚園、保育園、小学校間の情報交換や授業交流等を推進し、園児や児童の実態や教育、保育内容等についての相互理解を深め、また教職員の資質向上を図り、連携を強化することを目的とする協議会の活動に対し、交付金を交付した。

- ・ 交付額 20,000円

8 ファミリー・サポート・センター事業

- (1) 会員数の内訳 (単位：人)

会員種別	会員数
育児依頼会員	657

育児提供会員	152
依頼・提供両会員	120
計	929

(2) 活動状況

(単位：件)

援助活動内容	活動件数
保育所・幼稚園への登園前の預かり及び送り	699
保育所・幼稚園への迎え及び帰宅後の預かり	1,032
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	-
学童保育前の預かり及び送り	64
学童の放課後の預かり	-
登校前の預かり及び送り	-
学童保育への迎え及び帰宅後の預かり	477
学童保育からの帰宅後の預かり	-
子どもの病気時の援助	28
子どもの習い事等の場合の援助	414
保育所・学校等休み時の援助	126
保育所等施設入所前の援助	-
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	111
保護者等の求職活動中の援助	-
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	-
保護者等の外出の場合の援助	23
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	-
他の子どもの用事の場合の援助	11
その他	26
合計	3,011

9 地域子育て支援センター

(1) 利用者数推移

(単位：人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
平成22年度	1,580	2,037	2,370	1,090	186	53	54	6,439	13,809
平成23年度	1,210	2,649	1,974	984	193	81	38	6,555	13,684
平成24年度	1,613	2,398	2,584	916	271	124	55	7,284	15,245

(2) 活動状況

ア 日常活動

- ・参加者 延べ10,093人
- ・活動内容 子育て情報提供、子育て情報交換、子育て相談

(イ) えほんタイム

- ・実施時間 午前 11 時～11 時 20 分、午後 4 時～4 時 20 分
- ・内 容 歌、絵本、パネルシアター、紙芝居、わらべ歌、手遊び、体操等

(イ) 園庭開放

- ・実施曜日 毎週月・水・金曜日
- ・実施時間 午前 11 時 20 分～正午

イ 定例活動

- ・実施回数 計 64 回
- ・参加者 延べ 3,131 人
- ・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、わらべうた、パネルシアター、紙芝居、絵本読み聞かせ、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施
- ・実施日時

区 分	実施日	開催時間
なかよしタイム	毎週水曜日	午前 10 時～11 時
プチなかよしタイム	月 1 回火曜日	午前 10 時～11 時
ほんわかタイム	月 1 回火曜日	午前 10 時～11 時

ウ 特別活動

(単位：人)

No	活 動 名	参加人数
1	絵本講座 (2 回)	119
2	ベビーマッサージ (2 回)	200
3	親子ピラティス	49
4	人形劇	50
5	語りの会	74
6	コンサート (3 回)	282
7	運動会	107
8	クリスマス会	156
9	おたのしみ会	126
10	避難消火訓練 (2 回)	59
11	こいのぼり製作	68
12	七夕飾り製作	144
13	プールあそび	260
14	クリスマスリース製作	94
15	鬼のお面製作	87
16	お雛さま製作	75
17	ファミ・サポ講習会 (3 回)	104

18	「つがの里であそぼう」(合同)	48
19	「わらべうた教室」(合同)	40
合 計		2,142

エ 子育て相談

(単位:件)

相 談 内 容	相 談 件 数	相 談 方 法		
		来 所	電 話	
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	106	105	1
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	31	31	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い ほか	37	37	0
健康に関すること	ほふく、歩行身体の発達、健康 ほか	60	60	0
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	32	32	0
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	44	44	0
そ の 他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境祖父母との関わり ほか	226	224	2
合 計		536	533	3

10 児童館

児童の健康を増進し、情操を豊かに育むことを目的とし、児童に対し遊びを通じた指導や情報提供、相談支援等を行うとともに、地域組織や地域住民と連携を図りながら、各種事業を実施した。

(1) はこのもり児童センター

ア 利用状況

利 用 者 数	21,061 人
内 訳	
幼 児	552 人
小学校 1~3 年	10,336 人
小学校 4~6 年	3,720 人
中 学 生	3,088 人
高 校 生	1,995 人
大 人	1,370 人
開 館 日 数	295 日
1 日 平 均 利 用 人 数	71 人
学 童 保 育	7,768 人

イ 事業実施状況

(単位:人)

事 業 名	参加人数	事 業 名	参加人数
工作教室 (8 回)	406	七夕飾り	27

エコ工作（4回）	214	夏祭り	71
科学遊び（3回）	295	伝承遊び（お正月遊び）	61
ハッピーハロウィーン （世代間交流）	63	パントマイムショー＆ パントマイム体験教室	38
ひなまつりクッキング （世代間交流）	20	栃木県おりがみ作品展 作品作り	34
料理教室	15		
電気教室	17	合 計	1,261

(2) いまいずみ児童館

ア 利用状況

利 用 者 数	12,503 人
内 訳	
幼 児	4,792 人
小学校 1～3 年	1,190 人
小学校 4～6 年	1,463 人
中 学 生 以 上	269 人
大 人	4,036 人
団 体	753 人
開 館 日 数	295 日
1 日 平 均 利 用 人 数	42 人

イ 事業実施状況

(単位:人)

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ママといっしょ（36回）	1,541	やさい作り	23
スマイル・スマイル（8回）	397	児童館まつり	258
にこにこたいむ（8回）	314	観劇会	93
わくわくたいむ（8回）	148	バスツアー	22
リトミックワールド（4回）	165	冬休みスポーツ大会	6
こいのぼり作り（6回）	83	豆まき会	61
七夕・夏祭り	148	ひな人形作り（6回）	91
夏休み工作タイム	26	交流会カラオケ大会 「みんなの発表会」	28
紙芝居読み聞かせ	7	栃木県警察音楽隊がやってくる！	34
		合 計	3,445

## (3) そのべ児童館

## ア 利用状況

利 用 者 数	13,412 人	
内 訳	幼 児	5,152 人
	小学校 1～3 年	1,613 人
	小学校 4～6 年	1,595 人
	中 学 生 以 上	452 人
	大 人	4,600 人
開 館 日 数	295 日	
1 日 平 均 利 用 人 数	45 人	

## イ 事業実施状況

(単位：人)

事業名	参加人数	事業名	参加人数
0歳親子ピクス(5回)	230	キッズクッキング	8
親子ピクス(6回)	214	敬老の日のプレゼント作り	33
ぶちぶちひろば(11回)	421	ハッピーハロウィン	48
のびのびひろば(11回)	505	観劇会	105
幼児教室(17回)	726	糸でフワフワジュジュ作り	11
べたべた記念日(12回)	1,310	新春福引き	79
いちご狩り	26	西部生きがいセンター祭り	152
七夕飾り作り	25	ブーブーカーズ作り	29
夏まつり	202		
水あそび(3回)	128	合 計	4,252

## 11 児童に関する手当

種 別	受給者数(人)	新規認定件数(件)
児 童 手 当	10,762	877
児童扶養手当(うち父子家庭)	1,094(62)	143(9)
遺 児 手 当	54	3

## 12 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に資することを目的に、18歳未満の児童を養育し、第2子以降のお子さんが誕生した保護者に祝金を支給した。

・支給額 6,780,000円

・支給状況

区 分	祝金の額(円)	支給件数(件)
第2子	10,000	380
第3子以降	20,000	149

13 赤ちゃんの駅登録事業

子育て家族が安心して外出できる環境づくりを進めることを目的に、平成23年8月、赤ちゃんの駅登録事業を開始した。

おむつ替えや授乳のため自由に利用することのできる施設を、赤ちゃんの駅として登録し、市民への周知を図った。

- ・赤ちゃんの駅登録数 63か所（公共施設48か所・民間施設15か所）

14 子育て応援企業登録事業

従業員の仕事と子育ての両立支援や、地域における子育て支援に取り組む（取り組もうとする）企業を、子育て応援企業として登録し、市民への周知を行った。

- ・子育て応援企業登録数 36企業

15 保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言等を行った。

(1) 保育所入所状況

ア 児童定員・異動状況

(単位:人)

区分	保育園名	定員	24年4月1日 入所児童数	途中入所 児童数	退所児童数	25年3月1日 入所児童数
公立	いまいずみ保育園	100	118	2	4	116
	いりふね保育園	45	44	5	2	47
	おおつか保育園	60	65	4	2	67
	はこのもり保育園	130	141	9	1	149
	そのべ保育園	60	54	9	2	61
	ぬまわだ保育園	60	56	12	7	61
私立等	さくら保育園	235	266	20	2	284
	さくら第2保育園	40	41	7	1	47
	ひがしのもり保育園	60	67	7	1	73
	けやき保育園	150	161	10	3	168
	市外委託保育園	—	29	20	8	41
計		940	1,042	105	33	1,114

イ 階層別児童数（3月1日現在）

(単位:人)

区分	保育園名	1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	6 階層	7 階層	8 階層	9 階層	計
	いまいずみ保育園	1	13	16	28	19	14	11	16	2	120

公立	いりふね保育園	-	9	7	11	6	7	3	6	-	49
	おおつか保育園	-	17	8	7	8	11	8	10	-	69
	はこのもり保育園	-	14	7	26	24	21	22	32	4	150
	そのべ保育園	-	14	11	27	2	3	4	2	-	63
	ぬまわだ保育園	-	14	13	24	8	1	2	4	2	68
私立等	さくら保育園	1	20	20	57	52	42	40	41	13	286
	さくら第2保育園	-	3	2	9	12	7	4	7	3	47
	ひがしのもり保育園	-	8	6	14	6	10	12	17	1	74
	けやき保育園	-	23	20	43	24	28	13	16	4	171
	市外委託保育園	-	8	8	2	6	4	3	13	4	48
合計		2	143	118	248	167	148	122	164	33	1145

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

※他市町からの受託者については、市は運営委託費を受託者居住市町へ請求しており  
保護者からの保育料が発生しないため含まない。

ウ 年齢別児童数（3月1日現在）

（単位：人）

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	いまいずみ保育園	7	18	21	24	46	116
	いりふね保育園	4	5	6	12	20	47
	おおつか保育園	6	8	14	14	25	67
	はこのもり保育園	10	24	27	30	58	149
	そのべ保育園	3	4	13	14	27	61
	ぬまわだ保育園	5	7	9	13	27	61
私立等	さくら保育園	14	28	37	84	121	284
	さくら第2保育園	9	20	18	-	-	47
	ひがしのもり保育園	7	9	15	10	32	73
	けやき保育園	17	27	28	34	62	168
	市外委託保育園	7	8	9	3	14	41
合計		89	158	197	238	432	1,114

(2) 施設運営全般

施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要空間としての環境と設備の有効利用
- ・ 保育内容の充実と技術の向上
- ・ 安全対策と保護者との対応
- ・ 地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区 分	回 数	実 施 月	結 果 と 措 置
健康診断	2	5月・10月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	6月・10月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区 分	回 数	実 施 月	結 果 と 措 置
寄生虫卵	2	5月・10月	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	5月・10月	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(7) 観 察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応。

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置。

(ウ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応。

・発生件数           なし

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・心身ともに健康な子ども
- ・自分で考え行動する子ども
- ・喜んで話したり聞いたりする子ども
- ・人とのかかわりの中で相手を思いやる子ども
- ・豊かな感性を持つ子ども
- ・地域の中で育つ子ども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年齢別に年間計画、月案、週案、日案の計画を立てた。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4月		入園式
5月	こどもの日、母の日	園外保育
6月	歯の衛生週間、父の日、時の記念日	保育参観
7月	七夕祭り	納涼祭、プール開き
8月	お盆	プール大会(閉い)
9月	防災の日、敬老の日、秋分の日	お月見会
10月	体育の日	運動会、老人スポーツ大会
11月	文化の日、勤労感謝の日	遠足
12月	師走	保育参観

1月	お正月	正月集会
2月	節分	
3月	ひなまつり	お別れ遠足、お別れ会、卒園式

※その他、毎月誕生児の誕生会を催した。

エ 特別支援保育の状況

・特別支援保育対象児童数 (単位：人)

保育園名	人数(人)	保育園名	人数(人)
いまいずみ保育園	2	はこのもり保育園	5
いりふね保育園	2	そのべ保育園	3
おおつか保育園	1	ぬまわだ保育園	2
		計	15

・保育方法 混合保育で実施

オ 延長保育の状況

保育園名	延べ利用人数(人)	保育時間
いまいずみ保育園	1,022	午前7時～午後7時
はこのもり保育園	1,179	午前7時～午後7時
さくら保育園	6,348	午前7時～午後7時
さくら第2保育園	1,050	午前7時～午後7時
ひがしのもり保育園	784	午前7時～午後7時
けやき保育園	1,405	午前7時～午後7時
計	11,788	

カ 一時預かりの状況 (単位：人)

実施保育園名	延べ利用者数
はこのもり保育園	294
さくら第2保育園	482
ひがしのもり保育園	854
けやき保育園	153
計	1,783

キ 休日保育の状況 (単位：人)

実施保育園名	延べ利用者数
さくら保育園	67

ク 病後児保育事業 (単位：人)

実施保育園名	延べ利用者数
さくら保育園	72

ケ 低年齢児保育（0、1、2歳児）（平成25年3月1日現在）（単位：人）

区分	保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	計
公立	いまいずみ保育園	7	18	21	46
	いりふね保育園	4	5	6	15
	おおつか保育園	6	8	14	28
	はこのもり保育園	10	24	27	61
	そのべ保育園	3	4	13	20
	ぬまわだ保育園	5	7	9	21
私立等	さくら保育園	14	28	37	79
	さくら第2保育園	9	20	18	47
	ひがしのもり保育園	7	9	15	31
	けやき保育園	17	27	28	72
	市外委託保育園	7	8	9	24
計		89	158	197	444

コ 保護者との連携

- ・保育参観
- ・送迎時の連絡
- ・子育て等相談

(5) 防災対策の状況

ア 設備、遊具等の整備点検

イ 避難訓練

ウ 安全のための実施訓練

事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的に実施

エ 災害時対応マニュアルの作成

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定した。

イ 給食構成

- ・乳児 主食、副食、おやつ（完全給食）
- ・幼児 副食、おやつ

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況

(7) 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ）

（平成24年度平均）

保育園名	栄養素等					ビタミン				食塩相当量 (g)
	エネルギー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	A ( $\mu$ gRE)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
いまいずみ保育園	507	20.3	15.6	273	2.4	281	0.25	0.42	26	1.6
いりふね保育園	484	19.1	15.2	266	2.2	276	0.23	0.40	26	1.6
おおつか保育園	511	20.5	16.0	276	2.5	304	0.25	0.42	27	1.8
はこのもり保育園	489	19.5	15.3	267	2.3	287	0.23	0.40	27	1.5

そのべ保育園	483	19.9	15.5	283	2.4	300	0.24	0.42	27	1.5
ぬまわだ保育園	494	19.7	15.1	262	2.3	273	0.24	0.40	25	1.5
栄養給与目標	500	18.0	11~16	200	2.3	200	0.25	0.28	20	2.0

(イ) 3歳以上児(副食+おやつ)

(平成24年度平均)

保育園名	栄養素等 エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ				食塩相当量 (g)
						A (μgRE)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
いまいずみ保育園	399	19.8	16.5	281	2.4	333	0.26	0.43	31	1.8
いりふね保育園	388	19.1	16.2	281	2.2	329	0.24	0.43	30	1.8
おおつか保育園	410	20.5	17.3	291	2.5	365	0.26	0.45	33	2.1
はこのもり保育園	391	19.4	16.3	281	2.2	342	0.24	0.44	31	1.6
そのべ保育園	397	20.0	16.2	290	2.4	356	0.25	0.44	31	1.7
ぬまわだ保育園	387	19.5	16.0	273	2.2	323	0.25	0.43	29	1.8
栄養給与目標	400	19.0	13~19	270	2.5	200	0.32	0.36	20	2.3

(7) 特別保育科目設定実施事業

ア 世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。(単位：回)

実施保育園名	実施回数	実施保育園名	実施回数
いまいずみ保育園	5	ぬまわだ保育園	6
いりふね保育園	4	さくら保育園	6
おおつか保育園	7	さくら第2保育園	2
はこのもり保育園	5	ひがしのもり保育園	5
そのべ保育園	3	合計	43

イ 異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。(単位：回)

実施保育園名	実施回数	実施保育園名	実施回数
いまいずみ保育園	1	ぬまわだ保育園	3
いりふね保育園	2	さくら保育園	3
おおつか保育園	1	さくら第2保育園	2
はこのもり保育園	2	ひがしのもり保育園	4
そのべ保育園	1	けやき保育園	4
		合計	23

ウ 子育て・仕事両立支援

乳幼児をもつ保護者等に対し育児講座の開催や育児に関する情報提供等を行った。

(単位：回)

実施保育園名	実施回数	実施保育園	実施回数
いまいずみ保育園	13	ぬまわだ保育園	1
いりふね保育園	1	さくら保育園	15
おおつか保育園	3	さくら第2保育園	7
はこのもり保育園	16	ひがしのもり保育園	10
そのべ保育園	1	合計	67

## 16 児童福祉関係

## (1) 児童福祉施設措置児童数

(単位：人)

施設別	児童数		
	男	女	計
乳児施設	2	3	5
児童養護施設	10	6	16
児童自立支援施設	2	-	2
知的障害児施設	5	-	5
自立援助施設	-	1	1
重度心身障害児施設	2	2	4
肢体不自由児施設	3	-	3
情緒障害児短期治療施設	-	1	1
里親委託	3	2	5
計	27	15	42

## (2) 家庭児童相談室

家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭相談員3名により各種の相談指導を行った。

・月別・問題別相談指導件数及び訪問回数

区分	性格生活習慣	知能言語	学校生活等			非行	家族関係		環境福祉	心身障がい	その他	合計(件)	訪問回数(回)
			人間関係	不登校	その他		虐待	その他					
4月	5	-	-	43	-	2	10	3	45	48	8	164	73
5月	5	-	-	57	3	-	21	6	114	33	28	267	111
6月	-	-	-	85	3	1	22	19	82	34	331	577	401
7月	-	-	-	74	2	1	43	21	173	25	136	475	249
8月	2	-	-	34	3	1	83	7	176	40	3	349	161
9月	-	1	2	76	4	1	32	12	127	22	4	281	80
10月	6	-	-	64	2	1	53	7	156	41	10	340	146
11月	10	-	6	67	10	-	99	18	171	32	16	429	120

12月	-	9	-	91	1	-	68	18	162	55	8	412	141
1月	-	3	-	77	3	-	99	11	243	59	2	497	95
2月	-	-	-	73	3	-	52	15	152	46	10	351	83
3月	1	1	-	110	1	1	41	12	192	23	8	390	124
計	29	14	8	851	35	8	623	149	1,793	458	564	4,532	1,784

## 17 ひとり親家庭福祉関係

### (1) 母子寡婦福祉資金貸付申請状況

種 類	件 数 (件)	金 額 (円)
修 学 資 金	9	11,100,000
就 学 支 度 資 金	12	4,977,000
修 業 資 金	2	534,000
就 職 支 度 資 金	1	87,000
技 能 習 得 資 金	-	-
生 活 資 金	-	-
転 宅 資 金	-	-
計	24	16,698,000

### (2) 母子生活支援施設の利用状況

生活上の問題から保護を要する母子を母子生活支援施設に入所措置し、母子の福祉の向上を図った。

施 設	継 続	新規入所	退 所	24年度末時点での入所状況
県 内 (2 か所)	- 世帯	2 世帯	- 世帯	2 世帯
	- 人	4 人	- 人	4 人

## 第4節 高齢福祉課

### 〔総括概要〕

我が国では、急速な人口の高齢化により西暦2015年には4人に1人が高齢者になると予測されている。こうした人口の高齢化や核家族化の進行、市民意識の多様化等に伴う福祉ニーズの変化に対応するため、高齢者福祉の充実と向上に努めた。

高齢福祉担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老祝金支給事業、シルバー作品展開催事業、老人クラブ育成指導事業、高齢者ふれあい相談員事業、配食サービス事業などの事業及び3か所の老人福祉センターにおいて、高齢者の各種相談、健康の増進、教養の向上に関する事業を実施した。

また、高齢者福祉関係については、軽度生活援助員派遣事業、緊急ホームヘルパー派遣事業、在宅高齢者短期入所事業、日常生活用具購入費助成等事業、緊急通報装置設置事業、在宅ねたきり老人等介護手当支給事業、紙おむつ購入費助成事業などの介護予防事業・生活支援事業を実施した。

地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等に取り組んだ。

### 高齢福祉担当

#### 1 高齢者人口・生活態様別統計

##### (1) 高齢者人口

##### ア 高齢者人口（4月1日現在）

地域 区分	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	合計
総人口(人)	80,577	29,666	17,128	13,479	6,618	147,468
65歳以上人口(人)	20,630	6,315	4,744	3,262	1,715	36,666
総人口に対する割合(%)	25.60	21.29	27.70	24.20	25.91	24.86

##### イ 高齢者人口（栃木地域 4月1日現在）

年度 区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総人口(人)	81,911	81,286	80,577
65歳以上人口(人)	20,230	20,274	20,630
総人口に対する割合(%)	24.70	24.94	25.60

##### (2) 高齢者生活態様（栃木地域）（5～6月調査結果）

高齢者人口	人数(人)	比率(%)
総数	20,630	100

内 訳	独居	2,244	10.9
	高齢者世帯※ (世帯数)	4,396 (2,167)	21.3
	その他	13,990	67.8

※ 65歳以上のみで構成される世帯

## 2 敬老祝賀事業（栃木地域）

9月1日（基準日）において本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	595
90歳	20,000	243
95歳	30,000	74
100歳	100,000	20
101歳以上	50,000	24

## 3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 102自治会等
- ・補助額 6,475,000円

## 4 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業（栃木地域）

高齢者の健康と生きがいづくりの推進を図るため、次の実践活動を実施した。

### (1) 栃木地域シルバー作品展事業

高齢者から作品を募り、第24回目の作品展を開催した。

- ・実施期間 3月8日（金）～10日（日）（3日間）
- ・会場 栃木文化会館展示室
- ・出品数 185点
- ・入場者数 478人

### (2) 市老連委託事業

次の社会奉仕活動事業を、市老人クラブ連合会に委託し実施した。

#### ア 花いっぱい運動

地区公民館等公共施設にプランターを設置、管理を行った。

- ・実施時期 6月～3月

・植栽花 ベゴニア、パンジー、日々草、マリーゴールドなど

イ 高齢者相互支援事業（ゆーあい訪問活動）

単位クラブで2、3人のチームをつくり、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等を訪問し、話し相手や相談相手となった。

5 老人クラブ育成指導事業（栃木地域）

老人クラブ連合会栃木支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・単位老人クラブ数 72クラブ
- ・市老人クラブ連合会栃木支部会員数 2,935人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 3,352,000円  
市連合会栃木支部助成 2,399,000円

6 老人スポーツ大会（栃木地域）

老人クラブ連合会栃木支部主催により、世代間交流として市立保育園の園児とのダンスをはじめ、個人・団体競技スポーツ等を行い、クラブ会員の健康増進と親睦並びに交流を図った。

- ・実施日 10月24日（水）
- ・会場 総合運動公園
- ・参加人員 1,000人

7 高齢者配食サービス事業（栃木地域）

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方
- ・宅配個数 32,680個
- ・宅配人数 297人（実人数）
- ・宅配業者 (株)金時給食センター 柳橋町6-29  
(有)ききょう 吹上町1401  
ワタミタクシヨク(株) 仲方町306-5  
このひら配食サービス 沼和田町13-3

8 高齢者ふれあい相談員事業（栃木地域）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 464人
- ・訪問世帯数 3,625世帯

9 老人ホーム入所判定委員会開催状況

心身機能の減退等のために日常生活に支障がある高齢者または住宅に困窮している低所得の高齢者で家族からの適切な介護を受けることが困難な方に対し、養護老人ホームへの入所措置を適正に行うため、入所判定委員会を開催した。

- ・開催回数 2回
- ・判定件数 3件

10 老人ホームへの措置状況 (単位：人)

区 分	平成24年3月31日 現在人数	平成24年度中		平成25年4月1日 現在人数
		入 所	退 所	
養護老人ホーム	74	6	7	73

11 日常生活用具購入費助成等事業（栃木地域）

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	153
小型暖房器具	-
電磁調理器	-
火災警報器	1
自動消火器	-

12 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

- ・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	18
特殊寝台	5
じょく瘡予防用具	-

13 緊急通報装置設置事業（栃木地域）

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・設置状況 (単位：台)

既設置台数	設置台数	撤去台数	計
232	28	42	218

14 福祉電話貸与事業（栃木地域）

おおむね65歳以上の低所得のひとり暮らし高齢者への通報用電話の貸与を継続した。

・設置状況 (単位:台)

既設置台数	撤去台数	計
19	3	16

15 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業（栃木地域）

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数） (単位:人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
511	536	1,047

16 紙おむつ購入費助成事業（栃木地域）

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数） (単位:人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
508	551	1,059

17 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業（栃木地域）

- ・利用者数 7人
- ・延べ回数 268回（293.8時間）

(2) 在宅高齢者短期入所事業（栃木地域）

- ・利用者数 3人
- ・延べ宿泊数 17日

(3) 軽度生活援助員派遣事業（栃木地域）

- ・利用者数 104人
- ・延べ利用時間数 (単位:時間)

家事	1,711.0
除草	1,339.5
植木手入れ	136.5
大工	4.5

18 老人福祉センター長寿園

(1) 利用状況

・年度中利用者数 (単位：人)

年度 区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
長寿園利用者	50,923	46,450	53,407

・開館日数 298日

・1日平均入場者 177.9人 (無料開放日 393人を含む)

・月別内訳

区分 月別	市内		市外 (人)	身障 者等 (人)	回数券利用			減免 利用 (人)	団体 割引 (人)	計 (人)	利用料 (円)	開館 日数 (日)
	60歳以上 (人)	一般 (人)			60歳以上 (人)	一般 (人)	市外 (人)					
4	740	38	29	428	2,007	18	5	169	—	3,434	323,300	25
5	763	30	42	500	2,469	25	9	334	—	4,172	317,900	24
6	1,046	40	44	551	2,600	31	17	462	—	4,791	386,100	26
7	846	35	32	587	2,707	25	8	354	—	4,594	337,200	26
8	774	51	32	611	2,540	30	10	279	—	4,327	341,200	26
9	917	34	39	554	2,363	29	10	661	—	4,607	320,600	24
10	851	28	56	587	2,543	25	17	606	—	4,713	359,500	26
11	793	25	44	506	2,335	24	22	306	—	4,055	309,500	23
12	794	20	44	577	2,342	34	20	317	—	4,148	328,600	26
1	814	28	42	533	2,325	38	27	557	—	4,364	339,600	23
2	776	24	24	513	2,364	32	26	1,762	—	5,521	306,600	23
3	856	36	27	550	2,685	45	25	457	—	4,681	352,900	26
計	9,970	389	455	6,497	29,280	356	196	6,264	—	53,407	4,023,000	298

(2) 事業実施状況

ア 機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用やマッサージ施術の実施を行った。

・延べ人員 31,604人

〔 ヘルストロン使用者 21,697人、マッサージ器使用者 9,907人  
マッサージ施術 84人 〕

・実施回数 10回

・実施日 毎月第2月曜日 午後1時30分～2時30分

イ 健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する

指導、看護と療養指導、器具による運動訓練などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

- ・延べ人員 66人
- ・実施回数 12回
- ・実施日 毎月第2火曜日 午前10時30分～11時30分

#### ウ 栄養指導（料理教室）

##### (7) 健康料理教室

うす塩料理の指導、偏食生活による疾病予防や独居高齢者等の偏食矯正を目的に、管理栄養士を招きうす塩料理教室、会食のつどいを行った。

- ・延べ人員 293人
- ・実施回数 12回
- ・実施日 毎月第2水曜日 午前10時00分～午後0時00分

##### (イ) 高齢者男性向け料理教室

高齢者の男性を対象とした料理教室を開催し、男性の家事参加の促進と生きがい作りの一助を担った。

- ・延べ人員 222人
- ・実施回数 12回
- ・実施日 毎月第4火曜日 午前10時00分～午後0時00分

#### エ 介護相談

ケアマネジャーを招き、高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

- ・延べ人員 3人
- ・実施回数 12回
- ・実施日 毎月第1水曜日 午後1時30分～2時30分

#### オ 太極拳教室

高齢者の生きがいづくりや健康づくりの支援を目的に、太極拳教室を実施した。

- ・延べ人員 1,166人
- ・実施回数 43回
- ・実施日 毎週月曜日 午前10時00分～11時30分

#### カ 気功教室

高齢者の生きがいづくりや健康づくりの支援を目的に、気功教室を実施した。

- ・延べ人員 196人
- ・実施回数 24回
- ・実施日 毎週第2・第4水 午後2時00分～4時00分

#### キ 高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、29のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
陶芸(6講座)	79	182	1,396
ダンス(12講座)	206	538	7,409

カラオケ(3講座)	99	127	3,148
絵画(3講座)	29	58	360
将棋	26	94	1,636
太極拳(2講座)	79	64	2,142
料理	31	10	246
フラダンス	15	40	371
気功体操	10	23	247
合計	574	1,136	16,955

19 老人福祉センター泉寿園

(1) 利用状況

・年度中利用者数 (単位：人)

年度 区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	28,840	27,714	29,540

- ・開館日数 開館日数 297日
- ・1日平均入場者 99.5人
- ・月別内訳

区分 月別	市内		市外 (人)	身障 者等 (人)	回数券利用			減免 利用 (人)	団体 割引 (人)	計 (人)	利用料 (円)	開館 日数 (日)
	60歳以上 (人)	一般 (人)			60歳以上 (人)	一般 (人)	市外 (人)					
4	468	32	29	373	1,217	19	23	326	—	2,487	176,900	25
5	386	32	18	299	1,128	11	20	274	—	2,168	159,400	23
6	483	16	16	307	1,230	15	28	295	—	2,390	189,400	26
7	480	24	21	320	1,280	14	46	259	—	2,444	185,100	26
8	445	24	19	308	1,180	21	30	222	—	2,249	176,000	26
9	503	21	21	266	1,104	20	33	645	—	2,613	165,100	24
10	498	29	29	258	1,214	24	36	243	—	2,331	184,300	25
11	460	27	34	293	1,163	31	33	391	—	2,432	188,600	24
12	493	18	34	317	1,249	26	38	229	—	2,404	203,100	26
1	575	33	31	282	1,243	20	31	230	—	2,445	213,400	23
2	549	52	38	275	1,323	33	30	419	—	2,719	220,000	23
3	549	40	52	288	1,414	36	38	441	—	2,858	222,500	26
計	5,889	348	342	3,586	14,745	270	386	3,974	—	29,540	2,283,800	297

(2) 事業実施状況

ア 機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用やマッサージ

施術の実施を行った。

・延べ人員 19,507人

〔ヘルストロン使用者 14,459人、マッサージ器使用者 4,966人〕  
〔マッサージ施術 82人〕

・実施回数 10回

・実施日 毎月第1月曜日 午後1時30分～3時00分

イ 健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

・延べ人員 368人

・実施回数 48回

・実施日 毎週木曜日 午後2時00分～3時00分

ウ 介護相談

ケアマネジャーを招き、高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

・延べ人員 2人

・実施回数 10回

・実施日 毎月第1金曜日 午前10時30分～11時30分

エ 高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、23のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
日光彫	24	24	420
ダンス(5講座)	22	184	658
太極拳(2講座)	18	76	534
カラオケ(5講座)	64	168	1,936
囲碁・将棋(4講座)	65	173	1,361
折り紙	8	17	102
ちぎり絵(3講座)	18	58	276
舞踊	7	61	401
俳句	6	3	15
合計	232	764	5,703

20 老人福祉センター福寿園

(1) 利用状況

・年度中利用者数 (単位：人)

区分	年度		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度
福寿園利用者	26,166	24,147	24,618

・開館日数 開館日数 298日

・ 1日平均入場者 82.6人

・ 月別内訳

区分 月別	市内		市外 (人)	身障 者等 (人)	回数券利用			減免 利用 (人)	団体 割引 (人)	計 (人)	利用料 (円)	開館 日数 (日)
	60歳以上 (人)	一般 (人)			60歳以上 (人)	一般 (人)	市外 (人)					
4	358	4	28	210	913	1	1	520	—	2,035	124,000	25
5	296	3	21	203	831	1	1	509	—	1,865	112,500	24
6	441	4	20	251	887	2	3	615	—	2,223	126,300	26
7	349	6	20	329	831	0	3	538	—	2,076	115,100	26
8	256	4	24	317	748	0	3	575	—	1,927	96,600	26
9	336	3	23	272	680	2	2	521	—	1,839	97,800	24
10	349	1	24	345	820	3	3	618	—	2,163	123,300	26
11	348	5	29	320	691	1	3	626	—	2,023	110,500	23
12	345	9	18	339	702	1	3	561	—	1,978	105,700	26
1	411	4	22	273	789	0	2	461	—	1,962	121,500	23
2	523	8	24	328	801	4	1	624	—	2,313	133,100	23
3	414	9	30	347	848	2	4	560	—	2,214	136,200	26
計	4,426	60	283	3,534	9,541	17	29	6,728	—	24,618	1,402,600	298

(2) 事業実施状況

ア 機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用を行った。

・ 延べ人員 11,232人

(ヘルストロン使用者 6,435人、マッサージ器使用者 4,797人)

イ 健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

・ 延べ人員 878人

・ 実施回数 62回

・ 実施日 毎週火曜日、水曜日、金曜日 午前11時00分～午後3時00分

ウ 介護相談

ケアマネジャーを招き、高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

・ 延べ人員 12人

・ 実施回数 12回

・ 実施日 毎月第2月曜日 午後1時30分～2時30分

エ 高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、6のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
太極拳(2講座)	24	91	734

囲碁	17	45	414
カラオケ	13	41	326
コーラス	12	34	301
大正琴	18	22	217
合 計	84	233	1,992

21 公益社団法人栃木市シルバー人材センター

(1) 年齢別会員登録状況

年齢別	性別		計(人)	構成比(%)
	男(人)	女(人)		
60歳未満	—	—	—	0.0
60～64	68	31	99	12.8
65～69	160	73	233	30.3
70～74	192	77	269	34.9
75～79	101	32	133	17.3
80歳以上	22	14	36	4.7
計	543	227	770	100.0
構成比(%)	70.5	29.5	100.0	
平均年齢(歳)	71.0	70.8	70.9	

(2) 職群別会員登録状況

職 群	性 別		計(人)	構成比(%)
	男(人)	女(人)		
植木手入れ、襖・障子の張替、大工、 塗装、刃物研ぎ、自動車の運転等	176	8	184	23.9
宛名書き、毛筆筆耕、一般事務等	20	11	31	4.1
施設管理、駐車(輪)場管理	81	7	88	11.4
メーター検針、パンフレット配布、外交、調査等	9	1	10	1.3
除草、清掃、草刈り、屋内外の一般作業等	249	147	396	51.4
家事手伝い、病人介添、子守り等	8	53	61	7.9
計	543	227	770	100.0

(3) 発注者別実績

区 分	受注 件数(件)	就業延べ 人員(人)	契 約 金 額 (円)			
			配分金	材料費	事務費	合 計
公 共	1,135	19,795	74,259,455	10,328,315	7,408,377	91,996,147
民 間	2,209	44,552	171,269,380	7,190,472	16,977,453	195,437,305

一 般	5,369	19,313	81,982,400	15,663,455	8,172,369	105,818,224
独 自	31	522	926,225	420,644	33,535	1,380,404
合 計	8,744	84,182	328,437,460	33,602,886	32,591,734	394,632,080

(4) 職群別実績

区 分	受注 件数(件)	就業延べ 人員(人)	契 約 金 額 (円)			
			配分金	材料費	事務費	合 計
専門技術	122	3,157	12,475,400	5,000	1,247,540	13,727,940
技 能	2,485	10,089	54,815,833	10,695,557	5,405,234	70,916,624
事務整理	77	368	1,436,866	2,000	142,680	1,581,546
施設管理	569	13,665	48,787,435	1,076,998	4,877,706	54,742,139
販売外交	76	1,134	4,340,998	48,000	409,233	4,798,231
軽 作 業	4,584	50,274	193,364,307	21,478,440	19,204,728	234,047,475
サービス	829	5,493	13,215,861	296,891	1,304,533	14,817,285
そ の 他	2	2	760	0	80	840
合 計	8,744	84,182	328,437,460	33,602,886	32,591,734	394,632,080

地域支援担当

1 地域包括支援センター設置状況

栃木地域包括支援センター	入舟町 7-26	福祉庁舎内
吹上地域包括支援センター	吹上町 782-1	吹上公民館内
(皆川地区包括支援センター	皆川城内町 699	皆川公民館内)
(寺尾地区包括支援センター	梅沢町 1183	寺尾公民館内)
国府地域包括支援センター	惣社町 228-1	国府公民館内
(大宮地区包括支援センター	大宮町 422-1	大宮公民館内)

※ ( ) は地域包括支援センターを補完するサブセンター

2 介護予防事業

(1) 二次予防事業

ア 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

※以下「吹上」には、皆川・寺尾、「国府」には、大宮を含む。

・二次予防事業対象者把握状況

	栃木	吹上	国府	計
基本チェックリストによる対象者数（人）	986	446	478	1,910

イ 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、口腔機能向上、複合型機能向上、閉じこもり予防等の教室を実施し、要介護状態等となることの予防及び自立した生活を送るための支援を行った。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		計	
	回	延べ人数(人)	回	延べ人数(人)	回	延べ人数(人)	回	延べ人数(人)
運動器機能向上	-	-	-	-	16	194	16	194
口腔機能向上	-	-	-	-	8	48	8	48
複合型機能向上	20	164	10	98	10	95	40	357
複合型その他	22	116	10	143	-	-	32	259
閉じこもり予防	47	176	49	171	45	261	141	608
合計	89	456	69	412	79	598	237	1,466

ウ 訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者を対象に、看護師、歯科衛生士が訪問し相談指導を行った。また、二次予防事業対象者になるおそれのある高齢者を対象に看護師が訪問し生活機能低下予防の相談指導を行った。

・実施状況

		二次予防事業対象者				二次予防事業対象者になるおそれのある高齢者			
		栃木	吹上	国府	計	栃木	吹上	国府	計
対象者数(人)		18	3	4	25	17	9	9	35
訪問回数(件)	看護師	28	13	18	59	86	46	37	169
	歯科衛生士	-	-	2	2				
	合計	28	13	20	61	86	46	37	169

(2) 一次予防事業

ア 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、閉じこもり予防等の教室を開催し、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		計	
	回	延べ人数(人)	回	延べ人数(人)	回	延べ人数(人)	回	延べ人数(人)
運動器機能向上	48	852	31	742	48	858	127	2,452
栄養改善	3	38	2	33	6	102	11	173
口腔機能向上	1	22	2	31	11	75	14	128
閉じこもり予防	47	122	49	171	45	261	141	608

その他	46	181	33	734	42	729	121	1,644
合計	145	1,215	117	1,711	152	2,025	414	5,005

#### イ 地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得できる機会を設け、地域活動の人材育成や自主グループ活動支援を行った。

##### ・実施状況

	栃木		吹上		国府		合同		計	
	回	延べ人数 (人)								
自主グループ活動支援	-	-	-	-	-	-	5	101	5	101
健康づくりサポーター養成講座	-	-	-	-	-	-	7	131	7	131
認知症サポーター養成講座	1	26	4	148	5	143	-	-	10	317
合計	1	26	4	148	5	143	12	232	22	549

#### ウ はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 栃木地域に居住するおおむね 65 歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館・集会場・広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 7センター（7自治会）
- ・委託料 1,820,000 円
- ・実施回数・人数 延べ 578 回・6,697 人

### 3 包括的支援事業

#### (1) 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。また、要支援状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

- ・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況(単位：件)

	栃木	吹上	国府	計
作成件数	35	58	59	152

・要支援 1・2 の介護予防サービス計画作成状況 (単位：件)

	栃木	吹上	国府	計
作成件数	11	4	3	18
事業者委託件数	117	99	108	324
合計	128	103	111	342

・サービス担当者会議実施状況 (単位：回)

	栃木	吹上	国府	計
会議への参加回数	241	83	87	411

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況 (単位：件)

	栃木	吹上	国府	計
作成件数	19	8	11	38

(2) 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況 (単位：件)

	栃木	吹上	国府	計
面接	142	228	126	496
電話相談	1,337	653	610	2,600
家庭訪問	1,330	619	738	2,687
合計	2,809	1,500	1,474	5,783

(3) 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、高齢福祉担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況 (単位：件)

	栃木	吹上	国府	計
権利擁護(成年後見制度等)に関する相談	16	12	91	119
高齢者虐待への対応	97	52	102	251
高齢者虐待ケース会議	12	4	4	20
合計	125	68	197	390

(4) 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

4 任意事業

(1) 家族介護支援事業

介護に携わる家族が、適切な介護知識、技術、サービス利用方法等を習得できるよう支援した。また、在宅介護の苦勞、精神的な負担を軽減することを目的とした支援教室を開催した。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		計	
	回	延人数(人)	回	延人数(人)	回	延人数(人)	回	延人数(人)
家族介護支援教室の開催状況	2	13	2	33	2	27	6	73

(2) 地域自立支援事業（24時間通報体制）

高齢者のいる世帯の家庭内事故等による通報に随時対応するため、地域包括支援センターの夜間等対応について、市内の社会福祉法人に相談業務を委託して実施した。

(3) 地域見守り支援事業

高齢者の福祉の向上を図るため、保健・福祉・医療などの関係機関が協力し、介護予防・生活支援サービスの総合調整及び地域包括ケアを目指したシステムの検討を目的として実施した。

・高齢者ネットワーク推進会議（役員会2回・全体会2回・研修会2回）

認知症への理解を促進し、地域で見守り支え合う体制づくりの基礎とするため、市民公開講座を7月16日（月）都賀文化会館において開催した。また、市職員を対象に認知症サポーター養成講座を5回開催した。

## 第5節 介護保険課

### 〔総括概要〕

介護保険課における主な分掌事務は、介護保険法に基づいて、高齢者の自立した生活を支援し、介護保険事業の適正な運営に努めることである。

介護保険担当では、サービス利用者に対する介護給付費の支給事務や低所得者負担の軽減対策、利用者の苦情処理及び地域密着型サービス事業所の整備・指定・更新事務等を実施した。

老人福祉施設の整備については、藤岡町中根に定員20人の地域密着型特別養護老人ホーム緑風苑を増床開設し、平井町に定員18人の認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護施設を開設した。いずれも公募により必要な施設整備を進めた。

介護認定担当では、要介護（要支援）認定申請の受付、介護認定訪問調査、介護認定審査会事務等を実施し、適正・公正な要介護認定を行った。

### 介護保険担当

#### 1 介護保険被保険者数

第1号被保険者（65歳以上） 37,862人

#### 2 保険給付状況

介護保険のサービスを受けた費用のうち、原則9割を保険者（市）が給付した。

##### (1) 居宅介護サービス給付費

要介護者が指定居宅サービス事業者の行う在宅サービスを受けた際に、介護保険法第41条に基づき、居宅介護サービス費を給付した。

・給付状況

（単位：円）

サービスの種類	給付額
訪問介護	662,750,314
訪問入浴介護	80,479,627
訪問看護	111,651,927
訪問リハビリテーション	4,788,912
通所介護	1,655,133,381
通所リハビリテーション	500,517,457
福祉用具貸与	242,378,631
短期入所生活介護	483,979,112
短期入所療養介護	67,842,722
居宅療養管理指導	15,960,699
特定施設入所者生活介護	191,125,359

合 計	4,016,608,141
-----	---------------

(2) 介護予防サービス給付費

要支援者が指定介護予防サービス事業者の行う介護予防サービスを受けた際に、介護保険法第53条に基づき、介護予防サービス費を給付した。

・給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給 付 額
介護予防訪問介護	61,830,764
介護予防訪問入浴介護	71,763
介護予防訪問看護	3,741,461
介護予防訪問リハビリテーション	771,721
介護予防通所介護	108,596,209
介護予防通所リハビリテーション	49,931,200
介護予防福祉用具貸与	7,129,818
介護予防短期入所生活介護	3,323,254
介護予防居宅療養管理指導	185,922
介護予防特定施設入所者生活介護	7,686,303
合 計	243,268,415

(3) 地域密着型介護サービス給付費

要介護者が指定地域密着型サービス事業者の行う地域密着型サービスを受けた際に、介護保険法第42条の2に基づき、地域密着型介護サービス費を給付した。

・給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給 付 額
認知症対応型共同生活介護	569,583,899
地域密着型老人福祉施設（特養）	196,000,732
認知症対応型通所介護	20,366,645
小規模多機能型居宅介護	236,610,796
合 計	1,022,562,072

(4) 地域密着型介護予防サービス給付費

要支援者が指定地域密着型予防サービス事業者の行う地域密着型予防サービスを受けた際に、介護保険法第54条の2に基づき、地域密着型介護予防サービス費を給付した。

・給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給 付 額
介護予防認知症対応型共同生活介護	4,974,879
介護予防小規模多機能型居宅介護	6,093,747
合 計	11,068,626

(5) 施設介護サービス給付費

要介護者が介護保険施設に入所して施設サービスを受けた際に、介護保険法第48条に基づき、施設介護サービス費を給付した。

・給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給付額
介護老人福祉施設サービス	1,720,098,488
介護老人保健施設サービス	1,294,323,672
介護療養型医療施設サービス	43,717,893
合計	3,058,140,053

(6) その他の給付費

・給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給付額
居宅介護サービス計画費	467,394,973
介護予防サービス計画費	32,059,748
福祉用具購入費	14,038,580
介護予防福祉用具購入費	1,810,748
住宅改修費	33,161,174
介護予防住宅改修費	9,313,474
高額介護（介護予防）サービス費	146,843,053
高額医療合算介護（介護予防）サービス費	18,572,131
特定入所者介護（介護予防）サービス費	305,637,508
特例居宅介護サービス費	669,567
合計	1,029,500,956

介護認定担当

1 要介護認定の実施状況 (単位：件)

申請件数				調査件数	審査会回数	認定件数
新規	更新	変更	計			
2,119	3,548	527	6,194	6,116	300	5,981

2 要介護度分布状況 (単位：人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
442	707	1,173	1,205	1,007	897	837	6,268

## 第6節 健康増進課

### 〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、総合的な健康づくり施策として栃木市健康21計画推進事業、更には予防接種事業、健康診査事業、救急医療対策事業、母子保健事業、健康づくり事業等である。

予防接種事業では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種、高齢者に対するインフルエンザ予防接種を実施し、任意予防接種の子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌についても接種費用の助成を行った。

健康診査事業では、健康診査、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診及びがん検診等を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、衛生部門として、特定健康診査、特定保健指導及び後期高齢者健康診査を実施するとともに、国の事業としてのがん検診推進事業で、子宮頸がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診の無料クーポン券を発行し、受診勧奨を行った。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制、初期小児救急医療体制、二次救急医療体制及び小児二次救急医療体制の充実を図った。

母子保健事業では、母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、母子健康手帳の交付、妊婦健康診査、乳幼児健康診査、各種子育て教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見・早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小・中学校と連携した性(生)教育を実施した。

健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談及び教育事業を実施した。自殺予防対策事業として、ゲートキーパー研修会やこころの健康相談、自殺予防の普及啓発街頭キャンペーンを実施した。

栃木市健康21計画推進事業では、関係団体と連携し重点領域における健康づくりを推進し、普及事業として「元気もりもり明るいちぎ」をスローガンに、市民健康まつりを開催した。また、次年度の健康増進計画策定に向けて、生活習慣等に関するアンケートを実施した。

保健予防担当

1 特定健康診査（各総合支所分を含む） （単位：人）

健診区分	受診者数	保健指導区分		
		情報提供	動機付支援	積極的支援
集団	5,068	4,450	440	178
個別	2,430	2,228	139	63
合計	7,498	6,678	579	241

2 がん検診等事業（各総合支所分を含む）

(1) がん検診

区 分	実施回数(回)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)	精検不要(人)	判定不能(人)
胃がん	81	4,686	10.5	3,984	449	253	-
肺がん	81	6,540	14.6	5,204	88	1,248	-
大腸がん	88	7,471	16.7	7,077	394	-	-
前立腺がん	63	2,765	16.3	2,575	190	-	-
子宮がん(頸)	78	3,412	14.0	3,361	51	-	-
子宮がん(頸)	(医療機関)	1,307		1,259	48	-	-
子宮がん(体)	(医療機関)	622	1.8	617	3	-	2
乳がん	78	4,966	16.5	2,504	405	2,057	-
	(医療機関)	187		152	28	7	-

(2) 肝炎ウイルス検査 （単位：人）

区 分	受診者数	要精検
B+C型	1,361	11
B型のみ	2	-
C型のみ	2	-

(3) 骨粗しょう症検診

年齢	項目	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳(人)		
					正常範囲	要指導	要精検
20・25歳女		1,432	2	0.1	2	-	-
30・35歳女		1,643	31	1.9	24	7	-
40歳女		1,023	106	10.4	88	18	-
45歳女		803	89	11.1	70	17	2
50歳女		807	106	13.1	84	22	-
55歳女		942	124	13.2	60	53	11
60歳女		1,236	166	13.4	42	93	31

65歳女	1,149	254	22.1	59	141	54
70歳女	986	183	18.6	34	98	51
60歳男	1,238	58	4.7	39	16	3
65歳男	1,199	96	8.0	55	28	13
70歳男	989	111	11.2	66	33	12
計	13,447	1,326	9.9	623	526	177

(4) 歯周疾患検診（各総合支所分を含む）（単位：人）

区分	受診者数	異常なし	要指導	要精検
30歳	97	4	3	90
40歳	192	14	3	175
50歳	160	6	4	150
60歳	232	20	7	205
70歳	252	17	3	232
計	933	61	20	852

3 後期高齢者健康診査（各総合支所分を含む）

（単位：人）

健診区分	受診者数
集団	1,114
個別	3,341
合計	4,455

4 健康診査事業（健康増進法による健診）（各総合支所分を含む）

健康増進法に基づき、胃がん等の各種がん検診をはじめ、歯周疾患検診や骨粗しょう症検診などを行った。

(1) 健康診査（健康増進法による）

・受診者数 5人

(2) 集団検診実施状況

・集団健診実施回数 88回

・集団健診実施場所 各保健福祉センター等及び各地区公民館等

5 予防接種事業

小児の感染症予防のため、各種の定期及び任意予防接種並びに高齢者インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

ア 集団接種（各総合支所分を含む）

(ア) ポリオ（小児マヒ）

- ・実施期間 4月13日～8月3日のうち22日間
- ・会場 栃木、大平、藤岡、都賀、西方の各地域
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 41日以上の間隔で2回
- ・接種状況

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	996	314	31.5
2回目	996	469	47.1

※平成24年9月1日より生ワクチンから不活化ワクチンへ切り替え  
 イ 個別接種（各総合支所分を含む）

(7) B. C. G

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後6月に至るまでの間にある者  
 （1歳に至るまでの者で行政措置を含む）
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
978	914	93.5

(イ) 三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）

a 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 20日～56日の間隔で3回
- ・接種状況

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	-	571	-
2回目	-	652	-
3回目	-	774	-

b 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
-	1,192	-

c 2期（ジフテリア・破傷風）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 11歳以上13歳未満の者（小学校6年生）
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,370	1,276	93.1

(ウ) 麻しん・風しん（混合）

a 1期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,061	1,024	96.5

b 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 5歳～7歳未満の子で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者（幼稚園・保育園等の年長児）
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,135	1,100	96.9

c 3期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 中学校1年生に相当する年齢で、13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,387	1,295	93.3

d 4期

- ・実施期間 通年

- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 高校3年生に相当する年齢で、18歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,371	1,235	90.0

(エ) 日本脳炎

3歳児、8歳児及び9歳児に対し、積極的接種勧奨を行った。

a 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後6月から生後90月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 6日から28日までの間隔で2回
- ・接種状況

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	-	1,915	-
2回目	-	1,994	-

b 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1期初回接種終了後おおむね1年経過した90月未満の者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
-	2,650	-

c 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 予防接種法で定める特例対象者で、1期接種3回を終了している20歳未満の者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
-	367	-

(オ) 不活化ポリオ

a 初回免疫

- ・実施期間 9月1日～通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者  
(生ポリオ2回終了した者は除く)
- ・回数 20日以上の間隔をおいて3回～2回  
(平成24年9月1日より前の接種歴に応じた回数)
- ・接種状況

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	-	823	-
2回目	-	1,049	-
3回目	-	1,001	-

b 追加免疫

- ・実施期間 10月23日～通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
-	7	-

(カ) 四種混合 (ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風)

1期初回

- ・実施期間 11月1日～通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 20日～56日の間隔で3回
- ・接種状況

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	-	372	-
2回目	-	264	-
3回目	-	181	-

(キ) 高齢者インフルエンザ

- ・実施期間 11月1日～3月31日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①65歳以上の希望者  
②60歳から65歳未満の者の内、身体障害者1級程度の者で、接種を希望する者
- ・回数 1回

・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
37,243	21,402	57.5

(2) 任意予防接種

ア 子宮頸がん予防

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 中学校1年生相当年齢の女子  
中学校2年生から高校1年生相当年齢の女子（平成23年度未接種者）
- ・回数 3回
- ・接種費用 1回あたり17,000円助成
- ・実施状況

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	857	624	72.8
2回目		650	75.8
3回目		772	90.1

イ ヒブ

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2か月齢以上5歳未満の者
- ・回数 4回～1回
- ・接種費用 1回あたり8,000円助成
- ・希望者 1,273人
- ・接種済回数 3,697回

ウ 小児用肺炎球菌

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2か月齢以上5歳未満の者
- ・回数 4回～1回
- ・接種費用 1回あたり10,500円助成
- ・希望者 1,302人
- ・接種済回数 3,996回

エ 小児インフルエンザ

- ・実施期間 11月1日～3月31日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 満1歳から小学校就学前の小児
- ・回数 年度内に2回まで
- ・接種費用 1回あたり2,000円助成
- ・実施状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
6,797	4,223	62.1

オ 高齢者肺炎球菌

- ・実施期間 11月1日～通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 接種時70歳以上の方
- ・回 数 生涯1回
- ・接種費用 3,500円助成
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
27,141	1,891	7.0

6 感染症予防啓発事業

記事内容	掲載時期
風邪、季節性インフルエンザの予防	「広報とちぎ」11、12月号に掲載
ノロウイルス予防	「広報とちぎ」12月号に掲載
H I V抗体検査、性感染症検査の実施	「広報とちぎ」5、12月号に掲載

7 市民健康まつり開催事業

市民の健康増進のため、市民健康まつりを開催した。

- ・実施日 10月21日（日）  
健康ポスター（優秀作品）展示は、21日（日）～26日（金）
- ・場 所 旧栃木中央小学校体育館・とちぎ蔵の街観光館多目的ホール

番号	協力団体名	実施内容	参加者(人)
1	医師会	市民公開講座	100
		相談等	488
		肺活量測定	65
		動脈硬化測定	50
2	歯科医師会	相談等	164
3	薬剤師会	相談等	50
		C o測定	140
4	歯科技工士会	相談等	80
5	歯科衛生士会	ブラッシング指導等	-
6	栄養士会	相談等	45
7	食生活改善推進団体連絡協議会	塩分クイズ等	307
8	母子保健推進員協議会	手作りおもちゃ配布等	189

9	鍼灸按摩マッサージ指圧師会	鍼・マッサージ等	66
10	J A しもつけ 栃木農産物直売所	新鮮野菜の販売	-
11	N P O 法人 蔵の街ウエイブ	豚汁販売等	80
12	下都賀総合病院	骨密度測定	390
		リハビリ健康体操	106
13	保険医療課	特定健診 P R	593
14 15 16	健康増進課	健診・予防接種相談等	36
		健康増進事業啓発	773
		抽選会	713
		健康ポスター展示	-
合 計			4,435

## 8 救急医療対策事業

### (1) 初期救急医療

初期救急医療対策として、栃木地区急患センターの運営事業を行った。

・指定管理者 栃木市医師会

利 用 施 設	日数（日）	件数（件）
栃木地区急患センター	365	6,637

### (2) 小児救急医療

日曜日の夜間に初期小児救急医療が受けられるよう、小児救急医療事業を行った。

・医師 市内の小児科開業医による輪番

利 用 施 設	日数（日）	件数（件）
とちの木病院	53	603

### (3) 二次救急医療

二次救急医療対策として、病院群輪番制病院に対し、運営費補助を行った。

また、病院群輪番制病院（下都賀総合病院）の設備整備に係る費用に対し、補助を行った。

・病院群輪番制病院 下都賀総合病院、獨協医科大学病院、とちの木病院

利 用 施 設	日数（日）	件数（件）
病院群輪番制病院(3病院)	365	12,326

### (4) 小児二次救急医療

小児二次救急医療対策として、鹿沼・栃木小児二次医療圏で体制整備を図り、小児二次救急医療支援事業を行った。

利 用 施 設	日数（日）	件数（件）
獨協医科大学病院	365	5,778

## 9 献血推進事業

血液製剤の安定供給確保のため、献血事業を行った。

実施日数 (日)	受付 (人)	200ml献血 (人)	400ml献血 (人)	成分献血 (人)	献血者計 (人)	不適格者 (人)
5	227	33	150	14	197	30

## 10 栃木保健福祉センター利用状況（当課事業及び市関係団体の通年使用を除く） （単位：人）

区 分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合 計
利用者数	7,797	2,689	34	2,460	12,980

### 健康づくり担当

## 1 栃木市健康21計画推進及び栃木市健康増進計画策定事業

5つの重点領域（栄養・食生活、運動・身体活動、喫煙、自殺、健康診断・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取り組みを行った。また、関係機関と連携し、市民が主体的に健康づくりに取り組めるように環境の整備を行った。

合併後、新たな健康増進計画を策定するため、市民の生活習慣等の実態を把握する目的でアンケートを実施し、関係機関との策定会議を行った。

### (1) 会議の開催

- ・栃木市健康増進計画策定部会会議及び庁内推進実務者会議の合同開催 3回
- ・栃木市健康増進計画策定に向け、6つの重点領域（栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙、こころの健康、歯と口の健康、健康診査・検診）の班会議開催 10回

### (2) 主な取組

- ・妊産婦や乳幼児のいる家庭への受動喫煙の害等の啓発
- ・3歳児健診において食生活アドバイス
- ・乳幼児健診等において健康情報の提供
- ・子ども料理コンクール栃木支部出展作品の発表会及びレシピ集作成
- ・健康まつりに合わせて小学生から4領域のポスター募集と展示
- ・生活習慣等に関するアンケートの実施

## 2 母子保健事業

### (1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした者等に対し、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じ、相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況(栃木地域分) (単位：人)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数		
	妊娠届出	双胎	紛失等
553	562	553	8
			1

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査(各総合支所分を含む)

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。(母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施)

・受診状況 (単位：人)

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	
受診者数	966	958	930	905	912	899	884	
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	計
受診者数	904	857	795	869	660	462	239	11,240

イ 妊婦歯科健康診査(各総合支所分を含む)

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

対象数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
1,067	333	31.2

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により、育児不安の軽減を図った。1歳6か月児及び3歳児健診においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区分	実施回数(回)	対象数(人)	受診数(人)	受診率(%)	要観察(人)	治療中(人)	要治療(人)	要精検(人)
乳児健康診査(4か月児)	18	533	525	98.5	68	8	1	2
乳児健康診査(9か月児)	18	544	529	97.2	64	4	-	1
1歳6か月児健康診査	20	608	579	95.2	258	1	-	7
3歳児健康診査	20	661	645	97.6	196	6	3	26

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見とう歯予防知識の普及を目的に、歯科健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児相談を行った。

(7) 歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
12	584	518	88.7	28 (5.4%)

(イ) 保健師による2歳児育児相談

・参加者延べ人数 205人

オ 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

開催回数 (回)	受診児数(人)			結果内訳(人)		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
12	50	3	53	12	36	5

カ 乳児先天性股関節脱臼検診(各総合支所分を含む)

3~4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳(人)		
			異常なし	要経過観察	要治療
966	903	93.5	779	121	3

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供するとともに、夫の妊婦擬似体験やおふろの入れ方等の体験学習を行った。また、先輩ママを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

・実施数 3回1コース(年5コース)

・参加者 (単位:人)

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ
116	61	7	44

イ すくすく教室(子育て支援教室)

3~5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施回数 10回

・参加者延べ数 122組

・内容 ふれあい遊び、ストレッチ、絵本の読み聞かせ、子育てアドバイス等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を

通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。  
 栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

	対象月齢	回数（回）	参加者延べ数（組）
ちやいちゃいぐる一ふ	3歳未満児	22	184
ぺんぎんぐる一ふ	3歳～就学前	12	61

#### エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、小・中学校の児童生徒とその保護者を対象に、性（生）教育の授業協力及び講演会を行った。

対 象		実施回数	参加人数（人）	
			児童生徒	保護者
授業協 力	小 学 校	1校（1回）	132	100
	中 学 校	1校（1回）	197	15

#### オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 18回（9か月児健康診査時）
- ・参加者延べ数 529組

#### カ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市2町で共催して、小学1年生と年長児を対象にフッ素塗布及び歯科医師による講演、歯の健康相談を行った。（年1回）

- ・フッ素塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合計
224	203	427

#### キ よい歯のコンクール（各総合支所分を含む）

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール（3歳児の部、親と子の部）を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの一次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の二次審査に推薦した。

- ・3歳児の部参加者 28人（県南地区への推薦は5人）
- ・親と子の部参加者 2組（県南地区への推薦は1組）

### (4) 健康相談

#### ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談のほか、7か月から離乳完了期までの児とその保護者に対し、離乳食指導を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 121組

#### イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がいの早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況

(単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
664	522	12	65	12	33	20

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 79件
- ・指導延べ数 85件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 443件

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（栃木地域73人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談、乳幼児健診等の受診勧奨を行ったほか、地区公民館等で地域の子ども親同士の交流を図るため、ふれあいのつどい等を開催した。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

・活動実績 (単位：件)

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	計
件数	360	1,051	1,411

また、会員相互の連携を図り母子保健の向上に寄与するため、栃木市母子保健推進員協議会を市全体で設置し、研修や交流を行った。（母子保健推進員総数123人）

3 健康づくり事業

(1) 特定保健指導等事業

ア 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	初回指導率(%)
積極的支援	118	52	44.1
動機付け支援	312	160	51.3
合計	430	212	49.3

イ メタボ予防講座

メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

- ・実施回数 17回
- ・参加延べ人数 特保該当者91人、情報提供者221人

ウ 健診結果説明会

健診結果を正しく理解し自分の生活習慣を見直すため、説明会を行った。

- ・実施回数 9回
- ・参加人数 139人

(2) 健康教育

ア 健康あっぷ講座

生活習慣病予防のため、一般市民を対象に栄養改善や運動指導を行った。

- ・実施回数 7回
- ・参加延べ人数 187人

イ 禁煙支援相談

禁煙を希望する者に対し、3か月間の継続的な個別支援を行い、個人に合った方法で禁煙を支援した。

- ・支援者数 6人

(3) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 35回（不定期及び特定保健指導対象外25回含む）
- ・延べ相談者数 39人
- ・内 容 保健師・管理栄養士による個別相談

(4) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 8回（不定期1回含む）
- ・延べ相談者数 11人
- ・内 容 管理栄養士による個別指導

・指導内訳(延べ件数) (単位:件)

糖尿病	高血圧症	脂質異常症	肝臓病	その他
9	7	3	1	2

(5) 脳卒中啓発プロジェクト

栃木県では、脳卒中初期症状を早期に発見し治療につなげられるよう、脳卒中啓発プロジェクトを実施している。本市においても脳卒中予防に関するチラシの配布、DVDの放映等啓発活動を実施した。

事業名	実施回数(回)	啓発資料配布数(部)	DVD放映
特定健診・がん検診	7	2,343	○
健診結果説明会	5	79	○
特定保健指導	11	90	○
成人向け各教室	10	252	○

乳幼児健診	16	459	-
健康まつり	1	129	○
窓口設置	-	150	-
シール作成	-	2,448	-

#### 4 自殺予防対策事業

##### (1) 自殺予防ゲートキーパー研修会

食生活改善推進員、母子保健推進員を対象に、住民の身近な相談者として、ゲートキーパーの役割を理解することで、こころの悩み・サインに気づき、自殺予防を図ることを目的とし、研修会を実施した。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 2回
- ・参加人数 99人

##### (2) こころの健康相談（全市で開催）

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ、ストレス、不眠等の心の健康相談を実施した。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 19回
- ・参加人数 43人

##### (3) 自殺予防普及啓発街頭キャンペーン（県共催）

自殺等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、街頭においてポケットティッシュ等を配布した。

- ・会 場 栃木駅
- ・実施回数 2回
- ・配 付 数 2,050人分

#### 5 地域保健対策推進事業

##### (1) 食生活改善事業

###### ア 栃木市食生活改善推進団体連絡協議会（各総合支所分を含む）

会員相互が連携し地域の食生活改善推進を図るため、研修会等を実施した。

- ・会員数 161人
- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 153人

###### イ 栃木市食生活改善推進団体連絡協議会栃木支部

地域住民を対象に食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等を行った。

- ・会員数 62人
- ・各講習会 34回
- ・参加人数 2,115人

(2) 自主グループ活動支援

ア 平成会

生活習慣病予防教室等修了者の自主活動のフォローとして、栄養指導を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 25人

イ 健康あっぷフォロー教室

健康あっぷ講座修了者を対象とした自主活動の立ち上げに向けて、ストレッチ等の運動指導を行った。

- ・実施回数 13回
- ・参加延べ人数 78人

6 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・保健師訪問指導数 607人
- ・内訳（延べ人数）

（単位：人）

精神保健	妊産婦	乳幼児	新生児	未熟児
111	70	389	30	7

## 第 6 章 産業振興部

### 第 1 節 商工観光課

#### 〔総括概要〕

わが国の経済は、東日本大震災復興需要があるものの、世界経済の減速等を背景に景気は弱含み、先行きへの不透明感・底割れ感が懸念される状況となり、政府は「緊急経済対策」を策定し、円高・デフレ脱却、雇用・所得の拡大を目指した。足元の景気は改善に向かう動きがみられるが、県内では、大手企業の工場が大規模な縮小を余儀なくされるなど、雇用情勢等は今後も厳しい状況が続くと考えられる。

商業関係については、栃木商工会議所、地元商店会等とともに各種イベントの開催、空き店舗活用促進事業補助金をはじめとする産業支援補助金の交付などにより、商業の振興並びに中心市街地活性化に向けた取組みを行った。

また、融資関係については、市内中小企業者の資金調達を引き続き支援するため、市制度融資の利用促進を図るとともに、経営安定関連保証の認定業務を行った。

工業関係については、工場立地法に基づく申請に対し指導を行い、適切な立地の促進に努めるほか、蔵の街トライアングルネットワークの活動に参加し、産学官連携を推進した。

また、砂利、岩石等の採取に関する認可申請業務を行うとともに、陸砂利採石監視員による定期的な監視活動を実施し、採取場や周辺地域における事故の発生及び不法採取の未然防止に努めた。

労働関係については、東日本大震災に対応した雇用相談窓口を設置するほか被災者の就労支援を行った。また、国の交付金を活用した緊急雇用対策事業を行い、失業者に対する雇用の創出に努めた。

また、労働諸団体等への支援、勤労者総合福祉センターの諸事業を実施するほか、中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着を図った。

中小企業支援施策として、産業財産権取得に対しその費用の一部を補助する制度を創り、取得の促進を図った。

観光関係については、「粹と雅のたけなわ街」をキャッチフレーズに、恵まれた自然環境と豊かな観光資源を有効に活用し、各種宣伝事業をはじめ、「とちぎあじさいまつり」、「蔵の街サマーフェスタ」、「とちぎ秋まつり」などのまつり・イベントの開催、さらに、ロケの支援、観光キャンペーンの実施など、多方面にわたって積極的に誘客活動に取り組んできた。

特に、巴波川を活用して「うずま川遊会」が実施している春の「こいのぼり」、夏の「舟行イベント」、秋の「オクトーバーフェスト」、冬の「イルミネーション」、そして年間を通じての舟行には、県内外から多くの観光客が訪れ、蔵の街の観光の

目玉として定着してきている。

商工振興担当

1 商業振興

(1) 第 35 回栃木市の産業と物産展

本市の産業と物産の発展を目的として、本市の誇る生産品と物産品等を広く紹介する第 35 回栃木市の産業と物産展を商工会議所との共催で開催した。

- ・実施日 11 月 10 日(土)、11 日(日) (とちぎ秋まつりと同時開催)
- ・場 所 蔵の街第一駐車場
- ・出店数 40 事業所

(2) 商工団体の育成及び助成

商工会議所、商店会連合会、たばこ組合、青色申告会等の諸事業に助成を行った。

- ・助成実施状況 (単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
栃木商工会議所運営事業費補助金	106,300,000	6,000,000	中心市街地活性化の促進等
栃木市商店会連合会事業費補助金	6,000,000	1,500,000	商店街近代化対策の実施
未成年喫煙防止事業補助金	729,883	180,000	未成年者喫煙防止対策等への補助
青色申告推進事業補助金	4,600,000	30,000	青色申告制度の普及推進
合 計	117,629,883	7,710,000	

2 大規模小売店舗立地法

大規模小売店舗立地法に基づき県に提出された企業の届出に対し、地元説明会開催の承認及び出席、届出書の縦覧、庁内連絡会議の開催による市意見の集約等を実施した。

届出区分	件数 (件)
法第 5 条第 1 項 (新設に関する届出等)	—
法第 6 条第 1 項 (変更の届出 [形式的変更])	3
法第 6 条第 2 項 (変更の届出 [実質的変更])	1
法第 8 条第 4 項 (市意見)	3

3 中心市街地活性化

平成 11 年 3 月に策定した中心市街地活性化基本計画は、本市の中心市街地を新たな視点から見直し、「市街地の整備改善」と「商業等の活性化」を柱とした各種施策の展開と、中心部に蓄積された社会資本の活用により、活気あるものにしようとするものである。

特に、「商業等の活性化」に向けた施策については、次の事業を推進及び支援した。

(1) 中心市街地活性化支援

栃木商工会議所が、中心商店街の活性化や賑わいの創出のために事業者や地域住民の意見を十分に取り入れながら平成 16 年 3 月に策定した栃木市 TMO 構想の事業

推進への支援を行った。

名 称	補助額	備考
中心市街地活性化支援事業 (栃木商工会議所運営事業費内)	1,500,000 円	事業費助成

(2) 中心市街地イベント等の推進及び支援

事業名	実施日	場所
小江戸とちぎ人形まつり	5月5日(土)、6日(日)	山車会館前広場
県名発祥の地大博覧会	6月9日(土)、10日(日)	山車会館前広場
蔵の街サマーフェスタ協賛 栃っ子茶屋	8月4日(土)、5日(日)	山車会館前広場
小江戸野州栃木 お蔵のお人形さん巡り	10月5日(金) ～11月4日(日)	中心市街地一円
栃木市の産業と物産展 (とちぎ秋まつり同時開催)	11月10日(土)、11日(日)	蔵の街第一駐車場
あそ雛まつり	2月20日(水) ～3月3日(日)	中心市街地一円

4 産業支援事業

地域経済の持続的な成長を図るため、新規産業支援事業補助金の運用を4月1日から開始した。

(1) 新製品等開発支援事業補助金

栃木市内において、新製品等の研究開発を行う中小企業者の取組へ補助金を交付した。

- ・対象事業 市場における製品と比較し、新規性がある製品・技術の開発を行おうとする中小企業者で、補助金審査会において採択されたもの。
- ・補助内容 補助対象経費の2分の1に相当する額(上限を100万円)
- ・実績 2件

(2) 経営支援事業

経営の向上に取り組む中小企業者を支援するため、栃木県産業振興センターの専門家派遣事業を活用した際に要する経費の一部を補助した。

- ・対象事業 栃木県産業振興センター「専門家派遣事業」の採択を受けた中小企業者
- ・補助内容 専門家の相談業務に要する経費のうち、企業が負担する経費の全額(派遣1回につき1万6千円を年度内に4回まで)
- ・実績 7件

(3) 空き店舗活用促進事業

新規開業者や中小企業者が対象区域内の空き店舗で開業する際、空き店舗の家賃、店舗改装費を補助し、新規開業の支援を行った。

- ・対象事業 小売業、飲食業及びサービス業(風俗業及び遊戯業等は除く。)

- ・対象区域 栃木地域：(歴史的町並み景観形成区域、蔵の街大通り付近、嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区エリア)  
大平地域：(富田地区中心市街地商業振興会エリア)  
西方地域：(金崎商店会エリア)
- ・補助内容 空き店舗の12か月分の家賃の2分の1以内(限度額50万円)  
店舗改装費の2分の1以内(限度額100万円)  
専門家相談費用の2分の1以内(1回の限度額1万6千円を5回まで)
- ・実績 2件

## 5 制度融資

資金需要の増大や、市制度融資利用者を対象にした保証料の全額補助により、平成23年度より利用件数、金額ともに急増して推移した。

### (1) 市制度融資の利用状況

#### ア 中小企業向け資金融資

設備の合理化・経営の安定等に必要な事業資金の融資をするため、栃木県信用保証協会に18億8,600万円を預託し、その利用促進を図った。

#### (ア) 中小企業設備合理化資金

- ・融資限度額 2,000万円以内
- ・返済期間 10年以内(据置き6か月以内)
- ・年利 5年以内 1.7%  
5年超～7年以内 2.0%  
7年超 2.2%

#### ・融資状況

平成24年度		平成23年度		平成22年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
59件	353,925千円	49件	235,100千円	46件	276,300千円

#### (イ) 中小企業経営安定資金

- ・融資限度額 2,000万円以内
- ・返済期間 7年以内(据置き6か月以内)
- ・年利 3年以内 1.5%  
3年超～5年以内 1.7%  
5年超 1.9%

#### ・融資状況

平成24年度		平成23年度		平成22年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
464件	2,587,130千円	452件	2,483,750千円	473件	3,009,000千円

#### (ウ) 小規模企業者資金

- ・融資限度額 1,250万円以内

- ・返済期間 5年以内（据置き6か月以内）
- ・年利 3年以内 1.7%、  
3年超 1.8%
- ・融資状況 融資実績なし

イ 中小企業創業資金融資

起業や事業転換等の促進のため、設備資金や運転資金への融資を目的として、栃木県信用保証協会に2,700万円を預託し、その利用促進を図った。

- ・融資限度額 500万円以内
- ・返済期間 5年以内（据置き6か月以内）
- ・年利 1.7%
- ・融資状況

平成24年度		平成23年度		平成22年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7件	26,780千円	11件	37,500千円	2件	9,000千円

ウ 中小企業緊急景気対策特別資金融資

不況による売上の減少や、取引金融機関の破綻等により、金融取引に支障を来している事業所を金融面から支援し、経営の安定を図るため、栃木県信用保証協会に1億3,200万円を預託し、その利用促進を図った。

- ・融資限度額 売上の減少 1,000万円以内  
セーフティネット6号認定 1,000万円以内
- ・返済期間 5年以内（1年超の場合に据置き6か月以内）
- ・年利 1年以内 1.5%  
1年超～3年以内 1.7%  
3年超 1.8%
- ・融資状況

平成24年度		平成23年度		平成22年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
10件	88,000千円	7件	44,000千円	12件	61,000千円

エ まちづくり資金融資

歴史的町並み景観形成資金及び栃木駅周辺地区まちづくり資金の融資の取扱金融機関として足利銀行栃木支店、栃木信用金庫本店及び栃木銀行栃木支店を指定し、計500万円を預託した。

(7) 歴史的町並み景観形成資金

蔵の街大通りや巴波川周辺地区において魅力的な街づくりを推進するための、歴史的建造物を生かした景観修復等に対する融資。

- ・融資限度額 3,000万円以内
- ・返済期間 15年以内
- ・年利 5年以内 2.2%

5年超～10年以内 2.4%

10年超 2.7%

・融資状況 融資実績なし

(イ) 栃木駅周辺地区まちづくり資金

市の玄関口にふさわしい魅力ある街づくりを推進するための、栃木駅周辺地区の景観形成に対する融資。

・融資限度額 3,000万円以内

・返済期間 15年以内

・年利 5年以内 2.2%

5年超～10年以内 2.4%

10年超 2.7%

・融資状況 融資実績なし

オ 勤労者向け資金融資

(ア) 勤労者住宅資金

勤労者の住宅取得促進により、文化的で安定した生活を確保するため、中央労働金庫栃木支店に1,500万円を預託し、勤労者の住宅建設や用地取得に必要な資金への融資を行った。

・融資限度額 2,000万円以内

・返済期間 35年以内

・年利 2.78%

・融資状況 融資実績なし

カ 中小企業向け資金融資信用保証料補助

市制度融資の利用者が栃木県信用保証協会に支払う信用保証料を当該年度に全額補助し、また、予算の範囲内で補助する前年度保証料分割払い分についても全額補助し、その負担を軽減した。

・当該年度融資実行分（全額補助）

区分	平成24年度		平成23年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設備合理化	63	12,534,452	49	5,574,431
経営安定	481	57,768,389	452	51,982,123
小規模企業者	52	3,004,865	50	2,268,415
緊急景気	10	1,257,123	7	851,957
創業	8	554,767	11	905,887
計	614	75,119,596	569	61,582,813

・前年度分割払い分（予算の範囲内で補助）

区分	平成24年度 (補助率：100%)		平成23年度 (補助率：100%)		平成22年度 (補助率：100%)	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設備合理化	1	14,850	1	44,550	11	912,493
経営安定	10	208,655	13	829,605	148	21,077,262

小規模企業者	4	71,524	6	231,898	61	3,308,263
緊急景気	1	22,000	4	89,355	40	4,501,589
創業	0	0	0	0	7	279,270
計	16	317,029	24	1,195,408	267	30,078,877

(2) 経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定状況

・中小企業信用保険法第2条第4項第1～8号

（単位：件）

保険法	適用事項	平成24年度	平成23年度	平成22年度
第1号	連鎖倒産防止	—	—	—
第2号	取引先企業のリストラ等の事業活動の制限	—	—	—
第3号	突発的災害（事故等）	—	—	—
第4号	突発的災害（自然災害等）	—	—	—
第5号	業況の悪化している業種	128	215	422
第6号	取引金融機関の破綻	—	—	—
第7号	金融機関の経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整	—	—	—
第8号	金融機関の整理回収機構に対する貸付債権の譲渡	—	—	—
計		128	215	422

6 工場立地法に基づく届出について

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合を審査・指導した。

・届出件数

（単位：件）

計	新設	変更	廃止
7	1	5	1

7 大光寺工業団地管理事業

大光寺工業団地内施設（道路、公園、調整池等）の維持や、工場排水等による事故を未然に防止するため、団地内の見回り及び管理業務等を実施した。

大光寺工業団地の概要	総面積 15.2ha 分譲完了 昭和63年9月		
企業名（事業所名）	本社住所	工場所在地	製造品名
トヨタホーム(株)栃木事業所	名古屋市東区泉 1-23-22	大光寺町 3487-1	鉄骨系住宅
(株)ムトウユニパック栃木工場	江東区永代 1-7-12	大光寺町 1313-1	和・洋封筒
旭化学合成(株)栃木工場	板橋区小豆沢 3-6-7	大光寺町 3487-8	合成接着剤

8 大光寺工業団地連絡協議会

団地内施設の適正な維持管理を図るため、市及び立地企業で組織する大光寺工業団地連絡協議会の活動として、定期的に清掃等を実施した。

(1) 工業団地管理事業

道路・公園等敷地清掃

・実施回数 12回 ( 4月25日、5月23日、6月27日、7月25日、8月22日、9月26日  
10月24日、11月28日、12月26日、1月23日、2月27日、3月27日 )

(2) 草刈り

緊急雇用創出事業にてシルバー人材センターに委託

・実施回数 3回(7月、9月、11月)

9 陸砂利採石監視事業

砂利・岩石採取に伴う採取地及び周辺地域における事故・不正採取の未然防止を図るため、監視員を委嘱し定期的に監視活動を実施した。

・活動実績

区 分	箇所数 (か所)	総認可面積 (㎡)
砂利採取法に基づく認可地	9	222,062
採石法に基づく認可地	8	2,838,599

10 労働者の福祉施策

中小企業労働者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図るため、勤労者総合福祉センターの管理運営事業をシダックス大新東ヒューマンサービス㈱に委託し、各種講座を実施した。

・利用者数

使用区分	1階会議室	2階会議室	教養文化室	多目的ホール	職業技能講習室	研修室	個人多目的ホール	個人1階会議室	合計
件数(件)	405	279	113	992	296	183	579	26	2,873
人数(人)	4,672	6,624	1,004	22,851	3,127	2,218	1,897	636	43,029

・自主講座参加者数

講座名	第1期(各10回)		第2期(各10回)		第3期(各9回)		平均年齢 (歳)	合計 (人)
	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)		
実用書	5月7日 ～7月9日	69	休 講	—	休 講	—	64	69
筋力アップ	5月7日 ～7月9日	444	8月20日 ～11月5日	455	12月10日 ～3月4日	403	59	1,302
押花アート	5月7日 ～7月9日	143	8月20日 ～11月5日	134	12月10日 ～3月4日	118	60	395
エアロビクス	5月9日 ～7月11日	381	9月5日 ～11月7日	370	1月9日 ～3月6日	265	55	1,016
リズム体操	5月10日 ～7月12日	571	9月6日 ～11月8日	518	1月10日 ～3月7日	464	67	1,553
社交ダンス	5月10日 ～7月12日	199	9月6日 ～11月8日	142	1月10日 ～3月7日	99	66	440
健康体操	5月12日 ～7月21日	528	8月25日 ～11月24日	414	12月10日 ～3月4日	352	65	1,294

合計		2,335		2,033		1,701	62	6,069
----	--	-------	--	-------	--	-------	----	-------

・単発講座、イベントの参加人数

名 称	開催日	人数(人)	名 称	開催日	人数(人)
ふれあいパーティー	4月15日(日)	52	メイクレッスン講座①	9月29日(土)	6
太極拳講座	4月26日(木)	5	ふれあいパーティー	10月21日(日)	40
フリーマーケット	5月20日(日)	30	メイクレッスン講座②	11月17日(土)	2
八方ヶ原ハイキング	5月27日(日)	11	バウンドテニス講座	11月25日(日)	14
ふれあいパーティー	6月10日(日)	38	単身体力測定	12月13日(木)	13
フリーマーケット	6月17日(日)	50	ふれあいパーティー	12月15日(土)	33
フリーマーケット	7月15日(日)	36	ふれあいパーティー	2月10日(日)	39
折り紙講座	7月29日(日)	12	親子で楽しいバルーン講座	2月17日(日)	14
ふれあいパーティー	9月2日(日)	39	廃油石鹸作り講座	2月21日(木)	13
アフターパーティー	9月2日(日)	15	生活に生かす書講座	3月4日(月)	19
フリーマーケット	9月16日(日)	45	勤総フェスティバル (フリーマーケット含む)	3月10日(日)	852

#### 11 労働団体の支援

連合栃木下都賀地域協議会の実施する勤労者福利厚生事業等に対して補助を行うことにより、事業実施を支援した。

名 称	補助額(円)
第83回栃木県メーカー下都賀地区大会補助金	50,000
福利厚生活動補助金	130,000
内 訳	
スポーツ大会	10,000
野球大会	40,000
家族ふれあい行事	40,000
列島クリーン作戦	10,000
新春の集い	30,000

#### 12 栃木市就業安定対策協議会

市内企業及び関係団体の代表者等で組織する栃木市就業安定対策協議会の活動として、安定した就労の促進と職場内における人権問題の早期解決を図るため、市民及び市内企業に対して各種啓発活動等を実施した。

##### (1) 求人情報の提供

ハローワークとちぎ求人情報の配布(通年)

##### (2) 会議及び啓発事業

実施日	内 容
7月6日(金)	第1回栃木市就業安定対策協議会開催

11月26日(月)	人権リーフレットを送付(市内企業459社)
12月4日(火)	人権啓発活動参加
12月8日(土)	「人権を考える市民の集い2012」協賛 参加者へ啓発資料を配布

### 13 中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業

中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着に努めた。

#### 事業団体

- ・ 栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンター(愛称 ウェルワークとちぎ)
- ・ 理事長 鈴木俊美
- ・ 所在地 日ノ出町14-36
- ・ 会員数 事業所数 523 か所  
従業員数 1,032 人

#### (1) 会議関係

日時	場所	内容
5月10日(木)	市民会館	第1回サービスセンター担当主管課長会議
5月17日(木)	栃木保健福祉センター	第1回サービスセンター理事会
3月14日(木)	市民会館	第2回サービスセンター担当主管課長会議
3月21日(木)	市民会館	第2回サービスセンター理事会

#### (2) 実施事業

##### ア 余暇活動事業

##### (ア) スポーツ・レクリエーション事業及び旅行事業

区分	内容	場所	参加人員(人)
6月9日(土)	プロ野球観戦とランチバイキングバスツアー	東京ドーム	39
6月27日(水)	ボウリング大会	サンプラザボウル	29
9月2日(日)	ゴルフコンペ	栃木ヶ丘ゴルフクラブ	20
10月24日(水)	ボウリング大会	サンプラザボウル	38
12月1日(土)	栃木県内4共済会合同事業 「東京ディズニーランドパーク・ファン・パーティーバスツアー」	東京ディズニーシー	39
1月14日(月)	おたのしみバスツアー	東京スカイツリー	38
合 計			203

##### (イ) 旅行等補助事業

(単位: 件)

宿泊施設利用補助	131
提携ツアー利用補助	21

##### イ 余暇施設利用事業

(単位: 人)

提携施設名	利用人数
-------	------

東武ハッピーフリーパス（東武動物公園）	582
那須ハイランドパーク	487
東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	1,072
シネマロブレ5（映画館）	1,318
小山温泉「思川」	286
エーデルワイス・スキーリゾート	16
大平ぶどう団地（ぶどう狩り）	154
アグリの郷（いちご狩り）	41
総合運動公園プール	263
栃木温泉「湯楽の里」	52
合 計	4,271

ウ 在職中の生活安定事業

慶弔給付金（単位：件）

給付項目	件 数
結 婚 祝 金	5
出 産 祝 金	19
銀 婚 祝 金	6
入 学 祝 金	113
死 亡 弔 慰 金	35
傷 病 見 舞 金	5
成 人 祝 金	0
合 計	183

エ 文化教養健康事業

(ア) 自己啓発事業

区 分	内 容	場 所	参加人数(人)
11月20日(火)	フラワーアレンジメントとガーデニング教室	市民会館	17
12月8日(土)	しめ縄教室	市民会館	12
2月23日(土)	ビーズアクセサリー教室	市民会館	9
通 年	各種チケットのあっせん	大平文化会館等	78
合 計			116

(イ) 健康の維持増進事業

(単位：人)

人間ドック・脳ドック助成事業	26
インフルエンザ予防接種受診助成事業	134

オ 広報宣伝活動（PR活動）

会報「ウェルワークとちぎ」を年6回発行

カ 会員勧誘活動

1市1町の全世帯にチラシを回覧し、サービスセンターの周知及び加入促進を図った。

また、従来の会員に対し、新会員の紹介キャンペーンの期間を設定し、新会員の

加入を図った。

キ その他

会員の誕生日に「バースデープレゼント」として「ジェフグルメカード（千円相当）」を贈呈した。

#### 14 栃木市企業連絡協議会

栃木市内既存企業の定着を促進し、さらなる産業集積の一助とするため、また、市と企業、企業同士の業種間の情報交換及び各種連携の場のひとつとして、市内で製造業を営む企業で本会を設置した。

- ・講演会 日時 2月13日(水)  
場所 サンプラザ  
講演 「地域連携と地域活性化」について  
講師 松本 謙氏

・会員企業 (単位：事業所)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	合計
20	8	1	5	5	39

#### 15 産業財産権取得費補助金

市内の中小企業者の競争力を高めることが本市における産業の活性化につながることから産業財産権の取得を促進するための補助制度を創設した。

- ・対象 象 産業財産権を取得した中小企業者
- ・対象となる産業財産権 特許権、実用新案権、意匠権、商標権
- ・補助・助成金の内容 特許等取得に対する助成  
取得後6か月以内に申請  
取得対象費用の2/3とする  
(特許権は50万円を、それ以外は10万円を限度とする)

・補助実績 (単位：件)

特許権	実用新案権	商標権	合計
1	1	1	3

### 観光振興担当

#### 1 観光振興宣伝事業

本市は、見世蔵や土蔵が立ち並ぶ蔵の街大通り、重要伝統的建造物群保存地区に選定された嘉右衛門町地区、桜とアジサイの太平山、古刹と手打そばの出流など、歴史的文化遗产と美しい自然に恵まれており、平場の観光地として個性豊かな表情を持っている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を制作・配布するとともに、

各種観光展等への出展や観光キャンペーンを実施し、さらに、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

(1) 観光パンフレット等の制作・配布 (単位：部)

名称	作成部数	配布部数
総合パンフレット	40,000	25,000
るるぶ栃木市	—	38,000
蔵の街散策マップ (蔵の街ウォーキングマップ)	143,000	133,000
太平山	—	30,400
出流・星野	—	8,500

(2) 観光展等への出展

ア 第23回中央区大江戸まつり盆おどり大会

- ・実施日 8月24日(金)、25日(土)
- ・会場 浜町公園(東京都中央区)

イ 平成24年度春の関東甲信静観光展

- ・実施日 2月2日(土)
- ・会場 池袋メトロポリタンプラザビル1F自由通路

(3) 広域観光推進事業

ア 下都賀地区広域観光開発推進協議会

構成団体 3市3町(栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町)

(ア) パンフレットの作成(栃木市分) (単位：部)

名称	作成部数	配布部数
総合ガイドマップ	800	200

(イ) 観光キャンペーンへの参加

新宿西口「やすらぎの栃木路」フェア

- ・実施日 9月22日(土)～25日(火)
- ・会場 新宿駅西口

イ 例幣使道軸共同開発協議会

構成団体 4市(栃木市、足利市、佐野市、鹿沼市)

(ア) パンフレットの作成(栃木市分) (単位：部)

名称	作成部数	配布部数
みどころガイドマップ	5,000	5,000

(イ) イベントへの参加

東武沿線ダイヤ改正記念イベント

- ・実施日 3月16日(土)
- ・会場 東京ソラマチ 5F スカイアリーナ

(4) 「やすらぎの栃木路」観光キャンペーンへの参加

実施日	キャンペーン名

8月8日(水)	「やすらぎの栃木路」東京キャンペーン
8月28日(火)	「やすらぎの栃木路」福島キャンペーン
9月4日(火)	「やすらぎの栃木路」仙台キャンペーン
9月22日(土)～25日(火)	新宿駅西口「やすらぎの栃木路」フェア ※下都賀地区広域観光開発推進協議会として参加
1月17日(木)	「やすらぎの栃木路」首都圏キャンペーン
1月24日(木)	「やすらぎの栃木路」埼玉キャンペーン
1月29日(火)	「やすらぎの栃木路」千葉キャンペーン
2月6日(水)	「やすらぎの栃木路」横浜キャンペーン
2月10日(日)	「やすらぎの栃木路」立川キャンペーン
2月19日(火)	「やすらぎの栃木路」前橋キャンペーン
3月19日(火)	「やすらぎの栃木路」大宮キャンペーン
3月21日(木)	「やすらぎの栃木路」上野キャンペーン

(5) マスメディアへの取材協力

ア 新聞・雑誌

新聞・雑誌	取材内容
朝日新聞	花まつり、あじさいまつり、とちぎ秋まつり
読売新聞	とちぎ秋まつり
毎日新聞	とちぎ秋まつり
下野新聞	花まつり、あじさいまつり、うずまの鯉のぼり、オクトーバーフェスト2012、うずま冬ほたるキラフェス2012、寒晒しそば（出流地区）
アスポ	とちぎ秋まつり

イ テレビ・ラジオ

テレビ・ラジオ	取材内容
日本テレビ	巴波川遊覧船、蔵の街
NHK	巴波川遊覧船
NHK宇都宮	うずまの鯉のぼり
NHKBSプレミアム	うずまの鯉のぼり、太平山
日本テレビ	巴波川遊覧船、蔵の街
BS-ジャパン	蔵の街
とちぎテレビ	巴波川遊覧船、蔵の街
テレビ東京	巴波川遊覧船、蔵の街
とちぎケーブルテレビ	巴波川遊覧船、蔵の街、あじさいまつり、オクトーバーフェスト2012、うずま冬ほたるキラフェス2012、寒晒しそば（出流地区）、とちぎの四季観光写真コンテスト
レディオベリー	巴波川遊覧船、蔵の街、オクトーバーフェスト2012、うずま冬ほたるキラフェス2012

栃木放送	オクトーバーフェスト2012
------	----------------

ウ インターネット

インターネット	取材内容
るるぶ.com	あじさいまつり、百八灯流し
まっふるnet	太平山
下野新聞「SOON」	あじさいまつり、オクトーバーフェスト2012、うずま冬ほたるキラフェス2012、寒晒しそば（出流地区）
JR駅長のおすすめ情報	とちぎあじさいまつり

2 栃木市ブランド推進事業（とちぎ小江戸ブランド）

本市のお土産品及び特産品の知名度向上、販売促進及び本市全体のイメージアップを目的に、栃木市ブランド推進協議会を設立し、ブランド品の認定及びロゴマークを決定した。

本事業では、合併前の「おおひらブランド」、「ふじおかブランド」、「つがブランド」、さらに商工会議所で進めている「とちぎ蔵ものがたり」をオール栃木市でまとめ、さらに新たな品目も加え、内容を充実させた。また、「とちぎ小江戸ブランド」パンフレットを作成した。

(1) 栃木市ブランド推進協議会

- ・委員 20人
- ・会議開催状況

日程	会議	議事内容
7月30日(月)	第1回推進協議会	協議会設置要綱(案)、専門部会設置要領(案)、認定要領(案)、認定基準(案)、平成24年度予算(案)、ブランド品及びロゴマークの募集について
12月20日(木)	第1回PR部会	ブランドロゴマーク審査会、ブランド認定品パンフレット作成について
1月16日(水)	第1回選定部会	ブランド品審査会について
1月22日(火)	第2回PR部会	ブランド品パンフレット審査会について
1月22日(火)	第2回推進協議会	ブランド品の審査結果、ブランドロゴマークの選考結果、ブランド品パンフレット作成業務の委託業者について

(2) ブランドロゴマークの募集

- ・募集期間 10月1日(月)～11月8日(木)
- ・応募点数 117点(72人)

(3) ブランド品認定

- ・募集期間 10月1日(月)～11月8日(木)

・申請状況

(単位：点)

	申請数	内 訳		
		加工品	工芸品	農産物
既存ブランド	21	14	2	5
新規ブランド	23	13	1	9

※既存ブランドとは平成22年3月の合併前に認定された「おおひらブランド」、「ふじおかブランド」及び「つがブランド」、並びに栃木商工会議所で進めている「とちぎ蔵ものがたり」の認定品

・審査結果

(単位：点)

	申請数	内 訳		
		加工品	工芸品	農産物
認定品	37	25	1	11
推奨品	7	2	2	3
不適合品	—	—	—	—

※評価基準に基づき採点し、40点以上の申請品は「認定品」、35点以上40点未満の申請品は「推奨品」、35点未満の申請品は「不適合品」

(4) ブランド品パンフレットの作成（とちぎ小江戸ブランド）

・作成部数 30,000部

・配布先 金融機関窓口、市内タクシー会社、観光施設等、道の駅みかも、道の駅にしかた、市内各観光協会、ブランド品掲載店舗（認定品数44）、とちまるショップ、市役所（本庁、各総合支所）

3 栃木県東京スカイツリーアンテナショップ事業

栃木県のアンテナショップ「とちまるショップ」を活用し、東京スカイツリーを訪れる国内外の観光客や周辺地域及び都心・近郊各沿線の居住者等、様々なお客様に栃木市のPRを行い、観光客の増加を図った。

・「とちまるショップ」での観光PR実施結果

回数	実施日
第1回	7月14日（土）、15日（日）
第2回	9月22日（土）、23日（日）
第3回	10月26日（金）
第4回	1月30日（水）

4 緊急雇用創出・訪日外国人観光客誘致事業

国の緊急雇用創出事業を活用し、栃木市に訪日外国人観光客を誘致するために、栃木市観光協会に事業委託し、多言語観光パンフレットの作成、ホームページの多言語化、

案内板の外国語併記、旅行会社と連携したインバウンド商品の開発、留学生モニターツアー等を実施した。

(1) 多言語観光パンフレットの作成

(単位：部)

英語	5,000
中国語（繁体字）	5,000
韓国語	5,000

(2) 留学生モニターツアー

・実施日 12月1日（土）、2日（日）

・参加者 16人  $\left( \begin{array}{l} \text{中国3人、台湾2人、韓国2人、リトアニア2人、タイ1人} \\ \text{ウズベキスタン1人、インドネシア1人、アメリカ1人} \\ \text{マレーシア1人、スリランカ1人、チュニジア1人} \end{array} \right)$

## 5 観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

(1) 太平山桜まつり

・実施期間 4月6日（金）～4月15日（日）

・場 所 太平山県立自然公園、錦着山、永野川緑地公園

・主 催 太平山桜まつり実行委員会

・人 出 約79,000人

(2) とちぎあじさいまつり

・実施期間 6月15日（金）～7月8日（日）

・場 所 太平山県立自然公園（あじさい坂）

・主 催 栃木市、（社）栃木市観光協会、栃木市観光ボランティア協会

・人 出 約83,000人

(3) 蔵の街サマーフェスタ

・実施日 8月4日（土）、5日（日） 午後4時～9時

・場 所 蔵の街大通り、銀座通り、巴波川

・主 催 蔵の街サマーフェスタ実行委員会

・共 催 （社）栃木市観光協会、（社）栃木青年会議所、栃木商工会議所青年経営者会、うずま川遊会

・後 援 栃木市、栃木市教育委員会、栃木商工会議所、栃木市自治会連合会ほか

・人 出 約75,000人

(4) とちぎ秋まつり

・実施日 11月9日（金）～11日（日） 午前10時～午後9時

・場 所 蔵の街大通りを中心として、その周辺及び山車所有町内

・主 催 平成24年とちぎ秋まつり実行委員会

・共 催 栃木市、栃木商工会議所、社団法人栃木市観光協会、栃木市商店会連合会、とちぎの山車祭り伝承会

- ・後援 東日本旅客鉄道(株)、東武鉄道(株)、関東自動車(株)、新聞各社 ほか
- ・人出 約351,000人

(5) 小江戸サミット2012in川越

- ・実施日 11月18日(日) 午前10時～午後7時30分
- ・会場 川越市内
- ・主催 川越市、香取市、栃木市、川越小江戸サミット推進委員会、小江戸さわら会、小江戸とちぎ会
- ・行事内容 講演会、子ども観光ガイド、交流会

(6) 第3回とちぎの四季観光写真コンテスト

- ・募集期間 10月1日(月)～1月18日(金)
- ・主催 栃木市、(社)栃木市観光協会、大平町観光協会、栃木市藤岡町観光協会、つがまち観光協会、西方町観光協会
- ・協賛 栃木県カメラ商組合栃木支部
- ・応募総数 283点(99人)
- ・入賞作品 最優秀賞1点、優秀賞3点、春夏秋冬賞4点、観光協会賞5点、入選7点
- ・展示会場 とちぎ山車会館、あじさいまつり会場、大平図書館、藤岡スポーツふれあいセンター、つがの里ふるさとセンター、道の駅にしかた

6 観光施設整備事業

(1) 鯉飼育管理事業

ア 飼育場の環境整備

河川愛護会、自治会連合会、保健委員連合会の共催による巴波川一斉清掃に参加し、モク刈り、川底投棄物の回収等の実施に協力した。

実施日	実施個所
5月27日(日)	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
7月29日(日)	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
10月21日(日)	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀

イ 鯉の放流

コイヘルペスウイルス病まんえん防止のため、平成16年から鯉の放流が禁止されているが、蔵の街の観光資源であるコイが巴波川や県庁堀から姿を消し魅力が薄れていることから、放流の可能性について県と協議を行った。その結果、PCR検査(コイヘルペスウイルス陰性検査)を受けた鯉に限り放流できるとの回答を得たため、同検査を受けた錦鯉を県庁堀へ試験的に放流している。

- ・錦鯉放流数 約100匹

7 観光客入込状況

(1) 各地域入込状況

(単位：人)

	平成24年度	平成23年度	平成22年度
栃木	2,394,570	1,728,728	2,351,164

大 平	530,298	506,413	564,532
藤 岡	984,345	993,393	1,107,885
都 賀	194,445	35,366	234,402
西 方	286,152	282,549	295,516
合 計	4,389,810	3,546,449	4,553,499

(2) 主要地点入込状況

(単位：人)

	平成24年度	平成23年度	平成22年度
太 平 山	1,332,314	1,111,576	1,315,586
出 流	508,100	421,780	481,525
星 野	263,163	238,643	259,265
蔵 の 街	624,250	306,025	644,766
み か も 山	131,872	132,012	87,976
渡良瀬遊水地	531,798	559,161	614,511

(3) 観光施設等入込状況

(単位：人)

	平成24年度	平成23年度	平成22年度
太 平 山 神 社	170,220	147,000	118,000
出 流 山 満 願 寺	52,100	55,780	33,525
塚 田 歴 史 伝 説 館	15,063	16,043	21,549
郷 土 参 考 館	11,525	9,217	13,901
横 山 郷 土 館	5,779	4,892	7,332
あ だ ち 好 古 館	3,276	4,048	4,745
岡 田 記 念 館	10,864	10,894	13,618
と ち ぎ 山 車 会 館	25,220	23,945	30,442
山本有三ふるさと記念館	7,463	7,155	9,258
とちぎ蔵の街美術館	27,107	16,563	15,665
旧 栃 木 駅 舎 保 存 館	2,614	2,383	1,922
ア グ リ の 郷	15,500	9,810	11,210
岩 下 記 念 館	6,223	6,087	6,476
蔵 の 街 遊 覧 船	22,349	21,107	29,927
大 中 寺	63,630	69,692	71,232
清 水 寺	47,760	48,855	50,310
観 光 ぶ ど う 園	137,500	135,200	140,000
か か し の 里	17,870	18,701	19,419
プ ラ ッ ツ お お ひ ら	108,249	92,781	128,200
歴史民俗資料館白石家戸長屋敷	8,455	4,056	3,746
道 の 駅 み か も	387,482	389,050	445,095
渡 良 瀬 の 里	26,188	24,693	27,182
花 之 江 の 郷	15,141	13,759	18,900

つがの里ふるさとセンター	30,904	14,407	19,222
大 柿 花 山	5,000	3,200	4,400
お び く に 公 園	120	320	320
ふ れ あ い パ ー ク	240	1,180	1,180
道 の 駅 に し か た	283,592	280,749	291,516

## 8 観光施設等利用状況

### (1) 山車会館入館状況

(単位：人)

		平成24年度	平成23年度	平成22年度
4月		1,715	866	2,278
5月		2,895	2,162	3,772
6月		3,659	3,999	5,210
7月		1,561	1,601	2,260
8月		1,101	1,092	1,470
9月		2,228	1,985	2,878
10月		3,680	3,366	3,440
11月		2,583	4,562	3,910
12月		792	1,382	1,446
1月		899	657	1,200
2月		2,982	1,220	1,905
3月		1,125	1,053	673
総 計		25,220	23,945	30,442
内 訳	有 料			
	割引有	10,511	13,960	19,152
	割引無	7,910	5,656	7,310
	無 料	6,799	4,329	3,980

### (2) 倭町駐車場（蔵の街第一駐車場）利用状況

(単位：台)

		平成24年度	平成23年度	平成22年度
4月		3,172	2,858	2,768
5月		2,883	3,127	2,764
6月		2,906	3,095	2,603
7月		3,938	3,444	3,269
8月		2,606	2,433	2,021
9月		2,289	2,567	2,360
10月		2,638	2,272	2,400
11月		2,062	2,454	2,118

12月	3,276	3,250	3,212
1月	2,300	2,310	2,151
2月	2,129	2,213	2,329
3月	2,517	2,546	2,151
総計	32,716	32,569	30,146

(3) 山車会館前広場利用状況

実施日	行事	主催等
5月5日(土)、6日(日)	小江戸とちぎ人形まつり	小江戸とちぎ人形まつり実行委員会
6月9日(土)、10日(日)	県名発祥の地大博覧会	栃木市商店会連合会
8月4日(土)、5日(日)	蔵の街サマーフェスタ	蔵の街サマーフェスタ実行委員会
11月10日(土)、11日(日)	とちぎ秋まつり 栃っ子茶屋	とちぎ秋まつり実行委員会 栃木市商店会連合会 ほか
2月23日(土)、3月3日(日)	とちぎのあそ雛まつり	とちぎの雛まつり実行委員会

(4) とちぎ蔵の街観光館利用状況

月	多目的ホール		蔵座敷	
	回数(組)	人員(人)	回数(組)	人員(人)
4	28	772	4	24
5	42	1,048	16	125
6	27	389	4	29
7	11	200	1	30
8	26	759	8	350
9	30	674	3	49
10	31	568	6	44
11	32	1,192	17	199
12	18	254	3	34
1	29	548	10	200
2	23	620	7	143
3	33	1,513	13	90
計	330	8,537	92	1,317

9 巴波川利用促進団体連絡協議会(うずま川遊会)

(1) 巴波川を利用したイベントの企画、調整、運営に関すること

ア うずまの鯉のぼり

- ・実施日 4月7日(土)～5月13日(日)
- ・場所 巴波川及び巴波川綱手道(常盤橋～幸来橋～巴波川橋下)

イ 蔵の街サマーフェスタ『舟行イベント』及び百八灯流しへの協力

- ・実施日 8月4日(土)、5日(日)
- ・場 所 巴波川(塚田歴史伝説館前)
- ウ オクトーバーフェスト in 蔵の街 2012
  - ・実施日 10月5日(金)～8日(月)
  - ・場 所 栃木駅北口ひろば
- エ うずま冬ほたるキラフェス 2012
  - ・実施日 10月19日(金)～1月14日(月・祝)
  - ・場 所 巴波川(倭橋～幸来橋～瀬戸河原公園・うずま公園)
- オ 舟行イベント
  - ・実施日 通年実施(年末年始を除く)
  - ※平日については(社)栃木市観光協会と連携して実施
  - ・場 所 巴波川 幸来橋～瀬戸河原堰

(2) 巴波川に関する啓発活動

ア 協議会として河川清掃への参加、実施

- ・参加日 5月27日(日)
- 7月29日(日)
- 10月21日(日)

イ PR・アイデア募集

- ・ホームページによるPR
- ・各種メディアを通じたPR
- ・ブログの管理(うずま川遊会ブログ)

10 フィルムコミッション事業

本市の知名度向上を図るとともに、ロケ地を広く紹介することにより地域イメージのブランド化を図ることを目的として、映画やテレビ等のロケーション撮影を積極的に誘致した。

・ロケーション撮影支援件数 (単位：件)

映 画	ドラマ	情報番組	その他	合 計
2	12	10	7	31

11 倭町小江戸ひろば管理運営事業

市街地に存する倭町小江戸ひろばの管理運営及び交流センター内における観光案内を栃木市観光協会へ委託することにより、観光客へのおもてなしを図った。

## 第2節 農林課

### 〔総括概要〕

農業は、国民に対する食料の安定的な供給という重要な役割を果たしているだけでなく、自然環境の保全、土壌浸食防止、気候変動の緩和、特徴的な景観及び文化伝統の形成など多面的かつ公益的な機能をも果たしている。

しかし、今日の農業は、食料自給率の低迷、農家数の減少や農業者の高齢化の進行、後継者不足、耕作放棄地の拡大、さらに東日本大震災による福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の飛散等による風評被害など、非常に厳しい状況が続いている。

こうした状況下で、「食料・農業・農村基本法」に基づき、農産物の安定供給機能の強化や農業経営安定化の推進、多面的機能の保全や、生産者と消費者、都市と農村の相互理解と交流・共生を可能とする施策の展開を図ってきた。

本市は、恵まれた気候、地形等の自然条件に加え、首都圏に位置することから、重要な食料供給地としての役割を担っており、これらに適切に対処するため、農業金融制度の充実や補助事業の導入により、土地利用型農業の体質強化と担い手の育成、新規就農者への支援、野菜・花きなどの園芸作物の生産振興、農業生産基盤の計画的整備その他農畜産物の消費拡大等の各種事業を推進した。

また、農村の活性化と都市住民の余暇活動に対するニーズへの対応として、グリーンツーリズム基本構想に基づき、その実現に向け栃木市グリーンツーリズム推進協議会及び地区協議会等における具体的な事業の検討と取組を実施している。

一方、林業においては、採算性の低下や担い手の高齢化などにより、手入れの行き届かない森林が多く残っているのが現状であり、健全な森林を育成する間伐等の森林整備を着実に推進することが緊急の課題になっている。

このような中、森林の有する多面的機能の確保を目指しながら、林業生産基盤の整備をはじめとして、森林の適正な管理の推進、林業関連事業体及び担い手の育成、間伐を中心とした森林整備の普及啓発を推進した。

さらに、人と自然環境の共生を図るため、野生鳥獣の適正な保護管理対策の推進や、森林のアメニティ効果の面から、レクリエーションや保健休養の場としての利用の促進を図った。

農業振興担当

1 農業者戸別所得補償制度

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、戸別所得補償制度の推進により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米の所得補償交付金

本市栃木地域に提供された平成24年産米に係る需要情報は7,571トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会栃木地区と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稻生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	3,070人
水稻生産実施計画書提出農業者数(①)	2,018人
生産確定数量の計(積算式)	7,513,017kg
作付確定面積(積算式)(②)	14,996,418㎡
主食用等水稻作付面積の計(積算式)(③)	11,750,925㎡
差引(②-③)	3,245,493㎡
水稻生産確定面積に対する 主食用等水稻作付面積の割合(③÷②)	78.4%

(2) 水田活用の所得補償交付金

・戦略作物作付面積(交付対象面積) (単位:㎡)

二条大麦	5,857,100
大豆	615,300
そば	247,100
飼料作物	543,500
新規需要米・加工用米	3,149,300

(3) 農政協力員会議

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会との連携により、農政協力員会議を開催した。

・農政協力員会議の開催状況

開催日	参加者数(人)
3月13日(水)、14日(木)	93

2 農業制度資金関係

(1) 農業近代化資金利子補給費

農業者が資本整備の高度化及び農業経営の近代化を図るため融資機関から借り入れた資金に対し利子補給を行い、安定した農業経営の推進について支援を行った。

・ 利子補給金額

(単位：円)

区 分	上期		下期		利子補給金合計
	融資平均残高	利子補給金	融資平均残高	利子補給金	
下野農協	58,192,430	289,881	91,972,140	501,350	791,231
上都賀農協	-	-	3,012,192	36,943	36,943
栃木県酪農協	994,536	5,221	1,500,274	6,000	11,221
酪農とちぎ	-	-	794,822	5,563	5,563
栃木県開拓農協	-	-	5,056,088	35,392	35,392
栃木信用金庫	598,356	2,992	604,931	3,025	6,017
足利銀行	-	-	-	-	-
合 計	59,785,322	298,094	102,940,447	588,273	886,367

・ 特別利子（上乘せ分）

(単位：円)

区 分	上期		下期		利子補給金合計
	融資平均残高	利子補給金	融資平均残高	利子補給金	
下野農協	31,238,797	113,616	28,280,140	101,458	215,074
上都賀農協	-	-	-	-	-
栃木県酪農協	-	-	-	-	-
酪農とちぎ	-	-	-	-	-
栃木県開拓農協	-	-	-	-	-
栃木信用金庫	-	-	-	-	-
足利銀行	-	-	-	-	-
合 計	31,238,797	113,616	28,280,140	101,458	215,074

・ 新規融資申請状況

区 分	申請件数(件)	申請金額(千円)
下野農協	15	58,520
上都賀農協	4	18,110
栃木県酪農協	1	8,100
酪農とちぎ	-	-
栃木県開拓農協	-	-
栃木信用金庫	-	-
栃木銀行	-	-
足利銀行	1	2,410
合 計	21	87,140

(2) 農業経営基盤強化資金利子助成関係

経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営者の育成支援を図るため、農業経営基盤強化促進法における農業経営改善計画の認定を受けた農業者が融資機関から借入れた資金に対し利子助成を行い、経営改善の支援を行った。

・ 利子助成金額

件 数	融資平均残高	利子助成金額
27件	460,106,461円	838,661円

・ 新規融資申請状況

申請件数	申請金額合計
-	-

(3) 栃木市がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給費

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故により、出荷停止等の損失を受けた農業者が融資機関から借り入れた緊急支援資金に対し利子補給を行い、被害農家の一刻も早い復旧と経営安定の支援を行った。

・ 利子補給金額

(単位：円)

区 分	上期		下期		利子補給金合計
	融資平均残高	利子補給金	融資平均残高	利子補給金	
下 野 農 協	9,558,904	71,690	9,243,836	69,328	141,018
上 都 賀 農 協	1,495,890	11,219	1,311,781	9,838	21,057
合 計	11,054,794	82,909	10,555,617	79,166	162,075

・ 新規融資申請状況

申請件数(件)	申請金額合計(千円)
-	-

3 農業経営基盤強化促進事業

地域の実態に即した農業、農村の振興を図るため、地域農業者の創意と意欲を生かし、自主性に基づいた活動を促進するとともに、農用地等の確保及び有効利用と農用地利用集積事業を中心とする農用地の利用権等の集積を通じて、認定農業者等、今後育成すべき農業者の確保と集落機能の活性化等を図った。

(1) 経営改善支援活動事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などの支援活動を実施した。

・ 農業経営改善計画認定者数 147人

4 戸別所得補償経営安定推進事業

地域での話し合いに基づいて、地域の中心となる経営体、農地集積の方法及び地域農業のあり方等定めた「栃木市人・農地プラン」を本年度策定し、担い手への農地集積をより一層促進させるとともに青年就農者の育成を図った。

(人農地プラン作成事業)

栃木市人・農地プラン検討会開催回数 4回

(農地集積協力金)

補助対象者 19人

農地集積協力金補助金 8,900,000円  
 (青年就農給付金)  
 青年就農者数 6人  
 青年就農給付金補助金 5,625,000円

5 農用地利用集積事業

(1) 農地流動化関連事業

認定農業者等、今後育成すべき農業者に農地を集積し規模拡大を図るため、農業委員会との連携のもと、農地の貸し借り等、掘り起こし活動を実施し、農業経営基盤強化促進法による農地の流動化を推進した。

(2) 農用地利用集積計画策定状況

番号	公告年月日	告示番号	利用権等の種類	面積(㎡)
1	平成24年4月1日	栃木市告示第130号	利用権の設定	595,128
2	平成24年4月1日	栃木市告示第131号	所有権の移転	24,779
3	平成24年5月1日	栃木市告示第166号	利用権の設定	346,807
4	平成24年5月1日	栃木市告示第167号	所有権の移転	3,900
5	平成24年6月1日	栃木市告示第200号	利用権の設定	371,054
6	平成24年6月1日	栃木市告示第201号	所有権の移転	6,916
7	平成24年6月29日	栃木市告示第230号	利用権の設定	162,333
8	平成24年6月29日	栃木市告示第231号	所有権の移転	22,436
9	平成24年8月1日	栃木市告示第261号	利用権の設定	32,863
10	平成24年8月1日	栃木市告示第262号	所有権の移転	3,982
11	平成24年8月31日	栃木市告示第288号	利用権の設定	29,038
12	平成24年8月31日	栃木市告示第289号	所有権の移転	4,719
13	平成24年10月1日	栃木市告示第313号	利用権の設定	97,641
14	平成24年10月1日	栃木市告示第314号	所有権の移転	1,970
15	平成24年11月1日	栃木市告示第341号	利用権の設定	293,142
16	平成24年11月30日	栃木市告示第371号	利用権の設定	447,236
17	平成24年11月30日	栃木市告示第372号	所有権の移転	8,300
18	平成24年12月28日	栃木市告示第392号	利用権の設定	914,889
19	平成25年1月4日	栃木市告示第2号	所有権の移転	8,102
20	平成25年2月1日	栃木市告示第29号	利用権の設定	470,305
21	平成25年3月1日	栃木市告示第53号	利用権の設定	381,741
22	平成25年3月1日	栃木市告示第54号	所有権の移転	17,297
23	平成25年3月29日	栃木市告示第107号	利用権の設定	302,173
24	平成25年3月29日	栃木市告示第108号	所有権の移転	14,267
合 計				4,561,018

農用地利用集積計画				
期間	利用権設定（転貸及び経営受委託を除く）面積（ha）			
	田	畑	樹園地	合計
1～5年	256.2	6.9	-	263.1
6～9年	76.1	3.8	-	79.9
10年～	99.4	2.2	-	101.6
合計	431.7	12.9	-	444.6

## 6 農業振興地域整備促進事業

- ・農業振興地域整備計画の一般管理

農業振興地域において、総合的かつ計画的な農業の振興を積極的に推進しつつ、社会的・経済的諸情勢の変化に伴う農用地の転用等を行うための整備計画の変更について、申出に基づく一般管理を行った。

【農業振興地域内の農用地等の面積】

（単位：ha）

区分	総面積	農用地							混牧 林地	農業用 施設 用地	混牧林地 以外の 山林原野	その他	
		農地				採草		放牧地					計
		田	畑	樹園地	計	計	計						
現況	農業 振興地域	13,921	7,398	1,334	127	8,859	2	8,861	2	35	576	4,447	
	農用地 区域	6,891	6,072	666	110	6,848	-	6,848	-	33	-	10	
	農振 白地地域	7,030	1,326	668	17	2,011	2	2,013	2	2	576	4,437	

## 7 農業委員会関係

農業委員会に関する交付金等について、県及び関係団体に対し交付申請等を行った。

## 8 集落型経営体の育成

### (1) 地域農業担い手組織育成事業

農業者個人での解決が困難な問題や集落の将来に対する意識を高め、地域農業の新たな担い手として期待される「集落型経営体」設立に向けた合意形成を促進するため、実施主体である下野農業協同組合と連携して、研修会及び座談会等を開催した。

#### ア 集落営農組織化支援事業

- ・事業費補助金額（事業主体 下野農業協同組合）

（単位：円）

対象集落名	事業費	補助金	
		（うち県補助金）	（うち市補助金）
神田・城内・今泉町、尻内町	127,430	40,000	40,000
富張	46,800	15,000	15,000
合計	174,230	55,000	55,000

・集落営農研修会の開催

集 落 名	開催日	参加人数(人)
神田・城内・今泉町、尻内町	2月22日(金)	19
富張	2月22日(金)	9

・集落座談会等の開催

集 落 名	開催日	参加人数(人)
神田・城内・今泉町	11月23日(金)	5
尻内町	10月17日(水)	10
富張	2月22日(金)	4

・啓発活動 集落営農に対する意識付けと理解の促進を図るため、会議等における説明及び回覧チラシによる啓発活動を行った。

・営農ビジョンの策定にむけての検討会

集 落 名	開催日	参加人数(人)
富張	2月22日(金)	4

イ 集落営農法人化支援事業

・事業費補助金額(事業主体 下野農業協同組合) (単位:円)

対象営農組合名	事業費	(単位:円)	
		(うち県補助金)	(うち市補助金)
升塚集落営農組合	47,700	15,000	15,000
東北営農組合	158,830	50,000	50,000
合 計	206,530	65,000	65,000

・集落営農研修会の開催

営農組合名	開催日	参加人数(人)
升塚集落営農組合	2月15日(金)	9
東北営農組合	2月19日(火)	20

・法人化検討会の開催

営農組合名	開催日	参加人数(人)
升塚集落営農組合	2月25日(月)	6
東北営農組合	11月5日(月)	7

(2) 集落営農プラスワン支援事業

新たな園芸作物への取組又は既に作付している園芸作物の取組拡大をする集落営農組織に対し、補助金を交付することにより、次代の農業を担う集落営農組織の体制整備を支援するとともに、園芸作物の産地化を推進した。

・補助額 700,000円

・交付対象 7組織

升塚集落営農組合、新第二集落営農組合、瓜畑集落営農組合  
 神ノ倉集落営農組合、北武井集落営農組合、下高島集落営農組合  
 真弓南集落営農組合

## 9 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体等の指導・育成及び支援を行った。

### (1) 栃木市農業者懇談会補助金

市内農業団体の相互連携を図り、農家経営と生活向上、農村文化の向上、活力あるむらづくりと後継者の育成等の活動をしている農業者懇談会に対して助成を行った。

・補助額 108,000円

### (2) 認定農業者協議会補助金

本地域農業の担い手であり、自らの経営改善の実践と地域の農業振興のために活動を行っている認定農業者協議会に対して助成を行った。

・補助額 90,000円

### (3) 青年農業者海外派遣研修費補助金

国際化の進展に対応し得る優れた農業後継者の人材育成を図るため、栃木県青年農業者海外派遣研修の参加者に対して必要な経費の一部助成を行った。

・補助額 200,000円（参加者2人）

### (4) 農業・農村男女共同参画推進事業

農業・農村における男女共同参画社会を実現し、農村女性による地域活性化を図るため、6次産業化における先進地視察研修会を開催した。

・実施日 11月26日(月)

・場 所 真岡市

・内 容 「女性農業経営者の取り組みに学ぶ」

栃木県女性農業士 猪野 正子氏

栃木県女性農業士 高橋 里子氏

・参加人数 66人

## 10 栃木県南公設地方卸売市場事務組合関係

安定した食料の供給と豊かな食生活を図る流通拠点としての事業を推進した。

### (1) 市場入場業者

・卸業者 2社

・仲卸業者 19社（青果部8社・水産物部9社・花き部2社）

・関連事業者 16社

・買受人 319人

（うち栃木市の買受人 青果部77人・水産物部22人・花き部15人）

・買出人 560人（うち栃木市の買出人 178人）

### (2) 取扱高

区 分	数 量	金 額（千円）
青 果 部	15,928 t	3,816,624
花 き 部	20,725 千点	1,237,488
合 計	—	5,054,112

## 11 諸証明の発行状況

(単位：件)

件名	件数
農振農用地区域等の証明	27
譲渡所得の特別控除に係る土地等についての証明等	15
登録免許税の税率の軽減措置に係る土地の取得証明	14
合計	56

## 12 とちぎアグリフェスタ事業

生産者と消費者の相互理解を深め、地域農業の振興と地域農産物のPRを図るため、下野農業協同組合との共催により、とちぎアグリフェスタ2012を開催した。

- ・実施日 12月1日(土)、2日(日) 午前9時～午後3時
- ・会場 総合運動公園中心広場
- ・来場者 約29,000人
- ・実施内容 地域農産物の販売、地元農産物品評会、農産物無料配布、栃木市産農産物安全安心PR等

## 13 農業振興事業関係

## (1) 首都圏農業確立対策事業

産地間競争に打ち勝てる足腰の強い園芸農業を展開するため、安全・安心な農産物の生産を推進した。

## ア 戦略作物産地形成推進事業

- ・事業主体 下野農業協同組合
- ・対象作物 ビール大麦、小麦、大豆
- ・事業内容 産地競争力の強化
- ・事業費 253,277円(補助額 105,000円)

## イ 稲等病虫害防除事業

稲の病虫害防除をラジコンヘリコプターを使用し、広域的に一斉に実施することにより環境への負担軽減、農業者の作業効率の向上を図った。

- ・補助額 6,805,200円
- ・面積 2268.5ha
- ・対象者 1,871人

## ウ 平成24年度東日本大震災農業生産対策事業(農業生産工程管理GAPの導入)

福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響が、生産者の農産物の栽培管理に対する不安から実需者や消費者の農産物購入に対する不安まで広がる中、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うGAPの導入により残留農薬検査、放射性物質に対する技術対策の徹底を図った。

- ・事業主体 下野農業協同組合
- ・事業費 929,390円(補助額 848,000円)
- ・事業内容 協議会開催(4回99人)

GAPの策定（自己点検シート660部作成）

農場点検（いちご5回、トマト1回、なす1回、にら1回）

残留農薬検査（いちご25点、トマト5点、にら6点、なす5点）

GAP導入効果の検証（レポート作成）

(2) 新規就農サポート事業

青年の就農者の育成定着を図るため、就農にかかる経費の一部を補助（補助限度額10万円）するとともに、新規就農者の相談及び技術等のサポートを行った。

- ・補助対象者 3人
- ・補助額 300,000円

(3) 農業用廃ビニール処理事業

農業用廃ビニールの適正処理を図るため、会議や視察研修会を実施し、分別回収を推進した。

- ・事業主体 下野農業協同組合
- ・事業内容 農業用廃ビニール分別回収、適正処理  
（塩化ビニール・ポリエチレン類 195,080kg）
- ・事業費 5,147,012円（補助額 270,000円）

(4) 食育実践事業（学校農園運営事業）

市内の小中学校を対象に学校農園を開設し、農と食を通じた、食育の大切さを実感することを目的に実施した。

- ・実施校 (単位：校)

小学校	中学校	合計
13	3	16

14 畜産振興事業関係

(1) 栃木市畜産協議会関係

畜産農家が連携し、本市畜産業の振興を図るとともに、家畜伝染病の疾病による損耗を防止し、畜産経営の安定を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

- ・事業主体 栃木市畜産協議会
- ・事業内容 視察研修会の実施  
各種イベントへの参加  
市内畜産物安全安心PRの実施  
各種防疫事業の実施
- ・事業費 323,110円（補助額 180,000円）

15 農振センター管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのため、多目的使用可能な集会場として、農振センターの運営を行った。

・利用状況

利用団体	利用日数(日)	利用人数(人)	備考
栃木市農村生活研究グループ協議会	7	75	役員会、連絡会等
青少年クラブ	2	75	会議等
土地改良区関係	21	580	総会、各種会議
その他団体グループ	313	2,215	福利、厚生活動等
合計	343	2,945	

16 グリーンツーリズム事業

地域資源を生かした幅広い交流を通して、農林業や農山村に対する都市住民の多様なニーズに積極的に応え、農山村地域の活性化を図る取組を支援した。

(1) 地区協議会主催事業の検討及び学習活動への支援

地区協議会におけるグリーンツーリズム事業の検討及び先進事例の研究等に対し、助言及び情報提供を行った。

(2) 各地区における交流事業実施状況

地区	実施日	名称	参加者(人)
皆川地区	6月3日(日)、9月30日(日)	ふれあい農業体験	延べ80
	10月14日(日)	コスモス祭り	約500
寺尾地区	5月27日(日)、9月30日(日)	寺尾米づくり体験教室2012	延べ80

17 地域農産物活用事業関係

(1) 栃木市直売所連絡協議会関係

直売所相互の連携体制を構築し、地産地消推進体制を図ることを目的にマーケットイン推進事業を実施した。

- ・事業主体 栃木市直売所連絡協議会
- ・事業内容 直売所の利用に係る経費に対し、農産物販売額（加工品・工芸品は除く）の5%（上限額有）を補助する。
- ・対象直売所数 14件
- ・対象出荷者数 666人
- ・農産物総販売額 327,245,390円（補助額 6,981,200円）

農林整備担当

1 農業生産基盤整備事業

農村環境改善のための農道舗装や老朽化した農業水利施設の改修等を実施した。

事業名	事業箇所	事業内容	事業費(円)
農山漁村活性化プロジェクト 交付金事業（農道保全対策）	宮町・千塚町地内	農道舗装工 L=1,044m	32,220,510

	野中町地区	農道舗装工 L = 458m	9,464,785
基盤整備促進事業	皆川城内町地内	農道舗装工 L = 777.3m	26,039,604
	宮町地内	農道舗装工 L = 87m	3,140,938
農業体質強化基盤整備促進事業	栃木市東部1地区 (藤田町地内)	揚水機場改修 1か所	10,383,450
	栃木市東部2地区 (今泉町地内)	水路改修 L = 238m	4,053,000
	栃木市東部3地区 (大宮町)	水路改修 L = 128m	2,363,550
	国府南部地区 (国府町・寄居町)	揚水機場改修 3か所	23,711,100
	国府南部地区 (国府町)	揚水機場改修 1か所	220,500
県単独農業農村整備事業	壱町田地区 (鍋山町地内)	農道舗装工 L = 171m	4,637,850
	蟬内地区 (鍋山町地内)	農道舗装工 L = 436m	13,212,150
市単独農業農村整備事業	蟬内地区 (鍋山町)	舗装取付工事 一式	64,050
	皆川城内地区 (皆川城内町地内)	舗装取付工事 一式	693,000
	栃木市西部地区 (皆川城内町地内)	農道舗装工事 L = 102.8m	903,000
	壱町田地区 (鍋山町地内)	農道舗装(附帯) 工事一式	216,300

## 2 県営土地改良事業負担金

県が実施する土地改良事業に係る法定負担金(受益者負担金)を支出した。

事業名	事業箇所	事業期間	事業内容	負担額(円)
かんがい排水事業	西前原地区 (藤岡町)	H21～H27	排水機場更新 1か所	237,955,960
農業用河川工作物 応急対策事業	美田東部頭首工 (大光寺町)	H21～H24	護床工 1式	4,000
県営ストックマネジメント事業	大岩藤地区 (栃木市・岩舟町)	H24～H25	保全計画策定 一式	403,184

3 土地改良事業補助金

各事業に取り組む下記団体を支援するため、補助金を交付した。 (単位：円)

事業名	相手方	補助額
農業経営高度化支援事業	栃木市西部土地改良区	175,000
市単独土地改良事業（かんがい排水事業）	国府土地改良区	546,000
	高谷水利組合	73,500
農業体質強化基盤整備促進事業	宿前土地改良区	260,000

4 維持管理事業

市が管理する農道・用排水施設の補修工事等を実施した。

工事名	工事箇所	工事内容	工事費（円）
用排水施設補修工事	大宮町	かんがい排水路補修工事 1式	630,000
	皆川城内町	農業用排水路維持補修 工事1式	420,000
	大塚町	農業用排水路維持補修 工事1式	997,500
	木野地町	神の宮川水路補修工事	315,000

※その他に、台風や大雨等の影響により壊れた農業用施設を地元が主体で行う復旧工事を支援するため、木杭や矢板等の材料を現物支給した。

5 農地・水保全管理事業

非農家を含めた地域共同による農地・農業用水等の保全管理と農村環境の保全向上等の取組を支援するため、活動費の一部を負担金として県協議会に支出した。

※市負担額は、基礎支援の合算額（100円未満切り捨て）の25%

(1) 共同活動支援分

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額(円)
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (3,300円/10a)		畑 (2,100円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
仲仕上 みどりの里	H24	H28	5	4,494	1,483,020	—	—	370,750
大塚 たんぼの会	H24	H28	5	13,561	4,475,130	1,766	370,860	1,211,475
細堀・木の西 みどりの会	H24	H28	5	3,245	1,070,850	567	119,070	297,475
川原田 めぐみの里	H24	H28	5	2,978	982,740	283	59,430	260,525

宿前 みどりの会	H24	H28	5	3,592	1,185,360	79	16,590	300,475
吹上東部 環境保全会	H24	H28	5	5,740	1,894,200	1,188	249,480	535,900
春名塚 環境保全会	H24	H28	5	12,185	4,021,050	406	85,260	1,026,575

(2) 向上活動支援分

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額(円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田 (4,400円/10a)		畑 (2,000円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
高谷町 グリーンクラブ	H24	H28	5	3,710	1,632,400	274	54,800	421,800
大塚 たんぼの会	H24	H28	5	13,561	5,966,840	1,766	353,200	1,580,010

6 アメリカシロヒトリ駆除事業

アメリカシロヒトリの蔓延防止を目的として、自主駆除を促進するために背負式噴霧器と高枝切りバサミの貸し出しを実施した。また、市内公共施設（栃木地域）における薬剤散布による駆除を、6月と8月のふ化期に合わせ、業者委託により実施した。

(1) 噴霧機及び高枝切りバサミの貸し出し状況

- ・背負式噴霧機 延べ28人
- ・高枝切り 延べ8人

(2) 公共施設における駆除

- ・事業費 987,000円（2回分）
- ・駆除実績

ふ化期	実施区域	樹種	実施期間	箇所数	防除本数(本)
1	栃木地域	桜、柿、梅ほか	6月13日(水)～29日(金)	31	1,237
2	〃	〃	8月13日(月)～31日(金)	30	1,248
合計				61	2,485

7 有害鳥獣対策事業

有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣捕獲を実施した。

(1) イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの個体数調整による駆除

実施区域	捕獲時期	捕獲状況
寺尾地区全域、皆川地区の一部、吹上地区の一部	通年	イノシシ341頭、ニホンジカ42頭 ニホンザル9頭

(2) カラス、ドバトの有害鳥獣捕獲による駆除

実施区域	捕獲時期	捕獲状況
栃木地域全域	3月9日(土)、10日(日)	カラス137羽、ドバト50羽

(3) 被害地区住民による被害防除対策を促進するため、栃木市獣害対策設備設置費補助金により、個人が設置する電気柵設置等の経費を補助金により支援した。

- ・補助金申請件数 6件
- ・補助額 218,000円

8 松くい虫防除委託事業

松林の健全な育成と保全を図るための松くい虫被害対策として、太平山県立自然公園等の高度公益機能森林及び地区保全森林内の被害木及び不用木の伐倒駆除を実施した。

- ・委託期間 1月30日(水)～2月28日(木)
- ・実施区域 平井町、皆川城内町地内
- ・事業費 855,750円
- ・事業実績

事業区分	事業量	備考
被害木	70m <sup>3</sup>	薬剤処理(油材)
不用木	37本	除去

9 治山林道管理事業

利用者の安全を確保するため、市内林道、作業道及び太平山下水資源確保治山ダムの維持管理を実施した。

(1) 林道維持補修工事

- ・林道片角観音入線ほか 997,500円

(2) 林道維持補修工事等用原材料費

- ・林道補修用丸太杭等 - 円

(3) 太平山下水資源確保治山ダム維持管理業務委託

- ・業務概要 ダム周辺の清掃、草刈り等を平井町自治会に委託
- ・実施期間 通年
- ・委託費 56,000円

10 出流ふれあいの森管理事業

(1) 管理運営委託

平成18年度から指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を委託

- ・指定管理者 みかも森林組合
- ・指定管理期間 通年
- ・委託費 8,130,880円

(2) 施設管理

- ・施設用地の賃借料 3,383,021円

- ・借地面積 34,900.2㎡（地権者18人）
- ・賠償保険料（森林国営保険料） 875,689円
- ・施設修繕費（浄化槽・法面） 599,025円

(3) 施設利用状況 (単位：人)

入園者	キャンプ場		バーベキュー場	スベリ台	コテージ	
	一般	オート			大	小
24,163	1,103	1,988	2,968	473	549	652

11 間伐支援事業

施業計画に基づいた適切な森林整備の推進を図るため、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林整備を補助金及び交付金により支援した。

(1) 森林整備地域活動支援交付金事業交付金

対象行為	対象面積 (ha)	交付対象者	交付額 (円)
森林経営計画作成促進	25.46	菱柵造林(株)	203,680
森林経営計画作成促進	101.04	みかも森林組合	808,320

(2) 森林整備事業費補助金

対象行為	対象面積 (ha)	交付対象者	交付額 (円)
高齢級人工林の間伐	2.00	みかも森林組合	150,000

12 木とのふれあい体験事業（森林環境学習支援事業）

(1) 林業体験教室

森林資源の有効活用と水源涵養等森林の持つ公益的機能についての理解を深めてもらうため、出流ふれあいの森において小学生を対象に間伐体験や木工教室を開催した。

- ・実施日 7月30日（月）
- ・参加者 寺尾中央小の6年生、寺尾南小の5・6年生 35人
- ・内容 間伐体験、木工教室

(2) 水とみどりのふれあい体験活動

森林資源の有効活用と水源涵養等森林の持つ公益的機能についての理解を深めてもらうため、出流ふれあいの森において小学生とその父兄を対象に木工教室やホテルの幼虫放流等を内容とした教室を開催した。

- ・実施日 2月16日（土）
- ・参加者 親子等4組14名
- ・内容 木工教室、特用林産教室、ホテルの幼虫放流

13 明るく安全な里山林整備事業

とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金事業等を活用し、地域と一体となった里山の環境整備を実施した。

(1) とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

ア 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業

管理協定に基づき管理団体が実施する里山林の管理活動を補助金により支援した。

実施箇所	面積 (ha)	管理団体	補助額 (円)
鍋山町地内	3.5	宝蓮寺の森を美しく守る会	175,000

イ 通学路や住宅周辺の安心・安全を確保するための里山林整備事業

管理協定に基づき管理団体が実施する里山林の管理活動を補助金により支援した。

実施箇所	面積 (ha)	管理団体	補助額 (円)
皆川城内町地内	1.0	皆川城東小学校 P T A	50,000

ウ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

(ア) 管理協定に基づき管理団体が実施する里山林の管理活動を補助金により支援した。

実施箇所	面積 (ha)	管理団体	補助額 (円)
柏倉町地内	2.0	北柏倉里山愛護会	100,000
梅沢町地内	2.0	坂の入里山の会	100,000
鍋山町地内	4.0	新宿(鍋山第一自治会)里山保全の会	200,000

(イ) 管理協定に基づき藪化した里山林の刈払い等の環境整備を実施した。

実施箇所	面積 (ha)	事業費 (円)
小野口町地内 (打越)	4.0	966,000
小野口町地内 (堤崎)	3.0	735,000

14 森を育む人づくり事業 (みんなの元気な森づくり支援事業)

とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金事業を活用し、地域や地域住民による森林を活用した森づくり活動を補助金により支援した。

- ・ 支援団体 3団体
- ・ 交付金額 500,000円

15 緊急地域雇用創出・豊かな山づくり委託事業

緊急地域雇用創出事業を活用し市内林道8路線、作業道1路線及び森林浴内遊歩道7路線の除草・側溝清掃を実施した。

緊急地域雇用創出事業 林道歩道除草・側溝清掃業務委託

- ・ 委託先 みかも森林組合
- ・ 委託料 6,877,500円

16 森林法に基づく許認可事務

(1) 林地開発行為の許可、届出書の受理、監督処分

- ・ 処理件数 林地開発許可 (変更) 1件
- 林地開発計画変更届出書 1件

(2) 伐採及び伐採後の造林届出書

- ・ 処理件数 4件

- (3) 保安林の制限に関する事務
  - ・ 処理件数 1件
- (4) 火入許可（栃木市火入れに関する条例に基づく）
  - ・ 処理件数 1件
  
- 17 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づく許認可事務
  - (1) 鳥獣捕獲等の許可
    - ・ 処理件数 13件
  - (2) 鳥獣飼養許可
    - ・ 処理件数 - 件
  
- 18 自然環境の保全及び緑化に関する条例に基づく許認可事務
  - (1) 県自然環境保全地域内における許可、届出事務
    - ・ 処理件数 - 件
  - (2) 県緑地環境保全地域内における行為の届出等
    - ・ 処理件数 - 件
  
- 19 林業種苗法に基づく許認可事務  
種子及び苗木等生産事業者の登録事務等
  - ・ 処理件数 - 件

### 第3節 産業基盤整備課

#### 〔総括概要〕

産業基盤整備課の主な分掌事務は、雇用機会の拡大と安定した市税等自主財源の増加を図るため、市内産業団地等への企業誘致と、栃木IC周辺地区（千塚町上川原地区、栃木インター周辺地区）等の新たな産業拠点の整備である。

企業誘致に関して、惣社東産業団地に1社、宇都宮西中核工業団地に1社の企業の立地が決定した。また、中根産業団地（旧藤岡高校跡地）においては、8月に造成工事が完了し、3社の企業と土地売買契約を締結し、土地の引渡しを行った。

主な誘致活動としては、企業の立地意向調査等により企業の設備投資に関する情報収集を行うとともに、企業訪問等により本市の優れた立地環境を積極的にPRし、市内への企業誘致の推進を図った。

栃木IC周辺地区の開発に関しては、千塚町上川原地区において、県関係部署との調整協議や、地元協議会の総会等開催による地権者調整、広報紙による情報提供を行った。また、平成22年度から継続して実施している環境影響評価について専門的な意見を聴くため、学識経験者を委員とする自然環境保全対策検討委員会を開催した。

栃木インター周辺地区においては、地元研究会の総会等の開催による地権者の合意形成に向けた取組を行った。

#### 企業立地担当

##### 1 企業誘致事業

###### (1) 惣社東産業団地の概要

- ・所在地 惣社町及び壬生町地内
- ・事業主体 栃木県企業局
- ・団地面積 約21.8ha(壬生町分1ha含む)
- ・分譲面積 約14.3ha
- ・分譲済面積 約12.9ha(県南家畜保健衛生所0.3ha及び壬生町分1ha含む)
- ・分譲率 約90.0%
- ・企業数 11社（うち操業中8社）
- ・未分譲区画 ⑤-3街区(約0.77ha)、⑤-4街区(約0.66ha)
- ・分譲価格 ⑤-3街区(19,100円/㎡)、⑤-4街区(10,900円/㎡ H24.7改定)

###### (2) 宇都宮西中核工業団地の概要

- ・所在地 西方町及び鹿沼市地内
- ・事業主体 中小企業基盤整備機構、栃木県土地開発公社
- ・団地面積 約142.7ha(栃木市分 約83.4ha)
- ・分譲面積 約91.8ha(栃木市分 約50.6ha)
- ・分譲済面積 約72.0ha(栃木市分 約42.1ha)

- ・分譲率 約78.4% (栃木市分 約83.2%)
- ・企業数 21社 (うち操業中17社)
- ・未分譲区画 12区画 (約4,140㎡～約36,243㎡)
- ・分譲価格 12,910円/㎡～21,220円/㎡ (H24.12改定)

(3) 中根産業団地の概要

- ・所在地 藤岡町富吉地内
- ・事業主体 栃木市
- ・団地面積 約5.8ha
- ・分譲面積 約4.67ha
- ・分譲済面積 約4.1ha
- ・分譲率 約87.7%
- ・未分譲区画 ②区画 (約5,725㎡)
- ・分譲価格 10,000円/㎡

(4) 企業誘致関係

ア 企業訪問及び産業団地への現地案内等の誘致活動

- ・対象企業 55社

イ 産業展等への参加

- ・FOOMA JAPAN2012食品工業展 (東京都) 6月8日 (金)
- ・とちぎ企業誘致セミナー (東京都) 10月15日 (月)
- ・第5回国際カーエレクトロニクス技術展 (東京都) 1月18日 (金)

ウ 企業の立地意向調査の実施 (情報収集及びPR)

- ・調査対象企業 2,967社
- ・回収率 9.7% (289社)

エ 市ホームページによる産業団地等の紹介

オ 企業立地促進審査会

回	開催日	主な内容
第1回	3月19日 (火)	・指定申請企業の審査

カ 企業立地奨励補助金の交付

- ・交付企業 2社

キ 宇都宮西中核工業団地企業誘致活動協議会活動

- ・役員会の開催

開催日	主な内容
4月20日 (金)	・平成23年度事業実績報告、収支決算について ・平成24年度事業計画 (案)、収支予算 (案) について

- ・幹事会の開催

開催日	主な内容
1月30日 (水)	・平成24年度事業実績報告、収支決算 (見込み) について ・平成25年度事業計画 (案)、収支予算 (案) について

ク 皆川城内産業団地用地取得企業の立地に向けた手続き等の支援

皆川城内産業団地の概要

- ・事業主体 栃木市土地開発公社
- ・分譲開始 平成19年4月
- ・分譲面積 約3.5ha(平成19年11月全9区画契約締結)
- ・企業数 9社(うち操業中5社)

基盤整備担当

1 千塚町上川原地区開発事業

(1) 事業計画

- ・事業箇所 千塚町・尻内町地内
- ・事業面積 約36.7ha
- ・地権者数 96人

(2) 千塚町上川原開発推進協議会活動

ア 総会、役員会等

区 分	開催回数	会 場
総会	1回(7月)	千塚町公民館
役員会	2回(6月、8月)	千塚町公民館

イ 広報紙「かみがわら」発行

号	発行日	主 な 内 容
第1号	12月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業の決定に関する構想および地区計画の決定に関する原案の縦覧結果について</li> <li>・環境影響評価の進捗状況について</li> <li>・環境影響評価の現況調査実施状況</li> </ul>

ウ 千塚町上川原開発推進協議会補助金の交付 80,000円

(3) 業務委託

業 務 名	内 容	金額(円)
環境影響評価業務委託	環境影響評価現況調査 環境影響評価準備書作成	29,550,000
都市計画決定案作成業務委託	市街化区域編入、用途地域、施行区域、地区計画の都市計画決定図書作成	7,329,000
道路、橋梁詳細設計業務委託	取付道路、橋梁工事の図面作成、数量計算等	20,475,000
土地区画整理設計(換地設計準備、土地評価)業務委託	土地区画整理事業の従前地積決定、換地設計基準策定、土地評価等	17,115,000

(4) 栃木市千塚町上川原地区開発事業に係る自然環境保全対策検討委員会

回	開催日	主な内容
第1回 (通算3回目)	5月21日(月)	・環境影響評価中間報告(案) ・平成24年調査計画(案) ・3月期、4月期現況調査報告
第2回 (通算4回目)	1月10日(木)	・環境影響評価中間報告(案) ・平成25年調査計画(案)
第3回 (通算5回目)	2月8日(金)	・環境影響評価中間報告(案) ・平成25年調査計画(案) ・検討委員会開催スケジュール(案)
第4回 (通算6回目)	3月28日(木)	・平成25年猛禽類調査現状報告 ・自然環境保全方針及び保全対策検討(案) ・準備書素案

2 栃木インター周辺開発事業

(1) 事業計画

- ・事業箇所 吹上町・野中町地内
- ・事業面積 約80ha
- ・地権者数 約230人

(2) 栃木インター周辺開発研究会活動

ア 総会、役員会

区分	開催回数	会場
総会	1回(6月)	吹上公民館
役員会	2回(5月、10月)	吹上公民館

イ 栃木インター周辺開発研究会補助金の交付 80,000円

3 中根産業団地造成事業

(1) 事業計画

- ・事業箇所 藤岡町富吉地内
- ・事業面積 約5.8ha

(2) 業務委託

業務名	内容	金額(円)
中根企業用地造成事業 画地確定測量業務委託	用地測量 58,000㎡ 地積測量図(案)の作成 12筆	3,517,500
中根産業団地除草業務委託	草刈り作業 46,600㎡ 集草、積込、運搬作業	392,174
中根産業団地造成事業 基準点設置測量業務委託	4級基準点測量 21点	483,000

## (3) 工事

工 事 名	内 容	金額 (円)
中根企業用地造成事業 施設整備工事 (分割1号)	調整池 3,800㎡ 敷地造成 25,036㎡ 市道 F 3-270号線 延長148.1m 幅員9~12m	56,910,000
中根企業用地造成事業 施設整備工事 (分割2号)	区画道路 延長252.4m 幅員9m 市道 F 3-270号線 延長110.6m 幅員5m 敷地造成 24,102㎡ 公園整備 2,100㎡	33,894,000
中根企業用地造成事業 道路整備工事 (分割1号)	市道 F 6号線 延長180.0m 幅員12~15m 排水施設 206.8m	25,895,000
中根企業用地造成事業 道路整備工事 (分割2号)	市道 F 43号線 延長239.3m 幅員9m 市道 F 3-99号線 延長217.5m 幅員6m 認定外道路 延長109.4m 幅員5m	23,988,000
中根企業用地造成事業 配水管布設工事	配水管布設工事 延長237.6m 消火栓設置 1式 排泥管設置 1式 給水管設置 1式	4,641,000
中根産業団地造成事業 分水工事	分水工事 1式	320,250
中根産業団地 案内標識等設置工事	案内標識 2基 団地名表示看板 1基 区画案内看板 1基	5,334,000

## 第 7 章 都市建設部

### 第 1 節 都市整備課

#### 〔総括概要〕

市民が快適で安全な日常生活をおくるためには、道路や河川などの社会資本の整備充実を図ることが重要である。

まず、道路は、地域の方々にとって最も身近な社会基盤であり、通勤、通学をはじめ買い物やレジャーなどの日常生活から、生産、物流の経済活動や地域の歴史、文化交流を支える根幹的な公共施設として大きな役割を果たしている。

道路整備においては、厳しい財政状況や少子高齢化の進展など社会情勢の変化を踏まえ、一層の効率化、重点化が求められていることから、計画的に進めている。

道路整備事業としては、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保に資するため、片柳町 1 丁目地内市道 A 126 号線をはじめ 9 か所の道路改良工事を実施した。

また、幹線道路における通学児童の安全と円滑な通行を確保するために大宮町地内市道 106 号線の計画準備に伴う測量・設計をはじめ 12 か所の調査設計などを実施した。

さらに、吹上町・宮町・皆川城内町地内市道 114 号線をはじめ 13 路線について、道路改良や交通安全施設整備に必要な用地取得を行った。

次に、河川には、洪水被害などを防ぎ、安全で快適な市民生活を守るために、治水・利水の機能の充実を図りながら、環境に配慮した水辺空間の創出などが求められている。

本市においては、台風や大雨時の浸水被害対策や適正な水利用を図るため、他事業と連携しながら計画的に河川、排水路等の整備を進めている。

河川整備事業としては、片柳町 3 丁目地内の瀬戸河原用水支川の改修工事をはじめ、市内各地区において、河川改修、排水路整備工事等を実施するとともに、鍋山町地内の寺尾ふれあい水辺の広場公園においてトイレ設置工事を実施した。

#### 監理担当

#### 1 土木事業の総合調整

建設担当部課長会議

4月、11月に土木事務所と関連事業に関する協議を行った。

#### 2 陳情、要望等受付

陳 情 内 容	件 数 (件)
道路改良工事に関するもの	2

排水路整備に関するもの	—
計	2

### 3 各種協議会・同盟会

#### (1) 関東国道協会栃木県地区協議会

- ・11月 要望活動実施（国、国会議員）
- ・2月 現場研修会開催（国道354号玉村伊勢崎バイパスほか）
- ・8月 第1回勉強会、現地調査

#### (2) その他協議会・同盟会

- ・道路関係団体総会、要望活動等参加 15回
- ・河川関係団体総会、要望活動等参加 6回

### 4 スマートIC設置調査事業

- ・スマートIC設置について国、県への要望活動
- ・（仮称）都賀西方PAスマートIC基礎調査 C=2,752,500円

### 5 交通バリアフリー基本構想策定事業

- ・栃木市バリアフリー基本構想策定業務 C=3,381,000円

## 道路整備担当

### 1 工事関係

#### (1) 道路改良工事

工 事 箇 所		工 事 内 容			金 額(円)	備 考
町 名	路線名 (市道～号線)	延長 (m)	幅員 (m)	その他		
柏 倉 町	D135	198.0	6.0	—	4,746,000	舗装(表層)
大 塚 町	119	—	—	—	3,129,000	
岩 出 町	D73	131.2	5.0	—	2,058,000	舗装(表層)
宮町・皆川城内町	D22	459.9	6.0	—	29,588,790	
片柳町1丁目	A126	170.5	6.0	—	17,265,150	
吹上町・宮町 皆川城内町	114	100.0	11.0	—	29,636,250	
大 宮 町	C385	—	—	—	985,950	道路照明
大 宮 町	B46	58.2	6.0	—	4,977,000	
片柳町2丁目	A109	41.0	4.0	—	5,544,000	
計 9か所					97,930,140	

## 2 業務委託関係

業務名	委託箇所		委託内容	金額(円)	備考
	町名	路線名(市道~号線)			
用地調査	万町	A1	営業調査1件ほか	819,000	
用地調査	皆川城内町	D10	再積算2件	262,500	
用地調査	平井町	209	物件調査・再積算8件	1,606,500	
用地調査	平柳町3丁目・大宮町	C13	物件調査14件	3,108,000	
用地調査	今泉町1丁目・2丁目	102	物件調査・再積算4件	939,750	
用地調査	吹上町・宮町 皆川城内町	114	再積算11件	1,103,550	
用地調査	祝町	106	再積算1件	294,000	
測量設計	大宮町	106	道路詳細設計0.86km 用地測量4.2ha	15,225,000	
測量調査	千塚町	D149	用地測量・物件調査2件	3,045,000	
用地調査	大平町牛久・川連	○152ほか	物件調査3件 測量設計14ha	1,228,500 39,532,500	繰越明許費
測量設計	箱森町	205	清水川橋人道橋設計ほか	3,202,500	
測量設計	野中町	233	永宮橋予備設計ほか	9,660,000	
計 12か所				80,026,800	

## 3 用地取得関係

用地取得箇所		用地 (筆)	補償 (件)	金額(円)	備考
町名	路線名(市道~号線)				
大塚町	119	1	3	1,331,094	
宮町・皆川城内町	D22	-	4	2,633,028	
万町	A1	1	1	37,522,384	
吹上町	C192・C193	4	2	12,731,461	
片柳町1丁目	A126	1	1	7,897,728	
皆川城内町	D10	8	2	14,923,125	
大宮町	C13	9	-	5,398,440	
今泉町1・2丁目	102	3	2	21,458,369	
吹上町・宮町 皆川城内町	114	9	6	37,269,554	
大宮町	B46	1	4	12,230,798	
千塚町	D149	3	3	15,509,971	
川原田町	C386	1	-	489,960	
大平町牛久・川連	○152ほか	15	-	47,941,170	
計 13路線				217,337,082	

#### 4 登記関係

内 容	筆数(筆)
分 筆 (代 位)	55
地 積 更 正 (代 位)	30
地 図 訂 正 (代 位)	2
名義人表示変更・更正 (代 位)	4
相 続 (代 位)	1
所 有 権 保 存	1
所 有 権 移 転	43
計	136

#### 河川整備担当

#### 1 工事関係

##### (1) 河川改修工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額(円)	備 考
町 名	河 川 名			
片 柳 町 3 丁 目	瀬戸河原用水支川	大型積ブロック L=15.0m	3,108,000	
境・片柳町3丁目	瀬戸河原用水支川	河床整正 ほか3件	3,234,000	
計 2か所			6,342,000	

##### (2) 排水路整備工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額(円)	備 考
町 名	河 川 名			
小 野 口 町	—	水路W1.0×0.9 L=43.0m	2,856,000	
箱 森 町 ほか	館野川ほか5か所	水路整備、河床整正 ほか	3,538,500	
計 7か所			6,394,500	

##### (3) 寺尾ふれあい水辺の広場公園整備工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額(円)	備 考
町 名	河 川 名			
鍋 山 町	永 野 川	トイレ設置	21,262,500	
鍋 山 町	永 野 川	付帯工事 ほか7件	4,428,900	
計			25,691,400	

2 業務委託関係

業 務 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額 (円)	備 考
	町 名	路 線 名			
河川改修事業	大 宮 町	関 根 川	用地測量 0.24ha	997,500	
河川改修事業	箱 森 町	舘 野 川	測量設計 540ha	7,938,000	
河川改修事業	祝 町	清 水 川 支 川	予備設計 調査	2,047,500	
寺尾ふれあい水辺 の広場公園整備	鍋 山 町	永 野 川	測量設計等	1,084,965	
計 4か所				12,067,965	

## 第2節 都市計画課

### 〔総括概要〕

本市は2つの都市計画区域が指定されており、1つは旧栃木市・大平町・藤岡町・都賀町の区域で、都市的な土地利用を推進し、健康で文化的な都市生活や機能的な都市活動を行う市街化区域と、優れた自然環境や営農環境の保全を図る市街化調整区域に区分されている線引き都市計画区域である。もう1つは旧西方町の区域で、区域区分がされていない非線引き都市計画区域である。

土地利用計画に関しては、住居系、商業系、工業系の用途地域や、地域の特性に応じた地区計画を定めるとともに、密集市街地の災害を未然に防止する準防火地域、優良な自然環境を保全する風致地区などの地域地区を決定している。

都市施設に関しては、都市の骨格となる都市計画道路、健康で文化的な生活を営む上で重要な都市公園や下水道などを決定している。

また、本市の健全な発展と秩序ある社会資本の整備を図るため、土地区画整理事業により、良好な市街地の形成及び快適なまちづくりを推進した。

計画景観担当では次の事業を推進した。

本年度は、栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業地内において、用途地域の変更と地区計画の変更を行った。用途地域については、準住居地域から第一種住居地域への変更（約0.3ha）であり、地区計画については、用途地域の変更と併せた地区区分の変更を行ったもので、規制内容についての変更はない。

また、千塚町上川原地区の市街化区域編入手続きについては、環境影響評価（環境アセスメント）が進んだことから、特定保留解除に向けて関係機関との協議を行った。平成25年度内に都市計画決定に向けて法定手続きを進めることとしている。

シビックコア推進事業については、関東地方整備局をはじめ、関係機関と、シビックコア地区の整備状況や合同庁舎に関する土地利用について協議を行った。

また、本市特有の自然環境や歴史的環境を活かし、巴波川沿いや旧例幣使街道に残る貴重な歴史的建造物の保全、活用により、個性的で潤いのある景観を創出し、快適に生活ができるまちづくりの実現を目指し、街なみ環境修景事業を推進した。

また、良好な景観を形成し、風致を維持し、または公衆に対する危害を防止するために、屋外広告物に関する事務を行った。

市街地整備担当では、次の事業を推進した。

土地区画整理事業実施済地区の土地利用状況を把握するため、平成24年3月に市内12か所の区画整理済地区において、宅地化状況調査を行った。

現在、施行中である箱森西部土地区画整理事業地区については、保留地の販売を開始して約1年半が経ち、市内住宅地をはじめとして地価の下落が進み販売価格が現状に即しない状況となったため、平成24年9月に販売価格の見直しを行い、早期の処分完了を目指した。

今年度の工事として、保留地周辺の区画道路及び区画道路9-1号線の舗装工事を実施した。

計画景観担当

1 都市計画審議会に関すること

開催日	審議案件
2月13日(水) (第5回)	(1) 小山栃木都市計画 用途地域の変更について〔栃木市決定〕 (2) 小山栃木都市計画 地区計画の変更について〔栃木市決定〕 (下皆川・富田地区)

2 公有地の拡大の推進に関する法律に関すること

- (1) 公有地の拡大の推進に関する法律第4条に基づく届出書の受理  
・件数 6件
- (2) 公有地の拡大の推進に関する法律第5条に基づく申出書の受理  
・件数 -件

3 国土利用計画法に関すること

国土利用計画法第23条に基づく届出書受付審査

- ・件数 45件

4 地価公示等に関すること

地価公示法に基づく地価公示標準地及び国土利用計画法に基づく地価調査標準地の確認点検並びに周知を実施した。

(1) 地価公示

- ・価格時点 平成25年 1月 1日
- ・公示時点 平成25年 3月22日
- ・標準地 栃木市大町字西向223-1 ほか43地点

(2) 地価調査

- ・価格時点 平成24年 7月 1日
- ・告示時点 平成24年 9月20日
- ・標準地 栃木市大森町442-9 ほか36地点

5 シビックコア推進事業に関すること

(1) 事業概要

本事業は、栃木市シビックコア地区整備計画に基づき栃木駅周辺土地区画整理事業などの都市基盤整備と併せて、国の合同庁舎を核とする官公庁施設の建設計画を推進するとともに、民間建築物の立地を誘導し、魅力とにぎわいのある都市の拠点形成を図る。

- ・シビックコア計画対象地区面積 41.3 h a
- ・シビックコア重点整備地区面積 6.6 h a

主要官公庁施設

- ・国の合同庁舎
- ・県立学悠館高校（平成17年4月開校）
- ・市の（仮称）シビックセンター

(2) 事業経過

- ・国土交通省 関東地方整備局 営繕部 シビックコア計画協議 5回

6 総合都市交通体系調査（栃木市都市交通マスタープランの策定）

平成23年度に実施した交通実態調査（ミニパーソントリップ調査）等に基づいて示された施策内容についての分析や検討を行い、本市としての総合的な交通体系の方針及び具体的な実現化方策を示した「栃木市都市交通マスタープラン」を策定した。

【計画内容】

- ・将来都市構造と交通戦略、将来人口配置等について記した将来都市像
- ・道路網計画や公共交通利用促進計画について記した将来交通ネットワーク計画
- ・市街地中心部の交通計画や駅周辺整備計画等を記した個別計画・施策
- ・実現に向けた整備方針等を記した実現化方策

【会議等の実施】

- ・総合都市交通体系調査検討委員会及び作業部会を設置し、検討を行った。  
検討委員会 3回開催/作業部会 3回開催

7 栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画の策定

都市計画マスタープランは、市町村が定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、具体性のある将来ビジョンを確立し、地区別のあるべき市街地像を示すとともに、土地利用や都市施設の計画等について定める都市計画に関する総合的な計画である。

(1) 栃木市都市計画マスタープラン

栃木市都市計画マスタープランについては、小山栃木都市計画区域と西方都市計画区域を対象とするもので、平成45年を目標年次とした将来の都市構造について策定するものである。策定期間は、平成24年度から2か年としている。

平成24年度は、以下の項目を実施した。

- ・旧市町で策定していた都市計画マスタープランにおける課題整理
- ・本市の抱える都市計画的な課題整理
- ・市民アンケート調査（10月24日～11月5日）  
対象：18歳以上の市民5,000人（無作為抽出）  
回答数：1,689票 回収率：33.8%
- ・目指すべきまちづくりの方向性の設定（まちづくりの基本理念）
- ・将来の都市構造、将来人口フレームの設定
- ・土地利用や交通体系、都市施設等に関する基本的な方針の策定（全体構想）

(2) 栃木市景観計画

景観計画は、良好な景観形成に関する緩やかな規制誘導を行う総合的な計画であり、景観法第8条に規定されている法定計画である。

栃木市景観計画については、各地域の特色ある良好な景観を保全、誘導する指針とするために、市内全域を対象区域として策定する計画である。策定期間は平成24年度から2か年としている。

平成24年度は、以下の項目を実施した。

- ・ 現況と課題の抽出、整理
- ・ 景観計画区域の設定
- ・ 良好な景観形成に関する方針の検討

(3) 検討委員会及び作業部会

栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画の策定にあたり、検討委員会及び作業部会を設置し、検討を行った。

検討委員会 3回開催/作業部会 3回開催

8 街なみ環境修景事業に関すること

旧例幣使街道や巴波川周辺一帯を歴史的町並み景観形成地区とし、郷土に誇りと愛着が持てるような、個性的で魅力あるまちづくりを推進するため、歴史的建造物の修景補助事業等を行った。

- ・ 歴史的建造物等の修景補助事業 2件 補助額 4,600,000円

9 都市景観形成事業に関すること

各地域の特色ある景観を保全・誘導する指針とするため、栃木市景観計画策定業務委託を実施した。

10 栃木県景観条例に基づく大規模行為届出に関すること

栃木県景観条例第20条に基づく届出書の受理

- ・ 件数 25件（建築物 13件、工作物 12件）

11 屋外広告物に関すること

(1) 屋外広告物の許可事務について

(単位：件)

区 分		件 数
栃木県屋外広告物条例	条例第5条等 屋外広告物の表示又は掲出物件の設置の許可	38
	条例第13条 屋外広告物の継続の許可	72
	条例第14条 屋外広告物の変更の許可	9
	条例第18条 屋外広告物の除却の届出の受理	8

(2) 住民参加型違反広告物除却推進団体について

違反広告物の除却措置について、住民参加による地域での除却活動を推進するため、栃木市違反広告物除却推進制度に関する要綱を制定し、違反広告物除却推進団体を認

定し、活動支援を行った。

・違反広告物除却推進団体の認定 (単位：人)

団体名	推進員数
栃木市少年補導員会	46
大平町あじさいグループ	11

市街地整備担当

1 土地区画整理事業に関すること

(1) 土地区画整理事業完了地区の土地の管理

(2) 箱森西部地区土地区画整理事業

ア 事業概要

- ・面積 約8.3ha
- ・組合員数 23人 (理事長 熊倉武夫)
- ・施行期間 平成20年度～平成26年度
- ・総事業費 550,000千円
- ・事業費 71,236,806円

イ 事業経過

- ・保留地販売価格の改定 9月12日
- ・総会 1回
- ・役員会 5回
- ・評価委員会 1回
- ・販売保留地 14画地 (面積 3,255.76㎡、販売額 81,008,050円)

ウ 実施工事 (組合発注)

工事名	内 容	金額 (円)
区画道路舗装工事	L = 539.5m	5,670,000
区画道路舗装工事 (分割2号)	L = 576.0m、整地工、 付帯工、公共污水柵設置工	9,282,000
区画道路舗装工事 (分割3号)	L = 466.0m	11,350,500
給水管布設工事	1式	450,020
付帯工事	1式	850,500
合 計		27,603,020

### 第3節 維持管理課

#### 〔総括概要〕

維持管理課は市民が安全で快適な暮らしに必要な不可欠な社会資本である道路・河川・公園等の効率的な維持管理に努め、生活環境の向上を図っている。

そのうち公共物管理については、公共用地の適正管理に努めるため、境界の確定や、道水路敷等の占用及び使用について許可、指導等を行った。

道路管理については、常に安全な道路の通行を確保するため、直営による迅速な対応を行うほか、舗装や交通安全施設の維持補修工事等を実施するとともに、道路の環境の向上に努めた。

そのほか、今後急速に老朽化する道路橋への対応や、橋梁の修繕・架替えに係る費用の縮減を図ることを目的に、橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。

また河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草を行うとともに、防災機能を確保するための調整池の維持管理を行った。

さらに、市民協働による取組として道普請事業による道づくりを進めるとともに、道路等のアダプト制度による道路・河川の清掃活動や巴波川一斉清掃をはじめとする自治会等における道路・河川等の愛護活動を積極的に支援することで、市民とともに維持管理に取り組み、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

公園緑地管理については、太平山県立自然公園や、永野川緑地公園を含む市内115か所ある公園等の利用者が安全で快適に利用できるよう、直営による公園の清掃、除草、樹木及び遊具等の施設管理のほか、業者委託による樹木等の管理や施設の維持補修工事を実施し、公園の環境維持の向上に努めた。

そのほか、道路等と同じくアダプト制度による公園の清掃等の活動を支援することで、市民協働により魅力ある公園の維持管理に努めた。

また、栃木市総合運動公園の維持管理については、本市が誇るスポーツ施設として県内はもとより関東一円から、年間30万人以上の利用者が訪れており、総合体育館などの運動施設のほか園内の芝生広場や、憩いの森などを巡る園路等において、健康づくりなどのために利用が増加していることから、常に快適な状態で運動に親しめるよう、指定管理者である(株)メディカルフィットネスとちの木と連携を図り、適切な管理運営、施設維持に努めたほか、総合体育館の音響・空調設備改修工事、主・サブ競技場床塗装改修工事等の施設整備を行うとともに、老朽化対策のため給排水設備改修設計業務委託を実施した。

最後に、太平山県立自然公園の眺望や景観を改善するため、高木の伐採業務委託や園路整備工事を実施した。

道路河川管理担当

1 市認定路線再編成業務関係 (単位：円)

委託箇所	委託内容	金額
市全域	栃木市認定路線再編成業務委託	6,972,000

2 道路占用許可関係 (単位：件)

申請内容	地域名	件数
市道道路占用許可申請	栃木地域	252
	大平地域	147
	藤岡地域	70
	都賀地域	43
	西方地域	33
占用廃止届	栃木地域	21
	大平地域	7
	藤岡地域	6
	都賀地域	—
	西方地域	4
計		583

3 各種申請・手続関係 (単位：件)

内容	地域名	件数
境界確認申請	栃木地域	201
	大平地域	72
	藤岡地域	45
	都賀地域	40
	西方地域	9
切絵図謄本交付・閲覧等申請	栃木地域	1,026
市有財産用途廃止申請	栃木地域	29
	大平地域	3
	藤岡地域	3
	都賀地域	2
	西方地域	2
法定外公共物使用許可申請等	栃木地域	75
	大平地域	56
	藤岡地域	14
	都賀地域	18

	西方地域	21
道路工事施工承認申請	栃木地域	62
	大平地域	13
	藤岡地域	7
	都賀地域	6
	西方地域	7
放流同意申請書（道路・河川）	栃木地域	64
	大平地域	20
	藤岡地域	13
	都賀地域	2
	西方地域	-
計		1,810

#### 4 道路工事関係

##### (1) 道路維持補修工事

(単位：円)

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名			
万町	A 41	側溝打替	6,552,000	
旭町	105	側溝打替	2,163,000	
吹上町	114	側溝打替	4,357,500	
計			13,072,500	

##### (2) 舗装補修工事

(単位：円)

工事箇所		工事内容			金額	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
鍋山町	D 200	229.0	2.4~4.0	舗装補修	2,276,400	
新井町	D 118	1240.0	2.0~5.5	舗装補修	8,064,000	
藤田町	112	630.0	2.0~6.2	舗装補修	8,925,000	
神田・城内町2丁目	102	440.0	3.42	路上再生路盤	18,480,000	
国府町	113	543.0	7.9~13	路上再生路盤	54,600,000	
藤田町	113	480.0	8.3~8.5	路上再生路盤	41,685,000	
計					134,030,400	

##### (3) 通学路交通安全施設工事

(単位：円)

工事箇所		工事内容			金額	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
万町ほか	106ほか	—	—	区画線設置	1,057,350	
大平町	O 197ほか	—	—	区画線設置	493,500	
藤岡町	F 5-24	—	—	区画線設置	157,500	
都賀町	T ①-267	—	—	防護柵設置	619,500	

西方町	N3156ほか	—	—	区画線設置	672,000	
計					2,999,850	

(4) 交通安全施設整備工事 (単位：円)

工事箇所		工事内容			金額	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大町	A4	—	—	街灯設置	2,499,000	
城内町2丁目	101	—	—	外灯設置	1,176,000	
平柳町ほか	A20ほか	—	—	区画線設置	2,068,500	
湊町ほか	206ほか	—	—	その他	3,256,050	
計					8,999,550	

(5) 橋りょう維持補修工事 (単位：円)

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名			
大久保町	大久保橋	橋梁補修(高欄塗装)	279,300	

(6) 橋りょう補修工事 (単位：円)

委託箇所		委託内容	金額	備考
町名	路線名			
平井・片柳町	209	橋梁補修(落橋防止)設計業務	3,517,500	大柳橋

(7) 河川維持補修工事 (単位：円)

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名			
菌部町ほか	東郷堀川ほか	河川護岸補修ほか	6,835,500	
平井町	平井川	河川維持(擁壁設置)工事	1,155,000	
計			7,990,500	

5 業務委託関係

(1) 道路維持補修業務委託 (単位：円)

委託名	委託箇所		委託内容	金額
	町名	路線名		
舗装補修業務	市内全域	—	舗装補修等	14,437,500
道路維持補修業務	市内全域	—	道路補修等	11,982,285
栃木駅関係清掃業務	沼和田町	栃木駅南北 連絡通路ほか	清掃業務	2,829,750
新栃木駅関係清掃業務	平柳町2丁目	新栃木東口広場ほか	清掃業務	1,302,000
新栃木駅東西自由通路 エレベーター保守点検業務	平柳町2丁目	新栃木駅東西 自由通路	エレベーター 保守点検業務	1,512,000
栃木駅南北連絡通路 ドア施錠業務	沼和田町	栃木駅南北 連絡通路	ドア施錠業務	1,369,200

栃木駅南北連絡通路電気設備点検業務	沼和田町	栃木駅南北連絡通路	電機設備等	518,700
樹木管理等業務等	市内全域	113ほか29路線	樹木管理等	15,828,750
計				49,780,185

(2) 橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託 (単位：円)

委託名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町名				
橋りょう長寿命化修繕計画策定業務	市内全域		橋りょう長寿命化修繕計画策定	5,040,000	

(3) 河川・水路管理業務委託 (単位：円)

委託名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町名	河川名等			
調整池管理業務	惣社町ほか1件	調整池	除草ほか	322,350	
巴波川一斉清掃草止め杭打ち業務	小平町・境町	巴波川	堰作り	441,000	
河川浄化施設維持管理業務	入舟町	県庁堀川	設備管理	233,100	
計				996,450	

(4) 清掃業務委託 (単位：円)

委託名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町名	河川名等			
河川水路等清掃業務	城内町2丁目ほか11件	城内川ほか	河川・水路清掃等	4,143,300	

6 道普請事業  
業務委託

(単位：円)

委託名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町名				
道普請事業測量・用地調査業務	野中町ほか		測量・用地調査	7,980,000	
道普請支給資材	野中町地内ほか		側溝ほか	2,993,372	
計				10,973,372	

7 工事用原材料

(単位：円)

材料名	単位	数量	金額
常温合材等	t	2,039	23,567,250
切込碎石等	m <sup>3</sup>	625.52	1,186,265
側溝蓋等	枚	700	1,241,100
交通安全施設用資材	—	—	3,645,075
木材等	—	—	94,185

計	29,733,875
---	------------

## 8 栃木市道路等のアダプト制度（道路・河川）

「栃木市道路等のアダプト制度」は、ボランティア活動に意欲のある市民が、身近な公共空間である道路、河川等において、清掃、除草等の美化活動を行い、市がその活動をサポートすることにより、市民協働による維持管理を行う制度で、平成 24 年度現在の活動者（団体）の状況は、12 路線の道路に 12 団体、永野川ほか 4 河川に 9 団体の届出がある。

### 公園緑地担当

#### 1 公園管理事業

##### 都市公園等管理事業

##### (1) 公園の清掃等

公園の清掃、除草、下草刈り払い等を実施した。また、アダプト制度により、登録団体等による公園の清掃、除草、草花管理等の作業が実施された。

##### (2) 樹木の管理

公園内樹木の育成管理や病虫害防除のため、伐採、剪定、施肥、薬剤散布等を市職員及び専門業者への委託により実施した。

##### (3) 施設の維持管理

利用者が常に快適、安全に利用できるよう、公園施設の点検、注油、補修等を行い、事故防止と施設の維持管理に努めた。

（単位：円）

補 修 内 容	金 額
公園施設補修（遊歩道改修工事 ほか 16 件）	5,525,867
給排水設備修理（排水施設清掃工事 ほか 5 件）	331,800
遊具修理（チューブスライダー改修工事 ほか 4 件）	7,424,550
トイレ補修（太平山トイレ修繕工事 ほか 11 件）	2,314,594
電気設備修理（外灯器具修理工事 ほか 5 件）	261,030
合 計	15,857,841

##### (4) 業務委託

（単位：円）

業 務 名	公 園 名	金 額	
管 理 業 務 委 託	樹木管理業務	永野川緑地公園、錦着山公園、円通寺前公園、四季の森公園等	18,044,880
	高木剪定、樹木剪定、支障木伐採業務	芝塚山公園、円通寺前公園、うずま公園等	11,296,215
	除草業務委託	芝塚山公園、えきまえ・くすのき公園等	3,417,750
	公園清掃業務	丸沼・長瀬公園、皆川城址公園、永野川緑地公園	845,760

	テングス病枝除去業務	太平山遊覧道路	492,450
	桜害鳥(ウソ)防除業務	太平山県立自然公園	410,550
	害虫・スズメバチ駆除業務等	四季の森、円通寺前公園、第二公園、ほか3か所	138,600
施設管理委託	浄化槽維持管理業務	太平山県立自然公園	3,382,155
	公園清掃業務(せせらぎ水路)	丸沼・長瀬公園	1,260,000
	警備業務委託	永野川緑地公園パークセンター	138,600
合 計			39,426,960

(5) 各種許可申請及び届出 (単位:件)

内 容	地 域 名	件 数
公園内における行為の許可申請	栃木地域	76
	大平地域	4
	藤岡地域	2
	都賀地域	6
	西方地域	11
合 計		99

2 総合運動公園管理事業

(1) 維持補修 (単位:円)

補 修 内 容	金 額
高圧幹線改修	2,625,000
浄化槽破砕機整備	499,800
移動式バスケット台修繕	460,215
陸上競技場給水管漏水修繕	325,500
噴水給水バルブ交換	315,000
駐車場標示改修	252,000
外灯絶縁不良改修	74,550
合 計	4,552,065

(2) 業務委託 (単位:円)

業 務 内 容	金 額
高木剪定、伐採木運搬及び処分業務	1,456,350
枯損木・支障木処理業務	102,900
合 計	1,559,250

### 3 総合運動公園管理運営委託事業

#### (1) 業務委託

(単位:円)

業 務 名	業 務 内 容	金 額
総合運動公園管理運営業務	施設管理運営 (指定管理料)	161,579,372

#### (2) 利用状況

##### ア 総合体育館

(単位:人)

区分 月	主競技 場	サブ競 技場	卓球場	トレー ニング室	柔道場	剣道場	会議室	計
4月	4,711	1,760	938	1,975	41	338	235	9,998
5月	6,537	2,385	853	2,129	92	458	482	12,936
6月	6,785	3,073	905	2,086	86	546	315	13,796
7月	5,213	2,541	824	2,212	107	257	78	11,232
8月	5,369	2,348	1,091	2,292	60	284	416	11,860
9月	6,806	2,943	815	2,312	208	327	288	13,699
10月	7,584	2,749	861	2,453	244	387	439	14,717
11月	3,723	1,812	816	2,264	163	419	372	9,569
12月	—	500	894	2,035	87	466	130	4,112
1月	—	—	965	2,367	99	475	85	3,991
2月	—	—	1,005	2,600	83	550	168	4,406
3月	—	—	1,191	2,747	105	527	389	4,959
計	46,728	20,111	11,158	27,472	1,375	5,034	3,397	115,275

※ 教室の人数は含まれておりません。

※ 床塗装改修工事、音響・非常放送設備改修工事により、12月1日から3月31日まで、主・サブ競技場の利用を中止。

※ 9月1日から3月31日までの平日のみ、トレーニングルームの利用時間を午後10時まで延長。

##### イ 野球場・グラウンド

(単位:人 ( )内は利用件数)

区分 月	硬式野球場	軟式野球場 4面	ナイター 1面	芝生運動広場 2面	多目的広場 2面	計
4月	712	3,503	132	1,121	1,739	7,207(78)
5月	1,025	3,591	182	1,727	3,245	9,770(80)
6月	645	2,901	249	1,356	2,713	7,864(87)
7月	780	2,727	160	1,468	2,905	8,040(91)
8月	924	3,514	212	1,278	2,203	8,131(105)

9月	1,507	3,449	285	1,702	2,365	9,308(84)
10月	662	3,846	281	1,099	3,686	9,574(77)
11月	817	1,701	120	893	2,355	5,886(85)
12月	5,000	896	60	723	1,852	8,531(51)
1月	—	—	60	1,011	1,627	2,698(51)
2月	—	—	90	331	707	1,128(35)
3月	2,171	2,552	120	1,453	1,469	7,765(93)
計	14,243	28,680	1,951	14,162	26,866	85,902(917)

※12月1日から3月9日グラウンド整備のため、軟式球場（4面）の利用を中止。

ウ 庭球場

月	区分	大会		計
	一般利用	件数(件)	人数(人)	人数(人)
4月	4,100	8	1,865	5,965
5月	4,664	11	1,973	6,637
6月	4,223	9	1,504	5,727
7月	5,044	9	2,026	7,070
8月	4,632	7	1,313	5,945
9月	4,593	9	1,236	5,829
10月	4,440	7	726	5,166
11月	3,856	8	3,738	7,594
12月	3,777	8	1,438	5,215
1月	4,182	6	776	4,958
2月	3,794	3	184	3,978
3月	4,154	5	892	5,046
計	51,459	90	17,671	69,130

※ 教室の人数は含まれておりません。

エ 陸上競技場

(単位:人( )内は利用件数)

月	区分	個人	団体	計	区分	個人	団体	計
4月		174	2,051 (25)	2,225	10月	450	1,771 (28)	2,221
5月		244	4,244 (28)	4,488	11月	156	2,995 (18)	3,151
6月		560	2,184 (15)	2,744	12月	39	843 (12)	882
7月		474	2,902 (27)	3,376	1月	449	1,767 (10)	2,216
8月		602	2,680 (48)	3,282	2月	563	562 (9)	1,125
9月		399	2,036 (29)	2,435	3月	781	1,332 (25)	2,113
合 計						4,891	25,367(274)	30,258

オ プール

(単位：人)

月	区分	大人	高校生以下	計	区分	大人	高校生以下	計
4月		1,778	373	2,151	10月	1,963	236	2,199
5月		1,940	499	2,439	11月	1,922	196	2,118
6月		2,252	729	2,981	12月	1,666	204	1,870
7月		4,256	3,076	7,332	1月	1,250	147	1,397
8月		6,534	3,515	10,049	2月	1,234	201	1,435
9月		2,681	731	3,412	3月	1,855	349	2,204
合 計						29,331	10,256	39,587

※ 教室の人数は含まれておりません。

※ 9月1日から3月31日までの毎週火曜日を保守点検日として利用を中止。

カ 弓道場

(単位：人( )内は利用件数)

区分	個人	団体	計	区分	個人	団体	計	
月				月				
4月	17	412(6)	429	10月	7	676(7)	683	
5月	12	785(13)	797	11月	14	642(7)	656	
6月	16	1,598(8)	1,614	12月	17	378(4)	395	
7月	18	808(10)	826	1月	22	393(5)	415	
8月	11	906(10)	917	2月	19	610(8)	629	
9月	25	430(4)	455	3月	20	276(6)	296	
合 計						198	7,914(88)	8,112

(3) 自主事業開催状況

市民の健康や体力の維持増進とスポーツ及びレクリエーションの普及のための各種講座等の開催や、利用者の目的に合った効果的なトレーニングができるようサービスの提供に努めた。

また、プールの閉鎖時期を利用し、50m プールを「管理釣り場」として開設し、施設の有効活用及び利用者の拡大に努めた。

ア 各種スポーツ教室

講 座 名	期 間	延べ参加者数(人)
ピラティス	4月～3月	661
エアロビクス(夜)	4月～3月	380
ヨーガセラピー	4月～3月	286
ハワイアンフラ・フラ入門	4月～3月	362
ヒーリングヨーガ	4月～3月	274
硬式テニス(一般午前)	4月～3月	418
硬式テニス(一般ナイター)	4月～3月	221
硬式テニス(小学1～4年生)	4月～3月	634
硬式テニス(小学3～6年生)	4月～3月	677
KID'S SPORTS SCHOOL	4月～3月	1,106
スロートレーニング	4月～3月	370

ノルディックウォーキング	4月～3月	304
エンジョイフットサル	4月～10月	722
キッズトレーニング	4月～3月	1,350
卓球	4月～3月	213
キッズダンス	4月～3月	783
サッカー	4月～3月	803
ラグビー	4月～3月	326
ゴルフ	4月～3月	126
短期スポーツ教室	7月～8月	254
ステップ	10月～3月	434
サーキット	10月～3月	283
バランスボール	10月～3月	320
ズンバ	10月～3月	232
青竹体操	11月～3月	128
バランス改善運動	11月～3月	61
ポールストレッチ	11月～3月	112
部位別サーキットトレーニング	11月～3月	107
ブーツキャンプ	12月～3月	48
フィールドヨガ	1月～3月	90
HIP HOP	1月～3月	54
プラーナヨガ	1月～3月	67
合 計		12,206

イ 水泳教室

教室名	期 間	延べ参加者数(人)
幼児水なれ	4月～3月	1,785
幼児初級	4月～3月	1,443
幼児初中級	4月～3月	—
小学生水なれ	4月～3月	813
小学生初級	4月～3月	3,394
小学生初中級	4月～3月	3,364
小学生中級	4月～3月	3,193
小学生上級	4月～3月	1,012
大人はじめて	4月～3月	553
大人初級	4月～3月	1,297
大人中級	4月～3月	544
大人水中運動	4月～3月	484
大人水中歩行	4月～3月	888
大人アクアビクス	4月～3月	1,064
スローアクアビクス	1月～3月	74
短期水泳教室	7月～8月	331

合 計	20,239
-----	--------

ウ PASS 登録者数 (単位:人)

区 分	登録者数	登録者利用数
シングル PASS (体育館)	242	67,808
シングル PASS (プール)	152	
シングル PASS (陸上競技場)	2	
シングル PASS (弓道場)	1	
マルチ PASS	84	
マルチ PASS(U V A)	31	
メディカル PASS	10	
ジュニア PASS	31	
マンスリーPASS	187	
合 計	740	

シングル PASS・・・個人利用可能な有料施設 1 か所が年間使い放題

マルチ PASS・・・個人利用可能な有料全施設が年間使い放題

メディカル PASS・・・フィットネス・メディカルサービスが受けられる

ジュニア PASS・・・小学生を対象としたスポーツ塾

マンスリーPASS・・・個人利用可能な有料施設とレッスンプログラムが月間使い放題

エ PASS 登録者の施設利用人数 (単位:人)

区 分		登録者利用数
総合体育館	メイン・サブ競技場	3,855
	トレーニングルーム	19,038
	卓球場	3,388
	柔道場	59
	剣道場	155
	会議室	
プール		16,345
陸上競技場		244
弓道場		142
テニスコート		24,582

オ 管理釣り場

・開設期間 4月、11月、12月、1月～3月

・利用状況

(単位:人)

区分	共通券			平日券		計
	一日券	午前券	午後券	イブニング券	ナイター券	
大 人	391	273	632	60	458	1,814

中学生以下	40	7	79	0	18	144
計	431	280	711	60	476	1,958

(ア) 魚のつかみどり 4月28日～30日 参加者200人

#### 4 総合運動公園施設整備事業

##### (1) 業務委託

(単位:円)

施設名	内容	金額
体育館	給排水設備改修設計業務	1,837,500
	消火設備改修設計業務	483,000
合計		2,320,500

##### (2) 整備工事事業

(単位:円)

施設名	内容	金額
体育館	音響・空調設備改修工事	98,196,000
	主・サブ競技場床塗装改修工事	10,972,500
	非常放送設備改修工事	4,042,500
芝生広場	人道橋改修工事 ほか2件	5,460,000
硬式野球場	B S Oランプ改修工事	2,541,000
多目的・芝生グラウンド	バックネット工事 ほか2件	850,500
合計		122,062,500

##### (3) 備品購入費

(単位:円)

施設名	内容	金額
多目的グラウンド	バックネット等購入	2,205,000

#### 5 太平山県立自然公園施設整備事業費

##### (1) 業務委託

(単位:円)

業務名	業務内容	金額
樹木管理等業務委託	自然公園等樹木管理業務	2,415,000

##### (2) 工事請負

(単位:円)

業務名	業務内容	金額
施設整備工事	謙信平園地修繕工事	499,800

#### 6 歩いていける公園整備事業費

(単位:円)

業務内容	金額
(仮称)箱森公園設計等業務委託料	2,310,000

## 7 その他事業

### (1) 家庭緑化用苗木配布会の開催

みどり豊かな環境を次の世代に引き継いでいくため、市民の緑化意識の高揚と環境緑化の推進を図るための緑化行事として苗木配布会を実施した。

- ・実施日 10月28日（日）
- ・場 所 総合運動公園中心広場
- ・内 容 ハナミズキ（白） 500本配布

### (2) 栃木市道路等のアダプト制度（公園）

「栃木市道路等のアダプト制度」は、ボランティア活動に意欲のある市民が、身近な公共空間である公園等において、清掃、除草等の美化活動を行い、市がその活動をサポートすることにより、市民協働による維持管理を行う制度。平成24年度の活動者（団体）の状況は31公園に33団体、6個人の届出があった。

## 第4節 建築指導課

### 〔総括概要〕

市民の生命・財産の保護及び都市の健全な発展と秩序ある整備を図るとともに、国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に資するため、建築指導業務、建築審査業務、開発指導業務を行った。

建築指導業務及び建築審査業務については、建築基準法に基づき、建築確認審査等の建築行政事務を執行し、建築基準法に基づく許可等、確認済証の交付、完了検査済証の交付等を行った。

平成24年4月に新しく策定した栃木市建築物耐震改修促進計画に基づき、地震に強いまちづくりを推進するため、旧耐震基準で建てられた木造住宅の耐震診断や補強計画策定、耐震改修工事などの耐震化に要する費用の一部補助を行った。

また、私有地内に新たに築造された道路の位置指定や違反建築物是正に取り組む一方、狭あい道路の解消を目的として、建築基準法第42条第2項に指定している道路に接して建築物を建てる際に後退した私有地部分について、道路として使用するため、無償使用承諾の要請を行い、その申請を受理した。

その他、建設リサイクル法に基づく届出書の受理及び通知書の收受を行い、分別解体の適否と標識の表示について確認を行った。

開発指導業務では、都市周辺部における無秩序な市街化及び不良市街地の形成を防止するため、開発行為の許可等に係わる事務について、都市計画法の規定に基づき許可、協議、指導等を行った。

また、庁内での開発行為等に関する情報交換や意思統一を図るために関係課職員の参加を求め、土地利用調整会議を毎月1回開催した。

### 建築指導担当

#### 1 木造住宅耐震診断・耐震改修補助制度

##### (1) 耐震診断（補助計画策定含む）

申請件数	18件	補助額計	1,270,000円
------	-----	------	------------

##### (2) 耐震改修

申請件数	8件	補助額計	4,768,000円
------	----	------	------------

#### 2 道路位置指定

指定件数	5件	指定延長	239m
廃止件数	2件	廃止延長	87m

#### 3 建設リサイクル法による届出及び通知

10条届出	305件	11条通知	35件
-------	------	-------	-----

4 道路後退用地無償使用承諾

承諾件数	21 件	後退面積計	231 m <sup>2</sup>
------	------	-------	--------------------

5 狭あい道路拡幅整備促進事業

(1) 分筆測量に係る補助申請

申請件数	4 件	補助額計	1,052,000 円
------	-----	------	-------------

(2) 工作物等撤去に係る補助申請

申請件数	3 件	補助額計	242,000 円
------	-----	------	-----------

6 建築許可等の状況

条 項 の 区 分	件数(件)
法第 7 条の 6 第 1 項又は法第 18 条第 22 項	4
法第 43 条第 1 項	13
法第 44 条第 1 項	—
法第 47 条	—
法第 48 条第 1 項から第 13 項	2
法第 51 条	—
法第 52 条第 14 項	—
法第 53 条第 4 項、第 5 項	—
法第 53 条の 2 第 1 項	—
法第 55 条第 2 項、第 3 項	—
法第 56 条の 2 第 1 項	1
法第 57 条の 4 第 1 項	—
法第 59 条第 1 項、第 4 項	—
法第 59 条の 2 第 1 項	—
法第 60 条の 2 第 1 項	—
法第 67 条の 2 第 3 項、第 5 項、第 9 項	—
法第 68 条第 1 項から第 3 項、第 5 項	—
法第 68 条の 3 から第 68 条の 7	—
法第 85 条	1
法第 86 条第 1 項から第 4 項	—
総 計	21

7 長期優良住宅等認定件数 (単位：件)

申請件数	136	認定件数	138
------	-----	------	-----

8 建築確認申請受付件数及び同手数料

- ・受付状況等 【別表】平成 24 年度建築確認受付件数及び同手数料参照

建築審査担当

1 建築確認、中間検査合格証及び検査済証の交付件数 (単位：件)

区 分		第1号建築物	第2号建築物	第3号建築物	第4号建築物	建築設備	工作物	計
確認	栃木市	16	1	14	403	4	12	450
	指定確認検査機関	19	1	66	336	8	11	441
	総数	35	2	80	739	12	23	891
計画変更	栃木市	3	1	7	42	-	2	55
	指定確認検査機関	5	-	18	41	-	-	64
	総数	8	1	25	83	-	2	119
中間検査	栃木市	-	-	-	18	-	-	18
	指定確認検査機関	1	-	-	58	-	-	59
	総数	1	-	-	76	-	-	77
完了検査	栃木市	8	-	11	345	3	6	373
	指定確認検査機関	14	2	62	320	5	11	414
	総数	22	2	73	665	8	17	787

2 計画通知（法18条）件数 (単位：件)

区 分		第1号建築物	第2号建築物	第3号建築物	第4号建築物	建築設備	工作物	計
計画通知	確認	3	-	1	6	2	-	12
	計画変更	2	-	-	-	-	-	2
	中間検査	-	-	-	-	-	-	-
	完了検査	6	-	2	4	8	-	20

3 住宅金融支援機構審査申請件数取扱状況

・手数料収入 -円

取扱状況 (単位：戸数)

一戸建住宅	共同住宅	既存住宅購入
-	-	-

【別表】平成24年度建築確認受付件数及び同手数料

	確認申請															中間検査		完了検査		許可認定		各種証明		月別計		適合判定		
	1号		2号		3号		4号		EV		工作物		計画変更		計		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額												
4月	1	37,000	-	-	1	37,000	27	524,000	2	30,000	-	-	2	18,000	33	646,000	-	-	26	723,000	1	33,000	5	1,000	65	1,403,000	1	159,000
5月	1	23,000	-	-	1	9,000	31	711,000	-	-	-	-	5	57,000	38	800,000	1	21,000	30	725,000	-	-	1	200	70	1,546,200	-	-
6月	2	38,000	-	-	3	140,000	40	828,000	-	-	1	13,000	5	57,000	51	1,076,000	2	37,000	21	504,000	4	166,000	5	1,000	83	1,784,000	1	212,000
7月	2	46,000	-	-	2	46,000	37	769,000	-	-	-	-	2	18,000	43	879,000	2	42,000	35	860,000	1	33,000	5	1,000	86	1,815,000	-	-
8月	1	66,000	-	-	1	15,000	26	574,000	-	-	1	13,000	4	70,000	33	738,000	2	42,000	25	599,000	3	116,000	2	400	65	1,495,400	1	159,000
9月	1	66,000	-	-	1	23,000	37	743,000	-	-	1	13,000	3	27,000	43	872,000	1	21,000	31	861,000	2	153,000	4	800	81	1,907,800	-	-
10月	1	9,000	-	-	-	-	41	833,000	-	-	2	26,000	4	42,000	48	910,000	3	53,000	33	790,000	2	58,000	5	1,000	91	1,812,000	-	-
11月	1	23,000	-	-	3	97,000	37	759,000	-	-	1	13,000	6	50,000	48	942,000	-	-	42	1,026,000	-	-	3	600	93	1,968,600	-	-
12月	2	60,000	-	-	-	-	38	796,000	1	15,000	5	65,000	1	15,000	47	951,000	-	-	35	883,000	3	81,000	5	1,000	90	1,916,000	-	-
1月	-	-	-	-	1	23,000	26	586,000	-	-	-	-	8	75,000	35	684,000	1	21,000	24	584,000	3	263,000	2	400	65	1,552,400	-	-
2月	1	23,000	-	-	2	60,000	36	778,000	1	15,000	-	-	9	99,000	49	975,000	4	84,000	31	735,000	2	240,000	4	800	90	2,034,800	-	-
3月	5	402,000	-	-	1	37,000	38	770,000	-	-	1	13,000	8	78,000	53	1,300,000	2	37,000	56	1,349,000	5	174,000	3	600	119	2,860,600	4	935,000
計	18	793,000	-	-	16	487,000	414	8,671,000	4	60,000	12	156,000	57	606,000	521	10,773,000	18	358,000	389	9,639,000	26	1,317,000	44	8,800	998	22,095,800	7	1,465,000

開発指導担当

1 都市計画法に基づく開発許可制度に関すること

(1) 許可等の状況

区 分		件数(件)
都 市 計 画 法	法第29条第1項 開発許可	113
	法第35条の2第1項 開発変更許可	10
	法第36条第2項 完了検査及び検査済証の交付	101
	法第36条第3項 完了公告	106
	法第37条第1項 建築制限解除承認	13
	法第38条 開発廃止届の受理	-
	法第42条第1項但書 用途変更等許可	8
	法第43条第1項 建築行為許可	45
	法第46条 開発登録簿の調製	113
	法第47条第5項 開発登録簿の写しの交付	136
	省令第60条 開発行為又は建築行為に関する証明	130

(2) 開発行為等許可申請手数料の収納状況

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	16	27	17	28	27	14	
金額(円)	216,650	768,130	723,560	1,087,450	271,690	238,180	
月 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数(件)	29	32	15	17	29	22	273
金額(円)	1,073,470	681,520	290,680	337,520	583,390	725,880	6,998,120

※ 件数及び金額は、受付ベース

(3) 栃木県開発審査会

市街化調整区域内における開発行為のうち、都市計画法第34条第14号に定める立地基準の該非を審査する機関で本年度は4回開催された。

- ・ 個別付議 1件
- ・ 報告事案 33件

(4) 栃木県開発許可事務連絡協議会

開発許可制度の有効な運用と事務改善を目的とする協議会。

- ・ 幹事会 1回
- ・ 総会 1回
- ・ 研修会 3回
- ・ 先進都市視察研修 1回

2 優良宅地の認定に関すること

租税特別措置法に基づく優良宅地の認定申請はなかった。

## 第 8 章 上下水道部

### 第 1 節 水道課（公営企業事務部局）

#### 〔総括概要〕

水道事業については、安全で安心な水の継続的供給が不可欠であり、今年度は、施設の改良、老朽管の更新及び耐震化等の整備を進め、また、事業統合に向けての創設認可取得業務委託を行った。主な建設改良事業は次のとおりである。

栃木地域については、第 4 次拡張事業として、出流浄水場系取水施設整備工事や大宮地区等の配水管布設工事を行った。また、上水道整備事業として、下水道事業等他事業からの依頼による配水管移設工事や老朽塩化ビニル管からダクタイトイル管への布設替工事を行った。

大平地域については、上水道整備事業として、下水道事業等他事業からの依頼による配水管移設工事や栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地地区画整理事業及び J R 大平下駅前土地地区画整理事業からの依頼による配水管布設工事を行った。また、水源地改良事業として、蔵井水源地及び横堀取水場取水制御盤交換工事を行った。

藤岡地域については、上水道設備改良事業として、藤岡第 2 浄水場 pH 調整設備工事を行った。また、老朽管更新事業として、石綿セメント管からダクタイトイル管への布設替工事を行った。

都賀地域については、上水道整備事業として、主要地方道栃木栗野線配水管布設工事を行った。また、配水設備整備事業として、都賀第 2 浄配水場配水ポンプ増設工事を行った。

西方地域については、上水道整備事業として、西方町金井、本郷地内の配水管布設工事及び西方町本郷地内の配水管布設替工事を行った。

水道水の検査及び施設の維持管理については、毎月定期的に水質検査を実施するとともに、水源や浄水場施設の故障及び定期点検や、突発的に発生する漏水事故等に迅速に対応した。

水道料金の再編については、水道事業についての審議を行う上下水道事業調査委員会を発足させ、料金等の調整に着手した。また、水道料金システムについても統一を図るべく業者選定を行い、システム統合に向けて調整を開始した。

水道料金収納については、年間を通じ給水区域全域において給水停止を含む納付指導を行うなど収納率の向上に努め、会計事務については、法令等に基づき現金及び物品の出納保管等の適正処理を行うとともに、定期預金のほか短期国債の購入による安全で効率的な資金運用を図った。

給水状況は、給水戸数 48,239 戸、給水人口 129,502 人となり、行政区域内人口に対する普及率は 88.3% となった。また、年間配水量は 18,228,911 m<sup>3</sup> となった。

業務担当

北部水道事務所担当

南部水道事務所担当

## 1 水道事業会計収入・支出予算

(単位：千円)

区 分	議決等年月日	収益的収支		資本的収支	
		収 入	支 出	収 入	支 出
当初予算	平成24年 3月22日	2,217,549	2,185,213	204,958	1,319,107
補正第1号	平成24年12月20日	-	27,500	-	-
補正第2号	平成25年 3月22日	-	-	△1,000	-
計		2,217,549	2,212,713	203,958	1,319,107

## 2 企業債の状況

種 類	発行件数 (件)	発行総額(円)	償 還 高(円)		未償還残高 (円)
			当年度償還高	償還高累計	
政府資金	56	4,480,700,000	177,357,112	1,510,404,924	2,970,295,076
機構資金	106	6,213,700,000	201,125,113	1,079,165,164	5,134,534,836
その他	4	351,600,000	35,272,278	121,876,751	229,723,249
計	166	11,046,000,000	413,754,503	2,711,446,839	8,334,553,161

## 3 水道普及状況

	給水人口(人)	給水戸数(戸)	行政区域内普及率(%)
栃 木	67,113	26,114	83.7
大 平	27,679	10,148	93.4
藤 岡	15,400	5,416	91.4
都 賀	12,881	4,396	95.8
西 方	6,429	2,165	97.6
全 体	129,502	48,239	88.3

## 4 給水状況

## (1) 年間配水量

(単位：m<sup>3</sup>)

	有 効 水 量			無効水量	配水量
	有収水量	無収水量	計		
栃木	7,401,654	512,099	7,913,753	1,200,055	9,113,808
大平	3,215,709	129,892	3,345,601	530,603	3,876,204
藤岡	1,483,089	427,171	1,910,260	258,146	2,168,406
都賀	1,239,264	54,490	1,293,754	848,528	2,142,282
西方	639,842	26,149	665,991	262,220	928,211
全体	13,979,558	1,149,801	15,129,359	3,099,552	18,228,911

## (2) 月別配水量

(単位：m<sup>3</sup>)

	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	全体
4月	760,862	311,113	170,643	179,352	69,630	1,491,600
5月	765,273	324,650	182,157	175,587	74,266	1,521,933
6月	739,373	314,075	178,764	163,634	74,389	1,470,235
7月	785,139	330,843	188,539	178,784	87,341	1,570,646
8月	801,169	334,226	191,838	183,380	93,367	1,603,980
9月	766,180	317,993	178,637	176,218	81,408	1,520,436
10月	768,870	323,550	182,144	180,560	80,392	1,535,516
11月	743,592	314,060	175,472	174,489	78,906	1,486,519
12月	775,220	333,667	184,410	185,208	81,809	1,560,314
1月	765,207	335,594	186,059	187,183	76,144	1,550,187
2月	686,453	301,536	164,695	167,037	65,314	1,385,035
3月	756,470	334,897	185,048	190,850	65,245	1,532,510
計	9,113,808	3,876,204	2,168,406	2,142,282	928,211	18,228,911

## (3) 用途別・口径別給水状況

## ア 栃木地域

用途	平成25年3月31日 現在(戸)	平成24年3月31日 現在(戸)	増減 (戸)	平成24年度 有収水量(m <sup>3</sup> )	利用率(%)
家事用	24,192	23,862	330	5,215,527	70.47
営業用	1,623	1,603	20	1,069,714	14.45
官公署・学校用	172	168	4	514,013	6.94
工業用	1	1	-	596,438	8.06
臨時用	126	93	33	5,962	0.08
計	26,114	25,727	387	7,401,654	100.00

## イ 大平地域

口径	平成25年3月31日 現在(戸)	平成24年3月31日 現在(戸)	増減 (戸)	平成24年度 有収水量(m <sup>3</sup> )	利用率(%)
13mm	7,593	7,538	55	1,807,662	56.21
20mm	2,331	2,207	124	612,623	19.05
25mm	98	99	△1	64,376	2.00
30mm	50	50	-	82,157	2.56
40mm	40	40	-	81,352	2.53
50mm	22	22	-	246,979	7.68
75mm	14	14	-	320,560	9.97
計	10,148	9,970	178	3,215,709	100.00

ウ 藤岡地域

用途	平成25年3月31日 現在(戸)	平成24年3月31日 現在(戸)	増減 (戸)	平成24年度 有収水量(m <sup>3</sup> )	利用率(%)
一般用	5,335	5,317	18	1,412,924	95.27
官公署用	80	81	△1	64,768	4.37
工業用	1	1	-	5,397	0.36
臨時用	-	-	-	-	-
計	5,416	5,399	17	1,483,089	100.00

エ 都賀地域

用途	平成25年3月31日 現在(戸)	平成24年3月31日 現在(戸)	増減 (戸)	平成24年度 有収水量(m <sup>3</sup> )	利用率(%)
一般用	4,164	4,108	56	1,029,123	83.04
営業用	140	138	2	101,525	8.19
工場用	5	5	-	4,046	0.33
団体用	38	37	1	91,076	7.35
公共用	47	46	1	13,412	1.08
一般共用	2	2	-	79	0.01
臨時用	-	-	-	3	-
計	4,396	4,336	60	1,239,264	100.00

オ 西方地域

用途	平成25年3月31日 現在(戸)	平成24年3月31日 現在(戸)	増減 (戸)	平成24年度 有収水量(m <sup>3</sup> )	利用率(%)
一般用	1,999	1,999	-	455,080	71.12
営業用	122	118	4	149,793	23.41
団体用	44	44	-	34,969	5.47
臨時用	-	-	-	-	-
計	2,165	2,161	4	639,842	100.00

工務担当

北部水道事務所担当

南部水道事務所担当

## 1 工事関係

(1) 建設改良工事関係 (工事請負契約 300 万円を超えるもの)

(単位：円)

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費
県道栃木環状線配水管 移設工事 (箱森町)	配水管布設 DCIP φ 250 mm L=28.2m DCIP φ 150 mm L=15.1m 消火栓 1 基 空気弁 1 か所	3,457,650
主要地方道栃木栗野線 配水管布設工事 (栃木 1 工区) (木野地町)	配水管布設 DCIP φ 250 mm L=501.3m DCIP φ 150 mm L= 3.4m DCIP φ 100 mm L= 22.3m 排泥設備 1 か所	25,609,500
栃木駅東通り 配水管布設替工事 (河合町)	配水管布設 DCIP φ 150 mm L=181.9m DCIP φ 100 mm L=304.9m DCIP φ 75 mm L= 16.0m SUS φ 150 mm L= 24.2m	22,079,400
第 4 拡 市道 C23 号線外 給・配水管布設工事 (野中町)	配水管布設 DCIP φ 150 mm L= 32.6m DCIP φ 100 mm L=569.1m 排泥設備 2 か所	17,381,700
出流浄水場系 取水施設整備工事 (第 1 水源) (出流町)	土工事 1 式 第 1 取水井築造工事 1 式 集水管布設工事 1 式 付帯工事 1 式	29,169,000
市道 D22 号線外 給・配水管 布設工事 (皆川城内町)	配水管布設 DCIP φ 100 mm L=304.6m	7,098,000
市道 A126 号線配水管布設工事 (片柳町 1 丁目)	配水管布設 DCIP φ 100 mm L=178.2m 消火栓 1 基	6,174,000
市道 C15 号線外 舗装復旧工事 (大塚町)	工事延長 L=477.0m 表層工及び不陸整正工 A=1,983 m <sup>2</sup> 区画線工 1 式	6,058,500
市道 218 号線外 舗装復旧工事 (国府町)	工事延長 L=662.9m 表層工及び不陸整正工 A=3,281 m <sup>2</sup> 区画線工 1 式	10,363,500

第4 拓 市道 B46 号線配水管布設工事 (大宮町)	配水管布設 DCIP φ 150 mm L=614.6m 消火栓 2 基 排泥設備 1 か所	22,371,300
主要地方道栃木栗野線 配水管布設工事 (栃木 2 工区) (木野地町)	配水管布設 DCIP φ 250 mm L=488.4m DCIP φ 150 mm L=60.6m DCIP φ 100 mm L= 7.2m 空気弁 2 か所	33,789,000
小山栃木都賀線配水管布設 工事 (大宮町)	配水管布設 DCIP φ 150 mm L=334.9m DCIP φ 100 mm L=329.7m DCIP φ 75 mm L= 39.3m 消火栓 1 基	22,662,150
市道 A182 号線外 給・配水管 布設替工事 (城内町 2 丁目)	配水管布設 DCIP φ 75 mm L=222.4m	11,816,700
第4 拓 市道 C272 号線 配水管布設工事 (大町)	配水管布設 DCIP φ 100 mm L=146.7m 排泥設備 1 か所	6,930,000
市道 A16 号線外 給・配水管 布設替工事 (城内町 2 丁目)	配水管布設 DCIP φ 100 mm L=408.0m DCIP φ 75 mm L= 14.6m	18,720,450
市道 A161 号線外 給・配水管 布設替工事 (城内町 2 丁目)	配水管布設 DCIP φ 100 mm L=167.9m	7,464,450
大平蔵井水源地No.5 及びNo.6 号 配水ポンプ更新工事 (大平町蔵井)	No.5 号配水ポンプ交換 1 式 No.6 号配水ポンプ交換 1 式	41,359,500
大平蔵井水源地及び横堀取水 場制御盤交換工事 (大平町蔵井・横堀)	蔵井水源地設備工 1 式 横堀取水場設備工 1 式	36,960,000
下水道工事に伴う配水管移設 工事 (大平町西野田)	配水管布設 DCIP φ 100 mm L=90.1m PP φ 50 mm L=35.0m	6,489,000
中央町地区 配水管布設替 工事 (第 1 工区) (大平町蔵井)	配水管布設 HPPE φ 75 mm L=393.0m PP φ 50 mm L=177.6m	12,495,000
市道 0157 号線道路整備に伴う 水道工事 (大平町川連)	配水管布設 HIVP φ 150 mm L=5.4m 給水管分岐 PP φ 50 mm L=7.6m 排泥設備 1 か所	4,242,000
中央町地区 配水管布設替 工事 (第 2 工区) (大平町蔵井)	配水管布設 HPPE φ 100 mm L=362.9m HPPE φ 75 mm L=95.8m	16,915,500

	PP φ 50 mm L=196.3m 消火栓 2基	
中央町地区 配水管布設替 工事 (第3工区) (大平町下皆川)	配水管布設 HPPE φ 100 mm L=155.1m HPPE φ 75 mm L=279.3m PP φ 50 mm L=358.5m	16,474,500
JR大平下駅前土地地区画整理 事業に伴う配水管布設工事 (大平町富田)	配水管布設 HPPE φ 150 mm L=76.6m HPPE φ 100 mm L=31.7m PP φ 50 mm L=26.0m	3,664,500
藤岡第2浄水場 pH調整設備 工事 (藤岡町蛭沼)	炭酸ガス注入設備工 1式 電気設備工 1式	51,765,000
県道佐野古河線外 舗装復旧 工事 (藤岡町藤岡・大前)	工事延長 L=503.4m 表層工及び不陸整正工 A=2,613 m <sup>2</sup> 区画線工 1式	8,893,500
国庫補助事業 中根地区 配水管布設替工事 (藤岡町中根)	配水管布設 DCIP φ 250 mm L=174.1m	9,828,000
国庫補助事業 市道F27号線 配水管布設替工事 (藤岡町甲)	配水管布設 HIVP φ 150 mm L=130.4m HIVP φ 100 mm L= 6.4m	7,350,000
国庫補助事業 市道F4号線 配水管布設替工事 (藤岡町赤麻)	配水管布設 DCIP φ 200 mm L=702.9m DCIP φ 100 mm L= 7.7m 消火栓 1基 空気弁 1か所	28,486,500
国庫補助事業 市道F6号線 配水管布設替工事 (藤岡町赤麻)	配水管布設 DCIP φ 200 mm L=212.2m DCIP φ 100 mm L=11.9m 消火栓 1基	12,516,000
主要地方道栃木栗野線 配水管布設工事 (都賀1工区) (都賀町木)	配水管布設 DCIP φ 250 mm L=499.9m 排泥設備 1か所 空気弁 1か所	29,515,500
都賀第2浄配水場 配水ポンプ 増設工事 (都賀町家中)	ポンプ設備 1式 運転制御設備 1式 計装設備 1式 監視設備 1式 付属設備 1式	59,325,000
市道T①-137号線 配水管 布設工事 (都賀町家中)	配水管布設 DCIP φ 300 mm L=318.1m DCIP φ 100 mm L= 16.4m PP φ 50 mm L= 23.5m	26,880,000

主要地方道栃木栗野線 配水管布設工事（都賀2工区） （都賀町木）	配水管布設 DCIP φ 250 mm L=543.5m	24,906,000
市道 T5 号線 配水管布設替 工事（都賀町升塚）	配水管布設 DCIP φ 150 mm L=195.6m DCIP φ 75 mm L= 6.5m	9,954,000
主要地方道栃木栗野線 配水管布設工事（都賀3工区） （都賀町木）	配水管布設 DCIP φ 250 mm L=426.2m	19,981,500
県道大橋家中線 配水管布設 工事（都賀町家中）	配水管布設 DCIP φ 250 mm L=20.6m DCIP φ 100 mm L=87.9m	3,255,000
市道 N1005 号線 配水管布設 工事（西方町金井）	配水管布設 DCIP φ 100 mm L=175.8m 排泥設備 1 か所 空気弁 1 か所	8,190,000
市道 N1005 号線 配水管布設替 工事（西方町本郷）	配水管布設 DCIP φ 100 mm L=422.5m 消火栓 1 基	22,344,000
西方浄水場 テレメーター交換 工事（西方町本郷）	テレメーター装置 1 式 取水計装機器 1 式	18,900,000
市道 N3209 号線 配水管布設 工事（西方町本郷）	配水管布設 DCIP φ 100 mm L=360.9m HIVP φ 75 mm L= 3.9m	9,334,500

(2) その他の工事関係（工事請負契約 100 万円を超えるもの）（単位：円）

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費
県道栃木環状線 配水管移設 工事（箱森町）	配水管仮設 PP φ 75 mm L=31.0m 仮設管撤去 PP φ 75 mm L=31.0m	5,320,350
栃木駅東通り配水管布設替工事 （河合町）	仮設給水管布設 φ 50～φ 20 mm 1 式	1,577,100
第 4 拡 市道 B46 号線 配水管 布設工事（大宮町）	給水管設置（宅内部） 12 か所	1,316,700
栃木市本町地内 給水管布設替 工事（本町）	給水管分岐替 PP φ 20 mm 2 か所	1,029,000
小山栃木都賀線 配水管布設 工事（大宮町）	給水管布設 φ 40～20 mm 9 か所	1,046,850
市道 A182 号線外 給・配水管 布設替工事（城内町 2 丁目）	給水管布設（本管部） PP φ 30, 50 mm L=514.3m （宅内部）PP φ 20 mm 69 か所	11,388,300
栃木市祝町地内 給水管布設替 工事（祝町）	給水管布設替 PP φ 40 mm L=51.0m ほか	1,291,500

県道栃木環状線 配水管仮設 工事 (1工区) (箱森町)	配水管仮設 PPφ75mm L=10.0m	1,827,000
県道栃木環状線 給・配水管 仮設工事 (2工区) (箱森町)	配水管仮設 PPφ75mm L=26.0m 給水管仮設 1か所	2,268,000
市道223号線 給・配水管仮設 工事 (樋ノ口町)	配水管仮設 DCIPφ100mm L=59.0m PPφ50mm L=24.0m 給水管仮設 4か所	1,638,000
市道A16号線外 給・配水管 布設替工事 (城内町2丁目)	給水管布設 (本管部) PPφ20,25,30,50mm L=114.7m (引込部) PPφ20mm 33か所	3,287,550
市道A161号線外 給・配水管 布設替工事 (城内町2丁目)	給水管布設 (本管部) PPφ20,30,50mm L=186.4m (宅内部) PPφ20mm 41か所	5,482,050
岩出町地内給水管布設工事 (岩出町)	給水管布設 PP13mm~40mm 4か所	2,583,000
市道C158号線給水管布設工事 (野中町)	給水管布設 PPφ50mm L=247.0m	2,436,000
市道B47号線外 給水管布設 工事 (大宮町)	給水管布設 1式	2,509,500
市道F3-39号線 下水道工事に 伴う水道管切廻し工事 (藤岡町赤麻)	配水管布設 HIVPφ100mm L=2.8m PPφ50mm L=135.0m	1,869,000

(3) 漏水修理件数 (単位：件)

	配水管	給水管	合計
栃木	12	477	489
大平	7	30	37
藤岡	4	66	70
都賀	6	62	68
西方	9	48	57
全体	38	683	721

※漏水修理工事（給水管）には止水栓交換も含む。

(4) 水質検査

区分	検査項目	検査箇所	頻度
浄水	水質検査項目 (50項目)	浄水場 10か所 端末給水栓等 21か所	検査項目により毎月 又は年1回
	水質管理目標設定項目 (27項目)	浄水場 15か所 水源 12か所	年1回

		端末給水栓等 3 か所	
原水	水質検査項目 (39 項目)	浄水場 6 か所 水源 25 か所	年 1 回
	クリプトスポリジウム指標菌	水源 48 か所	毎月又は年 1 回

2 給水装置工事件数 (申請件数)

(単位: 件)

	新 設	改 造	修 繕	撤 去	合 計
栃 木	207	372	2	39	620
大 平	80	150	-	9	239
藤 岡	68	24	-	-	92
都 賀	40	20	-	-	60
西 方	16	10	-	-	26
全 体	411	576	2	48	1,037

3 公道分岐工事箇所数

(単位: 箇所)

	県 道	市 道	認定外	その他	合 計
栃 木	20	122	15	-	157
大 平	4	63	15	-	82
藤 岡	3	40	1	-	44
都 賀	1	18	-	-	19
西 方	4	8	1	-	13
全 体	32	251	32	-	315

## 第 2 節 下水道課

### 〔総括概要〕

本市では、行政区域を越えて効率的に汚水処理を行うため、栃木市及び壬生町を対象とした巴波川流域関連公共下水道並びに栃木市及び岩舟町を対象とした渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）関連公共下水道として、市民の快適で衛生的な生活環境の実現と、公共用水域の水質保全を図るための事業を実施している。

公共下水道の全体計画区域は、市街化区域を中心とした 3,896.4 ヘクタールであり、現在の事業認可区域は、2,900.5 ヘクタールである。

本市全体での今年度末の整備状況は、整備面積 2,265.75 ヘクタール、整備率 78.1%、普及率 55.6%、水洗化率 86.2%である。

主な整備区域は、栃木地域は栃木環状線外側の箱森町等であり、大平地域は大平町蔵井地区、西野田地区等である。また、藤岡地域は藤岡町赤麻地区等であり、都賀地域は都賀町原宿地区等、西方地域は西方町真名子地区等である。

事業実施に当たっては、面整備の推進と併せて水洗化率の向上を図るため、未接続世帯への戸別訪問を強化するとともに、広報紙やホームページなどによる情報提供の充実や、下水道フェスティバル等の普及対策事業を実施した。

下水道事業は、独立採算制が義務付けられていることから、建設財源として重要な受益者負担金の賦課徴収や使用料滞納者への訪問徴収を行い、自主財源の確保に努めるとともに、事務の合理化や工事コストの縮減など、最少の費用で最大の効果が上げられるよう、経営の効率化に努めた。

また、農業集落排水事業は大平地域、藤岡地域、西方地域の 3 地域 6 地区で汚水を処理するため実施しており、大平地域の下皆川地区は平成 9 年に計画策定し平成 14 年に供用開始、みずほ西地区は平成 12 年に計画策定し平成 18 年供用開始。藤岡地域の巴波川南部地区は平成 13 年に計画策定し平成 19 年に供用開始、巴波川西部地区は平成 16 年に計画策定し平成 23 年供用開始。西方地域の西方西部地区は平成元年に計画策定し平成 5 年に供用開始、本郷金井地区は平成 4 年に計画策定し平成 9 年供用開始しており、排水処理施設の適正な維持管理等を実施した。

さらに、公共下水道の認可区域外及び農業集落排水事業の整備区域外の生活雑排水対策事業として、家庭用合併処理浄化槽の設置者に補助金を交付した。

下水道管理担当

### 1 公共下水道事業受益者負担金公示

平成25年度賦課分

- ・対象区域の告示 4月19日 栃木市告示第150号
- ・対象区域 片柳町1丁目、片柳町2丁目、菌部町1丁目、菌部町2丁目、菌部町3丁目、柳橋町、箱森町、大宮町、野中町、大平町富田、大平町下皆川、大平町西野田、藤岡町赤麻、藤岡町大前、都賀町家中、都賀町原宿、西方町真名子の各一部
- ・賦課対象面積 27.11ha
- ・受益者負担金決定通知書発送件数 453件

### 2 徴収状況

(1) 受益者負担金関係 (受益者負担金相当額を含む)

	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	徴収率(%)
栃木地域	1,245	63,649,345	54,207,280	1,267,345	86.9
大平地域	396	18,438,800	11,861,300	1,349,600	69.4
藤岡地域	88	5,288,300	3,069,500	346,200	62.1
都賀地域	109	6,673,960	4,719,450	159,720	72.4
西方地域	52	2,578,650	786,580	-	30.5
合計	1,890	96,629,055	74,644,110	3,122,865	79.8

(2) 下水道使用料関係

	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	徴収率(%)
栃木地域	203,411	735,933,708	646,103,006	1,110,784	87.9
大平地域	24,475	145,569,162	131,749,231	107,680	90.6
藤岡地域	20,448	63,427,548	55,689,382	153,166	88.0
都賀地域	14,297	95,833,027	81,837,330	711,682	86.0
西方地域	3,082	34,531,480	32,785,390	130,600	95.3
合計	265,713	1,075,294,925	948,164,339	2,213,912	88.4

### 3 流域下水道事業

巴波川流域下水道事業は、本市及び壬生町の1市1町を対象として、渡良瀬川下流流域(大岩藤処理区)下水道事業は、本市及び岩舟町の1市1町を対象として、栃木県が事業主体となり、建設及び維持管理事業を実施している。

(1) 流域下水道の建設事業

ア 巴波川流域下水道建設事業費

巴波川流域下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

- ・本市負担金 12,343,103円

イ 渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道建設事業費

渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金 17,397,966円

(2) 流域下水道の維持管理事業

ア 巴波川流域下水道維持管理費

巴波川流域下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金 355,584,000円

イ 渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道維持管理費

渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金 164,978,000円

4 流域下水道促進協議会関係

流域下水道事業の推進を図るため、関連市町で協議会を設置し、下水道フェスティバル、研修会等を開催しており、協議会負担金を次のとおり支出した。

・巴波川流域下水道事業本市負担金 254,000円

・渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道事業本市負担金 160,000円

5 農業集落排水事業受益者分担金

地域	地区	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	徴収率(%)
大平	下 皆 川	-	-	-	-	-
	み ず ほ 西	5	1,017,125	813,700	-	80.0
藤岡	巴波川南部	4	688,600	64,100	367,900	20.0
	巴波川西部	32	6,054,200	2,397,500	165,100	40.7
西方	西 方 西 部	1	91,500	-	-	0.0
	本 郷 金 井	2	628,000	436,000	-	69.4
合 計		44	8,479,425	3,711,300	533,000	46.7

6 農業集落排水事業施設使用料

地域	地区	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	徴収率(%)
大平	下 皆 川	1,186	7,239,387	5,615,825	-	77.6
	み ず ほ 西	2,132	12,793,911	10,359,935	3,672	81.0
藤岡	巴波川南部	2,482	11,904,795	10,557,225	-	88.7
	巴波川西部	1,494	7,458,990	6,747,195	-	90.5
西方	西 方 西 部	1,487	16,299,840	15,602,960	2,520	95.7
	本 郷 金 井	1,229	14,741,170	13,704,710	3,780	93.0
合 計		10,010	70,438,093	62,587,850	9,972	88.9

下水道整備担当

1 公共下水道整備状況

(1) 汚 水

区 分		地 域	今年度中施工分	今年度末累計
管 渠 延 長	幹 線	栃木	958.7m	29,237.1m
		大平	—	10,700.0m
		藤岡	—	5,326.8m
		都賀	—	3,917.0m
		西方	—	2,118.8m
	枝 線	栃木	816.9m	250,124.1m
		大平	3,174.7m	83,341.5m
		藤岡	664.6m	61,778.3m
		都賀	137.2m	55,216.1m
		西方	265.0m	22,519.8m
合 計			6,017.1m	524,279.5m
マンホール数	栃木	40か所	9,425か所	
	大平	111か所	2,900か所	
	藤岡	19か所	2,118か所	
	都賀	7か所	1,910か所	
	西方	11か所	718か所	
合 計			188か所	17,071か所
汚水柵数	栃木	133か所	18,538か所	
	大平	189か所	5,291か所	
	藤岡	32か所	3,070か所	
	都賀	24か所	2,518か所	
	西方	9か所	895か所	
合 計			387か所	30,312か所
マンホールポンプ数	栃木	—	11か所	
	大平	—	8か所	
	藤岡	1か所	23か所	
	都賀	—	4か所	
	西方	—	1か所	
合 計			1か所	47か所

(2) 雨 水

(単位：m)

区 分	地 域	今年度中施工分	今年度末累計
雨水幹線管渠	栃 木	6.0	732.5
	藤 岡	—	984.1
合 計		6.0	1,716.6

2 私道における公共下水道工事（污水）

	申請件数(件)	工事件数(件)
栃木地域	3	5（内平成23年度申請分2件）
大平地域	-	-
藤岡地域	-	-
都賀地域	-	-
西方地域	-	-
合計	3	5（内平成23年度申請分2件）

3 公共下水道建設事業関係

(1) 汚水管渠築造工事

工 事 箇 所	工 事 内 容		工事金額(円)	備 考
	延長(m)	内径(mm)		
箱森町地内 西部処理分区第1工区	230.4	350	91,014,000	幹線 (前年度繰越)
箱森町地内 西部処理分区第2工区	217.3	350	100,947,000	幹線 (前年度繰越)
箱森町地内 西部処理分区第1工区	274.0	250	98,280,000	幹線
箱森町地内 西部処理分区第2工区	237.0	300	88,725,000	幹線
箱森町地内 西部処理分区第1工区	16.0	200	808,500	
箱森町地内 西部処理分区第2工区	35.0	200	2,147,250	
片柳町5丁目地内 西部処理分区第3工区	95.3	200	4,326,000	
菌部町2丁目地内 西部処理分区第4工区	41.0	200	2,373,000	
箱森町地内 西部処理分区第5工区	350.5	200	20,317,500	
箱森町地内 西部処理分区第6工区	170.0	200	8,358,000	
日ノ出町地内 中部第2処理分区第1工区	33.0	200	1,963,500	
泉町地内 中部第3処理分区第1工区	5.9	200	798,000	
今泉町1丁目地内 東部処理分区第1工区	41.2	200	1,543,500	
大町地内 北部処理分区第1工区	29.0	200	1,501,500	

大平町富田・下皆川地内 大平町第1処理分区第1工区	197.8	150	7,927,500	
大平町富田地内 大平町第1処理分区第2工区	256.1	150	14,406,000	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第1工区	444.9	150	21,756,000	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第2工区	320.9	150	16,726,500	
大平町蔵井地内 大平町第2処理分区第3工区	432.7	150	28,770,000	
大平町蔵井地内 大平町第2処理分区第4工区	452.9	150	19,656,000	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第5工区	377.6	150	23,530,500	
大平町西野田地内 大平町第3処理分区第1工区	419.6	150	28,749,000	
大平町西野田地内 大平町第3処理分区第2工区	272.2	150	14,710,500	
藤岡町藤岡地内 藤岡町第3処理分区第1工区	34.5	150	1,806,000	
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第2工区	383.0	150	18,669,000	
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第3工区	247.1	150	19,855,500	
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第4工区	マンホールポンプ設置		9,208,500	
都賀町升塚地内 都賀第三処理分区第1工区	53.5	200	3,129,000	
都賀町原宿地内 桜内第二処理分区第1工区	83.7	200・400	27,090,000	
西方町金崎地内 西方処理分区第1工区	138.0	150・200	8,536,500	
西方町真名子地内 真名子処理分区第1工区	127.0	150	10,416,000	
合 計	6,017.1		698,045,250	

(2) 雨水渠築造工事

工 事 箇 所	工 事 内 容		工事金額 (円)	備 考
	延 長(m)	内法(mm)		
菌部町2丁目地内 永野川左岸第1排水区	59.2 (うち幹線 6.0)	幅 800×高 800 (幅1,500×高1,400)	7,266,000	

## (3) 舗装本復旧工事

工 事 箇 所	工事延長(m)	工事金額(円)	備 考
菌部町2丁目地内 市道D45号線ほか	317.5	5,460,000	
大宮町地内 市道218・B46号線	457.2	8,274,000	
箱森町・野中町地内 市道D208号線ほか	577.6	10,027,500	
菌部町3丁目・箱森町地内 市道110・A53号線	377.1	7,350,000	
大平町富田地内 市道O204号線	756.0	14,700,000	
大平町西水代地内 市道O440号線ほか	653.0	11,550,000	
藤岡町藤岡地内 市道F5-162号線	442.0	6,877,500	
合 計	3,580.4	64,239,000	

## (4) その他の工事

地域	公共污水柵設置工事		付帯工事 (舗装修繕、マンホール調整、水道管切廻し工事等)	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
栃木	87	35,790,615	25	6,709,815
大平	42	15,097,950	10	6,276,900
藤岡	9	3,599,400	3	1,732,500
都賀	21	6,474,405	4	1,731,450
西方	3	1,383,900	2	309,750
合計	162	62,346,270	44	16,760,415

## (5) 業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
下水道実施設計業務 その1	野中町地内	管渠設計 821m (開削・推進)	9,922,500	
下水道実施設計業務 その2	平井町地内	管渠設計 651m (開削)	8,610,000	
下水道実施設計業務 その3	境町・大平町牛久 地内	管渠設計 1,976m (開削)	10,815,000	
下水道実施設計業務	大宮町地内	実施設計 1式	10,657,500	
下水道実施設計業務	大塚町地内	実施設計 1式	14,899,500	
下水道実施設計業務 その2	樋ノ口町地内	管渠設計 110m (開削)	483,000	
下水道実施設計業務	平柳町1丁目地内	管渠設計 90m(開削)	493,500	
下水道実施設計業務	平柳町3丁目・ 大宮町地内	管渠設計 920m (開削)	7,192,500	
下水道地質調査業務 その1	野中町地内	地質調査 1式	3,328,500	
下水道地質調査業務	平井町地内	地質調査 1式	3,045,000	

その2				
下水道地質調査業務	大塚町地内	地質調査業務 1 式	3,307,500	
下水道図面等作成業務	樋ノ口町地内	図面等作成業務 1 式	483,000	
公共下水道積算業務	箱森町地内	公共下水道幹線築造 工事積算業務 1 式	2,866,500	
公共下水道幹線築造 工事現場技術業務	箱森町地内	現場技術業務 1 式	1,974,000	前年度 繰越
現場技術業務	箱森町地内	現場技術業務 1 式	2,289,000	
下水道実施設計業務	大平町西水代地内	管渠設計 2,457m (開削・推進)	15,130,500	
下水道実施設計業務	大平町蔵井地内	管渠設計 1 式	483,000	
下水道実施設計業務	大平町富田・下皆 川地内	管渠設計 1 式	493,500	
下水道実施設計業務	大平町富田地内	管渠設計 80m (開削)	483,000	
下水道舗装本復旧 設計業務	大平町富田地内	舗装本復旧設業務 1 式	483,000	
下水道舗装本復旧 設計業務	大平町西水代地内	舗装本復旧設計業務 1 式	483,000	
下水道舗装本復旧 設計業務	大平町西水代地内	舗装本復旧設計業務 1 式	483,000	
下水道耐震設計業務	大平町富田・西野 田・西水代地内	下水道耐震設計業務 1 式	493,500	
公共下水道幹線築造 工事積算業務	大平町西水代地内	積算業務 1 式	1,501,500	
現場技術業務	大平町西野田地内	現場技術業務 1 式	2,037,000	
現場技術業務	大平町蔵井地内	現場技術業務 1 式	1,102,500	
現場技術業務	大平町西野田地内	現場技術業務 1 式	945,000	
下水道実施設計業務 分割 1 号	藤岡町赤麻地内	実施設計 1 式	12,001,500	
下水道実施設計業務 分割 2 号	藤岡町赤麻地内	実施設計 1 式	11,917,500	
下水道舗装本復旧 設計業務	藤岡町藤岡地内	舗装本復旧設計業務 1 式	420,000	
下水道地質調査業務	藤岡町赤麻地内	地質調査業務 1 式	4,536,000	
現場技術業務	都賀町原宿地内	現場技術業務 1 式	756,000	
合 計			134,116,500	

(6) 物件等損失補償

区 分	地域	件数(件)	金額(円)
給・配水管移設等補償	栃木	3	15,590,900

	大平	3	5,091,467
	藤岡	2	2,903,280
	都賀	2	3,410,180
	西方	-	-
合 計		10	26,995,827

#### 4 公共下水道の供用開始

- ・対象区域の告示 3月15日 栃木市告示第73号
- ・供用及び下水の処理を開始した年月日 3月31日
- ・供用及び下水の処理を開始した区域

巴波川流域下水道処理区	片柳町1丁目、片柳町2丁目、菌部町1丁目、 菌部町2丁目、箱森町、都賀町平川、 都賀町升塚、西方町金崎、西方町金井、 西方町真名子の各一部
渡良瀬川下流流域下水道 大岩藤処理区	大平町富田、大平町蔵井、大平町新、 大平町西野田、藤岡町藤岡、藤岡町赤麻の各一部

- ・処理区域面積及び処理人口

区分	処理区	処理区域面積(ha)	人口(人)
新規告示	巴波川流域	16.25	154
	渡良瀬川下流流域	14.96	738
既告示	巴波川流域	1,578.74	58,421
	渡良瀬川下流流域	655.80	21,249
累 計	巴波川流域	1,594.99	58,575
	渡良瀬川下流流域	670.76	21,987

#### 5 公共下水道施設管理関係

##### (1) 業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
下水道台帳作成	栃木市内処理区域 全域	下水道台帳補正 11.4 km	28,245,000	
特定事業場水質調査	栃木市内処理区域 全域	特定事業場水質調査 36 か所	735,000	
公共下水道流量・ 水質調査	栃木市内処理区域 全域	流量・水質調査 23 か所	10,384,500	
管渠施設調査洗浄	神田町地内・ 城内町1丁目地内	管渠内洗浄 3,116m テレビカメラ管内調査 3,116m	5,775,000	
管渠補修	日ノ出町地内ほか	止水パッカー工 28 か所 内面補修工 15 か所	8,190,000	

マンホールポンプ場 保守点検	栃木市内処理区域 全域	マンホールポンプ保守点検 46 か所	12,503,400	
管渠清掃等	栃木市内処理区域 全域	管渠清掃 3件 市所有地除草 1件	3,524,788	
その他水質調査	栃木市内処理区域 全域	下水道効果調べ調査 1件 排水水質検査 2件	488,565	
合 計			69,846,253	

(2) 工事関係

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)	備考
管渠補修	樋ノ口町地内・ 藤岡町藤岡地内	圧送管漏水補修工事 2件	2,830,800	
マンホールポンプ 通報装置修繕	藤岡町東原 マンホールポンプ場	マンホールポンプ 通報装置修繕工事 1件	1,081,500	
マンホールポンプ 修繕	藤岡町新町 マンホールポンプ場	マンホールポンプ 修繕工事 1件	789,705	
その他補修工事	栃木市内処理区域全 域	マンホールポンプ着脱ベン ド交換工事ほか 5件	1,643,880	
合 計			6,345,885	

6 雨水事業  
業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
公共下水道基本設計 (永野川左岸第一排水区)	片柳町4丁目ほか	基本設計 75.6ha	11,235,000	

7 農業集落排水事業施設概要

区 分	地 区	今年度末
管渠延長	下 皆 川	7,531.4m
	み ず ほ 西	18,268.3m
	巴波川南部	14,317.2m
	巴波川西部	28,612.6m
	西 方 西 部	12,400.0m
	本 郷 金 井	14,164.6m
合 計		95,294.1m
マンホール数	下 皆 川	247か所
	み ず ほ 西	487か所
	巴波川南部	142か所
	巴波川西部	318か所

	西方西部	410か所
	本郷金井	417か所
合 計		2,021か所
汚水柵数	下 皆 川	227か所
	み ず ほ 西	440か所
	巴波川南部	367か所
	巴波川西部	546か所
	西方西部	352か所
	本郷金井	360か所
合 計		2,292か所
マンホールポンプ数	下 皆 川	3か所
	み ず ほ 西	14か所
	巴波川南部	—
	巴波川西部	4か所
	西方西部	4か所
	本郷金井	4か所
合 計		29か所

## 8 農業集落排水事業維持管理業務委託関係

### (1) 業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
大平地域農業集落排水処理施設維持管理等	下皆川汚水処理施設・みずほ西汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・し尿浄化槽清掃等	11,414,250	2施設
藤岡地域農業集落排水処理施設維持管理等	巴波川南部汚水処理施設・巴波川西部汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・真空システム日常点検等	15,645,580	2施設
西方地域農業集落排水処理施設維持管理等	西部汚水処理施設・本郷金井汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・し尿浄化槽清掃等	9,648,615	2施設
農業集落排水事業巴波西部管路台帳作成	巴波西部汚水処理区域	巴波西部管路台帳作成	11,445,000	
その他	栃木市内処理区域全域	汚泥肥料品質管理分析 業務委託ほか3件	397,950	
合 計			48,551,395	

### (2) 工事関係

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)	備考
汚水柵設置工事	栃木市地内	汚水柵設置工事 11か所	4,892,475	
舗装本復旧	藤岡町中根地内	工事延長 229.0m	3,507,000	

市道 F 3-108 号線ほか				
その他の工事	栃木市地内	県道道路改良工事に伴う 汚水柵移設工事 2 件・マ ンホール嵩高調整工事 3 件ほか 3 件（合計 8 件）	2,289,284	
合		計	10,688,759	

9 公共下水道普及状況

区 分	地域	前年度末	今年度末	比 較
行政区域内人口 (A)	栃木	79,513 人	79,121 人	△392 人
	大平	29,132 人	29,059 人	△73 人
	藤岡	17,039 人	16,756 人	△283 人
	都賀	13,327 人	13,281 人	△46 人
	西方	6,598 人	6,566 人	△32 人
合 計		145,609 人	144,783 人	△826 人
処理区域内世帯数 (B)	栃木	18,843 世帯	18,887 世帯	44 世帯
	大平	4,206 世帯	4,445 世帯	239 世帯
	藤岡	2,541 世帯	2,560 世帯	19 世帯
	都賀	2,517 世帯	2,520 世帯	3 世帯
	西方	852 世帯	857 世帯	5 世帯
合 計		28,959 世帯	29,269 世帯	310 世帯
処理区域内戸数 (C)	栃木	16,502 戸	16,546 戸	44 戸
	大平	4,206 戸	4,445 戸	239 戸
	藤岡	2,541 戸	2,560 戸	19 戸
	都賀	2,517 戸	2,520 戸	3 戸
	西方	852 戸	857 戸	5 戸
合 計		26,618 戸	26,928 戸	310 戸
処理区域内人口 (D)	栃木	48,667 人	48,824 人	157 人
	大平	13,330 人	13,955 人	625 人
	藤岡	8,047 人	8,119 人	72 人
	都賀	7,223 人	7,234 人	11 人
	西方	2,403 人	2,430 人	27 人
合 計		79,670 人	80,562 人	892 人
水洗化世帯数 (E)	栃木	15,297 世帯	15,703 世帯	406 世帯
	大平	3,224 世帯	3,427 世帯	203 世帯
	藤岡	1,780 世帯	1,836 世帯	56 世帯
	都賀	2,095 世帯	2,137 世帯	42 世帯
	西方	701 世帯	713 世帯	12 世帯
合 計		23,097 世帯	23,816 世帯	719 世帯
水洗化戸数 (F)	栃木	14,572 戸	14,978 戸	406 戸
	大平	3,224 戸	3,427 戸	203 戸

	藤岡	1,780 戸	1,836 戸	56 戸
	都賀	2,095 戸	2,137 戸	42 戸
	西方	701 戸	713 戸	12 戸
合 計		22,372 戸	23,091 戸	719 戸
水洗化人口 (G)	栃木	42,991 人	43,980 人	989 人
	大平	10,889 人	11,501 人	612 人
	藤岡	5,161 人	5,339 人	178 人
	都賀	6,445 人	6,555 人	110 人
	西方	2,072 人	2,109 人	37 人
合 計		67,558 人	69,484 人	1,926 人
普及率 (D/A)	栃木	61.2%	61.7%	0.5%
	大平	45.8%	48.0%	2.2%
	藤岡	47.2%	48.5%	1.3%
	都賀	54.2%	54.5%	0.3%
	西方	36.4%	37.0%	0.6%
合 計		54.7%	55.6%	0.9%
水洗化率 (世帯) (E/B)	栃木	81.2%	83.1%	1.9%
	大平	76.7%	77.1%	0.4%
	藤岡	70.1%	71.7%	1.6%
	都賀	83.2%	84.8%	1.6%
	西方	82.3%	83.2%	0.9%
合 計		79.8%	81.4%	1.6%
水洗化率 (戸数) (F/C)	栃木	88.3%	90.5%	2.2%
	大平	76.7%	77.1%	0.4%
	藤岡	70.1%	71.7%	1.6%
	都賀	83.2%	84.8%	1.6%
	西方	82.3%	83.2%	0.9%
合 計		84.0%	85.8%	1.8%
水洗化率 (人口) (G/D)	栃木	88.3%	90.1%	1.8%
	大平	81.7%	82.4%	0.7%
	藤岡	64.1%	65.8%	1.7%
	都賀	89.2%	90.6%	1.4%
	西方	86.2%	86.8%	0.6%
合 計		84.8%	86.2%	1.4%

10 農業集落排水事業普及状況

区 分	地区	前年度末	今年度末	比 較
処理区域内戸数 (A)	下 皆 川	227 戸	227 戸	- 戸
	み ず ほ 西	450 戸	456 戸	6 戸

	巴波川南部	367 戸	367 戸	- 戸
	巴波川西部	543 戸	546 戸	3 戸
	西方西部	380 戸	380 戸	- 戸
	本郷金井	364 戸	365 戸	1 戸
	合 計	2,331 戸	2,341 戸	10 戸
処理区域内人口 (B)	下 皆 川	666 人	652 人	△14 人
	み ず ほ 西	1,362 人	1,357 人	△5 人
	巴波川南部	1,272 人	1,241 人	△31 人
	巴波川西部	2,064 人	2,027 人	△37 人
	西方西部	1,111 人	1,105 人	△6 人
	本郷金井	1,056 人	1,050 人	△6 人
	合 計	7,531 人	7,432 人	△99 人
接続戸数 (C)	下 皆 川	196 戸	196 戸	- 戸
	み ず ほ 西	343 戸	354 戸	11 戸
	巴波川南部	198 戸	203 戸	5 戸
	巴波川西部	94 戸	146 戸	52 戸
	西方西部	353 戸	355 戸	2 戸
	本郷金井	300 戸	305 戸	5 戸
	合 計	1,484 戸	1,559 戸	75 戸
接続人口 (D)	下 皆 川	576 人	562 人	△14 人
	み ず ほ 西	1,080 人	1,095 人	15 人
	巴波川南部	732 人	729 人	△3 人
	巴波川西部	301 人	493 人	192 人
	西方西部	1,084 人	1,090 人	6 人
	本郷金井	906 人	921 人	15 人
	合 計	4,679 人	4,890 人	211 人
接続率(戸数) (C/A)	下 皆 川	86.3%	86.3%	0.0%
	み ず ほ 西	76.2%	77.6%	1.4%
	巴波川南部	53.9%	55.3%	1.4%
	巴波川西部	17.3%	26.7%	9.4%
	西方西部	92.8%	93.4%	0.6%
	本郷金井	82.4%	83.5%	1.1%
	合 計	63.6%	66.6%	3.0%
接続率(人口) (D/B)	下 皆 川	86.4%	86.2%	△0.2%
	み ず ほ 西	79.3%	80.6%	1.3%
	巴波川南部	57.5%	58.7%	1.2%
	巴波川西部	14.5%	24.3%	9.8%

	西方西部	97.5%	98.6%	1.1%
	本郷金井	85.8%	87.7%	1.9%
合計		62.1%	65.8%	3.7%

## 11 公共下水道普及対策事業

### (1) 普及促進関係

#### ア 普及推進活動

下水道の普及啓発用パンフレット及び啓発用品を工事説明会、消費生活展等で配布。また広報とちぎ及びホームページにより普及啓発に努めた。

#### イ 特別普及推進活動

下水道の利用促進を図るため、職員の戸別訪問による普及推進活動を実施した。

- ・実施期間 12月～3月
- ・訪問地域 供用開始区域で水洗化率の低い地域
- ・件数 239件

### (2) 緊急地域雇用創出事業

水洗化率向上のため、緊急地域雇用創出特別交付金を活用し、社団法人栃木市シルバー人材センターへ戸別訪問等の下水道普及活動を委託した。

- ・実施期間 11月～3月
- ・訪問地域 職員の訪問地域以外で水洗化率の低い地域
- ・件数 334件

### (3) 排水設備等の設置 (単位：件)

確認申請件数	検査済件数
783	763

### (4) 水洗便所改造資金利子補給状況

排水設備工事を行うための工事費の融資あっせんと利子補給を行った。

利子補給件数(件)	利子補給額(円)
57	230,894

## 12 農業集落排水事業普及対策

### 排水設備等の設置 (単位：件)

確認申請件数	検査済件数
91	91

## 13 合併処理浄化槽設置補助事業

河川、水路等の水質汚濁は、家庭からの生活雑排水が主な原因となっている。このため、公共用水域の水質浄化対策として、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽の設置者に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、その普及を図った。

なお、本事業は公共下水道認可区域外及び農業集落排水事業の整備区域外の住民を対

象としている。

・合併処理浄化槽設置補助金交付状況

人槽区分	基数(基)	1基当たりの補助額(円)	補助額(円)
5	114	332,000	37,848,000
6～7	119	414,000	49,266,000
8～10	8	548,000	4,384,000
計	241	-	91,498,000

14 汚水排水処理改善事業

公共下水道及び農業集落排水施設などの汚水の集合処理計画区域以外で合併浄化槽を設置するにあたり住民が生活道路として利用している市道、農道又は認定外道路に放流先となる側溝等が整備されてなく、今後も道路改良あるいは、道普請事業による整備が見込めない地域について、汚水排水の放流先の整備を市民との協働により整備を進めた。

(1) 工事費

工事名	工事箇所	工事内容	金額	備考
汚水排水処理改善 (舗装)工事等	田村町地内	舗装工 A=349.0m	4,089,750円	

(2) 原材料費

材料支給	支給箇所	支給材料	金額	備考
汚水排水処理改善 工事用材料費	田村町地内	塩ビ小型マンホール 11基 汚水柵 11基、 再生砂、再生碎石、 再生アスファルト等 1式	2,534,857円	

## 第 9 章 大平総合支所

### 第 1 節 地域まちづくり課

#### 〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会、広報広聴、自治会、消防防災、市有建築物の設計、施工及び営繕、契約業務、入札業務、検査業務、庁舎・共用車の管理である。

地域協議会関係については、地域の意見を市政に反映させるために毎月 1 回開催した。また、地域協議会だよりを隔月（奇数月）で発行し、協議会の活動内容や地域自治区内の情報を発信した。

広聴事業については、市政に対する理解と協力を得るため、まちづくり懇談会ふれあいトークを開催した。

自治会については、自治会長連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

消防については、大平地域において 10 件の火災が発生し、消防署及び消防団が出動した。

防災については、大平地域の防災対策の充実強化を図るため、防災訓練、非常食等の災害時用備蓄品の補充等を行った。

市有建築物の設計、施工及び営繕については、設計・工事関係の業務委託 6 件、建築・電気設備・機械設備工事を 18 件実施した。また、大平総合支所（大平教育支所）内各課の依頼を受け、予算用の概算設計を作成し回答した。

契約業務については、建設工事、業務委託及び物品購入について、入札、契約等に関する事務を行った。

検査業務については、検査規定に基づいて発注した工事が適切に履行されたか、工事の施工状況や施工体制・安全対策等について検査を行った。

施設の管理については、大平総合支所庁舎の冷暖房管理及び大平総合支所（仮）駐車場の管理並びに庁舎内の修繕工事を行った。また、施設の保全に伴う各種業務委託等を行った。

地域自治担当

1 地域協議会関係

地域自治区制度導入に伴い設置された大平町地域協議会は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1) 委員（任期 平成 22 年 7 月 28 日～平成 25 年 3 月 31 日まで） 定数 15 人

区分	No.	氏 名	備 考
1号委員	1	阿部 勝彦	大平町商工会
	2	石山 靖夫	栃木市社会福祉協議会
	3	伊藤 宏幸	栃木市体育協会
	4	佐山 幸子	大平町女性団体連絡協議会
	5	野原 耕作	大平町自治会長連合会
	6	高際 悦子	栃木市 P T A 連合会
	7	柏倉 昭夫	大平町認定農業者連絡協議会
	8	柳田 和子	おおひらコンシェルジュ
	9	川田 匡男	栃木市老人クラブ連合会
2号委員	10	赤澤 美智子	学識経験を有する者
	11	柴田 保男	
	12	堀江 智	
3号委員	13	天海 英夫	公募に応じた者
	14	小林 幸江	
	15	平間 昇	

(2) 開催内容

回数	開催日時、場所	内 容
第1回	4月17日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	報告事項等 ・平成24年度の各課の主な取り組みについて その他
第2回	5月15日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	意見聴取事項 ・使用料の改定について ・栃木市道路整備基本計画（素案）について 報告事項等 ・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画の策定について ・栃木市建築物耐震改修促進計画の策定について ・栃木市図書館基本計画の策定について ・栃木市図書館の開館時間・休館日の変更の試行につ

		<p>いて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市地域自治制度検討委員会について</li> </ul> <p>その他</p>
第3回	<p>6月21日（木） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市総合計画基本構想(素案)について</li> </ul> <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市都市計画マスタープランの策定について</li> <li>・栃木市景観計画の策定について</li> <li>・広報とちぎの見直しについて</li> <li>・大平南小学校校舎整備基本計画の策定について</li> </ul> <p>その他</p>
第4回	<p>7月20日（金） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室</p>	<p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市都市交通マスタープランの策定について</li> <li>・栃木市道路整備基本計画（素案）についての意見に対する回答について</li> </ul> <p>その他</p>
第5回	<p>8月21日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室</p>	<p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校施設の耐震化について</li> <li>・栃木市役所新市庁舎の整備について</li> <li>・ふれあいバス（コミュニティバス）の利用実績及び部屋線の試行運行内容の見直しについて</li> <li>・栃木市橋梁長寿命化修繕計画の策定について</li> <li>・とちぎ市民活動推進センターくららについて</li> <li>・使用料の改定についての意見に対する回答について</li> </ul> <p>その他</p>
第6回	<p>9月21日（金） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市図書館計画（案）について</li> <li>・栃木市総合計画基本構想(素案)・基本計画(骨子案)について</li> <li>・栃木市ブランド推進事業について</li> </ul> <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市文化振興基本計画の策定について</li> <li>・栃木市斎場再整備事業について</li> <li>・栃木市大平学校給食センター施設整備事業基本計画の概要と基本設計について</li> </ul> <p>その他</p>

第7回	10月16日（火） 午後1時30分～ 太平総合支所大会議室	報告事項等 ・栃木市地域防災計画・水防計画・国民保護計画の策定について その他
第8回	11月20日（火） 午後1時30分～ 太平総合支所大会議室	意見聴取事項 ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の制定について ・栃木市教育計画（案）について 報告事項等 ・大平南小学校校舎整備基本計画について ・栃木市ブランド推進事業についての意見に対する回答について その他
第9回	12月20日（木） 午後3時00分～ 太平総合支所大会議室	意見聴取事項 ・栃木市保育所整備基本計画（案）について その他
第10回	1月15日（火） 午後1時30分～ 太平総合支所大会議室	意見聴取事項 ・栃木市地域防災計画・水防計画・国民保護計画について ・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画の素案策定について ・栃木市環境基本計画（案）について ・組織機構の見直しについて【非公開】 報告事項等 ・使用料の改定について ・「栃木市図書館計画（案）」の意見に対する回答について その他
第11回	2月19日（火） 午後1時30分～ 太平総合支所大会議室	意見聴取事項 ・学校安全ボランティア活動補助金の見直しについて 報告事項等 ・ふれあいバス（コミュニティバス）の利用実績及び藤岡線の試行運行内容の見直しについて ・栃木市斎場再整備基本構想（案）について ・栃木市環境基本計画（案）についての意見に対する回答について その他
第12回	3月21日（木） 午後3時00分～	意見聴取事項 ・栃木市都市交通マスタープラン(案)について

大平総合支所大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者制度の導入について</li> <li>報告事項等</li> <li>・ 大平町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答書について</li> <li>・ 平成 23 年度に地域協議会等から提出された意見に対する市の対応状況について</li> <li>・ 事務一元化の状況について</li> <li>・ 合併時に「合併後再編」としている事務事業の調整状況について</li> <li>・ 地域協議会へ意見を聴く事務事業（A ランク）について</li> <li>・ 栃木市地域防災計画（案）についての意見に対する回答について</li> <li>・ 学校安全ボランティア活動補助金の見直しについての意見に対する回答について</li> <li>・ 組織機構の見直しについての意見に対する回答について</li> <li>・ 栃木市斎場再整備基本構想の決定について</li> <li>その他</li> </ul>
------------	---

(3) 地域協議会研究会関係

大平地域のまちづくりを推進するための調査研究等を行うことを目的に、地域協議会の内部組織として地域協議会委員全員をもって構成する「大平町地域協議会研究会」を設置した。

[活動実績]

- ・ 役員会 3回 / 研究会 6回 / 分科会 14回 / 広報委員会 2回

[地域協議会だよりの発行]

地域協議会の協議内容を市民にお知らせするため、「地域協議会だより」を隔月（奇数月）で発行した。

- ・ 発行号数 第20号～第25号
- ・ 体裁 A3版 両面カラー刷り
- ・ 発行部数 各9,200部

2 広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見・提案など聴き、市民の声を今後の市の行政経営に生かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数	フリートーク数	自治会数	参加者数
1	10月1日(月)	大平東地区	横堀、牛久、上牛久、	8	11	14	74

		公民館	川連、土与、蔵井、真弓（西南東中）、下高島、上高島、中央町第2、北武井				
2	10月3日(水)	大平南地区 公民館	新1～4、西野田1～2、榎本（荒町、上下、旭）西水代（上1～上3、下、瓜畑）、伯仲（北南西）	9	16	17	47
3	10月9日(火)	大平西地区 公民館	富田1～8、西山田1～3、下皆川1～2、日立、中央町第1	2	11	15	58
合 計				19	38	46	179
				57			

### 3 まちづくり関係

ホームページ「フル里ポータルサイト」の管理運営

大平地域への来訪者に向けた情報発信手段として、おおひらコンシェルジュメンバーが主体となり「大平町観光ぶどう園協議会」等の協力のもと現地取材を行い、フルーツ狩りや里山体験を紹介するホームページの管理運営を行った。

### 4 市民活動支援事業

大平地域のNPO法人は現在5法人あり、年度毎の届出や変更届出等の書類補正等事務処理・助言等の支援を行った。

### 5 総合支所会議

総合支所次長が主宰し、総合支所の業務の調整及び連絡を行った。

- ・開催回数 12回
- ・内 容 審議事項 8件  
報告事項 15件  
連絡事項 17件

### 6 自治会関係

行政とのパイプ役として広報紙の配布や様々な事業に協力してもらう自治会長への事務事業説明会等を開催するとともに大平町自治会長連合会の活動を支援した。

#### (1) 自治会長との連絡調整

##### ア 自治会長の把握

次年度の自治会長及び担当戸数等を連絡してもらい名簿を作成

- ・受付期間 2月～3月

・対象自治会 46自治会

イ 自治会長会議の開催

第1回会議

- ・開催日 4月13日(金)
- ・内容 各課事務についての説明及び連絡  
終了後、大平町自治会長連合会総会を開催

ウ 自治会報償金の支給

自治会に対し報償金を支給(10月1日現在の世帯数を基に2月に支出)

(2) 大平町自治会長連合会(事務局)

ア 組織構成

(ア) 組織

・単位自治会 46自治会

(イ) 役員

・会長1人、副会長2人、顧問1人

イ 会議

(ア) 総会(自治会長会議終了後)

- ・実施日 4月13日(金)
- ・出席者 46人
- ・内容 平成24年度事業計画・収支予算について  
役員・顧問の選出について等

(イ) 第1回役員会

- ・実施日 4月26日(木)
- ・内容 各種委員等の委嘱について  
主な行事予定について

(ウ) 第2回役員会

- ・実施日 6月13日(水)
- ・内容 栃木市自治会連絡協議会大平地域代表理事について  
栃木市社会福祉協議会会費等のあり方検討委員会委員の推薦について  
茨城県及び栃木県竜巻災害義援金について

(エ) 第3回役員会(大平交通安全対策連絡協議会終了後)

- ・実施日 8月28日(火)
- ・内容 大平町自治会長連合会研修会の開催について

ウ 主な事業

(ア) 視察研修会

- ・実施日 10月30日(火)～31日(水)
- ・場所 宮城県石巻市
- ・内容 (社)石巻災害復興支援協議会において東日本大震災での被災体験を聞き、被災地を視察する等

・出席者 自治会長等23人

(イ) 栃木市自治会連絡協議会関係

栃木市自治会連絡協議会理事会、正副会長会議に出席し、各地域連合会との連絡調整を図った。

・出席者 役員3人、顧問1人

7 太平山麓エリアの観光拠点まちづくり事業

地域特性を最大限に引き出し、太平山南山麓エリアを一大観光拠点としていくための調査として国庫補助事業を導入し、民間資金・ノウハウを活用したエリアマネージメントの検討を行うとともに、既設の太平山南山麓広域交流拠点整備基本計画に位置付けられた拠点施設の具体的整備手法の検討を行った。

総務担当

1 消防関係

(1) 配置人員

大平方面隊

( ) の数字は内数 単位：人

分団別	階級	副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
	定員									
本部分団	定員	1	(1)	2	1	1	1	—	7	13
	実員	1	(1)	2	1	1	1	—	7	13
第1分団	定員	—	—	—	1	1	5	5	50	62
	実員	—	—	—	1	1	5	5	50	62
第2分団	定員	—	—	—	1	1	4	4	40	50
	実員	—	—	—	1	1	4	4	40	50
第3分団	定員	—	—	—	1	1	4	4	40	50
	実員	—	—	—	1	1	4	4	40	50
合計	定員	1	(1)	2	4	4	14	13	137	175
	実員	1	(1)	2	4	4	14	13	137	175

(2) 消防車等の態勢

大平方面隊

区分		種別	車名	年式
方面隊本部		指揮車	日産	平成12年
本部分団		連絡車	いすゞ	平成9年
第1分団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成13年
	第2部	〃	〃	平成15年
	第3部	〃	〃	平成17年
	第4部	〃	〃	平成21年

	第5部	〃	〃	平成18年
第2分団	第1部	〃	〃	平成10年
	第2部	〃	〃	平成13年
	第3部	〃	〃	平成15年
	第4部	〃	〃	平成21年
第3分団	第1部	〃	〃	平成11年
	第2部	〃	〃	平成20年
	第3部	〃	〃	平成11年
	第4部	〃	〃	平成20年

(3) 大平方面隊の活動状況

ア 夏季点検の実施

消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。

- ・実施日 7月1日（日）
- ・会 場 大平運動公園 第2多目的広場

イ 操法大会の実施

消防団員の消防技術の向上を図ることを目的とし、操法大会を実施した。

- ・実施日 7月1日（日）
- ・会 場 大平運動公園 第2多目的広場

ウ ポンプ運用訓練（山火事訓練）

消防団員の有事即応の体制を確立し、火災への万全を期する機関員養成訓練を実施した。

- ・実施日 7月22日（日）
- ・会 場 友田山土石採取場

(4) 大平方面隊部長以上会議

開催日	場 所
4月2日（月）	大平総合支所別館大会議室
5月23日（水）	〃
7月10日（火）	〃
8月17日（金）	〃
9月13日（木）	〃
10月18日（木）	〃

(5) 各種団体の運営支援

栃木市大平女性防火クラブの事務局として、運営の支援を行った。

2 防災関係

(1) 防災訓練の実施

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化並びに職員の災害応急対策の迅速化を図ることを目的とし、防災訓練を実施した。

- ・実施日 9月9日(日)
- ・会場 大平中央小学校
- ・参加団体 富田第5自治会、富田第8自治会、日立自治会、新第1自治会、新第2自治会、新第3自治会、新第4自治会、西野田第1自治会、西野田第2自治会  
消防署、栃木市消防団大平方面隊、栃木警察署
- ・参加人数 668人

(2) 防災備蓄倉庫

設 置	位 置
伯仲水防庫	大平町伯仲1725-2
横堀水防庫	大平町横堀714-1

(3) 主な各種災害時用備蓄品等内訳

項 目	備 蓄 数
非 常 食	5,624食
非常用飲料水	900本
毛 布	500枚

3 自衛官募集事務

(1) 自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

- ・入隊入校者数 1人

(2) 自衛隊父兄会

栃木市自衛隊父兄会大平町分会の事務局として、父兄会活動を支援した。

理財担当

1 設計・工事依頼関係

(1) 業務委託 (6件) 20,632,500円

主 な 業 務 委 託 内 容			
業 務 箇 所	業 務 名	業 務 概 要	委託金額(円)
大平町 新地内	栃木市立大平中央 小学校屋内運動場 耐震補強実施設計 業務委託	耐震補強実施設計業務 1式	1,785,000
大平町 西水代地内	栃木市立大平南小 学校基本設計業務 委託	基本設計業務 1式	12,915,000

大平町地内	市有建築物定期点検業務委託 (西地区)	定期点検業務 大平総合支所 ほか4施設	1式	987,000
大平町地内	市有建築物定期点検業務委託 (東地区)	定期点検業務 大平運動公園 ほか4施設	1式	1,039,500
大平町地内	市有建築物定期点検業務委託 (南地区)	定期点検業務 大平南第1保育園 ほか5施設	1式	1,071,000
大平町 蔵井地内	栃木市立大平中学校校舎耐力度調査業務委託	耐力度調査業務	1式	2,835,000

(2) 建築、電気設備、機械設備工事 (18件) 55,091,190円

主 な 工 事 内 容			
工 事 箇 所	工 事 名	工 事 概 要	工事金額(円)
大平町 西水代地内	大平南地区公民館 空調設備改修工事	機械工事 空調設備改修工事 7組 既設空調機撤去工事 1式	8,914,500
大平町 上高島地内	栃木市立大平東小学校受変電設備改修工事	電機設備工事 受変電設備改修工事 1式	4,294,500
大平町 上高島地内	栃木市立大平東小学校屋内運動場耐震補強工事	耐震補強工事 鉄骨ブレース増設 1式 鉄骨梁増設 1式 地中梁の増設 1式 耐震補強工事に伴う 取合い工事 1式	10,447,500
大平町 西水代地内	栃木市立大平南小学校屋内運動場耐震補強工事	耐震補強工事 鉄骨ブレース増設 1式 鉄骨梁増設 1式 地中梁の増設 1式 耐震補強工事に伴う 取合い工事 1式	11,487,000
大平町 西野田地内	栃木市立大平南中学校昇降口屋上防水改修工事	建築工事 防水工事 1式	2,394,000

大平町 上高島地内	栃木市立大平東小学校揚水ポンプ等改修工事	機械設備工事 揚水ポンプ改修工事 1式 高架水槽廻り改修工事 1式 撤去処分工事 1式	2,982,000
大平町 西野田地内	栃木市立大平南中学校1階女子トイレ改修工事	建築工事 トイレブース設置工事 1式 機械設備工事 新規身障用衛生器具設置工事 1式	2,436,000
大平町 富田地内	大平西小前普通財産整備工事	土工事 産廃撤去工事 1式 整地工事 1式 産廃処分工事 1式	4,861,500
その他工事 件数 10 件			
大平東地区公民館防犯灯設置工事		141,750	
栃木市立大平東小学校消火栓用受水槽パネルタンク修繕工事		387,240	
栃木市立大平東小学校外部排水修繕工事		945,000	
大平公民館受変電設備 PAS 交換工事		1,102,500	
大平西小学校多目的教室改修工事		298,200	7,274,190
大平東保育園調理室空調設備改修工事		1,050,000	
大平南第2保育園調理室空調設備改修工事		1,155,000	
大平東保育園ガラス飛散防止工事		787,500	
大平南第2保育園ガラス飛散防止工事		630,000	
大平地区共同井戸解体工事		777,000	

- 2 平成24年度補正予算・平成25年度当初予算用の概算設計の作成及び回答業務  
大平総合支所（大平教育支所を含む）内の各課より、平成24年度補正予算・平成25年度当初予算用の概算設計依頼を受け、原課へ回答した。

平成24年度補正予算用の概算設計	11件
平成25年度当初予算用の概算設計	38件

- 3 施設の維持管理に係わる相談業務

施設管理の原課から提出された施設点検報告書をもとに、職員が現場を確認し、改修方法の検討及び指導を行った。

- 4 支所庁舎内の修繕工事等 （13件） 831,915円

工 事 名 等	工事金額（円）
大平総合支所庁舎別館2階網戸張替工事	6,300
大平総合支所庁舎別館2・3階男子トイレ 小便器排水管高圧洗浄工事	61,950

大平総合支所別館浄化槽用ベルト交換工事	6,300
大平総合支所貯水槽修繕工事	33,999
大平総合支所本館・新館用空調設備機器内部洗浄工事	97,650
大平総合支所新館2階給湯室内湯沸器交換工事	35,910
大平総合支所別館浄化槽蓋改修工事	176,400
大平総合支所本館1階税務課照明修繕工事	13,965
大平総合支所自動ドア修理（本館1階ロビー入口）	34,860
大平総合支所屋外キュービクル修繕工事 （ヒューズ交換・換気扇取替え等）	67,200
大平総合支所(仮)駐車場外灯増設工事（出入口用）	84,000
大平総合支所屋外税務課書庫照明スイッチ交換工事	3,381
大平総合支所庁舎内新エネルギー対策室設置に伴う内線増設工事	210,000

#### 5 庁舎及び附属施設等の管理事務業務

大平総合支所庁舎の冷暖房運転管理及び節電管理を行った。

実施内容：大型空調機による冷房運転と同時にピーク電力15%削減対策実施。

エコオフィス対策(蛍光灯の蛍光管取外し 117台)

ボイラー運転による暖房運転。

大平総合支所(仮)駐車場の駐車に関する管理を行った。

実施内容：無断駐車車両に注意のビラ入れ。（定期的に実施。研修等で駐車スペースが必要なとき）

駐車場内砂利敷き及び落ち葉の撤去作業。

#### 6 市有施設及び支所庁舎内の業務委託

委託名等	委託金額（円）
大平総合支所構内交換設備保守業務	478,800
大平総合支所常駐清掃業務	1,058,400
大平総合支所定期清掃業務	511,875
大平総合支所機械警備業務	1,005,480
大平総合支所自家用電気工作物管理業務	187,740
大平総合支所し尿浄化槽維持管理業務	49,140
大平総合支所し尿浄化槽清掃業務	496,272
大平総合支所庁舎消防設備等法定点検業務	63,000
大平総合支所庁舎内空調設備（冷暖房）定期保守点検業務	546,000
大平総合支所庁舎内設置空気清浄機保守業務	138,600
大平総合支所庁舎受水槽清掃業務	52,500
大平総合支所庁舎本館A重油地下タンク清掃業務	99,750

7 共用車管理状況

区 分	数 量 (台)
普通乗合 (大型バス 42人)	1
普通乗用	2
小型乗用	2
軽乗用	3
小型貨物	9
軽貨物	1

8 大平総合支所管内の光熱費等の管理に関する事務

総合支所管内の光熱費等について、以下の管理を実施した。

使用量と費用

区 分	使用量	金 額 (円)	備 考
電 気	254,887kwh	6,537,991	大平総合支所・車両センター
水 道	1,759 m <sup>3</sup>	213,237	大平総合支所・車両センター・ ふれあいプラザ (11月まで)
ガ ス	4,114.80 m <sup>3</sup>	1,985,328	大平総合支所及び大平教育支所 健康福祉課・人権推進課・産業振 興課 (各課所管施設を含む)
ガソリン	22,952.07ℓ	3,367,545	共用車・専用車
軽 油	5,647.00ℓ	742,244	バス等
A 重 油	16,500.00ℓ	1,477,875	大平総合支所
灯 油	366.00ℓ	32,879	大平総合支所

9 契約件数

原則として、大平総合支所発注の130万円以上の建設工事、50万円以上の工事関連業務委託及び総額80万円以上の建設資材・物品の購入について、予定価格3,000万円未満の案件の入札を執行した。

・入札執行状況

(単位：件)

入 札 内 容	一般競争入札	指名競争入札	計
建 設 工 事	27	12	39
工事関連業務委託	-	17	17
物品購入(建設資材含む)	-	4	4
印 刷 物	-	-	-
計	27	33	60

10 見積合せ件数

3万円以上50万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

- ・件数 17件

11 建設工事等請負者選考委員会大平総合支所部会

大平総合支所における、条件付き一般競争入札により施行する予定価格1,000万円以上の建設工事の入札参加資格要件の設定及び指名競争入札により執行する入札案件の指名業者選考について審議した。

- ・開催回数 10回
- ・審議件数 56件

12 入札・契約制度の適切な運用

市の入札制度の適切な運用に務めると共に、地域に配慮した制度運用を図り、入札問題等の発生防止に努めた。

13 完成検査

平成24年度に発注した設計額500万円未満の建設工事について、次のとおり実施した。

(1) 主管課別検査件数

事業主管課	検査件数(件)	備考(工事担当課)
大平教育支所	4	大平総合支所 地域まちづくり課

(2) 工種別検査件数

(単位：件)

工種	土木	建築	舗装	管	造園	電気	水道	その他	計
件数	－	2	－	1	－	1	－	－	4

14 パソコンの整備状況

区分	課名	パソコン(台)
区長、支所次長		2
大平総合支所	地域まちづくり課	14
	税務課	15
	生活環境課	16
	健康福祉課	40
	産業振興課	12
	都市整備課	8
	都市建設課	9
総合政策部	人権推進課	7
産業振興部	産業基盤整備課	5
大平教育支所		32

合 計	160
-----	-----

15 電算処理業務の委託契約

名 称	業 務 名
三協コンピュータ(株)	・ 総合支所パソコン保守運用管理業務委託
国際航業(株)	・ 庁内イントラネットGISシステム保守業務 ・ 地図情報インターネット公開システム使用等契約
(株)TKC	・ TASKマスターハードウェア保守業務委託 ・ TASKシステムハードウェア保守業務委託 (申告受付支援サーバ、申告受付支援端末ほか) ・ 総合支所業務系クライアントパソコン等保守業務委託

16 普通財産の管理等に関する事務

管内の普通財産の管理（除草作業、枝おろし等）を実施した。同時に、本庁公有財産課と連携し以下の普通財産貸付、処分を実施した。

(1) 普通財産の管理

除草、枝おろし、滞水解消、落葉処分作業等 35日（延べ日数）

(2) 普通財産の貸付

区 分	件数(件)	面 積(m <sup>2</sup> )	収入金額(円)
市有地（大平地域）	5	694.66	106,980

17 バスの運行

総合支所管内の用務について、以下の通りバスを運用した。 (単位：回)

	日帰り運用	宿泊運用	合 計
市 内	46	-	46
市 外	26	-	26
県 外	29	8	37
合 計	101	8	109

## 第2節 税務課

### 〔総括概要〕

我が国の経済は、東日本大震災からの復興需要等が一部に見えたものの、世界経済の減速、領土問題や円高による輸出減等の影響により、景気は弱い動きとなっていた。しかし、年が明けてからは、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大を目指す日本経済再生に向けた緊急経済対策が実施され、株価の上昇や円高の是正等景気回復に明るい兆しが見え始めているが、まだ確かな動きとは感じられず不透明な状況にある。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあるが、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導を実施した。

また、保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対して適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

資産税関係では、巡回調査を行い、新增築家屋、滅失家屋、土地の現況把握に努め、償却資産未申告事業者に対する催告を行った。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通じての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取組として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室と協働での滞納整理や差押処分を行うなど、税収確保へ向けた取組を展開した。

市民税担当

1 諸証明等の交付（大平地域分）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	5,317	1,083	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税、所得及びその他の証明 1件につき200円</li> <li>・土地及び建物の評価証明 1件につき200円</li> <li>ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。</li> <li>・住宅用家屋証明 1件につき1,300円</li> </ul>
公簿閲覧	673	453	
計	5,990	1,536	

2 市民税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の業務については、本庁市民税課に一括して掲載。

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

収税担当

1 差押（参加差押含む）（上段：市全体/下段：大平地域）（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年度末
不 動 産	160	2	5	157
	5	0	0	5
自 動 車	5	5	2	8
	2	1	2	1
電話加入権	7	0	0	7
	0	0	0	0
債権その他	120	402	311	211
	16	60	48	28
計	292	409	318	383
	23	61	50	34

※地方税法第48条による県からの引継ぎ件数も含む

## 2 交付要求（上段：市全体/下段：大平地域）

（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
124	96	133	87
18	4	16	6

## 3 催告書発送及び納付状況（上段：市全体/下段：大平地域）

実施日	発送件数（件）	納付件数（件）	納付額（円）
4月13日（金）	1,731	1,270	24,372,308
	290	-	-
6月22日（金）	4,946	1,593	23,667,546
	931	-	-
10月26日（金）	4,047	1,445	28,770,803
	683	-	-
1月25日（金）	2,345	1,535	28,610,590
	423	-	-
計	13,069	5,843	105,421,247
	2,327	-	-

## 4 休日納税相談窓口（上段：市全体/下段：大平地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 日	納付件数(件)	納付額（円）
第1回	4月21日（土）	36	945,500
		0	0
第2回	7月 1日（日）	32	1,097,530
		1	33,900
第3回	11月 4日（日）	28	1,202,400
		5	313,200
第4回	2月 3日（日）	90	2,197,200
		9	322,700
計		186	5,442,630
		15	669,800

## 5 市税等収納員による徴収事業（上段：市全体/下段：大平地域）

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員2名による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
7,484	213,277,172	53	3,832
2,136	49,552,188	10	1,591

6 市税等徴収強化事業（上段：市全体/下段：大平地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間 12月7日（金）～21日（金）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
1,566	126	3,061,770
180	13	205,100

### 第3節 生活環境課

#### 〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、住民のニーズに対応すべく次のような業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付（7月9日からは外国住民を含む）及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

外国人登録事務については、外国人登録法に基づき7月8日までの各種届出の受理及び処理を行った。また、旅券事務については、一般旅券の発給申請の受理及び交付事務を行った。

国民年金事業については、法定受託事務として各種届出の受理及び進達等を行った。

国民健康保険事業については、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業については、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業については、市民の保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障がい者、こども（中学校3年生まで）、妊産婦及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対し経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費の一部を助成した。

生活環境担当では、大気、水、騒音、におい等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化及び資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、環境美化推進員による不法投棄の監視、不法投棄ごみの回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のための市民意識の啓発推進に努めた。

交通安全については、市民総ぐるみ運動をはじめとして、交通安全運動を強力に推進するとともに、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯については、防犯灯の設置、防犯活動等に関する各種事務事業を実施した。

女性青少年担当事業については、男女共同参画社会の実現への意識づくりを図るため、おおひら男女共同参画をすすめる会との協働による啓発活動と大平女性団体連絡協議会の活動支援に努めた。

青少年行政事業については、青少年の健全育成と社会参加の促進を目的として、青年団体等の育成及び指導を行った。また、新たに「おおひらっ子ネットワーク」を設立し各種活動を行った。

栃木市大平少年補導員会については、街頭補導活動、少年相談業務、環境浄化活動な

どを重点事業として、学校、警察、PTAなどの関係機関及び団体と連携しながら青少年の健全育成に努めた。

大平勤労青少年ホームについては、平成21年度から指定管理者制度により管理を民間委託し、市内に居住または市内事業所に勤務する青少年を対象に、英会話・書道等の教養講座、テニス・エアロビクス等のスポーツ講座を開催した。また、各種サークルの育成を図るとともに、ホーム行事等の開催により、勤労青少年相互の交流並びに資質の向上、勤労青少年の福祉の増進に努めた。

住民担当

1 戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数 533件（出生209件、婚姻71件、死亡67件、離婚27件等）

2 窓口事務

(1) 窓口届出処理件数

(単位：件)

処 理 事 項		件 数	処 理 事 項		件 数
戸籍届		533	死体埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	1	
住民異動届		3,459			
計		3,992	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	-	
印鑑	登 録	1,075			
	廃 止	423	死産届	3	
計		1,498	計	4	
			合 計	5,494	

(2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件数(件)	金額(円)	種 別		件数(件)	金額(円)
戸 籍	全部事項証明	2,776	1,249,200	住 民 票	世帯全員	3,643	728,600
	個人事項証明	985	443,250		個 人	7,282	1,456,400
	除籍謄本	1,663	1,247,250		証 明	306	61,200
	除籍抄本	21	15,750		閲 覧	-	-
	戸籍証明	35	12,250		年金現況証明	-	-
	受理証明	35	12,250		戸籍の附票	265	53,000
	廃棄証明	1	-		公 用	61	-
	出産証明	3	-		広 域	1	200
	不受理証明	-	-		住基カード(有料)	19	9,500

	公 用	121	-		住基カード(無料)	13	-
	計	5,640	2,979,950		計	11,590	2,308,900
証 明 書	印鑑証明	9,400	1,880,000	そ の 他	印鑑登録	1,075	215,000
	諸証明	125	25,000		印鑑登録廃止	423	-
	身分証明	182	36,400		臨時運行許可証	267	200,250
	住居表示証明	62	-		労基証明	6	-
	公 用	10	-		人口統計	-	-
	選挙証明	-	-		公的個人認証	32	16,000
	計	9,779	1,941,400		計	1,803	431,250
合 計				28,812 件		7,661,500 円	

(3) 斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種 類	区 分		件数 (件)		金額 (円)
斎 場	市 内	大 人	63	67	-
		小 人	1		
		死産児	3		
	市 外	大 人	-	-	-
		小 人	-		
		死産児	-		
	エ ナ		-	-	-
計			67	-	
霊きゅう車	往 路	市 内	41	184,500	
		市 外	20	213,800	
	帰 路	市 内	47	70,500	
		市 外	-	-	
計			108	468,800	
待 合 室	市 内		64	192,000	
	市 外		-	-	
計			64	192,000	
合 計			239	660,800	

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	件 数
戸籍謄抄本等交付	57
住民票写し等交付	169
印鑑登録証明書交付	132

印鑑登録	42
戸籍届	5
住民異動届	24
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	-
臨時運行許可証交付	1
窓口及び電話による相談、問合わせ等	31
合 計	461

### 3 外国人登録事務（7月8日までの件数）

#### (1) 各種申請書受理件数 (単位：件)

件 名	件 数	件 名	件 数
新規登録	15	居住地変更登録	67
確認申請	23	居住地以外の変更登録	164
再交付申請	6	計	279
引替交付申請	4		

#### (2) 報告その他の事務取扱件数 (単位：件)

件 名	件 数	件 名	件 数	
閉鎖	出 国	8	登録原票送付	23
	死 亡	-	登録原票送付請求	36
	日本国籍取得	-	公務所からの照会回答	18
	その他(上記以外によるもの)	-	計	85

### 4 一般旅券申請・交付件数 (単位：件)

	申請	交付		申請	交付
4月	61	51	10月	37	37
5月	49	59	11月	24	28
6月	51	47	12月	44	45
7月	59	41	1月	32	30
8月	70	90	2月	39	42
9月	47	44	3月	39	32
			合計	552	546

保険医療担当

1 年金事務

(1) 諸届の受理件数

(単位：件)

種 別	件 数	種 別	件 数
新規取得届	182	転居届	77
新規取得申出	—	氏名変更届	26
再取得届	350	訂正・取消・不在	6
再取得申出	3	転出届	172
付加年金取得届	10	法定免除該当届	9
付加年金喪失届	4	法定免除消滅届	1
資格喪失届	166	手帳再交付届	10
資格喪失申出	5	種別変更届	108
死亡届	4	そ の 他	4
転入届	126	計	1,263

(2) 免除申請受理件数

(単位：件)

種 類	件 数
免除・納付猶予申請	580
学生納付特例申請	134

(3) 国民年金請求受理件数

(単位：件)

給付種類	件 数
老齢基礎年金	14
障害基礎年金	12
遺族基礎年金	—
寡婦年金	—
死亡一時金	4
未支給年金	4
老齢福祉年金	—
計	34

(4) 年金相談月平均件数

(単位：件)

相談の内訳	件 数
来訪相談	55
電話相談	19
文書相談	—
計	74

2 国民健康保険の給付等に係る申請の受付等に関すること

(1) 高額療養費の受付状況 (単位：件)

高額療養費受付件数	一般	755
	退職者	37
限度額適用認定証（標準負担額減額認定証を含む）		332

(2) 療養費の受付状況 (単位：件)

療養費受付件数	130
---------	-----

(3) 出産育児一時金の受付状況 (単位：件)

出産育児一時金受付件数	3
-------------	---

(4) 葬祭費の受付状況 (単位：件)

葬祭費受付件数	47
---------	----

(5) 人間ドック検診の受付状況 (単位：件)

人間ドック受付件数	一般ドック	147
	脳ドック	20

(6) 医療費通知の発送状況 (単位：件)

回数	対象月	件数	発送月
1	平成23年12月・平成24年1月診療分	3,513	5月
2	平成24年2月・平成24年3月診療分	3,612	7月
3	平成24年4月・平成24年5月診療分	3,534	10月
4	平成24年6月・平成24年7月診療分	3,594	12月
5	平成24年8月・平成24年9月診療分	3,474	2月
6	平成24年10月・平成24年11月診療分	3,570	3月
計		21,297	

3 後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数 (単位：件)

申請書類	件数
資格関係届出	290
高額療養費申請	200
その他の療養費申請	91
葬祭費申請	165
被保険者証等再交付申請	79
合計	825

4 医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

(1) 重度心身障がい者医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	77
-----------	----

(2) こども医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	1,041
-----------	-------

(3) 妊産婦医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	299
-----------	-----

(4) ひとり親家庭医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	63
-----------	----

## 5 不妊治療費補助金に関すること

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準として、その2分の1の額(10万円を限度に通算5回)を補助するため、窓口で申請受付等を行った。

申請受付件数 (単位：件)

補助申請受付件数	21
----------	----

## 生活環境交通担当

### 1 環境基礎調査事業

#### (1) 河川等水質調査

大平地域内を流れる河川等について、10地点で水質調査を実施した。

- ・調査河川 永野川、巴波川、市内下水
- ・調査期間 通年
- ・調査項目 pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数、全窒素、全リン、COD

### 2 環境学習・啓発活動事業

#### (1) 親子水辺教室の開催

大平地域内の自然環境、特に河川の水質を守ることについての意識、関心を高めるとともに、親と子が協力し、ふれあいながら学べる体験学習の場を提供するため、親と子の水辺教室を開催した。

- ・実施日 6月17日(日) 午前10時から
- ・会場 大平地域福祉センター
- ・対象 小学生の児童及びその保護者
- ・講師 環境省登録環境カウンセラー
- ・参加人数 7組17人

#### (2) 環境講座

自治会、市民団体、グループ、小中学校などの要請により、生活環境課職員が講師として会場に出向き、地球温暖化防止、ごみ減量・リサイクル、水質、廃油石けん作りなどの講義や説明を行った。

- ・実施回数 2回

- ・参加者数 30人

### 3 ごみ減量化対策事業

ごみ減量化対策事業として、3R月間でもある10月をマイバッグ持参運動強化月間と定め以下の事業を実施した。

#### (1) マイバッグキャンペーン

期間中対象店で500円以上の買い物をした方が、マイバッグを持参するなどしてレジ袋を辞退した場合に、「マイバッグキャンペーン抽選券」1枚を進呈した。抽選会は11月23日(金)開催のおおひら産業祭会場内で実施した。

- ・実施期間 10月14日(日)～21日(日)
- ・実施店舗 大平地域内54店舗
- ・抽選券配付枚数 9,943枚
- ・抽選会来場者数 約3,200人

#### (2) 店頭啓発

市内大型店においてティッシュを配布してマイバッグに関する啓発を図った。

- ・実施店舗 3店舗
- ・実施日時 10月14日(日) 午前10時～、午後4時～(2回)
- ・対象者 約3,000人

#### (3) 図書館企画展

大平図書館1階ロビーにおいて環境に関する小中学生の啓発ポスター、標語、3Rポスター、パンフレット等を掲示した。

- ・実施期間 10月2日(火)～30日(火)
- ・掲示ポスター枚数 約240枚
- ・入館者数 約9,500人(10月の大平図書館入館者数)

#### (4) 地域内店舗での小中学生のポスター作品展示

- ・実施期間 10月2日(火)～30日(火)
- ・展示ポスター 22点(地域内で募集した環境に関する小中学生のポスター)
- ・展示場所 大平地域内6店舗

### 4 公害関係

#### (1) 水質関係

##### ア 地下水汚染地区の定期モニタリング調査

過去における地下水の汚染状況の推移を監視するため、大平地域内17か所で11月29日(木)に地下水の水質調査を実施した。

##### イ 水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

(単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	-	4	1	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(2) 騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況  
(単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設 作業実施届
騒音規制法に基づく届出	-	-	-	-	1
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	18	-	-	-

(3) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況  
(単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設 作業実施届
振動規制法に基づく届出	-	-	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	13	-	-	-

(4) その他

公害苦情受付件数  
(単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
18	4	5	-	11	-	-	38

5 地域環境美化推進員事業

地域環境美化推進員の協力を得て、衛生害虫の駆除や、美化キャンペーン等を実施した。  
・委嘱状況 地域環境美化推進員46人

6 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみは東地区月3回、西・南地区週1回、資源物のうち、紙類は雑誌・その他月2回、新聞チラシ月1回、空カン・空ビン、ペットボトル・食品用トレイは月2回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、平日、土曜午前中の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) ごみ収集搬入量

(単位：t)

もやすごみ	もやさない ごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
7,801.25	647.60	393.64	369.35	101.36	105.47	9,418.67

(2) もやすごみの収集搬入状況

(単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
68.67	5,315.17	2,417.41	7,801.25

## (3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	合 計
3.45	612.74	31.41	647.60

## (4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種 類	直 営	委 託	直接搬入	合 計
紙 類	-	393.64	-	393.64
空カン・空ビン	-	368.89	0.46	369.35
ペットボトル・トレイ	-	101.35	0.01	101.36
合 計	-	863.88	0.47	864.35

## (5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減免	合 計
7.11	9.71	87.17	1.48	105.47

## (6) 休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合 計
-	2	1	3

## (7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 (単位：k1)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合 計
1,310.79	6,427.78	7,738.57

## 7 環境美化対策事業

## (1) 環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

- ・実施日 5月27日(日)
- ・場 所 大平地域内各地
- ・内 容 ごみ拾い、草むしり
- ・参加人数 約5,000人

## 8 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、監視員を設置し、地域内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

・地区別不法投棄物回収件数 (単位：件)

区分 地域	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
大平	157	30	12	28	-	20	247

## 9 狂犬病予防業務

### (1) 犬の登録 (単位：頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
94	111	1,713

### (2) 狂犬病予防注射

#### ア 第1次集合注射

- ・実施期間 4月17日(火)～20日(金)
- ・実施会場 地域内24会場
- ・実施数 491頭

#### イ 第2次集合注射

- ・実施期間 10月25日(木)
- ・実施会場 地域内6会場
- ・実施数 71頭

#### ウ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 628頭

## 10 交通関係

### (1) 交通安全運動等

交通事故防止のため、市民一人ひとりが交通ルールを順守し、交通マナーの一層の向上を目指し、中でも子供や高齢者等交通弱者のために、チャイルドシート着用推進活動、高齢者への啓発活動を行うとともに、安全運転講習会を開催した。

#### ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催

- ・実施期間 4月6日(金)～15日(日)

#### イ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催

- ・実施期間 9月21日(金)～30日(日)

#### (ア) 交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰、大会宣言などを行った。

- ・実施日 9月29日(土)
- ・場所 栃木文化会館
- ・参加者 約800人

#### ウ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車・広報紙等による広報など

- ・実施期間 12月11日(火)～31日(月)

### (2) 交通安全教室の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であることにかんがみ、交通教育指導員や栃木警察署、マロニエ号による交通安全教室を次のとおり開催した。

対 象 者	回数(回)	参加者数(人)
幼児(保護者含む)	12	873
高 齢 者	1	30
合 計	13	903

(3) 交通安全こども自転車大会

第41回交通安全こども自転車大会栃木地区大会

- ・実施日 6月14日(木)
- ・会 場 壬生町
- ・出場校 大平中央小学校チーム(6校6チーム参加中第3位)

(4) その他の交通安全対策

- ・交通指導員の設置 大平地域内5人委嘱
- ・大平下駅及び新大平下駅周辺等の放置自転車を撤去 3月13日(水)(100台)
- ・危険箇所へカーブミラーの設置

## 11 防犯関係

(1) 防犯灯の設置

(単位：基)

区 分		設置灯数
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	36
改修工事	移設、撤去、修理	2
合 計		38

(2) 防犯活動

栃木警察署管内で組織する栃木地区防犯協会にて実施された次の事業に参画した。

- ・会議等
- ・地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

### 女性青少年担当

## 1 男女共同参画関係

(1) おおひら男女共同参画をすすめる会(自主学习グループ)との協働啓発活動

ア 男女共同参画週間事業の啓発活動

(ア) 「おおひら男女共同参画のつどい」の開催

男女共同参画社会づくりを目指し「おおひら男女共同参画のつどい」を開催した。

- ・実施日 6月23日(土)
- ・会 場 大平文化会館
- ・内 容 ・講話「デートDVって知ってる？」

- 講師 家族相談室・エコーズ代表 家族心理士 阿部美代子氏
- ・寸劇と朗読「これって恋愛？」
  - 制作・出演 おおひら男女共同参画をすすめる会会員
  - ・おしゃべりティータイム

・参加人員 50人

(イ) パネル展示

男女共同参画週間パネルの展示、啓発物資及びリーフレットの配布を行った。

- ・実施期間 6月13日(水)～29日(金)
- ・場 所 大平図書館

イ その他の活動

実施日	実施会場	内 容	参加人数(人)
4月18日(水)	大平総合支所	平成24年度総会	21
6月24日(日)	パルティ	男女共同参画社会を考えるとちぎ県民のつどいに参加	14
7月5日(木)	茨城県天心記念五浦美術館・六角堂	1日研修	18
11月11日(日)	パルティ	フェスタ in パルティ 2012 に参加	4
1月12日(土)	放送大学文京学習センター	特別シンポジウム「女性のワークライフバランスを考える」に参加	1
3月16日(土)	小山市生涯学習センター	講演会「デートDVと映画の力～裁判員裁判時代のジェンダー教育」	1

(2) 女性団体活動支援

大平女性団体連絡協議会の活動支援

ア 各種活動

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
5月22日(火)	大平公民館	栃木市大平女性団体連絡協議会 総会 ・『栃木市レジ袋削減推進協議会について』 大平総合支所 生活環境課 ・DVD鑑賞「家庭における3R」	33
10月31日(水)	栃木県大田原市ほか	一日研修 大雄寺と芭蕉の館と那須の与一伝承館見学、県立馬頭高等学校水産課実習場見学	25
1月29日(火)	ゆうゆうプラザ	輝いて生きるみんなのつどい テーマ「健康について」 ①新体力テストの実施 スポーツ振興課、大平教育支所スポーツ振興チーム ②お話「風邪に負けない体づくり」 大平総合支所 健康福祉課職員	41

2月21日(木)	大平総合支所	議員との懇談会 グループ協議	40
----------	--------	----------------	----

イ 各種関係事業への参加

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
1月11日(金)	パーティ	県女団連事業 新年交歓会	2

2 青少年行政関係

(1) 青年団体の育成

市内青年団体等の連携と協調を図るとともに、社会参加活動を通し、青年の交流とリーダーの育成に努めた。

大平町青年団体連絡会の活動

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
5月9日(水)	大平勤労青少年ホーム	大平町青年団体連絡会総会	7
5月27日(日)	西山田かかしの里周辺	大平クリーンアップ大作戦2012 ゴミ拾い・交流会(バーベキュー)	70
9月8日(土)	ゆうゆうプラザ	青少年のための講演会 「自分の目標や夢を実現させるためには？」 浅見広明氏	104
3月5日(火)	大平総合支所	区長との懇談会	13

(2) 立志式助成事業

これから自分の夢や将来の目標を叶えるための自覚を促し、これまで自分を育ててくれた保護者への感謝と周囲の人々への思いやりの気持ちを育てる機会である立志式における記念品等に対し助成した。

- ・対象者 大平中学校、大平南中学校の中学二年生

(3) 社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、罪を犯した人や少年の立ち直りを助け、すべての人が共に暮らせる安全な社会の実現を目指し、社会を明るくする運動を実施した。

- ・協力団体 栃木保護区保護司会大平地区会員  
栃木市大平分区更生保護女性会員  
栃木市大平少年補導員、栃木県青少年育成指導員

・活動内容

実施日	会 場	内 容
7月4日(水)	JR大平下駅前及び	駅前朝のあいさつ運動
11月1日(木)	東武新大平下駅前	ポケットティッシュ、パンフレットの配布

(4) 栃木市大平少年補導員会の活動状況

栃木市大平少年補導員会会員による、少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、啓発広報、環境浄化活動等の推進に努めた。

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
4月7日(土)	大平運動公園	おおひら桜まつり特別パトロール	8
5月17日(木)	大平総合支所	平成24年度総会	16
7月4日(水)	JR大平下駅、東武新大平下駅	駅前朝のあいさつ運動	20
7月12日(木)	市民会館	市少年補導員会全体研修会	12
7月21日(土)	大平運動公園	なつこい特別パトロール	17
8月23日(木)	群馬県 赤城少年院	視察研修会	6
11月1日(木)	JR大平下駅、東武新大平下駅	駅前朝のあいさつ運動	15
11月9日(金) ～11日(日)	とちぎ秋まつり会場内	とちぎ秋まつり特別パトロール	5
12月5日(水)	大平地域内	歳末防犯防火診断(大平地区)	8
1月12日(土)	大平総合支所周辺	初市パトロール	3
2月12日(火)	大平総合支所周辺	花市パトロール	3
3月9日(土) ～12日(火)	大平地域内	中学校卒業式特別パトロール	8

#### ア 街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導計画に基づき、栃木市大平少年補導員会では、毎週金曜日、年間50回、延べ147人の少年補導員が街頭補導に従事し、青少年に対して我が子と同様に愛情をもって声を掛け、時には注意を促して、青少年の非行防止と健全育成に努めた。また、おおひら桜まつり、なつこい等において特別補導活動を実施した。

#### イ 研修会等の実施

少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、栃木市少年補導員会との合同研修会を開催した。

#### ウ 各種事業への参加

7月の社会を明るくする運動、青少年の非行・被害防止強調月間、11月のこども・若者育成支援強調月間等の啓発、推進事業に積極的に参加した。

#### (5) 栃木県青少年健全育成条例に基づく立入り調査

下都賀地区立入調査実施委員会における立入検査と立入調査対象店舗の調査を行った。

・実施日 7月19日(木)

・調査実施施設 カラオケ店、書店、レンタルビデオ店、有害図書自動販売機等(栃木市全域対象)

#### (6) 青少年健全育成事業

地域全体が一体となって、次代を担う心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的に、大平地域内の13の各種団体を構成した「おおひらっ子ネットワーク」を設立し、構成団体と共催し各種活動を実施した。

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
9月 8日(土)	ゆうゆうプラザ	設立総会	51
9月 8日(土)	ゆうゆうプラザ	設立総会記念講演会	100
11月 1日(木)	JR大平下駅、東武新大平下駅	駅前朝のあいさつ運動	40
11月 11日(日)	中央公園内 ねずみもちパーク	子どもフェスティバル	313
11月 30日(金)	大平中学校	青少年健全育成講演会	440
2月 7日(土)	大平南中学校	青少年健全育成講演会	194
2月 23日(土)	プラッツおおひら	青少年非行防止懇談会	25

### 3 大平勤労青少年ホーム

#### (1) 大平勤労青少年ホーム利用状況

##### ア 概 要

ホーム利用登録者数(人)	
男	102
女	323
合計	425

ホーム利用者総数(人)	
講座	3,905
その他	4,363
合計	8,268

##### イ 月別利用状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
講座	510	509	452	365	108	60	566	488	371	258	164	54
その他	236	252	440	296	451	325	395	444	499	256	384	385
計	746	761	892	661	559	385	961	932	870	514	548	439

##### ウ 年齢層別利用状況

(単位：人)

年齢	～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36歳～
男	0	8	27	23	44
女	4	46	68	88	117
計	4	54	95	111	161

##### エ 地域別

(単位：人)

地域	大平	栃木	藤岡	都賀	西方	その他
前期	93	51	11	5	2	49
後期	87	51	11	6	2	57
計	180	102	22	11	4	106

##### オ 講座開講

###### (ア) 定期講座

講座名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
ズンバ	25	32	480	月
書道	15	32	334	月
火曜ヨガ	25	32	565	火
ゴルフ	25	24	422	火
ラッピング	13	16	91	火
アロマセラピー	20	5	72	火
クリスタルヨガ	20	17	161	水
着付	15	19	178	水
テニス	25	30	451	水
英会話	15	29	190	木
エアロビクス	20	31	299	木
ゴスペル	20	8	75	木
メイクアップ	20	5	28	木
タヒチアンダンス	20	9	92	金
金曜料理	15	30	186	金
華道	15	19	80	金
土曜ヨガ	20	19	146	土
そば打ち	10	3	20	土
合計 18 講座		360	3,870	

・上記のうちアロマセラピーほか2講座は新規講座

(イ) 体験講座

講座名	定員(人)	実施回数(回)	受講者数(人)	実施日
ブリザーブドフラワー	10	1	4	12月3日
韓国語講座	15	2	19	2月18・25日
ベリーダンス	20	1	12	2月20日

カ ホーム行事(利用者会事業)等

行事概要	実施日	参加者数(人)	会場
おおひら桜まつり参加	4月8日(日)	3	大平運動公園
大平クリーンアップ大作戦2012	5月27日(日)	27	かかしの里
ホーム利用者交流会	6月23日(土)	21	大平青少年ホーム
なつこい参加(模擬店出店)	7月21日(土)	28	さくら球場(大平運動公園)
青团連イベント公演参加	9月8日(土)	5	ゆうゆうプラザ
ホーム祭	11月4日(日)	25	大平青少年ホーム

県ホーム交流会	12月2日(日)	8	小山ホーム
利用者会バスツアー	12月9日(日)	45	ディズニーランド
利用者交流会	2月24日(日)	25	ホーム内
県ホームスポーツ交流会	3月10日(日)	7	小山ホーム

キ クラブ活動等

クラブ名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
デッサンクラブ	木	1	1
テニスクラブ	水	29	187
料理クラブ	金	17	73
ハッピータイムクラブ	随時	45	225
書道クラブ	月	8	84
麺sクラブ	土	1	11
ズンバクラブ	月	4	44
拳法クラブ	金	48	124
ヨガクラブ	火	8	63
ダンスクラブ	随時	10	40
写真クラブ	随時	3	13
K-POPサークル	随時	24	72
栗田食堂クラブ	随時	2	22
かご作りサークル	随時	4	25
合計 14クラブ		204	984

・上記のうちダンスクラブほか4クラブは新規登録

ク 就労支援対策事業の開催

実施日	内容
8月20日(月)、2月16日(土)	相談の問合せ2件

(2) 広報活動状況

- ・広報とちぎへの掲載(受講生募集記事(2回)、体験教室生徒募集記事(1回))
- ・タウン誌「すまいるおおひら」への掲載(2回)
- ・TVにて活動紹介(K-POP、ズンバ講座)
- ・チラシ配布(栃木、大平、藤岡、都賀地域、各ホーム)15か所
- ・ホームページ更新

## 第4節 健康福祉課

### 〔総括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当、こども担当で編成されている。

福祉担当の主な分掌事務は、地域福祉に関すること、民生委員・児童委員に関すること、健康福祉センター等の施設の管理運営に関すること、障がい福祉に関すること等である。

施設管理運営事業では、効果的で効率的な施設管理と市民の健康及び福祉の充実に図るため、大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）等について指定管理者による施設管理運営を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがいをづくりとして、敬老祝賀事業、敬老会事業実施自治会等への補助金交付、老人クラブ活動等社会活動促進事業、はつらつセンター事業などを実施した。また、高齢者の福祉・生活支援として、配食サービス事業、緊急通報装置設置事業、福祉タクシー料金助成事業、在宅ねたきり老人等介護手当支給事業、紙おむつ購入助成事業などを実施した。

介護保険事業では、要介護認定要支援申請等の相談及び受付、福祉用具購入費支給申請の受付及び決定、負担限度額認定証の交付申請の受付及び決定等を実施し、介護サービス利用を支援した。

大平地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等に取り組んだ。

健康増進担当の主な事業は、健康おおひら21プラン推進事業、母子保健事業、予防接種事業、健康診査事業等、健康づくり事業、自殺予防対策事業等である。

母子保健事業では、母親及び乳幼児の健康保持増進を図るため、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児の健康診査、各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見、早期支援を目的とした乳幼児発達相談等を行った。予防接種事業では、感染症のまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種及び高齢者に対するインフルエンザ予防接種・肺炎球菌ワクチン接種を実施した。また、健康診査事業では、各種がん検診、歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診等を実施し、併せて高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談・教育事業を、自殺予防対策事業ではこころの健康保持増進を図るため、こころの健康相談をそれぞれ実施した。

こども担当では、昼間仕事等をしている保護者が、子どもを保育園や学童保育へ預けるための手続きの受理や子育てに関する相談業務を行った。

放課後児童健全育成事業では、下校後、保護者の就労等により家庭において、監護が受けられない児童に対し、適切な生活の場及び遊びを提供することにより、児童の健全育成を図った。

幼稚園就園奨励費補助事業では、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。

母子寡婦福祉については、各種福祉サービスの情報提供や相談業務を通して、児童扶養手当の支給手続きを行った。また、配偶者からの暴力被害女性に対し、保護、自立支援を行った。

地域子育て支援センターでは、子育て中の親同士の交流から、育児に関する情報交換、ストレスや不安を解消する場として、明るく楽しい子育ての支援に努めた。

ファミリー・サポート・センター事業では、仕事と育児を両立させ、安心して働ける環境を提供するため、地域の子育て支援機能の強化に努めた。

児童館では、児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と連携しながら、子どもたちに健全な遊びや情報の提供を行った。

保育園では、保護者の就労形態や就労時間の多様化による延長保育事業、低年齢児保育事業、一時預かり事業、障がい児保育事業等の特別保育を実施し、児童福祉の向上を図った。

## 福祉担当

### 1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員67人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、うち主任児童委員3人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

#### (1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
115	38	7	103	12	27
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
8	362	43	1,577	2,292	34.2

#### (2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
1,777	75	849	3,568	13,864	20,133	300.5

#### (3) ふれあい健康福祉まつりへの参加

民生委員児童委員及び主任児童委員が、地域でどのような役割を担い、日々活動しているかを多くの地域住民に知ってもらうため、PR活動を行うとともに、子どもの遊び場“キッズパーク”を開設した。

実施日 5月27日（日）

場所 大平健康福祉センター、大平地域福祉センター

## 2 施設管理運営状況

### (1) 大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

#### ア 利用状況

・年度別利用者数

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数(人)	177,952	197,307	204,969

・開館日数 309日

・1日平均入場者 663.3人

・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	調理実習室併用	母子指導室・ 調理実習室併用	総合計	開館日数(日)
4	12,144	2,438	464	264	178	283	514	285	80	-	-	16,650	26
5	11,478	2,402	650	169	706	257	413	334	162	-	-	16,571	26
6	11,242	2,637	694	251	345	239	586	452	75	-	-	16,521	26
7	10,987	2,611	844	301	313	328	484	333	53	-	-	16,254	26
8	11,425	2,561	730	252	169	321	569	426	122	-	-	16,575	27
9	11,190	2,673	562	144	740	410	500	283	125	-	-	16,627	26
10	11,214	2,604	643	241	985	394	550	298	89	-	-	17,018	26
11	11,539	2,513	575	214	683	273	993	374	144	-	-	17,308	26
12	12,106	2,409	628	238	695	342	832	305	94	-	-	17,649	25
1	12,309	2,388	432	249	544	445	236	237	132	-	-	16,972	24
2	12,605	2,575	546	133	577	413	500	239	92	-	-	17,680	24
3	13,665	2,705	700	201	635	369	576	203	90	-	-	19,144	27
合計	141,904	30,516	7,468	2,657	6,570	4,074	6,753	3,769	1,258	-	-	204,969	309

#### イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

##### (ア) 歌謡ショー

アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー

・開催回数 20回

・観覧者延べ人数 1,783人

##### (イ) 伝統芸能・舞踊

太鼓演奏、民謡や舞踊の伝統芸能ショー

・開催回数 7回

・観覧者延べ人数 835人

(ウ) カラオケ等

生バンドによるカラオケや、審査員によるカラオケ大会

- ・開催回数 4回
- ・観覧者延べ人数 440人

(エ) 芝居

人情芝居を中心とした時代劇

- ・開催回数 5回
- ・観覧者延べ人数 655人

(2) 大平地域福祉センター「ふるさとふれあい館」

ア 利用状況

- ・年度別利用者数

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	16,387	17,467	15,923

- ・開館日数 開館日数 320日
- ・1日平均入場者 49.7人
- ・月別内訳

(単位：人)

区分	研修室	和室	ルーム ボラン テイア	陶芸室	木工室	学習室	ロビー・ 応接室	総合計	開館日数 (日)
4	720	346	99	125	-	173	28	1,491	26
5	448	317	88	91	14	106	12	1,076	26
6	666	341	121	102	10	116	43	1,399	28
7	677	346	145	128	10	124	7	1,437	28
8	541	333	118	104	21	112	5	1,234	29
9	593	272	92	98	9	176	5	1,245	27
10	614	406	183	137	-	106	21	1,467	28
11	663	294	120	90	5	124	11	1,307	27
12	592	262	143	100	3	120	5	1,225	24
1	487	320	138	92	-	129	5	1,171	24
2	672	320	146	87	-	137	33	1,395	25
3	719	304	155	129	15	144	10	1,476	28
合計	7,392	3,861	1,548	1,283	87	1,567	185	15,923	320

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ふるさとふれあい館のロビーと通路で、毎月、利用団体の作品の展示を行い、活

動の活性化を図った。また、下記の通り自主事業を実施した。

(7) 新春 お琴演奏会と茶道体験

- ・ 琴の演奏体験やお茶の飲み方や立て方の体験

- ・ 参加者 26人

(大人6人、子供17人、幼児3人)

(イ) できることから始めてボランティア

- ・ 児童・生徒を対象としたボランティア活動講習会

(エコキャップリサイクル工場見学)

- ・ 参加者 84人

(市内小学校4～6年生)

(ウ) 普通救命講習会

- ・ 参加者 11人

- ・ 協力 消防署大平分署

(3) 大平高齢者デイサービスセンター「まゆみ」

ア 利用状況

- ・ 年度別利用者数

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数(人)	8,576	9,312	8,887

- ・ 開館日数 開館日数 293日

- ・ 1日平均入場者 30.3人

- ・ 月別内訳 (単位：人)

区分	延べ利用人数	利用実人数
4	697	77
5	721	75
6	751	75
7	715	72
8	749	69
9	694	72
10	857	76
11	765	77
12	718	77
1	714	78
2	713	74
3	793	74
合計	8,887	896

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

区 分	事 業
介護予防及び介護関係	(1) 筋力アップ訓練事業 (2) 口腔衛生事業 (3) 認知症予防事業 (4) 福祉教育事業
通所施設関係	(1) カラオケ (2) 囲碁・将棋 (3) 紙芝居や演芸などの鑑賞
年間事業	(1) 花見及びお茶会 (2) 七夕会 (3) かき氷 (4) 敬老の日 (5) クリスマス会 (6) 豆まき会 (7) 利用者の誕生日会
その他	(1) 施設を開放し、見学会を開催 (2) シルバー大学OBによるレクリエーションボランティアの受入れ（10回開催）

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者に対し創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、社会福祉法人すぎのこ会に委託（指定管理）し、実施した。

- ・施設名 大平地域活動支援センター
- ・所在地 大平町真弓1396
- ・開所日数 261日
- ・通所延べ人員 1,566人

4 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）

（単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	平成24年度中交付者数
視覚障がい	37	2
聴覚・平衡障がい	159	3
音声・言語・そしゃく障がい	13	3
肢体不自由障がい	481	34
内部障がい	251	23
複合障がい	26	0
合 計	967	65

## 5 知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数)

(単位:人)

区 分	障がい児(18歳未満)		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	11	4	34	38	87
中度(B1)	9	3	31	26	69
軽度(B2)	6	7	23	16	52
合 計	26	14	88	80	208

## 6 身体障がい者(児)の補装具等の交付状況

## (1) 身体障がい者(児)の補装具交付及び修理

(単位:件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	-	-	-	-	-	-
	義足	2	3	5	-	-	-
装具	下肢	12	3	15	2	-	2
	靴型	3	-	3	1	-	1
	体幹	-	-	-	-	-	-
	上肢	-	-	-	-	-	-
座位保持装置		-	-	-	-	-	-
盲人安全つえ		4	-	4	-	-	-
義眼		-	-	-	-	-	-
眼鏡	矯正眼鏡	-	-	-	-	-	-
	遮光眼鏡	1	-	1	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-
補聴器	高度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	11	5	16	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	-	1	1	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	8	8	16	-	-	-
車いす	普通型	-	5	5	1	1	2
	その他	-	1	1	-	-	-
電動車いす		1	-	1	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	-	-
座位保持いす		2	-	2	1	-	1
歩行器		-	-	-	1	-	1
歩行補助つえ		1	-	1	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特例補装具		-	-	-	-	-	-
合 計		45	26	71	6	1	7

## (2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付

(単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	-	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す	-	2
入 浴 補 助 用 具	1	1
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	2	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	-	-
頭 部 保 護 帽	-	-
特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	2	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	1
電 気 式 た ん 吸 引 器	-	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	1	-
視覚障がい者用拡大読書器	1	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	2	-
点 字 図 書	-	-

ス ト マ 用 装 具	-	-
紙 お む つ	-	-
収 尿 器	-	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	1	-
合 計	10	4

7 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	-
肢 体 不 自 由	3
心 臓 機 能 障 が い	7
腎 臓 機 能 障 が い	66
合 計	76

8 各種手当の状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数	
特定疾患介護手当	25	
重度心身障がい児扶養手当	4	
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	-
	障がい児福祉手当	-
	福祉手当（経過的）	-
特別児童扶養手当	2	

9 身体障がい者等福祉関係

- (1) 身体障がい者の自立更生について、1人の身体障害者相談員が相談指導に当たった。
- (2) 知的障がい者の自立更生について、1人の知的障害者相談員が相談指導に当たった。
- (3) 障がい者と健常者の交流事業として、若葉OHIRAウオークラリーのつどいを実施した。

・参加者 118人

## 介護高齢担当

### 1 高齢者人口・生活態様別統計

#### (1) 高齢者人口（大平地域 4月1日現在）

区分	年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
	総人口（人）		29,605	29,653
65歳以上人口（人）		6,002	6,081	6,315
総人口に対する割合（％）		20.27	20.51	21.29

#### (2) 高齢者生活態様（5～6月調査結果）

高齢者人口		人数（人）	比率（％）
総数		6,315	100
内 訳	独居	479	7.6
	高齢者世帯※ （世帯数）	1,366 (676)	21.6
	その他	4,470	70.8

※ 65歳以上のみで構成される世帯

### 2 敬老祝賀事業

9月1日（基準日）において、本市に引き続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。100歳の方と、市内最高齢の108歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	140
90歳	20,000	78
95歳	30,000	18
100歳	100,000	7
101歳以上	50,000	5

### 3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・ 補助金交付自治会等 49自治会等
- ・ 補助金額 1,854,000円

#### 4 老人クラブ育成指導事業

老人クラブ連合会大平支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・単位老人クラブ数 27クラブ
- ・市老人クラブ連合会大平支部会員数 1,120人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 1,252,000円  
市連合会大平支部助成 1,093,000円

#### 5 老人スポーツ大会

老人クラブ連合会大平支部主催により、個人・団体競技スポーツ等を行い、クラブ会員の健康増進と親睦並びに交流を図った。

- ・実施日 10月25日(木)
- ・会場 大平運動公園
- ・参加人数 690人

#### 6 はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちとなり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 大平地域内に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館・集会所・広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 20センター(23自治会)
- ・委託料 2,400,000円
- ・実施回数・人数 延べ 2,984回・37,872人

#### 7 配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当(1食300円)を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方
- ・宅配個数 6,686個
- ・宅配人数 67人(実人数)
- ・宅配業者 このひら配食サービス 沼和田町13-3  
(株)金時給食センター 柳橋町6-29  
ワタミタクシヨク(株) 仲方町306-5

8 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 111人
- ・訪問世帯数 711世帯

9 老人ホーム等入所措置支援

老人ホーム等入所措置入所前の支援を実施した。(入所措置は本庁高齢福祉課で実施)

- ・養護老人ホーム入所措置支援 0件
- ・特別養護老人ホーム入所措置支援 0件

10 日常生活用具購入費助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	36
小型暖房器具	5
電磁調理器	—
火災警報器	—
自動消火器	—

11 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

- ・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	8
特殊寝台	6
じょく瘡予防用具	7

12 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・設置状況 (単位：台)

既設置台数	24年度設置台数	24年度撤去台数	計
106	15	19	102

13 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付しタクシー料金を助成した。(単位：人)

区 分	交 付 者 数
高齢者（80歳以上）	221
高齢者（65～79歳）	37
障がい者	69
腎臓機能障がい者	32
合 計	359

14 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）(単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
149	165	314

15 紙おむつ購入助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数）(単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
141	153	294

16 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 0人
- ・延べ回数 0回（0時間）

(2) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者数 17人
- ・延べ利用時間数 (単位：時間)

家事	131
除草	16
植木手入れ	60
大工	6

(3) 在宅高齢者短期入所事業

- ・利用者数 1人
- ・延べ宿泊数 5日

17 介護保険業務各種受理状況

(単位：件)

内 容	件 数
要介護認定要支援認定申請 相談・受付・入力	813
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	35
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	1
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	4
転入・転出・転居 資格管理等	6
転送希望届申請 受付・入力	10
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	184
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	10
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	1
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	6
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	68
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	45
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	112
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	129
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	18
オムツ使用証明申請 受付・発行	1
介護保険事業者事故報告 受付	5

18 介護給付等適正化事業

介護給付等において、利用者に介護サービスが適正に提供されているか、情報提供として「介護給付費通知書」を郵送した。

- ・介護給付費通知書郵送件数 (単位：通)

8月郵送件数	2月郵送件数	合計
915	734	1,649

19 地域包括支援センター事業

(1) 設置状況

大平地域包括支援センター 大平町西野田 666-1 大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）内

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業の対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握状況

基本チェックリストによる対象者数（人）	583
---------------------	-----

(イ) 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、複合型機能向上、閉じこもり・認知・うつ予防等の教室を実施し、要介護状態等となることの予防及び自立した生活を送るための支援を行った。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	24	252
栄養改善	3	39
口腔機能向上	4	24
複合型機能向上	10	154
閉じこもり・認知・うつ予防	24	144
合計	65	613

(ウ) 訪問型介護予防事業

希望者はなかったが、通所型介護予防事業の教室数を増やし対応したこともその要因の一つであると考えている。

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

a にこにこ教室

65歳以上の高齢者を対象に教室を開催した。内容は運動器機能向上、栄養改善、閉じこもり予防等である。

会場の運営協力には「元気アップサポーター」が中心となり、地域に根差した活動を展開した。

- ・会場 各地区公民館 18会場（1会場を新設することができた。）
- ・実施日 4・8月を除く月1回の開催

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	135	2,033
栄養改善	15	218
閉じこもり予防	30	439
その他	3	33
合計	183	2,723

b スペシャルにここ教室

にここ教室の継続参加により運動器機能向上の効果が得られ、運動に自信の着いた方を対象に、運動負荷をかけエアロビクス要素を取り入れたレベルアップの新規教室を開催することができた。

回数(回)	延べ人数(人)
7	177

c 健康福祉まつりでの普及啓発活動

地域包括支援センターの周知と介護予防の普及啓発を目的に実施した。

- ・会場 大平健康福祉センター（健康福祉まつり会場）
- ・実施日 5月27日（日）
- ・参加者数 180人
- ・内容 地域包括支援センタースタンプラリー  
項目：握力測定、大平包括ぴんぴん体操体験、高齢者用ソフト食試食等

d 出前講座等

地域の団体を対象に介護予防の普及啓発や健康相談等を実施した。

- ・3団体 参加者60人

(イ) 地域介護予防活動支援事業

a 元気アップサポータースキルアップ教室と活動

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識の習得、サポーター間の情報交換や交流ができる機会を設け、地域活動の人材育成や支援を行った。

- ・元気アップサポーター数 48人
- ・実施状況

	回数(回)	人数(人)
スキルアップ (運動講話と実技・体力測定実技・運動指導 ロールプレイ・熱中症対策など)	12	267
研修会・交流会	1	33
介護予防事業時の体力測定補助	8	36

次年度準備会	1	33
認知症サポーター養成講座	1	7
健康福祉まつり	1	6
合計	24	382

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント業務

二次予防事業対象者が要介護状態になることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。また、要支援状態になった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

- ・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況

地域包括支援センターによる作成件数 75 件

- ・要支援 1・2 の介護予防サービス計画作成状況 (単位：件)

	件数
地域包括支援センターによる作成件数	24
事業者委託件数	95
合計	119

- ・サービス担当者会議実施状況

地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加 79 回

- ・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況 (単位：件)

	件数
地域包括支援センターによる作成件数 (住宅改修)	3
〃 (福祉用具)	1

イ 総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

- ・実施状況 (単位：件)

	件数
面接	437
電話相談	1,134
家庭訪問	712
合計	2,283

ウ 権利擁護業務

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、関係各課担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応を行った。

・実施状況

	件数（件）
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	49
高齢者虐待に関すること	36
高齢者虐待ケース会議	5
合 計	90

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ア) 民生委員との懇談会

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 65人

(イ) 多職種との連携

地域における多職種との連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行った。また、今年度は在宅支援関係者の資質の向上を目的に専門医の協力を得研修会を開催することができた。

- ・研修会「高齢者の精神疾患とその対応について

～専門医からみた在宅支援者に分かっていて欲しいこと～

講師：医療法人栄仁会大平下病院 院長 藤沼仁至氏

参加事業所数：28か所

参加人数：54人

(4) 任意事業

ア 家族介護支援事業

介護に携わる家族が、適切な介護知識、技術、サービス利用方法を習得できるよう支援した。また、在宅介護の苦勞、精神的な負担を軽減しリラックスできることを目的とした支援教室を開催した。

- ・実施回数 3回
- ・参加人数 42人

イ 地域自立支援事業（24時間通報体制）

地域包括支援センターへの相談等に随時対応するため夜間等電話相談業務委託を行った。（平成23年度までは職員が24時間対応していたが平成24年度からは市内統一し介護施設への委託となった。）

・実施状況

	相談日実数(日)	相談件数(件)	緊急対応(再掲)
休日(土日・祝日)	22	22	2
平日夜間	9	9	0
合計	31	31	2

#### ウ 高齢者地域見守り支援事業

地域における認知症高齢者の見守り体制の構築を目的に、認知症に関する広報・啓発活動、徘徊高齢者を早期発見できる仕組みの構築・運動、認知症高齢者に関する知識を深め地域を支えるための認知症サポーターを養成した。

認知症サポーター養成講座

- ・開催回数 3回
- ・参加者数 52人

#### エ 傾聴事業

高齢者の社会的な孤立感や不安等の解消を図るとともに、生きがいを推進することを目的に、高齢者の自宅や介護施設を訪問し傾聴活動を行う傾聴ボランティア団体の支援を行った。

- ・傾聴ボランティア団体数 1団体
- ・補助金額 150,000円
- ・傾聴ボランティア活動実績

活動内容	回数(回)	会員参加延べ人数(人)
施設訪問	50	279
個人宅訪問	62	125
研修会・交流会等	5	54
定例会	11	155
役員会	5	19
健康福祉まつり	1	9

### 健康増進担当

#### 1 健康おおひら21プラン推進事業

「情報」「食生活」「運動」「こころ」「たばこ・アルコール」「健康診査」の6項目を重点領域とし、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

- ・健康まつり等における健康情報の提供
- ・健康づくりポスターコンクールの開催
- ・各種健診・教室等において食、運動に関する知識の普及啓発
- ・健診結果等に基づいた健康教室の開催
- ・こころの健康相談の開催や幼児健診時にこころの相談を実施

- ・絵本の読み聞かせ事業の推進
- ・学校との連携の下、思春期講演会や喫煙防止教室の開催
- ・集団健康診査時を利用し、当日会場において個別相談を実施
- ・歯の健康に関する普及啓発（幼児健診、健康まつりなど）
- ・食生活改善推進団体協議会との共催による栄養教室の開催及び協議会の育成

## 2 母子保健事業

### (1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳を交付した。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況 (単位：人)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数		
	妊娠届出	双胎	紛失等
224	228	224	4

### (2) 健康診査

#### ア 妊婦健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

#### イ 妊婦歯科健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

#### ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	231	227	98.3	17	20	4	4
乳児健康診査 (9か月児)	12	239	236	98.7	24	10	1	17

1歳6か月児 健康診査	12	228	228	100.0	41	13	0	9
3歳児 健康診査	12	261	252	96.6	52	2	15	58

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
6	258	208	80.6	11 (5.3%)

オ 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達に遅れがあると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

開催回数 (回)	受診児数(人)			結果内訳(人)		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
8	12	11	23	9	14	0

カ 乳児先天性股関節脱臼検診(数値は、本庁健康増進課で一括計上)

3~4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室

妊婦と夫に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。大平・藤岡地域で合同開催した。

・実施数 3回1コース(大平会場：年2コース)

・参加者延べ数 (単位：人)

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
73	27	-	8	-

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では3~5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施回数 12回

・参加者延べ数 100組

・内容 離乳食講話、ふれあい遊び、子育て相談、身体計測等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐる一ふ、ぺんぎんぐる一ふ)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

※参加者延べ数(組)は大平・藤岡地域合同数

	対象月齢	回数(回)	参加者延べ数(組)
ちゃいちゃいぐる一ふ	3歳未満	20	103
ぺんぎんぐる一ふ	3歳～就学前	12	73

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情・自己肯定感や自己決定能力を高めていくため、思春期講演会を大平地域内中学校(2校)と連携し行った。

対 象	参 加 人 数(人)
大平中学校	生徒 215 保護者等 24
大平南中学校	生徒 328 保護者等 39
一般参加者	11

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 236組

カ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市2町との共催で小学1年生と年長児に対しフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ素塗布者数 (単位:人)

小学1年生	年長児	合 計
118	98	216

キ よい歯のコンクール(数値は、本庁健康増進課で一括計上)

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談を実施した。

- ・実施回数 12回

- ・参加者延べ数 626人（313組）

#### イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度の発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

- ・実施状況 (単位：人)

受診者数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
279	167	14	4	9	81	4

#### ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 6件
- ・指導延べ数 8件

#### エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うと共に、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 205件（保健師訪問数20件、母子保健推進員訪問数185件）

#### (5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（大平地域16人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談等を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	健診等事業協力	計
件数(件)	201	185	348	734

また、会員相互の連携を図り、母子保健の向上に寄与するため栃木市母子保健推進員協議会を市全体で設置し、研修や交流を行った。（母子保健推進員総数123人）

### 3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

#### (1) 特定健康診査後期高齢者健康診査及びヤング健診

- ・実施回数 14回
- ・実施場所 大平健康福祉センター

#### (2) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	初回面接指導数(人)	初回面接実施率(%)
積極的支援	37	22	59.4

動機付け支援	91	63	69.2
合計	128	85	66.4

#### 4 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査（健康増進法による）、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症健診及び歯周疾患検診（個別健診）等を行った。

- ・ 集団健診実施回数 14回
- ・ 集団健診実施会場 大平健康福祉センター

#### 5 結核検診事業

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を下都賀郡市医師会に委託し行った。

- ・ 実施会場数 35会場
- ・ 受診者数 2,052人

#### 6 健康増進法等に基づく保健事業

##### (1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教室名	実施回数 (回)	参加者数 (人)	内容
糖尿病予防教室	6	137	糖尿病予備軍の人を対象に、糖尿病の正しい知識の普及啓発と栄養・運動指導を実施し、糖尿病予防のための行動変容を促した。 特に、空腹時・食後血糖値に焦点をあて、早期に予防・治療に取り組めるよう心がけた。
筋力アップですっきり教室	24	610	メタボ等の生活習慣病予防、筋力の向上に必要な運動習慣が身に付けられるような講話と運動の実践を行った。
食の学習	6	39	特定保健指導対象者に対して昼食を持参し、空腹時・食後1時間・食後2時間の自己血糖値を測定した。食事と血糖値の運動性を体感するとともに、自分に合った食事の目安量や食べ方のコツなどを学習し、生活スタイルの見直しを行った。
健診当日説明会	12	484	特定健診受診者を対象に、生活習慣を見直すきっかけを作るため、健診当日会場にて説明を行った。
出前講座（生活習慣病予防等）	5	78	地域や団体を対象に集会所等に出向き、健康に関する知識の普及、啓発を行った。

健康づくりポスターコンクール	1	94	健康づくりの大切さを考えることを目的に、小中学生よりポスターを募集しコンクールを行った。また、展示し市民への健康づくりのメッセージとした。
喫煙防止教室 (小学6年生と保護者)	1	161	「薬物乱用防止教育」の一環として「喫煙防止教室」を行った。

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 14回
- ・延べ相談者数 25人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 4回
- ・延べ相談者数 5人
- ・内容 管理栄養士による個別指導
- ・指導内訳 (単位：人)

高血圧症	-	糖 尿 病	3	腎 臓 病	2
脂質異常症	-	肝 臓 病	-	そ の 他	-

7 自殺予防対策事業

こころの健康相談（カウンセラー）

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、うつ・ストレス・不眠等の心の健康問題の個別相談に応じた。

- ・回数 10回
- ・相談者数 22人

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児及び高齢者の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種、他の予防接種は予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア 集団接種 ポリオ投与（小児マヒ）

- ・年間実施回数 4回
- ・実施場所 大平健康福祉センター

イ 個別接種

B C G、四種混合、三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）、二種混合、不活化ポリオ、麻しん風しん混合（MR）、日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2) 任意予防接種

子宮頸がん予防ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン、小児用インフルエンザワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9 地域保健対策推進事業

(1) ふれあい健康福祉まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、第19回ふれあい健康福祉まつりへ参加した。

・実施日 5月27日（日）

・場 所 大平健康福祉センター、大平地域福祉センター（単位：人）

番号	実施内容	参加人数
1	食育ポイントラリー	145
2	骨密度測定・結果説明及び指導	60
3	歯の健康相談・ブラッシング指導	43
4	血管年齢測定	152
5	献血	48
6	自殺予防普及啓発用ティッシュ等配布	100
参加者合計		548

(2) 食生活改善地区組織活動

地域住民を対象に 食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等を行った。

・大平支部会員数 31人

・講習会開催回数 4回

・参加人数 134人

(3) 自主グループ活動支援（リフレッシュ運動教室OB会）

運動教室等修了者の自主グループ活動の支援を行った。

・会の運営のアドバイス

・体力測定、骨密度測定

(4) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数 101世帯

・保健師訪問指導 197人（延べ人数）

・内訳

（単位：人）

精神保健	90	生活習慣病	13	妊産婦	13	新生児	4
乳児	27	幼児	49	低体重児	1	その他	-

10 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、栃木市献血会連絡協議会の協力のもと、献血事業

を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
2	73	14	51	-	65	8

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

下校後、保護者の就労等により家庭において、保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として実施した。(大平地域4小学校区内・6学童保育)

学童保育入所者数

(単位:人)

学年 学童保育名	1学年			2学年			3学年			4学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
大平中央①(大平中央小)	8	12	20	5	8	13	5	3	8	6	7	13
大平中央②(大平中央小)	6	10	16	6	6	12	4	3	7	3	6	9
大平南①(大平南小)	8	3	11	0	0	0	5	6	11	4	13	17
大平南②(大平南小)	0	0	0	3	3	6	7	4	11	0	0	0
大平東(大平東小)	7	5	12	4	3	7	3	5	8	1	2	3
大平西(大平西小)	7	12	19	12	10	22	4	4	8	1	8	9
計	36	42	78	30	30	60	28	25	53	15	36	51

学年 学童保育名	5学年			6学年			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
大平中央①(大平中央小)	0	2	2	0	1	1	24	33	57
大平中央②(大平中央小)	0	1	1	0	2	2	19	28	47
大平南①(大平南小)	0	0	0	1	0	1	18	22	40
大平南②(大平南小)	1	5	6	0	0	0	11	12	23
大平東(大平東小)	1	1	2	1	0	1	17	16	33
大平西(大平西小)	5	1	6	0	0	0	29	35	64
計	7	10	17	2	3	5	118	146	264

2 地域組織活動(母親クラブ)への支援

児童館等を拠点とし、児童の心身の健全育成を図るため、会員相互の交流を深めながら児童育成の正しい知識と技術を習得するなどの自主的な活動運営を行う母親クラブに対し、その活動への支援・指導を行った。

組 織 名	活 動 場 所	会 員 数
大平みなみ児童館母親クラブ	大平みなみ児童館	39人

### 3 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金を交付した。

#### (1) 国庫補助事業交付額

- ・ 交付対象人数 492人
- ・ 交付額 50,677,400円

#### (2) 県補助事業交付額

- ・ 交付対象人数 9人
- ・ 交付額 1,025,500円

#### (3) 市単独補助事業幼稚園第三子以降支援特別補助金交付額

- ・ 交付対象人数 65人
- ・ 交付額 10,474,200円

#### (4) 市単独補助事業幼稚園就園奨励費国庫非該当世帯特別補助金交付額

- ・ 交付対象人数 81人
- ・ 交付額 486,000円

### 4 ファミリー・サポート・センター事業

#### (1) 会員数の内訳

会員種別	会員数(人)
育児依頼会員	127
育児提供会員	52
依頼・提供両会員	17
計	196

#### (2) 活動状況

(単位：件)

援助活動内容	活動件数
保育所・幼稚園への登園前の預かり及び送り	9
保育所・幼稚園への迎え及び帰宅後の預かり	9
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	14
学童保育前の預かり及び送り	0
学童の放課後の預かり	0
登校前の預かり及び送り	184
学童保育への迎え及び帰宅後の預かり	29
学童保育からの帰宅後の預かり	0
子どもの病気時の援助	0
子どもの習い事等の場合の援助	0
保育所・学校等休み時の援助	9
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	23
保護者等の求職活動中の援助	0

保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	6
保護者等の外出の場合の援助	0
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0
他の子どもの用事の場合の援助	0
その他	13
合 計	296

## 5 地域子育て支援センター

### (1) 利用者数推移

(単位：人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合 計
22年度	724	746	728	201	3	3	0	2,545	4,950
23年度	704	619	541	274	1	0	2	2,276	4,417
24年度	705	437	471	147	11	7	7	1,948	3,733

### (2) 活動状況

#### ア 定例遊び

- ・実施日時 毎週火曜日（ころころ広場）午前10時30分～11時30分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 計26回
- ・延べ参加者 1,889人

#### イ 特別活動

(単位：人)

No	活 動 名	参加人数	No	活 動 名	参加人数
1	赤ちゃんサロン（22回）	988	9	南第1保育園との交流会（2回）	30
2	AED・CPR講習会（2回）	44	10	南第2保育園との交流会（1回）	6
3	おもちゃライブラリー（2回）	93	11	赤十字幼児安全法講習会2回	71
4	ベビーマッサージ（5回）	191	12	子育て支援研修会（4回）	131
5	絵本講習会	44	13	託児事業（9回）	48
6	消防訓練	69	14	ファミサポ交流会・説明会	98
7	西保育園との交流会（1回）	10	15	視察研修（2回）	9
8	東保育園との交流会（1回）	12	合 計		1,844

#### ウ 子育て相談

(単位：件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	3	3	0
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	0	0	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い ほか	0	0	0

健康に関すること	ほふく、歩行身体の発達、健康 ほか	5	5	0
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	3	3	0
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	108	25	83
そ の 他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境祖父母との関わり ほか	292	84	208
合 計		411	120	291

## 6 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に対し支給を行った。

- ・児童手当受付件数 476件

## 7 赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、誕生祝金を交付した。

事業名	祝金額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	115
	第三子以降 20,000円	

## 8 児童扶養手当

父母の離婚や死亡等により、父または母と生計を同じくしていない児童や、父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給手続きを行った。

- ・児童扶養手当受付件数 29件

## 9 児童館

すべての児童を対象として、児童に健全な遊びを与え、集団及び個別指導を通して児童の健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域児童を健全に育成するために各種事業を実施した。

### (1) 大平児童館

#### ア 利用状況

(単位：人)

区分 年度	幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生	高校生	大人	合計	1日平均 利用人員
24年度	5,804	3,496	4,161	882	120	5,640	20,103	67

#### イ 事業実施状況

(単位：人)

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ぱくぱくクッキング(8回)	169	実験遊び(4回)	24
プレゼント作り(2回)	30	オセロ大会(3回)	31
団体訪問(23回)	547	冬休み天体観測イベント	15
金環日食観測と黒点観測	227	宇宙人を作ろう(制作イベント)	22
プール開放	176	夏休み野外研修	26
こどもプロジェクト(6回)	32	リズムあそび	70
幼児クラブ(60回)	2,200	こどもフェスティバル	848
わいわい広場(24回)	602	キャラクターコンテスト	37
ダンス教室(33回)	1,204	天体観測(27回)	312
金星の日面通過観測会	20	おみくじ	75
梅雨を楽しむキャンペーン	32	合計	6,699

(2) 大平みなみ児童館

ア 利用状況

(単位：人)

区分 年度	幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生	高校生	大人	合計	1日平均 利用人員
24年度	6,593	2,099	2,448	583	42	6,989	18,754	63

イ 事業実施状況

(単位：人)

事業名	参加人数	事業名	参加人数
季節の折り紙コーナー(12回)	296	プール遊び(12回)	63
オセロ大会(5回)	42	水遊び(1回)	26
幼児クラブ(66回)	2,730	作って遊ぼう!(1回)	8
こどもまつり(1回)	291	クリスマスグッズ作り(1回)	21
母の日のプレゼント作り(1回)	18	子どもクッキング(1回)	15
父の日のプレゼント作り(1回)	14	ハッピーくじ	265
		合計	3,789

10 保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言等を行った。

## 11 保育所入所状況

### (1) 児童定員・異動状況

(単位：人)

区分	保育園名	定員	24年4月1日 入所児童数	途中入所 児童数	退所児童数	25年3月1日 入所児童数
公立	大平西保育園	60	63	10	3	70
	大平南第1保育園	50	55	8	4	59
	大平南第2保育園	35	32	6	0	38
	大平東保育園	40	41	4	1	44
私立等	大平中央保育園	90	95	13	1	107
	ひかり保育園	90	75	15	5	85
計		365	361	56	14	403

### (2) 階層別児童数

(単位：人)

区分	保育園名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
		階層									
公立	大平西保育園	1	13	9	15	10	7	9	8	1	73
	大平南第1保育園	3	4	4	7	10	6	16	13	-	63
	大平南第2保育園	-	10	4	13	7	3	1	-	-	38
	大平東保育園	2	1	3	8	11	8	4	6	-	43
私立	大平中央保育園	-	8	3	11	18	12	22	27	5	106
	ひかり保育園	-	8	7	19	14	10	12	9	7	86
計		6	44	30	73	70	46	64	63	13	409

※階層 所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

### (3) 年齢別児童数

(平成25年3月1日現在 単位：人)

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	大平西保育園	3	10	14	10	33	70
	大平南第1保育園	8	7	9	11	24	59
	大平南第2保育園	3	6	8	4	17	38
	大平東保育園	5	7	10	7	15	44
私立等	大平中央保育園	14	12	15	17	49	107
	ひかり保育園	11	16	16	11	31	85
合計		44	58	72	60	169	403

## 12 施設運営全般

### 施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
- ・ 保育内容の充実と技術の向上

- ・安全対策と保護者との対応
- ・地域における子育て支援

### 13 保健管理

#### (1) 健康診断の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 月	結 果 と 措 置
健康診断	2	4月・10月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	6月・11月	結果については、保護者連絡

#### (2) 検便等の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 月	結 果 と 措 置
寄生虫卵	2	6月・11月	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	6月・11月	結果については、保護者連絡

#### (3) 健康状態の観察及び個別検査の状況

##### ア 観 察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

##### イ 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

##### ウ 伝染病の発生と管理

(ア) 発生件数           なし

(イ) 流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

### 14 児童保育の内容

#### (1) 保育目標

- ・心身ともに健康な子ども
- ・自分で考え行動する子ども
- ・喜んで話したり聞いたりする子ども
- ・人とかかわりの中で相手を思いやる子ども
- ・豊かな感性を持つ子ども
- ・地域の中で育つ子ども

#### (2) 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年齢別に年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

#### (3) 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4月		入園式
5月	こどもの日・母の日	保育参観(参加)
6月	歯の衛生週間・父の日・時の記念日	じゃがいも堀り
7月	七夕祭り・海の日	納涼祭・プール開き・運動会
8月	お盆	水泳大会(納め)

9月	防災の日・敬老の日・秋分の日	お月見会
10月	体育の日	運動会・遠足
11月	文化の日・勤労感謝の日・七五三	チューリップ球根植え
12月	師走	保育発表会・クリスマス会
1月	お正月	新年のつどい
2月	建国記念の日・節分(まめまき)	お店屋さんごっこ
3月	ひなまつり	ひな祭り会・お別れ園外保育

※ その他、毎月誕生児の誕生会を催す。

(4) 特別支援保育の状況

ア 特別支援保育対象児童数

保育園名	人数(人)
大平西保育園	3
大平南第1保育園	2

イ 保育方法 混合保育で実施

(5) 延長保育の状況

保育園名	人数(人)	保育時間
大平西保育園	19	午前7時～午後7時
大平南第1保育園	10	午前7時～午後7時
大平中央保育園	10	午前7時～午後7時
ひかり保育園	36	午前7時～午後7時
計	75	午前7時～午後7時

(6) 一時預かりの状況

実施保育園名	延べ利用者数(人)
大平西保育園	380
大平中央保育園	407
計	787

(7) 低年齢児保育(0,1,2歳児) (平成25年3月1日現在 単位:人)

区分	保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	計
公立	大平西保育園	3	10	14	27
	大平南第1保育園	8	7	9	24
	大平南第2保育園	3	6	8	17
	大平東保育園	5	7	10	22
私立等	大平中央保育園	14	12	15	41
	ひかり保育園	11	16	16	43
	計	44	58	72	174

(8) 保護者との連携

- ・ 保育参観
- ・ 送迎時の連絡
- ・ 子育て等相談

## 15 防災対策の状況

- (1) 設備、遊具等の整備点検
- (2) 避難訓練
- (3) 安全のための実施訓練  
事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的を実施

## 16 給食実施状況

- (1) 予定献立の作成  
献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定した。
- (2) 給食構成
  - ・ 乳児 主食、副食、おやつ（完全給食）
  - ・ 幼児 副食、おやつ
- (3) 1日当たり平均栄養摂取量状況

ア 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ）（平成24年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A ( $\mu$ g)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
大平西保育園	520	20.5	15.8	272	2.5	306	0.25	0.41	28	1.7
大平東保育園	503	20.3	15.6	270	2.5	308	0.25	0.41	28	1.7
大平南第1保育園	520	20.3	15.8	271	2.5	305	0.25	0.41	28	1.7
大平南第2保育園	537	21.3	16.4	291	2.7	319	0.26	0.43	30	1.8
栄養給与目標	500	18.0	11～16	200	2.3	200	0.25	0.28	20	2.0

イ 3歳以上児（副食＋おやつ）（平成24年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A ( $\mu$ g)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
大平西保育園	417	20.6	17.2	289	2.5	365	0.27	0.45	33	2.1
大平東保育園	410	20.6	17.0	288	2.5	367	0.26	0.45	33	2.0
大平南第1保育園	417	20.3	17.2	287	2.5	365	0.26	0.45	33	2.0
大平南第2保育園	440	21.6	18.1	310	2.8	381	0.28	0.47	34	2.1
栄養給与目標	400	19.0	13～19	270	2.5	200	0.32	0.36	20	2.3

## 17 特別保育科目設定実施事業

- (1) 世代間交流事業  
高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

（単位：回）

実施保育園名	実施回数
大平西保育園	13
大平東保育園	5
大平南第1保育園	5
大平南第2保育園	6
大平中央保育園	2
ひかり保育園	4
合 計	35

(2) 異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。

(単位：回)

実施保育園名	実施回数
大平西保育園	1
大平東保育園	1
大平南第1保育園	2
大平南第2保育園	2
合 計	6

(3) 子育て・仕事両立支援

乳幼児をもつ保護者等に対する育児講座の開催や育児に関する情報提供等を行った。

(単位：回)

実施保育園名	実施回数	実施保育園	実施回数
大平西保育園	2	大平東保育園	2
大平南第1保育園	2	大平中央保育園	4
大平南第2保育園	2	ひかり保育園	2
		合計	14

## 第5節 産業振興課

### 〔総括概要〕

大平地域の農業は、水田地帯では米麦の二毛作を中心として、いちご、ニラ、トマト等の施設園芸農業や、肉牛肥育、酪農、養豚等の畜産業が実施され、畑作地帯（樹園地を含む）においては、ぶどう、なし、野菜等の営農が展開されている。担い手の多くは、首都圏に位置する立地条件を活かし、生産性の高い、いちご、ニラ、トマト、ぶどう等の施設園芸と、基幹作物の米麦を組み合わせた複合経営が中心である。施設園芸農家においては、後継者の就農も多く家族経営のなかで、今後の規模拡大が期待される。

一方、米麦を主とする土地利用型農業では、農用地の利用集積により大規模化が進んでいるものの、米麦の価格が下落傾向にあり、依然として厳しい状況にある。

また、小規模経営農家においても、経営主の高齢化、兼業化により離農者が増えつつある。

このような中、栃木市農業再生協議会と連携して農業者戸別所得補償制度による補償を実施し、農家の方が安心して農業に従事できる環境づくりを進めた。

また、集落における話し合いをもとに人・農地プラン（地域農業マスタープラン）を策定し、担い手への農地の利用集積の促進、青年就農者の定着支援を行った。

土地基盤整備事業は、平成34年から始まり平成2年にはほぼ完了し、整備率は98.7%である。この基盤整備の済んだ優良農地を長期的に有効利用し、首都圏農業をさらに推進する為に、本地域の特産物であるいちご、ニラ、トマト、ぶどう等の生産技術の向上と流通体制の整備を進め、都市型農業への定着を図った。また、土地利用型農業は、さらに担い手への土地利用集積を推進し、水田の高度利用を図り、安定的な経営を目指した。

一方、国土の保全・水源のかん養等、森林の有する公益的機能を十全に発揮させるためには、将来にわたって、森林を適正に整備し保全する必要があるため、国・県の交付金や補助金を活用し、森林整備が適切に行われるよう事業を推進した。

また、林道の維持管理については、林業の生産性向上を図る機能とともに、観光客等も通行することから、草刈等維持管理に緊急雇用対策事業を導入し適正な維持管理を行った。

商工業関係については、地域の商工業の総合的な改善発展を目指し、大平町商工会とともに商工業者の育成・支援をはじめする諸事業を開催し、中小企業の育成と経営品質の向上に向けた取組のほか、産学官連携を推進した。

また、中心市街地活性化支援として、TMO構想により、「中心市街地の賑わいと活力を創出するためのまちづくり事業」のひとつとして、まちづくり交流センター（通称プラッツおおひら）で中心市街地活性化の支援を行った。

観光関係については、大平地域は恵まれた自然の中に長い歴史と、伝統の中に素晴らしい観光資源のある地域である。太平山自然公園の南側に広がる太平山南山麓には、一帯に広がる万本桜など豊かな自然や、大中寺、清水寺、東山道などの史跡

や文化財、かかしの里、歴史民俗資料館などの公共施設のほか民間のレジャー施設、約60の観光ぶどう園のある大平ぶどう団地がある。また、ぶどう袋かけ体験など地域の立場から特性を活かすニューツーリズム体験型観光の創出など地域の自発的な取組が行われた。

農林振興担当

1 農業者戸別所得補償制度

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるために、農業者戸別所得補償制度による補償を実施し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米の所得補償交付金

大平地域に提供された平成24年産米に係る需要情報は4,634トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,237人
水稲生産実施計画書提出農業者数 (①)	863人
生産確定数量の計 (①の積算)	4,174,097kg
作付確定面積 (①の積算) (②)	84,333.6 a
主食用等水稲作付面積の計 (①の積算) (③)	78,460.0 a
差引 (②-③)	5,873.6 a
水稲生産確定面積に対する 主食用等水稲作付面積の割合 (③÷②)	93.0%

(2) 水田活用の所得補償交付金

・戦略作物作付面積 (交付対象面積) (単位: ha)

二条大麦	661.1
小麦	10.5
大豆	60.1
そば	0.9
飼料作物	—
新規需要米・加工用米	213.5

(3) 農業再生協議会集落推進員会議

戸別所得補償制度の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会との連携により、集落推進員会議を開催した。

・集落推進員会議の開催状況

開催日	参加者数(人)
5月 1日(火)	40
6月28日(木)	42
3月 7日(木)	42

## 2 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体への指導・育成及び支援を行った。

### (1) 大平町認定農業者連絡協議会補助金

栃木市農業経営基盤強化基本構想に掲げる効率的かつ安定的な農業経営を實踐する認定農業者の育成を図ることを目的として、団体組織に係る運営活動、交流、情報交換活動、経営改善に向けた相互研さん活動に対し助成を行った。

・補助額 32,000円

### (2) 栃木市農村生活研究グループ協議会大平支部

大平町農村生活研究グループ協議会は、平成24年3月に栃木市農村生活研究グループ協議会の設立により大平支部となり、会員相互の親睦協調を図り、グループ活動によって生活の合理化を推進し、お互いの教養を高め合い、農家生活の近代化に役立つことを目的として、農産加工品の講習会やイベントへの出店及び研修会を行った。

## 3 水田経営とちぎモデル条件整備補助金

農地の集約化、米麦作の大規模化及び低コスト化を図り、効率的な農業経営を推進する集落営農組合に対し、機械の共同利用により経費の削減を図ることを目的として、新規に農業機械を購入する経費の一部を助成した。

・事業費 2,700,000円（県補助額 900,000円）

・事業実施主体 北武井集落営農組合

## 4 集落営農の法人化推進

### (1) 栃木市集落営農組織連絡協議会の運営

大平地域内の7つの集落営農組合に都賀地域の升塚集落営農組合を加えた栃木市集落営農組織連絡協議会の事業を通して、集落営農組織の経営の効率化と法人化の推進を図った。

#### ア 集落営農組織法人化についての学習会の開催

・参加者 23人

#### イ 視察研修

・研修先 千葉県八千代市農事組合法人 米本

・参加者 15人

## 5 おおひら産業祭事業

農業・商業・工業・観光業の活性化を図るべく、地元で栽培された農産物及び地元で生産された商品のPR、展示、即売会の実施並びに生産者と消費者の交流及び大平地域における産業の発展に寄与するため、おおひら産業祭を実施した。

- ・主催者 おおひら産業祭実行委員会
- ・共催 大平町商工会・JAしもつけ大平地区営農経済センター  
栃木県信用保証協会
- ・実施日 11月23日（金）午前9時30分～午後3時
- ・会場 大平運動公園
- ・来場者 約9,000人

## 6 栃木市畜産協議会大平支部

会員の相互連携を基調として、継続的・安定的な畜産経営を図るとともに、畜産振興及び家畜防疫事業の実践を図るための事業を実施した。

- ・事業内容 おおひら産業祭での県産豚焼肉等のチャリティー配布

## 7 農産物加工施設の管理運営事業

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民に地元の農業に関心を持っていただくための農産加工所は、主に地元の農産物を使用したみそ加工、ぶどうジャム作り等に利用された。

施設名	利用日数(日)	利用人数(人)
大平農村婦人の家	98	235
大平西部地区農産加工所	143	610

## 8 市単独土地改良事業

農業生産性の維持向上に向けた農業生産基盤の整備に係る取組を支援することにより、農業生産基盤の整備を促進し、農業経営の安定に資するため、農業水利施設の老朽化等による部分的な施設の構造及び排水条件の改良等、簡易な整備を実施する土地改良区等を支援した。

土地改良区等名	工事内容	事業費(円)	補助額(円)
大美間	機械揚水施設更新(牛久地区) φ150mm×11.0kW 水中ポンプ1基	1,030,000	206,000
	機械揚水施設更新(真弓地区) φ150mm×7.5kW 水中ポンプ1基	890,000	178,000
大平西部	基幹用水路改修(富田地区) L=30m	1,200,000	240,000
	機械揚水施設更新(富田地区) φ150mm×15.0kW 水中ポンプ1基 屋内型制御盤1基	1,400,000	280,000

	機械揚水施設更新（富田地区） φ 100mm×5.5kW 水中ポンプ 2基	700,000	140,000
新水利組合	機械揚水施設新設（新地区） GL=29.5m、φ 350mm さく井工事	3,150,000	630,000
	機械揚水施設新設（新地区） GL=29.5m、φ 300mm さく井工事	2,415,000	483,000
	機械揚水施設更新（新地区） φ 150mm×18.5kW 水中ポンプ 1基	1,134,000	226,800

9 農地・水・環境保全向上対策事業（農地・水保全管理事業）

農地や水、環境を良好に保全するための地域ぐるみの共同活動への取組を支援した。※市負担額は、基礎支援の合算額（100円未満切り捨て）の25%

・共同活動支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田 (3,300円/10a)		畑 (2,100円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
西山田自然 環境保全会	H24	H28	5	8,877	2,929,410	7,019	1,473,990	1,100,850
富田七 環境保全会	H24	H28	5	4,537	1,497,210	105	22,050	379,800
お楽の里 下高島	H24	H28	5	7,262	2,396,460	89	18,690	603,775
真弓南 環境保全会	H24	H28	5	6,298	2,078,340	36	7,560	521,475
西水代 環境保全会	H24	H28	5	10,446	3,447,180	197	41,370	872,125
あらい 水と緑の会	H24	H28	5	9,924	3,274,920	62	13,020	821,975
上高島 環境保全会	H24	H28	5	5,138	1,695,540	160	33,600	432,275

10 松くい虫防除委託事業

松くい虫被害対策として、高度公益機能森林及び地区保全森林への被害拡大を防ぐために補助事業を活用し、春には予防事業として地上散布、秋には駆除事業として衛生伐等を実施した。

・事業実績

事業区分	事業量	事業費(円)	備考
地上散布	4.1ha	441,000	県単
	2.0ha	215,250	市単

衛生伐	50 m <sup>3</sup>	1,029,000	被害木の除去 40 m <sup>3</sup> 不用木の除去 10 m <sup>3</sup>
-----	-------------------	-----------	--

#### 11 治山林道事業

林道の維持管理業務として、草刈り業務や舗装の修繕工事等を実施した。

- (1) 林道下皆川線・大中寺下皆川線草刈り業務委託 延長3.2km×幅1.6m
  - ・委託費 375,026円
  - ・請負者 町田造園
- (2) 林道西山田線草刈り業務委託 延長4.0km×幅1.6m
  - ・委託費 449,821円
  - ・請負者 (有)共栄サービス
- (3) 林道修繕工事（舗装修繕等4件） 440,790円

#### 12 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業（とちぎの元気な森づくり県民税事業）に取り組み、荒廃した里山の整備を実施している。

事業概要

- (1) 生活環境保全林維持管理業務委託（下草刈り、除伐等）
  - ・実施箇所 大平町西山田地内（片岡山）
  - ・事業量 11.3ha
  - ・委託費 959,700円
- (2) 将来まで守り育てる里山林管理事業  
NPO法人太平山南山麓友の会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。
  - ・実施箇所 大平町富田・西山田・下皆川地内
  - ・事業量 10.08ha
  - ・補助額 504,000円（1ha当たり50,000円）
- (3) 通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備事業  
NPO法人太平山南山麓友の会及び下皆川育成会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。
  - ・実施箇所 大平町富田・西山田地内（大平西小通学路周辺の山林）
  - ・事業量 2.0ha
  - ・補助額 100,000円（1ha当たり50,000円）

#### 13 重点分野緊急地域雇用創出特別交付金事業 林道・遊歩道維持管理業務委託

国の緊急雇用創出事業の交付金を活用し、林道及び遊歩道の除草、側溝清掃、枝切りなど、維持管理業務を委託した。

- ・委託費 5,501,476円
- ・委託先 NPO法人太平山南山麓友の会
- ・業務内容 林道（①西山田線・②大中寺下皆川線・③下皆川線）約7.2kmや首都圏自然歩道約14.2kmなどの除草、側溝清掃、枝切り等維持管理

14 瀬戸河原用水路下流（幹排 2 号）測量設計業務委託

豪雨時における浸水被害対策の改修を行うため、測量及び設計業務を委託した。

- ・委託費 1,827,000 円
- ・委託先 明和測量(株) 栃木支店
- ・委託箇所 大平町川連・土与地内
- ・業務内容 測量業務…基準点測量、路線測量、用地測量  
設計業務…水路改修設計 L=0.29km

商工観光担当

1 商工業振興

(1) 商工団体の育成及び助成

商工会の諸事業に助成を行った。 (単位：円)

名 称	事業費	補助額	備 考
大平町商工会事業費補助金	52,181,672	8,000,000	経営改善普及事業 地域総合振興事業

(2) 産業振興活動支援

大平地域内の商業・工業・農業及び観光等に関わる機関・団体等が行う産業振興のための意欲的な取組に対して支援を行った。 (単位：円)

名 称	事業費	補助額	備 考
産業振興活動支援事業補助金	111,099	50,000	富田地区中心市街地商業 振興会事業費助成

2 中心市街地活性化

大平地域内（旧大平町）では平成 16 年 3 月に策定した中心市街地活性化基本計画による中心市街地活性化支援として、また、平成 17 年 10 月に策定した大平町 TMO 構想による、「中心市街地の賑わいと活力を創出するためのまちづくり事業」のひとつとして、設置したまちづくり交流センター（通称プラッツおおひら）の管理運営を平成 22 年 4 月から(株)プラッツおおひらに委託し、中心市街地活性化の支援を行っている。

(1) まちづくり交流センター利用者総数

	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
営業日数(日)	313	316	312
利用者数(人)	116,694	92,781	102,398
1 日平均(人)	373	294	328

(2) まちづくり交流センター施設利用状況

		平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
多目的ルーム A	使用時間(時間)	460	321	609
	稼働率 (%)	13.2	9.2	17.7

多目的ルーム B	使用時間(時間)	956	930	685
	稼働率 (%)	27.7	26.8	20.0
遮音スタジオ	使用時間(時間)	2,256	2,195	2,100
	稼働率 (%)	65.5	63.2	61.2
交流サロン	使用時間(時間)	30	739	273
	稼働率 (%)	0.9	21.2	7.9

### 3 工場立地法に基づく届出について

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合を審査・指導した。

- ・届出件数 2件（日立アプライアンス㈱、いすゞ自動車㈱の変更届出）

### 4 みずほ企業団地ふれあい協議会

団地内の各企業と地元の三地区（横堀、下高島、上高島）自治会で、企業団地と地元に関する諸問題を解決するための話し合いを年2回（4月20日(金)、12月7日(金)）開催した。

### 5 観光振興宣伝事業

豊かな自然と歴史のある観光資源を生かすために、観光パンフレット等を制作・配布するとともに、各種観光展等への出展や観光キャンペーンを実施し、さらに、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

#### (1) 観光パンフレット等の制作・配布

太平山&晃石山を歩こう！！（ハイキングマップ）

#### (2) 観光展等への出展

##### ア すみだまつりへの参加

- ・実施日 10月13日（土）～10月14日（日）
- ・場 所 墨田区錦糸町公園

##### イ ぐんまV S とちぎウマイもん合戦への参加

- ・実施日 9月1日（土）～9月2日（日）
- ・場 所 桐生市

##### ウ 食と農ふれあいフェアへの参加

- ・実施日 10月20日（土）～10月21日（日）
- ・場 所 栃木県庁

##### エ 新宿西口「やすらぎの栃木路」フェア 2013 への参加

- ・実施日 9月24日（月）
- ・場 所 新宿駅（東京都新宿区）

##### オ とちぎ食の街道フェア in いわふねへの参加

- ・実施日 10月5日（金）
- ・場 所 とちぎ花センター

### (3) 観光キャンペーン等

#### ア ぶどう狩りキャンペーン

- ・実施日 7月8日（日）
- ・場 所 東武浅草駅・北千住駅

#### イ ぶどう袋かけ収穫体験

- ・実施日 7月7日（土）・9月2日（日）
- ・場 所 かかしの里

#### ウ ぶどうジャムづくり体験

- ・実施日 9月23日（日）・9月29日（土）
- ・場 所 大平西地区農産加工所

## 6 観光行事推進事業

大平地域を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

### (1) なつこい

- ・実施日 7月21日（土）
- ・場 所 大平運動公園さくら球場
- ・主 催 なつこい実行委員会
- ・共 催 栃木市
- ・来場者 約12,000人

### (2) 光と音のページェント

- ・実施期間 12月7日（金）～1月12日（土） 午後5時～午後11時
- ・場 所 新大平下駅東口周辺、プラッツおおひら
- ・主 催 光と音のページェント実行委員会
- ・共 催 栃木市
- ・来場者 約19,000人

## 7 ハイキングコース管理事業

### (1) 首都圏自然歩道管理事業

- ・かかしの里ぶどうの道、桜咲くパノラマの道、稜線をたどる道（延長11.9km）

### (2) 歩道ハイキングコース

- ・清水寺～晃石山、大中寺～太平山（延長1.4km）

## 8 観光施設管理事業

- ・大中寺の森緑地管理
- ・清水寺の森緑地管理
- ・かかしの里緑地管理
- ・かかしの里受付業務等管理
- ・大中寺の森トイレ維持管理
- ・清水寺の森トイレ維持管理
- ・林道下皆川線屋外トイレ維持管理

- ・ 林道下皆川線あずまや維持管理
- ・ 観光案内看板  
（新大平下駅構内、新大平下駅前、大平下駅前、大中寺前）
- ・ 観光施設案内標識  
（国道50号上下線、林道下皆川線始点終点、大中寺の森入口、清水寺の森入口）

## 第6節 都市整備課

### 〔総括概要〕

都市整備課の主な分掌事務は、道路・橋りょう及び河川水路の管理と整備並びに占有許可・工事の承認に関する事務、公共用地の取得・補償及び登記に関する事務等である。

基本理念として、市民が安全で快適な暮らしを送るために必要不可欠な社会資本である道路・河川の効率的な維持管理に努め、生活環境の向上を図っている。

そのうち公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地との境界の確定や、道水路等の占有について指導、監督を行った。

道路管理については、道路等の維持管理に努めるため、直営による早急な対応を実施するほか、常に安全な道路の通行を確保するため、道路維持管理、舗装補修、交通安全施設工事等を大平町全域において実施した。

河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草による維持管理を行った。

また、従来より自治会における道路・水路の清掃などの愛護活動が「クリーン大平」として定着しており、それらを積極的に支援することで、市民とともに維持管理に取り組み、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

道路整備については、地域住民の日常生活の安全性と利便性の向上、また、快適な生活環境の確保に資する生活道路の整備として、大平町下高島地内市道〇553号線をはじめ4か所の道路改良工事を実施した。

また、幹線道路の整備として、広域農道の未開通区間である主要地方道栃木藤岡線と県道蛭沼川連線を結ぶ市道〇157号線について、東武鉄道立体交差工事を含む道路整備を栃木県に工事委託し、平成20年度から平成25年度までを整備計画期間として道路整備を進めている。

### 道路管理担当

#### 1 各種申請・手続関係 (単位:件)

内 容	件 数
道路台帳・証明等閲覧申請	42

#### 2 道路工事関係

##### (1) 道路維持補修工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額 (円)	備 考
箇所名	路線名			
大平地域全域	—	道路維持補修工事	12,218,640	

大平町4地区	○4号線ほか	側溝修繕工事	303,450	
大平町4地区	○89号線ほか	砂利敷工事	641,250	
計			13,163,340	

(2) 舗装補修工事

工事箇所		工事内容			金額(円)	備考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平町土与	○157号線	408.0	8.6~8.8	舗装補修	29,998,500	

(3) 交通安全施設整備工事

工事箇所		工事内容			金額(円)	備考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平地域	○167号線ほか			転落防止柵等	3,805,620	

2 業務委託関係

道路維持補修業務委託

委託名	委託箇所		委託内容	金額(円)
	箇所名	路線名		
道路清掃業務	大平地域全域	—	道路清掃	2,761,500
新大平下駅前ロータリー・駐輪場緑地管理業務	大平町富田	○406号線	緑地管理	877,112
立体交差部植栽管理業務	大平町富田	○345号線	植栽業務	359,953
市道跨線橋除草業務	大平町富田 ほか2地区	○203号線	除草業務	437,535
街路樹管理業務	大平町内	○29号線他	病虫害防除 桜枝切り	1,097,250
計				5,533,350

3 工所用原材料

材料名	単位	数量	金額(円)
常温合材等	袋	190	194,250
側溝蓋等	枚	15	133,875
交通安全施設用資材	本	5	93,500
計			421,625

道路整備担当

1 道路工事関係

(1) 道路改良工事

工事箇所		工事内容			工事金額 (円)	備考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平町下高島	○553	116.1	5.0	-	10,815,000	
大平町西野田	○486	118.6	5.0	,	9,019,500	
大平町西山田	○16	66.2	5.0	-	4,021,500	
大平町西水代	○575	106.9	4.0	-	7,717,500	繰越
計					31,573,500	

(2) 道路排水施設工事

工事箇所		工事内容			工事金額 (円)	備考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平町伯仲	-	65.4	-		7,486,500	

(3) 農道整備工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平町伯仲	市道○306号線	205.0	2.1		1,711,500	
大平町西山田	-	134.5	2.0		630,000	
計					2,341,500	

2 工事委託関係

道路整備事業委託

委託名	委託箇所		委託相手方	委託料(円)	備考
	箇所名	路線名			
工事委託	大平町川連	市道○157号線	栃木県	278,000,000	

3 業務委託関係

道路整備事業業務委託

委託名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	箇所名	路線名			
測量設計	大平町新	市道○527号線	道路設計	5,775,000	
			用地測量	9,345,000	

4 用地取得関係

用地取得箇所		用地 (筆数)	補償 (件)	金額(円)	備考
箇所名	路線名				
大平町下皆川	市道〇1号線	3	1	3,684,109	繰越
大平町下高島	市道〇553号線	-	3	439,081	
大平町西山田	市道〇16号線	2	1	1,085,358	
計				5,208,548	

5 登記関係

内 容	筆 数
分 筆 (代 位)	5
地 積 更 正 (代 位)	3
名義人表示変更・更正 (代 位)	2
相 続 (代 位)	-
所 有 権 移 転	10
計	20

## 第7節 都市建設課

### 〔総括概要〕

都市建設課の主な分掌事務は、住宅建築等の住宅施策や市営住宅等の管理、土地区画整理事業の施行、栃木藤岡バイパス沿線の整備、大平中心市街地の整備、公園の整備及び維持管理に関することである。

住宅施策については、市内への定住希望者の住宅新築等補助や高齢者の安全で安定した居住を確保するため高齢者向け優良賃貸住宅入居者への家賃減額補助を行った。また市営住宅の管理については、小集落改良住宅の管理業務や老朽化した西水代市営住宅の用途廃止に向けて居住世帯の移転交渉を行った。

土地区画整理事業については、市施行によるJR大平下駅前土地区画整理事業、組合施行による栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業とも、道路築造工事などの施設整備を行った。

大平中心市街地の整備については、新大平下駅前地区の活性化を図るべく、当該地区の整備計画策定等業務委託を実施し、市街地整備の実現化へ向けた検討を進めた。

公園の整備及び維持管理については、大平運動公園をはじめとする都市公園など79か所の効率的な管理運営を図るために、施設管理の業務委託や施設の安全対策のために修繕工事などを行い、体力づくりや憩いの場として利用者の利便性を高めた。

また、医療福祉モール整備事業については、介護老人保健施設敷地と賃貸契約をしていた小児科敷地を売却した。

### 都市管理担当

#### 1 住宅施策関係

##### (1) 定住希望者住宅新築等補助制度

補助金名	内 容		金 額 (円)
	住宅取得年	件数(件)	
定住希望者住宅新築等補助金	平成21年	84	6,106,200
	平成22年	61	3,972,400
	(うち合併後)	(22)	(1,482,500)
	平成23年	63	4,474,000
	(うち合併後)	(61)	(4,232,300)
合 計		208	14,552,600
(うち合併後)		(83)	(5,714,800)

(2) 高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助制度

補助金名	対象件数(件)	金額(円)	備考
高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業補助金	73	4,925,000	居室総数 50戸

2 公営住宅管理関係

(1) 市営住宅管理関係

ア 住宅管理戸数

団地名	種別構造	簡易耐火構造平屋建
西水代市営住宅		2棟 10戸
退去戸数		2戸
在居戸数		無

(2) 小集落改良住宅管理関係

ア 住宅管理戸数

団地名	種別構造	簡易耐火構造2階建
栃木市小集落改良住宅		8棟 16戸
在居戸数		16戸

イ 維持補修

工事箇所	内容	金額(円)
榎本地内小集落改良住宅	床補修、陸屋根防水等工事	206,850
富田地内小集落改良住宅	漏水修理	8,400
合 計		215,250

都市建設担当

1 土地区画整理事業

(1) J R大平下駅前土地区画整理事業

ア 事業概要

- (ア) 面積 約12.4ha
- (イ) 地権者数 99人
- (ウ) 施行期間 平成17年度～平成26年度
- (エ) 総事業費 672,700千円
- (オ) 平成24年度事業費 87,225,408円

イ 事業経過

- (ア) 土地区画整理審議会 1回
- (イ) 土地区画整理審議会委員選挙人名簿の縦覧 (12月7日～12月20日)
- (ウ) 土地区画整理審議会委員選挙 (1月27日)
- (エ) 役員会 1回

(カ) 土地区画整理法第76条申請件数 5件

(カ) 仮換地証明願件数 16件

ウ 実施工事

工事名	内 容	金 額 (円)
区画道路築造工事	2 件	8,799,000
区画道路舗装工事	2 件	14,496,300
歩道整備工事	1 件	3,675,000
乗入部改修工事	2 件	2,063,250
交通標識設置工事	1 件	1,260,000
2号調整池整備工事	A = 700m <sup>2</sup>	21,840,000
その他工事	3 件	849,450
合 計		52,983,000

エ 業務委託

業務名	内 容	金 額 (円)
事業計画書(変更)作成業務委託	1 式	1,428,000
換地計画作成業務委託	1 式	7,644,000
出来形確認測量業務委託	1 式	8,137,500
物件調査業務委託	1 式	441,000
草刈業務委託	2 件	593,145
合 計		18,243,645

オ 補償費・負担金

項 目	内 容	金 額 (円)
物件移転費	工作物6件	12,856,453
電柱等移設費	東京電力	1,878,310
上水道負担金	1 式	1,200,000
合 計		15,934,763

(2) 栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業(組合施行)

ア 事業概要

(ア) 面 積 約29.8ha

(イ) 組合員数 70人(理事長 阿部 秀夫)

(ウ) 施行期間 平成19年度～平成27年度

(エ) 総事業費 1,171,000千円

(オ) 平成24年度事業費 136,852,754円(市補助金75,000千円)

イ 事業経過

(ア) 総会 2回

(イ) 役員会 3回

(ウ) 事業計画変更縦覧(第2回変更) (9月27日～10月10日)

(エ) 事業計画変更認可(第2回変更) (11月7日)

(オ) 事業計画変更認可公告(第2回変更) (11月16日)

- (カ) 用途地域及び地区計画変更の説明会 1回
- (キ) 用途地域及び地区計画変更の手続縦覧 (10月22日～11月5日)
- (ク) 用途地域及び地区計画変更案の縦覧 (1月8日～1月22日)
- (ケ) 栃木市都市計画審議会に諮問 (2月13日)
- (コ) 用途地域及び地区計画変更の告示 (3月8日)
- (ク) 土地区画整理法第76条申請件数 7件
- (シ) 仮換地証明願件数 16件

ウ 実施工事（組合発注）

工 事 名	内 容	金 額（円）
区画道路築造工事	L = 108.6m	8,778,000
街区整地工事	2 件	7,192,500
1号調整池浚渫等工事	4 件	3,749,146
その他工事	6 件	4,352,460
合 計		24,072,106

エ 業務委託（組合発注）

業 務 名	内 容	金 額（円）
出来形確認測量業務委託	1 式	11,235,000
事業計画書（変更）作成業務委託	1 式	462,000
区画道路実施設計業務委託	1 式	315,000
土壌状況調査業務委託	1 式	525,000
草刈等管理業務委託	4 件	2,202,930
その他業務委託	3 件	2,957,850
合 計		17,697,780

オ 補償費・負担金（組合発注）

項 目	内 容	金 額（円）
電柱等移設費	N T T、東京電力	952,370
上水道負担金	1 式	458,500
合 計		1,410,870

(3) 新大平下駅前地区土地区画整理事業

ア 事業経過

- (ア) まちづくり推進協議会役員会 3回
- (イ) まちづくり通信発行 1回

イ 業務委託

業 務 名	内 容	金 額（円）
整備計画作成業務委託	1 式	2,205,000
その他業務委託	2 件	787,500
合 計		2,992,500

## 2 公園整備事業

### (1) 都市公園等整備事業

#### ア 実施工事

工 事 名	内 容	金 額 (円)
新公園整備工事	A = 3,900㎡	28,108,500

## 3 都市公園等管理事業

### (1) 管理業務実施公園（自治会への管理委託箇所含む）

公園種別	箇所数	面積(㎡)	備 考
運動公園	1	182,000	大平運動公園
近隣公園	1	8,100	中央公園
街区公園	23	46,321	熊野公園 ほか
ミニ公園	54	18,317	西山田白岩公園 ほか
合 計	79	254,738	

### (2) 施設の維持管理業務

#### ア 実施工事

工 事 名	内 容	金 額 (円)
大平運動公園テニスコート人工芝補修工事	1, 3, 5, 6 コート	698,250
大平運動公園多目的広場南トイレ屋根修繕工事	1 式	210,588
大平運動公園さくら球場グラウンド補修工事	1 式	619,500
大平運動公園南出入口看板等移設工事	1 式	577,500
大平運動公園多目的広場南トイレ及び南駐車場電気設備絶縁不良改修工事	1 式	84,000
伯仲公園外灯設置工事	1 式	262,500
上町公園フェンス等改修工事	1 式	598,500
昭和第1公園外灯修繕工事	1 式	98,700
合 計		3,149,538

#### イ 維持補修

補 修 名	内 容	金 額 (円)
大平運動公園さくら球場スコアボード修繕	1 式	98,112
大平運動公園北駐車場区画線補修（一部）	1 式	105,000
大平運動公園内あずまやスロープ改修	1 式	278,643
榎本荒町公園、磯山公園、西野田南台第1公園遊具修繕	1 式	345,450
磯山桜つつみふれあい公園擬石水飲器取替	1 式	360,000
合 計		1,187,205

## (3) 業務委託

業 務 名	内 容	金 額 (円)
樹木等管理業務委託 (除草、樹木剪定、 病虫害防除等)	大平運動公園 (11 件)	6,335,422
樹木等管理業務委託 (除草、樹木剪定、 病虫害防除等)	近隣公園・・・中央公園 街区公園・・・熊野公園ほか 22 公園 ミニ公園・・・西山田白岩公園ほか 53 公園 (78 公園 21 件)	6,072,034
管理棟管理業務委託	大平運動公園 (1 件)	2,843,280
トイレ清掃業務委託	大平運動公園 (2 件)	785,305
トイレ・あずまや清掃 業務委託	磯山桜つつみふれあい公園、熊野公 園、みずほ公園、下皆川公園 (4 公園 4 件)	543,179
夜間警備業務委託	大平運動公園 (1 件)	894,600
自家用電気工作物 保安管理業務委託	大平運動公園 (1 件)	257,292
設備点検業務委託 (噴水、噴水照明)	大平運動公園 (2 件)	598,500
防火対象物管理業務委託	大平運動公園 (1 件)	35,700
合 計		18,365,312

## 4 医療福祉モール整備事業

## (1) 財産の処分

区 分	件 数	面積 (㎡)	金 額 (円)
介護老人保健施設敷地	1 件	3397.57	91,734,390
小児科敷地	1 件	1081.59	29,202,930
合 計			120,937,320

## (2) 事業用地管理業務

業 務 名	内 容	金 額 (円)
樹木管理除草等業務委託	除草、薬剤散布等、 樹木剪定 (2 件)	450,555

## 第 1 0 章 藤岡総合支所

### 第 1 節 地域まちづくり課

#### 〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会、広報広聴事業、地域内施策・調整、市民活動支援、自治会関係、文書管理、消防防災関係、自衛官募集、庁舎・公用車・庁用事務用品・OA機器の管理、普通財産の維持管理と貸付、入札関係、藤岡遊水池会館管理などである。

地域協議会については、12回地域協議会を開催し、9月に市長へ意見書を提出した。また、まちづくりを推進するための調査研究等を行うことを目的に藤岡町地域協議会研究会を発足した。

広聴業務では、市政に対する市民の声を行政に反映するため、直接対話によるまちづくり懇談会ふれあいトークを4回実施した。

地域内施策・調整としては、まちづくり事業と地域情報の発信を核とした地域振興を図った。また、ラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地にて、栃木市渡良瀬遊水地フェスティバル2012を開催した。

自治会については、藤岡町自治会連合会の事務局として各種事業の支援を行った。

消防防災関係では、市民の防災意識向上と関係機関相互の連携や市職員と消防団員の災害応急対策の迅速化を目的とした1市1町（栃木市・野木町）水防演習、栃木市藤岡地域防災訓練を実施した。

庁舎・公用車・庁用事務用品・OA機器の管理では、藤岡総合支所内での維持・集中管理に努め、藤岡遊水池会館の貸付・貸館管理も行った。

入札及び契約事務では、藤岡総合支所内の予定価格 3,000 万円未満の建設工事等の案件について入札を執行した。

普通財産の維持管理では、財産の貸付を行った。

地域自治担当

1 地域協議会関係

地域自治区制度導入に伴い設置された藤岡町地域協議会は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1) 委員（任期 平成22年7月26日から平成25年3月31日まで）

区 分	No.	氏 名	備 考
1号委員	1	石田 秀行	藤岡町自治会連合会
	2	小曾根 慎一	藤岡町まちづくり委員会
	3	柿沼 泰雄 (平成24年5月24日 退任)	下野農業協同組合
		五十畑 庄司 (平成24年6月26日 委嘱)	
	4	繁岡 哲哉	栃木市社会福祉協議会
	5	清水 圭瑞	栃木市PTA連合会
	6	田中 久己	藤岡町商工会
	7	田中 博	栃木市藤岡地区体育協会
	8	林 喜代子 (平成24年5月16日 退任)	藤岡女性団体連絡協議会
田村 孝子 (平成24年6月26日 委嘱)			
9	藤井 剛 (平成24年4月27日 退任)	藤岡町子ども会育成会連絡協議会	
	永島 安紀 (平成24年5月22日 委嘱)		
2号委員	10	荒川 節子	学識経験を有する者
	11	神原 良明	
	12	上岡 秋夫	
3号委員	13	亀田 諭	公募に応じた者
	14	酒井 一則	
	15	山土家 光幸	

(2) 開催内容

回数	開催日時、場所	内 容
第1回	4月24日(火) 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	報告事項等 ・藤岡地域主要事務事業について ・広報とちぎ紙面検討委員会 <sup>の</sup> 出席報告

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市上下水道事業調査委員会委員の推薦について</li> </ul>
第2回	5月22日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料の改定について</li> <li>・栃木市道路整備基本計画（素案）について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市地域自治制度検討委員会について</li> <li>・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画の策定について</li> <li>・栃木市建築物耐震改修促進計画の策定について</li> <li>・栃木市図書館基本計画の策定について</li> <li>・栃木市図書館の開館時間・休館日の変更の試行について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会委員の推薦について</li> <li>・栃木市教育計画検討委員会委員の推薦について</li> </ul>
第3回	6月26日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市総合計画基本構想（素案）について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報とちぎの見直しについて</li> <li>・栃木市都市計画マスタープランの策定について</li> <li>・栃木市景観計画の策定について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会委員の推薦について</li> <li>・藤岡町地域協議会研究会部会（総務班）の経過報告</li> </ul>
第4回	7月24日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市都市交通マスタープランの策定について</li> <li>・栃木市道路整備基本計画（素案）についての意見に対する回答について</li> <li>・ふれあいバス（コミュニティバス）の利用実績及び部屋線の試行運行内容の見直しについて</li> <li>・第4回栃木市総合計画策定懇談会の出席報告</li> <li>・第1回栃木市上下水道事業調査委員会の出席報告</li> <li>・第1回栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会の出席報告</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤岡町地域協議会研究会部会の経過報告</li> </ul>
第5回	8月28日（火）	報告事項

	午後 1 時 30 分～ 藤岡総合支所議会棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市役所新庁舎の整備について</li> <li>・ 栃木市橋梁長寿命化修繕計画の策定について</li> <li>・ 小中学校施設の耐震化について</li> <li>・ 使用料の改定についての意見に対する回答について</li> <li>・ 第 2 回栃木市環境基本計画策定委員会の出席報告</li> <li>・ 第 1 回～第 3 回栃木市教育計画検討委員会の出席報告</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とちぎ市民活動推進センターくららについて</li> <li>・ 藤岡町地域協議会研究会部会の経過報告</li> <li>・ 意見書の提出について</li> </ul>
第6回	9 月 25 日（火） 午後 1 時 30 分～ 藤岡総合支所議会棟	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市総合計画基本構想（素案）・基本計画（骨子案）について</li> <li>・ 栃木市ブランド推進事業について</li> <li>・ 栃木市図書館計画（案）について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市斎場再整備事業について</li> <li>・ 栃木市文化振興基本計画の策定について</li> <li>・ 第 3 回栃木市環境基本計画策定委員会の出席報告</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市斎場再整備検討委員会委員の推薦について</li> </ul>
第7回	10 月 23 日（火） 午後 1 時 30 分～ 藤岡総合支所議会棟	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市地域防災計画・水防計画・国民保護計画の策定について</li> <li>・ 第 2 回栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会の出席報告</li> <li>・ 第 1 回栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会の出席報告</li> <li>・ 第 5 回栃木市総合計画策定懇談会の出席報告</li> <li>・ 第 4 回栃木市環境基本計画策定委員会の出席報告</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者制度の候補者について</li> </ul>
第8回	11 月 27 日（火） 午後 1 時 30 分～ 藤岡総合支所議会棟	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の制定について</li> <li>・ 栃木市教育計画（案）について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市総合計画基本構想（素案）・基本計画（骨子案）についての意見に対する回答について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見書に対する回答について</li> <li>・第4回栃木市教育計画検討委員会の出席報告</li> <li>・第2回栃木市上下水道事業調査委員会の出席報告</li> <li>・第5回、第6回栃木市環境基本計画策定委員会の出席報告</li> <li>・第6回栃木市総合計画策定懇談会の出席報告</li> <li>・第3回栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会の出席報告</li> <li>・第1回栃木市斎場再整備検討委員会の出席報告</li> </ul>
第9回	12月25日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市保育所整備基本計画（案）について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録後の庁内関係部署の取り組みについて</li> <li>・第2回栃木市斎場再整備検討委員会及び先進地視察の出席報告</li> <li>・第2回栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会の出席報告</li> <li>・第4回栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会の出席報告</li> </ul>
第10回	1月22日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市地域防災計画・水防計画・国民保護計画について</li> <li>・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画の素案策定について</li> <li>・栃木市環境基本計画（案）について</li> <li>・組織機構の見直しについて</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料の改定について</li> <li>・栃木市図書館計画（案）の意見に対する回答について</li> <li>・第3回栃木市斎場再整備検討委員会の出席報告</li> <li>・第5回栃木市教育計画検討委員会の出席報告</li> </ul>
第11回	2月26日（火） 午後3時30分～ 藤岡総合支所議会棟	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいバス（コミュニティバス）の利用実績及び藤岡線の試行運行内容の見直しについて</li> <li>・栃木市斎場再整備基本構想（案）について</li> <li>・第3回栃木市上下水道事業調査委員会の出席報告</li> <li>・第4回栃木市斎場再整備検討委員会の出席報告</li> <li>・第3回栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会の出席報告</li> </ul>
第12回	3月26日（火）	意見聴取事項

午後 1 時 30 分～ 藤岡総合支所議会棟		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者制度の導入について</li> <li>・ 栃木市都市交通マスタープラン(案)について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤岡町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答書について</li> <li>・ 平成 23 年度に地域協議会等から提出された意見に対する市の対応状況について</li> <li>・ 事務一元化の状況について</li> <li>・ 合併時に「合併後再編」としている事務事業の調整状況について</li> <li>・ 地域協議会へ意見を聴く事務事業（A ランク）について</li> <li>・ 第 5 回栃木市斎場再整備検討委員会の出席報告</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤岡町地域協議会平成 25 年度開催予定について</li> </ul>
---------------------------	--	---

(3) 意見書の提出

藤岡町地域協議会は、藤岡町地域協議会研究会内に、教育厚生班、建設経済班、総務班を設置し、住みやすい藤岡地域を目指し、渡良瀬遊水地の利活用や、藤岡地域内の施設や道路等について現在の実情を調査、研究したものを、大きく2つのテーマに絞り4項目に意見をまとめ、9月1日(土)に市長へ意見書を提出した。

ア 渡良瀬遊水地エリアの活性化について

- (ア) 既存施設の再整備と管理体制
- (イ) 来訪者向けの受け入れ環境の整備

イ 道路環境の改善について

- (ア) 道路舗装率の向上
- (イ) 通学路整備

(4) 藤岡町地域協議会だよりの発行

地域協議会研究会に設置した広報委員会では、地域協議会の活動状況等を藤岡地域の市民にお知らせするため「藤岡町地域協議会だより」を発行した。

- ・ 発行号数 第12号(5月)・第13号(7月)・第14号(9月)・第15号(11月)・第16号(1月)・第17号(3月)
- ・ 体裁 A3版 フルカラー印刷
- ・ 発行部数 各5,000部

2 広聴関係

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市政に対する市民の声を行政に反映するため、直接対話によるまちづくり懇談会を実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前 質問数	フリー トーク数	自治 会数	参加 者数

1	10月15日(月)	部屋地区公民館	部屋、新波、石川、 帯刀、緑川、西前 原、蛭沼、富吉、 中根の各自治会	2	7	28	21
2	10月17日(水)	藤岡遊水池会館	藤岡、内野、下宮の 各自治会	2	7	29	16
3	10月22日(月)	赤麻地区公民館	赤麻、大前の各自治 会	3	10	31	30
4	10月25日(木)	三鴨地区公民館	甲、都賀、大田和、 太田の各自治会	3	4	16	33
合 計				10	28	104	100
				38			

(2) 投書箱

藤岡総合支所玄関に「みんなの声」投書箱を設置し、投書受付を実施した。

- ・投書件数 一 件

3 まちづくり関係

(1) まちづくり事業

地域のまちづくり団体の活動に対して運営・育成等の支援を行い、地域に眠っている観光等の資源の掘り起こしを行った。

- ・各種団体支援 会議(4回)

(2) 栃木市渡良瀬遊水地フェスティバル開催事業

渡良瀬遊水地で行われた全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)主催のタイムトライアルチャンピオンシップに併せ、渡良瀬遊水地及び周辺で楽しまれているレジャースポーツを提供し、渡良瀬遊水地を積極的にPRするとともに、栃木市内各地域のPRを行うため、栃木市渡良瀬遊水地フェスティバル2012を開催した。

- ・実施日 9月2日(日)
- ・場 所 谷中湖北ブロック
- ・参加者数 約21,000人

4 地域情報の発信

藤岡スポーツふれあいセンターの2階に地域情報コーナー「とんがり I N F O」を設置し、地域の情報を住民と来訪者向けに発信した。

また、藤岡教育支所と連携し、藤岡スポーツふれあいセンターにて、スカイスポーツ(気球、スカイダイビング)、ウォータースポーツ(カヌー)、自転車、乗馬など、渡良瀬遊水地で楽しめるレジャースポーツ関連のグッズや資料の展示、情報提供、写真の掲示を行った。

5 市民活動支援事業

藤岡地域にNPO法人は現在4法人あり、年度毎の届出や変更届出等の書類補正等事務処理・助言等の支援を行った。

## 6 総合支所会議

総合支所次長が主宰し、藤岡地域の業務の調整・連絡を行った。

- ・開催回数 16回（うち臨時会議4回）
- ・内 容 審議事項 14件  
報告事項 10件  
連絡事項 12件

## 7 自治会関係

自治会相互の円満な運営と、住みよい環境づくり、住民の福祉の増進に寄与することを目的とした藤岡町自治会連合会の各種活動を支援した。

### (1) 自治会活動の推進

#### ア 単位自治会の把握

##### (ア) 自治会役員名簿

次年度役員名簿（自治会長、農政協力員、クリーン推進員）の取りまとめ

- ・受付期間 2月～3月
- ・対象自治会 104自治会

##### (イ) 班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

- ・受付期間 2月～3月
- ・対象自治会 104自治会

### (2) 藤岡町自治会連合会（事務局）

#### ア 組織構成

##### (ア) 組織

- ・地区連合会（部屋地区・藤岡地区・赤麻地区・三鴨地区）
- ・単位自治会 104自治会

##### (イ) 役員

- ・会長1人、副会長3人、理事4人、会計2人、監事2人

#### イ 会議

開催日	名称	内容
5月22日(火)	藤岡町自治会連合会総会	平成23年度事業報告について 平成23年度収支決算について 平成24年度事業計画(案)について 平成24年度収支予算(案)について 平成24年度役員選出について
7月2日(月)	第1回藤岡町自治会連合会正副会長会議	茨城県及び栃木県竜巻災害義援金の取組について

		新自治会連合組織の会費について 藤岡町自治会連合会運営推進費及び負担金について 第26回藤岡ふくしま祭り開催にともなう実行委員の選出及び事業種目の確認・提案について
9月24日(月)	第1回藤岡町自治会連合会役員会	藤岡ふくしま祭りについて まちづくり懇談会ふれあいトークについて 新自治会連合組織の会費について 平成24年度事業計画について
1月23日(水)	第2回藤岡町自治会連合会正副会長会議	(仮称)藤岡子どもネットワーク設立準備会委員の推薦について 新自治会連合組織の会費について 平成24年度事業計画について
3月1日(金)	藤岡町自治会連合会臨時総会	藤岡町自治会連合会規約の一部改正について
3月1日(金)	第2回藤岡町自治会連合会役員会	(仮称)藤岡子どもネットワーク設立準備会委員の推薦について 新自治会連合組織の会費について 平成24年度事業計画について

ウ 主な事業

実施日	内 容	場 所
10月21日(日)	第26回藤岡ふくしま祭り協力	藤岡公民館ほか

総務担当

1 文書管理関係

適正な文書管理のため、移し換え、廃棄作業を行った。

- ・作業期間 6月18日(月)～22日(金)

2 文書発送関係

郵便物の発送、收受業務、本庁支所間の書類の送達を行った。

3 消防関係

(1) 配置人員

藤岡方面隊

( )内の数字は内数単位：人

分団別	階級	正副 団長	方面 隊長	方 面 副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計(人)

本部	定員	1	(1)	2	—	—	—	—	—	3
	実員	1	(1)	2	—	—	—	—	—	3
第1分団	定員	—	—	—	1	1	2	2	30	36
	実員	—	—	—	1	1	2	2	30	36
第2分団	定員	—	—	—	1	1	2	2	30	36
	実員	—	—	—	1	1	2	2	30	36
第3分団	定員	—	—	—	1	1	2	2	30	36
	実員	—	—	—	1	1	2	2	30	36
第4分団	定員	—	—	—	1	1	2	2	30	36
	実員	—	—	—	1	1	2	2	30	36
合計	定員	1	(1)	2	4	4	8	8	120	147
	実員	1	(1)	2	4	4	8	8	120	147

(2) 消防車等の態勢

藤岡方面隊

区分 分団・部		種別	車名	年式	備考
方面隊本部		指揮連絡車	トヨタ	平成10年	
第1分団	第1部	普通ポンプ車	いすゞ	平成18年	水槽600ℓ
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成8年	
		積載車	ニッサン	平成8年	
第2分団	第1部	普通ポンプ車	いすゞ	平成9年	
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成14年	
		積載車	いすゞ	平成14年	
第3分団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成19年	水槽600ℓ
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成12年	
		積載車	いすゞ	平成12年	
第4分団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成15年	水槽600ℓ
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成13年	
		積載車	いすゞ	平成13年	

(3) 藤岡方面隊の活動状況

ア 夏季点検の実施

消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。

・実施日 6月24日（日）

・会場 藤岡総合体育館駐車場

イ 操法大会の実施

消防団員の消防技術の向上を図ることを目的とし、操法大会を実施した。

- ・実施日 9月2日(日)
- ・会場 藤岡総合体育館駐車場

(4) 藤岡方面隊正副分団長会議

開催日	場所
4月21日(土)	藤岡地区公民館
6月1日(金)	藤岡総合支所 議会棟
7月20日(金)	藤岡総合支所 別館
10月5日(金)	藤岡総合支所 別館
2月1日(金)	藤岡公民館
3月13日(水)	藤岡総合支所 議会棟

4 防災関係

(1) 水防演習の実施

出水期に市民の防災意識向上と水防団(消防団)の士気高揚、水害時の作業効率向上と水防体制の整備を目的に野木町と合同で水防訓練を実施した。

- ・実施日 6月24日(日)
- ・会場 野木町大字友沼 下影地先堤防
- ・参加団体 国土交通省、栃木県、市消防署、小山市消防署、市消防団、野木町消防団
- ・参加者数 260人

(2) 防災訓練の実施

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化並びに職員の災害応急対策の迅速化を図ることを目的とし、防災訓練を実施した。

- ・実施日 2月23日(土)
- ・会場 部屋保育園
- ・参加団体 西前原自治会、蛭沼西南自治会、蛭沼北仲自治会、蛭沼三横自治会、蛭沼両原自治会  
市消防団藤岡方面隊、交通指導員会藤岡支部、藤岡地区民生委員児童委員協議会、日本赤十字社栃木市地区藤岡奉仕団、栃木警察署、市消防本部通信指令課、市消防署藤岡分署
- ・参加人数 300人

(3) 防災備蓄倉庫一覧

設置	位置
部屋地区公民館内	藤岡町部屋158
藤岡公民館内	藤岡町藤岡810
赤麻地区公民館内	藤岡町赤麻1737
三鴨地区公民館内	藤岡町甲436-2

藤岡第一中学校内	藤岡町藤岡10
----------	---------

(4) 主な各種災害時用備蓄品等内訳

項 目	数 量
非常食	10,680食
非常用飲料水	6,720本
毛 布	1,130枚

5 自衛官募集事務

(1) 自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

(2) 自衛隊父兄会

栃木市自衛隊父兄会藤岡分会の事務局として、父兄会活動を支援した。

理財担当

1 支所庁舎内の業務委託

業 務 名	委託金額 (円)
支所庁舎警備業務委託	756,000
支所庁舎庁内電話交換設備保守委託	289,800
電気受電設備保守管理業務委託	213,192
その他業務委託件数 7件	1,710,970

2 支所庁舎内の修繕工事等

工 事 名	工事金額 (円)
支所別館北面サッシ廻りコーキング打ち替え工事	265,000
支所別館空調機修繕工事	138,600
その他修繕工事件数 9件	693,787

3 共用車管理状況

区 分	数 量 (台)
普通乗合 (中型バス39人)	1
小型乗用	5
小型貨物	11
軽貨物	4

4 藤岡遊水池会館に関する事務

藤岡遊水池会館は、昭和59年3月に渡良瀬遊水地の隣接地に建築された市民の集会

施設である。事務所の一部は財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に貸付を行っている。

(1) 施設管理

施設管理については、建物及び駐車場、施設内設備・物品の維持管理並びに事務用消耗品の管理を行った。駐車場及び周辺の除草・清掃については主に職員が行った。

(2) 施設の貸館状況

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
271	9,349	24,560

5 契約件数

原則として、藤岡総合支所発注の130万円以上の建設工事、50万円以上の工事関連業務委託及び総額80万円以上の建設資材・物品の購入について、予定価格3,000万円未満の案件の入札を執行した。

入札執行件数

(単位：件)

入札内容	一般競争入札	指名競争入札	計
建設工事	16	13	29
工事関連業務委託	-	22	22
物品購入(建設資材含む)	-	2	2
印刷物	-	-	0
計	16	37	53

6 見積合せ件数

3万円以上50万円未満の印刷物の見積合わせを執行した。

- ・件数 15件

7 建設工事等請負業者指名選考委員会

条件付き一般競争入札により施行する予定価格1,000万円以上の建設工事の入札参加資格要件の設定、予定価格3,000万円未満の建設工事及び工事関連業務委託の指名業者選考について審議した。

- ・開催回数 10回
- ・審議件数 53件

8 入札・契約制度の適切な運用

市の入札制度の適切な運用に務めると共に、地域に配慮した制度運用を図り、入札問題等の発生防止に努めた。

9 O A機器等の管理

藤岡総合支所内における事務用O A機器等の委託契約及び維持管理を行った。

- ・コピー機 3台

・印刷機 1台

10 パソコンの整備状況

区 分	課 名	パソコン台数(台)
区長 支所次長		2
藤岡総合支所	地域まちづくり課	18
	税務課	13
	生活環境課	14
	健康福祉課	39
	産業振興課	13
	都市建設課	10
藤岡教育支所		31
計		140

11 電算処理業務の委託契約

名 称	業 務 名
三協コンピュータ(株)	インターネットサーバに係る保守
(株)TKC	オフィス機器TASK保守

12 普通財産の管理等に関する事務

(1) 普通財産の維持管理

普通財産の除草等については主に職員が行ったが、旧荒立土地区画整理組合用地など面積の広い土地に関しては、シルバー人材センターに委託して実施した。

(2) 普通財産の貸付

所 在	件数(契約者数)	面 積 (㎡)	収入金額 (円)
市有地 (藤岡地域)	11	3,737.40	247,058

## 第2節 税務課

### 〔総括概要〕

我が国の経済は、東日本大震災からの復興需要等が一部に見えたものの、世界経済の減速、領土問題や円高による輸出減等の影響により、景気は弱い動きとなっていた。しかし、年が明けてからは、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大を目指す日本経済再生に向けた緊急経済対策が実施され、株価の上昇や円高の是正等景気回復に明るい兆しが見え始めているが、まだ確かな動きとは感じられず不透明な状況にある。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあるが、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。

また、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を図り、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導を実施した。

また、保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

資産税関係では、税務通知書等に基づく現地調査を通して、新增築・滅失家屋や土地利用の現況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等の申告指導を実施した。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通じての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取り組みとして、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室と協働での滞納整理や差押処分を行うなど、税収確保へ向けた取り組みを展開した。

市民税担当

1 諸証明等の交付（藤岡地域分）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	3,211	719	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税、所得及びその他の証明 1件につき200円</li> <li>・土地及び建物の評価証明 1件につき200円</li> <li>ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。</li> <li>・住宅用家屋証明 1件につき1,300円</li> </ul>
公簿閲覧	104	11	
計	3,315	730	

2 市民税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の業務については、本庁市民税課に一括して掲載。

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

収税担当

1 差押（参加差押含む）（上段：市全体／下段：藤岡地域）（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年度末
不 動 産	160	2	5	157
	2	-	-	2
自 動 車	5	5	2	8
	1	-	-	1
電話加入権	7	-	-	7
	-	-	-	-
債権その他	120	402	311	211
	15	17	23	9
計	292	409	318	383
	18	17	23	12

（地方税法第48条による県からの引継ぎ件数も含む）

2 交付要求（上段：市全体／下段：藤岡地域）（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
124	96	133	87
8	20	14	14

3 催告書発送及び納付状況（上段：市全体／下段：藤岡地域）

月 日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月13日（金）	1,731	1,270	24,372,308
	232	-	-
6月22日（金）	4,946	1,593	23,667,546
	484	-	-
10月26日（金）	4,047	1,445	28,770,803
	425	-	-
1月25日（金）	2,345	1,535	28,610,590
	310	-	-
計	13,069	5,843	105,421,247
	1,451	-	-

4 休日納税相談窓口（上段：市全体／下段：藤岡地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 期 間	納付件数（件）	納 付 額（円）
第1回	4月21日（土）	36	945,500
		2	35,200
第2回	7月1日（日）	32	1,097,530
		1	124,700
第3回	11月4日（日）	28	1,202,400
		-	-
第4回	2月3日（日）	90	2,197,000
		23	268,700
計		186	5,442,430
		26	428,600

5 市税等収納員による徴収事業（上段：市全体／下段：藤岡地域）

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員1名による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数（件）	徴収金額（円）	口座振替（件）	納付指導（件）
7,484	213,277,172	53	3,832

413	11,269,040	-	401
-----	------------	---	-----

6 市税等徴収強化事業（上段：市全体／下段：藤岡地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員及び関係課職員による特別巡回徴収を実施した。

実施期間	12月7日（金）～12月21日（金）
訪問人数（人）	1,566
	207
徴収件数（件）	126
	21
徴収金額（円）	3,061,770
	1,101,400

### 第3節 生活環境課

#### 〔総括概要〕

戸籍、住民基本台帳関係業務として、出生、婚姻など戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。また、一般旅券の発給申請及び交付事務を行った。

(部屋出張所を除く)

部屋出張所においては、上記のほか、公民館使用申請や学校開放施設利用申請の受付、税関係証明発行、収税等も行った。

国民健康保険事業においては、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック(一般・脳)検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業においては、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業においては、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、重度心身障がい者、こども(中学校3年生まで)、妊産婦及びひとり親家庭に対して医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図るために、保険適用外治療費の一部を助成した。

国民年金事業においては、法定受託事務として各種届出の受理及び進達等を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

環境保全業務においては、一般廃棄物最終処分場の水質調査、市営墓地の適切な管理を実施したほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集業務の円滑な推進、不法投棄の監視を行い、環境美化の向上を図った。

交通防犯事業では、交通安全運動や交通安全教室の実施並びに防犯灯の設置などの防犯活動を実施した。

市民相談事業においては、本庁市民生活課や市消費生活センターと連携し、市民が相談をする際の利便性の向上を図った。

住民担当

1 戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数 464件（出生90件、婚姻38件、死亡252件等）

2 窓口事務

(1) 窓口届出処理件数

処 理 事 項		件 数	処 理 事 項	件 数
戸籍届		464	死体埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	246
住民異動届		2,630		
計		3,094	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	1
印鑑	登 録	547		
	廃 止	555	死産届	1
計		1,102	計	248
			合 計	4,444

(2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件数(件)	金額(円)	種 別		件数(件)	金額(円)
戸 籍	全部事項証明	2,193	986,850	住 民 票	世帯全員	1,921	384,200
	個人事項証明	659	296,550		個 人	3,951	790,200
	除籍謄本	1,671	1,253,250		証 明	143	28,600
	除籍抄本	11	8,250		閱 覧	—	—
	戸籍証明	1	350		年金現況証明	—	—
	受理証明	38	13,300		戸籍の附票	227	45,400
	廃棄証明	—	—		公 用	91	-
	出産証明	—	—		広 域	2	400
	不受理証明	—	—		住基カード(有料)	7	3,500
	公 用	256	—		住基カード(無料)	9	—
	計	4,829	2,558,550		計	6,351	1,252,300
証 明 書	印鑑証明	5,560	1,112,000	そ の 他	印鑑登録	547	109,400
	諸証明	58	11,600		印鑑登録廃止	555	—
	身分証明	197	39,400		臨時運行許可証	212	159,000
	住居表示証明	—	—		労基証明	—	—
	公 用	22	—		人口統計	—	—
	選挙証明	—	—		公的個人認証	11	5,500
	計	5,837	1,163,000		計	1,325	273,900
合 計				18,342 件		5,247,750 円	

## (3) 斎場及び霊きゅう車等使用許可件数

## ア 佐野斎場

種 類	区 分		件 数(件)		金 額(円)
斎 場	組織市町 住民	12歳以上	245	246	—
		12歳未満	—		
		死産児	1		
		身体の一部	—		
		改葬遺体	—		
		包衣汚物	—		
	組織市町 住民以外	12歳以上	1	1	20,000
		12歳未満	—		
		死産児	—		
		身体の一部	—		
		改葬遺体	—		
		包衣汚物	—		
計			247	20,000	
霊きゅう車	往 路	組織市町住民	240	600,000	
		組織市町住民以外	—	—	
	復 路	組織市町住民	237	592,500	
		組織市町住民以外	-	-	
計			477	1,192,500	
待 合 室	組織市町住民		236	708,000	
	組織市町住民以外		—	—	
計			236	708,000	
特 別 ホ ール (控室含む)	組織市町住民		2	40,000	
	組織市町住民以外		—	—	
計			2	40,000	
霊 安 室	組織市町住民		—	—	
	組織市町住民以外		—	—	
計			—	—	
合 計			962	1,960,500	

イ 栃木市斎場

種 類	区 分		件 数(件)		金 額(円)
斎 場	市 内	大 人	4	5	—
		小 人	—		
		死産児	1		
	市 外	大 人	—	—	—
		小 人	—		
		死産児	—		
計			5	—	
霊きゆう車	往 路	市 内	—	—	
		市 外	—	—	
	帰 路	市 内	—	—	
		市 外	—	—	
計			—	—	
待 合 室	市 内		4	12,000	
	市 外		—	—	
計			4	12,000	
合 計			9	12,000	

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	件 数
戸籍謄抄本等交付	29
住民票写し等交付	53
印鑑登録証明書交付	59
印鑑登録	25
戸籍届	8
住民異動届	14
斎場、霊きゆう車使用許可証交付	—
臨時運行許可証交付	—
パスポート交付	35
合 計	223

### 3 外国人登録事務

(1) 各種申請書受理件数 7月8日現在 (単位：件)

件名	件数	件名	件数
新規登録	5	居住地変更登録	31
確認申請	6	居住地以外の変更登録	61
再交付申請	2	計	110
引替交付申請	5		

(2) 報告その他の事務取扱件数 7月8日現在 (単位：件)

件名	件数	件名	件数	
閉鎖	出国	1	登録原票送付	1
	死亡	-	登録原票送付請求	13
	日本国籍取得	2	公務所からの照会回答	-
	その他(上記以外によるもの)	-	計	17

4 部屋出張所発行件数 (単位：件)

種別	件数
戸籍謄抄本等交付	586
住民票写し等交付	752
印鑑登録証明書交付	838
印鑑登録	70
印鑑登録廃止	107
諸証明交付	36
市税収納	2,234
合計	4,623

5 一般旅券申請・交付件数 (単位：件)

	申請	交付		申請	交付
4月	22	18	10月	20	25
5月	29	32	11月	14	15
6月	25	17	12月	11	15
7月	19	30	1月	35	18
8月	27	18	2月	11	27
9月	17	16	3月	15	9
			合計	245	240

保険医療担当

1 国民健康保険の給付等に係る申請の受付等に関すること

(1) 高額療養費の受付状況 (単位：件)

高額療養費(一般分)	661
高額療養費(退職分)	27
限度額適用認定証(標準負担額現額認定証を含む)	231

(2) 療養費の受付状況 (単位：件)

療養費受付件数	94
---------	----

(3) 出産育児一時金の受付状況 (単位：件)

出産育児一時金受付件数	3
-------------	---

(4) 葬祭費の受付状況 (単位：件)

葬祭費受付件数	43
---------	----

(5) 人間ドック検診の受付状況 (単位：件)

人間ドック受付件数	一般ドック	87
	脳ドック	5

(6) 医療費通知の発送状況

回数	対 象 月	件 数(件)	発 送 月
1	平成 23 年 12 月・平成 24 年 1 月診療分	2,312	5 月
2	平成 24 年 2 月・平成 24 年 3 月診療分	2,331	8 月
3	平成 24 年 4 月・平成 24 年 5 月診療分	2,301	10 月
4	平成 24 年 6 月・平成 24 年 7 月診療分	2,295	12 月
5	平成 24 年 8 月・平成 24 年 9 月診療分	2,268	2 月
6	平成 24 年 10 月・平成 24 年 11 月診療分	2,273	3 月
計		13,780	—

2 後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数

申請書種類	件 数 (件)
資格関係届出	290
高額療養費申請	267
その他の療養費申請	101
葬祭費申請	180
被保険者証等再交付申請	125
合 計	963

3 医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

(1) 重度心身障がい者医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	82
-----------	----

(2) こども医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	429
-----------	-----

(3) 妊産婦医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	108
-----------	-----

(4) ひとり親家庭医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	157
-----------	-----

4 不妊治療費補助金に関すること

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準として、その2分の1の額(10万円を限度に通算5回)を補助するため、窓口での申請受付を行った。

申請受付件数 (単位：件)

補助申請件数	5
--------	---

5 国民年金各種申請の受付等に関すること

(1) 諸届の受理件数 (単位：件)

種 別	件 数	種 別	件 数
新規取得届	100	転居届	83
新規取得申出	-	氏名変更届	27
再取得届	256	訂正・取消・不在	7
再取得申出	4	転出届	95
付加年金取得届	3	法定免除該当届	8
付加年金喪失届	3	法定免除消滅届	3
資格喪失届	112	手帳再交付届	35
資格喪失申出	2	種別変更届	74
死亡届	12	その他	54
転入届	64	計	942

(2) 免除申請受理件数 (単位：件)

種 類	件 数
免除・納付猶予申請	343
学生納付特例申請	89

(3) 国民年金請求受理件数 (単位：件)

給付種類	件数
老齢基礎年金	9
障害基礎年金	4
遺族基礎年金	-
寡婦年金	2
死亡一時金	6
未支給年金	151
老齢福祉年金	-
計	172

(4) 月平均相談件数 (単位：件)

相談の内訳	件数(件)
来訪相談	61
電話相談	2
文書相談	-
計	63

生活環境交通担当

1 環境基礎調査事業

地下水水質調査

地域内にある一般廃棄物最終処分場について、次のとおり水質調査を実施した。

(1) 市単独調査

- ・調査箇所 処分場内地下水及び放流水
- ・調査期間 通年
- ・調査項目 pH、BOD、COD、SS、大腸菌群数

(2) 縣市合同調査

- ・調査箇所 処分場近隣住宅及び処分場内の地下水及び放流水並びに近隣河川等の水質及び底土
- ・調査期間 年4回
- ・調査項目 カドミウム、水銀、鉛、ヒ素、シアン、PCB等、各箇所ごとに7～30項目

2 佐野斎場・霊きゅう車使用状況 (単位：件)

区 分	斎 場					霊きゅう車
	大 人	小 人	死産児	身体の一部	計	
市 内	245	-	1	-	246	241
市 外	1	-	-	-	1	0
計	246	-	1	-	247	241

3 改葬許可件数 16件

4 市営墓園使用許可状況 (単位：区画)

種別及び面積	造 成 数	許 可 数
藤岡中根墓地	270	244
藤岡太田墓地	78	55
計	348	299

5 公害関係

(1) 大気関係

大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届 出 の 種 類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	-	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(2) 水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届 出 の 種 類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	1	3	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(3) 騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届 出 の 種 類	設置届	変更届	廃止届	その他	特 定 建 設 作 業 実 施 届
騒音規制法に基づく届出	1	-	-	-	2
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-	2

## (4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	-	-	-	-	2
県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-	2

## (5) その他

公害苦情受付件数 (単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
2	1	2	-	2	1	2	10

## 6 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみはおおむね月2回、資源物のうち、紙類は月2回、空カン・空ビン、ペットボトル、食品用トレイはおおむね月2回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料で戸別訪問収集を実施した。

また、休日・祝日等の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

## (1) ごみ収集搬入量 (単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
3,635.60	367.89	346.53	189.35	59.09	38.50	4,636.96

## (2) もやすごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
23.90	2,948.94	662.76	3,635.60

## (3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
9.70	347.92	10.27	367.89

## (4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種類	直営	委託	直接搬入	合計
紙類	0.52	346.01	-	346.53
空カン・空ビン	0.45	188.25	0.65	189.35
ペットボトル・トレイ	-	58.94	0.15	59.09
合計	0.97	593.20	0.80	594.97

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減 免	合 計
6.50	6.56	25.44	-	38.50

(6) 休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合 計
9	77	3	89

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量(佐野地区衛生センター) (単位：kl)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合 計
1152.25	2336.23	3488.48

(8) 環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

- ・実施日 5月27日(日)
- ・場 所 地域内各地
- ・内 容 ごみ拾い
- ・参加人数 約5,000人

7 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、環境美化監視員を設置し、地域内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

(1) 地区別不法投棄物回収件数 (単位：件)

区分 地域	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
藤岡	25	5	-	4	-	-	34

(生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計)

(2) 不法投棄調査件数21件(うち不法投棄者等指導 0件)

8 狂犬病予防業務

(1) 犬の登録 (単位：頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
81	138	1,152

(2) 狂犬病予防注射

ア 第1次集合注射

- ・実施期間 4月
- ・実施会場 地域内 16会場
- ・実施数 458頭

イ 第2次集合注射

- ・実施期間 10月
- ・実施会場 地域内 4会場
- ・実施数 107頭

ウ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 265頭

9 市民相談事業

(1) 無料法律相談

- ・実施日 偶数月第3火曜日
- ・会場 藤岡公民館
- ・相談件数 34件

(2) 行政相談

- ・実施日 毎月第2火曜日
- ・会場 藤岡公民館
- ・相談件数 8件

10 男女共同参画関係

(1) 男女共同参画啓発事業

- ・啓発物資配布

イベント会場にて、ポケットティッシュ及びパンフレット等啓発物資の配布を行った。

- ・男女共同参画広報紙の編集協力

男女共同参画広報紙「きらら（第3号）」を3月に市内全戸に配布した。

(2) 女性団体活動支援

藤岡町女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会場	事業名	参加人員(人)
4月5日(木) ～8日(日)	藤岡遊水池会館	渡良瀬バルーンレース2012 豚汁提供サービス	32
5月16日(水)	藤岡公民館	総会、交流会「団体アピール」	23
5月27日(日)	渡良瀬遊水地	みずウォーク2012渡良瀬遊水地大会 給水サービス	5
12月6日(木)	那須郡那須町ほか	視察研修会 那須高原私の美術館、 千本松牧場ほか 車中研修「DVD日常の人権」鑑賞	25

## 11 青少年行政関係

### (1) 青少年健全育成啓発事業

イベント会場にて、ポケットティッシュ及びパンフレット等啓発物資の配布を行った。

### (2) 栃木市藤岡補導委員会の活動状況

少年補導委員会委員による、少年の非行防止と健全育成を期するための街頭活動、啓発広報、環境浄化活動等の推進に努めた。

実施日	会場	内 容	参加人員(人)
10月24日(水)	藤岡総合支所	補導員研修会	11
11月 9日(金) ～11日(日)	とちぎ秋まつり会場	特別補導活動	10
12月26日(水) ～27日(木)	藤岡地域内	年末地域安全運動	10
2月9日(土)	初市会場	初市パトロール	10

## 12 消費者行政関係

### (1) 啓発物資配布

イベント会場にて、ポケットティッシュ及びパンフレット等啓発物資の配布を行った。

### (2) 消費者団体の活動支援

藤岡町消費生活友の会の活動支援

消費生活への関心を深める一助として、リサイクル石けんの作製、販売、無料配布等を行った。

## 13 交通関係

### (1) 交通安全運動

交通事故防止のため、市民一人ひとりが交通ルールを順守し、交通マナーの一層の向上に努め、中でも子供や高齢者等交通弱者のために、チャイルドシート着用徹底や高齢者への啓発活動を行った。

#### ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、小中学校交通安全教室の開催

・実施期間 4月6日(金)～15日(日)

#### イ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙による広報、のぼり旗及び立看板掲出、児童交通安全教室の開催

・実施期間 9月21日(金)～30日(日)

#### ウ 交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰と大会宣言などを行った。

- ・実施日 9月29日(土)
- ・場 所 栃木文化会館
- ・参加者 約700人

エ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車、広報紙等による広報、交通安全教室の開催

- ・実施期間 12月11日(火)～31日(月)

(2) 交通安全教室の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であることにかんがみ、交通教育指導員や栃木警察署職員による交通安全教室を次のとおり開催した。

- ・実施状況

対象者	回 数(回)	参加者数(人)
幼 児	2	200
小中学校児童・生徒	6	250
合 計	8	450

(3) その他の交通安全対策

ア 交通指導員の設置 藤岡地域内10人委嘱

イ 交差点等危険箇所へカーブミラーの設置を行った。

ウ 第41回交通安全こども自転車大会栃木地区大会参加

- ・実 施 日 6月13日(水)
- ・会 場 壬生町運動公園
- ・出 場 校 部屋小学校チーム

14 防犯関係

(1) 防犯灯の設置

(単位：基)

区 分		設置灯数
新設工事	本柱へ新設・小柱新設	11
修繕工事	移設・撤去・修理	87
合 計		98

(2) 防犯活動

栃木警察署管内1市2町で組織する栃木地区防犯協会(本市が事務局)において実施した次の事業に参画した。

- ・会議等
- ・地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

## 第4節 健康福祉課

### 〔統括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当、健康増進担当、こども担当で編成されている。

福祉担当では、民生委員児童委員に関すること、地域福祉の推進に関すること、日本赤十字社に関することなどの業務を行った。また、身体・知的・精神障がい者手帳の交付をはじめ障がい者を取り巻く環境や生活上の問題等について、相談支援や各種福祉サービスの提供等きめ細やかな対応に努めた。また、戦没者遺族会等の社会福祉団体の育成指導に関すること、生活保護等生活困窮者の相談支援を行った。

介護高齢担当では、本庁の高齢福祉課と連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会を目指して、各種高齢福祉事業の実施及び介護保険の各種申請受付等業務を実施した。また、第4期藤岡町介護保険事業計画に基づき、地域包括支援センターと連携して、地域支援事業の介護予防事業及び任意事業を実施した。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持や生活の安定、保健、福祉、医療の向上、虐待防止など様々な課題に対して、地域における総合的マネジメントを担い、課題解決に向けて、包括的支援事業等に取り組んできた。

健康増進担当では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、各種がん検診、歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診等を実施し、併せて高齢者の医療の確保に関する法律に基づき衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児の健康診査、各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見、早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小中学校と連携した小児生活習慣病予防健診、健康教育を実施した。健康づくり事業については、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談及び健康教育事業を行い、自殺予防対策事業では、自殺に対する正しい知識の普及啓発を図るため、こころの健康教室を開催した。渡良瀬の里では、高齢者をはじめ各世代の人たちが交流を深めるコミュニティの場、健康維持を図る施設として管理運営に努めた。

こども担当では、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金などの各種申請受付業務を行った。また、幼稚園就園奨励費補助事業については、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。放課後児童健全育成事業については、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターについては、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換、ストレスや不安を取り除く場として、明るく楽しい子育ての支援に努めた。保育所については、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、一時保育事業の特別保育を実施し、児童の福祉の向上を図った。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員42人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
206	5	15	39	11	23
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
15	436	33	968	1,751	41.6

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
1,085	57	1,843	5,186	3,354	11,525	274.4

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金

目標額	実績額	達成率
1,701,000円	1,655,690円	97.3%

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	1世帯	2人	2枚	2組	1個

(3) 災害見舞金給付状況 (単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
—	—	—	—	—

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために栃木市社会福祉協議会に委託（指定管理）し、実施した。

- ・施設名 藤岡地域活動支援センター
- ・所在地 藤岡町都賀390-13
- ・開所日数 243日
- ・通所延べ人員 1,782人

#### 4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区 分		実施状況(人)
交付者数		362
	うち高齢者(80歳以上)	295
	高齢者(65～79歳)	9
	障がい者	46
	腎臓機能障がい者	12

#### 5 身体障がい者の現況(身体障がい者手帳交付状況)

障がい区分	手帳所持者数	平成24年度中交付者数
視覚障がい	31	0
聴覚・平衡障がい	65	4
音声・言語・そしゃく障がい	3	1
肢体不自由障がい	316	26
内部障がい	184	18
複合障がい	23	3
合 計	622	52

#### 6 知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数)

(単位：人)

区 分	障がい児(18歳未満)		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	3	2	25	29	59
中度(B1)	5	2	30	17	54
軽度(B2)	7	1	18	5	31
合 計	15	5	73	51	144

#### 7 精神障がい者福祉関係

##### (1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	15	18.8
2 級	49	61.2
3 級	16	20.0
合 計	80	100.0

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、平成24年度は164人が受給した。

8 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理 (単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	-	-	-	-	-	-
	義足	-	-	-	-	-	-
装具	下肢	4	-	4	-	-	-
	靴型	-	-	-	-	-	-
	体幹	-	-	-	-	-	-
	上肢	1	-	1	-	-	-
座位保持装置		-	-	-	-	-	-
盲人安全つえ		1	-	1	-	-	-
義眼		-	-	-	-	-	-
眼鏡	矯正眼鏡	-	-	-	-	-	-
	遮光眼鏡	1	-	1	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-
補聴器	高度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	3	2	5	-	1	1
	重度難聴用ポケット型	1	1	2	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	2	2	4	-	4	4
車いす	普通型	-	1	1	-	-	-
	その他	3	3	6	1	-	1
電動車いす		-	-	-	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	-	-
座位保持いす		-	-	-	-	-	-
歩行器		-	-	-	-	-	-
歩行補助つえ		-	-	-	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特例補装具		-	-	-	-	-	-
合計		16	9	25	1	5	6

## (2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付

(単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	-	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す	-	1
入 浴 補 助 用 具	1	-
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	-	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	-	-
頭 部 保 護 帽	-	-
特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	-	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	1	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	-	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	-	-
点 字 図 書	-	-

ス ト マ 用 装 具	34	-
紙 お む つ	4	2
収 尿 器	-	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	-	-
合 計	40	3

9 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）受給状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	-
肢 体 不 自 由	2
心 臓 機 能 障 が い	3
腎 臓 機 能 障 が い	43
計	48

10 身体障がい者等福祉関係

・身体障がい者の自立更生について、1人の身体障害者相談員が相談指導に当たった。

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（藤岡地域4月1日現在）

区分 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総人口(人)	17,666	17,412	17,128
65歳以上人口(人)	4,662	4,675	4,744
総人口に対する割合(%)	26.39	26.85	27.70

(2) 高齢者生活態様（5～6月調査結果）

区分 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
独居（世帯数）	—	385	403
高齢者世帯（世帯数）	—	426	436

2 敬老祝賀事業

9月1日において、本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100

歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせて敬老祝金を贈呈した。95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	147
90歳	20,000	57
95歳	30,000	16
100歳	100,000	3
101歳以上	50,000	7

### 3 敬老会事業

敬老事業を実施した、老人クラブ・自治会等に補助金を交付した。

- ・ 交付基準額 対象地域在住 80歳以上 1人につき、1,000円
- ・ 交付状況 老人クラブ 16団体（46自治会分）  
自治会等 15団体（23自治会分）
- ・ 交付額 1,310,000円 ※本庁高齢福祉課予算

### 4 老人クラブ育成指導事業

藤岡町老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・ 単位老人クラブ数（藤岡地域） 16クラブ
- ・ 藤岡町老人クラブ連合会会員数 1,027人
- ・ 助成額 単位老人クラブ助成 816,000円 ※本庁高齢福祉課予算  
藤岡町老人クラブ連合会 370,000円 ※本庁高齢福祉課予算

### 5 老人スポーツ大会

藤岡町老人クラブ連合会藤岡支部主催により、個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。また、藤岡地域の保育園児とのダンス、各種サークルのダンス等を行い、世代間の交流を行った。

- ・ 実施日 11月9日（金）
- ・ 会 場 藤岡総合体育館
- ・ 参加人員 400人

### 6 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・ 宅配個数 4,136個
- ・ 宅配人数 40人（実人数）
- ・ 宅配業者 （株）金時給食センター 柳橋町6-29

7 老人ホーム等入所措置支援

老人ホーム等入所措置入所前の支援を実施した。(入所措置は本庁介護保険課で実施)

- ・ 養護老人ホーム入所措置支援 1 件
- ・ 特別養護老人ホーム入所措置支援 1 件

8 日常生活用具購入費助成等事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・ 日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	34
小型暖房器具	33
電磁調理器	-
火災警報器	-
自動消火器	-

9 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

- ・ 日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	-
特殊寝台	-
じょく瘡予防用具	-

10 緊急通報装置給付等事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・ 設置状況 (単位：台)

既設置台数	平成 24 年度設置台数	平成 24 年度撤去台数	計
86	19	14	91

11 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣委託事業

- ・利用者数 1人
- ・延べ回数 37回 (27時間45分)

(2) 軽度生活援助員派遣委託事業

- ・利用者数 7人
- ・延べ利用時間

(単位：時間)

家事	-
除草	186
植木手入れ	-
大工	19

(3) 在宅高齢者短期入所事業

- ・利用者数 一人
- ・延べ宿泊数 一日

12 高齢者生きがいセンター管理運営委託事業

藤岡高齢者生きがいセンターの管理を、栃木市シルバー人材センターに委託した。

13 介護保険業務各種受理状況

内 容	件数(件)
要介護認定要支援認定申請 相談・受付・入力	695
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	134
介護給付費過誤申立 受付・入力(過年度分のみ)	-
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	7
転入・転出・転居 資格管理等	11
転送希望届申請 受付・入力	36
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	233
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	12
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	3
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	14
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	46
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	25
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	73
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	147
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	18
オムツ使用証明申請 受付・発行	1
介護保険事業者事故報告 受付	-

## 14 介護予防事業

### (1) 二次予防事業

#### ア 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

#### ・二次予防事業対象者把握状況

チェックリストによる対象者数 475人

#### イ 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者のうち希望者に対し、2種類の通所型介護予防事業を公民館にて実施。活動的で生きがいのある生活が維持できるよう支援した。

#### 実施状況

	実施回数	延べ人数（人）
複合型（運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上）	40	402
閉じこもり・認知・うつ予防	10	135

#### ウ 訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者を対象に、看護師、歯科衛生士が訪問し相談指導を行った。平成24年度は該当者なし。

### (2) 一次予防事業

#### ア 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

#### 実施状況

内容	実施回数	延べ人数（人）
運動器機能向上	37	754
閉じこもり・認知・うつ予防	10	134
口腔機能向上	1	27
認知症予防	1	5
こころの健康	2	44
熱中症予防	5	87
その他（福祉まつり時普及啓発）	1	150
計	57	1,201

#### イ 地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得する機会を設け、地域活動の人材育成や自主グループ活動支援を行った。

#### 実施状況

	実施回数	延べ人数（人）
自主グループ活動支援	2	56
認知症サポーター養成講座	1	51
計	3	107

## 15 任意事業

### (1) 介護給付等適正化事業

本庁にて作成した適正化の通知を、転送・転出・死亡等の確認後郵送した。

上期（8月）542件 下期（2月）601件

### (2) 家族介護（継続）支援事業

#### ア 家族介護支援事業

介護に携わる家族が適切な介護知識、技術、サービス利用方法等を習得できるよう支援し、安心・安定して在宅介護が継続できるよう支援するための教室を新設した。

#### イ 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内住所を有し、要介護認定3・4・5いずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期	下半期	合計
160	160	320

#### ウ 紙おむつ購入助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5いずれかに認定された方で、日常生活において常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期	下半期	合計
142	151	293

### (3) はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 藤岡地域に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館、集会場、広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 5センター（5自治会）
- ・委託料 1,430,000円

・実施回数・人数 延べ 455回・4,052人

(4) 高齢者ふれあい相談員事業（藤岡地域）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 84人
- ・訪問世帯数 587世帯

16 その他の高齢者支援事業

高齢者の各種相談に応じた。また、地域ケア会議については、会議としての検討事例はなかったが、困難事例の処遇については、適宜関係者のみで検討を行った。

	実件数(件)	延件数(件)
面接	272	318
電話相談		79

17 地域包括支援センター

(1) 地域包括支援センター設置状況

藤岡地域包括支援センター 藤岡町藤岡 1022-5 藤岡総合支所健康福祉課内

(2) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に、介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。

また、指定介護予防支援事業者として、要支援者を対象とする予防給付のケアマネジメントを実施し、連続的で一貫性のある介護予防ケアマネジメントを行った。

・ 介護予防サービス計画作成状況

地域包括支援センターによる作成件数 49人

・ 要支援1・2の介護予防サービス計画作成状況（実人数）（単位：件）

地域包括支援センターによる作成件数	40
事業者委託件数	94
合計	134

・ サービス担当者会議実施状況

地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加 21件

・ 住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況

地域包括支援センターによる作成件数 8件

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していくことができるよう、地域関係者とのネットワークを構築するとともに、各種相談を幅広く受け付けた。

実施状況 (単位：件)

	延べ件数
面接	58
電話相談	239
家庭訪問	517

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは問題解決出来ない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活が送れるよう高齢者の権利擁護のため、関係課と連携し専門的・継続的な支援を行った。

実施状況 (単位：件)

	延べ件数
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	1
高齢者虐待に関すること	1
合 計	2

(3) 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

健康増進担当

1 生涯すこやかふじおか21プラン推進事業

「妊娠出産期・乳幼児期」「学童期」「思春期」「青年期」「壮年期」「高年期」の6つのライフステージ毎に、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

- ・乳児健診・離乳食指導等において、保護者の健康づくりの重要性について啓発
- ・乳幼児健診（4か月児・1歳6か月児）において、受動喫煙の害について啓発
- ・家族と子どもの料理教室の開催
- ・小児生活習慣病予防事業の実施
- ・脱メタボ！健康教室等を開催し、運動の重要性について啓発
- ・ふくしま祭り、産業祭等のイベントにおいて、禁煙教育を実施
- ・ふくしま祭り、産業祭において、歯周疾患予防教育を実施

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対して母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行

うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況 (単位：件)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
	妊娠届出	双胎	紛失等	
78	85	78	2	5

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査 (数値は本庁健康増進課で一括計上)

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。(母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施)

イ 妊婦歯科健康診査 (数値は本庁健康増進課で一括計上)

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	82	81	98.8	5	9	3	2
乳児健康診査 (9か月児)	12	95	90	94.7	21	8	1	1
1歳6か月児 健康診査	6	86	82	95.3	19	2	2	4
3歳児 健康診査	6	95	87	91.6	24	11	-	12

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(ア) 歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
6	110	87	79.1	10 (11.5%)

(イ) 保健師による2歳児育児相談

・参加者延べ人数 10人

オ 乳幼児発達相談(2次健診) (数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において発達に問題があると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡地域で合同開催し大平会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診(数値は本庁健康増進課で一括計上)

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

### (3) 健康教育

ア 両親(母親)教室

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、お風呂の入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。

・実施数 3回1コース

・参加者

(単位：人)

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
24	11	1	4	-

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では2～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施数 2回1コース(年6コース)

・参加者延べ数 105組

・内容 離乳食教室、ベビーマッサージ講習、子育てアドバイス等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)(数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情を高めるため、中学生とその保護者を対象に、保健教育を行った。

対 象		実施回数(回)	参加人数(人)
講演会※	中学校	2(2校)	生徒120 保護者13

※小児生活習慣病予防健康教育と同時実施

オ 小児生活習慣病予防事業

小児肥満や小児生活習慣病の実態を把握し、小児生活習慣病予防健診や健康教育を行った。

(7) 小児生活習慣病予防健診

対 象	実施回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)
小学4年生	4(4校)	144	138
中学1年生	2(2校)	123	115

(イ) 小児生活習慣病予防健康教育

対 象	実施回数(回)	参 加 人 数(人)
小学4年生とその保護者	1(1校)	児童28 保護者27
中学1年生とその保護者	2(2校)	生徒120 保護者13

(ウ) 学校との情報交換

対 象	実施回数(回)	参 加 人 数(人)
中学校	1(1校)	学校保健委員ほか19

カ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 90組

キ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市2町の共催で小学1年生と年長児に対しフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ素塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合 計
34	24	58

ク よい歯のコンクール(数値は本庁健康増進課で一括計上)

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。個別相談のほか、身体計測、発達チェック及び離乳食やおやつ摂り方についてのグループ指導等を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 254人(127組)

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況

(単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
146	93	6	25	7	8	7

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 2件
- ・指導延べ数 2件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 82件

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（藤岡地域17人）が、妊産婦や乳児の家庭訪問及び子育て教室の協力を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数(件)	55	28	55	138

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者健康診査及びヤング健診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

- ・実施回数 12回
- ・実施場所 藤岡保健福祉センター

(2) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	初回指導率(%)
積極的支援	29	21	72.4
動機付け支援	79	63	79.7
合計	108	84	77.8

(3) メタボ予防講座（特保該当者）

ア 血糖まる分かり教室

メタボリックシンドローム及び糖尿病の予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

- ・実施回数 8回

- ・参加延べ人数 5人

#### イ チャレンジ運動教室

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 14回
- ・参加延べ人数 30人

#### 4 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）等を行った。

- ・集団健診実施回数 12回
- ・集団健診実施場所 藤岡保健福祉センター

#### 5 結核検診事業

結核の早期発見、早期治療を図るため、医療法人宇都宮健康クリニックに委託し、胸部レントゲン検査を各会場で行った。

- ・実施会場数 45会場
- ・受診者数 2,001人

#### 6 健康づくり事業

##### (1) 健康教育

##### ア 血糖まる分かり教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドローム及び糖尿病の予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

- ・実施回数 8回
- ・参加延べ人数 47人

##### イ チャレンジ運動教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 14回
- ・参加延べ人数 300人

##### ウ 歯周疾患病予防教育

歯の健康やセルフケアの基本方法等について指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 82人

##### エ 出前講座

地域や団体において、生活習慣病予防を図るための健康講話等を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 24人

##### (2) 健診結果説明会

- ・実施回数 10回
- ・参加人数 83人

##### (3) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 10回
- ・延べ相談者数 26人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(4) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 5回（定期ほか1回含む）
- ・延べ相談者数 8人
- ・内容 管理栄養士による個別指導
- ・指導内訳

（単位：件）

糖尿病	2	高血圧	4	脂質異常症	4
肝臓病	-	腎臓病	2	その他	2

7 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解することや自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

(1) 老人健康教室

- ・各地区公民館 2回
- ・参加人数 38人

(2) 笑いの講座

- ・藤岡公民館 1回
- ・参加人数 76人

(3) 啓発

各種事業時において、自殺予防相談窓口や自殺予防のための内容を含めたチラシ、パンフレット及びポケットティッシュ等啓発物品を配布した。

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児及び高齢者の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア 集団接種

ポリオ投与（小児マヒ）

- ・実施回数 2回
- ・実施場所 藤岡保健福祉センター

イ 個別接種

B C G、三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）、日本脳炎、高齢者インフルエンザ、不活化ポリオ、四種混合（百日せき・ジフテ

リア・破傷風、不活化ポリオ)

(2) 任意予防接種

小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン、小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチンを各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9 地域保健対策推進事業

(1) 健康まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、ふくしまつり及び産業祭に参加し地域における健康づくりを推進した。

ア ふくしまつり

- ・実施日 10月21日(日)
- ・場 所 藤岡公民館
- ・参加者 健康チェックコーナー 63人  
歯周疾患検査・ブラッシング指導 37人

イ 産業祭

- ・実施日 11月24日(土)
- ・場 所 藤岡総合体育館
- ・参加者 健康チェックコーナー 63人  
歯周疾患検査・ブラッシング指導 45人  
減塩みそ汁試食コーナー 42人

(2) 食生活改善地区組織活動

栃木市食生活改善推進団体連絡協議会藤岡支部(会員数22人)では、地域住民を対象に、食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会などを行った。

- ・各講習会 3回
- ・参加人数 153人

(3) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 110世帯
- ・保健師訪問指導延べ人数 262人

内訳

(単位：人)

精神保健	83	妊産婦	72	乳幼児	83	生活習慣病	11
新生児	2	低体重児	1	他の疾患	2	その他	8
心身障がい	-	結核	-				

10 藤岡保健福祉センター利用状況

(単位：人)

区分	会議室	検診ホール	調理実習室	その他	合計
利用者数	253	249	95	-	597

(当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。)

## 11 渡良瀬の里利用状況

利用者相互の交流と憩いの場として、福祉及び健康の増進を図り、入浴、カラオケ、グランドゴルフの利用できる施設として運営しており利用状況は次のとおりである。

### (1) 利用状況

・年度別利用者数 (単位：人)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	27,182	24,693	26,188

- ・開館日数 305日
- ・1日平均入場者 85.9人
- ・月別内訳

区 分 月 別	市内 (人)	市外 (人)	小学生 以下 (人)	障害者 (人)	回数券利用		計 (人)	利用料 (円)	開館 日数 (日)
					市内 (人)	市外 (人)			
4	1,375	274	23	237	310	86	2,305	253,100	26
5	1,536	319	35	238	266	66	2,460	246,700	26
6	1,432	332	33	176	248	24	2,245	233,500	26
7	1,397	334	19	212	288	14	2,264	244,400	26
8	1,182	225	40	196	252	17	1,912	193,000	27
9	1,256	208	25	207	257	16	1,969	192,200	26
10	1,305	272	21	212	296	31	2,137	231,300	26
11	1,230	334	32	204	318	17	2,135	205,900	26
12	1,221	277	31	181	277	13	2,000	213,300	23
1	1,463	259	33	199	292	18	2,264	230,300	23
2	1,421	260	20	253	230	32	2,216	217,200	24
3	1,389	332	32	258	247	23	2,281	236,800	26
計	16,207	3,426	344	2,573	3,281	357	26,188	2,697,700	305

### (2) イベント状況

事業名	実施回数(回)	備 考
カラオケ大会	10	4月、9月を除く10か月に実施
歌謡ショー	12	毎月10日に実施

こども担当

## 1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、藤岡地域4か所の小学校区内において実施した。

・放課後児童会入会者数

(単位:人)

児童会名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
部 屋 ( 部 屋 小 )	3	3	6	4	5	9	9	15	24	16	23	39
藤 岡 ( 藤 岡 小 )	3	2	5	1	-	1	1	10	11	5	12	17
赤 麻 ( 赤 麻 小 )	1	-	1	3	5	8	2	8	10	6	13	19
三 鴨 ( 三 鴨 小 )	-	1	1	1	-	1	8	1	9	9	2	11
計	7	6	13	9	10	19	20	34	54	36	50	86

## 2 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金交付事務を行った。

### (1) 国庫補助事業

- ・交付対象人数 221人
- ・交付額 23,849,900円

### (2) 県補助事業

- ・交付対象人数 8人
- ・交付額 901,000円

### (3) 市単独補助幼稚園第三子以降支援特別就園奨励費補助事業

- ・交付対象人数 29人
- ・交付額 5,229,800円

### (4) 市単独補助幼稚園補助対象外児特別就園奨励費補助事業

- ・交付対象人数 50人
- ・交付額 300,000円

## 3 地域子育て支援センターふじおか

### (1) 利用者数推移

(単位:人)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
平成22年度	263	331	344	102	3	1	2	822	1,868
平成23年度	279	777	543	237	32	20	13	1,557	3,458
平成24年度	602	1,026	906	371	54	25	6	2,512	5,502

### (2) 活動状況

ア 定例遊び

わくわくタイム

- ・実施曜日 毎週金曜日
- ・実施時間 午前 10 時 30 分～11 時 30 分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、歌、ふれあい遊び、体操、季節の製作、紙芝居や絵本の読み聞かせ等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 35 回
- ・参加者 延べ 5,216 人

イ 特別活動 (単位：人)

No	活 動 名	参加人数
1	親子リトミック	30
2	保育園との交流会 (4 回)	69
3	おやつ講習会	21
4	親子ビクス	30
5	クリスマス会	73
6	幼児安全法講習会	12
7	おたのしみ広場	51
合 計		286

ウ 子育て相談 (単位：件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関するこ と	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	15	15	0
排泄に関するこ と	おむつはずし、便秘 ほか	14	14	0
睡眠に関するこ と	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い ほか	3	3	0
健康に関するこ と	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	20	19	1
ことばに関するこ と	発語が遅い、幼児語 ほか	5	5	0
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	3	3	0
そ の 他	性格、育児依頼、入園、病気、親のストレ ス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	41	41	0
合 計		101	100	1

4 児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

- ・児童手当受付件数 230件

## 5 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、2子以降のお子さんが誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

(単位：件)

事業名	祝金額	受付件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	25
	第三子以降 20,000円	18

## 6 児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方又は両方が死亡した児童について遺児手当の案内・相談・受付を行った。

(単位：件)

種別	受付件数
児童扶養手当	8
遺児手当	-

## 7 保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言等を行った。

### (1) 保育所入所状況

#### ア 児童定員・異動状況

(単位：人)

区分	保育園名	定員	24年4月1日 入所児童数	途中入所 児童数	退所児童数	25年3月1日 入所児童数
公立	三嶋保育園	45	20	5	-	25
	赤麻保育園	45	27	2	-	29
	部屋保育園	60	28	4	-	32
	藤岡保育園	60	39	6	1	44

計	210	114	17	1	130
---	-----	-----	----	---	-----

イ 階層別児童数 (平成25年3月1日現在 単位:人)

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	計
公立	三鴨保育園	-	6	3	6	4	1	2	2	1	25
	赤麻保育園	-	5	3	3	7	3	7	1	-	29
	部屋保育園	-	2	7	9	5	2	5	2	-	32
	藤岡保育園	1	15	5	11	7	1	1	3	-	44
合計		1	28	18	29	23	7	15	8	1	130

※ 階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

ウ 年齢別児童数 (平成25年3月1日現在 単位:人)

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	三鴨保育園	2	5	4	2	12	25
	赤麻保育園	2	3	5	5	14	29
	部屋保育園	2	5	3	4	18	32
	藤岡保育園	5	4	6	6	23	44
合計		11	17	18	17	67	130

(2) 施設運営全般

施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
- ・ 保育内容の充実と技術の向上
- ・ 安全対策と保護者との対応
- ・ 地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区分	回数(回)	実施月	結果と措置
健康診断	2	9月・2月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	6月・11月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区分	回数(回)	実施日	結果と措置
寄生虫卵	2	6月21日・11月15日	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	6月21日・11月15日	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ア) 観察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ウ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

・発生件数           なし

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・心身ともに健康なこども
- ・自分で考えて行動するこども
- ・喜んで話したり聞いたりするこども
- ・人とのかかわり合いの中で相手を思いやるこども
- ・豊かな感性をもつこども
- ・地域の中で育つこども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4 月		入園式
5 月	こどもの日、母の日	園外保育
6 月	歯の衛生週間、父の日、時の記念日	みかも山ハイキング
7 月	七夕祭り	納涼祭
8 月		
9 月	防災の日、敬老の日	運動会（三鴨）
10 月	体育の日	運動会（藤岡・部屋・赤麻）、 みかも山ハイキング、親子旅行
11 月	シルバースポーツ大会、 地域ふれあいの集い	
12 月	八州園訪問 師走	クリスマス会
1 月	お正月	保育参観
2 月	節分(まめまき)	お別れ遠足
3 月	ひなまつり	お別れ会、卒園式

※その他、2か月に1回誕生児の誕生会を催した。

エ 一時保育の状況

実施保育園名	延べ利用者数(人)
三鴨保育園	254

オ 低年齢児保育（0、1、2歳児）（平成25年3月1日現在・単位:人）

区分	保 育 園 名	0歳	1歳	2歳	計
公 立	三鴨保育園	2	5	6	13
	赤麻保育園	2	4	5	11
	部屋保育園	2	5	3	10

	藤岡保育園	5	4	6	15
	合 計	11	18	20	49

カ 保護者との連携

- ・ 保育参観
- ・ 送迎時の連絡
- ・ 子育て等相談

(5) 防災対策の状況

ア 設備、遊具等の整備点検

イ 避難訓練

ウ 安全のための実施訓練

事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的実施した。

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

副食は給食センターの栄養士が献立を作成する。

おやつは副食の献立を元に保育園で作成する。

イ 給食構成

- ・ 乳児 主食、副食、おやつ
- ・ 幼児 副食、おやつ

ウ 1日あたり平均栄養摂取量状況（1日当たりの平均栄養摂取量 副食＋おやつ）

保育園名	栄養素等 (kcal)	たんぱく質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A ( $\mu$ gRE)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
藤岡地域内4保育園	392	17.7	14.1	268	2.1	206	0.26	0.45	31	1.9

(ア) 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ）

栄養給与目標	510	20.2	11-17	230	2.7	130	0.25	0.28	20
--------	-----	------	-------	-----	-----	-----	------	------	----

(イ) 3歳以上児（副食＋おやつ）

栄養給与目標	400	19.0	13-20	270	2.2	130	0.30	0.35	20
--------	-----	------	-------	-----	-----	-----	------	------	----

エ おやつ

- ・ 1週のうち1日 手作りおやつまたは給食センターからのおやつ
- ・ その他 せんべい、クッキー等の市販品

(7) 特別保育科目設定実施事業

ア 世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

実施保育園	実施回数(回)
三鴨保育園	2
赤麻保育園	1
部屋保育園	2

藤岡保育園	1
合計	6

イ 異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。また、小学生の訪問受け入れや小学校を訪問して交流を行った。

実施保育園	実施回数(回)
三鴨保育園	2
赤麻保育園	3
部屋保育園	3
藤岡保育園	1
合計	9

ウ 子育て・仕事両立支援

乳幼児を持つ保護者等に対して育児に関する情報提供等を通知した。

## 第5節 産業振興課

### 〔総括概要〕

今日の農業は、農業者の高齢化の進行、後継者不足による農家数の減少と共に、食料自給率の低迷、耕作放棄地の拡大等が進展し、農村の活力の低下など、農業を取巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。そのため農業振興においては、土地利用型農業の推進と園芸作物の生産振興やPR等を実施した。担い手不足や耕作放棄地対策としては、地域農業担い手組織の育成事業により集落営農を推進した。また、産業祭の開催により生産者と消費者の交流を図った。さらに、県産農産物安全安心PR事業により消費拡大を図った。

林業は、地域の里山林の整備のため、県民税事業による藪の刈払いや、不用木の処分を行った。

農業農村整備については、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業をはじめ、県単独農業農村整備事業や市単独かんがい排水事業等により、施設整備及び維持修繕を進め農業用排水路の適正管理に努めた。農地・水保全管理事業では、藤岡地域緑川地区で、地域の環境保全や施設の維持管理に地域住民が一丸となって取り組んだ。

また、農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止しするために、西前原排水機場の維持管理及び運転を行ったほか、土地改良区事業により整備された排水機場の維持管理事業を実施した。

地籍調査事業については、法務局備え付けの公図が明治時代の地租改正時に作られたものであり、土地の境界、形状などが現況とは違う場合があることから、国土調査法に基づき一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界と面積の測量を行い正確な地籍簿、地籍図を作成した。これにより、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に役立つことが期待される。

道の駅みかもについては、「休憩機能」「情報発信機能」「地域の関係機能」という3つの機能を併せ持つ施設であることから、地域情報等の発信に努め、農産物の高付加価値化と消費拡大による地域農業の所得向上を図り、かつ地域内の女性・高齢者の活躍の場を設け、都市及び地域住民が集い交わることにより、地域全体の活性化を図った。

商業関係については、中心市街地の空洞化や商業経営の低迷が大きな問題となっていることから、藤岡町商工会への育成事業補助金と（社）栃木法人会藤岡地区会育成事業補助金を交付した。

観光関係については、恵まれた自然環境と豊かな観光資源を有効に活用し、各種宣伝事業をはじめ、「第18回藤岡さくらまつり」、「渡良瀬バルーンレース2012」、などのまつり・イベントの開催に積極的に取り組んできた。

また、渡良瀬遊水地は平成24年7月に、世界的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録され、多様な動植物が生殖する自然の宝庫として知られ、熱気球などのスカイスポーツや各種レジャーの場として幅広く利用されているほか、四季折々の

景色の撮影に県内外から多くの観光客が訪れ、みかも山公園と合わせて都会のオアシスとして定着している。

**農林振興担当**

1 戸別所得補償モデル対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、戸別所得補償制度の導入により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米のモデル事業

藤岡地域に提供された平成24年産米に係る需要情報は4,454トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市藤岡町水田農業推進協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,639人
水稲生産実施計画書提出農業者数(①)	1,535人
生産確定数量の計(①の積算)	4,444,660kg
作付確定面積(①の積算)(②)	85,638.9a
主食用等水稲作付面積の計(①の積算)(③)	78,676.5a
差引(②-③)	6,962a
水稲生産確定面積に対する主食用等水稲作付面積の割合(③÷②)	91.8%

(2) 水田活用の所得補償交付金

・戦略作物作付面積(交付対象面積) (単位:ha)

麦類	512.9
大豆	18.1
そば	0.6
飼料作物	22.6
新規需要米・加工用米	182.4

(3) 推進会議の開催

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市藤岡町水田農業推進協議会との連携により推進会議を開催した。

・会議の開催状況 (単位:人)

開催日	参加者数
5月16日(水)	73
6月28日(木)	71

2 農業経営基盤強化促進事業

経営改善支援活動事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などを実施した。

- ・農業経営改善計画認定者数 8人

### 3 集落型経営体の育成

将来にわたって地域農業を担う集落営農組織を育成するとともに、持続性の高い農業経営を实践定着させるための集落営農組織の法人化を推進するため、実施主体である下野農業協同組合と連携して研修会を開催した。 (単位：人)

実施年月日	研 修 先	参加人数
2月19日(火)	大田原市 農事法人組合グリーンリーフのざき	20

### 4 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体の指導、育成及び支援を行った。

#### (1) 栃木市藤岡町認定農業者協議会補助金

相互連携を図り、効率的で安定した魅力ある農業経営、自らの経営改善の实践と藤岡地区の農業振興のために活動を行っている認定農業者協議会に対して、助成を行った。

- ・補助額 260,000円

#### (2) 生産出荷組合補助金

地域内11の生産出荷組合の運営に対して助成を行った。

- ・補助額 126,000円

#### (3) 営農集団運営管理費補助金

富吉第一営農集団の運営に対して助成を行った。

- ・補助額 20,000円

#### (4) 藤岡町農業公社補助金

藤岡町農業公社の人件費及び運営管理に対して助成を行った。

- ・補助額 10,068,000円

### 5 ふじおか産業祭事業

地域の農商工が連携し、地域の活性化と振興に寄与することを目的としたふじおか産業祭を開催した。

- ・実施日 11月24日(土)、25日(日) 午前9時～午後3時
- ・会場 藤岡総合体育館・藤岡遊水池会館駐車場
- ・来場者 11,180人

### 6 畜産振興事業関係

栃木市畜産振興協議会

畜産農家が連携し、家畜伝染病の疾病による損耗を防止し、畜産経営の安定を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

- ・事業主体 栃木市畜産振興協議会
- ・事業内容・各種予防接種の実施（牛コロナ予防接種、オーエスキー予防接種）
- ・石灰及び消毒薬の配付

#### 7 藤岡農産加工センター管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのため、藤岡農産加工センターの運営を行った。

- ・利用状況

利用団体	利用日数（日）	利用人数（人）	備考
藤岡町農産加工技術協力員会	17	102	菓子づくり
藤岡町農村生活研究グループ協議会	57	268	みそづくり
合計	74	370	

#### 8 わたらせふれあい農園管理運営事業

農園を低料金で貸出し、自然とふれあいながら農作業を行うことにより野菜に対する消費者の目を養い農業を知る機会を提供する農園の運営を行った。

- ・利用者数 21人 貸出区画 44区画

#### 9 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備を実施している。

- ・事業概要

事業名	実施箇所	事業量	事業概要及び事業費	備考
通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備	藤岡町大田和地内（道の駅みかも周辺の山林）	1.0ha	藪化した里山林の刈払い等により野生獣が人里に近づきにくい環境を整備 事業費：237千円	事業主体：市

#### 10 森林整備加速化・林業整備基金事業

平成21年度から森林整備加速化・林業整備基金に取り組み、荒廃した里山の管理を実施している。

- ・事業概要

事業名	実施箇所	事業量	事業概要及び事業費	備考
修景等環境保全	藤岡町大田和地内（道の駅みかも周辺の山林）	3.0ha	伐倒駆除、林内美化活動 事業費：147千円	事業主体：市

11 火入許可

病虫害駆除を目的としたしば焼等について、栃木市火入れに関する条例に基づき許可した。

- ・許可処理件数 1件

12 農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。

(単位：件)

件 名	件 数
耕作証明書	58
農家証明書	1
農家基本台帳の写し	14
合 計	73

13 土地改良事業補助金

農業生産性の維持向上のため農業生産基盤整備に係る事業を行う土地改良区に対し支援をした。

(単位：円)

事業名	土地改良区（箇所） 工 事 内 容	事業費	補助額
県単独農業農村整備事業	藤岡土地改良区（蛭沼地区） さく井工、揚水機工	12,763,800	7,018,000 内市負担額 (2,552,000)
農業体質強化基盤整備促進事業	思川西部土地改良区（新波地区） 農業用水路 L=200m	3,700,200	370,000
	藤岡土地改良区（部屋南部地区） 農業用水路 L=250m	5,141,850	514,000
市単独土地改良事業（かんがい排水）	藤岡土地改良区（部屋南部地区） 揚水樋管導水路堆積土撤去工	189,000	37,000
	藤岡土地改良区（巴波川西部地区） 農業用水路 L=80m	630,000	126,000
	大岩藤土地改良区 ・揚水機場修繕（都賀地内） ・分水バルブ交換（大田和地内）	1,081,500	216,000
	藤岡土地改良区（江川地区） 揚水機場更新 1か所	1,631,000	326,000

14 県営土地改良事業負担金

県が実施する土地改良事業に係る法定負担金（受益者負担金）を支出した。

- ・事業名 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業
- ・事業箇所 佐野市地区（界排水機場）
- ・事業内容 機場（排水機）工1式
- ・事業期間 平成22年度から平成25年度
- ・負担額 395,960円

15 農道維持管理事業

（単位：円）

工事名	工事箇所	工事内容	工事費
農道維持補修工事	部屋・富吉・中根	敷砂利工 L=582m t=7cm W=1.8m～2.5m	892,500
	赤麻・大前・大田和・藤岡	敷砂利工 L=415m t=7cm W=1.8m～2.5m	630,000

16 農地・水保全管理事業

非農業者も含めた地域住民の共同による農地・農業用水等の保全管理と農村環境向上等の活動に対し支援をした。

- ・共同活動支援

（単位：円）

活動組織名	協定期間			基礎支援				金額計
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (825円/10a)		畑 (525円/10a)		
				面積(a)	金額	面積(a)	金額	
水と緑の里みどりかわ	H19	H28	10年	4,341	358,133	227	11,917	370,050

17 藤岡排水機場維持管理補助金

土地改良事業により整備された排水機場について、効率的運営により地域内における生活の安全安心並びに農業生産の維持及び増進を図るため、維持管理に要する経費の一部を補助金として交付した。

- ・対象地区 藤岡土地改良区（部屋南部地区、巴波川西部地区、新井地区、東谷津地区）
- ・補助額 1,693,195円

18 排水機場維持管理負担金

農業用施設及び住宅の湛水被害を防ぐため、土地改良事業により整備された排水機場の維持管理に要する経費の一部を、負担金として関係市町等に支出した。（単位：円）

支出先市町等	対象施設	負担金
小山市	与良川水系排水機場	1,616,000

佐野市	界排水機場	178,387
板倉町	邑楽東部第一排水機場	121,000
渡良瀬川中央地区 水管理施設管理協議会	渡良瀬川中央地区水管理施設	43,200

#### 19 西前原湛水防除事業

栃木市及び岩舟町にまたがる農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止し、農業経営の安定を図るため、西前原排水機場の維持管理及び運転を行った。

- ・ 運転回数 1回（4日間）
- ・ 総運転時間 59時間29分
- ・ 事業費 5,494,031円

#### 20 地籍調査事業

国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び面積に関する測量を行い、地積図、地積簿を作成した。

業 務 名	実施地区	業務概要	委託費(円)
部屋16地区 地積測定・複図作成業務	中根西原 22ha	地積測定及び計算 一式 複図作成15面×2部 30枚	294,000
部屋17地区 地籍測量業務	富吉西 24ha	地積図根測量 一式 地籍細部測量 一式	2,205,000
部屋18地区 事前調査業務	中根六人 内 42ha	調査図素図作成 一式 地籍調査票作成 一式	1,081,500
部屋10地区 境界杭復元業務	富吉戸崎 0.1ha	多角測量 一式 境界再現測量 一式	105,000
部屋17地区 土地改良区域境界復元業務	富吉西 1.2ha	補助基準点測量 一式 境界再現測量 一式	630,000
部屋7, 13, 14地区 点検測量・座標変換業務 (H23繰越)	蛭沼・富吉 ・中根 110ha	点検測量 一式 座標変換 一式	3,955,350
部屋7, 13, 14地区 原図修正業務 (H23繰越)	蛭沼・富吉 ・中根 110ha	座標変換後原図作成 73枚	714,000

#### 21 道の駅みかも管理運営事業

##### (1) 売上等実績

売店名	客 数 (人)	売上額 (円)
農産物直売所「万葉の里」	192,253	209,247,083
物産館「こならの里」	93,501	84,928,810

農産物加工販売室「かあさんの台所」	27,328	12,139,840
地域食材供給室「レストランしもつけ」	74,420	56,058,720
計	387,502	362,374,453

(2) 主なイベント

イベント名	開催日
七夕の飾りつけ	6月29日(金)～7月8日(日)
夏まつり	8月5日(日)
オールタイムランみかも 2012	10月21日(日)
お客様感謝祭	11月10日(土)・11日(日)
みかも山ウオーク	11月23日(金)

(3) 視察の受入：5団体

団体名	視察日	視察目的
藤岡小学校3年生	6月1日(金)	社会科見学
赤麻小学校3年生	6月12日(火)	施設見学
三鴨小学校3年生	7月6日(金)	社会科見学
道の駅ほっとぱーく・浅科	11月27日(火)	先進地視察
「人の駅・川の駅・道の駅」協議会	12月14日(金)	先進地視察

商工観光担当

1 商業振興

商工団体の育成及び助成

商工会、法人会、たばこ組合等の諸事業に助成を行った。

(単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
藤岡町商工会育成事業補助金	37,814,551	4,800,000	商工会事業助成
(社) 栃木法人会藤岡地区育成事業補助金	799,272	56,000	法人会事業助成
藤岡町たばこ小売人組合補助金	300,000	24,000	未成年者喫煙防止対策等への補助
合 計	38,913,823	4,880,000	

2 制度融資

経営安定関連保証(セーフティネット保証)認定状況

(中小企業信用保険法第2条第4項第1～8号)

保険法	適用事項	平成24年度	平成23年度	平成22年度
第1号	再生手続申立等関係	—	—	—
第2号	事業活動の制限関係	—	—	—
第3号	地域・業種関係	—	—	—

第4号	地域関係	—	—	—
第5号	業種関係	9	27	60
第6号	破綻金融機関関係	—	—	—
第7号	金融機関経営合理化関係	—	—	—
第8号	RCC譲渡関係	—	—	—
計		9	27	60

### 3 観光振興宣伝事業

藤岡地域は、四季折々の風景に富んだ広大な渡良瀬遊水地にあるウォータースポーツのメッカとして定着した谷中湖、万葉集に詠まれ自然景観に優れた三轟山を活用したみかも山公園、県内有数のサツマイモの産地など豊かな自然に恵まれている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を配布するとともに、各種観光キャンペーンを実施し、更に、渡良瀬遊水地の自然の魅力を発見し、紹介することを目的にフォトコンテストを行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

#### (1) 広域観光推進事業

広域観光の充実を図るために、3市3町（栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町）による下都賀地区広域観光開発推進協議会の事業を実施した。

観光キャンペーンへの参加

「やすらぎの栃木路」フェア

- ・実施日 9月25日(火)
- ・場 所 新宿駅西口

### 4 観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、次の行事を実施した。

#### (1) 第18回藤岡さくらまつり

- ・実施日 4月7日(土)～8日(日)
- ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
- ・主 催 藤岡町観光協会
- ・後 援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合ほか
- ・動 員 数 16,200人

#### (2) 渡良瀬バルーンレース2012

- ・実施日 4月6日(金)～8日(日)
- ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
- ・主 催 渡良瀬バルーンレース実行委員会
- ・後 援 栃木市、国土交通省、(財)日本航空協会、栃木県ほか
- ・動 員 数 108,000人

#### (3) Eボートレース2012渡良瀬大会

- ・実施日 8月18日(土)
- ・場 所 谷中湖(北ブロック)
- ・主 催 Eボートレース渡良瀬大会実行委員会

- ・後 援 国土交通省、小山市、古河市、野木町
  - ・参加者 445人
- (4) わたらせスカイスポーツ体験フェスタ
- ・実施日 10月6日(土)
  - ・場 所 スカイフィールドわたらせ(渡良瀬遊水地内)
  - ・主 催 栃木市
  - ・協 力 渡良瀬遊水地スカイスポーツ協議会
  - ・参加者 11組26名
- (5) 第13回よさこい藤岡パレード
- ・実施日 11月25日(日)
  - ・場 所 足利銀行藤岡支店～藤岡小学校校庭
  - ・主 催 よさこい藤岡運営委員会
  - ・後 援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合、栃木市観光協会ほか
  - ・参加者 697人(60団体)
- (6) 第13回渡良瀬遊水地フォトコンテスト
- ・主 催 渡良瀬遊水地フォトコンテスト実行委員会
  - ・協 賛 (株)フジカラープロフォトセンターほか
  - ・後 援 下野新聞社ほか
  - ・賛 助 (社)関東建設弘済会
  - ・応募総数 677点
  - ・入賞作品 最優秀賞1点、ラムサール特選賞1点、優秀賞2点、準優秀賞3点、  
入選8点、特別賞8点、佳作30点
  - ・展示会場 藤岡スポーツふれあいセンターほか

## 第 6 節 都市建設課

### 〔総括概要〕

都市建設課の主な分掌事務は、道路、橋りょう、河川水路及び公園の管理、整備、災害復旧、占用許可等に関する事務、市営住宅等の管理に関する事務、街路事業及び土地区画整理事業の施行に関する事務である。

公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、直営による早急な対応を実施したほか、常に安全で快適な道路の通行を確保するため、道路維持補修業務委託を藤岡地域全域において実施した。また、東北自動車道と交差する後藤架道橋のコンクリート片のはく落防止のため、補修工事の業務委託を実施した。

河川管理については、堆積土砂の浚渫や除草のほか、洪水災害に備えるための樋管操作業務委託を実施した。また、自治会等における道路・水路の清掃などの愛護活動を支援することで、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

公園管理については、藤岡地域内 25 か所の公園を安全で快適に利用できるよう公園の清掃、除草、遊具等の施設管理を行った。

市営住宅管理については、昭和 31 年度から昭和 57 年度にかけて建設した市営住宅 85 戸の建物等を良好な状態に維持するため、小破修繕工事等を実施した。

土地区画整理事業としては、藤岡町荒立北土地区画整理事業において、換地計画・設計、認可申請手続き等を経て、平成24年11月9日付けで換地処分公告となり、年内に登記が完了となった。

道路整備事業については、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保に資するため、藤岡町赤麻地内市道 F 3-39 号線をはじめ 5 か所の道路改良工事や、歩行者、自転車の安全を確保するため、藤岡町甲地内市道 F 32 号線ほか 1 か所の交通安全施設整備工事及び老朽化した舗装を修繕するため、藤岡町赤麻地内市道 F 6 号線ほか 3 か所の舗裝修繕工事、道路排水を円滑に処理するため、藤岡町大前地内市道 F 3-69 号線の側溝新設工事を実施した。

このほか地域の生活道路として、安全と円滑な通行を確保するため、藤岡町大田和地内市道 F 1-98 号線ほか 3 か所の測量設計業務を実施するとともに、藤岡町富吉・蛭沼地内市道 F 6 号線ほか 5 路線の道路事業の用地取得を行った。

### 管理担当

#### 1 道路占用許可関係 (単位:件)

申 請 内 容	件 数
市道道路占用許可申請	70
占用廃止届	6

計	76
---	----

2 各種申請・手続関係 (単位：件)

内 容	件 数
境界確認願	45
切絵図謄本交付・閲覧等申請	70
市有財産用途廃止申請	3
法定外公共物使用許可申請等	14
道路工事施工承認申請	7
放流同意申請書（道路・河川）	13
計	152

3 道路管理関係

(1) 道路維持管理業務委託 (単位：円)

委 託 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額
	町 名	路 線 名		
占用堤防除草業務	藤岡地域全域		除草業務	3,570,000
市道除草業務	藤岡町大田和ほか	F1-171号線ほか	除草業務	2,144,360
植栽剪定業務	藤岡町下宮ほか	F5-41号線ほか	植栽剪定	168,858
水路等清掃業務	藤岡町藤岡ほか	F5-78号線ほか	清掃業務	1,509,178
道路維持補修業務等	藤岡地域全域		道路維持補修等	4,999,600
計				12,391,996

(2) 橋りょう補修業務委託 (単位：円)

委 託 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額
	町 名	路 線 名 等		
橋りょう補修業務	藤岡町都賀	F2号線 後藤架道橋	橋りょう補修 (繰越)	17,539,767

(3) 河川・水路管理業務委託 (単位：円)

委 託 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額
	町 名	河 川 名 等		
樋管操作業務	藤岡町藤岡ほか	篠山第一樋管ほか	樋管操作	1,760,053

(4) 工事前用原材料 (単位：円)

材 料 名	単 位	数 量	金 額
常温合材	t	103.1	1,626,450
切込碎石・川砂	m <sup>3</sup>	199	375,165
側溝蓋	枚	270	407,663
乳 剤	ℓ	3,930	515,814
その他市道補修用資材			235,893

計	3,160,985
---	-----------

#### 4 都市公園等管理関係

##### (1) 施設の維持補修 (単位：円)

補 修 内 容	金 額
遊具修繕（松葉・大崎児童公園 ほか）	613,725
トイレ、照明灯等修理（都賀児童公園 ほか）	209,265
計	822,990

##### (2) 業務委託 (単位：円)

業 務 名	公 園 名	金 額
公園管理業務 (清掃、除草、施設の管理保全)	大田和ふれあい公園、蛭沼ふれあい公園、都賀ふれあい公園、新波ふれあい公園、部屋ふれあい公園、太田ふれあい公園	1,020,000
	松葉児童公園、荒立児童公園、リーベタウン公園、東原公園、都賀児童公園、西前原公園	792,000
	部屋南部桜つつみ公園	250,000
植栽剪定業務	新町児童公園 ほか	1,183,460
除草等業務	部屋南部桜つつみ公園 ほか	2,719,050
公園遊具保守点検業務	大田和ふれあい公園 ほか	90,090
水路浚渫業務	渡良瀬緑地	493,500
遊具塗装業務等	新波ふれあい公園 ほか	278,780
計		6,826,880

##### (3) 公園敷地借上（管理業務委託を含む） (単位：円)

公 園 名	金 額
新町児童公園、上町児童公園、大崎児童公園、江川児童公園、底谷児童公園	850,000

##### (4) 各種許可申請及び届出 (単位：件)

内 容	件 数
公園内における行為の許可申請	2
占用許可申請	2

#### 5 公営住宅管理関係

##### (1) 市営住宅管理戸数 (単位：戸)

種別構造 団地名	木 造 平屋建	簡 易 耐 火 平屋建	計
	藤岡都賀市営住宅	-	4
藤岡荒立市営住宅	-	40	40

藤岡南山市営住宅	25	4	29
藤岡仲町市営住宅	4	8	12
計	29	56	85
退去戸数	4		
入居戸数	-		

(2) 市営住宅維持管理費

- ・市営住宅4団地の小破修繕工事 14件 587,360円
- ・除草等業務委託 3件 246,730円

都市建設担当

1 土地区画整理事業関係

藤岡町荒立北土地区画整理事業

(1) 事業概要

- ・面積 10.9ha
- ・組合員数 宅地所有者 99人
- ・事業期間 平成8年度（平成8年7月30日）～平成26年度
- ・総事業費 901,339千円
- ・減歩率 35.67%（公共21.66%、保留地14.01%）
- ・計画人口 1,000人（90人／ha）

(2) 事業経過

- ・組合設立許可 平成8年7月1日（公告日 平成8年7月30日）
- ・仮換地指定年月日 平成10年10月5日
- ・換地処分の公告日 平成24年11月9日

2 道路工事関係

(1) 道路改良工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町赤麻	F3-39号線	157.5	5.0	-	7,381,500	
藤岡町赤麻	F3-61号線	108.5	6.0	-	15,462,300	繰越
藤岡町甲	F1-15号線	233.6	5.0	-	12,127,500	繰越
藤岡町太田	F2-13号線	200.7	5.0	-	14,805,000	繰越
藤岡町藤岡	F5-24号線	141.4	-	流末整備	4,756,500	繰越
計					54,532,800	

(2) 交通安全施設整備工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		

藤岡町甲	F32号線	112.5	2.5	—	33,390,000	繰越
藤岡町藤岡	F12号線	378.5	1.3~2.5	—	18,753,000	繰越
計					52,143,000	

(3) 舗装修繕工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町赤麻	F6号線	211.0	7.35	—	8,337,000	
藤岡町赤麻	F3-74号線	460.0	3.8	—	4,630,500	
藤岡町藤岡	F5-162号線	141.6	2.7	—	3,129,000	
藤岡町藤岡	F14号線	76.0	3.5	—	1,102,500	
計					17,199,000	

(4) 側溝新設工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町大前	F3-69号線	78.2	4.1~4.6	—	3,465,000	

3 業務委託関係

道路整備事業業務委託

業務名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	町名	路線名			
測量設計	藤岡町赤麻	F6号線	測量・詳細設計	1,470,000	
測量設計	藤岡町太田	F21・1-120号線	測量・詳細設計	3,307,500	
測量設計	藤岡町大田和	F1-98号線	測量・詳細設計	2,467,500	
測量設計	藤岡町大田和	F12号線	測量・詳細設計	4,095,000	
計				11,340,000	

4 用地取得関係

用地取得箇所		用地 (筆)	補償 (件)	金額(円)	備考
町名	路線名				
藤岡町富吉・蛭沼	F6号線	17	—	12,182,451	
藤岡町甲	F1-15号線	12	5	3,743,040	
藤岡町都賀	F1-65号線	4	3	4,394,024	
藤岡町大田和	F1-105号線	1	1	1,765,420	
藤岡町太田	F2-13号線	14	7	5,594,438	
藤岡町藤岡	F5-24号線	1	—	223,041	
計				27,902,414	

## 5 登記関係

(単位：筆)

内 容	筆 数
分 筆 (代 位)	102
地 積 更 正 (代 位)	24
名義人表示変更・更正 (代 位)	7
相 続 (代 位)	1
所 有 権 移 転	51
計	185

# 第 1 1 章 都賀総合支所

## 第 1 節 地域まちづくり課

### 〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会関係、広報広聴関係、自治会関係、消防防災関係、自衛官募集関係、契約業務関係、庁舎・自動車・パソコン等の管理関係である。

地域協議会関係については、地域の意見を市政に反映させるために毎月1回開催した。また、新設された地域協議会研究会の事務局として、市内施設の視察研修等の支援を行った。

広報広聴関係については、広報紙等の各戸配付物及び班内回覧物を、月2回、自治会長宅への送付を行うとともに、市民参加のまちづくりを推進するため、市民から直接意見や提案を聴く、まちづくり懇談会ふれあいトークを開催した。

自治会関係については、都賀町自治会長会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

消防防災関係については、夏季点検及び防災訓練などの実施並びに非常食等の災害時用備蓄品の補充を行い、消防防災体制の万全を図った。

自衛官募集関係については、防衛省自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所と協力し、自衛官募集や自衛隊父兄会に関する事務を行った。

契約業務関係については、建設工事、業務委託及び物品購入について、指名業者の選考、入札、契約等に関する事務を一元的に行い、入札・契約事務の透明性の向上や、公正な競争の促進を図った。

庁舎・共用車・パソコン等の管理関係については、適正な維持管理に努め更なる利便性の向上を図った。

### 地域自治担当

#### 1 地域協議会関係

地域自治区制度による都賀町地域協議会は、15人の委員により下記の内容で実施した。

##### (1) 委員（任期 平成 25 年 3 月 31 日まで）

区分	No.	氏名	備考
1号委員	1	渡邊 政徳	都賀町自治会長会
	2	森田 好枝	都賀町女性団体連絡協議会
	3	日向野 孝夫	都賀町商工会
	4	糸谷 一郎	下野農業協同組合
	5	舘野 和男	栃木市社会福祉協議会
	6	山田 加代子	都賀地区民生委員児童委員協議会

	7	栃木 孝夫	栃木市PTA連合会
	8	千葉 康智	栃木市体育協会
	9	飯島 マサ子	都賀町農村生活研究グループ協議会
2号委員	10	安生 孝章	学識経験を有する者
	11	氏家 弘道	
	12	根本 勤	
3号委員	13	金山 ヒデ子	公募に応じた者
	14	石本 俊光	
	15	田中 洋一	

(2) 開催内容

回数	開催日時、場所	内 容
第1回	4月27日(金) 13時00分～ 都賀総合支所第3会議室	報告事項等 ・第4回広報とちぎ紙面検討委員会の結果について ・栃木市上下水道事業調査委員会委員の選出について
第2回	5月25日(金) 13時30分～ 都賀総合支所第3会議室	意見聴取事項 ・使用料の改定について ・栃木市道路整備基本計画(素案)について 報告事項等 ・栃木市地域自治制度検討委員会について ・栃木市建築物耐震改修促進計画の策定について ・栃木市図書館基本計画の策定について ・栃木市図書館の開館時間・休館日の変更の試行について ・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画の策定について ・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会委員の推薦について ・栃木市教育計画検討委員会委員の推薦について ・第2回栃木市地域協議会連絡会及び地域協議会研究会の報告
第3回	6月29日(金) 13時30分～ 都賀総合支所第3会議室	意見聴取事項 ・栃木市総合計画基本構想(素案)について 報告事項等 ・広報とちぎの見直しについて ・栃木市都市計画マスタープランの策定について ・栃木市景観計画の策定について ・栃木市総合計画基本構想「都賀地域の姿」について ・栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検

		<p>討委員会委員の推薦について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回栃木市・岩舟町合併協議会の報告</li> <li>・第2回都賀町地域協議会質問事項についての回答</li> <li>・域協議会研究会各部署の報告</li> </ul>
第4回	<p>7月27日（金） 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室</p>	<p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市都市交通マスタープランの策定について</li> <li>・ふれあいバス（コミュニティバス）の利用実績及び金崎線・真名子線の試行運行内容の見直しについて</li> <li>・栃木市総合計画基本構想「都賀地域の姿」について</li> <li>・第4回栃木市総合計画策定懇談会の報告</li> <li>・第1回栃木市上下水道料金調査委員会の報告</li> <li>・第1回栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会の報告</li> <li>・地域協議会研究会各部署の報告</li> </ul>
第5回	<p>8月24日（金） 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室</p>	<p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市役所新市庁舎の整備について</li> <li>・栃木市橋梁長寿命化修繕計画の策定について</li> <li>・小中学校施設の耐震化について</li> <li>・意見書について</li> <li>・とちぎ市民活動推進センターくららについて</li> <li>・第6回栃木市・岩舟町合併協議会の報告</li> <li>・第1回・第2回教育計画検討委員会の報告</li> <li>・第2回環境基本計画策定委員会の報告</li> <li>・地域自治交流会について</li> <li>・地域自慢（地域資源）の発表について</li> </ul>
第6回	<p>9月27日（木） 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市図書館計画（案）について</li> <li>・栃木市総合計画基本構想（素案）・基本計画（骨子案）について</li> <li>・栃木市ブランド推進事業について</li> </ul> <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市文化振興基本計画の策定について</li> <li>・栃木市斎場再整備事業について</li> <li>・施設見学について</li> <li>・栃木市斎場再整備検討委員会委員の推薦について</li> <li>・第3・4回栃木市教育検討委員会の報告</li> <li>・第2回栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会の報告</li> </ul>

<p>第7回</p>	<p>10月26日（金） 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室</p>	<p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市地域防災計画・水防計画・国民保護計画の策定について</li> <li>・ 第1回栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会の報告</li> <li>・ 第4回栃木市環境基本計画策定委員会の報告</li> <li>・ 第5回栃木市総合計画策定懇談会の報告</li> <li>・ 第2回栃木市上下水道事業調査委員会の報告</li> <li>・ 地域協議会委員視察研修について</li> </ul>
<p>第8回</p>	<p>11月21日（水） 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の制定について</li> <li>・ 栃木市教育計画（案）について</li> </ul> <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第5回栃木市環境基本計画策定委員会の報告</li> <li>・ 第6回栃木市総合計画策定懇談会の報告</li> <li>・ 第3回栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会の報告</li> <li>・ 第1回栃木市斎場再整備検討委員会の報告</li> </ul>
<p>第9回</p>	<p>12月20日（木） 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市保育所整備基本計画（案）について</li> </ul> <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回栃木市斎場再整備検討委員会の報告</li> <li>・ 第2回栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会の報告</li> <li>・ 第4回栃木市地域自治区地域協議会連絡会の報告</li> </ul>
<p>第10回</p>	<p>1月25日（金） 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織機構の見直しについて[非公開]</li> <li>・ 栃木市住生活基本計画（素案）及び栃木市公営住宅等長寿命化計画（素案）について</li> <li>・ 栃木市地域防災計画・水防計画・国民保護計画について</li> <li>・ 栃木市環境基本計画（案）について</li> </ul> <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料の改定について</li> <li>・ 第3回栃木市斎場再整備検討委員会の報告</li> <li>・ 第5回栃木市教育計画検討委員会の報告</li> </ul>

<p>第11回</p>	<p>2月22日（金） 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全ボランティア活動補助金の見直しについて</li> </ul> <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいバス（コミュニティバス）の利用実績及び金崎線の試行運行内容の見直しについて</li> <li>・栃木市斎場再整備基本構想（案）について</li> <li>・栃木市道路整備基本計画について</li> <li>・栃木市教育計画（案）についての意見に対する回答について</li> <li>・組織機構の見直しについての意見に対する回答について</li> <li>・第3回栃木市上下水道事業調査委員会の報告</li> <li>・第4回栃木市斎場再整備検討委員会の報告</li> <li>・第5回広報とちぎ紙面検討委員会の報告</li> <li>・平成25年度地域協議会の開催日について</li> </ul>
<p>第12回</p>	<p>3月21日（木） 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市都市交通マスタープラン(案)について</li> <li>・指定管理者制度の導入について</li> </ul> <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務一元化の状況について</li> <li>・合併時に「合併後再編」としている事務事業の調整状況について</li> <li>・地域協議会へ意見を聴く事務事業（Aランク）について</li> <li>・都賀町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答について</li> <li>・平成23年度に地域協議会等から提出された意見書に対する市の対応状況について</li> <li>・学校安全ボランティア活動補助金の見直しについての意見に対する回答について</li> <li>・第5回栃木市斎場再整備検討委員会の報告</li> </ul>

(3) 地域協議会だよりの発行

地域協議会の協議内容を市民にお知らせするため、都賀地域の話題も交えた「地域協議会だより」を発行した。

- ・発行号数 第8号（8月）、第9号（10月）、第10号（11月）、第11号（1月）、第12号（3月）
- ・体裁 A3版 両面刷り 第9号より業者委託（カラー）
- ・発行部数 各4,000部

## 2 広報関係

自治会配布物を、自治会長等を通して各戸配布及び班内回覧を行った。

・月2回 全24回

## 3 広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見や提案などを聴き、市民の声を今後の市政に活かす目的で実施した。

(単位：人)

回数	実施日	開催場所	事前質問数	フリートーク数	参加者数
1	7月2日(月)	合戦場小学校体育館	7	4	36
2	7月9日(月)	都賀公民館講堂		5	41
3	7月12日(木)	都賀公民館講堂		15	49
合 計			7	24	126
			31		

## 4 総合支所会議

総合支所次長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

・開催回数 14回

・内 容 審議事項 10件  
報告事項 11件  
連絡事項 125件

### 総務担当

## 1 自治会関係

自治会については、都賀町自治会長会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

### (1) 自治会活動の推進

#### ア 単位自治会の把握

##### (ア) 自治会役員名簿

次年度役員名簿（自治会長、公民館長等）の取りまとめ

・受付期間 平成25年3月～4月

・対象自治会 30自治会

##### (イ) 班数、世帯数の把握

次年度各自自治会の班数、世帯数の取りまとめ

・受付期間 平成25年3月～4月

・対象自治会 30自治会

イ 事務用品の配付

- ・配付日 1月30日(水)
- ・配付数 23種類

(2) 都賀町自治会長会(事務局)

ア 組織構成

(ア) 組織

- ・単位自治会 30自治会

(イ) 役員

- ・会長1人、副会長3人、監事2人(総会で選出、任期1年)

イ 会議

(ア) 第1回会議

- ・実施日 4月10日(火)
- ・内容 役員を選出、事業計画及び予算について

(イ) 役員会

- ・実施日 12月3日(月)
- ・内容 事業費及び西方町との交流について

(ウ) 役員会

- ・実施日 3月25日(月)
- ・内容 事業及び決算報告について

(エ) 第2回会議

- ・実施日 3月25日(月)
- ・内容 事業及び決算報告について

ウ 主な事業

(ア) 自治会長等視察研修

- ・実施日 9月28日(金)
- ・場所 長野市松代地区・NPO法人「松代のまちと心を育てる会」
- ・出席者 自治会長等14人

(イ) 栃木市自治会連絡協議会関係

会長が正副会長会議(3回)に、役員4人が理事会(5回)、市長懇談会に出席

2 文書発送

後納郵便発送件数 73,774件

3 消防関係

(1) 配置人員

都賀方面隊

(( )の数字は内数 単位:人)

分団別	階級		副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
	定員										
本部分団	定員	1	(1)	2	-	-	-	-	-	-	3

	実 員	1	(1)	2	-	-	-	-	-	3
第1分団	定 員	-	-	-	1	1	2	4	22	30
	実 員	-	-	-	1	1	2	4	22	30
第2分団	定 員	-	-	-	1	1	1	2	14	19
	実 員	-	-	-	1	1	1	2	14	19
第3分団	定 員	-	-	-	1	1	1	2	14	19
	実 員	-	-	-	1	1	1	2	14	19
第4分団	定 員	-	-	-	1	1	2	4	22	30
	実 員	-	-	-	1	1	2	4	22	30
合 計	定 員	1	(1)	2	4	4	6	12	72	101
	実 員	1	(1)	2	4	4	6	12	72	101

(2) 消防車等の態勢  
都賀方面隊

区分 分団・部		種 別	車 名	年 式
本部分団		指 令 車	ト ヨ タ	平成 7 年
第 1 分団	第 1 部	小型動力ポンプ	ラビット	平成 11 年
			ト ヨ タ	平成 11 年
	第 2 部	普通ポンプ車	い す ゞ	平成 15 年
第 2 分団		普通ポンプ車	い す ゞ	平成 7 年
第 3 分団		普通ポンプ車	い す ゞ	平成 10 年
第 4 分団	第 1 部	普通ポンプ車	い す ゞ	平成 14 年
	第 2 部	小型動力ポンプ	ラビット	平成 11 年
ト ヨ タ			平成 11 年	

(3) 都賀方面隊の活動状況

ア 夏季点検の実施

消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。

- ・実施日 7月15日（日）
- ・会 場 都賀市民運動場

イ 操法大会の実施

消防団員の消防技術の向上を図ることを目的とし、操法大会を実施した。

- ・実施日 7月22日（日）
- ・会 場 都賀市民運動場

(4) 都賀方面隊役員会

開催日	場 所
4月20日（金）	都賀総合支所 別館大会議室

6月7日(木)	都賀総合支所 別館大会議室
10月1日(月)	都賀総合支所 別館大会議室
10月9日(火)	都賀総合支所 別館大会議室
11月5日(月)	都賀総合支所 別館大会議室
1月24日(木)	都賀総合支所 別館大会議室
3月7日(木)	都賀総合支所 別館大会議室

(5) 各種団体の運営支援

栃木市都賀婦人防火クラブの事務局として、運営の支援を行った。

4 防災関係

(1) 防災訓練の実施

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化並びに職員の災害応急対策の迅速化を図ることを目的とし、防災訓練を実施した。

- ・実施日 3月3日(日)
- ・会場 赤津小学校
- ・参加団体 桜内自治会、木の北自治会、臼久保自治会、大橋自治会、富張自治会  
陸上自衛隊第12特科隊、栃木県消防防災航空隊、市消防署、  
市消防団都賀方面隊、栃木警察署
- ・参加人数 310人

(2) 防災備蓄倉庫

設 置	位 置
防災倉庫	都賀町原宿573

(3) 主な各種災害時用備蓄品等内訳

項 目	備 蓄 数
非 常 食	900食
非常用飲料水	240本
毛 布	167枚

5 自衛官募集事務関係

(1) 自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部との連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

- ・入隊者数 1人

(2) 自衛隊父兄会

都賀町自衛隊父兄会の事務局として、父兄会活動を支援した。

理財担当

1 支所庁舎内の業務委託

業 務 名	委託金額（円）
都賀総合支所庁舎清掃等業務委託	473,021
その他業務委託件数 8件	1,196,850

2 支所庁舎内の修繕工事等

工 事 名	工事金額（円）
都賀総合支所屋上防水修繕工事	861,000
その他修繕工事件数 3件	233,100

3 共用車管理状況

区 分	数 量（台）
普通乗合（大型バス 50人）	1
普通乗合（中型バス 25人）	1
普通乗用	2
小型乗用	3
軽乗用	2
普通貨物	1
小型貨物	3
軽貨物	1

4 契約件数

原則として、都賀総合支所発注の130万円以上の建設工事、50万円以上の工事関連業務委託及び総額80万円以上の建設資材・物品の購入について、予定価格3,000万円未満の案件の入札を執行した。

（単位：件）

入 札 内 容	一般競争入札	指名競争入札	計
建 設 工 事	10	5	15
工事関連業務委託	—	17	17
物品購入（建設資材含む）	—	—	—
印 刷 物	—	—	—
計	10	22	32

5 見積合せ件数

3万円以上50万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

- ・件数 8件

6 建設工事等請負者選考委員会

建設工事等及び物品購入に係る指名競争入札指名業者選考及び条件付き一般競争入札により施行する入札参加資格要件の設定について審議した。

- ・開催回数 9回
- ・審議件数 32件

7 入札・契約制度の適切な運用

市の入札制度の適切な運用に務めると共に、地域に配慮した制度運用を図り、入札問題等の発生防止に努めた。

8 パソコンの整備状況

区 分	課 名	パソコン (台)
区長、支所次長		2
都賀総合支所	地域まちづくり課	38
	税務課	10
	生活環境課	13
	健康福祉課	21
	産業振興課	10
	都市建設課	7
都賀教育支所		14
その他		4
合 計		119

9 電算処理業務の委託契約

名 称	業 務 名
(株)TKC	電算システムにかかる業務委託料

10 行政財産使用料

区 分	件数 (件)	数 量	収入金額 (円)
庁舎1階廊下 (販売)	32	延べ102 m <sup>2</sup>	3,200
東京電力(株) (電柱)	1	10 本	15,000
東日本電信電話(株) (電柱)	1	1 本	1,500

シルバー人材センター都賀 事業所（バス車庫2階等）	1	200.44 m <sup>2</sup>	60,000
合 計	35		79,700

11 普通財産の管理等に関する事務

普通財産の貸付

区 分	件数（件）	面積（m <sup>2</sup> ）	収入金額（円）
市有地（都賀地域）	3	3088.03	609,636
自動販売機設置（土地）	9	—	3,590,194
自動販売機設置（建物）	4	—	735,661
合 計	16	3088.03	4,935,491

## 第2節 税務課

### 〔総括概要〕

我が国の経済は、東日本大震災からの復興需要等が一部に見えたものの、世界経済の減速、領土問題や円高による輸出減等の影響により、景気は弱い動きとなっていた。しかし、年が明けてからは、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大を目指す日本経済再生に向けた緊急経済対策が実施され、株価の上昇や円高の是正等景気回復に明るい兆しが見え始めているが、まだ確かな動きとは感じられず不透明な状況にある。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあるが、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。

また、保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

資産税関係では、巡回調査を行い、新增築・滅失家屋や土地の現況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等の申告指導を実施した。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取組として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室と協働での滞納整理や差押処分を行うなど、税収確保に向けた取組を展開した。

市民税担当

1 諸証明等の交付（都賀地域分）（単位：件）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	1,987	122	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税、所得及びその他の証明 1件につき200円</li> <li>・土地及び建物の評価証明 1件につき200円</li> </ul> ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用家屋証明 1件につき1,300円</li> </ul>
公簿閲覧	320	33	
計	2,307	155	

2 市民税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の業務については、本庁市民税課に一括して掲載。

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

収税担当

1 差押（参加差押含む）（上段：市全体/下段：都賀地域）（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年度末
不 動 産	160	2	5	157
	4	-	-	4
自 動 車	5	5	2	8
	-	-	-	-
電話加入権	7	-	-	7
	-	-	-	-
債権その他	120	402	311	211
	12	1	3	10
計	292	409	318	383
	16	1	3	14

※年度当初件数には、地方税法第48条による県からの引継ぎ件数も含む

2 交付要求（上段：市全体/下段：都賀地域）（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
124	96	133	87
15	2	0	17

3 催告書発送及び納付状況（上段：市全体/下段：都賀地域）

月 日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月13日（金）	1,731	1,270	24,372,308
	143	—	—
6月22日（金）	4,946	1,593	23,667,546
	389	—	—
10月26日（金）	4,047	1,445	28,770,803
	379	—	—
1月25日（金）	2,345	1,535	28,610,590
	225	—	—
計	13,069	5,843	105,421,247
	1,136	—	—

4 休日納税相談窓口（上段：市全体/下段：都賀地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 日	納付件数(件)	納 付 額（円）
第1回	4月21日（土）	36	945,500
		8	79,000
第2回	7月 1日（日）	32	1,097,530
		9	262,000
第3回	11月 4日（日）	28	1,202,400
		—	—
第4回	2月 3日（日）	90	2,197,200
		20	217,600
計		186	5,442,630
		37	558,600

5 市税等収納員による徴収事業〔上段：市全体/下段：都賀地域（西方地域を含む）〕

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
7,484	213,277,172	53	3,832
1,043	34,471,201	5	646

6 市税等徴収強化事業（上段：市全体／下段：都賀地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間 12月 7日（金）～25日（火）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
1,566	126	3,061,770
211	36	808,570

### 第3節 生活環境課

#### 〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次の業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付審査、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

また、平成22年10月から県の権限移譲を受けている、一般旅券の発給申請受付・交付事務を行った。

国民健康保険事業については、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業については、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業については、市民の保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障がい者、こども（中学校3年生まで）、妊産婦及びひとり親家庭に対して医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図るため保険適用外治療費の一部を助成した。

国民年金事業については、法定受託事務として各種届出の受理・進達を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

生活環境交通関係では、大気、水、騒音、におい等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化及び資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、不法投棄監視員による不法投棄の監視、不法投棄ごみの回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のための市民意識の啓発推進に努めた。

交通安全については、市民総ぐるみ運動をはじめとして、カーブミラーの設置や交通安全運動を強力に推進するとともに、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯については、防犯灯の設置や防犯活動等に関する各種事務事業を実施した。

女性青少年事業については、男女共同参画社会の実現への意識づくりを図るため、都賀町女性団体連絡協議会の活動支援に努めた。

青少年行政事業については、都賀町のこどもを育む会が健全育成と社会参加の促進を目的として、学校、警察、PTAなどの関係機関・団体と連携しながら活動を行った。

住民担当

1 戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数 196件（出生76件、婚姻22件、死亡30件等）

2 窓口事務

(1) 窓口届出処理件数

(単位：件)

処 理 事 項		件 数	処 理 事 項	件 数
戸籍届		196	死体埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	-
住民異動届		701		
計		897	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	-
印鑑	登 録	383		
	廃 止	294	死産届	1
計		677	計	1
			合 計	1,575

(2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件数(件)	金額 (円)	種 別		件数(件)	金額 (円)
戸 籍	全部事項証明	1,431	643,950	住 民 票	世帯全員	1,445	289,000
	個人事項証明	427	192,150		個 人	2,936	587,200
	除籍謄本	1,107	830,250		証 明	120	24,000
	除籍抄本	16	12,000		閲 覧	-	-
	戸籍証明	9	3,150		年金現況証明	-	-
	受理証明	21	7,350		戸籍の附票	112	22,400
	廃棄証明	-	-		公 用	36	-
	出産証明	-	-		広 域	2	400
	不受理証明	-	-		住基カード(有料)	5	2,500
	公 用	61	-		住基カード(無料)	3	-
	計	3,072	1,688,850		計	4,659	925,500
証 明 書	印鑑証明	3,996	799,200	そ の	印鑑登録	383	76,600
	諸証明	31	6,200		印鑑登録廃止	-	-
	身分証明	107	21,400		臨時運行許可証	222	166,500
	住居表示証明	-	-		労基証明	-	-
	公 用	27	-		人口統計	-	-

選挙証明	-	-	他	公的個人認証	8	4,000
計	4,161	826,800		計	613	247,100
合 計				12,505 件		3,688,250 円

(3) 斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種 類	区 分		件 数 (件)		金 額 (円)
斎 場	市 内	大 人	31	32	-
		小 人	-		
		死産児	1		
	市 外	大 人	-	-	-
		小 人	-		
		死産児	-		
	エ ナ		-	-	-
計			32	-	
霊きゅう車	往 路	市 内	31	139,500	
		市 外	-	-	
	帰 路	市 内	24	36,000	
		市 外	-	-	
計			55	175,500	
待 合 室	市 内	31	93,000		
	市 外	-	-		
計			31	93,000	
合 計			118	268,500	

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	処理件数
戸籍謄抄本等交付	11
住民票写し等交付	16
印鑑登録証明書交付	15
印鑑登録	5
戸籍届	-
住民異動届	3
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	-
臨時運行許可証交付	2
旅券の交付等	20
窓口及び電話による相談、問合わせ等	6
合 計	78

### 3 外国人登録事務

(1) 各種申請書受理件数 7月8日現在 (単位：件)

件名	件数	件名	件数
新規登録	22	居住地変更登録	25
確認申請	1	居住地以外の変更登録	56
再交付申請	-	合計	106
引替交付申請	2		

(2) 報告その他の事務取扱件数 7月8日現在 (単位：件)

件名	件数	件名	件数	
閉鎖	出国	6	登録原票送付	6
	死亡	-	登録原票送付請求	15
	日本国籍取得	-	公務所からの照会回答	7
	その他(上記以外によるもの)	-	合計	34

### 4 赤津郵便局証明発行委託件数 (単位：件)

種別	件数
戸籍謄抄本等交付	43
住民票写し等交付	100
印鑑登録証明書交付	115
合計	258

### 5 一般旅券申請・交付件数 (単位：件)

	申請	交付
4月	7	12
5月	16	9
6月	14	19
7月	12	12
8月	22	22
9月	5	11
10月	17	11
11月	17	13
12月	11	18
1月	13	14
2月	12	5

3月	2	9
合計	148	155

保険医療担当

1 国民健康保険の給付等に係る申請の受付に関すること

(1) 高額療養費の受付状況 (単位：件)

高額療養費受付件数	一般	445
	退職者	25
限度額適用認定証（標準負担額減額認定証を含む）		171

(2) 療養費の受付状況 (単位：件)

療養費受付件数	59
---------	----

(3) 出産育児一時金の受付状況 (単位：件)

出産育児一時金受付件数	1
-------------	---

(4) 葬祭費の受付状況 (単位：件)

葬祭費受付件数	18
---------	----

(5) 人間ドック検診の受付状況 (単位：件)

人間ドック受付件数	一般ドック	42
	脳ドック	9

(6) 医療費通知の発送状況

回数	対象月	件数(件)	発送月
1	平成23年12月・平成24年1月診療分	1,777	5月
2	平成24年2月・平成24年3月診療分	1,783	7月
3	平成24年4月・平成24年5月診療分	1,787	10月
4	平成24年6月・平成24年7月診療分	1,753	11月
5	平成24年8月・平成24年9月診療分	1,746	2月
6	平成24年10月・平成24年11月診療分	1,791	3月
計		10,637	

2 後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数 (単位：件)

申請書種類	件数
資格関係届出	169
高額療養費申請	143
その他の療養費申請	35
葬祭費申請	117
被保険者証明等再交付申請	57

合 計	521
-----	-----

3 医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

(1) 重度心身障がい者医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	46
-----------	----

(2) こども医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	315
-----------	-----

(3) 妊産婦医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	136
-----------	-----

(4) ひとり親家庭医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	26
-----------	----

4 不妊治療費補助金に関すること

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準として、その2分の1の額(10万円を限度に通算5回)を補助するための申請受付等を行った。

申請受付件数 (単位：件)

補助申請受付件数	4
----------	---

5 国民年金に係る申請等受付に関すること

(1) 諸届の受理件数 (単位：件)

種 別	件 数	種 別	件 数
新規取得届	76	転 入 届	36
新規取得申出	-	転 居 届	47
再取得届	180	氏名変更届	18
再取得申出	-	訂正・取消・不在	-
付加年金取得届	2	転 出 届	48
付加年金喪失届	1	法定免除該当届	7
資格喪失届	75	法定免除消滅届	1
資格喪失申出	-	手帳再交付届	8
死 亡 届	-	種別変更届	27
		計	526

(2) 免除申請受理件数 (単位：件)

種 類	件 数
免除・納付猶予申請	216

学生納付特例申請	64
----------	----

(3) 国民年金請求受理件数 (単位：件)

給付種類	件数
老齢基礎年金	14
障害基礎年金	4
遺族基礎年金	-
寡婦年金	-
死亡一時金	2
未支給年金	3
老齢福祉年金	-
計	23

(4) 月平均相談件数 (単位：件)

相談の内訳	件数
来訪相談	11
電話相談	3
文書相談	-
計	14

生活環境交通担当

1 環境基礎調査事業

地下水水質調査

都賀地内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 24 か所
- ・調査月日 11月20日(火) 3月11日(月)
- ・調査項目 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオン、有機物、pH値、臭気、味、色度、濁度、一般細菌、大腸菌、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、マンガン、鉛、カドミウム、ヒ素、六価クロム(17項目)

2 聖地公園墓所使用許可状況 (単位：区画)

種別及び面積	造成数	許可数
第1種 6m <sup>2</sup>	441	441
第2種 10m <sup>2</sup>	22	22
計	463	463

3 公害関係

(1) 大気関係

大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	-	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(2) 水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	3	2	1	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(3) 騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	-	-	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-	-

(4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	-	-	-	-	2
県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-	2

(5) その他

公害苦情受付件数 (単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
7	-	-	-	3	-	-	10

4 保健委員事業

保健委員会の協力を得て、美化キャンペーン等を実施した。

- ・先進地視察研修会を実施した。
- ・不法投棄監視及びごみ収集ステーションの管理をした。
- ・保健委員の委嘱状況 31人

5 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみは月1回、

資源物のうち、紙類は月2回、空カン・空ビンは月2回、ペットボトル・食品用トレイは月1回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、平日の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) ごみ収集搬入量 (単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
2,679.83	274.46	262.48	133.99	38.65	56.34	3,445.75

(2) もやすごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
21.94	2,255.77	399.88	2,677.59

(3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
0.61	232.50	31.19	264.3

(4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種類	直営	委託	直接搬入	合計
紙類	-	262.48	-	262.48
空カン・空ビン	-	133.64	0.35	133.99
ペットボトル・トレイ	-	38.46	0.19	38.65
合計	-	434.58	0.54	435.12

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	減免	合計
1.55	4.12	48.58	-	54.25

(6) 犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合計
2	37	59	98

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 (単位：kl)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合計
285.29	1,191.37	1,476.66

## 6 環境美化対策事業

### 環境美化キャンペーンの実施

全自治会一斉に市民が一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

- ・実施日 5月27日(日)
- ・場所 都賀地域内各地

- ・内 容 ごみ拾い
- ・参加人数 2,119人
- ・回収数量 1,329袋 627kg

## 7 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、不法投棄監視員により地域内の巡回パトロールを行った。

- ・地域別不法投棄物回収件数 (単位：件)

区分	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
計	13	9	5	35	3	13	78

(生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計)

## 8 狂犬病予防業務

- (1) 犬の登録 (単位：頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
69	85	1,026

- (2) 狂犬病予防注射

### ア 第1次集合注射

- ・実施期間 4月19日(木)、20日(金)
- ・実施会場 地域内 6会場
- ・実施数 300頭

### イ 第2次集合注射

- ・実施期間 10月20日(土)
- ・実施会場 地域内 3会場
- ・実施数 94頭

### ウ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 277頭

## 9 市民相談関係

市政に対する意見、要望、苦情を聴くとともに、国・県との相談機関と相互に協力して市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

### 各種相談

- ・市民相談 常時開設 相談件数 一件
- ・行政相談 常時開設 相談件数 一件

## 10 消費者行政の推進

消費者が安全で合理的な消費生活を送るために情報提供、相談業務や啓発事業を実施した。

## 11 交通関係

### (1) 交通安全運動等

#### ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出等  
・実施期間 4月6日（金）～15日（日）

#### イ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出等  
・実施期間 9月21日（金）～30日（日）

#### (7) 交通安全市民大会

・実施日 9月29日（土）

栃木文化会館にて小学生による作文発表、大会宣言などを行った。

#### ウ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙による広報、のぼり旗及び立看板掲出等  
・実施期間 12月11日（火）～31日（月）

### (2) 交通安全教室等の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であることにかんがみ、10月12日に行われた老人スポーツ大会において、交通安全〇×クイズを実施し参加した高齢者に対し交通安全に関する簡単な講話とクイズを出題し、交通安全の意識高揚に努めた。

### (3) 交通安全こども自転車大会

第41回交通安全こども自転車大会栃木地区大会

- ・実施日 6月14日（木）
- ・会場 壬生町総合運動公園体育館
- ・出場校 家中小学校（第6位）

### (4) カーブミラーの設置

新設8基、移設1基、撤去4基、鏡体交換5基、修繕1基

### (5) その他の交通安全対策

- ア 交通指導員の設置 4名委嘱（都賀地域）
- イ 合戦場駅、家中駅周辺を中心に都賀地域内の放置自転車の撤去を実施

## 12 防犯関係

防犯業務においては、防犯灯の設置及び防犯パトロールを実施した。

### (1) 防犯灯の設置 （単位：基）

区 分		設 置 灯 数
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	8
改修工事	移設、撤去、修理	15

(2) 防犯パトロール

地域の防犯のため、専用車を使用し、防犯パトロールを実施。特に小学校の下校の時間帯に合わせ都賀地域全域を15時から16時まで実施。

13 男女共同参画関係

(1) 男女共同参画啓発事業

- ・実施日 6月26日（火）
- ・内 容 フジマート都賀店にて「ポケットティッシュ」の配布を行った。

(2) 女性団体活動支援

都賀女性団体連絡協議会活動支援

- ・実施日 6月21日（木）
- ・内 容 視察研修
- ・場 所 茨城空港
- ・参加者 22人

14 青少年行政関係

(1) 青少年健全育成推進事業

都賀町のこどもを育む会（青少年育成市民会議）活動支援

ア 夏休みに都賀地内施設の夜間パトロールを行った。

- ・3回実施（7月、8月）
- ・巡回場所 18か所

イ 施設の環境浄化に努めるため、施設の立入調査を行った。

- ・1回実施（8月）
- ・立入場所3か所（有害図書類等設置施設）

ウ 子ども・若者育成支援強調月間（11月）に街頭啓発を行った。

- ・実施日 11月17日（土）
- ・内 容 イベント会場にて「花の種500個」配布

エ 都賀地域内小中学校の児童並びに生徒に対して、青少年健全育成に関する標語を募集し、優秀な作品については表彰を行った。

- ・応募総数 924点 最優秀作品1点 優秀作品16点

オ つがの里を拠点として「つがの里山ふれあい塾」を開設し、親子でふれあい、絆を育む里山体験を行った。

- ・年間4回実施（5月、6月、7月、3月）

## 第4節 健康福祉課

### 〔総括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当、こども担当（地域子育て支援センター及び保育園を含む）で編成されている。

福祉担当の主な分掌事務は、福祉に係る全般的窓口として、各種福祉サービスの申請及び手当等の支給や民生委員児童委員に関すること、日本赤十字に関すること、障がい福祉に関すること等である。

福祉全般にわたる相談を行い、相談者のニーズに合った福祉サービスが提供できるよう、きめ細やかな対応に努めた。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、配食サービス事業、いきいきサロン事業等を実施した。また、高齢者福祉関係として、軽度生活援助員派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当及び紙おむつ購入費助成等の介護予防や生活支援事業を実施した。さらに、介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため包括的支援事業等を実施した。また、高齢者ふれあい相談員が、ひとり暮らしや高齢世帯を定期的に訪問し、安否の確認等を実施した。

健康増進担当では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。さらに、各種がん検診、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診を実施した。また、女性特有のがん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん検診、乳がん検診の受診勧奨を図った。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としてのびのび相談等を実施した。健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談及び健康教育事業を実施した。つが健康づくり21推進事業では、関係団体と連携し重点取組に基づき健康づくりを推進した。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。また、幼稚園就園奨励費補助事業については、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターでは、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換を行い明るく楽しい子育ての支援に努めた。保育所では、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭で保育ができない保護者に代わり保育することにより、その心身の健全な発達、育成を図った。

## 福祉担当

### 1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員27人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

#### (1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
57	13	4	27	4	38
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
6	20	8	316	493	18.3

#### (2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
709	12	568	1,957	2,874	6,120	226.7

### 2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

#### (1) 日赤募金

目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
1,194,550	1,224,550	102.5

#### (2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	2世帯	5人	2枚	2組	1個

#### (3) 災害見舞金給付状況 (単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
2	-	-	-	-

#### (4) 講習会等

	実施回数(回)	参加者数(人)
健康生活支援講習	1	26
幼児安全法短期講習	1	24
救急法基礎講習	1	23

### 3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、栃木市社会福祉協議会に委託(指定管理)し、実施した。

- ・施設名 都賀地域活動支援センター

- ・所在地 都賀町家中2357
- ・開所日数 246日
- ・通所延べ人員 603人

#### 4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。(単位：人)

区 分		実施状況
交付者数		191
	うち高齢者(80歳以上)	120
	高齢者(65～79歳)	13
	障がい者	41
	腎臓機能障がい者	17

#### 5 身体障がい者の現況(身体障害者手帳交付状況) (単位：人)

障がい区分	手帳所持者数	平成24年度中交付者数
視覚障がい	28	-
聴覚・平衡障がい	62	1
音声・言語・そしゃく障がい	6	-
肢体不自由障がい	232	17
内部障がい	127	9
複合障がい	15	-
合 計	470	27

#### 6 知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数) (単位：人)

区 分	障がい児(18歳未満)		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	-	5	23	19	47
中度(B1)	2	2	11	9	24
軽度(B2)	3	4	8	3	18
合 計	5	11	42	31	89

#### 7 身体障がい者(児)の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者(児)の補装具交付及び修理 (単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	-	-	-	-	-	-
	義足	-	-	-	-	-	-

装 具	下 肢	3	1	4	-	-	-
	靴 型	-	-	-	-	-	-
	体 幹	-	-	-	-	-	-
	上 肢	-	-	-	-	1	1
座 位 保 持 装 置		1	4	5	-	1	1
盲 人 安 全 つ え		-	-	-	-	-	-
義 眼		-	-	-	-	-	-
眼 鏡	矯 正 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
	遮 光 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
	弱 視 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
補 聴 器	高度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	5	2	7	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	2	-	2	-	-	-
車いす	普 通 型	2	2	4	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-
電 動 車 い す		-	-	-	-	-	-
起 立 保 持 具		-	-	-	-	-	-
座 位 保 持 い す		-	-	-	-	-	-
歩 行 器		1	2	3	-	-	-
歩 行 補 助 つ え		-	-	-	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特 例 補 装 具		-	-	-	-	-	-
合 計		14	11	25	-	2	2

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	-	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す	-	-
入 浴 補 助 用 具	-	-
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	-	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	-	-
頭 部 保 護 帽	-	-

特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	-	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視 覚 障 が い 者 用 拡 大 読 書 器	-	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	1	-
点 字 図 書	-	-
ス ト マ 用 装 具	25	-
紙 お む つ	5	1
収 尿 器	1	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	-	-
合 計	32	1

8 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

（単位：件）

種 別	給付決定件数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	-
肢 体 不 自 由	-

心臓機能障がい	5
腎臓機能障がい	31
計	36

9 各種手当の状況 (単位：件)

種 別		給付決定件数
特定疾患介護手当		15
重度心身障がい児扶養手当		1
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	-
	障がい児福祉手当	2
	福祉手当（経過的）	-
特別児童扶養手当		1

10 障害者相談支援事業

都賀総合支所においては、健康福祉課の職員が直接障がい者の相談支援を行った。

11 身体障がい者等福祉関係

知的障がい者の自立更生について、1人の知的障がい者相談員が相談指導に当たった。

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（都賀地域4月1日現在）

区分	年度		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総人口(人)	13,539	13,527	13,479
65歳以上人口(人)	3,146	3,163	3,262
総人口に対する割合(%)	23.24	23.38	24.20

※外国人を含む人口

(2) 高齢者生活態様（都賀地域）（5～6月調査結果）

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		3,262	100
内 訳	独居	247	7.6
	高齢者世帯※ (世帯数)	564 (272)	17.3
	その他	2,451	75.1

※ 65歳以上のみで構成される世帯

## 2 敬老祝賀事業（都賀地域）

9月1日（基準日）において本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	93
90歳	20,000	46
95歳	30,000	12
100歳	100,000	6
101歳以上	50,000	4

## 3 敬老会事業（都賀地域）

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 31自治会等
- ・補助金額 1,133,000円

## 4 老人クラブ育成指導事業（都賀地域）

老人クラブ連合会都賀支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・単位老人クラブ数 23クラブ
- ・市老人クラブ連合会都賀支部会員数 811人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 本庁高齢福祉課で支払  
市連合会都賀支部助成 本庁高齢福祉課で支払

## 5 老人スポーツ大会（都賀地域）

老人クラブ連合会都賀支所主催（事務局：栃木市社会福祉協議会都賀支所）で老人スポーツ大会を開催した。個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

- ・実施日 10月12日（金）
- ・会場 都賀体育センター
- ・参加人員 408人

## 6 高齢者配食サービス事業（都賀地域）

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調

理困難な方

- ・ 宅配個数 2,091個
- ・ 宅配人数 31人（実人数）
- ・ 宅配業者
 

(株)金時給食センター	柳橋町6-29
(有)ききょう	吹上町1401
ワタミタクシヨク（株）	仲方町306-5
(社)スイートホーム	都賀町原宿1424-1

7 日常生活用具購入費助成事業（都賀地域）

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・ 日常生活用具購入費助成状況 （単位：件）

品 目	件 数
老人福祉車	24
小型暖房器具	-
電磁調理器	-
火災警報器	-
自動消火器	-

8 日常生活用具レンタル料助成事業（都賀地域）

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

- ・ 日常生活用具レンタル料助成状況 （単位：件）

品 目	件 数
電動小型吸引機	4
特殊寝台	1
じょく瘡予防用具	-

9 緊急通報装置設置事業（都賀地域）

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・ 設置状況 （単位：台）

既設置台数	平成 24 年度設置台数	平成 24 年度撤去台数	計
55	11	10	56

10 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業（都賀地域）

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
106	114	220

11 紙おむつ購入費助成事業（都賀地域）

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
116	114	230

12 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業（都賀地域）

- ・利用者数 -人
- ・延べ回数 -回（-時間）

(2) 軽度生活援助員派遣事業（都賀地域）

- ・利用者数 1人
- ・延べ利用時間数（単位：時間）

家事	-
除草	8
植木手入れ	-
大工	-

(3) 在宅高齢者短期入所事業（都賀地域）

- ・利用者数 -人
- ・延べ宿泊数 -日

13 都賀老人憩いの家白寿荘

都賀老人憩いの家白寿荘の清掃等管理業務を、栃木市シルバー人材センター（都賀支所）に委託して実施した。

・年度中利用者数（単位：人）

区分	年度		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者	1,745	1,508	1,408

- ・開館日数 239日
- ・利用者 主に60歳以上の高齢者・高齢者の趣味活動グループ

#### 14 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内 容	件数(件)
要介護（要支援）認定申請 相談・受付・入力	494
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	15
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	-
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	1
転入・転出・転居 資格管理等	3
転送希望届申請 受付・入力	15
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	107
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	2
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	6
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	6
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	33
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	21
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	46
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	67
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	38
オムツ使用証明申請 受付・発行	2
介護保険事業者事故報告 受付	-

#### 15 任意事業

##### (1) 介護給付等適正化事業

介護給付等において、利用者に介護サービスが適正に提供されているか、情報提供として「介護給付費通知書」を郵送した。

・介護給付費通知書郵送件数 (単位：通)

8月郵送件数	2月郵送件数	合計
413	421	834

##### (2) 家族介護支援事業

生活・介護支援サポーター養成研修

地域で高齢者の生活を支える基盤を整備する目的により、社会福祉法人スイートホームに委託して実施した。

・実施期間 2月13日(水)～3月1日(金)

・受講者 14人

##### (3) 高齢者地域見守り支援事業（いきいきサロン事業）

ひとり暮らし、日中ひとり暮らし、閉じこもりがちな高齢者を対象に介護予防事業

として、健康チェック・レクリエーション・趣味活動等を栃木市社会福祉協議会（都賀支所）に委託して実施した。

- ・実施回数 51回（月4回程度実施）
- ・利用者数 実数 35人  
延べ数 771人
- ・時間 午前9時30分～午後3時30分
- ・実施施設 あいあいプラザ・都賀保健センターほか

#### 16 高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

（単位：件）

区分	件数	実件数	延べ件数
面接		264	284
電話相談			294
家庭訪問		25	25
連絡調整			106

#### 17 地域包括支援センター事業

##### (1) 地域包括支援センター設置状況

名称：都賀地域包括支援センター 都賀町原宿 585-2（都賀保健センター内）

##### (2) 介護予防事業

##### ア 二次予防事業

##### (ア) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

- ・二次予防事業対象者把握状況 （単位：人）

基本チェックリストによる対象者数	266
訪問等により把握した対象者数	19
合計	285

##### (イ) 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上および対象者の身体状況に合わせたプログラムも取り入れた教室を実施し、自立した生活の確立と自己実現の支援を行った。

・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	12	99
栄養改善	6	19
複合型機能向上	20	104
閉じこもり予防	12	45
合計	50	267

(ウ) 訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者を対象に、看護師、歯科衛生士が訪問し相談指導を行った。また、二次予防事業対象者になるおそれのある高齢者を対象に看護師が訪問し生活機能低下予防の相談指導を行った。

・実施状況 (単位：件)

対象者数	訪問回数	訪問者
1	1	栄養士

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

a 健康教育・介護予防講演会

一次予防事業対象者に対して、自治会・民生委員・老人クラブの主催で、健康教育の一環として「おたっしや教室」を実施した。

また、介護予防講演会では、介護予防の必要性を理解し、自主的に介護予防に取り組む動機付けとし、自立した生きがいのある生活が送れることを目標に実施した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	57	771
栄養改善	9	106
認知症予防	9	125
閉じこもり予防	12	23
普及啓発	10	1,923
介護予防講演会	1	92
合計	98	3,040

b 祝敬老「長生きの秘訣セット」配付

9月の敬老月間に合わせて、70歳以上の高齢者のいる世帯に祝敬老「長生きの秘訣セット」を配付し、活動的な生活が送れるよう啓発した。

・配付物 パンフレット：「より良い生活を送るために」

冊子：介護予防で健康長寿「腰痛・膝痛を防ごう」

介護予防カレンダー「体を鍛えて若さを保とう」

(イ) 地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得できる機会を設け、地域活動の人材育成を行った。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
地区組織活動支援	7	173
認知症サポーター養成講座	5	230
合 計	12	403

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等が包括的効率的に実施されるよう支援した。また、要支援状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・実施状況

		件数(件)
二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況		33
要支援者の介護予防サービス計画作成状況	地域包括支援センター作成	25
	事業所委託	28
	合 計	53
サービス担当者会議実施状況		44
住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況		6

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身の状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況

	延べ件数(件)
面 接	38
電話相談	579
家庭訪問	372
合 計	989

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況に

ある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、高齢福祉担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	16
高齢者虐待に関すること	7
権利擁護に関するケース会議	4
合 計	27

エ 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

・ケアマネジャー連絡会（年3回）

(4) 任意事業

ア 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・訪問世帯数 338世帯
- ・相談員数 62人

イ はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなたひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 都賀地域に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館・集会場・広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、  
高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 3センター（3自治会）
- ・委託料 780,000円
- ・実施回数・人数 延べ 201回・2,384人

健康増進担当

1 つが健康づくり 2 1 推進事業

健康づくりを総合的に進めるため、健康チャレンジ7つの里（食の里・歯の健康の里・健康診査の里・運動の里・いやしの里・たばこの里・アルコールの里）の健康チャレンジ実践目標に基づき、事業等に取り組んだ。

主な取組

- ・ 広報とちぎ等を活用して健康情報や取組の紹介
- ・ 都賀保健センター内のつが健康づくり 2 1 コーナーの充実整備
- ・ 各種健診・教室等において食に関する知識の普及啓発
- ・ 運動の必要性の理解を深めるために運動教室の開催
- ・ 健康まつりや健診等において歯科指導の充実、歯の健康の普及啓発
- ・ 妊産婦や乳幼児がいる家庭への受動喫煙の害等の啓発

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした者等に対して、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

- ・ 妊娠届出数 99人
- ・ 母子健康手帳交付数 102人（妊娠届出99人、双胎-人、紛失等3人）

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査	12	104	102	98.1	10	1	2	-

(4か月児)								
乳児健康診査 (9か月児)	12	94	94	100	6	-	5	3
1歳6か月児 健康診査	4	83	83	100	20	6	-	5
3歳児 健康診査	4	92	91	98.1	17	4	4	7

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によりブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(ア) 健康診査

・実施回数 4回

対象数	受診数	
	91人	79人(86.8%)

オ 乳幼児発達相談(二次健診)【数値は、本庁健康増進課で計上】

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達に遅れがあると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、乳幼児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室【数値は、本庁健康増進課で計上】

妊婦と夫に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサルおふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では3～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、こどもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施回数 6回

・参加者延べ数 43組

・内容 離乳食講話、ベビータッチケア、子育て相談、身体計測等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)

【数値は、本庁健康増進課で計上】

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保

護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、中学校と連携し講演会を行った。

対 象	参 加 人 数
都賀中学校生徒及び保護者	408人

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 83組

カ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市2町で共催して小学1年生と年長児に対してフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ素塗布者数 77人(小学1年生:52人 年長児:25人)

キ よい歯のコンクール【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

ク 幼稚園・保育園歯科指導事業

都賀地域の幼稚園・保育園を訪問し、年中・年長児を対象に歯科衛生士によるむし歯予防のための集団指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加者数 94人

ケ 親子クッキング教室

年中・年長児の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む食育を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加者数 21人(5組)

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 50組

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、就学前の年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。  
(単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診・医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
99	87	—	7	—	3	2

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 8件
- ・指導延べ数 8件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

オ のびのび相談室

何らかの発達上の問題が疑われた児に対し、心理士による相談指導・育児支援を行った。

- ・実施回数 8回
- ・相談者数 9人

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（都賀地域17人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談等を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

(単位：人)

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数	86	88	33	207

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者診査及びヤング健診

- ・実施回数 10回
- ・実施場所 都賀保健センター

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 8回
- ・参加者数 91人

(3) 特定保健指導

区 分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	38	21	55.3
動機付け支援	71	52	73.2
合計	109	73	67.0

4 健康診査事業（健康増進法による健診）

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）を行った。

- ・集団健診実施回数 10回
- ・受診者数 1,429人
- ・集団健診実施会場 都賀保健センター

5 結核検診事業

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を医療法人 宇都宮健康クリニックに委託し行った。

- ・実施会場数 24会場
- ・受診者数 1,237人

6 健康増進法等に基づく保健事業

(1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教室名	実施回数(回)	参加者数(人)	内 容
バイキング実習	2	8	管理栄養士による講話及びバイキング実習
減る脂－教室	2	24	運動指導士によるストレッチ 管理栄養士による講話及び調理実習
からだスッキリ運動教室	10	121	運動指導士による運動講話及び実践

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 1回
- ・延べ相談者数 1人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・述べ相談者数 2人

・内容 管理栄養士による個別指導

・指導内訳

(単位：件)

高血圧症	－	糖 尿 病	2	腎 臓 病	－
脂質異常症	－	肝 臓 病	－	そ の 他	－

## 7 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解すること及び自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

### (1) 笑いヨガ講演会

内容：「笑いヨガを体験しよう！」～こころから笑って元気を満タンに～

実施日：3月22日（金）

会場：都賀保健センター

参加者数：36人

### (2) 普及啓発活動

普及啓発用リーフレットを作成し、窓口及び各種事業時において配布した。

## 8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

### (1) 定期予防接種

各種の定期予防対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で行い、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

#### ア 集団接種

・ポリオ投与（小児マヒ）

・実施回数 2回

・実施場所 都賀保健センター

#### イ 個別接種

不活化ポリオ、BCG、四種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ）、三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）、日本脳炎、高齢者インフルエンザ

### (2) 任意予防接種

・子宮頸がん予防接種を、各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

・小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン、小児インフルエンザ予防接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

・高齢者肺炎球菌予防接種を、各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

## 9 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数 7世帯

・保健師訪問指導 11人（延べ人数）

・内訳

（単位：件）

精神保健	5	妊産婦	—	幼児	1	生活習慣病	—
新生児	—	低体重児	—	他の疾患	1	その他	—
心身障がい	—	乳児	2				

#### 10 健康まつり事業

市民の健康増進のため、まるまるまるごとつがまつりが開催された際に健康相談コーナーを実施した。

・実施日 11月17日（土）

・場所 都賀保健センター

・実施内容 歯の健康相談（歯周病チェック、ブラッシング指導）

脱メタボコーナー（体脂肪測定、味覚チェックテスト）

・延べ参加者数 163人

#### 11 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	15	1	13	—	14	1

#### 12 都賀保健センター利用状況（当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。）（単位：人）

区分	会議室	和室	調理室	その他	合計
利用者数	425	185	252	50	912

#### こども担当

##### 1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、都賀地域3か所の小学校区内において実施した。

・放課後児童会入会者数

（単位：人）

児童会名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
げんきっこ（合戦場小）	6	7	13	7	7	14	8	17	25	21	31	52
さくらんぼ（家中小）	1	3	4	2	3	5	4	6	10	7	12	19
キッズ（赤津小）	2	3	5	2	4	6	1	5	6	5	12	17
計	9	13	22	11	14	25	13	28	41	33	55	88

## 2 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金の交付事務を行った。

### (1) 国庫補助事業

- ・ 交付対象人数 284人
- ・ 交付額 31,418,300円

### (2) 県補助事業

- ・ 交付対象人数 2人
- ・ 交付額 149,250円

### (3) 市単独補助事業幼稚園第三子以降支援特別補助金

- ・ 交付対象人数 26人
- ・ 交付額 4,078,800円

### (4) 市単独補助事業幼稚園奨励費国庫非該当世帯特別補助金

- ・ 交付対象人数 32人
- ・ 交付額 192,000円

## 3 地域子育て支援センターつが

### (1) 利用者数推移

(単位：人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
平成22年度	10	86	25	59	-	-	-	140	320
平成23年度	183	515	186	34	10	2	-	887	1,817
平成24年度	284	489	535	90	35	12	-	1,266	2,711

### (2) 活動状況

#### ア 定例遊び

##### すくすくタイム

- ・ 実施曜日 毎週木曜日
- ・ 実施時間 午前10時30分～11時30分
- ・ 実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
- ・ 実施回数 計50回
- ・ 述べ参加者 1,651人

#### イ 特別活動

(単位：人)

No	活動名	参加人数
1	親子リトミック	145
2	親子エアロビクス	68

3	おはなし会	43
4	英語であそぼう!	33
5	バルーンアート	37
合 計		326

ウ 子育て相談

(単位：件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	22	22	-
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	10	10	-
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い ほか	9	9	-
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	22	22	-
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	3	3	-
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	11	11	-
そ の 他	性格、育児依頼、入園、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	53	52	1
合 計		130	129	1

#### 4 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給。

- ・児童手当受付件数 157件

#### 5 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、2子以降のお子さんが誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

(単位：件)

事業名	祝金額	受付件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	30
	第三子以降 20,000円	11

#### 6 児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方または両方が死亡した児童について遺児手当の案内・相談・受付を行った。

(単位：件)

種 別	受付件数
児童扶養手当	10
遺児手当	1

## 7 保育所

### (1) 保育所入所状況

#### ア 児童定員・異動状況

(単位：人)

区分	保育園名	定 員	24年4月1日 入所児童数	途中入所 児 童 数	退所児童数	25年3月1日 入所児童数
公立	都賀よつば保育園	120	127	5	0	132

#### イ 階層別児童数

(平成25年3月1日現在) (単位：人)

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	計
公立	都賀よつば保育園	2	15	14	30	22	21	20	6	1	131

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

#### ウ 年齢別児童数

(平成25年3月1日現在) (単位：人)

区分	保 育 園 名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	都賀よつば保育園	6	17	24	22	63	132

### (2) 施設運営全般

#### 施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
- ・ 保育内容の充実と技術の向上
- ・ 安全対策と保護者との対応
- ・ 地域における子育て支援

### (3) 保健管理

#### ア 健康診断の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 月	結 果 と 措 置
健康診断	2	5月・10月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	5月・10月	結果については、保護者連絡

#### イ 検便等の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 日	結 果 と 措 置
寄生虫卵	2	5月14日(月)・10月15日(月)	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	5月14日(月)・10月15日(月)	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ア) 観 察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ウ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・心身ともに健康な子ども
- ・自分で考え行動する子ども
- ・喜んで話したり聞いたりする子ども
- ・人とかかわりの中で、相手を思いやる子ども
- ・豊かな感性を持つ子ども
- ・地域の中で育つ子ども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4月		入園式
5月	こどもの日	
6月	衣替え	防犯教室、世代間交流
7月	七夕祭り	プール開き
8月		
9月		お月見会
10月		運動会、親子遠足
11月	七五三祝	園外保育、保育参観、親子給食会
12月		生活発表会、クリスマスの集い
1月		
2月	節分	まめまき
3月	ひなまつり	お別れ会、卒園式

※ その他、毎月誕生児の誕生会を開催

エ 障がい児保育の状況

- ・障がい児入所数

保育園名	人数（人）
都賀よつば保育園	1

- ・保育方法 混合保育

オ 低年齢児保育（0、1、2歳児）（平成25年3月1日現在）（単位：人）

区分	保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	計
公立	都賀よつば保育園	6	17	22	45

カ 保護者との連携

- ・保育参観
- ・送迎時の連絡
- ・子育て等相談

(5) 防災対策の状況

- ・設備、遊具等の整備点検
- ・避難訓練
- ・安全のための実施訓練
- ・事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的実施

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定する。

イ 給食構成

- ・乳児－主食、副食、おやつ（完全給食）
- ・幼児－副食、おやつ

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況

(ア) 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ）（平成24年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A ( $\mu$ gRE)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
都賀よつば保育園	518	20.5	15.5	278	2.4	294	0.26	0.42	27	1.6
栄養給与目標	500	18.0	11～16	200	2.3	200	0.25	0.28	20	

(イ) 3歳以上児（副食＋おやつ）（平成24年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A ( $\mu$ gRE)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
都賀よつば保育園	397	19.9	16.1	283	2.3	346	0.26	0.45	32	1.8
栄養給与目標	400	19.0	13～19	270	2.5	200	0.32	0.36	20	

(7) 特別保育科目設定実施事業

世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

実施保育園名	実施回数(回)
都賀よつば保育園	2

## 第5節 産業振興課

### 〔総括概要〕

農業は食糧の安定供給のみならず、環境・景観・地域文化の保全・継承など多面的な役割を担っている。しかし、その現状は、従事者の高齢化、後継者の不足、関連資材及び燃料の高騰等により食糧自給率の低迷、耕作放棄地の増加、加えて福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質飛散による風評被害など非常に厳しい状態である。このような状況のなか都賀地域の農業は、土地利用型農業として米・麦を主に大豆・新規需要米などを組み合わせた二毛作と、いちご・にら・ナスなどの施設園芸の複合的な経営を推進する事業に取り組んだ。まず、平成23年度末より国の施策として人・農地プランへの取組が始まり、家中地区と赤津地区の2地区でプランの策定を行った。地域農業の担い手として集落営農の組織育成とともに、高齢化・担い手不足に対応し耕作放棄地の増加を防止するために今後ともプランの充実を図ることとする。

ブランド力を高め消費拡大、生産振興のためのPR等の実施をするとともに、放射性物質に対する不安を払拭するため、モニタリング検査の徹底により安全・安心な農産物の出荷に努めた。

農業農村整備事業については、土地改良区の運営補助、および用排水路や揚水機場等の農業生産施設の機能維持のため維持管理適正化事業の実施など施設の適正管理に努めた。農地・水保管理支払交付金事業については、富張地区と大柿地区において継続し、二期目の対策として地域の環境保全と施設の維持管理に地域全体で取り組んだ。また、大柿地区においては、豊かな地域資源を活かし、都市と農村の交流を図り農業の抱える課題に対処するためにグリーンツーリズム事業に取り組む地元組織を立ち上げ、今後の事業に向けての研修や検討を重ねた。

林務事業については、県民税事業による藪の刈払いや不要木の処分など里山林の適正な管理を行うとともに、有害鳥獣の駆除による農作物被害の軽減を図った。加えて大柿生出宿里の駅のトイレ管理・改修工事とともに、つがの里周辺の臼久保地区の森林等の管理を行った。

商工業においては、都賀町商工会と連携のうえ商工業の振興を図るとともに、特産品のPRを新宿駅イベント広場等で実施した。

労働関係については、県の緊急雇用創出事業を活用し、失業者の雇用対策に努めた。

観光関係については、「つがの里花彩祭」「ハスマつり」「まるまるまるごとつがまつり」等のイベントを開催し、観光客の誘客に努めた。

企業誘致関係については、都賀インター周辺地区への企業立地の支援を積極的に行った。

農林振興担当

1 米政策改革推進対策

(1) 戸別所得補償事業

戸別所得補償事業については、食糧の自給率向上のポイントとなる麦・大豆・飼料作物・新規需要米・そば・なたね・加工用米等を戦略作物として、二毛作による取組について推進した。

都賀地域に提供された平成24年産米に係る需要情報は2,984トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会都賀地区と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった主食用米の需給調整を行った。

・水稻生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,037人
水稻生産実施計画書提出農業者数 (①)	876人
生産確定数量の計 (①の積算)	2,692,496kg
作付確定面積 (①の積算) (②)	53,219.8a
主食用等水稻作付面積の計 (①の積算) (③)	48,838.4a
差引 (②-③)	4,381.4a
水稻生産確定面積に対する 主食用等水稻作付面積の割合 (③÷②)	91.77%

(2) 水田活用の所得補償交付金

・戦略作物作付面積 (交付対象面積)

(単位：ha)

二条大麦	189.5
大豆	4.7
そば	39.3
飼料作物	48.4
新規需要米・加工用米	51.4

(3) 農政協力員会議

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会都賀地区との連携により、農政協力員会議を開催した。

・農政協力員会議の開催状況

開催日	参加人数 (人)
5月29日(火)	37
3月7日(木)	41

2 人・農地プラン

地域農業の問題を解決するための未来の設計図となる「人・農地プラン」を2地区策定した。また、新規就農者への支援として、青年就農給付金 (経営開始型) を1人に給付した。

地区名	対象字名	策定日	変更修正	参加人数 (人)
家中地区	合戦場、平川、升塚、家中	11月16日	12月20日	19

赤津地区	原宿、木、臼久保、大橋、 富張、深沢、大柿	9月27日	3月26日	14
------	--------------------------	-------	-------	----

### 3 農業制度融資関係

#### (1) 都賀町農業経営安定資金利子補給金

利子補給金額

区 分	件数（件）	利子補給額（円）
下野農協	22	215,705

#### (2) 都賀町信用保証料補助金

保証料補助金額

区 分	件数（件）	保証料補助額（円）
経営安定資金保証料補助金	2	1,600

### 4 農業経営基盤強化促進事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明、経営改善に関する個人指導会の開催及び担い手に対する施策や研修等の情報提供などの支援活動を実施した。

- ・農業経営改善計画認定者数 72人

### 5 集落型経営体の育成

農業者個人での解決が困難な問題や集落の将来に対する意識を高め、地域農業の新たな担い手として期待される「集落型経営体」設立及び法人化に向けた合意形成を促進するため、実施主体である下野農業協同組合と連携して、研修会を開催した。

集落名	参加人数（人）
富張モデル地区	13
升塚集落営農組合	6

### 6 経営体育成支援事業

新規就農者、意欲のある経営体及び集落営農等の経営体が経営規模の拡大や農産物の加工等のために必要となる農業用機械の導入等について支援した。

地区名（対象）	機械・施設等	補助額（円）
升塚地区（集落営農組織）	トラクター・ロータリ・サイバナー・ハーロー・ロータリーシーター	3,738,000
原宿地区（新規就農者支援）	いちご育苗用ハウス・炭酸ガス発生装置・いちごパックラップ包装機	2,462,000

### 7 農業団体育成事業

#### (1) 都賀町認定農業者協議会

本地域農業の担い手であり、自らの経営改善の実践と都賀地区の農業振興のために活動

を行っている認定農業者協議会に対し補助金を交付した。

・補助額 146,000 円

(2) 栃木市農村生活研究グループ協議会（都賀地域）

農村女性の社会参画や地位向上による農業農村の活性化を啓発し、輝く農村女性を育成するため、各種教室や研修会を実施した。

・事業内容 視察研修・手芸教室・食育カルタ事業・まるつが出店・さつまいも掘り

・事業費 87,026 円

(3) J A しもつけ都賀園芸部会連絡協議会

都賀地区の園芸の課題について検討し、経営の安定と地域農業の発展を目的とし、園芸作物の振興、集出荷等について、地区の園芸部会が一体となった連絡協議会に対し補助金を交付した。

・補助額 73,000 円

(4) 都賀町施設園芸産地育成推進会議

施設園芸の産地として育成・拡大を図るため総合的かつ効果的な事業を実施する会議に助成を行った。

・補助額 162,000 円

## 8 農業振興事業

つがブランド農産物イメージアップ事業

都賀町のPRと都賀産いちごの知名度アップのため、都賀町施設園芸産地育成推進会議主催の「いちご狩りフェスティバル」を支援し、事業に対しての補助金を交付した。

・補助額 300,000 円

## 9 畜産振興事業

(1) 家畜防疫団体関係

家畜の伝染病等を防止することで、家畜の経済効果を高め、地域畜産の振興を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

・事業主体 栃木市畜産協議会都賀支部

・事業内容 視察研修、病疫用石灰等の配付

## 10 土地改良区運営支援

前年度に引き続き都賀町土地改良区の事務運営費の補助を行った。

・補助額 5,176,000 円

## 11 維持管理適正化事業

(1) 赤津川揚水堰地区（都賀町富張地内）

事業概要

・揚水堰油圧シリンダー分解清掃・油圧ユニットバルブ交換・水密ゴムの整備補修 1式

・補助額 1,300,000 円（総事業費 13,780,000 円）

(2) 家中北部地区（都賀町家中地内）

事業概要

- ・揚水機更新 水中モーターポンプΦ150×15kw 1基
- ・補助額 290,000円（総事業費 3,500,000円）

12 農業用排水路維持管理費

(1) 桑原幹線用水路（西方町地内）

事業概要

- ・水路法面樹木伐採 1式
- ・事業費 239,925円

13 農地・水 保全管理支払交付金事業

農地や農業用水等の資源の保全等、農村環境を守り質を高める農家、非農家を含めた地域活動組織の取り組みに対し支援を行った。

※市負担額は、基礎支援の合算額（100円未満切り捨て）の25%

(1) 共同活動支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田 (3,300円/10a)		畑 (2,100円/10a)		
				面積 (a)	金額 (円)	面積 (a)	金額 (円)	
富張地区 環境保全会	H24	H28	5年	9,840	3,247,200	1,795	376,950	906,025
大柿の郷を まもる会	H24	H28	5年	9,413	3,106,290	5,585	1,172,850	1,069,775

(2) 向上活動支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田 (4,400円/10a)		畑 (2,000円/10a)		
				面積 (a)	金額 (円)	面積 (a)	金額 (円)	
富張地区 環境保全会	H23	H25	3年	9,840	4,329,600	1,795	359,000	1,172,150

14 都賀町農業公社

円滑な事業実施が出来るようにするため、都賀町農業公社の事務運営費の補助を行った。

- ・補助額 1,539,000円

15 つがの里周辺管理事業

(1) 周辺緑地賃借料

都賀地域の重要な観光地である「つがの里」周辺の緑地を保全するとともに、観光資源

として活用するために用地の賃貸借を行った。

- ・借上面積 10,254 m<sup>2</sup>
- ・借上金額 102,540 円

(2) 維持管理

つがの里周辺の森林を適切に保全するため、管理業務を行った。

- ・業務委託費 292,400 円

16 生出宿里の駅施設管理事業

直売所やカタクリの里等、市の重要な観光地を訪れる観光客の利便性向上を図り、より多くの集客を推進するため生出宿公衆トイレ施設の維持管理を行った。また、改修工事として外構の木板張りを撤去し、アスファルト舗装に整備した。

- ・事業内容 舗装工A = 47.3 m<sup>2</sup>
- ・事業費 414,750 円

17 有害鳥獣捕獲事業

農作物及び生活環境等への鳥獣による被害を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣の捕獲駆除を実施した。

事業費 868,000円

(1) イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの個体数調整による駆除

捕獲時期	捕獲状況
通 年	イノシシ46頭、シカ3頭

(2) カラス、ドバトの駆除の有害鳥獣捕獲による駆除

捕獲時期	捕獲状況
5月20日(日)～27日(日)	ドバト26羽、カラス67羽、カモ類50羽
10月20日(土)、21日(日)	ドバト16羽、カラス53羽

18 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備等を実施している。

事業の概要

(1) 通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林維持管理事業

明るく安全な里山林整備事業によって刈払いを実施した通学路沿いや住宅地周辺の里山林の維持管理を実施した。

- ・実施箇所 深沢地区
- ・事業量 1.35ha
- ・事業費 67,000円

(2) 野生獣被害軽減のための里山林維持管理事業

明るく安全な里山林整備事業によって刈払いを実施した野生獣被害が発生する恐れのある里山林の維持管理を実施した。

ア・実施箇所 深沢地区

- ・事業量 20.0ha
- ・事業費 1,000,000円
- イ・実施箇所 大柿地区
- ・事業量 35.4ha
- ・事業費 1,770,000円
- ウ・実施箇所 中郷地区
- ・事業量 19.8ha
- ・事業費 990,000円
- エ・実施箇所 深沢東地区
- ・事業量 14.2ha
- ・事業費 710,000円

## 19 農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。

件名	件数(件)
耕作証明書	36
農家証明書	3
農家基本台帳の写し	3
合計	42

## 20 グリーンツーリズム事業

都賀町大柿地区においてグリーンツーリズム事業を推進するため、協議会を設立し事業内容の検討を行った。

- ・打合せ実施回数 7回
- ・視察研修（茂木町）1回 23人参加
- ・事業費 30,778円

## 商工観光担当

### 1 商業振興

#### (1) 商工団体の育成及び助成

商工会、たばこ組合の運営や諸事業に対し補助金を交付した。

名称	事業費(円)	うち市補助額(円)	目的等
都賀町商工会運営補助金	50,212,652	5,000,000	商工会の運営
商工業振興費補助金	1,504,015	900,000	商店の販売促進
未成年者喫煙防止事業費補助金	386,543	80,000	未成年の喫煙防止活動の促進

#### (2) 地域活性化拠点支援事業

地元農産品の販売・地域ブランド品の開発及び地域振興を図るため、緊急雇用創出事業を活用した大柿地区アンテナショップの運営を、都賀町商工会に委託して実施した。

- ・地域活性化拠点支援事業業務委託料 5,330,000円

大柿村ほたるの里より処の運営 雇用者 5 人（うち地元雇用 4 人）

## 2 制度融資

### (1) 都賀町中小企業融資利子補給

中小企業向け資金融資利用者の利子の一部を補助し、その負担を軽減した。

区 分	平成 24 年度		平成 23 年度		平成 22 年度	
運転資金	8 件	68,427 円	12 件	147,294 円	13 件	237,444 円
設備資金	1 件	－円	1 件	51 円	2 件	20,128 円
計	8 件	68,427 円	13 件	147,345 円	15 件	257,572 円

### (2) 経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定状況

（中小企業信用保険法第 2 条第 4 項第 1～8 号）

（単位：件）

保険法	適 用 事 項	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
第 1 号	再生手続申立等関係	－	－	－
第 2 号	事業活動の制限関係	－	－	－
第 3 号	地域・業種関係	－	－	－
第 4 号	地域関係	－	－	－
第 5 号	業種関係	5	16	37
第 6 号	破綻金融機関関係	－	－	－
第 7 号	金融機関経営合理化関係	－	－	－
第 8 号	R C C 譲渡関係	－	－	－
	計	5	16	37

## 3 雇用機会の確保

雇用機会の確保のため、ハローワークをはじめとする関係機関との連携を図りながら、求人情報の提供や相談等を実施した。

また、県の緊急雇用創出事業を活用した各種事業の推進を図り、雇用機会の確保に努めた。

## 4 観光振興関係

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源の P R、観光行事の充実等、観光関連事業を積極的に展開し、観光誘客と地域の活性化に努めた。

### (1) 観光協会関係

観光資源を活かした観光行事の実施、観光パンフレット等による宣伝活動など、つがまち観光協会が実施する観光行事や観光 P R 事業等に対し補助金を交付した。

- ・つがまち観光協会事業補助金 800,000 円
- ・主催事業 つがの里ハスまつり、つが花火大会

### (2) 観光交流事業

自治体交流のある茨城県大洗町との観光交流を実施した。

- ・大洗町によるまるまるまるごとつがまつりへの出店 11 月 17 日（土）

### (3) 観光展への出展等

ア やすらぎの栃木路フェア

- ・実施日 9月25日(火)
- ・場 所 新宿駅西口

イ 「とちぎ産直市」観光PR

- ・実施日 3月21日(木)
- ・場 所 JR上野駅

(4) 観光施設等利用状況

つがの里公園内施設利用状況

(単位：人)

施設名	平成24年度	平成23年度	平成22年度
ふるさとセンター	30,904	14,407	19,808
ファミリーパークプラザ	392	238	623
バーベキュー場	4,284	3,436	4,107

5 観光行事推進事業関係

(1) つがの里花まつり“花彩祭”

- ・実施期間 4月1日(日)～30日(月)
- ・場 所 つがの里
- ・主 催 つがの里花まつり実行委員会
- ・来場者 約139,400人

(2) つがの里ハスまつり

- ・実施期間 6月23日(土)～7月8日(日)
- ・場 所 つがの里
- ・主 催 つがまち観光協会
- ・来場者 約4,400人

(3) つが花火大会

- ・実施日 8月11日(土)
- ・場 所 都賀市民運動場
- ・主 催 つがまち観光協会
- ・打上数 1,300発

(4) まるまるまるごとつがまつり

- ・実施日 11月17日(土)
- ・場 所 産文通り線・ハートホールほか
- ・主 催 まるまるまるごとつがまつり実行委員会
- ・来場者 約8,000人

6 企業誘致事業

雇用機会の拡大と地域産業経済の振興、市税等の自主財源の増加を図るため、企業誘致活動を行った。

また、工場等を新設・増設した企業に対する支援として、工場等立地奨励補助金の交付を

行い、経営安定と雇用の確保、新たな企業立地の促進に努めた。

(1) 都賀 I C 周辺開発

北関東自動車道都賀 I C に隣接し、地下水等の自然環境にも恵まれた当地区に企業立地を図るべく、地権者等で組織する都賀インター周辺土地利用研究会との連携を図りながら、企業誘致活動に努めた。

(2) 工場等立地奨励補助金

都賀地域に工場等を新設・増設した企業に対し、操業後の経営安定化と雇用機会の確保等を目的に、固定資産税の一部を補助した。

・補助対象企業 2 社 (補助額 6,295,000 円)

## 第6節 都市建設課

### 〔総括概要〕

都市建設課の主な分掌事務は、道路・橋りょう・河川水路及び公園の管理に関する事務、道路・橋りょう・河川水路及び公園の占用許可並びに工事の承認に関する事務、公共用地の取得・補償及び登記に関する事務、道路・橋りょう・河川水路及び公園の整備に関する事務等である。

市民の安全で快適な暮らしを支えるために必要不可欠な社会資本である、道路・河川・公園の効率的な維持管理と、整備充実を図ることにより、市民生活環境の向上に努めている。

そのうち道路は、地域の方々にとって最も身近な社会基盤であり、通勤・通学をはじめ買い物やレジャーなどの日常生活から生産・物流の経済活動や地域の歴史、文化交流を支える根幹的な公共施設として大きな役割を果たしており、そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次の業務を行った。

公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、常に安全な市道を確保するため、道路維持管理、舗装補修、交通安全施設工事を実施した。

河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草を行うとともに、防災機能を確保するための調整池の維持管理を行った。

公園管理については、公園等の占用について指導、監督を行った。また、つがの里を含む都賀地域に12か所ある公園等の利用者が安全で快適に利用できるよう、業務委託による公園の清掃、樹木及び遊具等の施設管理を行った。

愛護活動については、自治会における道路・河川水路の清掃などの愛護活動を積極的に支援することで、市民とともに維持管理に取り組み、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

道路整備においては、厳しい財政状況や少子高齢化の進展など社会情勢の変化を踏まえ、一層の効率化、重点化が求められていることから、市民のニーズや要望等を踏まえながら道路改良や舗装整備などを計画的に進めている。本年は、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上に資するため、都賀町家中地内市道T②-194号線道路整備工事を実施し、都賀町家中地内市道T①-265号線ほか1路線の舗装補修工事を実施した。また、都賀町合戦場地内の市道T①-247号線ほか3路線の測量設計業務委託を実施した。さらに、都賀町大柿地内市道T③-278/279号線道路改良事業の用地取得を行った。

次に、河川整備については、栃木県施行の主要地方道宇都宮亀和田栃木線の合戦場地内におけるゲリラ豪雨等による浸水被害に対応する地域排水整備事業の負担金を支払った。

最後に、公園整備事業としては、観光拠点の向上と市民のニーズに答えるため、

都賀聖地公園の旧勝間田病院跡地等の拡大した公園部分と、既存公園との整合を図り、造成工事を実施した。

管理担当

1 業務委託関係

(1) 道路維持管理業務委託

委 託 名	委 託 箇 所	委 託 内 容	金 額 (円)
市道管理委託業務	都賀地域	草刈等	1,160,715
東北道BOX冠水注意回転灯設備保守点検業務	都賀町木 T15	保守点検業務	42,000
市道各号線維持修繕等業務委託(その1)	都賀地域	舗装修繕 倒木等撤去 ほか	3,181,500
市道各号線維持修繕等業務委託(その2)	都賀地域	舗装修繕 側溝清掃 ほか	3,118,500
市道各号線維持修繕等業務委託(その3)	都賀地域	舗装修繕 付属物復旧 ほか	3,706,500
市道各号線維持修繕等業務委託(その4)	都賀地域	舗装修繕 除雪作業 ほか	7,297,500
市道各号線維持修繕等業務委託(その5)	都賀地域	舗装修繕 パッチング ほか	2,520,000
計			21,026,715

(2) 河川・水路管理業務委託

委 託 名	委 託 箇 所	委 託 内 容	金 額 (円)
調整池等管理業務	都賀町合戦場調整池	除草ほか	80,150

2 都市公園等管理事業

(1) 維持補修

補 修 内 容	金 額 (円)	備 考
つがの里園内修繕	458,482	

(2) 業務委託

業 務 名	公 園 名	金 額 (円)	備 考
公園清掃業務委託	合戦場駅東公園等	227,950	

都市建設担当

1 道路工事関係

(1) 道路改良工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
都賀町家中	T②-194	45.0	5.9	—	6,187,650	

(2) 舗装補修工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
都賀町木	T③-185	184.5	5.0	—	6,037,500	
都賀町家中	T①-265	376.4	7.6	—	29,610,000	
計					35,647,500	

(3) 交通安全施設整備事業

工事箇所	工事内容		工事金額(円)	備考
町名	区画線工	その他		
都賀地域	実線・文字 1327.9m	道路鋸 10個	829,500	

(4) 公園整備事業

工事箇所		工事内容	工事金額(円)	備考
町名	公園名			
都賀町木	都賀聖地公園	公園整備	80,430,000	

2 業務委託関係

(1) 道路整備事業業務委託

業務名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	町名	路線名			
土地評価業務	都賀町合戦場	T56	土地価格変動調査	42,000	
土地評価業務	都賀町合戦場	T③-278/279	土地価格変動調査	42,000	
土地評価業務	都賀町合戦場	T③-282	土地価格変動調査	42,000	
物件調査業務	都賀町合戦場	T56	物件調査再算定	157,500	
測量設計	都賀町大柿	栃木栗野線	用地測量設計	724,500	
測量設計	都賀町合戦場	T①-247	測量詳細設計	3,202,500	
測量設計	都賀町家中	T①-208	測量詳細設計	2,205,000	
測量設計	都賀町家中	T②-402	用地測量設計	4,515,000	
計				10,930,500	

(2) 公園整備事業業務委託

業 務 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	委 託 料 (円)	備 考
	町 名	公 園 名			
測量設計	都賀町木	都賀聖地公園	植栽設計	483,000	

3 用地取得関係

用地取得箇所		用地(筆数)	補償(件数)	金 額(円)	備 考
町 名	路線名				
都賀町大柿	T③-278/279	9	-	3,422,188	

4 登記関係

内 容	筆 数 (筆)
分 筆 (代 位)	3
地 積 更 正 ・ 分 筆 (代 位)	6
表 題	-
所 有 権 保 存	-
所 有 権 移 転	11
計	20

5 河川工事負担金

宇都宮亀和田栃木線地域排水整備事業の県との協定による事業に対する負担金（負担金率31.7%）

(1) 平成24年度実施状況

ア 事業費	15,589,288円
イ 市負担分	4,941,805円

## 第 1 2 章 西方総合支所

### 第 1 節 地域まちづくり課

#### 〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、西方総合支所の地域自治区域における市政の総合的企画関係、本庁との調整関係、広報広聴関係、各種統計関係、自治会関係、消防防災関係、西方総合支所管内における3,000万円未満の工事等の入札・契約関係、庁舎・自動車・パソコン等の維持管理関係、処分可能財産・市有地の維持管理関係、市営金崎有料駐車場の維持管理関係、市有建築物定期点検業務関係、市民税関係、収税関係、資産税関係である。

地域自治区域における市政の総合的企画関係については、西方町地域協議会を開催し、市長より諮問された事項の審議及び西方地域の課題等について意見書を提出した。また、市民参加のまちづくりを推進するため、直接、市民から意見や提案を聴く「まちづくり懇談会ふれあいトーク」を開催した。

自治会関係については、西方地域の自治会長会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

消防防災関係については、消防団員の各種訓練、消防団西方方面隊夏季点検、地域防災訓練の実施及び非常食等の災害時用備蓄品の補充等を行い、消防防災体制の万全を図った。

入札・契約業務については、建設工事、業務委託及び物品購入について、指名業者の選考、入札、契約等に関する事務を一元的に行い透明性の向上や、公正な競争の促進を図った。

庁舎・自動車・パソコン等の管理関係については、適正な維持管理に努めさらなる利便性の向上を図った。

税務関係業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税込確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取組として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室と協働での滞納整理や差押処分を行うなど、税込確保へ向けた取組を行った。

保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施した。

軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

資産税関係では、税務通知書等に基づき、新增築・滅失家屋及び土地利用の状況把握に努め、償却資産未申告事業者に対する催告等を実施した。

地域自治担当

1 地域協議会関係

地域自治区制度による西方町地域協議会は、15名の委員により下記の内容で開催した。

(1) 委員（任期 平成 23 年 11 月 9 日～平成 25 年 3 月 31 日まで）

区 分	No.	氏 名	備 考
1号委員	1	青木 利男	西方町小中学校PTA連絡協議会
	2	飯沼 邦利	西方町経済同友会
	3	出井 敬	西方町認定農業者協議会
	4	宇賀神 末盈	栃木市社会福祉協議会
	5	大塚 孝司朗	西方町体育協会
	6	大森 悦子	西方町農村生活研究グループ協議会
	7	酒巻 稔	西方町自治会長会
	8	中村 正廣	西方商工会
	9	若林 きく	西方町文化協会
2号委員	10	石川 等	学識経験を有する者
	11	柳澤 恵子	
	12	和賀井 政雄	
3号委員	13	荒川 里子	公募に応じた者
	14	早乙女 のり子	
	15	横倉 利夫	

(2) 開催内容

回数	開催日時・場所	主 な 内 容
第1回	4月25日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	報告事項 ・西方地域の主要事業について ・研究会活動について その他 ・栃木市上下水道事業調査委員会委員の選出について
第2回	5月23日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	意見聴取事項 ・使用料の改定について ・栃木市道路整備基本計画（素案）について 報告事項 ・栃木市地域自治制度検討委員会について ・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画の策定について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市建築物耐震改修促進計画の策定について</li> <li>・栃木市図書館基本計画の策定について</li> <li>・栃木市図書館の開館時間・休館日の変更の試行について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画検討委員会委員の推薦について</li> <li>・栃木市教育計画検討委員会委員の推薦について</li> <li>・研究会各部会経過報告について</li> </ul>
第3回	6月27日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市総合計画基本構想(素案)について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報とちぎの見直しについて</li> <li>・栃木市都市計画マスタープランの策定について</li> <li>・栃木市景観計画の策定について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会委員の推薦について</li> <li>・地域協議会研究会 各部会経過報告について</li> </ul>
第4回	7月25日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市都市交通マスタープランの策定について</li> <li>・ふれあいバス(コミュニティバス)の利用実績及び金崎線・真名子線の試行運行の見直しについて</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市総合計画基本構想「地域の姿」の確認について</li> <li>・地域自治交流会について</li> <li>・意見書について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市地域自治制度検討委員会委員について</li> </ul>
第5回	8月29日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市役所新市庁舎の整備について</li> <li>・栃木市橋梁長寿命化修繕計画の策定について</li> <li>・小中学校施設の耐震化について</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見書について</li> <li>・地域自治交流会について</li> </ul> <p>その他</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎ市民活動推進センターくららについて</li> <li>・栃木市環境基本計画策定委員会の報告について</li> </ul>
第 6 回	<p>9 月 26 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市総合計画基本構想（素案）・基本計画（骨子案）について</li> <li>・栃木市図書館計画（案）について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市文化振興基本計画の策定について</li> <li>・栃木市斎場再整備事業について</li> <li>・栃木市ブランド推進事業について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市斎場再整備検討委員会の推薦について</li> </ul>
第 7 回	<p>10 月 24 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市地域防災計画・水防計画・栃木市国民保護計画の策定について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西方町地域協議会先進地視察研修について</li> </ul>
第 8 回	<p>11 月 28 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の制定について</li> <li>・栃木市教育計画（案）について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市総合計画基本構想（素案）・基本計画（骨子案）についての意見に対する回答について</li> </ul>
第 9 回	<p>12 月 26 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市保育所整備基本計画（案）について</li> </ul>
第 10 回	<p>1 月 23 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市住生活基本計画及び栃木市公営住宅等長寿命化計画の素案策定について</li> <li>・栃木市地域防災計画・水防計画・国民保護計画について</li> <li>・栃木市環境基本計画（案）について</li> <li>・組織機構の見直しについて [非公開]</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料の改定について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 3 回栃木市斎場再整備検討委員会の結果について</li> </ul>

<p>第 11 回</p>	<p>2 月 20 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいバス（コミュニティバス）の利用実績及び金崎線の試行運行内容の見直しについて</li> <li>・栃木市斎場再整備基本構想（案）について</li> <li>・栃木市教育計画（案）についての意見に対する回答について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 3 回栃木市上下水道事業調査委員会の会議結果について</li> <li>・第 4 回栃木市斎場再整備検討委員会の会議結果について</li> </ul>
<p>第 12 回</p>	<p>3 月 27 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度の導入について</li> <li>・栃木市都市交通マスタープラン（案）について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務一元化の状況について</li> <li>・合併時に「合併後再編」としている事務事業の調整状況について</li> <li>・地域協議会へ意見を聴く事務事業（Aランク）について</li> <li>・西方町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答について</li> <li>・平成 23 年度に地域協議会等から提出された意見書に対する市の対応状況について</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 5 回栃木市斎場再整備検討委員会の会議結果について</li> </ul>

(3) 地域協議会だよりの発行

地域協議会の協議内容を市民にお知らせするため、西方地域の話題も交えた「地域協議会だより」を発行した。

- ・発行号数 第3号（4月）、第4号（7月）、第5号（9月）、第6号（12月）  
第7号（3月）
- ・体 裁 A3判二つ折り 両面刷り
- ・発行部数 各2,000部

2 自治会関係

自治会については、自治会長会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1) 自治会活動の推進

ア 単位自治会の把握

(7) 自治会役員名簿

次年度各自治会役員名簿等の取りまとめ

- ・受付期間 1月～3月
- ・対象自治会 39自治会

(イ) 班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

- ・受付期間 10月～11月
- ・対象自治会 39自治会

(変更が生じた場合は随時受付)

イ 自治会長等報償金の支出

(7) 各単位自治会の世帯数等調査

(基準日 10月1日現在)

(イ) 報償金の支出

(8月と1月の2回に分けて支払 各39件)

(2) 西方町自治会長会 (事務局)

ア 組織構成

(7) 組織

- ・単位自治会 39自治会

(イ) 役員

- ・会長1人、副会長2人、理事3人、監事2人 (総会で選出、任期1年)

イ 会議

(7) 自治会長会議及び定期総会

- ・開催日 4月11日 (水)
- ・参加者 各自治会長

(イ) 自治会長会役員会

- ・開催日 5月7日 (月)、8月9日 (木)、2月5日 (火)、3月21日 (木)
- ・参加者 各地区代表自治会長

ウ 主な事業

(7) 自治会長会視察研修

- ・実施日 7月4日 (水)
- ・研修先 茨城県ひたちなか市
- ・参加者 15人

(イ) 町内一斉清掃

- ・実施日 6月17日 (日)、11月18日 (日)
- ・実施方法 各自治会で実施

(ウ) 防犯防火診断

- ・実施日 12月6日 (木)
- ・実施方法 旧大字単位で消防団各分団と連携して実施

(エ) 防災訓練

・実施日 2月17日(日)

・参加者 約400人

(オ) 栃木市自治会連絡協議会関係

区 分	開催日	参加者
栃木市自治会連絡協議会総会・理事会	6月18日	正副会長・理事
栃木市自治会連絡協議会正副会長会議	8月9日	会長
栃木市自治会連絡協議会理事会	8月23日	正副会長・理事
栃木市自治会連絡協議会正副会長会議	10月4日	会長
栃木市自治会連絡協議会理事会	10月12日	正副会長・理事
栃木市自治会連絡協議会理事会	1月28日	正副会長・理事
栃木市自治会連絡協議会(受賞祝賀会)	2月25日	正副会長・理事
栃木市自治会連絡協議会理事会	3月25日	正副会長・理事

### 3 広報関係

「広報とちぎ」の配布

西方地域内での「広報とちぎ」の発行管理及び各課からの回覧等の配送業務を実施した。

- ・自治会長への「広報とちぎ」及び回覧文書等の配送業務委託(月1回)
- ・委託先:(社)栃木市シルバー人材センター

### 4 広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見・提案などを聴き、市民の声を今後の市政経営に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前 質問数	フリー トーク数	自治 会数	参加 者数
1	7月19日(木)	西方総合文化 体育館	古宿、峰、元中部、 柴西、柴中、柴南、 和久井、金井北、 原、薬師堂、神塚、 弥八内、金井東、 金井新田、西金井、 田谷、居林、下宿 北、下宿南	6	14	19	28
2	7月20日(金)	西方保健 センター	木の宮西、木の宮 東、金崎南、栄町、 上組南、上組東、 上組北、小倉山下、	7	14	11	40

			宿裏町、大沢田、 中宿				
3	7月26日(木)	真名子夢 ホール	根子屋、水木、岡、 男丸、真上、小沼、 小沼北、向宿、反 町	1	8	9	24
合 計				14	36	39	92
				50			

## 5 市民活動支援事業

西方地域において、住民のまちづくりへの積極的な参加を促進するため、住民が主体的に取り組む地域づくり活動に対して、交付金を交付した。

- ・ 交付金の名称：栃木市西方地域協働のまちづくり活動支援交付金
- ・ 対象となる活動：景観整備に関すること、地域福祉に関すること、子どもの健全育成に関すること等
- ・ 交付額：1団体あたり年額5万円以内（自治会・その他の団体）
- ・ 交付実績：10団体（自治会8団体、その他2団体）

## 6 総合支所会議

地域まちづくり課長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

- ・ 開催14回
- ・ 内容 審議事項12件  
報告事項19件  
連絡事項33件

## 総務担当

### 1 文書発送

後納郵便発送件数 38,664件（内総務担当取扱件数3,776件）

### 2 消防関係

#### (1) 配置人員

西方方面隊

(( ))の数字は内数 単位：人

分団別	階級	副団長	方面 隊長	方 面 副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
	本部分団	定 員	1	(1)	2	1	1	2	2	4
実 員		1	(1)	2	1	1	2	2	3	12
第1分団	定 員	-	-	-	1	1	1	2	14	19
	実 員	-	-	-	1	1	1	2	14	19

第2分団	定員	-	-	-	1	1	2	4	26	34
	実員	-	-	-	1	1	2	4	17	25
第3分団	定員	-	-	-	1	1	2	4	24	32
	実員	-	-	-	1	1	2	4	20	28
第4分団	定員	-	-	-	1	1	1	2	20	25
	実員	-	-	-	1	1	1	2	20	25
合計	定員	1	(1)	2	5	5	8	14	88	123
	実員	1	(1)	2	5	5	8	14	74	109

(2) 消防車等の態勢

西方方面隊

区分 分団・部		種別	車名	年式
本部分団		指令車	トヨタ	平成13年
		小型動力ポンプ	トーハツ	平成11年
		積載車	いすゞ	平成11年
第1分団		普通ポンプ車	トヨタ	平成22年
第2分団	第1部	小型動力ポンプ	シバウラ	平成21年
		積載車	トヨタ	平成21年
	第2部	普通ポンプ車	トヨタ	平成19年
第3分団	第1部	小型動力ポンプ	ラビット	平成11年
		積載車	ニッサン	平成11年
	第2部	小型動力ポンプ	ラビット	平成12年
		積載車	ニッサン	平成10年
第4分団		小型動力ポンプ	シバウラ	平成20年
		積載車	トヨタ	平成20年
		小型動力ポンプ	ラビット	平成20年
		軽積載車	スバル	平成20年

(3) 西方方面隊の活動状況

ア 入退団式の実施

- ・実施日 4月8日(日)
- ・場所 西方公民館

イ 機関員・ポンプ操法講習会の実施

- ・実施日 5月27日(日)
- ・場所 西方総合支所駐車場

ウ 夏季点検の実施

- ・実施日 7月29日(日)
- ・場所 西方小学校校庭

エ ポンプ操法大会の実施

- ・実施日 7月29日（日）
- ・場 所 西方小学校校庭

オ 水防訓練の実施

- ・実施日 8月19日（日）
- ・場 所 思川河川敷（西方町金崎地内）

カ 防犯防火診断の実施

- ・実施日 12月6日（木）
- ・場 所 西方地域旧大字単位（自治会と西方方面隊各分団が連携して実施）

(4) 西方方面隊役員会

開催日	場 所
4月18日（水）	西方総合支所2階会議室
6月 8日（金）	西方総合支所2階会議室
8月 8日（水）	西方総合支所2階会議室
10月 4日（木）	西方総合支所2階会議室
2月13日（水）	西方総合文化体育館2階研修室
3月21日（木）	西方総合支所2階会議室

(5) 各種団体の運営支援

栃木市西方婦人防火クラブの事務局として、運営の支援を行った。

3 防災関係

(1) 防災訓練の実施

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化並びに職員の災害応急対策の迅速化を図ることを目的とし、防災訓練を実施した。

- ・実施日 2月17日（日）
- ・会 場 西方小学校
- ・参加団体 木ノ宮西自治会、木ノ宮東自治会、金崎南自治会、栄町自治会、上組南自治会、上組東自治会、上組北自治会、小倉山下自治会、宿裏町自治会、大沢田自治会、中宿自治会、古宿自治会、峰自治会、元中部自治会、柴西自治会、柴中自治会、柴南自治会、西方地区民生委員児童員、栃木市消防団西方方面隊、西方地域赤十字奉仕団、西方婦人防火クラブ、西方地域交通指導員、社会福祉協議会西方支所、栃木市消防署・西方分署、石橋地区消防組合、栃木警察署、栃木県消防防災課航空隊、日本赤十字社栃木県支部、自衛隊栃木地方協力本部小山事務所
- ・参加人員 約400人

(2) 主な各種災害時用備蓄品等内訳

項 目	備 蓄 数
非 常 食	2,650食

非常用飲料水	780ℓ
毛 布	526枚

#### 4 自衛官募集事務

##### (1) 自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

##### (2) 自衛隊父兄会

西方町自衛隊父兄会の事務局として、父兄会活動を支援した。

### 理財担当

#### 1 支所庁舎内の業務委託

業 務 名	委託金額（円）
庁舎夜間警備保守業務委託	811,440
その他業務委託件数 7件	1,682,944

#### 2 支所庁舎内の修繕工事等

工 事 名	工事金額（円）
庁舎変電設備接地抵抗値改修工事	517,650
庁舎車庫シャッター修繕工事	458,576
庁舎1階フロアLAN配線等改修工事	338,100
その他修繕工事件数 6件	379,365

#### 3 共用車管理状況

区 分	数 量（台）
普通乗合（マイクロバス 23人）	1
普通乗用	2
小型乗用	2
軽乗用	2
小型貨物（内1台はトラック）	2
軽貨物	6

#### 4 契約件数

原則として、西方総合支所発注の130万円以上の建設工事、50万円以上の工事関連業務委託及び総額80万円以上の建設資材・物品の購入について、予定価格3,000万円未満の案件の入札を執行した。

・入札実績

(単位：件)

入札内容	一般競争入札	指名競争入札	計
建設工事	8	4	12
工事関連業務委託	—	7	7
物品購入(建設資材含む)	—	—	—
印刷物	—	—	—
計	8	11	19

5 見積合せ件数

3万円以上50万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

- ・件数 4件

6 建設工事等請負者選考委員会

建設工事等及び物品購入に係る指名競争入札の指名業者選考及び条件付き一般競争入札により施行する入札参加資格要件の設定について審議した。

- ・開催回数 8回
- ・審議件数 19件

7 入札・契約制度の適切な運用

市の入札制度の適切な運用に務めると共に、地域に配慮した制度運用を図り、入札問題等の発生防止に努めた。

8 市有建築物定期点検業務に関する事務

一定要件の市有建築物31棟について、建築物の安全性を確保するため、有資格者による法定点検を実施した。

- ・市有建築物定期点検業務委託 1,732,500円

9 パソコンの整備状況

区分	課名	パソコン(台)
区長、支所次長		2
西方総合支所	地域まちづくり課	20
	生活環境課	10
	健康福祉課	23
	産業建設課	11
西方教育支所		21
水道課(北部水道事務所)		4
合計		91

10 サーバシステム・ネットワーク機器端末等の保守管理業務等

名 称	業 務 名
大塚商会（株）	西方総合支所サーバ保守業務
大塚商会（株）	旧西方町ネットワークサーバデータ消去及び撤去業務
富士通リース(株)	行政系ネットワーク機器リース事業 ネットワーク機器93台、レーザープリンター8台

11 行政財産使用料

区 分	件数（件）	数 量	収入金額（円）
庁舎1階廊下（販売）	14	延べ28㎡	1,400
足利銀行（ATM）	1	22.20㎡	17,490
東京電力(株)（電柱、支線）	1	8本	12,000
東日本電信電話(株)（電話柱等）	1	15本	22,500
ケーブルテレビ(株)	1	4本	6,000
日本郵便(株)鹿沼郵便局	1	1基	450
庁舎内自動販売機（4社）	4	4台	156,000
合 計	23	—	215,840

12 普通財産の管理等に関する事務

普通財産の貸付

区 分	件数（件）	面積（㎡）	収入金額（円）
市有地（西方地域）	15	9,222.44	392,432
西方さくらホーム（事務室）	1	20.70	60,000
合 計	16	9,243.14	452,432

13 市営金崎有料駐車場に関する事務

区 分	件数（件）	収入金額（円）
年額利用者	15	540,000
月額利用者	2	45,500
合 計	17	585,500

市民税担当

1 諸証明等の交付（西方地域分）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	1,120	368	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税、所得及びその他の証明 1件につき200円</li> <li>・土地及び建物の評価証明 1件につき200円</li> <li>ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。</li> <li>・住宅用家屋証明 1件につき1,300円</li> </ul>
公簿閲覧	243	31	
計	1,363	399	

2 市民税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の業務については、本庁市民税課に一括して掲載。

3 差押（参加差押含む）（上段：市全体/下段：西方地域）（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年度末
不 動 産	160	2	5	157
	13	-	-	13
自 動 車	5	5	2	8
	-	-	-	-
電話加入権	7	-	-	7
	-	-	-	-
債権その他	120	402	311	211
	12	80	73	19
計	292	409	318	383
	25	80	73	32

※地方税法第48条による県からの引継ぎ件数も含む

4 交付要求（上段：市全体/下段：西方地域）（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
124	96	133	87
4	7	4	7

5 催告書発送及び納付状況（上段：市全体/下段：西方地域）

月 日	発送件数（件）	納付件数（件）	納付額（円）
4月13日（金）	1,731	1,270	24,372,308
	93	-	-
6月22日（金）	4,946	1,593	23,667,546
	178	-	-
10月26日（金）	4,047	1,445	28,770,803
	204	-	-
1月25日（金）	2,345	1,535	28,610,590
	124	-	-
計	13,069	5,843	105,421,247
	599	-	-

6 休日納税相談窓口（上段：市全体/下段：西方地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 期 間	納付件数(件)	納付額（円）
第1回	4月21日（土）	36	945,500
		3	60,000
第2回	7月1日（日）	32	1,097,530
		-	-
第3回	11月4日（日）	28	1,202,400
		3	81,600
第4回	2月3日（日）	90	2,197,200
		4	129,200
計		186	5,442,630
		10	270,800

7 市税等収納員による徴収事業

西方地域の実績は、都賀総合支所税務課に含む。

8 市税等徴収強化事業（上段：市全体/下段：西方地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員及び関係課職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間 12月7日（金）～25日（火）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
1,566	126	3,061,770
114	10	112,500

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

## 第2節 生活環境課

### 〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次の業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付審査、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

旅券事務については、一般旅券の発給申請の受理及び交付事務を行った。（真名子出張所を除く。）

国民健康保険事業については、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業については、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業については、市民の保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障がい者、こども（中学校3年生まで）、妊産婦及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対し、経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費の一部を助成した。

国民年金事業については、法定受託事務として各種届出の受理及び進達を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

交通関係については、交通安全運動や交通安全教室などを通じて、交通安全に対する意識の高揚に努めた。

今日の環境問題は、ごみの不法投棄・野外焼却、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、地球温暖化、自然破壊による生物多様性の減少など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世界帯を挙げた取組を進めることが求められている。これらの課題等に対応し、環境行政の円滑で積極的な推進を図った。

具体的には、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、不法投棄の監視及び投棄物の回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のための市民意識の啓発推進に努めた。

また、大気、水、騒音、悪臭等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図るとともに、市営墓地の管理・運營業

務の円滑な推進に努めた。

住民担当

1 戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数 80件（出生26件、婚姻10件、死亡32件等）

2 窓口事務

(1) 窓口届出処理件数

(単位：件)

処 理 事 項		件数	処 理 事 項		件数
戸籍届		80	死体埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)		11
住民異動届		297	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)		-
計		377	死産届		-
印鑑	登 録	194	計		11
	廃 止	93	合 計		675
計		287			

(2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件数(件)	金額(円)	種 別		件数(件)	金額(円)
戸 籍	全部事項証明	727	327,150	住 民 票	世帯全員	566	113,200
	個人事項証明	238	107,100		個 人	1,743	348,600
	除籍謄本	535	401,250		証 明	48	9,600
	除籍抄本	3	2,250		閲 覧	-	-
	戸籍証明	5	1,750		年金現況証明	1	200
	受理証明	-	-		戸籍の附票	58	11,600
	廃棄証明	-	-		公 用	26	-
	出産証明	-	-		広 域	2	400
	不受理証明	-	-		住基カード(有料)	2	1,000
	公 用	5	-		住基カード(無料)	1	-
	計	1,513	839,500		計	2,447	484,600
証 明 書	印鑑証明	2,063	412,600	そ の 他	印鑑登録	194	38,800
	諸証明	12	2,400		印鑑登録廃止	93	-
	身分証明	65	13,000		臨時運行許可証	100	75,000
	住居表示証明	-	-		労基証明	-	-
	公 用	4	-		人口統計	-	-
	選挙証明	3	-		公的個人認証	7	3,500

計	2,147	428,000	計	394	117,300
合 計			6,501 件 1,869,400 円		

(3) 斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種 類	区 分		件 数 (件)		金 額 (円)
斎 場	市 内	大 人	21	21	-
		小 人	-		
		死産児	-		
	市 外	大 人	-	-	-
		小 人	-		
		死産児	-		
	エ ナ		-	-	-
計			21	-	
霊きゅう車	往 路	市 内	15	67,500	
		市 外	-	-	
	帰 路	市 内	12	18,000	
		市 外	-	-	
計			27	85,500	
待 合 室	市 内		20	60,000	
	市 外		-	-	
計			20	60,000	
合 計			68	145,500	

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	処理件数
戸籍謄抄本等交付	1
住民票写し等交付	5
印鑑登録証明書交付	1
印鑑登録	-
戸籍届	-
窓口及び電話による相談、問合わせ等	8
合 計	15

3 外国人登録事務

(1) 各種申請書受理件数(7月8日現在) (単位：件)

件 名	件 数	件 名	件 数
新規登録	-	居住地変更登録	-
確認申請	3	居住地以外の変更登録	1
再交付申請	-	計	4

引替交付申請	-
--------	---

(2) 報告その他の事務取扱件数(7月8日現在) (単位:件)

件名	件数	件名	件数	
閉鎖	出国	1	登録原票送付	1
	死亡	-	登録原票送付請求	-
	日本国籍取得	-	公務所からの照会回答	4
	その他(上記以外によるもの)	-	計	6

4 一般旅券申請・交付件数 (単位:件)

	申請	交付
4月	8	7
5月	5	7
6月	4	2
7月	12	8
8月	9	10
9月	3	5
10月	4	3
11月	2	3
12月	8	5
1月	7	9
2月	5	6
3月	3	2
計	70	67

保険医療担当

1 国民健康保険の給付等に係る申請の受付に関すること

(1) 高額療養費の受付状況 (単位:件)

高額療養費受付件数	一般	196
	退職者	10
限度額適用認定証(標準負担額減額認定証を含む)		25

(2) 療養費の受付状況 (単位:件)

療養費受付件数	65
---------	----

(3) 出産育児一時金の受付状況 (単位:件)

出産育児一時金受付件数	1
-------------	---

(4) 葬祭費の受付状況 (単位:件)

葬祭費受付件数	13
---------	----

(5) 人間ドック検診の受付状況 (単位：件)

人間ドック受付件数	一般ドック	63
	脳ドック	4

(6) 医療費通知の発送状況

回数	対 象 月	件 数(件)	発 送 月
1	平成 23 年 12 月・平成 24 年 1 月診療分	831	5 月
2	平成 24 年 2 月・平成 24 年 3 月診療分	854	7 月
3	平成 24 年 4 月・平成 24 年 5 月診療分	842	10 月
4	平成 24 年 6 月・平成 24 年 7 月診療分	681	11 月
5	平成 24 年 8 月・平成 24 年 9 月診療分	817	2 月
6	平成 24 年 10 月・平成 24 年 11 月診療分	836	3 月
計		4,861	

2 後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数

申請書種類	件 数(件)
資格関係届出	120
高額療養費申請	50
その他の療養費申請	23
葬祭費申請	55
被保険者証等再交付申請	48
合 計	296

3 医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

(1) 重度心身障がい者医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	20
-----------	----

(2) こども医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	124
-----------	-----

(3) 妊産婦医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	37
-----------	----

(4) ひとり親家庭医療費助成 (単位：件)

資格関係等受付件数	9
-----------	---

4 不妊治療費補助金に関すること

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の

給付金を控除した額を基準として、その2分の1の額（10万円を限度に通算5回）を補助するため、窓口で申請受付等を行った。

申請受付件数

補助申請件数(件)	1
-----------	---

5 国民年金に係る申請等受付に関すること

(1) 諸届の受理件数 (単位：件)

種別	件数	種別	件数
新規取得届	29	転居届	15
新規取得申出	-	氏名変更届	11
再取得届	91	訂正・取消・不在	-
再取得申出	-	転出届	34
付加年金取得届	2	法定免除該当届	2
付加年金喪失届	-	法定免除消滅届	2
資格喪失届	11	手帳再交付届	2
資格喪失申出	-	種別変更届	16
死亡届	2	その他	14
転入届	19	計	250

(2) 免除申請受理件数 (単位：件)

種類	件数
免除・納付猶予申請	94
学生納付特例申請	29

(3) 国民年金請求受理件数 (単位：件)

給付種類	件数
老齢基礎年金	2
障害基礎年金	4
遺族基礎年金	-
寡婦年金	-
死亡一時金	1
未支給年金	-
老齢福祉年金	-
計	7

(4) 相談件数 (単位：件)

相談の内訳	件数
来訪相談	179
電話相談	123
文書相談	-

計	302
---	-----

生活環境交通担当

1 環境基礎調査事業

地下水水質調査

西方地内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 西方町元地内
- ・調査月日 8月20日 11月16日 2月18日
- ・調査項目 pH BOD SS 溶存酸素(DO) 全窒素 全リン

2 市営墓地使用許可状況

(単位：区画)

名称及び面積	造成数	許可数
菅ノ沢墓地 19.8㎡	10	7
東上林墓地 6.6㎡	25	25
計	35	32

3 公害関係

(1) 大気関係

大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	1	1	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(2) 水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	4	4	1	2
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	1	-	-

(3) 騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	2	1	-	1	1

栃木県環境保全条例に基づく届出	-	1	-	1	1
-----------------	---	---	---	---	---

(4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

(単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設 作業実施届
振動規制法に基づく届出	2	1	-	1	1
県環境保全条例に基づく届出	-	1	-	1	-

(5) その他

公害苦情受付件数

(単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
5	2	1	-	1	-	-	9

4 一般廃棄物の収集

13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみ、新聞紙、雑誌、その他の紙、紙パック、ダンボール、ペットボトル・食品用トレイ、空カン・空ビン、有害ごみ、粗大ゴミは月1回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料で戸別訪問収集を実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) ごみ収集搬入量

(単位：t)

もやすごみ	もやさない ごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
1580.36	128.95	127.25	70.17	21.80	25.34	1953.87

(2) もやすごみの収集搬入状況

(単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
12.24	1015.65	552.47	1580.36

(3) もやさないごみの収集搬入状況

(単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
2.07	113.71	13.17	128.95

(4) 資源物の収集搬入状況

(単位：t)

種類	直営	委託	直接搬入	合計
紙類	-	127.25	-	127.25
空カン・空ビン	-	69.78	0.39	70.17

ペットボトル・トレイ	—	21.73	0.07	21.80
合 計	—	218.76	0.46	219.22

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減 免	合 計
2.12	2.33	18.19	2.70	25.34

(6) 犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合 計
1	28	28	57

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 (単位：k1)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合 計
178.28	744.51	922.79

5 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、環境美化監視員を設置し、地域内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

(1) 地区別不法投棄物回収件数 (単位：件)

区分 地域	生活系 廃棄物	家 電 4品目	電 化 製 品	粗 大 ご み	産 業 廃棄物	その他	計
西 方	12	5	1	7	—	9	34

(生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計)

6 狂犬病予防業務

(1) 犬の登録 (単位：頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
29	32	646

(2) 狂犬病予防注射

個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 153頭

7 市民相談関係

市政に対する意見、要望、苦情を聴くとともに、国・県との相談機関と相互に協力して市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

行政相談

- ・実施日 毎月18日
- ・場 所 西方保健センター
- ・相談件数 3件

## 8 消費者行政の推進

経済社会全体の情報化、国際化、規制緩和の進展を背景に消費者を取り巻く環境は、著しく変化しており、また、消費者のニーズも多様化、高度化し多面的な広がりを見せている。消費者が安全で合理的な消費生活を送るために情報提供、相談業務や啓発事業を実施した。

## 9 交通関係

### (1) 交通安全運動等

#### ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗掲出等。

・実施期間 4月6日（金）～15日（日）

#### イ 夏の交通安全街頭啓発

街頭PR、広報車等による広報。

・実施日 7月20日（金）

#### ウ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗掲出等。

・実施期間 9月21日（金）～30日（日）

#### (ア) 交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰、大会宣言等。

・実施日 9月29日（土）

・場 所 栃木文化会館

#### エ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車等による広報。

・実施期間 12月11日（火）～31日（月）

### (2) その他の交通安全対策

・交通指導員の設置 3人委嘱（西方）

## 10 防犯関係

防犯業務においては、防犯診断及び防犯灯の修繕を実施した。

### (1) 防犯診断 12月6日（木）

・全戸へチラシ配布及び防犯診断実施

### (2) 防犯灯の設置

（単位：灯）

区 分		設 置 灯 数
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	4
改修工事	移設、撤去、器具交換	30

## 11 青少年健全育成関係

### (1) 栃木市少年補導員街頭補導活動

青少年の健全育成を図るため、10人の少年補導員により、街頭補導啓発活動を実施した。

少年補導員街頭補導活動状況 4回

実施日	実施場所
7月27日（金）	東武金崎駅、スーパー、コンビニ、他公共施設等
11月9日（金）	とちぎ秋まつり会場
11月10日（土）	とちぎ秋まつり会場
3月18日（月）	東武金崎駅、スーパー、コンビニ、他公共施設等

(2) にしかた子どもネットワーク（青少年育成市民会議）

関係機関・団体が連携・協力し、市民総ぐるみで青少年の健全育成を推進する事を目的とし、下記事業を実施した。

ア 子ども夏まつり

- ・実施日 8月19日（日）
- ・場 所 西方総合文化体育館

イ どんど焼き

- ・実施日 1月13日（日）
- ・場 所 道の駅にしかた西側田圃

### 第3節 健康福祉課

#### 〔総括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当、こども担当（地域子育て支援センター及び認定西方なかよしこども園を含む）で編成されている。

福祉担当では、福祉に係る全般的窓口として、民生委員児童委員に関する事務、日本赤十字社に関する事務、生活保護や低所得者層の援護、戦没者遺族の援護を行った。また、障がい者支援として、身体・知的・精神障がい者手帳の交付、自立支援医療受給者証の交付、障がい福祉サービスや福祉タクシー料金助成に関する事務等を行い、豊かな社会生活を営むことができるよう努めた。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、老人クラブ育成支援、西方ふれあいプラザ及びさくらホームに関する業務等を実施した。また、高齢者福祉関係として、配食サービス事業、緊急ホームヘルパー派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当支給事業、紙おむつ購入費助成事業などの介護予防事業や生活支援事業を実施した。さらに、介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため介護予防事業、包括的支援事業等に取り組んだ。

健康増進担当では、ライフサイクルに応じた健康づくり支援として各種健康診査、健康教育、相談、訪問事業等を実施した。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としてのびのび相談、各種予防接種事業等を実施した。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。また、各種がん検診、肝炎ウイルス、骨粗しょう症及び歯周疾患検診を実施した。がん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診の受診勧奨を図った。健康づくり事業では、生活習慣病予防推進のため、栄養や運動等に関する健康相談・健康教育事業を実施した。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターでは、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換を行い明るく楽しい子育ての支援に努めるとともに、子育て支援の充実を図った。保育所では、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、一時預かり事業、時間外保育事業、特別支援保育事業等の特別保育を実施し、児童福祉の向上を図った。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員18人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
7	14	—	16	—	11
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
3	1	7	91	150	8.3

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
484	29	264	1,546	2,842	5,165	286.9

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤社資

目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
649,950	647,700	99.7

(2) 災害による救援品配布状況 (単位：件)

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	1	—	—	—	—

(3) 災害見舞金給付状況 (単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
—	—	—	—	—

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供する事業所の利用者証を交付して、社会参加や交流の促進を図った。

- ・施設名 さざなみの家
- ・所在地 平柳町1-2-7
- ・利用者数 3人

4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区 分		実施状況(人)
交付者数		90
	うち高齢者(80歳以上)	64
	高齢者(65～79歳)	4
	障がい者	16
	腎臓機能障がい者	6

5 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）（単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	平成24年度交付者数
視覚障がい	10	1
聴覚・平衡障がい	28	1
音声・言語・そしゃく障がい	3	—
肢体不自由障がい	116	8
内部障がい	71	7
複合障がい	11	1
合 計	239	18

6 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数）（単位：人）

区 分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	3	2	9	4	18
中度（B1）	1	1	6	5	13
軽度（B2）	—	1	5	—	6
合 計	4	4	20	9	37

7 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況（精神障害者保健福祉手帳交付者数）

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	5	20
2 級	17	68
3 級	3	12
合 計	25	100

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、平成24年度は51人が受給した。

8 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理 (単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	—	—	—	—	—	—
	義足	—	—	—	—	—	—
装具	下肢	2	—	2	—	—	—
	靴型	—	—	—	—	—	—
	体幹	—	—	—	—	—	—
	上肢	—	—	—	—	—	—
座位保持装置		—	—	—	—	—	—
盲人安全つえ		—	—	—	—	—	—
義眼		1	—	1	1	—	1
眼鏡	矯正眼鏡	—	—	—	—	—	—
	遮光眼鏡	—	—	—	—	—	—
	弱視眼鏡	—	—	—	—	—	—
補聴器	高度難聴用ポケット型	—	—	—	—	—	—
	高度難聴用耳掛け型	—	—	—	—	1	1
	重度難聴用ポケット型	—	—	—	—	—	—
	重度難聴用耳掛け型	2	—	2	—	—	—
車いす	普通型	—	1	1	2	1	3
	その他	—	—	—	—	—	—
電動車いす		—	—	—	—	—	—
起立保持具		—	—	—	—	—	—
座位保持いす		—	—	—	—	—	—
歩行器		—	—	—	—	—	—
歩行補助つえ		—	—	—	—	—	—
重度障がい者用意思伝達装置		1	1	2	—	—	—
特例補装具		—	—	—	—	—	—
合計		6	2	8	3	2	5

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	—	—
特 殊 マ ッ ト	—	—
特 殊 尿 器	—	—

移動用リフト	—	—
訓練いす	—	—
入浴補助用具	—	1
体位変換器	—	—
便器	—	—
T字状・棒状のつえ	—	—
移動・移乗支援用具	—	1
頭部保護帽	—	1
特殊便器	—	—
火災警報器	—	—
自動消火器	—	—
聴覚障がい者用屋内信号装置	—	—
透析液加温器	—	—
ネブライザー	—	—
電気式たん吸引器	1	—
点字タイプライター	—	—
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	—	—
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	—	—
視覚障がい者用拡大読書器	—	—
盲人用時計	—	—
盲人用体温計	—	—
盲人用体重計	—	—
点字ディスプレイ	—	—
聴覚障がい者用通信装置	—	—
聴覚障がい者用情報受信装置	—	—
人工喉頭	—	—
携帯用会話補助装置	—	—
情報・通信支援用具	—	—
点字図書	—	—
ストマ用具	13	—
紙おむつ	—	2
収尿器	—	—
居宅生活動作補助用具	—	—
合計	14	5

9 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

種 別	給付決定者数(件)
視 覚 障 が い	—
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	—
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	—
免 疫 機 能 障 が い	—
肢 体 不 自 由	—
心 臓 機 能 障 が い	1
腎 臓 機 能 障 が い	19
計	20

10 各種手当の状況

種 別	給付決定者数(件)	
特定疾患介護手当	12	
重度心身障がい児扶養手当	—	
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	—
	障がい児福祉手当	—
	福祉手当（経過的）	—
特別児童扶養手当	—	

11 障害者相談支援事業

西方総合支所においては、身体障がい者と知的障がい者は、栃木市障がい児者相談支援センターに委託をし、精神障がい者は、栃木市障がい児者相談支援センターの協力を受け健康福祉課で相談事業を行った。

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（4月1日現在）

区分	年度		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総人口(人)	6,793	6,684	6,618
65歳以上人口(人)	1,699	1,696	1,715
総人口に対する割合(%)	25.01%	25.37%	25.91%

※外国人を含む人口

(2) 高齢者生活態様（4月1日現在） （5～6月調査結果）

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		1,715	100
内 訳	独居	136	7.9
	高齢者世帯※ (世帯数)	297 (148)	17.3
	その他	1,282	74.8

※65歳以上のみで構成された世帯

2 敬老祝賀事業

9月1日（基準日）において本市に引き続き1年以上在住し、該当年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日にあわせ老祝金を贈呈した。本庁一括予算で実施し、95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区分	支給額（円）	対象人数（人）
85歳	10,000	48
90歳	20,000	28
95歳	30,000	7
100歳	100,000	2
101歳以上	50,000	1

3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 35自治会、1高齢者施設
- ・補助額 657,000円

4 老人クラブ育成支援

老人クラブ連合会西方支所の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導支援を行った。

- ・単位老人クラブ数（西方地域） 9クラブ
- ・西方町老人クラブ連合会会員数 234人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 本庁高齢福祉課で支払  
老人クラブ連合会西方支所助成 本庁高齢福祉課で支払

5 老人スポーツ大会

老人クラブ連合会西方支所主催（事務局：栃木市社会福祉協議会西方支所）で老人ス



・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引器	—
特殊寝台	—
じょく瘡予防用具	—

#### 10 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況 (単位：台)

既設置台数	平成 24 年度設置台数	平成 24 年度撤去台数	計
11	1	5	7

#### 11 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

要介護認定3・4・5いずれかに認定された方と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数 (延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
74	86	160

#### 12 紙おむつ購入費助成事業

要介護認定3・4・5いずれかに認定された方で、日常生活において紙おむつを使用している方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数 (延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
60	65	125

#### 13 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

##### (1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 7人
- ・延べ回数 162回 (162時間)

##### (2) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者数 2人
- ・延べ利用時間数 (単位：時間)

家事	—
除草	4

植木手入れ	—
大工	—

(3) 在宅高齢者短期入所事業

・利用者 なし

14 西方ふれあいプラザ

西方ふれあいプラザの運営管理業務を、栃木市社会福祉協議会（西方支所）に委託（指定管理）して実施した。

(1) 利用者数

（単位：人）

区分	年度	
	平成 23 年度	平成 24 年度
西方ふれあいプラザ利用者	3,151	2,638

・開館日数 285日

・1日平均利用者 9.3人

・内 容 趣味活動（手工芸等）、レクリエーション、入浴、足湯  
カラオケなど

15 西方さくらホーム

高齢者が、自主的に社会奉仕活動や生きがい活動、健康づくり活動等を行うことを目的に事業を実施した。

(1) 利用者数

（単位：人）

区分	年度	
	平成 23 年度	平成 24 年度
西方さくらホーム利用者	850	726

・開催日数 128日

・1日平均利用者 5.7人

・内 容 手工芸教室、介護予防教室、除草など

16 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内 容	件数（件）
要介護（要支援）認定申請 相談・受付・入力	349
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	5
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	—
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	2
転入・転出・転居 資格管理等	8
転送希望届申請 受付・入力	4

居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	77
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	1
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	—
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	5
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	16
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	17
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	8
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	49
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	5
オムツ使用証明申請 受付・発行	1
介護保険事業者事故報告 受付	—

## 17 任意事業

### (1) 介護給付等適正化事業

介護（予防）給付において、介護サービス利用者に介護（予防）サービスが適正に提供されているか、情報提供として「介護給付費通知書」を郵送した。（本庁一括予算で作成した通知書と西方総合支所予算で作成した通知書を、転送・転出・死亡等の確認後に郵送した。） 送付数：417通（年2回）

## 18 高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

（単位：件）

区分 \ 件数	実件数	延べ件数
面接	172	193
電話相談		205
家庭訪問	15	17
連絡調整		164

## 19 地域包括支援センター事業

### (1) 地域包括支援センター設置状況

西方地域包括支援センター 西方町本城1番地 西方保健センター2階

### (2) 介護予防事業

#### ア 二次予防事業

##### (7) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機

能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者の把握を行った。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた人を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握状況

チェックリストによる対象者数 192人

(イ) 通所型介護予防事業

運動器機能向上の必要性がある二次予防事業対象者に対して、運動教室、いきいきりハビリ教室を実施し、要介護状態等になることの予防及び、自立した生活を送るための支援を行った。

運動教室では、健康運動指導士が個別の運動プログラムを作成し、そのプログラムに沿って教室時や自宅での運動を対象者に3か月間実践してもらった。

いきいきりハビリ教室では、年3回理学療法士が、個別の運動プログラムを作成し、教室時にプログラムに沿って運動を行った。

・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
複合型(ゆうゆうヘルシー教室)	10	68
運動教室	12	65
いきいきりハビリ教室	48	501

(ウ) 訪問型介護予防事業

心身の状況等により通所型事業への参加が困難な二次対象者事業対象者に、保健師が訪問し相談指導や各種サービスの提供等を行った。

・実施状況

保健師による訪問実施状況 15人

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発のため、「元気アップ教室」を全5カ所で実施した。各箇所月1~3回の頻度で、保健師による運動の実践や指導、栄養士による栄養の講話や調理実習を行った。また、老人会の集会に合わせて、保健師が出向き、介護予防のための運動や講話を実施した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	77	792
栄養改善	10	103
合計	87	895

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等になることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。

また、要支援状態等となった場合においては、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

- ・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況

作成者件数 17 件

- ・要支援 1・2 の介護予防サービス計画作成状況

	件数(件)
地域包括支援センターによる作成件数	27
事業者委託件数	10
合計	37

- ・サービス担当者会議実施状況

地域包括支援センター主催および委託事業所実施への参加 30 件

#### イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

- ・実施状況

	延べ件数(件)
面接	159
電話相談	652
家庭訪問	523
合計	1,334

#### ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、関係機関と連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を随時行っているが、平成 24 年度は高齢者虐待の相談等はなかった。

- ・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関する事	3
高齢者虐待に関する事	—

#### エ 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における他職種との連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

健康増進担当

1 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを行い、妊婦の状態を把握し、必要に応じて面接相談を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・母子健康手帳交付数 27人（妊娠届出27人、双胎一人、紛失等一人）

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査 【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査 【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がい相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	34	35	103.0	5	1	1	0
乳児健康診査 (9か月児)	12	36	35	97.2	3	0	0	0
1歳6か月児 健康診査	3	32	32	100	10	0	0	0
3歳児 健康診査	3	39	39	100	7	2	1	3

エ 2歳児歯科健診及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健診及び歯科医師により講話を行った。

また、保健師による育児指導、栄養士による栄養指導を実施した。

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)
3	41	37	90.2

オ 乳幼児発達相談（二次健診）【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

乳幼児健康診査等で成長発達の遅れが認められた幼児に対し、栃木会場において、医師による診察や相談、専門職による相談等を行い、心身障がいの早期発見・早期療育につなげた。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

3～4か月児を対象に委託機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を行うため、受診券を交付した。

(3) 健康教育

ア 両親（母親）教室 【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

初妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり、乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

イ すくすく教室（子育て支援教室）

2～3か月児とその母親を対象に、よりよい母子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や母親同士の交流を図った。

- ・実施回数 6回
- ・参加者延べ数 32組

ウ 健診事後教室（ちゃいちゃいぐるーぷ・ぺんぎんぐるーぷ）

【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

幼児健診等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

エ 思春期保健事業

小児生活習慣病を理解し、生活習慣を振り返り、健康への関心を高めるために小・中学校の児童生徒とその保護者を対象に授業協力を行った。

会 場	実施回数(回)	参加人数(人)
西方中学校	1(1校)	生徒68
西方小学校	1(1校)	生徒63、保護者3

オ だっこだっこ絵本事業

親子のふれあいを促進し豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 12回（9か月児健診開催時）
- ・参加者延べ数 35組

カ よい歯のコンクール【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール（3歳児の部、親と子の部）を実施し、歯と口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者

は県の2次審査に推薦した。

キ 食育事業

(ア) 親子クッキング教室

小学生以下の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む等の食育を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 34組

(イ) クッキング体験

食への関心を高め野菜嫌いをなくすことを目的に、なかよしこども園の年中児に対し、講話と調理の実際を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加人数 75人

(ウ) のみもの教室

小学1年生に対し、飲み物の糖分とカロリー等から、食と健康について考える機会を提供した。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 44人

(エ) 箸名人

なかよしこども園年少～年長児に対し、正しい箸の持ち方の実践を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 113人

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

育児の情報交換や母親の友達づくりをすすめることにより、地域の中で心のゆとりを持って楽しく子育てができるよう支援した。また、保健師等による育児等の相談業務を行った。

- ・実施回数 4回
- ・参加者延べ数 33組

イ 5歳児発達相談

3歳児健診までに発見されにくい軽度発達障がい等について診断の有無に関わらず支援を行うとともに、適切な療育の提供や保護者への支援を行った。市内なかよしこども園において発達相談を実施した。(単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診・医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
99	87	—	7	—	3	2

ウ こんにちは赤ちゃん事業(新生児・産婦訪問指導を兼ねる)

生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師が訪問し、育児に関する不安や悩みの聴取、相談、子育て支援に関する情報提供及び親子の心身の状況の把握を行った。

- ・指導実数 29 件
- ・指導延べ数 29 件

#### エ のびのび相談室

発達上の問題が疑われた児に対し、心理士による相談指導及び育児支援を行った。

- ・実施回数 2 回
- ・相談者数 4 人

## 2 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査、健診結果説明会及び特定保健指導を行った。

### (1) 特定健康診査、後期高齢者診査及びヤング健診

- ・実施回数 4 回
- ・実施場所 西方保健センター

### (2) 健診結果説明会

- ・実施回数 7 回
- ・参加者数 223 人

### (3) 特定保健指導

区 分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	19	12	63.2
動機付け支援	28	14	50.0
合計	47	26	55.3

## 3 健康診査事業（健康増進法による健診）

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウィルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）を行った。

- ・集団健診実施回数 4 回
- ・受診者数 641 人
- ・集団健診実施会場 西方保健センター

## 4 健康増進法等に基づく保健事業

### (1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため健康教育を行った。

教室名	実施回数(回)	参加者数(人)	内 容
おなかすっきり運動教室	8	73	運動指導士による運動講話及び実践
男性のための料理教室	1	8	栄養士による講話及び調理実習

### (2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 1 回

- ・延べ相談者数 1人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

## 5 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、普及啓発用リーフレットを窓口及び各種事業時において配布し、自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

## 6 予防接種事業 【数値は本庁健康増進課で一括計上】

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

### (1) 定期予防接種

各種の定期予防対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種行い、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

#### ア 集団接種

- ・ポリオ投与（小児マヒ）
- ・実施回数 2回（延べ40人）
- ・実施場所 西方保健センター

#### イ 個別接種

B C G、三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）  
日本脳炎、高齢者インフルエンザ、ポリオ

### (2) 任意予防接種

- ・子宮頸がん予防接種を、各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。
- ・小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン、小児インフルエンザ予防接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

## 7 地域保健対策事業

### (1) 健康まつり事業

「にしかたふるさとまつり」が開催された際に、市民の健康増進のため、健康チェックコーナーを設けた。

- ・実施日 11月24日（土）
- ・場 所 道の駅にしかた
- ・実施内容 骨粗しょう症検査 156人  
血管年齢測定 160人

### (2) 食生活改善地区組織事業（会員数42人）

#### ア 自主活動

減塩指導やバランス食等についての講話及び調理実習を行った。

- ・実施回数 4回
- ・参加延べ人数 54人

#### イ 減塩啓発事業

健康診査時に試食提供を行った。

- ・実施回数 4回
- ・参加延べ人数 367人

ウ 親子の食育教室

- ・実施回数 1回
- ・参加延べ人数 19人

(3) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 76世帯
- ・保健師訪問指導 129人（延べ人数）

精神保健	16	妊産婦	29	幼児	24	生活習慣病	26
新生児	11	低体重児	4	他の疾患	—	その他	1
心身障がい	—	乳児	18				

8 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
2	25	10	10	—	20	5

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、西方地域2か所の小学校区内において実施した。

- ・学童保育入所者数 (単位:人)

学年	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
西方児童クラブ(西方小)	2	2	4	3	4	7	5	10	15	10	16	26
真名子児童クラブ(真名子小)	3	—	3	1	—	1	4	4	8	8	4	12
計	5	2	7	4	4	8	9	14	23	18	20	38

2 地域子育て支援センターにしかた

子どもを取り巻く社会現象の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言、特別活動等を行った。

- (1) 利用者数 (単位:人)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
平成24年度	57	160	146	121	2	2	0	425	913

(2) 活動状況

ア 定例遊び

なかよしひろば

- ・実施日 月 3～4 回
- ・実施時間 午前 10 時 30 分～11 時 30 分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子製作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 計 38 回
- ・延べ参加者 821 人

イ 特別活動

(単位：人)

No	活 動 名	参加人数
1	エプロンシアター（食育について）	11
2	親子で布絵本を作ろう	28
3	保健師の話（虫歯予防）	8
4	大きくなったかな（カウプ指数測定）	29
5	保健師の話（お誕生会）	16
	合 計 5 回	92

ウ 子育て相談

(単位：件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食 事 に 関 す る こ と	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	2	2	0
排 泄 に 関 す る こ と	おむつはずし、便秘 ほか	0	0	0
睡 眠 に 関 す る こ と	夜更かし、夜泣き眠りが浅い ほか	0	0	0
健 康 に 関 す る こ と	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	0	0	0
こ と ば に 関 す る こ と	発語が遅い、幼児語 ほか	2	2	0
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	0	0	0
そ の 他	性格、育児依頼、入園、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	17	14	3
合 計		21	18	3

### 3 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給した。

- ・児童手当受付件数 49件

### 4 赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、第二子以降のお子さんが誕生した家庭に、誕生祝金を交付した。

事業名	祝金額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	12
	第三子以降 20,000円	6

### 5 児童扶養手当

父母の離婚や死亡などによって、父または母と生計を同じくしていない児童や父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給を行った。

種別	受付件数(件)
児童扶養手当	1

### 6 保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の理由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達、育成を図った。

#### (1) 保育所入所状況

##### ア 児童定員・異動状況

(単位:人)

区分	保育園名	定員	24年10月1日 入所児童数	途中入所 児童数	退所児童数	25年3月1日 入所児童数
公立	西方保育園	90	86	9	1	89

##### イ 階層別児童数

(平成25年3月1日現在 (単位:人))

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	計
公立	西方保育園	0	5	11	29	13	17	6	7	1	89

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

##### ウ 年齢別児童数

(平成25年3月1日現在 (単位:人))

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	西方保育園	6	6	15	14	48	89

#### (2) 施設運営全般

施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
- ・ 保育内容の充実と技術の向上
- ・ 安全対策と保護者との対応
- ・ 地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 月	結 果 と 措 置
健康診断	2	4月・9月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	4月・9月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 日	結 果 と 措 置
寄生虫卵	2	5月30日(水)・9月13日(木)	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	5月30日(水)・9月13日(木)	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ア) 観 察

登園時、園児受け入れの際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ウ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

- ・ 発生件数           なし

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・ 明るく元気に遊ぶ子
- ・ 思いやりのある子
- ・ 自ら考え工夫する子

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき保育課程、年間指導計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主な行事
4月		入園式
5月	こどもの日	親子遠足
6月	歯の衛生週間、時の記念日	歯磨き指導、保育参観、プール開き
7月	七夕飾り、海の日	夏祭り、クッキング(年長児)

8月		
9月	防災の日、敬老の日	
10月	体育の日	運動会、クッキング（年長児）
11月	七五三	保育参観
12月	師走	なかよし発表会、クリスマス会
1月	お正月	人形劇観賞、小学校との交流会（年長児）
2月	節分	まめまき会、年長児遠足
3月	ひなまつり	防犯教室、お別れ会、卒園式

※ その他、毎月誕生児の誕生会、避難訓練、隔月に身体測定を実施

エ 特別支援保育の状況

- ・特別支援児入所数

保育園名	人数（人）
西方保育園	1

- ・保育方法 混合保育で実施

オ 低年齢児保育（0、1、2歳児）（3月1日現在）（単位：人）

区分	保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	計
公立	西方保育園	6	6	15	27

カ 一時預かり

保育園名	延べ利用者数（人）
西方保育園	38

キ 保護者との連携

- ・保育参観
- ・送迎時の連絡
- ・子育て等相談

(5) 防災対策の状況

- ・設備、遊具等の整備点検
- ・避難訓練（火災、地震）
- ・安全のための実施訓練（不審者侵入）
- ・事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的実施

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の給食会議にて決定する。

イ 給食構成

- ・乳児 主食、副食、おやつ（午前、午後）（完全給食）
- ・幼児 主食、副食、おやつ（午後）（完全給食）

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況

(7) 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ）（平成24年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A ( $\mu$ gRE)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
西方保育園	496	18.3	16.6	287	1.7	379	0.25	0.45	21.0	1.8
栄養給与目標	470	18.0	13.0	200	2.3	200	0.25	0.30	20.0	2.0

(イ) 3歳以上児（主食及び副食＋おやつ）

（平成24年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A ( $\mu$ gRE)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
栃木市西方保育園	546	20.1	18.1	295	2.1	449	0.28	0.48	24.5	1.95
栄養給与目標	570	21.0	16.0	270	2.5	200	0.32	0.36	20.0	2.30

(7) 特別保育科目設定実施事業

ア 世代間交流事業

季節的行事（クリスマス会）に地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

保育園名	実施回数(回)
西方保育園	1

イ 食育活動事業

園児に対して楽しみながら健全な食生活が身につくよう、健康増進担当と協働で食育活動を実施した。

実施内容	実施回数(回)
お箸の使い方	1
クッキング	2

## 第4節 産業建設課

### 〔総括概要〕

産業建設課の主な分掌事務は、産業振興担当は、農林業・畜産業・商工業・観光の振興に関する各事業及び道の駅にしかた管理運営事業等であり、都市建設担当は、道路・橋りょう・河川水路及び公園の管理及び整備に関する事務である。

西方地域の農業は、にしかた米「桜おとめ」を中心に、いちご、ニラ等の施設園芸農業や、畜産業が積極的に実施されている。しかし、今日の農業・農村を取り巻く情勢は、TPPをはじめ、食の安全・安心に対する関心の高まり、担い手の高齢化等による農業生産の減退、鳥獣による農産物被害の拡大など、多くの課題を抱えている。

このような中、安心して農業に従事できる環境づくりを進めるとともに、施設園芸を取り入れた複合的な農業経営を推進した。

林務事業については、藪の刈払いや不用木の処分及び有害鳥獣の駆除を実施し、野生獣被害軽減のための里山林の整備、維持管理を行った。

商工業については、地域の商工業の総合的な改善発展を目指し、西方商工会への事業補助金を交付し、西方商工会と連携のうえ商工業の振興を図った。

また、宇都宮西中核工業団地事務組合に対し負担金を拠出し、事業の推進を図った。

観光関係については、恵まれた自然環境を有効に活用し、「金崎のさくらまつり」や「ど田舎にしかた祭り」を開催し、観光客の誘客に努め、地域の活性化を図った。

道の駅にしかたは、地域産業の振興を行うことを目的に、地域の観光やあらゆる情報の発信基地として、地域の安心安全な農産物や農産物加工品を取り扱う「農産物直売所（ふれあいの郷）」、地産地消の考え方を基本として地域の農産物を食材に使用して料理を提供する「農村レストラン（ふるさと一番）」及び地域の特産品を販売する「交流物産館（さくら）」で構成されている。また、各店舗の営業のほか各種イベントを開催し、農産物や特産品等のPRに努めた。

公共物管理については、道水路敷等の適正管理のため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、常に安全な道路の通行を確保するため、道路維持管理、舗装補修を実施し道路の環境整備を図った。

河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草を行うとともに、自治会等における道路・水路の清掃などの愛護活動を支援することで道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

公園管理については、13か所の公園を安全で快適に利用できるよう、公園の清掃、除草、遊具等の施設管理を行った。

道路整備については、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保に資するため、西方町金崎地内市道N-3215号線の道路改良工事を実施した。

産業振興担当

1 農業者戸別所得補償制度

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、農業者戸別所得補償制度の導入により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米の所得補償交付金

西方地域に提供された平成24年産米に係る需要情報は1,723トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会と連携し、農業者と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・ 水稻生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	706人
水稻生産実施計画書提出農業者数 (①)	611人
生産確定数量の計 (①の積算)	2,141,213kg
作付確定面積 (①の積算) (②)	42,233.0 a
主食用等水稻作付面積の計 (①の積算) (③)	41,609.6 a
差引 (②-③)	623.4 a
水稻生産確定面積に対する 主食用等水稻作付面積の割合 (③÷②)	98.52%

(2) 水田活用の所得補償交付金

・ 戦略作物作付面積 (交付対象面積) (単位: m<sup>2</sup>)

大豆	12,236
そば	12,911
飼料作物	194,534
新規需要米・加工用米	786,634
二毛作	191,191

(3) 合同会議の開催

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会との連携により、JA協力員及び地域農政推進員を集めて合同会議を開催した。

・ 会議の開催状況

開催日	参加者数(人)
3月21日(木)	30

2 農業経営基盤強化促進事業

西方町担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供など

の支援活動を実施した。

- ・農業経営改善計画認定者数 64人

### 3 農業団体育成事業

#### (1) 西方町認定農業者協議会

自らの経営改善の目標達成、資質の向上、地域の農業振興及び本地域農業の担い手である会員の相互連携を図るため、地区で開催される研修会等に参加した。

#### (2) 西方町農業体験交流事業実行委員会

都市住民は地方（農村）に心のゆとりを求めているなかで、都会の人と農村の人とが楽しみながら交流していくことを目的に、都市住民を迎え入れ、農業体験事業を実施した。

- ・事業内容 いちご狩り体験、さつまいも栽培体験
- ・事業費 441,704円（補助額 300,000円）

### 4 農業振興事業関係

#### (1) 農業用廃ビニール処理事業

農業用廃ビニールの適正処理を図るため、会議を開催し分別回収を推進した。

- ・事業主体 栃木市西方町農業用廃ビニール処理対策協議会
- ・事業内容 農業用廃ビニールの分別回収、適正処理（54,000kg）
- ・事業費 1,417,300円（補助額 400,000円）

#### (2) 農産物安全安心推進事業（いちご）

いちごの安全安心を推進するため、残留農薬検査費用を助成した。

- ・事業主体 上都賀農業協同組合西方いちご部会
- ・事業内容 残留農薬検査（多成分一斉分析）の実施
- ・事業費 882,000円（補助額 294,000円）

#### (3) 農産物安全安心推進事業（にら）

にらの安全安心を推進するため、残留農薬検査費用を助成した。

- ・事業主体 上都賀農業協同組合西方にら部会
- ・事業内容 残留農薬検査（多成分一斉分析）の実施
- ・事業費 420,000円（補助額 140,000円）

#### (4) 米の消費拡大推進事業

平成9年に、にしかた米消費拡大推進協議会を設立し、西方地域産のコシヒカリ一等米を「桜おとめ」と命名して商標登録を取得した。

また、米の消費量が減少傾向にあるなか、協議会と連携を図るとともに、平成24年度に「小江戸ブランド」の認定を受け、にしかた米の消費拡大を図った。

### 5 農産物加工施設の管理運営

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民の方々に地元の農業に関心を持ってもらうための農産加工所では、西方農産物加工組合を中心としたグループが、地元の農産物を使用したみそ加工、いちごジャム・ジュース、弁当、惣菜、漬物などの加工を行っている。

・加工施設の利用状況

施設名	利用日数(日)	利用人数(人)
西方農産物加工所	313	2,500
真名子農産物加工所	32	172
農村婦人の家	110	682

6 畜産振興事業関係

(1) 家畜防疫団体関係

家畜の伝染病等を防止することで、家畜の経済効果を高め、地域畜産の振興を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

- ・事業主体 西方町家畜自衛防疫推進協議会
- ・事業内容 アカバネ病予防接種の実施

7 土地改良区運営支援

小倉堰土地改良区の事務運営について、指導・助言を行った。

8 有害鳥獣捕獲事業

鳥獣による農作物及び生活環境等への被害を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣の捕獲駆除を実施した。

(1) イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの個体数調整による駆除

捕獲時期	捕獲状況
通 年	イノシシ35頭、ニホンジカ9頭

(2) カラス、キジバト、カルガモの有害鳥獣捕獲による駆除

捕獲時期	捕獲状況
5月27日(日)	キジバト5羽、カルガモ15羽
3月24日(日)	キジバト5羽、カルガモ15羽

(3) カワウの有害鳥獣捕獲による駆除

捕獲時期	捕獲状況
平成24年3月12日(月)～ 6月30日(土)	— 羽

9 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備等を実施した。

(1) 野生獣被害軽減のための里山林整備

藪化した里山林の刈払い等により野生獣が人里に近づきにくい環境を整備した。

- ・実施箇所 本城地区・元地区・真名子地区

- ・事業量 5.35ha
- ・事業費 1,239,000円

(2) 野生獣被害軽減のための里山林維持管理

明るく安全な里山林整備事業により、野生獣被害が発生する恐れのある里山林の刈払いを実施し、維持管理を行った。

- ・実施箇所 本城地区・元地区・真名子地区
- ・事業量 1133.05 ha
- ・事業費 6,636,000円

(3) 木の香る環境づくり支援事業

とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金事業を活用し、木工教室を開催した。

- ・実施日 11月23日（金）
- ・参加人数 100人
- ・事業費 150,000円
- ・事業主体 にしかたリフォームおまかせ隊

10 治山林道管理事業

利用者の安全を確保するため、林道（真上・男丸・柏木線）の管理を実施した。

(1) 林道植栽等管理業務委託

- ・業務委託費 599,576円

11 農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。

(単位：件)

件 名	件 数
耕作証明書	14
農家証明書	1
農家基本台帳の写し	2
合 計	17

12 ど田舎にしかた祭り（にしかたふるさと祭り）

農業・商業・工業・観光業の活性化や地元食材の安全・安心PRを図るべく、田んぼを使ったイベントや地元の食材を使った飲食店の出店などを行った。

- ・実施日 11月23日（金）
- ・場所 道の駅にしかた東側 田んぼ
- ・内容 お笑いライブ、田んぼ相撲、俵飛ばし大会、トラクター試乗体験等
- ・参加人数 2,000人
- ・事業費 2,505,163円（負担金1,900,000円）

13 商業振興

商工団体の育成及び助成

商工会、たばこ組合の運営や諸事業に対し助成を行った。 (単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考 (目的等)
西方商工会事業費補助金	25,131,599	4,000,000	商工会の運営
未成年者喫煙防止事業補助金	4,146,493	116,000	未成年者の喫煙防止

14 制度融資

経営安定関連保証 (セーフティネット保証) 認定状況

(中小企業信用保険法第2条第4項第1~8号) (単位：件)

保険法	適用事項	平成24年度	平成23年度	平成22年度
第1号	再生手続申立等関係	—	—	—
第2号	事業活動の制限関係	—	—	—
第3号	地域・業種関係	—	—	—
第4号	地域関係	—	—	—
第5号	業種関係	1	7	11
第6号	破綻金融機関関係	—	—	—
第7号	金融機関経営合理化関係	—	—	—
第8号	RCC譲渡関係	—	—	—
計		1	7	11

15 観光振興宣伝関係

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源の宣伝、観光関連事業を積極的に展開し、観光資源やブランド品の発掘・開発を推進して地域の活性化を図った。

(1) 観光協会関係

観光資源を活かした観光行事を実施した。

- ・西方町観光協会事業費補助金 100,000 円
- ・観光行事負担金 67,015 円
- ・主催事業 金崎のさくらまつり

16 金崎の桜堤管理事業

(1) 桜堤植栽管理業務

西方地域の観光資源である金崎の桜の維持管理のため、土手の刈り払い、剪定及び病害虫駆除を委託した。

- ・業務委託費 925,040 円

17 道の駅にしかた管理運営事業

(1) 売上等実績

施設名	客数 (人)	売上額 (円)
農産物直売所「ふれあいの郷」	130,442	144,118,094
農村レストラン「ふるさと一番」	118,305	56,238,810
交流物産館「さくら」	34,845	34,812,694
計	283,592	235,169,598

(2) 主なイベント

イベント名	開催日
ゴールデンウィークイベント	5月3日(木)～6日(日)
オープン3周年記念イベント	11月22日(木)～25日(日)
春祭り	3月17日(日)～20日(水)

(3) 視察の受入状況

団体名	視察日	視察目的
独立行政法人 国際協力機構	4月18日(水)	テーマ：道の駅と農村振興 (ベトナム・タイ・インドネシア省職員)
西方小学校2年生	6月6日(水)	校外学習
真名子小学校4年生	6月8日(金)	校外学習
社団法人農山漁村女性 ・生活活動支援協会	7月24日(火)・25日(水)	テーマ：農村女性能力向上 (ケア農業省職員他)
西方小学校6年生	12月7日(金)	校外学習
西方中学校3年生	12月14日(金)	校外学習

(4) 職場体験事業

事業名	実施日	受入団体
マイ・チャレンジ	6月18日(月)～20日(水)	西方中学校2年生(8人)
インターンシップ	7月23日(月)～29日(日)	鹿沼南高等学校(2人)

都市建設担当

1 道路管理関係

(1) 道路占用許可

申請内容	件数(件)
市道道路占用許可申請	33
占用廃止届	4

計	37
---	----

(2) 各種申請・手続

内 容	件 数 (件)
境界確認申請	9
市有財産用途廃止申請	2
法定外公共物使用許可申請等	21
道路工事施工承認申請	7
放流同意申請書 (道路・河川)	-
計	39

(3) 業務委託

委 託 名	委託箇所	委託内容	金額 (円)
市道各号線維持修繕等業務 (その1) (西方地区)	西方町地内	舗装修繕、側溝打替	2,352,000
市道各号線維持修繕等業務 (その2) (真名子地区)	西方町真名子地内	舗装修繕、側溝打替	2,234,400
市道各号線維持修繕等業務 (その3) (西方地区)	西方町地内	舗装修繕、側溝打替	2,205,000
市道各号線維持修繕等業務 (その4) (真名子地区)	西方町真名子地内	舗装修繕、側溝打替	2,215,500
道路維持管理等委託料	西方町全地区	植栽管理	3,085,725
にしかたアンダー1自家用電気工 作物保安管理業務	西方町金崎地内	自家用電気工作物保安管理	69,136
にしかたアンダー2自家用電気工 作物保安管理業務	西方町本城地内	自家用電気工作物保安管理	76,167
にしかたアンダー1排水施設監視業務	西方町金崎地内	東武軌道下道路排水施設遠方監視	25,200
にしかたアンダー2排水施設監視業務	西方町本城地内	東北道下道路排水施設遠方監視	25,200
にしかたアンダー1点検業務	西方町金崎地内	東武軌道下道路排水施設点検	420,000
にしかたアンダー2点検業務	西方町本城地内	東北道下道路排水施設点検	630,000

2 道路工事関係

(1) 道路工事

工 事 箇 所		工 事 内 容			工事金額(円)	備 考
町 名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
西方町真名子	N-2021号線	134.0	-	-	8,862,000	落石防止柵設置
西方町真名子	N-2022号線	130.0	4.0	-	4,567,500	舗装補修

西方町金崎	N-2013号線	395.0	4.5	-	15,120,000	舗装補修
-------	----------	-------	-----	---	------------	------

(2) 交通安全施設整備工事

工 事 箇 所		工 事 内 容			工事金額(円)	備 考
町 名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
西方町金井	N-5064号線	76.0	-	-	499,800	ガードレール設置
西方町金井	N-3209号線	220.0	-	-	2,572,500	ガードレール設置

(3) 業務委託

委 託 名	委託箇所	委託内容	金額 (円)
市道N-3303号線詳細設計及び 用地調査業務	西方町真名子地内	詳細設計、用地調査	9,502,500
市道N-1009号線法面修繕工事 設計業務	西方町真名子地内	詳細設計	2,730,000

3 都市公園関係

(1) 各種許可申請及び届出

内 容	件 数 (件)
公園内における行為の許可申請	11

(2) 業務委託

業 務 名	公 園 名	金 額 (円)
遊具点検業務	西方総合公園ほか	299,250
施設維持管理等委託	西方総合公園ほか	4,638,922

## 第 1 3 章 会計課

### 〔総括概要〕

会計管理者の会計事務を補助する会計課の主な業務は、会計管理者の職務権限である支出負担行為の確認と支出命令の審査、現金（有価証券を含む）や物品の出納及び保管、小切手の振出し、現金や財産の記録管理、決算の調製などである。

これらの事務については、公正の確保のため、法令、条例、規則等及び予算に基づき適法かつ適正な処理に当たるとともに、財政健全化の視点に立ち、その執行に努めた。

支出命令の審査については、支出命令書（支出調書）、請求書、支出負担行為決議書及びこれらの関係書類の精査に努めた。

市税、地方交付税、国・県支出金、使用料、手数料、市債等の公金の収納については、これらを的確に把握の上、収入確定への一連の事務処理を行った。

歳計現金、歳計外現金、運用基金及び積立基金の保管については、常に収支状況を把握し、低金利の厳しい状況の中、ペイオフ対策を踏まえ、定期性預金、国債及び流動性預金により収益（利子）の確保に努めた。

また、公金の収納及び支払事務を取り扱っている指定金融機関及び収納事務を取り扱っている収納代理金融機関4行に対する検査を行った。

なお、今年度の現金受払状況の受高は95,589,074,163円、払高は91,163,377,339円となっている。

審査担当

1 月別支払状況

区 分	件数(件)	金額(円)
24年 4月	1,011	4,244,265,861
5月	5,656	4,704,087,252
6月	6,638	6,929,561,463
7月	6,977	6,564,269,925
8月	7,619	7,159,591,193
9月	5,960	8,563,652,531
10月	8,040	6,962,430,434
11月	6,513	5,491,203,214
12月	7,146	6,743,036,939
25年 1月	8,909	6,744,819,166
2月	7,114	8,210,823,651
3月	8,462	11,626,538,382
4月	8,846	6,271,558,736
5月	1,637	947,538,592
合 計	90,528	91,163,377,339

2 資金運用状況

- ・ 預金等の種類 大口定期預金・スーパー定期預金・普通預金・国債
- ・ 運用回数 134回
- ・ 運用資金累計(延べ)額 33,694,890,180円
- ・ 運用収益(利子)額 17,548,143円

区分	会計・基金名	運用回数(回)	運用資金累計(延べ)額(円)	運用収益(利子)額(円)
歳 計 現 金	一般会計	7	6,000,000,000	1,612,566
	国民健康保険特別会計	-	-	-
	後期高齢者医療特別会計	-	-	-
	介護保険特別会計(保険事業勘定)	-	-	-
	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	-	-	-
	下水道特別会計	-	-	-
	農業集落排水特別会計	-	-	-
	地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計	-	-	-
	JR大平下駅前土地区画整理特別会計	-	-	-
	医療福祉モール特別会計	-	-	-
	中根企業用地特別会計	-	-	-
	寺尾財産区特別会計	-	-	-
	小 計	7	6,000,000,000	1,612,566

運用基金	保護費即時払基金	-	-	-
	奨学基金	-	-	-
	土地開発基金(運用)	-	-	-
	印紙等購買基金	-	-	-
	小計	-	-	-
積立基金	財政調整基金	26	15,831,492,429	7,338,306
	減債基金	15	6,975,735,921	2,233,001
	大澤基金	7	415,150,460	498,658
	庁舎建設基金	5	1,338,614,956	1,128,560
	土地総合調整基金	-	-	-
	地域福祉基金	12	402,254,792	668,129
	栃木駅周辺地区景観形成基金	2	629,582	1,015
	大宮南小学校教育振興基金	1	1,000,000	1,609
	スポーツ振興基金	1	13,755,676	6,223
	ふるさと文化振興基金	3	48,000,000	78,984
	図書館振興基金	3	21,400,000	8,686
	保険財政調整基金	6	457,171,978	958,617
	介護給付費準備基金	11	488,264,299	628,739
	寺尾財産区運営基金	2	274,635,696	441,858
	市民協働まちづくりファンド	-	-	-
	聖地公園管理基金	3	49,000,000	33,548
	皆川地区振興基金	3	29,594,664	9,612
	同和対策住宅新築資金等借入償還基金	-	-	-
	罹災救助基金	4	22,972,629	52,285
	義務教育施設整備基金	6	413,621,481	649,438
	ふるさと整備事業基金	7	48,886,660	67,586
	地域医療対策基金	4	800,000,000	1,017,943
	中山間地域農村環境保全基金	1	10,033,811	30,349
	さくら基金	2	4,675,146	5,128
	東日本大震災復興推進基金	-	-	-
	小計	124	27,646,890,180	15,858,274
歳入歳出外現金	3	48,000,000	77,303	
合計	134	33,694,890,180	17,548,143	

出納担当

1 会計

(1) 現金受払状況

(単位：円)

区分		受 高	払 高	残 高
会計名				
一般会計		56,643,156,985	53,426,146,799	3,217,010,186
特別 会計	国民健康保険	16,680,267,863	16,306,183,773	374,084,090
	後期高齢者医療	1,419,316,154	1,398,126,960	21,189,194
	介護保険(保険事業勘定)	10,311,760,250	10,085,873,876	225,886,374
	介護保険(介護サービス事業勘定)	40,141,825	38,940,448	1,201,377
	下水道	3,974,041,356	3,889,179,963	84,861,393
	農業集落排水	344,342,265	320,432,661	23,909,604
	JR大平下駅前土地区画整理	82,635,565	72,729,108	9,906,457
	医療福祉モール	143,621,608	143,409,831	211,777
	中根産業団地	441,598,392	441,438,392	160,000
	寺尾財産区	28,856,222	25,014,161	3,842,061
運用 基金	保護費即時払基金	991,450	314,385	677,065
	奨学基金	42,724,268	9,210,000	33,514,268
	土地開発基金	60,113,588	-	60,113,588
	印紙等購買基金	43,581,300	40,356,500	3,224,800
一時借入金		-	-	-
歳入歳出外現金		5,331,925,072	4,966,020,482	365,904,590
合 計		95,589,074,163	91,163,377,339	4,425,696,824

(2) 会計別歳入歳出

ア 一般会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 市税	18,067,687,000	20,854,555,539	18,865,141,508	188,311,712	1,801,102,319
2 地方譲与税	570,001,000	545,714,756	545,714,756	-	-
3 利子割交付金	36,000,000	35,105,000	35,105,000	-	-
4 配当割交付金	13,000,000	30,898,000	30,898,000	-	-
5 株式等譲渡所得割交付金	8,000,000	8,988,000	8,988,000	-	-
6 地方消費税交付金	1,360,000,000	1,380,254,000	1,380,254,000	-	-
7 ゴルフ場利用税交付金	329,000,000	380,723,896	380,723,896	-	-

8 自動車取得税交付金	133,000,000	188,339,000	188,339,000	-	-
9 地方特例交付金	93,553,000	93,553,000	93,553,000	-	-
10 地方交付税	9,641,751,000	10,062,185,000	10,062,185,000	-	-
11 交通安全対策特別交付金	23,000,000	22,114,000	22,114,000	-	-
12 分担金及び負担金	509,775,000	511,872,100	497,065,412	1,270,860	13,535,828
13 使用料及び手数料	509,652,000	608,031,578	538,069,036	-	69,962,542
14 国庫支出金	5,860,000,000	5,666,065,516	5,666,065,516	-	-
15 県支出金	3,371,497,000	3,255,713,340	3,255,713,340	-	-
16 財産収入	122,030,000	130,579,388	130,579,388	-	-
17 寄附金	73,170,000	73,297,472	73,297,472	-	-
18 繰入金	2,258,180,000	2,044,561,165	2,044,561,165	-	-
19 繰越金	3,179,679,586	3,179,680,267	3,179,680,267	-	-
20 諸収入	3,675,435,000	3,812,099,578	3,524,009,229	-	288,090,349
21 市債	7,160,200,000	6,121,100,000	6,121,100,000	-	-
合 計	56,994,610,586	59,005,430,595	56,643,156,985	189,582,572	2,172,691,038

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 議会費	446,040,000	427,229,938	-	18,810,062
2 総務費	8,276,987,000	7,897,254,823	6,490,000	373,242,177
3 民生費	16,423,599,000	15,786,042,600	-	637,556,400
4 衛生費	6,197,924,000	5,767,306,674	-	430,617,326
5 労働費	80,787,000	79,032,439	-	1,754,561
6 農林水産業費	1,613,300,000	1,529,062,557	9,085,000	75,152,443
7 商工費	2,863,490,000	2,822,243,073	-	41,246,927
8 土木費	5,722,208,086	5,045,809,315	417,665,731	258,733,040
9 消防費	1,842,798,000	1,740,077,827	21,500,000	81,220,173
10 教育費	8,467,418,000	7,394,064,435	610,208,500	463,145,065
11 災害復旧費	6,645,500	6,641,500	-	4,000
12 公債費	5,019,513,000	4,931,381,618	-	88,131,382
13 予備費	33,901,000	-	-	33,901,000
合 計	56,994,610,586	53,426,146,799	1,064,949,231	2,503,514,556

イ 国民健康保険特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 国民健康保険税	3,938,822,000	6,064,284,376	3,979,064,109	264,961,494	1,820,258,773
2 一部負担金	4,000	-	-	-	-
3 使用料及び手数料	2,171,000	2,578,410	2,578,410	-	-
4 国庫支出金	4,563,027,000	3,829,952,238	3,829,952,238	-	-
5 療養給付費等交付金	844,346,000	899,115,000	899,115,000	-	-
6 前期高齢者交付金	2,916,132,000	3,637,395,291	3,637,395,291	-	-
7 県支出金	815,572,000	888,352,467	888,352,467	-	-
8 共同事業交付金	2,199,578,000	1,799,125,271	1,799,125,271	-	-
9 財産収入	1,313,000	958,617	958,617	-	-
10 繰入金	1,066,029,000	1,066,028,365	1,066,028,365	-	-
11 繰越金	545,057,000	545,057,917	545,057,917	-	-
12 諸収入	15,460,000	32,640,178	32,640,178	-	-
合 計	16,907,511,000	18,765,488,130	16,680,267,863	264,961,494	1,820,258,773

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	314,670,000	246,698,389	-	67,971,611
2 保険給付費	11,172,789,000	10,819,073,009	-	353,715,991
3 後期高齢者支援金等	2,153,557,000	2,153,464,385	-	92,615
4 前期高齢者納付金等	6,030,000	2,192,291	-	3,837,709
5 老人保健拠出金	1,214,000	103,453	-	1,110,547
6 介護納付金	989,102,000	989,101,076	-	924
7 共同事業拠出金	1,936,974,000	1,825,046,186	-	111,927,814
8 保健事業費	106,638,000	77,332,956	-	29,305,044
9 積立金	1,313,000	958,617	-	354,383
10 公債費	740,000	-	-	740,000
11 諸支出金	204,484,000	192,213,411	-	12,270,589
12 予備費	20,000,000	-	-	20,000,000
合 計	16,907,511,000	16,306,183,773	-	601,327,227

ウ 後期高齢者医療特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 後期高齢者医療保険料	1,002,221,000	1,015,137,940	1,005,774,380	1,043,200	8,320,360
2 使用料及び手数料	82,000	235,560	235,560	-	-
3 寄附金	1,000	-	-	-	-
4 繰入金	369,055,000	369,055,000	369,055,000	-	-
5 繰越金	3,758,000	3,758,117	3,758,117	-	-
6 諸収入	43,237,000	40,493,097	40,493,097	-	-
合 計	1,418,354,000	1,428,679,714	1,419,316,154	1,043,200	8,320,360

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	84,099,000	69,606,652	-	14,492,348
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,284,170,000	1,284,166,770	-	3,230
3 後期高齢者健診事業費	44,493,000	43,074,238	-	1,418,762
4 諸支出金	3,592,000	1,279,300	-	2,312,700
5 予備費	2,000,000	-	-	2,000,000
合 計	1,418,354,000	1,398,126,960	-	20,227,040

エ 介護保険特別会計（保険事業勘定）

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 保険料	1,899,353,000	1,965,254,434	1,908,560,018	12,209,520	44,484,896
2 分担金及び負担金	1,000	-	-	-	-
3 使用料及び手数料	249,000	416,640	416,640	-	-
4 国庫支出金	2,256,048,000	2,250,063,769	2,250,063,769	-	-
5 支払基金交付金	2,768,904,000	2,755,867,877	2,755,867,877	-	-
6 県支出金	1,468,518,000	1,467,186,785	1,467,186,785	-	-
7 財産収入	622,000	628,739	628,739	-	-
8 寄附金	1,000	-	-	-	-
9 繰入金	1,593,490,000	1,593,486,000	1,593,486,000	-	-
10 繰越金	334,408,000	334,408,514	334,408,514	-	-
11 諸収入	649,000	1,141,908	1,141,908	-	-
12 市債	1,000	-	-	-	-
合 計	10,322,244,000	10,368,454,666	10,311,760,250	12,209,520	44,484,896

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	372,640,000	330,695,583	-	41,944,417
2 保険給付費	9,553,896,000	9,391,330,575	-	162,565,425
3 財政安定化基金拠出金	1,000	-	-	1,000
4 積立金	32,411,000	32,411,000	-	-
5 地域支援事業費	268,649,000	239,495,420	-	29,153,580
6 公債費	2,000	-	-	2,000
7 諸支出金	93,645,000	91,941,298	-	1,703,702
8 予備費	1,000,000	-	-	1,000,000
合計	10,322,244,000	10,085,873,876	-	236,370,124

オ 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 サービス収入	31,779,000	30,355,044	30,355,044	-	-
2 繰入金	6,185,000	6,185,000	6,185,000	-	-
3 繰越金	3,549,000	3,549,408	3,549,408	-	-
4 諸収入	4,000	52,373	52,373	-	-
合計	41,517,000	40,141,825	40,141,825	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 事業費	41,517,000	38,940,448	-	2,576,552

カ 下水道特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 分担金及び負担金	57,367,000	96,641,055	74,741,990	3,122,865	18,776,200
2 使用料及び手数料	1,029,118,000	1,076,881,796	1,051,031,850	2,213,904	23,636,042
3 国庫支出金	372,317,000	372,317,000	372,317,000	-	-
4 繰入金	1,866,923,000	1,866,923,000	1,866,923,000	-	-
5 繰越金	70,153,000	70,153,455	70,153,455	-	-
6 諸収入	109,000	1,610,361	1,574,061	-	36,300
7 市債	616,500,000	537,300,000	537,300,000	-	-
合計	4,012,487,000	4,021,826,667	3,974,041,356	5,336,769	42,448,542

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	315,773,000	285,272,327	-	30,500,673
2 公共下水道費	1,128,110,000	1,042,592,433	16,336,500	69,181,067
3 流域下水道費	551,133,000	550,303,069	-	829,931
4 公債費	2,015,471,000	2,011,012,134	-	4,458,866
5 予備費	2,000,000	-	-	2,000,000
合計	4,012,487,000	3,889,179,963	16,336,500	106,970,537

キ 農業集落排水特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 分担金及び負担金	2,365,000	8,479,425	3,711,300	533,000	4,235,125
2 使用料及び手数料	67,568,000	70,187,803	67,850,618	9,972	2,327,213
3 繰入金	230,349,000	230,349,000	230,349,000	-	-
4 繰越金	42,407,000	42,407,337	42,407,337	-	-
5 諸収入	2,000	24,010	24,010	-	-
合計	342,691,000	351,447,575	344,342,265	542,972	6,562,338

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	29,626,000	26,449,137	-	3,176,863
2 農業集落排水事業費	110,449,000	92,586,406	-	17,862,594
3 公債費	201,616,000	201,397,118	-	218,882
4 予備費	1,000,000	-	-	1,000,000
合計	342,691,000	320,432,661	-	22,258,339

ク JR大平下駅前土地区画整理特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 保留地処分金	1,000	-	-	-	-
2 繰入金	57,195,000	57,195,000	57,195,000	-	-
3 繰越金	22,001,000	25,432,993	25,432,993	-	-
4 諸収入	2,000	7,572	7,572	-	-
5 市債	1,000	-	-	-	-
合計	79,200,000	82,635,565	82,635,565	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 土地区画整理事業費	79,103,000	72,729,108	-	6,373,892
2 公債費	2,000	-	-	2,000
3 予備費	95,000	-	-	95,000
合 計	79,200,000	72,729,108	-	6,470,892

ケ 医療福祉モール特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 財産収入	126,705,000	126,705,826	126,705,826	-	-
2 繰入金	14,274,000	14,274,000	14,274,000	-	-
3 繰越金	2,638,000	2,638,450	2,638,450	-	-
4 諸収入	1,000	3,332	3,332	-	-
合 計	143,618,000	143,621,608	143,621,608	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 医療福祉モール事業費	658,000	450,555	-	207,445
2 公債費	142,960,000	142,959,276	-	724
合 計	143,618,000	143,409,831	-	208,169

コ 中根産業団地特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 財産収入	441,497,000	441,497,985	441,497,985	-	-
2 繰入金	-	-	-	-	-
3 繰越金	101,000	100,407	100,407	-	-
4 諸収入	1,000	-	-	-	-
5 市債	173,700,000	-	-	-	-
合 計	615,299,000	441,598,392	441,598,392	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 産業団地造成事業費	518,656,000	344,947,026	-	173,708,974
2 公債費	96,643,000	96,491,366	-	151,634
合 計	615,299,000	441,438,392	-	173,860,608

サ 寺尾財産区特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 県支出金	1,000	-	-	-	-
2 財産収入	30,095,000	26,387,824	26,387,824	-	-
3 繰入金	1,000	-	-	-	-
4 繰越金	2,540,000	2,463,733	2,463,733	-	-
5 諸収入	2,000	4,665	4,665	-	-
合 計	32,639,000	28,856,222	28,856,222	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 議会費	1,549,000	1,391,750	-	157,250
2 総務費	30,737,000	23,622,411	-	7,114,589
3 土木費	3,000	-	-	3,000
4 予備費	350,000	-	-	350,000
合 計	32,639,000	25,014,161	-	7,624,839

(3) 口座による自動払込分 (1件あたり10円)

科 目	件数 (件)	手数料 (円)
市県民税	1,535	15,350
固定資産税・都市計画税	6,930	69,300
軽自動車税	1,594	15,940
国民健康保険税	5,122	51,220
介護保険料	787	7,870
後期高齢者医療保険料	1,269	12,690
市営住宅使用料	440	4,400
保育料	1,541	15,410
学童保育料	543	5,430
住宅新築資金貸付金	-	-
奨学資金貸付金	3	30
公共下水道受益者負担金	9	90
農業集落排水施設使用料	1,155	11,550
配食サービス事業自己負担金	759	7,590
聖地公園管理手数料	114	1,140
幼稚園保育料	-	-
合 計	21,801	218,010

## (4) 金融機関別公金収納状況

金融機関名		件数(件)		金額(円)	
			割合(%)		割合(%)
指定金融機関	足利銀行	685,932	79.3	83,954,150,962	88.3
収納代理 金融機関	みずほ銀行	21,655	2.5	3,761,007,386	4.0
	群馬銀行	10,600	1.2	731,929,124	0.8
	栃木銀行	36,490	4.2	1,683,777,208	1.8
	栃木信用金庫	53,307	6.2	2,269,564,792	2.4
	足利小山信用金庫	2,541	0.3	111,553,496	0.1
	佐野信用金庫	724	0.1	25,110,003	0.0
	鹿沼相互信用金庫	5,462	0.6	184,687,740	0.2
	下野農業協同組合	40,444	4.7	2,082,574,862	2.2
	上都賀農業協同組合	6,871	0.8	195,832,918	0.2
	中央労働金庫	1,326	0.1	39,377,235	0.0
	計	179,420	20.7	11,085,414,764	11.7
合計		865,352	100.0	95,039,565,726	100.0

## (5) 有価証券による取扱状況

区分	小切手		約束手形		為替手形		合計		
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	
前年度末保管分	7	500,000	3	1,800,000	-	-	10	2,300,000	
本年度保管分	24	2,648,400	17	2,446,869	-	-	41	5,095,269	
計	31	3,148,400	20	4,246,869	-	-	51	7,395,269	
処 理	取立て(納入)	24	2,154,300	14	2,356,049	-	-	38	4,510,349
	組戻し(取消し)	-	-	1	600,000	-	-	1	600,000
	不渡り	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	24	2,154,300	15	2,956,049	-	-	39	5,110,349
本年度末保管分	7	994,100	5	1,290,820	-	-	12	2,284,920	

## 2 会計課における電算収納稼働状況

(単位：件)

税目	区分	件数	合計
市県民税	普通徴収	現年度	157,494
		過年度	
		滞納繰越	
		年金特別徴収	

	特別徴収	現年度	68,027	68,235
		滞納繰越	208	
法人市民税		均等割	4,296	8,880
		法人税割	4,160	
		過事業年度	220	
		滞納繰越	204	
固定資産税・都市計画税		現年度	224,497	232,405
		滞納繰越	7,908	
軽自動車税		現年度	49,958	50,985
		滞納繰越	1,027	
国民健康保険税		現年度	143,835	189,275
		滞納繰越	26,227	
		年金特別徴収	19,213	
介護保険料		現年度	24,996	229,212
		滞納繰越	2,286	
		年金特別徴収	201,930	
後期高齢者医療保険料		現年度	24,745	118,640
		滞納繰越	677	
		年金特別徴収	93,218	
総合計				1,055,126

### 3 主な消耗品交付状況（本庁舎）

品名	数量	品名	数量	品名	数量
鉛筆	363本	シャープペン	112本	シャープペン芯	95個
ボールペン	597本	マジック	452本	蛍光ペン	797本
蛍光ペン替	153個	消しゴム	225個	修正液	59個
修正テープ	180個	修正テープ替	230個	付箋紙	1,540個
液状のり	263個	ホッチキス針	1,208個	インデックス	737袋
ホワイトボードマーカー	214本	ダブルクリップ	573箱	厚紙（A3）	376枚
両面テープ	396本	セロテープ	538本	ガムテープ	224個
ビニールひも	109個	封筒 小	16,900枚	封筒 中	134,150枚
書類封筒	50,600枚	ゴミ袋	825袋	決裁カバー	457冊
スタンプ台	50個	ママレモン	62本	ハイター	65本
クレンザー	31本	スポンジ	291個	せっけん	212個

#### 4 指定金融機関の検査

地方自治法施行令第168条の4及び栃木市財務規則第139条の規定に基づき、指定金融機関及び収納代理金融機関の検査を次のとおり実施し、適正に処理されていることを確認した。

・実施日

2月14日（木）	指定金融機関 足利銀行栃木支店
2月19日（火）	収納代理金融機関 みずほ銀行栃木支店
	収納代理金融機関 群馬銀行栃木支店
2月20日（水）	収納代理金融機関 足利小山信用金庫栃木卸センター支店

## 第 1 4 章 議会事務局

### 第 1 節 議事課

#### 〔総括概要〕

平成22年3月に新生栃木市が誕生し、平成23年10月1日の西方町編入合併後は、34人の議員により市議会が構成されている。

地方分権が進展する中、地方自治体が自らの責任において、個性豊かな活力のあるまちづくりを行うため、5地域を代表する議員が、市民の負託に応えられる責任ある議会の確立に向け、積極的に議会運営を行った。

平成23年3月に制定した議会基本条例に基づき、市政運営に対する監視や政策提案・提言等の議会活動を地域に出向いて、市民に報告・説明し、市政等に関する情報を提供するとともに、議会活動に対する意見や市政に対する提案等を広く聴き、市民との連携を強化するため、「議会報告運営委員会」が主体となって、平成23年度に引き続き、第2回目となる「議会報告会」を市内12か所で開催した。

また、現在、議会改革を推し進めていく上で、政治倫理が最も基礎となる重要な課題であることから、市民との信頼関係を確立し、市民と議会の説明責任の明確化を図るため、政治倫理条例の制定を目指し、「政治倫理条例検討委員会」において検討を重ねた。

さらに、二元代表制の一翼を担う議会の機能を高め、市民に開かれた議会を目指し設置した「議会改革検討委員会」において、議長及び副議長の選挙に係る所信表明会の実施について検討し、6月定例会で行った。

常任委員会については、合併後も議会が身近に感じられるよう、少しでも多くの市民の方に傍聴していただくため、引き続き各地域の公民館等において委員会を開催する「移動常任委員会」を実施した。

議会からの情報提供については、活字による議会だよりのほか、視力や聴力に障がいのある方のため、点字版や音声版による議会だよりの発行を行った。

ケーブルテレビによる一般質問の放映や静止画像による開催情報等を放送するとともに、市議会ホームページにおいて本会議の録画中継を行った。

議会の開催日程等を記載した「市議会からのお知らせ」を新聞に折り込み、市民への周知を図るとともに、12月定例会まで議場コンサートを開催し、傍聴機会の拡大に努めた。

また、12月定例会から、ユーストリームによる一般質問のライブ配信も開始した。調査活動においては、先進都市視察の実施や議員研修会を開催し、研鑽を深める等、議会活動の充実を図った。

議会総務担当

議事調査担当

1 議会

(1) 議員

・定数 34人

ア 西方選出議員（平成23年10月30日就任）

議席	氏名	議席	氏名	議席	氏名
1	針谷 正夫	2	鮎田 博	3	鮎田 榮一

イ 栃木・大平・藤岡・都賀選出議員（平成22年4月25日就任）

議席	氏名	議席	氏名	議席	氏名	議席	氏名
4	白石 幹男	5	渡辺 照明	6	高岩 義祐	7	海老原恵子
8	松本 喜一	9	増山 敬之	10	須田 安衿	11	入野登志子
12	福富 善明	13	広瀬 義明	14	氏家 晃	15	福田 裕司
16	大阿久岩人	17	大川 秀子	18	天谷 浩明	19	梅澤 米満
20	大島 光男	21	長 芳孝	22	大武 真一	23	中島 克訓
24	関口孫一郎	25	平池 紘士	26	千葉 正弘	27	大出 三夫
28	萩原 繁	29	慶野 昭次	30	内海 成和	31	小堀 良江
32	大出 孝幸	33	岡 賢治	34	永田 武志		

(2) 正副議長

区分	氏名	任期
議長	高岩 義祐	平成24年 6月 1日～
副議長	大阿久 岩人	平成24年 6月 1日～

(3) 常任委員会（平成24年6月1日～）

委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務	千葉 正弘	増山 敬之	渡辺 照明 氏家 晃 大出 孝幸	高岩 義祐 大川 秀子	須田 安衿 大武 真一
民生	福田 裕司	白石 幹男	海老原恵子 萩原 繁 永田 武志	関口孫一郎 慶野 昭次	平池 紘士 内海 成和
産業教育	天谷 浩明	大島 光男	鮎田 博 大阿久岩人	入野登志子 長 芳孝	広瀬 義明 岡 賢治
建設	鮎田 榮一	中島 克訓	針谷 正夫 梅澤 米満	松本 喜一 大出 三夫	福富 善明 小堀 良江

## (4) 議会運営委員会（平成24年6月1日～）

委員長	副委員長	委員		
岡 賢 治	入野登志子	鮎 田 博 大 武 真 一	須 田 安 衿 関 口 孫 一 郎	福 田 裕 司 永 田 武 志

## (5) 議会広報紙発行特別委員会（平成24年6月1日～）

委員長	副委員長	委員		
小 堀 良 江	福 富 善 明	針 谷 正 夫 天 谷 浩 明	鮎 田 博 大 島 光 男	須 田 安 衿 永 田 武 志

## 2 会議

## (1) 会期及び本会議日数

区 分	平成24年 第2回 臨時会 (5月)	平成24年 第3回 定例会 (6月)	平成24年 第4回 定例会 (9月)	平成24年 第5回 臨時会 (11月)	平成24年 第6回 定例会 (12月)	平成25年 第1回 定例会 (3月)	計
会 期(日)	1	21	28	1	21	26	98
本会議開催日数(日)	1	6	6	1	6	6	26
常任委員会 開催延べ日数(日)	1	4	6	1	5	6	23
議会運営委員会 開催日数(日)	1	2	1	1	3	3	11

## (2) 議会付議事件件数

区 分		平成24年 第2回 臨時会 (5月)	平成24年 第3回 定例会 (6月)	平成24年 第4回 定例会 (9月)	平成24年 第5回 臨時会 (11月)	平成24年 第6回 定例会 (12月)	平成25年 第1回 定例会 (3月)	計
市 長 提 出	条 例(件)	2	8	6	1	27	26	70
	予算決算(件)	2	1	15	2	9	20	49
	人 事(件)	-	1	6	-	4	8	19
	報 告(件)	1	11	7	-	2	3	24
	そ の 他 (件)	-	4	3	3	5	12	27
議 員 提 出	条例規則(件)	-	-	1	-	3	4	8
	意 見 書(件)	-	-	2	-	1	-	3
	決 議(件)	-	-	-	-	1	-	1
	そ の 他 (件)	-	6	-	-	-	1	7
議会人事等(件)		-	9	-	-	-	-	9
請願・陳情(件)		-	1	2	-	-	-	3
計		5	41	42	6	52	74	220

## (3) 議案等処理状況

## ア 平成24年第2回臨時会

- ・開会 5月15日
- ・閉会 5月15日

番 号	件 名	提出者	提出月日	議決月日	結 果
報 告 第 10 号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定)	市 長	5 月 15 日	5 月 15 日	報告聴取
議 案 第 56 号	市長の専決処分事項の承認について(平成 23 年度栃木市医療福祉モール特別会計補正予算(第 2 号))	市 長	5 月 15 日	5 月 15 日	承 認
議 案 第 57 号	市長の専決処分事項の承認について(栃木市税条例の一部を改正する条例の制定)	市 長	5 月 15 日	5 月 15 日	承 認
議 案 第 58 号	市長の専決処分事項の承認について(栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定)	市 長	5 月 15 日	5 月 15 日	承 認
議 案 第 59 号	平成 24 年度栃木市一般会計補正予算(第 1 号)	市 長	5 月 15 日	5 月 15 日	原案可決

## イ 平成 24 年第 3 回定例会

- ・開会 6 月 1 日
- ・閉会 6 月 21 日

番 号	件 名	提出者	提出月日	議決月日	結 果
-	議長選挙	-	6 月 1 日	6 月 1 日	高岩 義祐 当選
-	副議長選挙	-	6 月 1 日	6 月 1 日	大阿久岩人 当選
-	常任委員の選任について	-	6 月 1 日	6 月 1 日	別紙のとおり選任
-	議会運営委員の選任について	-	6 月 1 日	6 月 1 日	別紙のとおり選任
-	議会広報紙発行特別委員会委員の選任について	-	6 月 1 日	6 月 1 日	別紙のとおり選任
-	総務常任委員会の閉会中の継続調査の申し出について	総務常任 委員会委員 長	6 月 1 日	6 月 1 日	原案可決
-	民生常任委員会の閉会中の継続調査の申し出について	民生常任 委員会委員 長	6 月 1 日	6 月 1 日	原案可決
-	産業教育常任委員会の閉会中の継続調査の申し出について	産業教育 常任委員 会委員 長	6 月 1 日	6 月 1 日	原案可決

-	建設常任委員会の閉会中の継続調査の申し出について	建設常任委員会委員長	6月1日	6月1日	原案可決
-	議会運営委員会の閉会中の継続調査の申し出について	議会運営委員会委員長	6月1日	6月1日	原案可決
-	議会広報紙発行特別委員会の閉会中の継続調査の申し出について	議会広報紙発行特別委員会委員長	6月1日	6月1日	原案可決
報告第11号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第12号	平成23年度栃木市一般会計継続費繰越計算書	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第13号	平成23年度栃木市一般会計繰越明許費繰越計算書	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第14号	平成23年度栃木市下水道特別会計繰越明許費繰越計算書	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第15号	平成23年度栃木市JR大平下駅前土地地区画整理特別会計繰越明許費繰越計算書	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第16号	平成23年度栃木市中根企業用地特別会計繰越明許費繰越計算書	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第17号	平成23年度栃木市水道事業会計予算繰越計算書	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第18号	栃木市土地開発公社の平成24年度事業計画書の提出について	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第19号	財団法人藤岡町農業公社の平成24年度事業計画書の提出について	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第20号	財団法人都賀町農業公社の平成24年度事業計画書の提出について	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
報告第21号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市長	6月1日	6月1日	報告聴取
議案第60号	平成24年度栃木市一般会計補正予算（第2号）	市長	6月1日	6月21日	原案可決
議案第61号	栃木市自治基本条例の制定について	市長	6月1日	6月1日	原案可決
議案第62号	栃木市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	6月1日	6月21日	原案可決
議案第63号	栃木市税条例の一部を改正する条例の制定について	市長	6月1日	6月21日	原案可決
議案第64号	栃木市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	市長	6月1日	6月21日	原案可決
議案	栃木市国民健康保険税条例の一部を	市長	6月1日	6月21日	原案可決

第 65 号	改正する条例の制定について				
議 案 第 66 号	栃木市災害見舞金条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	6 月 1 日	6 月 21 日	原案可決
議 案 第 67 号	栃木市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	6 月 1 日	6 月 21 日	原案可決
議 案 第 68 号	栃木市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	6 月 1 日	6 月 21 日	原案可決
議 案 第 69 号	工事請負契約の締結について	市 長	6 月 1 日	6 月 21 日	原案可決
議 案 第 70 号	工事委託契約の締結について	市 長	6 月 1 日	6 月 21 日	原案可決
議 案 第 71 号	財産の取得について	市 長	6 月 1 日	6 月 21 日	原案可決
議 案 第 72 号	財産の取得について	市 長	6 月 1 日	6 月 21 日	原案可決
議 案 第 73 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	市 長	6 月 1 日	6 月 1 日	同 意 (梅澤米満)
請 願 第 3 号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める陳情	アジアと日本の平和と安全を守る 栃木県フォーラム 会長代行 増淵賢一	6 月 8 日	6 月 21 日	閉会中の 継続審査
-	栃木地区広域行政事務組合議会議員の選挙	-	6 月 21 日	6 月 21 日	鮎田 博 白石 幹男 須田 安鉄 福富 善明 氏家 晃 長 芳孝 広瀬 義明 平池 紘士 大出 三夫 内海 成和 小堀 良江 当選
-	栃木県南公設地方卸売市場事務組合議会議員の選挙	-	6 月 21 日	6 月 21 日	関口孫一郎 萩原 繁 岡 賢治 永田 武志 当選
-	栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	-	6 月 21 日	6 月 21 日	高岩 義祐 当選

-	佐野地区衛生施設組合議会議員の選挙	-	6月21日	6月21日	大島 光男 関口孫一郎 萩原 繁 当選
---	-------------------	---	-------	-------	------------------------------

ウ 平成24年第4回定例会

- ・開会 8月31日
- ・閉会 9月27日

番 号	件 名	提出者	提出月日	議決月日	結 果
報 告 第 22 号	平成 23 年度栃木市継続費精算報告書	市 長	8 月 31 日	8 月 31 日	報告聴取
報 告 第 23 号	平成 23 年度決算に係る健全化判断比率及び 資金不足比率の報告について	市 長	8 月 31 日	8 月 31 日	報告聴取
報 告 第 24 号	専決処分事項の報告について(損害賠 償の額の決定)	市 長	8 月 31 日	8 月 31 日	報告聴取
報 告 第 25 号	専決処分事項の報告について(損害賠 償の額の決定)	市 長	8 月 31 日	8 月 31 日	報告聴取
報 告 第 26 号	栃木市土地開発公社の平成 23 事業年 度事業報告書の提出について	市 長	8 月 31 日	8 月 31 日	報告聴取
報 告 第 27 号	財団法人藤岡町農業公社の平成 23 年 度事業状況報告書の提出について	市 長	8 月 31 日	8 月 31 日	報告聴取
報 告 第 28 号	財団法人都賀町農業公社の平成 23 年 度事業状況報告書の提出について	市 長	8 月 31 日	8 月 31 日	報告聴取
議 案 第 74 号	市長の専決処分事項の承認について (栃木市斎場条例の一部を改正する 条例の制定)	市 長	8 月 31 日	9 月 27 日	原案可決
議 案 第 75 号	市長の専決処分事項の承認について (平成 24 年度栃木市一般会計補正予 算(第 3 号))	市 長	8 月 31 日	9 月 27 日	原案可決
議 案 第 76 号	平成 24 年度栃木市一般会計補正予算 (第 4 号)	市 長	8 月 31 日	9 月 27 日	原案可決
議 案 第 77 号	平成 24 年度栃木市介護保険特別会計 (保険事業勘定)補正予算(第 1 号)	市 長	8 月 31 日	9 月 27 日	原案可決
議 案 第 78 号	栃木市債権管理条例の制定について	市 長	8 月 31 日	9 月 27 日	原案可決
議 案 第 79 号	栃木市人権施策推進審議会条例の一 部を改正する条例の制定について	市 長	8 月 31 日	9 月 27 日	原案可決
議 案 第 80 号	栃木市防災会議条例及び栃木市災害 対策本部条例の一部を改正する条例 の制定について	市 長	8 月 31 日	9 月 27 日	原案可決
議 案 第 81 号	栃木市特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の 一部を改正する条例の制定について	市 長	8 月 31 日	9 月 27 日	原案可決

議案 第82号	栃木市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8月31日	9月27日	原案可決
議案 第83号	財産の取得について	市長	8月31日	9月27日	原案可決
議案 第84号	財産の取得について	市長	8月31日	9月27日	原案可決
議案 第85号	平成23年度栃木市水道事業会計剰余金の処分について	市長	8月31日	9月27日	原案可決
議案 第86号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月31日	8月31日	同意 (鮎田博)
議案 第87号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月31日	8月31日	同意 (三澤義久)
議案 第88号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月31日	8月31日	同意 (佐山和江)
議案 第89号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月31日	8月31日	同意 (矢尾板充)
議案 第90号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月31日	8月31日	同意 (菊地由起)
議案 第91号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月31日	8月31日	同意 (熊倉陽子)
認定 第9号	平成23年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第10号	平成23年度栃木市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第11号	平成23年度栃木市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第12号	平成23年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第13号	平成23年度栃木市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第14号	平成23年度栃木市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第15号	平成23年度栃木市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第16号	平成23年度栃木市地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第17号	平成23年度栃木市J R大平下駅前土地地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定

認定 第18号	平成23年度栃木市医療福祉モータル特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第19号	平成23年度栃木市中根企業用地特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
認定 第20号	平成23年度栃木市水道事業会計決算の認定について	市長	8月31日	9月27日	認定
請願 第3号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める陳情	アジアと日本の平和と安全を守る 栃木県フォーラム 会長代行 増淵 賢一	6月8日	9月27日	採択
陳情 第4号	国民健康保険への国庫負担増額を求める陳情書	栃木県社会保障推進協議会会長 大根田 紳	9月7日	9月27日	採択
意見書案 第2号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書	議員	9月27日	9月27日	原案可決
意見書案 第3号	国民健康保険への国庫負担増額を求める意見書	議員	9月27日	9月27日	原案可決
議員案 第2号	栃木市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	議員	8月31日	8月31日	原案可決

エ 平成24年第5回臨時会

- ・開会11月12日
- ・閉会11月12日

番号	件名	提出者	提出月日	議決月日	結果
議案 第92号	平成24年度栃木市一般会計補正予算(第5号)	市長	11月12日	11月12日	原案可決
議案 第93号	平成24年度栃木市中根産業団地特別会計補正予算(第1号)	市長	11月12日	11月12日	原案可決
議案 第94号	栃木市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月12日	11月12日	原案可決
議案 第95号	財産の処分について	市長	11月12日	11月12日	原案可決
議案 第96号	財産の処分について	市長	11月12日	11月12日	原案可決
議案 第97号	財産の処分について	市長	11月12日	11月12日	原案可決

オ 平成24年第6回定例会

- ・開会11月30日
- ・閉会12月20日

番 号	件 名	提出者	提出月日	議決月日	結 果
報 告 第 29 号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定について）	市 長	11 月 30 日	11 月 30 日	報告聴取
報 告 第 30 号	栃木市土地開発公社の平成 24 事業年度変更事業計画書の提出について	市 長	11 月 30 日	11 月 30 日	報告聴取
議 案 第 98 号	平成 24 年度栃木市一般会計補正予算（第 6 号）	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 99 号	平成 24 年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 100 号	平成 24 年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 101 号	平成 24 年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 2 号）	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 102 号	平成 24 年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第 1 号）	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 103 号	平成 24 年度栃木市下水道特別会計補正予算（第 1 号）	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 104 号	平成 24 年度栃木市農業集落排水特別会計補正予算（第 1 号）	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 105 号	平成 24 年度栃木市水道事業会計補正予算（第 1 号）	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 106 号	栃木市重要伝統的建造物群保存地区における栃木市税条例及び栃木市都市計画税条例の特例を定める条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 107 号	栃木市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 108 号	栃木市道路構造条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 109 号	栃木市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 110 号	栃木市都市公園法に基づく都市公園及び公園施設の設置の基準を定める条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 111 号	栃木市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 112 号	栃木市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案	栃木市水道事業の布設工事監督者及	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決

第 113 号	び水道技術管理者に関する条例の制定について				
議 案 第 114 号	栃木市衛生センター条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 115 号	栃木市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 116 号	栃木市隣保館条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 117 号	栃木市農村振興総合センター条例等の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 118 号	栃木市藤岡城山コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 119 号	栃木市藤岡遊水池会館条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 120 号	栃木市渡良瀬の里条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	修正案を除く 原案可決
	栃木市渡良瀬の里条例の一部を改正する条例に対する修正案	議 員	12 月 20 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 121 号	栃木市真名子夢ホール条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 122 号	栃木市公民館条例等の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 123 号	栃木市公園有料公園施設に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 124 号	栃木市公園条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 125 号	栃木市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 126 号	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 127 号	栃木市税条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 128 号	栃木市こども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 129 号	栃木市学童保育施設条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 130 号	栃木市遺児手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決
議 案 第 131 号	栃木市学童保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	11 月 30 日	12 月 20 日	原案可決

議案第132号	栃木市総合計画を構成する基本構想及び基本計画について	市長	11月30日	12月20日	原案可決
議案第133号	市道路線の認定について	市長	11月30日	12月20日	原案可決
議案第134号	小山市道路線の認定の承諾について	市長	11月30日	12月20日	原案可決
議案第135号	指定管理者の指定について（栃木市藤岡高齢者生きがいセンター）	市長	11月30日	12月20日	原案可決
議案第136号	指定管理者の指定について（栃木市渡良瀬の里）	市長	11月30日	12月20日	原案可決
議案第137号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	11月30日	11月30日	同意 (吉井 康恵)
議案第138号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	11月30日	11月30日	同意 (山土家光幸)
議案第139号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	11月30日	11月30日	同意 (野尻 和孝)
議案第140号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	11月30日	11月30日	同意 (飯島トシ子)
議案第141号	平成24年度栃木市一般会計補正予算（第7号）	市長	11月30日	11月30日	原案可決
議案第142号	栃木市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	12月20日	12月20日	原案可決
議員案第3号	栃木市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	議員	11月30日	11月30日	原案可決
議員案第4号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議員	11月30日	11月30日	原案可決
決議案第1号	議案第120号栃木市渡良瀬の里条例の一部を改正する条例の制定についてに対する付帯決議	議員	12月20日	12月20日	原案可決
意見書案第4号	東北自動車道・都賀西方パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置を求める意見書	議員	12月20日	12月20日	原案可決

カ 平成25年第1回定例会

- ・開会 2月25日
- ・閉会 3月22日

番号	件名	提出者	提出月日	議決月日	結果
報告第1号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市長	2月25日	2月25日	報告聴取
報告第2号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市長	2月25日	2月25日	報告聴取
報告第3号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市長	3月22日	3月22日	報告聴取

議案 第1号	平成25年度栃木市一般会計予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第2号	平成25年度栃木市国民健康保険特別会計予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第3号	平成25年度栃木市後期高齢者医療特別会計予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第4号	平成25年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第5号	平成25年度栃木市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第6号	平成25年度栃木市下水道特別会計予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第7号	平成25年度栃木市農業集落排水特別会計予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第8号	平成25年度栃木市JR大平下駅前土地区画整理特別会計予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第9号	平成25年度栃木市医療福祉モール特別会計予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第10号	平成25年度栃木市中根産業団地特別会計予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第11号	平成25年度栃木市水道事業会計予算	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第12号	平成24年度栃木市一般会計補正予算(第8号)	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第13号	平成24年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第14号	平成24年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第15号	平成24年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第16号	平成24年度栃木市下水道特別会計補正予算(第2号)	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第17号	平成24年度栃木市農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第18号	平成24年度栃木市医療福祉モール特別会計補正予算(第1号)	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第19号	平成24年度栃木市水道事業会計補正予算(第2号)	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第20号	栃木市個別外部監査契約に基づく監査に関する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案 第21号	栃木市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決

議案第22号	栃木市被災者住宅復旧支援条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第23号	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第24号	栃木市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第25号	栃木市営住宅等整備基準条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第26号	栃木市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第27号	栃木市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第28号	栃木市障がい者支援施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第29号	栃木市指定障がい者支援施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第30号	栃木市障がい福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第31号	栃木市指定障がい福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第32号	栃木市福祉ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第33号	栃木市地域活動支援センターの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第34号	栃木市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第35号	栃木市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第36号	栃木市小集落改良住宅条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第37号	栃木市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正す	市長	2月25日	3月22日	原案可決

	る条例の制定について				
議案第38号	栃木市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第39号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月25日	2月25日	原案可決
議案第40号	栃木市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第41号	栃木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第42号	栃木市障がい程度区分審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第43号	栃木市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第44号	栃木市部設置条例等の一部を改正する条例の制定について	市長	2月25日	2月25日	原案可決
議案第45号	栃木市つがスポーツ公園管理事務所条例を廃止する条例の制定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第46号	工事請負契約の締結について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第47号	工事請負契約の締結について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第48号	工事請負契約の締結について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第49号	工事請負契約の締結について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第50号	市道路線の認定について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第51号	栃木市と鹿沼市との間の鹿沼医療圏における休日夜間急患診療事務の委託の廃止について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第52号	栃木市と鹿沼市との間の鹿沼医療圏における休日急患歯科診療事務の委託の廃止について	市長	2月25日	3月22日	原案可決
議案第53号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市長	2月25日	2月25日	同意 (福島 鉄典)
議案第54号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市長	2月25日	2月25日	同意 (柏倉喜三久)
議案第55号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市長	2月25日	2月25日	同意 (諏訪 晃)
議案	固定資産評価審査委員会委員の選任に	市長	2月25日	2月25日	同意

第 56 号	つき同意を求めることについて				(町田 郁夫)
議 案 第 57 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市 長	2 月 25 日	2 月 25 日	同 意 (三柴 力夫)
議 案 第 58 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市 長	2 月 25 日	2 月 25 日	同 意 (大橋 光男)
議 案 第 59 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市 長	2 月 25 日	2 月 25 日	同 意 (小林 純子)
議 案 第 60 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市 長	2 月 25 日	2 月 25 日	同 意 (三上 亮順)
議 案 第 61 号	栃木市及び下都賀郡岩舟町の廃置分合について	市 長	2 月 25 日	2 月 25 日	原案可決
議 案 第 62 号	栃木市及び下都賀郡岩舟町の廃置分合に伴う財産処分に関する協議について	市 長	2 月 25 日	2 月 25 日	原案可決
議 案 第 63 号	栃木市及び下都賀郡岩舟町の廃置分合に伴う農業委員会の委員の任期等に関する協議について	市 長	2 月 25 日	2 月 25 日	原案可決
議 案 第 64 号	栃木市及び下都賀郡岩舟町の廃置分合に伴う地域自治区及び地域自治区の区長の設置に関する協議について	市 長	2 月 25 日	2 月 25 日	原案可決
議 案 第 65 号	平成 24 年度栃木市一般会計補正予算(第 9 号)	市 長	3 月 22 日	3 月 22 日	原案可決
議 案 第 66 号	財産の貸付けについて	市 長	3 月 22 日	3 月 22 日	原案可決
議員案 第 1 号	栃木市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	議 員	2 月 25 日	2 月 25 日	原案可決
議員案 第 2 号	栃木市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	議 員	2 月 25 日	2 月 25 日	原案可決
議員案 第 3 号	栃木市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議 員	2 月 25 日	2 月 25 日	原案可決
議員案 第 4 号	栃木市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	議 員	2 月 25 日	2 月 25 日	原案可決
議員案 第 5 号	市長の専決処分事項の指定について	議 員	2 月 25 日	2 月 25 日	原案可決

(4) 請願、陳情等受付状況 12件

(5) その他の会議

区 分		開催日数(日)
常 任 委 員 研 究 会	総 務	1
	民 生	10
	産 業 教 育	1
	建 設	1
		計 13

議 会 運 営 委 員 研 究 会	3
議 員 全 員 協 議 会	7
各 会 派 代 表 者 会 議	21
議 会 定 数 等 検 討 委 員 会	5
議 会 広 報 紙 発 行 特 別 委 員 会	13
議 会 報 告 運 営 委 員 会	11
政 治 倫 理 条 例 検 討 委 員 会	5
議 会 改 革 検 討 委 員 会	7
議 員 研 究 会	13
議 会 報 告 会	12

### 3 広報紙発行状況

とちぎ市議会だより

- ・規 格           A4版 艶消しコート紙
  - ・体 裁           表紙写真カラー刷                   活字及びその他の写真黒刷
- 5段切       1段30行詰め

号 数	発行日	ページ数 (P)	発行部数 (部)
第 10 号	5月18日 (金)	16	47,000
第 11 号	8月20日 (月)	14	47,000
第 12 号	11月20日 (火)	14	47,000
第 13 号	2月20日 (水)	16	47,000

### 4 調 査

#### (1) 常任委員会視察

所管事項調査のため、次のとおり調査を行った。

委員会名	参加委員(人)	調査期日	調査団体	調査事項
総 務	8	11月1日(木) 2日(金)	静岡県藤枝市・ 神奈川県藤沢市	借上型市営住宅整備事業について 等
民 生	9	11月1日(木) 2日(金)	山梨県北杜市・ 山梨県甲斐市	北杜サイト太陽光発電所について 等
産業教育	8	10月31日(水) 11月1日(木)	山形県天童市・ 山形県新庄市	天のわらべ すこやかスクール プロジェクトについて 等
建 設	8	11月1日(木) 2日(金)	岐阜県各務原市・ 岐阜県大垣市	中山道鶯沼宿再生整備事業につ いて 等

#### (2) 議会運営委員会視察

所管事項調査のため、次のとおり調査を行った

- ・参加委員 9人

- ・調査期日 7月30日(月)、31日(火)
- ・調査都市 愛知県犬山市・愛知県岡崎市
- ・調査事項 議会改革について 等

(3) 議会広報紙発行特別委員会視察

所管事項調査のため、次のとおり調査を行った

- ・参加委員 9人
- ・調査期日 2月7日(木)、8日(金)
- ・調査都市 愛知県田原市・愛知県知立市
- ・調査事項 市議会だより作成の流れについて

(4) その他

市政の抱える重点課題等の調査研究のため会派を中心として、次のとおり先進都市を視察した。

調査期日	調査都市	参加議員
4月25日(水) ～26日(木)	富山県高岡市 富山県富山市	海老原恵子 増山敬之 福富善明 岡賢治 松本喜一
7月19日(木) ～20日(金)	北海道滝川市 北海道帯広市	須田安 <del>欽</del> 大出孝幸 鮎田博 渡辺照明
7月23日(月) ～25日(水)	新潟県長岡市 新潟県三条市 新潟県佐渡市	海老原恵子 増山敬之 福富善明 岡賢治 松本喜一 広瀬義明 天谷浩明 大武真一 内海成和
7月24日(火) ～25日(水)	兵庫県神戸市	大出三夫 中島克訓 小堀良江 氏家晃 萩原繁 永田武志 高岩義祐 大阿久岩人
7月24日(火) ～25日(水)	長野県小布施市 長野県松本市	関口孫一郎 大川秀子 長芳孝 針谷正夫 千葉正弘 福田裕司 大島光男
7月30日(月) ～8月1日(水)	北海道ニセコ町 北海道石狩市	千葉正弘 大島光男 大川秀子 梅澤米満 平池紘士 長芳孝 針谷正夫
8月20日(月) ～22日(水)	宮城県石巻市 宮城県仙台市	海老原恵子 増山敬之 福富善明 岡賢治 松本喜一 広瀬義明 天谷浩明
10月9日(火)	愛知県豊田市	海老原恵子 増山敬之 福富善明 岡賢治 松本喜一 広瀬義明
10月11日(木) ～12日(金)	広島県広島市 岡山県倉敷市	高岩義祐 大阿久岩人 関口孫一郎 大川秀子 梅澤米満 長芳孝 福田裕司 大島光男 氏家晃 中島克訓 大出三夫 萩原繁 永田武志
10月15日(月) ～16日(火)	富山県富山市 富山県射水市	針谷正夫 高岩義祐 海老原恵子 松本喜一 増山敬之 福富善明 広瀬義明 氏家晃 福田裕司 大阿久岩人 天谷浩明 大島光男 長芳孝 中島克訓 関口孫一郎 千葉正弘 萩原繁 慶野昭次 岡賢治

## 5 庶務

### (1) 行政視察に来局した市・町議会議員

期 日	市町名	人員(人)	視 察 項 目
5月11日(金)	愛知県知多市	14	議会基本条例について
5月30日(水)	長崎県諫早市	6	議会改革について
7月23日(月)	新潟県燕市	10	議会改革の取り組みについて
8月 8日(水)	茨城県龍ヶ崎市	7	議会改革について(議会基本条例) 歴史資産を観光資源化した「まちづくり」 について
10月 1日(月)	愛知県安城市	10	議会基本条例について
10月 4日(木)	埼玉県草加市	7	観光行政について
10月 9日(火)	茨城県潮来市	8	議会運営全般について 議会基本条例について 議会広報について
10月22日(月)	静岡県長泉町	9	議会基本条例について 傍聴者アンケートの実施について
10月24日(水)	群馬県桐生市	8	栃木市議会基本条例について
11月 1日(木)	下野市	8	図書館指定管理について
11月 5日(月)	岩手県大船渡市	9	要支援者への一貫した支援体制について
11月14日(水)	長野県上田市	9	議員定数見直しと議員報酬等について 議会改革・議会運営について
12月21日(金)	埼玉県狭山市	4	自治基本条例について
1月23日(水)	埼玉県深谷市	3	市有施設屋根貸出し事業について
2月18日(月)	那須塩原市	1	地域における障害者自立支援の取り組みに ついて

### (2) 文書件数調 (単位：件)

収受	発送	合計
510	224	734

### (3) その他

- ・新春賀詞交歓会 1月8日(火)

## 第 1 5 章 教育委員会

### 第 1 節 教育総務課

#### 〔総括概要〕

教育文化都市として一層の飛躍を目指し、「開かれた教育委員会」、「安心安全な施設・設備づくり」に力点を置き、各種事業の推進を図った。

教育委員の活動としては、教育委員会を教育施設である地区公民館を中心に巡回しながら開催し、教育に関する協議を行った。各種研修会等にも積極的に参加した。

栃木市の教育行政が目指す基本的な方向性及び施策を明らかにすることを目的として「栃木市教育計画」を策定、概要版を配付し、市民に周知した。

市立学校の管理運営については、公平かつ良好な教育環境を整備するため、施設の維持管理並びに各種教材備品等の充実を推進すると同時に、子どもたちが高度情報通信ネットワークに主体的に対応できる能力を育成するため、教育用コンピュータとその利用環境の整備を推進した。加えて、効率のかつ安全な校務環境の実現と授業の質の更なる充実を図るため、教員1人1台のコンピュータ配置を前進させた。また、学校勤務の市職員の資質向上を図るため、図書館事務担当者と技能員それぞれに研修会を実施した。

学校再編については、寺尾地区において寺尾中央小と寺尾南小の統合を進めている。現在の寺尾中央小の位置に統合後の新校舎建築に向けて仮設管理棟の設置工事及び既存校舎の解体工事を実施した。

学校の適正配置を検討するなかで、複式学級の解消及び当該校の活性化を図るため、大宮南小をモデル校として市内のどこからでも通学できる小規模特認校制度を導入した。

栃木地域における学校の施設整備については、大地震などによる学校施設の倒壊被害を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする施設利用者の安全と災害発生時の避難場所を確保するため、大宮南小屋内運動場ほか5棟の耐震補強工事を実施した。また、耐震補強設計業務の委託を実施した。

安全で快適かつ良好な教育環境の整備のために、小学校3校のエアコン設置工事及び改修工事、小学校2校のプール改修工事などを実施した。その他、トイレや照明器具など学校施設の改修・修繕および施設の保守点検などを各校において実施した。

大宮北小では、教室不足の解消を図るため特別教室棟を増築し、併せて老朽化の著しい木造校舎を解体した。

平成24年3月5日より供用を開始した栃木中央小学校については、付帯施設である共同調理場、屋外水泳プール及び外構の工事が完了し、11月17日には落成記念式典を挙行了した。

教育総務担当

1 規則等の制定、改廃件数 12件

2 教育委員会の開催状況

開催日	定例会 臨時会 の別	付議件数（件）			開催場所
		議案	協議	報告等	
4月23日（月）	定例会	7	4	-	吹上公民館中会議室
5月21日（月）	定例会	4	1	-	吹上公民館大交流室
6月25日（月）	定例会	5	4	3	栃木中央小学校 教育研究室
7月30日（月）	定例会	10	2	1	吹上公民館中会議室
8月22日（水）	定例会	-	1	-	吹上公民館中会議室
9月24日（月）	定例会	1	3	-	都賀公民館研修室
10月29日（月）	定例会	2	-	-	大平公民館視聴覚室
11月30日（金）	定例会	1	2	-	吹上公民館中会議室
12月25日（火）	定例会	1	1	-	吹上公民館中会議室
1月21日（月）	定例会	3	1	3	吹上公民館中会議室
2月18日（月）	定例会	8	1	-	吹上公民館中会議室
2月26日（火）	臨時会	1	-	-	本庁舎別館第2会議室
3月15日（金）	定例会	3	-	3	吹上公民館中会議室

3 教育委員の構成

職名	氏名	性別	就任年月日 任満了	備考
委員長	後藤 正人	男	平成22年5月19日 平成26年5月18日	平成22年5月19日 委員長に就任
委員長職務代理者	筑比地 幸子	女	平成22年5月19日 平成28年5月18日	平成22年5月19日 職務代理者に就任
委員	福島 鉄典	男	平成22年5月19日 平成25年5月18日	
〃	若林 由美子	女	平成22年5月19日 平成27年5月18日	
〃	荒川 律	男	平成23年11月25日 平成27年11月24日	
〃 (教育長)	赤堀 明弘	男	平成22年5月19日 平成26年5月18日	

4 市立小・中学校図書館事務担当者及び技能員研修の実施状況

(1) 学校図書館事務担当者研修

実施日	研修内容	参加者(人)
4月24日（火）	総会並びに研修会	120

6月19日(火)	栃木図書館に質問および館内見学	(延べ人数)
8月2日(木)	掲示物作成	
10月2日(火)	栃木中央小学校見学	
1月24日(木)	図書館の装備について	

(2) 学校技能員研修

実施日	研修内容	参加者(人)
6月21日(木)	刃物の研ぎ方・巡回パトロール・共同作業	21

5 小・中学校への教育用コンピュータの整備と活用の推進

(1) 教育用コンピュータの整備

情報教育の推進を図るため、平成24年度はリース方式により、計画的に教育用コンピュータを導入した。

リプレース校 (単位：台)

栃木中央小学校	71
栃木第四小学校	52
皆川城東小学校	50
国府北小学校	51

また、文部科学省の方針である教員1人1台のパソコン配備目標を達成するため、中学校教職員用パーソナルコンピュータを96台配備した。

(2) 学校ホームページのクラウド化

学校ホームページの更新頻度を向上させるとともに、保護者や地域住民に対し、迅速な情報発信を可能にするため、情報共有基盤システムであるネットコモンズ(Netcommons)を、市内全小中学校40校で導入し、学校ホームページを構築した。

6 栃木市奨学金の貸付

経済的理由により修学困難な高等学校、専修学校高等課程・専門課程、短期大学、大学に入学希望者及び在学者に対し、栃木市より奨学金の貸付を行った。

(1) 奨学金月額

区 分		月額(円)
高等学校・専修学校高等課程		12,000
専修学校専門課程 短期大学 大 学	自宅通学	25,000
	自宅外通学	30,000

(2) 奨学金の貸付状況

(単位：人)

	1学年	2学年	3学年	4学年	合計
高等学校	1	2	3		6

短期大学	-	1			1
大学	5	2	6	8	21
専門学校	2	-	2		4

(3) 平成24年度末栃木市奨学基金の状況(単位：円)

基金額	104,548,643
貸付金額	71,034,375
現金額	33,514,268

7 栃木市入学資金融資あっせん状況

入学資金融資預託金融機関の足利銀行栃木支店に、貸付業務が円滑に行えるよう年度当初預託金を預け、私立高等学校、私立短期大学または私立大学に入学するに当たり、入学資金、施設整備費及び授業料(前期分)を入学時に学校へ納入する資金の調達を必要とする学生の保護者に対し、入学資金融資あっせんを行った。

区分	申込件数(件)	融資決定数(件)	融資決定額(万円)
高校	-	-	-
大学	2	2	107

融資限度額 ・私立高等学校 20万円 ・私立短期大学及び私立大学 100万円

8 叙位・叙勲の申請・伝達等

教育職員に関する叙位叙勲の申請、伝達等を行った。

・叙位 5件 ・叙勲 6件

9 学校施設の整備状況

小中学校各校耐震補強工事費	6棟	149,040,150円
小中学校各校施設整備工事費	50件	100,212,367円
小中学校各校維持補修費	188件	18,911,163円
小中学校設備保守点検等委託料	47件	34,056,202円

(1) 主な工事

業務名称	対象施設	学校名	工事概要	工事費(円)
栃木中央小学校新築工事	共同調理場	栃木中央小	・本体工事 共同調理場 延べ405㎡	82,635,000 (平成23年度から繰越)
			・電気設備工事 幹線・動力、電灯・コンセント、照明器具 その他	20,737,500 (平成23年度から繰越)
			・機械設備工事 冷暖房、換気、自動制御、衛生器具 その他	112,455,000 (平成23年度から繰越)
	水泳プール		・本体工事 高学年用プール 25m×13m 6コース その他	81,795,000 (平成23年度から繰越)
			・電気設備工事 幹線、電灯・コンセント、照明器具	4,494,000 (平成23年度から繰越)
			・機械設備工事 換気、衛生機器、給水、排水その他	18,847,500 (平成23年度から繰越)

	外構		・外構 1 期工事 舗床、囲障、排水、遊具その他	22,911,000 (平成 23 年度から繰越)
			・外構 2 期工事 舗装、囲障、門扉、屋外倉庫 28.8 m <sup>2</sup> その他	30,240,000
校舎 改築 工事	校舎	(仮称) 寺尾統合小	・寺尾中央小校舎等解体工事 R C 造 3 階建 延べ 1,759 m <sup>2</sup> その他	42,136,500
			・本体工事 R C 造 2 階建 延べ 3,385.85 m <sup>2</sup> 、太陽光発電設備、昇降機設備	575,400,000 (平成 24・25 年度 継続事業)
			・電気設備工事 高圧引込設備、受変電設備、幹線設備 その他	130,830,000 (平成 24・25 年度 継続事業)
			・機械設備工事 冷暖房設備、暖房設備、換気設備 その他	132,195,000 (平成 24・25 年度 継続事業)
増築 工事	校舎	大宮北小	・本体工事 校舎棟 R C 造 4 階建 延べ 1,699.08 m <sup>2</sup> 外部倉庫 プレハブ造平屋建 延べ 39.74 m <sup>2</sup>	245,700,000
			・電気設備工事	71,400,000
			・機械設備工事	96,390,000
			・解体工事 木造校舎 延べ 570 m <sup>2</sup>	13,335,000
耐震 補強 工事	校舎	皆川城東小	管理・教室・特別教室棟 1 棟 延べ 3,045 m <sup>2</sup> 屋上防水その他改修	58,099,650
		吹上小	普通・特別・管理棟 1 棟 延べ 2,455 m <sup>2</sup> 屋上防水その他改修	33,495,000
	屋内 運動 場	大宮南小	屋内運動場 1 棟 延べ 549 m <sup>2</sup> ステージ下台車収納その他改修	10,710,000
		皆川城東小	屋内運動場 1 棟 延べ 552 m <sup>2</sup> ステージ下台車収納その他改修	19,885,950
		千塚小	屋内運動場 1 棟 延べ 555 m <sup>2</sup> ステージ下台車収納その他改修	19,488,000
		国府北小	屋内運動場 1 棟 延べ 450 m <sup>2</sup> ステージ下台車収納その他改修	8,557,500
施設 整備 工事		栃木第三小	パソコン室エアコン設置工事	2,058,000
		南小	図書室エアコン改修工事	2,940,000
		国府南小	校舎棟エアコン改修工事	1,344,000
		大宮南小 皆川城東小	・プール改修工事 本体工事、電気設備工事、機械設備工事その他	66,171,000
		皆川中	校舎北側舗装改修工事	4,494,000
		吹上中	防球ネット改修工事	6,142,500

(2) 主な業務委託(学校施設整備関係)

業務名称	対象施設	学校名	業務概要	委託費(円)
耐震補強設計業務委託	屋内運動場	寺尾中	耐震補強および改修設計業務委託 屋内運動場 延べ736㎡	2,677,500
業務設計委託	校舎	(仮称) 寺尾統合小	改築工事設計 校舎 延べ約3,400㎡ 解体設計 既存校舎 計2,561㎡ 仮設校舎賃貸借設計 校舎 延べ約600㎡	38,850,000 (平成23年度から繰越)

(3) 主な学校設備保守点検業務委託

(単位：校)

委託名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	15※	7
校舎警備業務委託	15※	7
自動火災報知機保守点検委託	15※	7
屋内消火栓保守点検委託	14※	7
避難器具保守点検委託	7	5
非常通報装置保守委託	11	6
防煙防火シャッター保守点検委託	14※	7
給食用ダムウォーター保守管理委託	11	2
浄化槽保守管理委託	11	4
浄化槽清掃委託	11	4
浄化槽水質検査委託	11	4
水泳プール循環浄化装置保守委託	8	5
水道貯水槽清掃業務委託	14※	7
簡易専用水道管理検査委託	11※	6
冷房設備点検委託	1	-

※印は、栃木中央小学校旧校舎(旧栃木第一小分)を含む。

10 小中学校屋内運動場利用状況(栃木地域)

小学校及び中学校の屋内運動場を学校教育に支障のない範囲内で開放し、青少年の健全育成並びに地域住民の文化の向上及びスポーツ振興を図った。

- ・利用者数 小学校(14校) 延べ100,764人  
中学校(7校) 延べ57,897人

11 寺尾中学校セミナーハウス利用状況

寺尾中学校内に設置された集団宿泊研修施設であるセミナーハウスを開放し、人間性豊かな児童生徒等の育成を図った。

- ・利用者数 延べ481人

教育政策担当

1 2 教育行政に関する要覧の作成

市民に向け本市教育活動の良さを理解していただくため、市民向けに冊子を作成、配布した。

	「栃木市の教育 絆」
発行	7月
形式	A4判
発行部数	500部

また、これから10年間の栃木市の教育行政が目指す基本的な方向性及び重点施策等を明らかにすることを目的として、栃木市教育計画を策定した。

	「栃木市教育計画」	「栃木市教育計画(概要版)」
発行	3月	3月
形式	A4判	A4判
発行部数	1,000部	48,000部

## 第2節 学校教育課

### 〔総括概要〕

本年度は、新市「まちづくりの基本方針・3」に基づき、学校教育担当及び保健給食担当において、人生の礎となる「生きる力」を身につけた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施した。

学校教育においては、未来を担う栃木市の子どもとして「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を身につけた子どもの育成を目指した。

教職員の指導力の向上として、教育研究所と連携し、所長の宇都宮大学松本敏教授を中心に、各校の学校課題の研究・指導や教職員研修を充実させ、教育講演会や教育研究発表会を行った。

また、教育支援の充実として、専門的な知識を持った学校教育支援専門員や臨床心理士、指導主事による学校訪問や保護者との相談、いじめ等の問題行動に対する対応、指導体制への助言、学校と地域の連携支援等を行った。

教育環境の整備としては、就学援助事務及び教科書無償給与事務、新学習指導要領対応の理科教育備品整備等を行った。

さらに、各学校の特別な支援を必要とする児童生徒への対応として、学習や生活指導の支援を行う学校生活支援員65人（特別支援教育支援員55人、学力向上支援員6人、通級教室指導員3人、日本語指導員1人）を配置した。

キャリア（進路）指導については、小学校の校外学習等や中学校の職場体験学習等を通して、勤労の大切さや尊さを学ぶ教育を展開し、児童生徒一人ひとりの将来の生き方を考える力の育成を図った。

学校保健については、心身共に健康な児童生徒の育成を目指し、各種健康診断を実施した。

心臓検診、腎臓検診では検査の結果、有所見者に対して各専門医による判定会を開催し、学校生活管理指導表により事後の管理指導を行った。

むし歯予防事業では、歯科検診及び「むし歯ゼロ学校巡回指導」を実施し、児童生徒に対して歯・口腔衛生の正しい知識と疾病予防の指導を行った。

そのほか、結核健診、就学時健診、教職員の生活習慣病検診等の事業を実施した。

また、学校薬剤師による飲料水及びプールの水質、照度、一・二酸化炭素等の定期検査により学校の保健環境衛生の向上に努めた。

学校給食については、児童生徒が正しい食習慣を身に付け、自己の健康保持増進を図ることを目指した。

食事内容については、献立の多様化や地産地消の拡大を図るなどして、安全で安心な、子どもたちに喜ばれる学校給食の提供に努めた。

また、食中毒を未然に防止するため、調理従事者を対象に衛生教育研修を実施するとともに、施設設備の改善充実に努めるなどして、衛生管理の徹底を図った。

さらに、栄養教諭等による食に関する指導についても、研究を推進した。

学校教育担当

1 学務に関する事業

(1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
33	53	91	39	34
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
12	1	1	17	21

(2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・受験届に関する事務
- ・校長選考試験に関する事務
- ・教頭、主幹教諭選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務

(3) 教職員給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者で記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されていないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員の団体(栃教協)との研修事業、各種研修等に係る補助金、委託料に関する事務を行った。

(5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
23年5月1日	7,519	292	3,710	140
24年5月1日	7,717	315	3,913	148
比較	198	23	203	8

(6) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

	対象者 (人)	支給額 (円)
小学校	190	10,230,332

中学校	151	13,634,333
計	341	23,864,665

(7) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

	対象者（人）	支給額（円）
小学校	38	1,260,539
中学校	24	1,116,855
計	62	2,377,394

(8) 遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学児童生徒通学費補助金の交付状況

小学校 4km以上 中学校 6km以上

	対象者（人）	支給額（円）
皆川城東小	6	120,000
寺尾中央小	9	97,200
計	15	217,200

(9) 学校教育設備整備費等（理科教育等設備整備費）補助事業

学校教育設備整備費等補助金により、小学校27校、中学校12校の整備を行った。

	整備額（円）
小学校	2,591,387
中学校	1,011,663
計	3,603,050

(10) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて、学校教育活動を行う臨海自然教室を実施した。

実施学校名	参加数(人)	実施期間	経費(円)
栃木中央小	97	11月26日(月)～11月28日(水)	261,450
栃木第三小	82	11月28日(水)～11月30日(金)	261,450
栃木第四小	40	11月19日(月)～11月21日(水)	87,150
栃木第五小	91	11月26日(月)～11月28日(水)	261,450
南小	57	11月26日(月)～11月28日(水)	174,300
大宮北小	132	12月3日(月)～12月5日(水)	348,600
皆川城東小	35	12月5日(水)～12月7日(金)	87,150
吹上小	60	12月3日(月)～12月5日(水)	174,300
千塚小	44	12月5日(水)～12月7日(金)	174,300
寺尾中央小	31	11月28日(水)～11月30日(金)	87,150
寺尾南小	8	11月28日(水)～11月30日(金)	87,150
国府南小	20	11月26日(月)～11月28日(水)	87,150
国府北小	51	12月3日(月)～12月5日(水)	174,300
大平東小	63	11月19日(月)～11月21日(水)	174,300

大平西小	57	12月5日(水)～12月7日(金)	174,300
大平中央小	111	11月28日(水)～11月30日(金)	261,450
藤岡小	39	12月3日(月)～12月5日(水)	87,150
部屋小	30	12月5日(水)～12月7日(金)	87,150
赤麻小	35	11月19日(月)～11月21日(水)	87,150
三鴨小	30	11月26日(月)～11月28日(水)	87,150
家中小	38	11月19日(月)～11月21日(水)	87,150
赤津小	23	12月5日(水)～12月7日(金)	87,150
西方小	63	11月28日(水)～11月30日(金)	174,300
真名子小	10	12月3日(月)～12月5日(水)	87,150
計	1,247	—	3,660,300

## 2 指導に関する事業

### (1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

- ・共同訪問 国府北小、大平中央小、三鴨小、西方小、真名子小、栃木南中、都賀中、西方中
- ・研究学校 栃木中央小（環境教育推進学校）、栃木三小・栃木東中（市指定人権教育研究学校）、大宮南小・大宮北小・国府南小・国府北小・東陽中（市指定外国語教育推進学校）、皆川城東小・皆川中（市指定小中一貫教育研究学校）、栃西中学区・寺尾中学区・大平南中学区、藤二中学区（市指定姉妹校化推進学校）、千塚小・大平南小・三鴨小・赤津小（市指定放課後教室研究学校）、大平東小・大平西小・大平中（市指定学力向上研究学校）、国府北小（市指定セカンドステップ研究校）

#### ・学校訪問実施状況

No	学校名	各教科等	訪問日	備考
1	栃木中央小	国社算理生特支	6月22日(金)	公開授業研究会
2	栃木中央小	国社算理生特支	10月26日(金)	算数3年目研修
3	栃木三小	特支(図工)	6月7日(木)	特別支援訪問
4	栃木三小	道徳・国語	6月28日(木)	国語3年目研修
5	栃木三小	生活・社会	11月8日(木)	研究校訪問
6	栃木三小	人権教育(講話)	11月2日(金)	研究校訪問
7	栃木四小	理科	6月26日(火)	
8	栃木四小	生活・理科	11月2日(金)	
9	栃木五小	国語	6月20日(水)	
10	栃木五小	特別支援(生活単元)	6月26日(火)	特別支援訪問
11	栃木五小	国語	11月2日(金)	3年目研修
12	南小	国語(講話)	8月9日(木)	

13	南小	国語 2 授業	11 月 14 日 (水)	
14	大宮南小	国語・算数	6 月 20 日 (水)	研究校訪問
15	大宮南小	学活・外国語	11 月 28 日 (水)	
16	大宮北小	外国語活動	6 月 27 日 (水)	
17	大宮北小	外国語活動	9 月 19 日 (水)	
18	大宮北小	算数・社会	10 月 11 日 (木)	3 年目研修
19	大宮北小	外国語活動	11 月 21 日 (水)	
20	皆川城東小	研修会	5 月 31 日 (木)	研究校訪問
21	皆川城東小	交流事業・研究授業	6 月 27 日 (水)	研究校訪問
22	皆川城東小	算数	10 月 3 日 (水)	研究校訪問
23	皆川城東小	算数	11 月 7 日 (水)	研究校訪問
24	皆川城東小	算数	1 月 11 日 (金)	研究校訪問
25	皆川城東小	研修会	2 月 6 日 (水)	
26	吹上小	国語	9 月 26 日 (水)	
27	吹上小	国語	10 月 26 日 (金)	3 年目研修
28	吹上小	国語	11 月 16 日 (金)	
29	千塚小	国語	10 月 10 日 (水)	3 年目研修
30	寺尾中央小	算数	6 月 27 日 (水)	
31	寺尾中央小	理科・算数	10 月 3 日 (水)	
32	寺尾南小	言語活動	6 月 13 日 (水)	
33	寺尾南小	言語活動	10 月 24 日 (水)	
34	国府南小	外国語・算数	6 月 15 日 (金)	
35	国府南小	算数	9 月 24 日 (月)	
36	国府北小	算数	6 月 20 日 (水)	研究校訪問
37	国府北小	特別支援 (生活単元)	7 月 3 日 (火)	特別支援訪問
38	国府北小	算数	10 月 17 日 (水)	3 年目研修
39	大平東小	国語	10 月 17 日 (水)	3 年目研修
40	大平南小	特別支援 (国語)	6 月 26 日 (火)	特別支援訪問
41	大平南小	算数	6 月 27 日 (水)	研究校訪問
42	大平南小	算数	10 月 24 日 (水)	3 年目研修
43	大平西小	算数	10 月 24 日 (水)	3 年目研修
44	大平西小	算数	7 月 4 日 (水)	研究校訪問
45	大平西小	国語	11 月 8 日 (木)	研究校訪問
46	大平西小	特別支援 (国・生)	12 月 12 日 (水)	特別支援訪問
47	大平中央小	学活・道徳	6 月 27 日 (水)	

48	大平中央小	国語・算数	10月31日(水)	
49	藤岡小	算数	10月3日(水)	
50	藤岡小	算数	11月7日(水)	
51	部屋小	社会・講話	6月29日(金)	
52	赤麻小	国語	6月20日(水)	3年目研修
53	赤麻小	国語	11月7日(水)	
54	三鴨小	国語	10月10日(水)	研究校訪問
55	合戦場小	特別支援(国)	6月14日(木)	特別支援訪問
56	合戦場小	算数	9月13日(木)	3年目研修
57	合戦場小	理科	11月21日(水)	
58	家中小	国語	6月25日(月)	
59	家中小	特別支援(算)	10月15日(月)	特別支援訪問
60	赤津小	特別支援(国)	6月14日(木)	特別支援訪問
61	赤津小	国語	6月29日(金)	研究校訪問
62	赤津小	国語	11月21日(水)	研究校訪問
63	西方小	国語(講話)	5月16日(水)	
64	西方小	国語(指導案検討)	6月6日(水)	
65	西方小	国語	6月27日(水)	
66	西方小	国語(指導案検討)	8月9日(木)	
67	西方小	国語	11月7日(水)	
68	真名子小	外国語活動	6月22日(金)	
69	真名子小	外国語活動	11月16日(金)	
70	真名子小	外国語活動	1月25日(金)	
71	栃木東中	美術	6月20日(水)	研究校訪問
72	栃木東中	道徳	9月25日(火)	研究校訪問
73	栃木東中	英語	10月11日(木)	研究校訪問
74	栃木東中	数学	11月30日(金)	研究校訪問
75	栃木西中	講話(評価)	5月30日(水)	
76	栃木西中	英・国・道・学	6月26日(火)	
77	栃木西中	社・保体・道	10月16日(火)	
78	栃木西中	数学・理科	11月13日(火)	
79	栃木南中	数学・英語	6月25日(月)	
80	東陽中	数学	6月28日(木)	
81	東陽中	理科	7月4日(水)	3年目研修
82	東陽中	英語	10月3日(水)	

83	東陽中	道徳	1月24日(木)	
84	皆川中	研修会	5月31日(木)	研究校訪問
85	皆川中	交流事業・研究授業	6月27日(水)	研究校訪問
86	皆川中	英語	9月26日(水)	研究校訪問
87	皆川中	英語	10月3日(水)	研究校訪問
88	皆川中	数学	11月7日(水)	研究校訪問
89	皆川中	理科	1月11日(金)	研究校訪問
90	皆川中	研修会	2月6日(水)	研究校訪問
91	吹上中	学活	9月18日(火)	
92	吹上中	英語	9月21日(金)	
93	寺尾中	保体	6月19日(火)	
94	寺尾中	英語	12月11日(火)	
95	寺尾中	道徳	2月6日(水)	
96	大平中	英語	11月9日(金)	研究校訪問
97	大平中	数学・学活	10月2日(火)	数学3年目研修
98	大平南中	国語・数学	10月15日(月)	
99	大平南中	社会・学活	10月17日(水)	
100	大平南中	道徳・英語	11月15日(木)	
101	大平南中	理科・特別支援	11月20日(火)	
102	藤岡一中	道徳	9月18日(火)	
103	藤岡一中	特別支援	9月25日(火)	
104	藤岡一中	英語	9月27日(木)	
105	藤岡二中	英語	6月8日(金)	
106	都賀中	数学・社会	9月21日(金)	
107	都賀中	英語	11月12日(月)	
108	西方中	英語	11月19日(月)	
109	西方中	数学	10月2日(火)	
110	西方中	社会	12月6日(木)	
111	国府北小	各教科・領域	10月31日(水)	共同訪問
112	大平中央小	各教科・領域	9月28日(金)	共同訪問
113	三鴨小	各教科・領域	5月31日(木)	共同訪問
114	西方小	各教科・領域	9月19日(水)	共同訪問
115	真名子小	各教科・領域	6月5日(火)	共同訪問
116	栃木南中	各教科・領域	11月15日(木)	共同訪問
117	都賀中	各教科・領域	5月29日(火)	共同訪問

118	西方中	各教科・領域	11月29日(木)	共同訪問
-----	-----	--------	-----------	------

・その他学校課題等に関する訪問

学校課題 【別表1】学校課題・研究主題一覧表参照

(2) 教育研究発表会

教職員を対象に、日頃の教育実践研究の成果を発表し、資質の向上を図り、指導法の改善に努めた。

・実施日 1月29日(火)

・口頭発表者 6件

(小学校4件、中学校区1件、高等学校1件)

・紙上発表者 8件

(小学校5件、中学校1件、特別支援学校1件、不登校適応指導教室1件)

・参加者 市内小・中・高等学校の教員 138人

(3) 人権教育研修

小・中・高等学校間や人権擁護委員、スクールガードリーダー等の関係機関、さらには学校・家庭・地域との連携を図るため、教職員等を対象に学校人権教育研修会を開催し、児童生徒指導に必要な情報交換等を行った。

第1回栃木市人権教育研修会

・実施日 8月8日(水)

・講話Ⅰ「栃木県の人権教育推進について」

・講師 下都賀教育事務所学校支援課指導主事 高田 裕子氏

・講話Ⅱ「部落差別の現状と差別の解消に向けて」

・講師 部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞氏

・参加者 各小・中学校の人権教育主任

(4) 外国語指導助手学校派遣

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手17人を各学校に派遣し、外国語を通じたコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中の学校ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日のほぼ毎日訪問した。

延べ訪問日数 (単位:日)

中学校	1,351
小学校	1,959
小中学校合計	3,310

(5) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導法を習得するため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育研修会

・実施回数 2回

・対象 特別支援教育コーディネーター 43人

特別支援学級担任等希望者 50人

イ 学校生活支援員研修会

- ・実施回数 3回
- ・対 象 全支援員

ウ ゆっくり学習会

- ・実施回数 5回
- ・対 象 幼稚園・保育園教員等 延べ95人  
小学校・中学校教員等 延べ117人

エ 特別支援教育新任担当教員研修

オ 特別支援学級教室訪問支援

カ 臨床心理士や学校教育支援専門員による巡回訪問支援等

(6) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務 (単位：冊)

区 分		冊 数
小 学 校	前期用	50,358
	前期転学用	107
	後期用	20,439
	後期転学用	147
中 学 校	前期用	42,006
	前期転学用	12
	後期用	—
	後期転学用	85
合 計		113,154

(7) 教師用教科書及び指導書購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区 分	冊数 (冊)	費用 (円)
教師用教科書 前後期用	285	96,271
教師用指導書 前後期用	234	2,130,660
合 計	519	2,226,931
中学校教師指導用教材 (ピクチャーカード・フラッシュカード・ 指導用CD)	66	6,912,774

(8) 立志式

14歳を迎える生徒たちは精神的にも肉体的にも、子どもから大人へ移り変わる時期である。この青春期にさしかかろうとする少年少女に対し、皆でその成長を祝い、併せて生徒一人ひとりに自立への自覚を促し、理想に向かって確かな歩みをさせる契機とするものとして「立志式」を開催した。

学 校 名	実施日	該当者数(人)
栃木東中	1月19日(土)	94

栃木西中	2月1日(金)	162
栃木南中	1月24日(木)	91
東陽中	1月31日(木)	207
皆川中	1月30日(水)	39
吹上中	2月3日(日)	86
寺尾中	1月25日(金)	35
大平中	2月7日(木)	104
大平南中	1月31日(木)	161
藤岡第一中	1月29日(火)	99
藤岡第二中	1月23日(水)	23
都賀中	2月3日(日)	129
西方中	2月8日(金)	68
計		1,298

(9) 幼・保・小連絡協議会

ア 代表者会議

イ 全体研修会(講話)

・参加者 幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校教職員 計82人

ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

区 分	参加者(人)	期間(日)
幼稚園・保育園から小学校へ	22	29
小学校から幼稚園・保育園へ	20	27

エ その他 地域ごと

・授業参観と授業研究会及び保育参観と意見交換

・教職員、子ども同士の交流 など

(10) 地域ぐるみ児童生徒指導

ア 13中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校地区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

・実施期間 6月～2月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換やスクールガードリーダー、人権擁護委員並びに保護司との合同研究会を開催

・実施期間 4月～3月

ウ 各部会

部会名	実施回数、実施日
中学校部会	毎月1回
小・中部会	5月25日(金)、7月5日(木)
小・中・高部会	12月3日(月)

(11) 適応指導教室運営に関する事務

学校教育指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

・適応指導教室通級人数 31人（学校復帰人数24人）

（単位：件）

来所相談	1,003
電話相談	786
学校訪問	150
家庭訪問	120
合計	2,059件

保健給食担当

1 学校保健管理

(1) 結核健康診断（学校保健安全法施行規則に基づき4月～6月実施）

ア 小中学校

（単位：人）

区分	検診対象者	検診者数	検討対象者数	精密検査不要者	要精検
小学校	7,715	7,714	19	19	—
中学校	4,098	4,094	8	8	—
合計	11,813	11,808	27	27	—

※中学校には国学院中学も含む。

イ 教職員（全教職員 胸部レントゲン間接撮影）

（単位：人）

区分	教職員数	受診者	未受診者	未受診者理由	結核有所見者
小学校	652	638	14	妊娠中・妊娠疑い 20	—
中学校	369	359	10	傷病休暇（育休・休職含む）4	
計	1,021	997	24	24	—

(2) 小中学校腎臓検診（4月～6月）

一次・二次検査結果及び三次検査対象者

（単位：人）

区分	検査対象者	検査実施者	一次検査	二次検査	三次検査		
			有所見者	要精検者	新規対象者	継続管理者	計
小学校	7,716	7,712	240	77	80	112	192
中学校	3,913	3,889	210	69	71	108	179
合計	11,629	11,601	450	146	151	220	371

※三次検査 要精検率 3.2%

(3) 学校心臓検診（検診5月～6月、4年生のみ9月）

（単位：人）

区分	在籍者数	一次検診		二次検診		二次検診省略者数	精密検査 精検受診者数
		受診者数	一次有所見者	二次受診者数	要精検者数		
小学校一年生	1,205	1,205	82 (6.8%)	36	17 (1.4%)	46	33 (2.7%)
中学校一年生	1,329	1,329	124 (9.3%)	70	23 (1.7%)	54	46 (3.5%)
合計	2,534	2,534	206 (8.1%)	106	40 (1.6%)	100	79 (3.1%)
小学校四年生	1,340	1,340	56 (4.2%)				28 (2.1%)

※ ( ) は有所見率

(4) むし歯ゼロ学校事業「学校巡回指導」

- ・実施期間 6月4日(月)～7月13日(金)までの19日間
- ・実施校 市内小学校27校
- ・参加者 児童1,129人  
保護者多数(自由参加)
- ・実施内容 児童指導 歯科衛生士による講話、染めだし、歯みがき指導  
保護者指導 児童指導の参観、学校歯科医・歯科衛生士による講話

(5) 定期健康診断(生活習慣病検診)

- ・実施時期 8月～10月
- ・対象 学校教職員(県職)

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)
小学校	242 (72)	39 (10)	16.1 (13.9)
中学校	156 (42)	35 (2)	22.4 (4.8)
合計	398 (114)	74 (12)	18.6 (10.5)

※ ( ) 内は胃部X線検査受診者再掲

※血圧、尿検査、血液検査、心電図検査、視力検査及び聴力検査は全員対象

(6) 就学時健康診断

- ・実施時期 9月～10月
- ・対象 平成18年4月2日～平成19年4月1日生の児童
- ・被検査者数 1,148人
- ・検査状況 (単位:人)

項目		人数	合計
栄養状態	栄養不良		—
	肥満傾向		4
脊椎異常のある者			1
胸郭異常のある者			3
視力0.7未満			93
眼	結膜炎		15

疾患	その他	20
耳鼻 咽頭	中耳炎	10
	扁桃腺肥大	6
疾患	その他	56
皮膚 疾患	伝染性	2
	その他	23
歯	むし歯なし	576
	〃 処置者	231
	〃 未処置者	393
その他歯疾病		6
口腔疾病及び異常		8
その他 疾病及 び異常	ぜんそく	97
	アレルギー	85
	心臓疾患	11
	腎臓疾患	4
	川崎病既往	13
	てんかん	4
	その他	50

(7) 出席停止

伝染病及び感染症による欠席児童生徒

(単位：人)

月 学校	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	計
小学校	94	95	85	44	56	47	57	120	708	582	181	2,069
中学校	36	21	18	10	11	15	7	78	314	128	25	663
合計	130	116	103	54	67	62	64	198	1,022	710	206	2,732

※8月は夏休みのため実績なし

(8) 日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

学校名	児童・生徒数(人)	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
栃木中央小	541	44	22	451,502
栃木第三小	429	16	12	59,832
栃木第四小	177	24	14	106,908
栃木第五小	572	40	29	226,204
南 小	325	28	19	128,672
大宮南小	55	3	3	19,036
大宮北小	832	56	35	278,719

皆川城東小	193	13	8	74,022
吹上小	327	43	28	275,176
千塚小	181	7	5	42,888
寺尾中央小	94	10	5	30,484
寺尾南小	26	4	3	34,822
国府南小	53	8	6	27,980
国府北小	301	19	11	63,812
大平東小	318	21	16	109,368
大平南小	354	21	18	91,164
大平西小	366	31	23	158,164
大平中央小	703	50	32	511,962
藤岡小	260	32	21	173,908
部屋小	144	4	3	13,264
赤麻小	185	18	10	70,048
三鴨小	198	11	6	73,204
合戦場小	344	15	11	57,624
家中小	218	18	10	75,104
赤津小	163	12	9	63,148
西方小	301	17	10	80,372
真名子小	56	6	5	23,168
小学校計	7,716	571	374	3,320,555
栃木東中	309	30	16	257,824
栃木西中	496	66	38	390,489
栃木南中	321	73	44	630,167
東陽中	570	111	65	593,396
皆川中	115	10	9	50,268
吹上中	289	54	36	269,184
寺尾中	69	25	14	131,021
大平中	348	131	65	1,367,041
大平南中	481	169	66	1,493,327
藤岡第一中	306	50	34	383,270
藤岡第二中	71	19	13	114,028
都賀中	350	78	50	513,158
西方中	188	36	19	213,329

中学校計	3,913	852	469	6,406,502
合計	11,629	1,423	843	9,727,057

## 2 学校環境衛生管理

区分	検査日	検査項目	備考
飲料水 水質検査	5月8日（火）	理化学・細菌検査10項目	水道水、地下水
	12月10日（月）	理化学・細菌・重金属等 検査51項目	地下水 (地下水使用校)4校
飲料水 放射能検査	7月17日（火）	放射性ヨウ素1項目、 放射性セシウム2項目	地下水 (地下水使用校)5校
プール水水質検査 プール施設調査	6月13日（水）	水質6項目、施設安全管理調査	2点測定
	6月18日（月）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	6月26日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月10日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月17日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
プール水 放射能検査	6月13日（水）	放射性ヨウ素1項目、 放射性セシウム2項目	小学校6校
照度検査	11月~12月	照度測定	
一・二酸化炭素検査	1月~3月	一・二酸化炭素濃度検査	

※ 地下水使用校の飲料水水質検査は毎月1回実施（1校は8月末から水道水使用）

## 3 学校給食実施状況

### (1) 栃木地域

#### ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校のカルシウム摂取量が不足している。今後これらの点を考慮して献立を作成し、目標量の摂取に努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	658	26.1	21.8	350	3.0	315	0.64	0.86	34
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	806	35.2	25.4	386	4.0	374	0.79	0.69	41

※ 小学校14校、中学校7校の平均摂取栄養量

#### イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	栃木中央小学校	栃木中央小	541	21	栄養職員1(1)	4	鉄筋コンクリート造	217
2	栃木第三小学校 給食共同調理場	栃木第三小	429	15	栄養職員1	委託	"	195
		栃木東中	309	12				
3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	177	8	栄養職員1	4(1)	"	331
		栃木南中	321	13				
4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	572	20	栄養職員1	委託	"	349
		栃木西中	496	18				
5	南小学校 給食共同調理場	南小	325	13	栄養職員1	委託	鉄骨造	145
		大宮南小	55	6				
6	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	832	26	栄養職員1	委託	"	175
		国府南小	53	6				
7	吹上小学校 給食共同調理場	吹上小	327	13	栄養教諭1	委託	"	155
		吹上中	289	11				
8	千塚小学校 給食共同調理場	千塚小	181	8	栄養教諭1	5(2)	鉄筋コンクリート造	310
		皆川城東小	193	8				
		皆川中	115	6				
9	寺尾中央小学校 給食共同調理場	寺尾中央小	94	6	栄養職員1	3(1)	"	252
		寺尾南小	26	5				
		寺尾中	69	4				
10	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	301	13	栄養職員1	委託	"	194
		東陽中	570	19				
計	10調理場	21校	6,275	251	10(1)	16(4)		

※( )は臨時職員の内数

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
栃木中央小	585	70	40,366	77	44,472	49	28,634	196	113,472
栃木第三小	465	70	32,276	77	35,151	49	22,593	196	90,020
栃木第四小	201	70	13,988	71	14,865	49	9,875	190	38,728
栃木第五小	614	70	42,476	77	45,224	49	30,285	196	117,985
南小	355	68	23,978	78	26,658	49	16,787	195	67,423
大宮南小	69	68	4,653	71	5,152	49	3,340	188	13,145
大宮北小	884	68	59,730	78	67,474	49	42,696	195	169,900
皆川城東小	209	69	14,330	78	15,702	49	10,081	196	40,113

吹上小	360	69	24,719	77	27,199	49	17,768	195	69,686
千塚小	205	69	13,917	77	15,520	49	10,155	195	39,592
寺尾中央小	113	69	7,796	78	8,566	49	5,667	196	22,029
寺尾南小	39	69	2,673	76	2,934	47	1,837	192	7,444
国府南小	68	68	4,704	78	5,157	49	3,351	195	13,212
国府北小	336	70	23,250	78	25,378	50	16,444	198	65,072
栃木東中	336	68	22,488	75	25,167	49	15,330	192	62,985
栃木西中	531	68	35,767	74	40,366	49	24,728	191	100,861
栃木南中	352	68	23,535	75	26,345	49	12,718	192	62,598
東陽中	603	67	40,162	76	45,131	50	25,283	193	110,576
皆川中	133	68	8,881	76	9,948	49	5,931	193	24,760
吹上中	315	66	20,789	76	23,798	49	14,489	191	59,076
寺尾中	85	66	6,562	76	6,410	49	4,059	191	17,031
合計	6,858	—	467,040	—	516,617	—	322,051	—	1,305,708

(2) 大平地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校でカルシウムが不足している。今後、これらの点に十分考慮し、引き続き目標量の摂取に努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	673	26.4	22.1	356	3.1	264	0.61	0.59	30
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	831	31.6	25.8	393	3.8	303	0.76	0.67	34

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	大平学校給食 センター	大平東小	318	13	栄養職員1 栄養教諭1	委託	鉄骨造	989
		大平南小	354	14				
		大平西小	366	14				
		大平中央小	703	23				
		大平中	347	13				
		大平南中	477	17				
計	1調理場	6校	2,565	94	2			

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
大平東小	342	70	23,763	77	25,586	49	16,643	196	65,992
大平南小	743	70	26,210	76	36,604	49	18,073	195	80,887
大平西小	380	70	27,121	77	29,331	49	18,993	196	75,445
大平中央小	391	69	50,899	78	56,721	48	35,434	195	143,054
大平中	512	68	24,939	76	28,233	49	17,455	193	70,627
大平南中	379	68	34,053	76	38,555	49	23,404	193	96,012
センター	22	70	1,561	78	1,783	50	1,187	198	4,531
合計	2,769	—	188,546	—	216,813	—	131,189	—	536,548

(3) 藤岡地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校のエネルギーとカルシウムが不足している。今後不足しないよう献立を作成する際に十分考慮する。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	624	25.8	21	352	2.9	215	0.56	0.58	33
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	776	31.4	24.9	390	3.7	254	0.66	0.66	39

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供 給 学 校			調理従事者(人)		施 設 構 造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	藤岡学校給食 センター	藤 岡 小	260	9	栄養職員2 (1)	11 (9)	鉄骨造	961
		部 屋 小	144	6				
		赤 麻 小	185	6				
		三 鴨 小	198	7				
		藤岡第一中	303	10				
		藤岡第二中	70	3				
計	1調理場	6校	1,160	41	2(1)	11(9)		

※( )は臨時職員の内数

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
藤岡小	282	69	19,440	78	21,370	49	13,561	196	54,371
部屋小	159	70	11,051	76	11,864	49	7,778	195	30,693
赤麻小	203	70	14,173	77	15,132	49	9,956	196	39,261
三鴨小	217	70	15,054	76	16,305	49	10,529	195	41,888
藤岡第一中	330	68	21,813	77	24,792	48	14,649	193	61,254
藤岡第二中	85	69	5,844	76	6,511	49	3,989	194	16,344
センター	16	70	1,117	78	1,258	50	800	198	3,175
合計	1,292	—	88,492	—	97,232	—	61,262	—	246,986

(4) 都賀地域

ア 学校給食栄養摂取状況

今後とも、児童生徒の健康状態を考慮しながら、献立を作成し、対象児童生徒にとって望ましい栄養量の摂取ができるように努めたい。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	687	26.5	22.6	337	2.5	370	0.73	0.57	33
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	841	31.7	26.2	362	3.1	450	0.95	0.63	40

※小学校3校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	都賀学校給食 センター	合戦場小	344	12	栄養職員2 (1)	委託	鉄骨造	1046
		家中小	217	8				
		赤津小	162	6				
		都賀中	349	11				
計	1調理場	4校	1072	37	2(1)			

※( )は臨時職員の内数

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
合戦場小	371	69	25,518	77	28,302	49	18,341	195	72,161
家中小	218	69	16,313	77	17,875	49	11,591	195	45,779
赤津小	179	70	12,408	76	13,394	49	8,709	195	34,511

都賀中	378	67	24,763	78	28,830	49	17,035	194	70,628
センター	18	70	1,273	79	1,750	50	867	199	3,890
合計	1,164	—	80,275	—	90,151	—	56,543	—	226,969

(5) 西方地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校で、カルシウムが不足している。  
これらの点に十分考慮し、引き続き基準量の摂取に努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	669	25.0	21.0	355	3.3	180	0.65	0.60	36
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	839	31.9	26.0	396	4.1	230	0.82	0.70	44

※小学校2校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	西方小学校給食共同調理場	西方小	301	13	栄養教諭1	委託	鉄骨造	569
		真名子小	56	6				
		西方中	188	7				
計	1調理場	3校	545	26	1			

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
西方小	337	69	23,253	76	25,259	49	16,513	194	65,025
真名子小	71	69	4,899	77	5,387	49	3,479	195	13,765
西方中	206	70	14,420	76	15,651	49	10,094	195	40,165
合計	614	—	42,572	—	46,297	—	30,086	—	118,955

(6) 共同調理場運営協議会の開催

共同調理場運営協議会

- ・開催日 2月22日（金）
- ・場所 国府公民館
- ・参加者 委員ほか 23人

(7) 食育研究会の開催

栃木市食育研究会（献立作成会議）

- ・開催日 4月24日（火）、5月18日（金）、7月5日（木）、8月2日（木）、9月20

日（木）、10月15日（月）、12月11日（火）、2月8日（金）、3月5日（火）  
計9回

- ・場 所 吹上公民館
- ・参加者 栄養教諭・学校栄養職員

(8) 学校給食関係職員研修事業

NO	期 日	事 業 名	場 所	参加者（人）
1	5月14日（月）	給食主任・栄養教諭等研修会	国府公民館	給食主任ほか 50
2	7月23日（月）	学校給食調理員研修会（衛生講話・調理実習）	大平健康福祉センター	調理員ほか 30
3	7月24日（火）	学校給食調理員研修会（視察研修）	群馬県富岡市	調理員ほか 30
4	8月10日（金）	給食主任・栄養教諭等研修会	大平公民館	給食主任ほか 50
5	1月24日（木）	給食主任・栄養教諭等研修会	〃	給食主任ほか 50
6	3月25日（月）	学校給食調理員研修会（衛生講話、調理場見学）	栃木中央小	調理員ほか 16

【別表1】学校課題・研究主題一覧表

学校名	研究主任名	学校課題・研究主題	教科等	備考
栃木中央小	山田 治子	かかわり合いの中で、自ら学ぶ子供の育成 ～かかわり合い 学び合い 自ら考える力を育てる授業の工夫～	国算社理（生・総）特別支援	市指定 環境教育推進学校 市指定 姉妹校化推進学校
栃木第三小	生澤 通孝	「学び合う児童の育成」 ～考えを認め合い、学び合う学習指導法の工夫～	全教科 全領域	市指定 人権教育研究学校
栃木第四小	関口 睦	自分の思いや考えを互いに伝え合える子どもの育成 —豊かな思考力・表現力を育む学習指導の在り方—	生活科 理科	
栃木第五小	服部 雅弘	自ら学び考え、生き生きと表現し合える児童の育成 ～「活用」の学習をとおした、読解力・表現力の育成を目指して～	全教科 全領域	市指定 姉妹校化推進学校
南小	江連 昌子	一人一人を生かし、「伝え合う力」を高める指導法の研究 —豊かな表現力の育成をめざして—	国語科	
大宮南小	石川 幸子	生き生きと伝え合うコミュニケーション能力の育成 ～かかわり合い、学び合う授業を通して～	全教科 全領域	市指定 外国語教育推進学校
大宮北小	星野 全代	国際社会にたくましく生きる栃木っ子の育成を目指して —主体的なコミュニケーション活動を通して—	外国語活動 (英語)	市指定 外国語教育推進学校
皆川城東小	高木 紀之	豊かな人間性と的確なコミュニケーション能力の育成を目的とした、小 中一貫教育の教育課程の編成の在り方について（継続：第8年次） —言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に—	全教科及び総合的な学習の時間 (ことのは、生き方) 外国語活動	市指定 小中一貫教育研究学校
吹上小	谷津 弘美	思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の工夫 ～自分の考えをもち、生き生きと伝え合える子どもの育成を目指して～	国語科	
千塚小	神澤 久美子	言葉の力を高め、思いを伝え合える児童の育成	国語科	市指定

		～聴き合い、学び合う授業を目指して～	全領域（国・算 を中心）	放課後教室研究学校
寺尾中央小	関根 文代	生き生きと表現し、学び合う児童の育成 ～各教科等における言語活動を重視した授業展開の工夫～	各教科 全地域	市指定 姉妹校化推進学校
寺尾南小	稲葉 かおる	自分の思いや考えを生き生きと伝え合えることができる子どもの育成	全教科	市指定 姉妹校化推進学校
国府南小	小倉 友里恵	共にたくましく生きる国府南っ子の育成を目指して ～主体的なコミュニケーション活動を通して～	全教科	市指定 外国語教育推進学校
国府北小	亀田 浩貴	自ら学び、自分の考えを表現できる児童の育成 ～算数科における言語活動の充実を目指して～	算数科	市指定 外国語教育推進学校 市指定 セカンドステップ研究校
大平東小	竹之内 敬子	ともに学び、考えを深め、互いに高め合おうとする子どもの育成 ～伝え合う場の設定の工夫を通して～	国語科 算数科	市指定 学力向上研究学校
大平南小	田上 茂喜	「学び考える意欲を高めるための算数的な思考力や表現力の育成」 ～基礎・基本の定着をふまえた算数的活動の工夫～（2年次）	算数科	市指定 姉妹校化推進学校 市指定 放課後補習教室研究学校
大平西小	小林 澄江	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～言語能力の習得とその活用を図って～	全教科領域 （国語科中心）	市指定 学力向上研究学校
大平中央小	井上 敦	自ら考え、友達とかかわりながら共に学び合う授業創り ～国語科・算数科を中心に言語活動を通して～	算数科	
部屋小	杉森 貴子	思考力・表現力を高める指導と評価の工夫	国・算・社・理	市指定 姉妹校化推進学校

藤岡小	勝井 英之	考える力を高める指導の工夫 ～算数科における豊かな言語活動を通して～	算数科	
赤麻小	青木 恭子	自分の思いや考えを、自分の言葉で表現する児童の育成 ～言語活動の充実をとおして～	国語科	市指定 放課後教室研究学校
三鴨小	青山 桂子	言葉の力を高め、思いを伝え合う児童の育成 ～国語科の授業実践を通して～	算数科	市指定 放課後教室研究学校
合戦場小	琴寄 とも子	自分の思いや考えを表現できる子どもの育成 ～深め合い、高め合う学習集団を目指して～	全教科 全領域	
家中小	柳 裕司	自ら学び生き生きと活動できる児童の育成 ～言語活動の充実をめざして～	国語科	
赤津小	斎藤 有子	「伝え合う力を高める授業づくり」 ～児童の言語活動の充実を通して～	国・社・算・理 ・生	市指定 放課後教室研究学校
西方小	飯塚 圭子	「正しく読み取ることができる子ども」の育成 ～国語科における説明的な文章を読み取る学び方の指導について～	国語科	
真名子小	橋本 圭子	人とつながり、たくましく生きる真名子っ子の育成を目指して ～外国語活動における主体的なコミュニケーション活動を通して～	外国語活動	
栃木東中	湯本 康弘	「学び合う力を高める言語活動の工夫」	全教科	市指定 人権教育研究学校
栃木西中	古橋 奈美	言語活動を充実させ、コミュニケーション力を高める学習指導のあり方	全教科	市指定 姉妹校化推進学校
栃木南中	江田 訓子	学ぶ意欲を高める指導法の工夫 —学ぶ楽しさ・充実感を実感できる授業を目指して—	全教科 全領域	
東陽中	大島 正悟	主体性と協調性をもって、自分の未来を拓く生徒の育成 ～個が伸びる共同学習の在り方を求めて～	全教科 全領域	市指定 外国語教育推進学校
皆川中	新糴 勇一	豊かな人間性と的確なコミュニケーション能力の育成を目的とした、小	全教科及び総合	市指定

		中一貫教育の教育課程の編成の在り方について（継続：第8年次） 一言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に一	的な学習の時間 (生き方系列・ことのは系列)	
吹上中	齊藤 雄輔	言語活動の充実に向けた指導方法について ～自己の考えを積極的に伝え合える生徒を目指して～	各教科	
寺尾中	鈴木 久雄	確かな学力の育成を目指した指導法の工夫・改善 ～言語活動の充実を通じた学び合う関係づくりを中心に～	全教科 全領域	市指定 姉妹校化推進学校
大平中	山田 恒夫	「基礎的・基本的な内容の定着を図るための指導法の工夫」 ～学習の約束の徹底と意欲的に取り組ませるための工夫～	全教科	市指定 学力向上研究学校
大平南中	茂呂 公夫	「表現力を高める指導と評価の工夫」 ～聴く力を高め、自分の考えを表現できる生徒の育成をめざして～	全教科 全領域	市指定 姉妹校化推進学校
藤岡第一中	櫻井 誉	「確かな学力を育む指導法の工夫」 ～言語活動や学び合い活動の充実を目指して～	全教科	
藤岡第二中	田中 範和	確かな学力の向上を図るための指導法の工夫 ～思考力・判断力・表現力の育成を目指して～	全教科 (美・技・家除く)	市指定 姉妹校化推進学校
都賀中	有澤 弘登	共に高め合い、主体的に学習に取り組む生徒の育成 —基礎基本の習得により、確かな学力を身に付けさせる指導及び評価の工夫—	全教科 全領域	
西方中	井寺 聡	確かな学力を付ける学習指導の工夫・改善 —学びあい・高めあい・認めあい・励ましあう授業の実践—	全教科	

※表記については、各学校から報告された文言で示してある。

### 第3節 生涯学習課

#### 〔総括概要〕

少子高齢化、グローバル化や情報化、環境問題、エネルギー問題などの急激な社会変化の中で、人々がこころ豊かで充実した人生を生きるためには、生涯の各時期に様々な学習内容や方法等を、自らの意思で選択して学習することが必要とされている。

また、年々市民活動が活発になっており、市民と行政のお互いの距離をより縮めた協働による「まちづくり」をさらに推進していくことが求められている。

本年度は、「栃木市民大学」「発見の森セミナー」「市職員出前講座」「市民講師主催の自主講座」を実施し、市民の学習機会の提供に努めた。

また、市が開催している講座情報を分野別、開催日別にホームページに掲載し、より多くの人に講座情報の周知を図った。

また一方では、各種社会教育関係団体の育成・支援、国際理解教育・青少年教育の充実、コミュニティ活動の推進等に努めた。

栃木市教育計画において「ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくり」としてあらゆる施策の基盤に据えているとちぎ未来アシストネット事業は、市全域での事業を開始し、学校とボランティアを結ぶ地域コーディネーターの育成に努めるとともに、中学校区を単位とした地域の情報交換の場となる地域教育協議会の設立、並びに市全体の事業を協議する推進委員会を発足させ事業を推進した。

家庭教育学級開設事業においては、親の子育ての力量や家庭教育力の向上を目指し、就学前及び主として小学校における家庭教育学級を実施した。

人権同和教育事業としては、集会所を拠点に各種学習や交流事業を通して、様々な人権問題に対する理解と認識を深めるとともに、人権が尊重される社会づくりを推進する人材育成に努めた。

公民館は、地域における生涯学習の拠点施設として、住民のニーズを捉え地域の実情に応じた各種講座等を開設することによる学習の場の提供や教育、文化、スポーツ等の活動を行い、生涯学習の振興に努めた。

大宮、皆川、吹上、寺尾及び国府の5つの公民館においては、支所・出張所としての事務を行い、行政サービスの向上に努めた。

また、図書館担当が新設され、市内5つの図書館の企画調整、管理運営を一本化したことで、効果的かつ効率的な図書館運営の実現を図るとともに、本市の図書館のあるべき姿や図書館が目指す将来像の実現に向け、『市民と歩む・暮らしに身近な図書館』を基本理念とした「栃木市図書館計画」を策定した。

## 生涯学習担当

### 1 生涯学習推進事業

#### (1) 生涯学習市民講師

専門的または多様な人生経験から得た知識や技能等を持ち、自ら市民のために、学習ボランティアとして生涯学習の推進に貢献しようとしている人を『生涯学習市民講師』として登録した。また、市民の要望に応じていただくほか、自主的に講座を開講していただき、市民に対する学習の機会を提供した。

・登録分野46分野（登録者数40人）

活動分野	登録数(分野)	活動分野	登録数(分野)
語学	1	工芸	5
絵画	6	諸芸	10
音楽	8	室内レクリエーション	1
体操	2	料理	1
パソコン	5	その他	6
育成・サポート	1	合計	46

・自主講座開催数 47講座開講

（7月募集21講座、12月募集26講座）

開講講座（分野）	開講数	開講講座（分野）	開講数
語学	-	工芸	6
絵画	1	諸芸	11
音楽	10	室内レクリエーション	-
体操	3	料理	3
パソコン	11	その他	1
育成・サポート	1	合計	47

#### (2) 生涯学習情報提供

栃木市における生涯学習情報の周知のため、次のとおりホームページへの掲載及び広報とちぎへの折込みをした。

項目	掲載日	内容	備考
栃木市講座情報	4月1日 随時更新	栃木市及び栃木市教育委員会が主催する講座	ホームページ
市職員出前講座のご案内	5月号	市職員出前講座の紹介、申込方法、メニュー一覧	広報とちぎ折込み

#### (3) 市職員出前講座

市民に市の仕事や仕組み・制度などを理解していただく機会を提供するため、また市民と職員のパートナーシップを築くことを目的として、市の職員を講師として派遣する市職員出前講座を各課において開設した。

- ・メニュー数 51講座 ・開催件数 110件 (29講座)
- ・受講者数 4,096人 ・講師となった職員数 延べ114人

(4) 学校開放

【特別教室】

栃木南中学校・栃木中央小学校の特別教室を地域に開放してグループ活動を支援した。

利用団体数(団体)	利用回数(回)	利用人数(人)		
		児童生徒	一般	合計
10	323	999	5,372	6,371

【地域交流室】

栃木中央小学校の地域交流室を開放して地域の子供と住民との交流活動の促進を図った。(9月1日より実施)

- ・利用団体数 1団体 ・利用件数 2件

(5) 発見の森セミナー

市民のニーズや時代に合ったテーマを複数回開催することでより深く学べる発見の森セミナーを実施した。

分野	セミナー数	回数(回)	平均定員充足率(%)	平均出席率(%)	受講者数(人)
教養	3	12	84.3	86.0	59
くらし・生活	3	12	89.2	89.7	58
文化・芸術	1	4	104.0	90.0	26
合計	7	28	89.4	88.3	143

(6) 栃木市民大学

市民の多様化・高度化する学習ニーズに応え、出会い・交流・仲間づくりの場を提供し、市民の生涯学習を支援するとともに、各個人が学習した成果を活用するための環境作りを行うことにより、充実した生涯学習社会の実現を目指すことを目的として、「郷土を学ぶ」「まちづくりを学ぶ」「現代社会を学ぶ」「健康・医療を学ぶ」の4つの分野からテーマを選定し年間プログラムを組んで実施した。

- ・受講者数129名 ・平均出席率67.8% (敬称略)

開講日	内 容	講 師
10月19日(金)	世界の中の日本	白鷗大学教授 河合 正男
11月6日(火)	勝道上人と栃木市	栃木県考古学会会長 橋本 澄朗
11月26日(月)	地域に生かそうあなたの力を ～これからの社会とボランティア～	国際医療福祉大学講師 大石 剛史
12月20日(木)	県庁があった時代の栃木町 ～自由民権運動と榊原経武を追って～	郷土歴史家 大原 悦子

1月22日(火)	栃木市の戦国武将の手紙を読む	國學院栃木短期大學教授 鍛代 敏雄
2月4日(月)	終章を生きる地域医療の現状	医療法人アスミス 理事長 太田 秀樹
2月13日(水)	これまでの社会、これからの社会	白鷗大学教授 結城 史隆

## 社会教育担当

### 1 社会教育委員関係

#### (1) 委員の任命

栃木市社会教育委員の定数及び任期に関する条例に基づき、下記の者に社会教育委員を委嘱した。(期間 平成26年3月31日まで)

氏名	選出区分	委嘱年月日
高山 玲子	学校教育	平成24年4月1日
鈴木 正俊	〃	〃
中村 絹江	社会教育・家庭教育	〃
小島 幸子	〃	〃
増田 美奈子	〃	〃
清水 泰子	〃	〃
海老沼 光雄	〃	〃
田村 孝子	〃	〃
大橋 智	〃	〃
荒川 里子	〃	〃
佐山 正樹	学識経験者	〃
重原 純一	〃	〃
関口 喜市	〃	〃
赤井 栄子	〃	〃
早乙女 良一	〃	〃

#### (2) 会議

栃木市教育計画、栃木市生涯学習基本計画及び栃木市における社会教育の現状を議題として、社会教育委員会議を行った。

開催日	会議名等	場所
5月23日(水)	社会教育委員会議	栃木公民館
7月26日(木)	社会教育委員会議	栃木公民館
1月29日(火)	社会教育委員会議	栃木公民館

3月12日(火)	社会教育委員会議	藤岡公民館
----------	----------	-------

## 2 とちぎ未来アシストネット

### (1) 研修会

市内小中学校及び地域コーディネーターを対象に研修会を開催し、事業への理解促進やコーディネーターとしての基礎能力の向上に努めた。

実施日	会場	研修内容等	出席者数(人)
5月1日(火)	藤岡公民館	講話：学校コーディネーターの役割	40
8月21日(火)	栃木文化会館	教育講演会並びにPTA大学	284
9月7日(金)	都賀公民館	講話：コーディネートの技法	40
11月16日(金)	西方中学校	授業参観：学校支援ボランティアを活用した授業	86
12月7日(金)	大平公民館	実践事例発表・協議	45

### (2) 地域教育協議会及び推進委員会

市内を9つのエリア（栃木中央、東陽、皆川、吹上、寺尾、大平、藤岡、都賀、西方）に分け、ボランティアやコーディネーターの交流・連絡調整の場として、各地域の公民館が事務局となり事業運営を行う地域教育協議会と市内全体のアシストネットの方針を協議する推進委員会を年2回開催した。

## 3 成人教育関係

### 成人式（栃木会場）

実施日	会場	会議名等	出席者数(人)
8月25日(土)	栃木文化会館	第1回 新成人代表者会議	29
9月8日(土)	大平公民館	成人式実行委員会全体会議	8
10月20日(土)	栃木文化会館	第2回 新成人代表者会議	33
1月11日(金)	栃木文化会館	成人式リハーサル	28
1月13日(日)	栃木文化会館	平成25年栃木市成人式	747

## 4 家庭教育

### (1) 家庭教育学級

県教育委員会主催の家庭教育オピニオンリーダー研修修了者が講師となり次のとおり家庭教育学級を実施し、一定の成果を収めることができた。

ア 幼稚園における親学習プログラムを活用した親学習会

(対象地域：栃木地域・対象：幼稚園保護者)

実施日	テーマ	講師	場所	参加人数(人)
7月18日(水)	小学校入学までに身に付けておきたい人間の基本	栃木地域オピニオンリーダー会	栃木二杉幼稚園	37
9月10日(月)	子どもの心を育てる	栃木地域オピニオンリーダー会	おおみや幼稚園	24
9月13日(木)	子どもの心を育てる	栃木地域オピニオンリーダー会	吹上幼稚園	23

9月14日(金)	小学校入学までに身に付けておきたい人間の基本	栃木地域オピニオンリーダー会	アルス幼稚園	40
10月31日(水)	しつけってどうするの？	栃木地域オピニオンリーダー会	平川幼稚園	23
11月1日(木)	小学校入学までに身に付けておきたい人間の基本	栃木地域オピニオンリーダー会	栃木幼稚園・若葉幼稚園	98
11月28日(水)	子どもの心を育てる	栃木地域オピニオンリーダー会	栃木みどり幼稚園	14
2月19日(火)	しつけってどうするの？	栃木地域オピニオンリーダー会	アルス南幼稚園	20

イ 就学時健康診断時における親学習プログラムを活用した親学習会

(対象地域：藤岡地域、都賀地域、西方地域・対象者：就学時健康診断対象児童の保護者)

実施日	テーマ	講師	場所	参加人数(人)
9月26日(水)	子どもの生活リズムを考えていますか？	栃木地域オピニオンリーダー会	合戦場小学校	60
10月2日(火)	子どもの生活リズムを考えていますか？	栃木地域オピニオンリーダー会	家中小学校	23
10月3日(水)	進んであいさつをしていますか？	会栃木地域オピニオンリーダー	部屋小学校	15
10月9日(火)	子どもの生活リズムを考えていますか？	栃木地域オピニオンリーダー会	赤津小学校	22
10月12日(金)	進んであいさつをしていますか？	栃木地域オピニオンリーダー会	赤麻小学校	26
10月17日(水)	進んであいさつをしていますか？	栃木地域オピニオンリーダー会	三鴨小学校	21
10月24日(水)	進んであいさつをしていますか？	栃木地域オピニオンリーダー会	藤岡小学校	42

ウ 栃木地域・藤岡地域・都賀地域・西方地域小学校における親学習プログラムを活用した親学習会（各校で1回開催）

実施日	テーマ	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
6月6日(水)	「何で勉強するの？」と聞かれて	大塚 幸一	栃木中央小学校	34
6月27日(水)	息抜きしましょう～平清盛他で	大塚 幸一	南小学校	34
6月27日(水)	保護者のための井戸端会議	秋山 貴子	三鴨小学校	34
10月10日(水)	保護者のための井戸端会議	秋山 貴子	家中小学校	47
10月15日(月)	大人になること～反抗期・不登校・非行	佐藤 直昭	赤津小学校	32
10月17日(水)	子どものほめ方・叱り方	秋山 貴子	合戦場小学校	30
10月18日(木)	家庭でのコミュニケーションの在り方	佐藤 秋子	寺尾南小学校	13
10月25日(木)	「何で勉強するの？」と聞かれて	大塚 幸一	栃木第三小学校	30
11月10日(土)	思春期の子どもとの接し方	堀江 真哉	千塚小学校	21
11月15日(木)	家庭でのコミュニケーションの在り方	佐藤 秋子	栃木第四小学校	42
11月16日(金)	大人になること～反抗期・不登校・非行	佐藤 直昭	国府北小学校	29

11月16日(金)	「何で勉強するの？」と聞かれて	大塚 幸一	大宮南小学校	17
11月17日(土)	子どもが人間として伸びる家庭とは	小菅 孝一	栃木第五小学校	40
11月28日(水)	子どもとのコミュニケーション	堀江 真哉	赤麻小学校	25
11月29日(木)	息抜きしましょう～平清盛他で	大塚 幸一	大宮北小学校	135
11月30日(金)	息抜きしましょう～平清盛他で	大塚 幸一	大宮南小学校	43
12月5日(水)	ペアレントトレーニングを活かした子育て	松澤 健司	寺尾中央小学校	21
2月7日(木)	子どもの心の理解	高橋 靖英	皆川城東小学校	62
2月12日(火)	子どものほめ方・叱り方	秋山 貴子	吹上小学校	41
2月13日(水)	「何で勉強するの？」と聞かれて	大塚 幸一	部屋小学校	25
2月19日(火)	家庭でのコミュニケーションの在り方	佐藤 秋子	真名子小学校	30
2月20日(水)	思春期の子どもとの向き合い方～理解と対応	平野 憲一	西方小学校	47
2月20日(水)	思春期の子どもとの接し方	堀江 真哉	藤岡小学校	57

エ 大平地域における親学習プログラムを活用した親学習会

(対象者：小学校・中学校全保護者)

(ア) 大平東小学校

実施日	内 容	参加人数(人)
6月13日(水)	親子ふれあい集会・給食試食会	52
6月28日(木)	親子交通安全教室	55
2月6日(水)	家庭教育講演会「子どもにとって今何が必要なのか」	22

(イ) 大平南小学校

実施日	内 容	参加人数(人)
5月14日(月)	会級式 子育て講話 ふれあいレク	21
6月7日(木)	現地学習	41
6月23日(土)	食育講話・給食試食会	51
7月～8月	サマーチャレンジ 親子ものづくり 親子映画会	9
9月27日(木)	講座「保護者のための井戸端会議」	20
10月19日(金)	読み聞かせ研修・読み聞かせ実習	15
11月22日(木)	親子軽スポーツ塾・子育てわいわいじゃべり場	23
12月13日(木)	親子コンサート 音楽療法士 近藤美智子先生	55

(ウ) 大平西小学校

実施日	内 容	参加人数(人)
6月29日(金)	食育講話・給食試食会	53
7月23日(月)	食育「太巻きづくりに挑戦しよう」	62
12月13日(木)	子育て講座「心がホットする親子のかかわり」	22

(エ) 大平中央小学校

実施日	内 容	参加人数(人)
5月30日(水)	親学習プログラム「保護者の子育て井戸端会議」	25
10月31日(水)	親子軽スポーツ	107
11月29日(木)	食育講座・給食試食会	110

(オ) 大平中学校

実施日	内 容	参加人数(人)
6月21日(木)	現地学習	39
7月19日(木)	講座「子どものケータイ利用を考える」	17

(カ) 大平南中学校

実施日	内 容	参加人数(人)
6月28日(木)	現地学習	38
2月 7日(木)	講座「子どものケータイ利用を考える」	25

### (3) 家庭教育講演会

主に幼稚園及び小学校の保護者を対象とした家庭教育講演会を男女共生大学と共催で下記のとおり開催した。

演 題	実施日	対象者	参加人数(人)	講師(敬称略)
親と子どもが共に楽しくコミュニケーションするために	7月14日(土)	幼稚園児・小学生保護者、一般市民	140	小林里江

## 5 国際理解教育

栃木ユネスコ協会の実施する事業に対し協力するとともに、会の運営について指導助言を行った。なお、子ども学校を下記のとおり開催した。

実施日	演 題	講師(敬称略)	対象者	参加人数(人)
7月23日 (月)	仲間づくり	寺尾中央小教諭 宍戸美都子	小学3年生から 小学6年生	33
	国際交流 「フィリピンについてのお話とゲーム」	A L T セーラ・スコット		
7月24日 (火)	バス研修	ユネスコ協会会員		
7月25日 (水)	おいしいものをつくろう(料理)	ユネスコ協会会員		
	栃木の焼き物「平井焼」	田部井 茂		

## 6 青少年教育関係

### (1) サイエンススクール

子どもたちが身近な科学に接することで、その原理を理解しようと自ら考える力を養い、科学技術に対する関心を喚起することを目的として、サイエンススクールを実施した。学校の授業ではなかなか扱うことのできない、日常生活における不思議を科

学し、観察や体験活動を通して、子どもたちの科学する心を育むため、小学4年生から6年生を対象（一部親子・一般市民対象）として、下記の7回の事業を実施した。

実施日	事業名	会場	参加人数(人)
7月29日(日)～30日(月) (1泊2日)	自然科学のサイエンススクール 7月編	那須平成の森・なす高原自然の家等	26
8月4日(土)～5日(日)	宇宙科学のスペシャルサイエンススクール	栃木文化会館	750
8月19日(日)	自然科学のサイエンススクール 8月編	茨城県平磯海岸・アクアワールド大洗等	23
9月15日(土)	サイエンススクール in 栃農	栃木県立栃木農業高等学校	13
10月27日(土)	サイエンススクール in 栃工	栃木県立栃木工業高等学校	20
11月17日(土)	親子でサイエンススクール in 日本工業大学	日本工業大学	25
12月1日(土)～2日(日) (1泊2日)	サイエンススクール in 太平少年自然の家	栃木県立太平少年自然の家	16

## 7 社会教育関係団体育成

### (1) コミュニティ活動の推進

栃木第三地区、栃木第四地区、栃木第五地区及び栃木第六地区の各コミュニティ推進協議会育成のため補助金を交付し、事業実施について援助、協力した。

(単位：円)

団体名	補助金額
栃木第三地区コミュニティ推進協議会	200,000
栃木第四地区コミュニティ推進協議会	200,000
栃木第五地区コミュニティ推進協議会	200,000
栃木第六地区コミュニティ推進協議会	200,000

### (2) P T A・子ども会育成会・女性会の育成

各団体の事業計画から実施について助言や援助を行い、各団体の自主的活動に協力するとともに補助金を交付した。

(単位：円)

団体名	補助金額
栃木市P T A連合会	425,000
手をつなぐ親の会	30,000
栃木ユネスコ協会	20,000
家庭教育オピニオンリーダー会	40,000
「小さな親切」運動栃木支部	50,000
栃木市地域女性会連絡協議会	400,000
栃木地区女性女性会	20,000

大宮地区女性会	20,000
皆川地区女性会	20,000
吹上地区女性会	20,000
寺尾地区女性会	20,000
栃木市子ども会育成会連絡協議会	250,000

## 8 人権教育

### (1) 研修

#### ア 高齢者教室

(敬称略)

地区名	実施日	参加人数(人)	講師名
大宮地区	12月11日(火)	29	木村 信孝
皆川地区	2月6日(水)	9	木村 信孝
吹上地区	8月10日(金)	71	滝口 佳宏
寺尾地区	10月5日(金)	83	田口 陽一
国府地区	10月10日(水)	31	国府公民館職員
計		223	

#### イ 女性学級

(敬称略)

地区名	実施日	参加人数(人)	講師名
栃木地区	7月5日(木)	57	木村 信孝
皆川地区	6月27日(水)	14	木村 信孝
吹上地区	8月10日(金)	71	滝口 佳宏
寺尾地区	7月26日(木)	34	藤沼 恭一
計		176	

#### ウ その他(講演会等)

(敬称略)

事業名	実施日	対象者	参加人数(人)	講師
栃木市人権講演会	11月21日(水)	集会所利用者等	260	戸田 眞

### (2) 集会所指導事業

#### ア 皆川城内集会所指導事業

(敬称略)

領域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子ども教室	24	48	489	大塚 幸一 ほか
成人教室	92	202	721	小島 久重 ほか
その他(学習発表会)	1	12	34	小島 久重 ほか
計	117	262	1,244	

#### イ 新栃木コミュニティ会館指導事業

(敬称略)

領域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子ども教室	24	48	676	新田 陽子 ほか

成人教室	96	192	922	森戸 松枝 ほか
高齢者教室	35	70	577	松山 利正 ほか
その他(学習発表会)	1	12	70	阿久津幸市 ほか
計	156	322	2,245	

ウ 栃木第四地区コミュニティセンター指導事業 (敬称略)

領域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子ども教室	24	48	802	杉山 真理 ほか
成人教室	166	332	1,951	大関 雅香 ほか
ふれあい人権行事	1	3	40	松山 利正 ほか
その他(学習発表会)	1	12	157	増渕 富夫 ほか
計	192	395	2,950	

エ 大平榎本集会所指導事業 (敬称略)

領域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
女性教室	10	20	72	生涯学習課職員ほか
料理教室	10	20	56	武井 康子
高齢者教室	20	40	142	社会教育指導員ほか
ダンス教室	20	40	223	藤倉 和子
カラオケ教室	20	40	169	金沢 ゆき江
計	80	160	662	

オ 大平伯仲集会所指導事業 (敬称略)

領域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
女性教室	9	18	77	生涯学習課職員ほか
料理教室	9	18	47	大垣 延子
ダンス教室	20	40	254	吉野 静
カラオケ教室	20	40	157	田中 玲子
子ども仲良し教室	1	2	7	大平レクリエーション協会ほか
計	59	118	542	

カ 大平真弓集会所指導事業 (敬称略)

領域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
女性教室	10	20	154	生涯学習課職員ほか
料理教室	10	20	51	大垣 延子
高齢者教室	19	38	204	社会教育指導員ほか
ダンス教室	20	40	183	熊倉 晴彦
カラオケ教室	20	40	296	金沢 ゆき江

子ども仲良し教室	1	2	9	大平レクリエーション協会ほか
計	80	160	897	

キ 大平西水代集会所指導事業 (敬称略)

領 域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講 師
女性教室	10	20	93	生涯学習課職員ほか
料理教室	10	20	89	大垣 延子
高齢者教室	20	40	389	社会教育指導員ほか
ダンス教室	20	40	382	吉野 静
カラオケ教室	21	42	306	佐山 孝
民謡教室	20	40	91	伊藤 昭男ほか
民舞教室	20	40	94	植木 ちよ子
計	121	242	1,444	

ク 大平富田集会所指導事業 (敬称略)

領 域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講 師
女性教室	10	20	84	生涯学習課職員ほか
料理教室	10	20	95	武井 康子
高齢者教室	20	40	369	社会教育指導員ほか
ダンス教室	20	40	203	稲部 照代
カラオケ教室	20	40	208	川田 善文
民謡教室	20	40	136	金沢 ゆき江ほか
民舞教室	20	40	116	田中 シマ
子ども仲良し教室	1	2	10	大平レクリエーション協会ほか
計	121	242	1,221	

ケ 藤岡都賀集会所指導事業 (敬称略)

領 域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講 師
子どもの広場	4	7	123	社会教育指導員ほか
ふれあいのつどい(成人)	4	8	73	とちぎ花センター職員ほか
高齢者のつどい	5	10	41	大平マジッククラブ友遊会員ほか
計	13	25	237	

コ 藤岡富吉集会所指導事業 (敬称略)

領 域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講 師
子どもの広場	5	10	97	社会教育指導員ほか
ふれあいのつどい(成人)	5	12	76	とちぎ花センター職員ほか
高齢者のつどい	5	10	64	大平マジッククラブ友遊会員ほか
計	15	32	237	

サ 集会所運営委員会

(敬称略)

会 議 名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	会 場
栃木市栃木集会所運営委員会	2	4	32	皆川城内集会所
栃木市大平集会所運営委員会	2	3	34	大平公民館 大平隣保館
栃木市藤岡集会所運営委員会	2	4	23	藤岡都賀集会所 藤岡富吉集会所
栃木市栃木・大平・藤岡集会所運営委員会合同会議	1	2	4	大平隣保館

公民館担当

1 栃木市公民館運営審議会

市内公民館における事業等について審議した。

実 施 日	議 題	会 場	参加人数(人)
7月24日(火)	平成23年度公民館利用状況について 平成23年度公民館事業の成果及び平成24年度公民館事業計画について	栃木公民館	17
11月6日(火)	栃木市公民館条例の一部改正(使用料の見直し)について	栃木公民館	17

2 公民館業務

(1) 公民館別使用状況

施 設 名	使用件数(件)	使用人数(人)	使 用 料(円)
栃 木 公 民 館	1,607	32,368	895,110
大 宮 公 民 館	1,379	23,083	870,450
皆 川 公 民 館	499	14,025	293,390
吹 上 公 民 館	918	17,432	635,000
寺 尾 公 民 館	285	7,533	58,800
国 府 公 民 館	820	17,595	482,350
計	5,508	112,036	3,235,100

(2) 栃木公民館

ア カルチャースクール事業

(敬称略)

実施期間	場 所	参加人数(人)	内 容	講 師 等	備考
春 期	5月12日(土)～ 6月30日(土)	延べ229	健康ストレッチ 教室	健康運動指導士 原 美穂子	8回
	5月15日(火)～ 7月10日(火)	延べ227	さわやかコーラ ス教室	コーラス講師 日影 浩美	8回

秋 期	10月1日(月)～ 11月26日(月)	講堂	延べ380	リズム体操教室	リズム体操講師 山下 節子	8回
	10月2日(火)～ 11月20(火)	児童室	延べ154	たのしい俳句教室	俳句講師 石倉夏生 俳句講師 牛丸幸彦	8回

イ 成人教育関係（高齢者学級・蔵の街シルバー楽習塾事業）

（敬称略）

回	実施日	場 所	参加人数(人)	内 容	講 師 等	備考
1	6月29日(木)	栃木文化会館	267	講話「遺言の作り方 と成年後見制度」	佐藤勝法律事務所 佐藤 勝	
2	7月19日(木)	栃木文化会館	280	音楽会「ギターに伴 奏にのせて懐かし のメロディを」	阿部輝夫 齊藤翠山	
3	9月27日(木)	栃木文化会館	231	講話「文明開化の写 真師」	小平 豊	
4	10月10日(水)	烏山・益子 方面	136	現地学習	公民館職員 社会教育指導員	
5	11月15日(木)	栃木文化会館	215	映画鑑賞「ホーム・ スイートホーム」	公民館職員	

ウ 女性教育関係

（敬称略）

回	実施日	場 所	参加人数(人)	内 容	講 師 等	備考
1	6月6日(水)	講堂	62	健康講話&リズム 体操	リズム体操講師 山下 節子	
2	7月5日(木)	大会議室	57	講話&ワークショ ップ	生涯学習課 社会教育主事	
3	9月19日(水)	市内	44	市内散策 大平町方面散策	公民館職員 社会教育指導員	
4	10月23日(火)	茨城県 笠間方面	47	現地学習	公民館職員 社会教育指導員	
5	11月8日(木)	大会議室	41	講話「地域の歩みを たどろう」	栃木市女性史研究会 「あいの会」代表 梅村 貞子	
6	12月6日(木)	大会議室	50	講話「身近な医療」	獨協医科大学名誉教授 日野原 正	

エ 青少年教育関係

（敬称略）

回	実施日	場 所	参加人数(人)	内 容	講 師 等	備考
1	7月 7日(土)	講堂	40	友だちづくり	家庭教育オピニオン リーダー会カルパ	
2	7月14日(土)	児童室	38	おもしろ科学実験	学校教育課職員	
3	7月21日(土)	講堂	36	ビデオ鑑賞&ワーク ショップ	公民館職員 社会教育指導員	
4	7月25日(水)	つくば宇 宙センタ ー	41	現地学習	公民館職員 社会教育指導員	
5	8月 4日(土)	講堂	38	バルーンアート	バルーンパフォーマー 板子 誠	

## (3) 大宮公民館

## ア 成人教育関係

(敬称略)

実施期間	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月11日(月)～ 12月21日(金)	大宮地区シルバー教室	大宮公民館ほか	延べ 295	講師 益子 敏 ほか (5回)
6月12日(火)～ 2月28日(木)	教養講座 「スキルアップ講座」	大宮公民館ほか	延べ 39	講師 大宮地区女性会 ほか (4回)
6月29日(金)～ 11月19日(月)	教養講座「男塾」	大宮公民館ほか	延べ 73	講師 原美穂子ほか (5回)
12月28日(金)	教養講座「お正月の生け花」	大宮公民館	16	講師 大島つや子
1月24日(木)	教養講座「地域を知ろう」	大宮公民館	40	講師 山口隆司

## イ 女性教育関係

(敬称略)

実施期間	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月21日(木)～ 1月17日(木)	さわやかレディース学級	大宮公民館 ほか	延べ319	講師 後藤佳純 ほか (10回)
12月12(水) ～13日(木)	女性会研修	山梨県	22	キューピー(おか ゆ)製造工場

## ウ 青少年教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月30日(土)～ 12月26日(水)	のびのび体験ひろば	大宮地区内	延べ161	講師 福田 陽南 ほか (4回)
11月 4日(日)	大宮地区子どもマラソン大会	大宮地区内	161	
1月20日(日)	大宮地区なわとび大会	大宮北小体育館	107	
2月17日(日)	大宮地区スキー教室	日光湯元スキー場	51	
2月24日(日)	大宮地区ボーリング大会	ラウンドワン	47	

## エ 社会体育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月10日(日)	大宮地区ソフトボール大会	大宮運動広場	6チーム	
9月 2日(日)	大宮地区体育祭	大宮運動広場	11チーム	
3月17日(日)	大宮地区輪投げ大会	大宮公民館	3チーム	

## オ 諸会議開催状況

名称	回数	名称	回数
大宮地区自治会連合会	6	交通安全協会大宮支部高齢者部会	4
大宮地区公民館連絡協議会	3	大宮地区女性会	13
保健委員連合会大宮支部	11	大宮地区体育部	8
交通安全協会大宮支部	7	大宮運動広場運営委員会	7
交通安全協会大宮支部女性部会	13	大宮地区子ども会育成会	3
		合 計	75

カ その他

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月24日(金)	まちづくり懇談会 ふれあいトーク	国府公民館	36	国府地区と共催
11月4日(日)	大宮地区まつり	大宮公民館	約1,800	

・公民館だよりを発行し、大宮地区内を対象に班内回覧した。

(4) 皆川公民館

ア 成人教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月8日(水) ～2月6日(水)	高齢者学級(7回)	皆川公民館ほか	延べ130	講師 須藤 恵子 ほか
8月15日(水)	ふれあいふるさとまつり	皆川城東小学校	約600	
11月4日(日)	第32回文化祭	皆川公民館	約800	
1月31日(木) 2月12日(火) 2月28日(木)	教養講座 「パステル和(NAGOMI)アート」	皆川公民館	延べ21	講師 臼井 千恵美

イ 女性教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月27日(水) ～12月5日(水)	リフレッシュ学級(8回)	皆川公民館ほか	延べ124	講師 伊藤 玲子 ほか
7月1日(日)	女性会視察研修会	東京都方面	35	
7月21日(土)	よさこい音頭講習会協力	皆川城東小学校	延べ150	
8月15日(水)	ふれあいふるさとまつり協力	皆川城東小学校	約600	
9月17日(月)	敬老祝賀会協力	皆川中学校	約450	
11月4日(日)	第32回文化祭協力	皆川公民館	約800	
3月3日(日)	女性会花いっぱい運動	皆川地区内	33	

ウ 青少年教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月2日(土) ～3月2日(土)	地域少年少女サークル活動 『チャレンジキッズ』(7回)	皆川公民館ほか	延べ288	
7月21日(土)	よさこい音頭講習会	皆川城東小学校	延べ150	
7月29日(日)	子どもリーダー研修会	皆川公民館	63	
8月15日(水)	ふれあいふるさとまつり協力	皆川城東小学校	約600	
8月19日(日) ～26日(日)	第27回栃木地区市民スポーツ 大会参加	総合運動公園	約100	第9支部
11月4日(日)	第32回文化祭協力	皆川公民館	約800	
2月17日(日)	子ども・高齢者フェスティバル	皆川公民館	約300	

エ 社会体育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
5月20日(日)	第34回ソフトボール大会	皆川城東小学校ほか	9チーム	
6月24日(日)	第36回野球大会	皆川城東小学校ほか	8チーム	
6月24日(日)	第14回ソフトバレーボール大会	皆川中学校	8チーム	
8月15日(水)	ふれあいふるさとまつり協力	皆川城東小学校	約600	
8月19日(日) ～26日(日)	第27回栃木地区市民スポーツ 大会参加	総合運動公園	約100	第9支部

オ 諸会議開催状況

名称	回数	名称	回数
皆川地区自治会連合会	18	皆川地区体育協会	14
皆川地区公民館連絡協議会	7	皆川地区子ども会育成会	8
保健委員連合会皆川支部	4	皆川地区遺族会	3
交通安全協会皆川支部	4	皆川地区街づくり協議会	30
交通安全協会皆川支部女性部	6	皆川地域安全パトロール隊	4
交通安全協会高齢者部会皆川支部	3	皆川地区農政協力員連絡協議会	4
皆川地区女性会	10		
		合計	115

カ その他

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月20日(月)	まちづくり懇談会ふれあいトーク	皆川公民館	57	
9月17日(月)	敬老祝賀会	皆川中学校	約450	
9月22日(土)	皆川城址まつり	皆川城址公園	約2,500	
10月14日(日)	皆川柏倉の里 コスモスまつり	柏倉町地内	約500	

(5) 吹上公民館

ア 成人教育関係

(敬称略)

実施期間	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月15日(金) ～12月5日(水)	高齢者教室	吹上公民館ほか	延べ359	講師 倉持雅代ほか (6回)
7月7日(土) ～12月15日(土)	シニアライフアップ講座	吹上公民館ほか	延べ111	講師 松本マリほか (5回)
7月7日(土) ～1月19日(土)	教養講座 「ふるさと新発見！」	吹上公民館ほか	延べ112	講師 吹上地区まち づくり協議会委員 ほか (5回)
11月4日(日)	吹上地区文化祭	吹上小学校	約650	

イ 女性教育関係

(敬称略)

実施期間	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月21日(木) ～12月18日(火)	ひまわり学級	吹上公民館ほか	延べ156	講師 木下順子 ほか (11回)

10月28(日) ～29日(月)	女性会研修	東京都	30	フジテレビほか
---------------------	-------	-----	----	---------

ウ 青少年教育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
5月19日(土)	少年野球春季大会	総合運動公園	8チーム	
5月19日(土)	フットベース春季大会	総合運動公園	9チーム	
6月16日(土) ～12月8日(土)	わくわく教室いぶき	吹上公民館ほか	延べ305	7回
7月21日(土)	吹子連健全育成研修会	吹上公民館	343	
10月13日(土)	少年野球秋季大会	総合運動公園	10チーム	
10月13日(土)	フットベース秋季大会	総合運動公園	10チーム	
11月25日(日)	吹上地区一周駅伝大会	地区内一周	16チーム	
2月16日(土)	吹子連年度事業	吹上公民館	284	

エ 社会体育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
4月5日(木)	第22回吹上地区 グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	43	
4月5日(木)	第19回吹上地区 女性グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	68	
4月8日(日) 4月15日(日)	吹上地区春季ソフトボール大会	総合運動公園	180	
5月10日(木)	第23回吹上地区 グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	45	
5月10日(木)	第20回吹上地区 女性グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	70	
6月3日(日)	吹上地区春季オープン卓球大会	吹上公民館	15	
6月14日(木)	第35回吹上地区オープン グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	105	
6月17日(日)	吹上地区春季自治会対抗野球大会	総合運動公園	26	
6月24日(日)	第16回吹上地区春季 ソフトバレーボール大会	総合運動公園	45	
7月5日(木)	第8回市民スポーツ大会選抜 グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	98	
8月2日(木)	第36回吹上地区オープン グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	96	
8月19日(日) 8月25日(土) 8月26日(日)	第27回市民スポーツ大会	総合運動公園	201	
9月9日(日)	第54回吹上地区体育祭	吹上中学校	4,500	
9月13日(木)	第24回吹上地区グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	41	
9月13日(木)	第21回吹上地区女性グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	68	
10月11日(木)	第37回吹上地区オープン(第3回ペア) グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	103	
10月14日(日)	吹上地区秋季オープン卓球大会	吹上公民館	11	

10月14日(日)	第2回吹上地区秋季自治会対抗ソフトバレーボール大会	総合運動公園	31	
10月21日(日)	吹上地区秋季野球大会	総合運動公園	44	
11月4日(日)	吹上地区秋季自治会対抗ソフトボール大会	総合運動公園	100	
11月8日(木)	第7回吹上地区自治会対抗グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	117	
11月25日(日)	第49回吹上地区一周駅伝大会	地区内 主要道路	約450	
12月13日(木)	第38回吹上地区オープン(第4回年忘れ)グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	98	
2月14日(木)	第39回吹上地区オープングラウンドゴルフ大会	総合運動公園	108	
3月14日(木)	第40回吹上地区オープングラウンドゴルフ大会	総合運動公園	106	
毎月第2土曜	卓球教室	吹上公民館	延べ97	

オ 諸会議開催状況

名 称	回数	名 称	回数
吹上地区自治会連合会	10	吹上地区女性会	14
吹上地区公民館連絡協議会	7	吹上地区体育協会	15
保健委員会連合会吹上支部	7	吹上地区子ども会育成会連絡協議会	10
交通安全協会吹上支部	8	吹上地区遺族会	4
交通安全協会吹上支部女性部会	7	吹上地区長寿会	16
交通安全協会吹上支部高齢者部会	3	吹上安全・安心な街パトロール隊	9
吹上地区社会福祉協議会	6	文化同好会連絡協議会	5
吹上地区まちづくり協議会	9	合 計	130

カ その他

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
10月16日(火)	まちづくり視察研修	長野市松代地区	23	

・7月号広報に折り込み、吹上地区内全世帯を対象に公民館だよりを発行した。

(6) 寺尾公民館

ア 成人教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
7月12日(木) ～11月28日(水)	高齢者教室	寺尾公民館	延べ548	渡辺孝子ほか (7回)
11月3日(土) ～4日(日)	寺尾地区文化祭	寺尾公民館	延べ600	美術展 芸能発表
3月28日(木)	寺尾地区教養講座	寺尾公民館	14	ボトルフラワー づくり

## イ 女性教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
7月26日(木) ～12月7日(金)	女性学級	寺尾公民館	延べ166	藤沼恭一ほか (6回)
11月14日(水)	女性会視察研修会	軽井沢市方面	31	

## ウ 青少年教育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月4日(土)	子どもフェスティバル	寺尾公民館	187	ゲーム、競技等

## エ 社会体育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
5月13日(日) 5月20日(日)	野球大会	寺尾中学校校庭	9チーム	
5月13日(日)	卓球大会	寺尾中央小体育館	8チーム	
5月13日(日)	女子ソフトバレーボール大会	寺尾中学校体育館	9チーム	
6月24日(日)	バレーボール大会	寺尾中央小体育館 寺尾中学校体育館	10チーム	
7月1日(日)	ゲートボール大会	寺尾公民館	6チーム	
7月1日(日)	婦人ミニバレーボール大会	寺尾中学校体育館	6チーム	
7月15日(日)	ソフトボール大会	坂本産業グラウンド 寺尾中学校校庭	10チーム	
7月15日(日)	ソフトテニス大会	寺尾公民館	10チーム	
7月26日(木)	輪投げ大会	寺尾公民館	10チーム	
10月7日(日)	地区民体育祭	寺尾中学校校庭	延べ1,800	19種目

## オ 諸会議開催状況

名称	回数	名称	回数
財産区議会	5	寺尾地区体育協会	6
寺尾協議会まちづくり協議会	5	寺尾地区子ども会育成会	7
寺尾地区自治会連合会	13	消防団	4
保健委員会連合会寺尾支部	5	寺尾地区遺族会	2
寺尾地区交通安全協会	6	寿クラブ連絡協議会	8
寺尾地区社会福祉協議会	3	文化協会	4
民児委員協議会	12	ゲートボール協会	5
寺尾地区女性会	16	いきいきスポーツクラブ	5
グリーンツーリズム	7	寺尾地区農産物供給会	12
		合計	125

## カ その他

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月14日(火)	サマーフェスティバルイン寺尾	寺尾中学校校庭	1,000	盆踊り

・6月、10月、11月に寺尾地区内全世帯を対象に公民館だよりを発行

## (7) 国府公民館

## ア 成人教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	備考
6月27日(水) ～11月28日(水)	高齢者教室	国府公民館ほか	延べ188	8回
7月12日(木) ～8月7日(火)	教養講座 「アンチエイジング講座」	国府公民館	延べ 53	3回
2月18日(月) ～3月14日(木)	教養講座 男性限定 免疫力アップ運動教室	国府公民館	延べ 88	4回

## イ 女性教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	備考
6月27日(水) ～1月25日(金)	女性学級	国府公民館ほか	延べ176	8回

## ウ 青少年教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	備考
4月15日(日)	東部地区女子フット ベースボール大会(春)	大塚運動広場	4チーム	
6月16(土) ～2月2日(土)	学校週5日制対応事業	国府公民館ほか	延べ183	8回
7月21日(土)	夏休み親子お楽しみ会	国府北小体育館	約200	
11月10日(土)	子どもレクリエーション 大会	国府南小体育館	約200	
12月15日(土)	学童野球大会	大塚運動広場	2チーム	

## エ 社会体育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	備考
6月 3日(日)	フットベースボール大会	大塚運動広場	122	
6月 3日(日)	ソフトボール大会	大光寺グラウンド	153	
7月10日(火)	体協グランドゴルフ大会	大塚運動広場	46	
7月22日(日)	体協ターゲットバードゴルフ大会	大皆川ニュースポーツ広場	10	
8月19日(日)、 25日(土)、 26日(日)	市民スポーツ大会	総合運動公園ほか	216	
9月 2日(日)	地区民体育祭	大塚運動広場	2,000	
10月14日(日)	ウォーキング大会	足利市	40	
10月15日(月)	体協ゲートボール大会	大塚運動広場	3チーム	
11月 4日(日)	大なわとび大会	国府公民館	12チーム	
2月17日(日)	地区民ソフトバレーボール大会	合戦場小学校ほか	15チーム	

3月10日(日)	国庁まつりドッジボール大会	下野国庁跡広場	14チーム	
----------	---------------	---------	-------	--

オ 諸会議開催状況

名 称	回数	名 称	回数
国府地区自治会連合会	6	国府地区体育協会	5
保健委員会連合会国府支部	12	国府地区子ども会育成会	4
国府地区交通安全協会	5	国府地区子どもを守る会	3
国府地区交通安全協会女性部会	8	国府地区遺族会	15
国府地区交通安全協会高齢者部会	3	国府地区長寿会	15
国府地区社会福祉協議会	5		
国府地区まちづくり協議会	5	合 計	86

カ その他

実施日	事業名	場 所	参加人数(人)	備 考
6月7日(木)、 8月26日(日)	大塚運動広場運営委員会	大塚運動広場	約 400	運動広場除草
9月9日(日)	地区敬老会	国府南小学校	約 300	
11月4日(日)	公民館まつり	国府公民館	約1,500	ふるさとまつり

・公民館だよりを毎月1回発行し、国府地区内対象に班内回覧した。

3 支所・出張所業務

(1) 大宮出張所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区 分	件 数(件)	
原動機付自転車	第1種	4
	第2種 (甲)	-
	第2種 (乙)	-
小型特殊 (農耕用)	-	
廃 車 届	6	
名義・車体変更届	1	
計	11	

イ 出納事務取扱状況

区 分	件 数(件)	金 額(円)
市 税	2,480	56,595,871
そ の 他	455	4,904,972
計	2,935	61,500,843

ウ 戸籍関係取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)
出生届	-	死亡届	-	転籍届	4
婚姻届	1	養子縁組届	-	その他	-
				計	5

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 504件 276,000円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)
転入届	11	婚姻届	1
転居届	14	離婚届	-
転出届	16	転籍届	4
世帯主変更届	2	錯誤	-
世帯分離届	-	国保得喪届	29
世帯合併届	-	国年得喪届	4
出生届	-	その他	-
死亡届	-	合計	81

(イ) 住民票写し等交付件数 1,290件 258,000円

(ウ) 印鑑証明関係

区 分	件 数(件)	金 額(円)
印鑑登録	51	10,200
印鑑証明	1,240	248,000
印鑑廃止届	20	-
計	1,311	258,200

(エ) 身分証明交付件数 16件 3,200円

(オ) 諸証明交付件数 1件 200円

オ 税務諸証明交付件数 564件 60,400円

(このうち、車検用納税証明 272件)

(2) 皆川出張所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区 分	件 数(件)	
原動機付自転車	第1種	1
	第2種 (甲)	1
	第2種 (乙)	-

小型特殊（農耕用）	-
廃車届	5
名義・車体変更届	2
計	9

イ 出納事務取扱状況

区 分	件 数(件)	金 額(円)
市 税	1,619	33,846,100
そ の 他	143	556,148
計	1,762	34,402,248

ウ 戸籍関係取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)
出生届	-	死亡届	-	転籍届	-
婚姻届	-	養子縁組届	-	そ の 他	-
				計	-

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 221件 122,550円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)
転入届	4	婚姻届	-
転居届	1	離婚届	-
転出届	5	転籍届	-
世帯主変更届	-	錯 誤	-
世帯分離届	-	国保得喪届	4
世帯合併届	-	国年得喪届	-
出生届	-	そ の 他	5
死亡届	-	合 計	19

(イ) 住民票写し等交付件数 366件 73,200円

(ウ) 印鑑証明関係

区 分	件 数(件)	金 額(円)
印 鑑 登 録	20	4,000
印 鑑 証 明	496	99,200
印 鑑 廃 止 届	12	-
計	528	103,200

(エ) 身分証明交付件数 13件 2,600円

(オ) 諸証明交付件数 1件 -円

オ 税務諸証明交付件数 166件 17,200円 (このうち、車検用納税証明 82件)

(3) 吹上出張所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区 分		件 数 (件)
原動機付自転車	第1種	4
	第2種 (甲)	-
	第2種 (乙)	-
小型特殊 (農耕用)		-
廃 車 届		10
名義・車体変更届		-
計		14

イ 出納事務取扱状況

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
市 税	2,919	76,072,880
そ の 他	605	5,598,172
計	3,524	81,671,052

ウ 戸籍関係取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区 分	件 数 (件)	区 分	件 数 (件)	区 分	件 数 (件)
出生届	-	死亡届	-	転籍届	1
婚姻届	-	養子縁組届	-	そ の 他	-
				計	1

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 577件 326,050円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区 分	件 数 (件)	区 分	件 数 (件)
転 入 届	12	婚 姻 届	-
転 居 届	5	離 婚 届	-
転 出 届	28	転 籍 届	1
世帯主変更届	1	錯 誤	-
世帯分離届	-	国保得喪届	27
世帯合併届	-	国年得喪届	11
出生届	-	そ の 他	-
死亡届	-	合 計	85

(イ) 住民票写し等交付件数 1,038件 206,600円

(ウ) 印鑑証明関係

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
印 鑑 登 録	72	14,400
印 鑑 証 明	1,065	213,000
印 鑑 廃 止 届	2	-
計	1,139	227,400

(エ) 身分証明交付件数 22件 4,400円

(オ) 諸証明交付件数 1件 200円

オ 税務諸証明交付件数 426件 55,900円

(このうち、車検用納税証明 158件)

(4) 寺尾支所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区 分	件 数 (件)
原動機付自転車 第1種	13
原動機付自転車 第2種 (甲)	-
原動機付自転車 第3種 (乙)	3
小型特殊 (農耕用)	-
廃車届	34
名義車体変更	1
合 計	51

イ 出納事務取扱状況

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
市 税	2,247	44,875,620
そ の 他	73	447,176
合 計	2,320	45,322,796

ウ 戸籍関係事務取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区 分	件 数 (件)
出 生 届	3
死 亡 届	-
婚 姻 届	1
離 婚 届	-
転 籍 届	1
養子縁組届	-
合 計	5

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 323件 181,350円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区 分	件 数 (件)	区 分	件 数 (件)
転 入 届	6	婚 姻 届	1
転 居 届	3	離 婚 届	-
転 出 届	8	転 籍 届	1
世帯主変更届	1	錯 誤	-
世帯分離届	1	国保得喪届	18
世帯合併届	1	国年得喪届	10
出生届	3	そ の 他	-
死亡届	-	合 計	53

(イ) 住民票写し等交付件数 491件 98,200円

(ウ) 印鑑証明関係

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
印 鑑 登 録 届	32	6,400
印 鑑 証 明	497	99,400
印 鑑 廃 止 届	12	-
合 計	541	105,800

(エ) 身分証明書交付件数 12件 2,400円

(オ) 転出証明書交付件数 28件

オ 税務諸証明交付件数 157件 41,100円

(5) 国府支所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区 分	件 数 (件)	
原動機付自転車	第1種	4
	第2種 (甲)	-
	第2種 (乙)	2
小型特殊 (農耕用)	7	
廃 車 届	46	
名義・車体変更届	1	
計	60	

イ 出納事務取扱状況

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
市 税	3,365	78,072,500
そ の 他	278	1,604,696
計	3,643	79,677,196

ウ 戸籍関係取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区 分	件数 (件)	区 分	件数 (件)	区 分	件数 (件)
出生届	2	死亡届	-	転籍届	4
婚姻届	-	養子縁組届	-	計	6

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 639件 358,700円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区 分	件 数 (件)	区 分	件 数 (件)
転入届	50	婚姻届	-
転居届	22	離婚届	1
転出届	42	転籍届	4
世帯主変更届	-	錯誤	-
世帯分離届	-	国保得喪届	61
世帯合併届	1	国年得喪届	17
出生届	2	その他	2
死亡届	-	合 計	202

(イ) 住民票写し等交付件数 1,208件 241,600円

(7) 印鑑証明関係

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
印鑑登録	98	19,600
印鑑証明	1,144	228,800
印鑑廃止届	51	-
計	1,293	248,400

(エ) 身分証明交付件数 27件 5,400円

オ 税務諸証明交付件数 321件 69,300円

(このうち、車検用納税証明 167件)

図書館担当

1 視聴覚ライブラリー

(1) 財産の取得状況及び保有状況

ア 購入視聴覚教材

No.	タイトル	種類	映写時間 (分)
1	アラジンと魔法のランプの交通安全	D V D	12
2	むしむし村の防災訓練	D V D	12
3	知って防ごう熱中症	D V D	18

4	10ぴきのかえる	D V D	40
5	三ねん寝太郎	D V D	40
6	ぼくは王さま	D V D	40
7	ハチドリの一としづく	D V D	19
8	ねずみくんのきもち	D V D	12
9	ともだちみーつけた	D V D	16
10	桃香の自由帳	D V D	36

イ 視聴覚教材保有状況

- ・16ミリフィルム 481作品
- ・ビデオテープ 745作品
- ・D V D 99作品

(2) 教材作品利用状況

ア 視聴者層別人数

(単位：人)

対象 種別	成人(男)	成人(女)	青年	高校生	小中学校	P T A	高齢者	その他	計
16ミリフィルム	125	477	-	-	480	6	108	1,391	2,587
ビデオテープ	179	337	-	34	7,258	50	355	365	8,578
D V D	338	697	3	4	5,620	197	208	432	7,499
計	642	1,511	3	38	13,358	253	671	2,188	18,664

イ 団体別利用回数

(単位：回)

団体 種別	小学校	中学校	高等学校	養護学校等	幼稚園・保育所	子ども会・育成会	児童施設	ボランティア	P T A	家庭教育学級	婦人団体・婦人学級	集会所	高齢者	病院施設等	その他	計
16ミリフィルム	1	-	-	-	20	1	1	-	-	-	-	10	1	-	17	51
ビデオテープ	69	16	-	8	6	1	1	-	-	-	-	12	-	-	12	125
D V D	48	9	-	4	5	3	-	-	-	-	-	16	1	-	21	107
計	118	25	-	12	31	5	2	-	-	-	-	38	2	-	50	283

(3) その他

下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会の事務局として、16ミリ映写機技術者養成講習会を下記のとおり実施した。

実施日	会 場	修了者数 (人)
7月8日(日)	野木町公民館	15
8月7日(火)	栃木図書館	22

## 2 図書館関係

### (1) 市内全図書館共通

#### ア 図書館協議会

	開催日	協議内容
第1回	6月27日(水)	会長及び副会長選出 平成23年度管理運営状況について 平成24年度事業計画等について 栃木市図書館基本計画(案)の協議について
第2回	7月18日(水)	栃木市図書館基本計画(案)の協議について
第3回	11月7日(水)	栃木市図書館計画(案)パブリックコメントの結果報告 について 栃木市図書館計画最終案の協議について
第4回	11月22日(木)	栃木市図書館計画(案)パブリックコメント最終回答案 及び地域協議会への回答案の協議について 栃木市図書館計画最終案の協議について
第5回	2月19日(火)	栃木市図書館計画の策定について 平成25年度事業計画(案)について 図書館資料収集方針及び選定基準・廃棄方針について

#### イ 図書館物流事業

図書館利用者の利便性の向上を図る事業として、利用者の要求する図書館資料が迅速に手元に届くよう対応するため、5月1日から市内全館を週5回巡回し図書館資料を配送・回収する物流事業を開始した。

(単位：件)

図書館名	物流件数	月平均
栃木図書館	20,260	1,842
大平図書館	18,764	1,706
藤岡図書館	7,790	708
都賀図書館	8,317	756
西方分館	1,903	173
県立図書館・ 県内公共図書館等	1,754	159
合 計	58,788	5,344

#### ウ 栃木市図書館計画の策定

本市の図書館のあるべき姿や図書館が目指す将来像の実現に向けた「栃木市図書

館計画」を、12月に策定し、これらの施策に取り組むことで、より効果的かつ効率的な図書館運営に努めた。

(7) 基本理念『市民と歩む・暮らしに身近な図書館』

(イ) 基本方針（将来の図書館像）

- ・本を読むことの楽しさと大切さを実感できる図書館
- ・地域の活性化に寄与する図書館
- ・子どもの成長を支援する図書館
- ・質の高い情報を提供する図書館
- ・すべての人に役立つ図書館
- ・多種多様な機関と連携協力する図書館
- ・市民との協働により、ともに創り育てる図書館

(ウ) 施策の柱

- 1 図書館サービスの均一化と拡充
- 2 図書館資料収集方針の策定と計画的な蔵書構成
- 3 利用者拡大に向けた効果的な運営
- 4 他の機関との連携協力の推進

(2) 栃木図書館

ア 自主事業

(7) 幼児・児童向け事業

a おはなし広場

- ・実施日 毎月第2・第4土曜日 午前10時30分～
- ・出演 りんごの会
- ・参加者 177人（大人78人、子ども99人）
- ・よみきかせ 「語り ぞうのこどもがみたゆめ」ほか

b 特版おはなし広場 映画「おこりじぞう」

- ・実施日 8月9日（木）
- ・参加者 20人

c 特版おはなし広場 ちっちゃな劇場とおはなし冒険団がやってくる

- ・実施日 11月3日（土）
- ・参加者 108人

d えほんデビュー

- ・実施日 毎月第3土曜日 午前11時～
- ・出演 図書館職員
- ・参加者 114人

e 親子で楽しむ映画とおはなしの会

- ・実施期間 4月7日（土）～12月22日（土）
- ・出演 図書館職員、下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会
- ・参加者 85人
- ・内容

4月7日（土）	第1回「ピカピカの一年生」
7月21日（土）	第2回「ドキドキ・こわい？おばけの話」
10月6日（土）	第3回「思いやりの心・きつねの話」
12月22日（土）	第4回「しあわせのプレゼント」

f その他の幼児・児童向け事業

(a) 子ども読書週間「豆ノート」プレゼント

- ・実施期間 4月23日（月）～5月12日（土）
- ・参加者 170人

(b) こども図書館まつり

- ・内 容 おはなしマラソン  
映画「からすのパンやさん」  
工作教室「くるくるレインボー作り」
- ・実施日 5月6日（日）
- ・参加者 98人

(c) 七夕 短冊にお願い事を書こう

- ・実施期間 6月中旬～7月7日（土）
- ・参加者 60人

(d) 夏休み工作教室「植木鉢で風鈴をつくろう！」

- ・実施日 8月11日（土）
- ・参加者 20人

(e) 幼児読書感想画展

未就学児童の感想画を読書週間期間内に展示

- ・実施期間 10月27日（土）～11月6日（火）
- ・参加者 195人

(f) 読書週間しおりプレゼント（手作りしおり）

- ・実施期間 10月27日（土）～11月3日（土）
- ・参加者 1,500人

(g) クリスマス・ミニツリープレゼント（手作りミニツリー）

- ・実施期間 12月1日（土）～25日（火）
- ・参加者 350人

(h) 工作教室「つるしびな作り」

- ・実施日 2月16日（土）
- ・参加者 16人

(イ) 講座・講演会

a 「朗読サロン」

区 分	内 容	開催日	出 演	参加数(人)
第1回	春・芥川龍之介を読む	5月13日（日）	朗読を楽しむ会	50
第2回	夏・ゆめはるか・吉屋信子を読む	7月8日（日）	朗読を楽しむ会	56

第3回	山本有三を読む	3月10日（日）	朗読を楽しむ会	79
-----	---------	----------	---------	----

b 歌舞伎鑑賞講座「歌舞伎へのいざない」

- ・実施日 5月26日（土）
- ・講師 元栃木市教育長 有澤 弘一氏
- ・参加者 61人

c 講座「栃木市及びその周辺における学童集団疎開について」

- ・実施日 8月4日（土）
- ・講師 元都賀町教育長 小倉 久吾氏
- ・参加者 40人

d 講演会「下野昔語り」

- ・実施日 10月20日（土）
- ・講師 下野民話館 島田 トヨ子氏
- ・参加者 22人

e 講座「古代下野国の東山道と寺院・役所」

- ・実施日 11月17日（土）
- ・講師 下野市教育委員会 山口 耕一氏
- ・参加者 40人

f 文楽鑑賞講座「文楽へのいざない」

- ・実施日 12月9日（日）
- ・講師 元栃木市教育長 有澤 弘一氏
- ・参加数 53人

g 講座「戦国時代の皆川氏」

- ・実施日 2月24日（日）
- ・講師 栃木県立博物館 人文課長 江田 郁夫氏
- ・参加数 74人

(ウ) 図書館祭り

- ・実施日 11月3日（土）
- ・内容 雑誌および寄贈本のリサイクル・館内ポイントラリー  
特版おはなし広場「ちっちゃ劇場とおはなし冒険団がやってくる」

イ その他の事業

(ア) 館内展示企画

「詩の世界へようこそ」「随筆・エッセイを楽しもう」ほか

(イ) 山本有三展 「文学者・山本有三」

- ・実施期間 1月12日（土）～17日（木）
- ・参加数 307人

(ウ) 広報活動

- ・栃木市栃木図書館通信 紫陽花
- ・キッズとしょかんだより
- ・ホームページによる広報

・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」（通年）

(エ) 施設見学 (単位：人)

国府北小3年生	63
栃木中央小2年生	90
栃木第四小3年生	29
大宮南小1・2年生	13
栃木第三小2年生	65
鹿沼市立図書館協議会ほか	15
栃木第五小2年生	102
栃木第四小2年生	22
千塚小2年生	31
皆川城東小3年生	29
栃木南中1年生	8
合計 11件	467

(オ) 職場体験学習 (単位：人)

小山市立豊田中2年生	3
寺尾中2年生	3
栃木南中2年生	6
東陽中2年生	2
西方中2年生	4
栃木特別支援学校2年生	1
栃木商業高2年生	2
栃木西中2年生	2
壬生町立壬生中2年生	4
合計 9件	27

(カ) 移動図書館

・巡回ステーション 25か所

(キ) 宅配の実施

・利用者 7人

ウ 資料の状況

(7) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
増加数(点)	561	297	789	1,127	801	886
除籍数(点)	180	138	715	901	463	384
総数(点)	11,866	9,859	26,182	33,687	16,496	17,741

構成比(%)	4.0	3.4	8.9	11.5	5.6	6.1	
分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計
増加数(点)	276	721	262	3,061	656	832	10,269
除籍数(点)	300	286	82	628	-	197	4,274
総数(点)	7,441	21,716	5,359	113,147	12,821	17,379	293,694
構成比(%)	2.5	7.4	1.8	38.5	4.4	5.9	100.0

(イ) 視聴覚資料

分類	レコード	カセットテープ	C D	C D-R O M
増減数(点)	-	-	570	3
総数(点)	510	2,308	7,856	80
構成比(%)	3.3	15.0	50.9	0.5
分類	D V D	D V D-R O M	ビデオ	合計
増減数(点)	231	10	-	814
総数(点)	2,005	58	2,617	15,434
構成比(%)	13.0	0.4	16.9	100.0

(ウ) 逐次刊行物

(単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
10	8	138	86	242

エ 貸出状況

(ア) 貸出人数

(単位：人)

月	図書館			うち移動図書館				
	開館日数	貸出人数	一日平均	巡回日数	巡回回数	貸出人数	一日平均	一回平均
4	26	7,487	288	16	90	285	18	3
5	28	7,820	279	18	104	399	22	4
6	25	7,896	316	16	92	391	24	4
7	27	8,479	314	17	97	302	18	3
8	26	8,521	328	18	98	207	12	2
9	26	8,182	315	15	86	391	26	5
10	27	7,903	293	18	104	412	23	4
11	26	7,490	288	17	97	488	29	5
12	26	7,319	282	15	85	276	18	3
1	24	7,451	310	15	86	372	25	4
2	24	7,313	305	15	86	364	24	4

3	23	7,398	322	12	69	220	18	3
計	308	93,259	303	192	1,094	4,107	21	4

(イ) 貸出点数

(単位：点)

月	図書館			うち移動図書館				
	開館日数	貸出点数	一日平均	巡回日数	巡回回数	貸出点数	一日平均	一回平均
4	26	34,187	1,315	16	90	908	57	10
5	28	35,140	1,255	18	104	1,490	83	14
6	25	35,659	1,426	16	92	1,337	84	15
7	27	38,778	1,436	17	97	1,204	71	12
8	26	39,705	1,527	18	98	905	50	9
9	26	36,914	1,420	15	86	1,429	95	17
10	27	35,573	1,318	18	104	1,576	88	15
11	26	34,186	1,315	17	97	1,782	105	18
12	26	35,201	1,354	15	85	1,119	75	13
1	24	34,131	1,422	15	86	1,344	90	16
2	24	33,538	1,397	15	86	1,401	93	16
3	23	34,792	1,513	12	69	938	78	14
計	308	427,804	1,389	192	1,094	15,433	80	14

(ウ) 分類別貸出点数

(単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	2,445	754	2,319	1,548	1,168	3,081	684	1,416	308	11,882	8,582	34,187
5	2,413	803	2,094	1,457	1,173	3,303	829	1,512	299	12,369	8,888	35,140
6	2,612	825	2,191	1,574	1,387	2,988	772	1,523	307	12,042	9,438	35,659
7	2,688	767	2,524	1,632	1,830	3,270	782	1,700	323	12,838	10,424	38,778
8	2,649	778	2,638	1,711	1,966	3,141	624	1,642	356	13,212	10,988	39,705
9	2,783	826	2,495	1,638	1,591	3,215	635	1,604	324	11,991	9,812	36,914
10	2,716	718	2,011	1,513	1,452	3,108	616	1,637	276	11,788	9,738	35,573
11	2,555	732	1,942	1,505	1,294	3,032	613	1,581	296	10,883	9,753	34,186
12	2,715	741	1,858	1,572	1,225	2,876	525	1,700	274	11,580	10,135	35,201
1	2,666	733	1,919	1,644	1,300	3,296	572	1,618	287	11,062	9,034	34,131
2	2,758	670	2,013	1,597	1,256	3,100	577	1,673	281	10,727	8,886	33,538
3	2,840	715	2,120	1,563	1,194	3,116	706	1,651	246	11,518	9,123	34,792
計	31,840	9,062	26,124	18,954	16,836	37,526	7,935	19,257	3,577	141,892	114,801	427,804

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ 利用者登録状況

(7) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規 登録者数	うち移動 図書館車	登録削除	総登録者数	新規 団体	団体 合計	総計
4	102	11	18	64,858	-	158	65,016
5	83	4	26	64,915	-	158	65,073
6	95	-	14	64,996	2	160	65,156
7	128	1	26	65,098	-	160	65,258
8	143	1	22	65,219	-	160	65,379
9	82	-	17	65,284	1	161	65,445
10	62	-	3	65,343	-	161	65,504
11	104	1	11	65,436	-	161	65,597
12	54	-	29	65,461	-	161	65,622
1	58	-	5	65,514	-	161	65,675
2	60	-	11	65,563	-	161	65,724
3	50	1	9	65,604	-	161	65,765
計	1,021	19	191	65,604	3	161	65,765

※貸出カード統一化による利用者統合のため、登録の削除が実施されている。

(イ) 年齢別利用者登録状況

(単位：人)

年齢	新規登録者数		総数	
	図書館	うち移動図書館車	図書館	うち移動図書館車
～ 6	67	-	265	2
7～12	241	12	1,840	98
13～15	62	-	1,356	40
16～18	37	-	1,711	74
19～22	54	-	2,921	91
23～29	89	1	7,179	267
30～39	153	-	17,084	724
40～49	107	1	13,230	173
50～59	80	1	7,252	305
60～	131	4	12,766	703
合計	1,021	19	65,604	2,477

カ 各種利用状況

(ア) 予約・リクエスト件数

(単位：件)

月	予約件数				リクエスト件数			合計
	図書館	移動図書館車	インターネット	計	図書館	移動図書館車	計	
4	994	79	2,280	3,353	167	26	193	3,546
5	968	166	2,276	3,410	200	17	217	3,627
6	915	252	2,081	3,248	188	17	205	3,453
7	1,100	167	2,141	3,408	187	11	198	3,606
8	1,054	97	2,173	3,324	167	9	176	3,500
9	947	192	2,211	3,350	215	11	226	3,576
10	941	113	2,152	3,206	244	21	265	3,471
11	797	120	2,265	3,182	187	12	199	3,381
12	1,017	84	2,004	3,105	185	16	201	3,306
1	976	83	2,438	3,497	177	16	193	3,690
2	834	93	2,182	3,109	201	19	220	3,329
3	940	48	2,568	3,556	200	19	219	3,775
計	11,483	1,494	26,771	39,748	2,318	194	2,512	42,260

※インターネット予約件数は、館別統計がとれないため、全館共通の数字を記載。

(イ) レファレンス件数 (レファレンス=利用者からの相談や、調査の支援)

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	計
4	328	10	1	339
5	442	11	-	453
6	377	10	-	387
7	480	17	1	498
8	440	10	-	450
9	537	25	-	562
10	733	13	-	746
11	831	43	-	874
12	1,172	26	-	1,198
1	1,193	13	-	1,206
2	956	15	-	971
3	916	17	-	933
計	8,405	210	2	8,617

(ウ) 相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	1,808
借受数	2,040

(エ) 読書室・キャレルデスク・コピー利用件数

（キャレルデスク＝調査研究用個人机）

月	読書室 （件）	キャレルデスク （件）	コピー件数	
			件数（件）	枚数（枚）
4	793	588	134	698
5	1,316	802	119	469
6	1,130	668	133	501
7	1,484	778	126	679
8	1,916	759	175	955
9	1,388	679	141	608
10	1,503	603	140	592
11	1,297	561	139	622
12	1,326	544	133	589
1	1,249	599	142	665
2	1,562	642	140	837
3	811	517	147	819
計	15,775	7,740	1,669	8,034

(3) 大平図書館

ア 自主事業

(ア) 幼児・児童向け事業

- a おはなししゃぼんだまの絵本の読み聞かせ
  - ・実施日 毎月第1土曜日、毎月第2・第4金曜日
  - ・出演 おはなししゃぼんだま
  - ・参加者 561人（子ども291人、大人270人）
- b 図書館スタッフによる絵本の読み聞かせ
  - ・実施日 毎月第3土曜日
  - ・出演 図書館スタッフ
  - ・参加者 84人
- c 読書大好きおおひらっ子“たくさん読んだで賞”
  - ・実施期間 4月24日（火）～5月13日（日）  
10月23日（火）～11月11日（日）
  - ・参加者 374人（春267人、秋107人）

- d サンタと握手&撮影会
    - ・実施期間 12月24日（月）～25日（火）
    - ・参加者 37人
  - e おはなししゃぼんだまの“おはなしプレゼント”
    - ・実施日 3月9日（土）
    - ・出演 おはなししゃぼんだま
    - ・参加者 46人（子ども26人、大人20人）
  - f はなみずきのおはなし教室
    - ・実施日 3月23日（土）
    - ・出演 はなみずき
    - ・参加者 15人（子ども9人、大人6人）
- (イ) 講座・講演会
- a わかばのコンサート
    - ・実施日 5月27日（日）
    - ・出演 ヴァイオリン・デュオ アフィニティー
    - ・参加者 89人
  - b あっ、いい本みつけた！子どもと本の教室
    - ・実施日 6月15日（金）、24日（日）
    - ・講師 図書館スタッフ
    - ・参加者 38人
  - c 樹木医に聞く庭木の管理法
    - ・実施日 8月4日（土）
    - ・講師 吉澤 光三氏
    - ・参加者 41人
  - d 点字体験講座
    - ・実施日 9月12日（水）
    - ・講師 点字サークルどんぐり
    - ・参加者 19人
  - e 朗読コンサート～稗田遼子が語る大平民話～
    - ・実施日 9月30日（日）
    - ・出演 稗田 遼子氏
    - ・参加者 43人
  - f 吹奏楽部 I N 図書館
    - ・実施日 11月17日（土）
    - ・出演 大平中学校吹奏楽部
    - ・参加者 70人
  - g お話と映像と音楽の会
    - ・実施日 12月23日（日）
    - ・出演 九輪草の会
    - ・参加者 36人

h 第3回大平図書館寄席

- ・実施日 2月16日（土）
- ・出演 真岡落語研究会
- ・参加者 48人

(ウ) 雑誌リサイクル市

- ・実施日 11月3日（土）～4日（日）
- ・参加者 252人

(エ) 展示・ミニミニ市民ギャラリー

- ・4月企画展示「まる！○！！マル！！丸と言えは…？の本」ほか
- ・きせつの本「はる」「おでかけ」「あめ」ほか
- ・ミニミニ市民ギャラリー「松永節子氏手作り人形展『おもいで（私の昭和）』」

イ その他の事業

(ア) 広報活動

- ・大平図書館だより 奇数月発行
- ・ホームページによる広報
- ・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」（通年）

(イ) 施設見学 (単位：人)

大平東小2年生「まちたんけん」	35
大平南小3年生	19
大平西小2年生「まちたんけん」	32
大平中央小	121
部屋小2年生	22
大平中1年生	2
大平南中（2件）	3
国学院栃木短大	5
合計 9件	239

(ウ) 職場体験学習 (単位：人)

小山市立豊田中	3
大平南中2年生（2件）	5
大平中2年生（2件）	4
藤岡第二中2年生	1
合計 6件	13

(エ) 本の宅配収集事業

図書館の利用が困難な高齢者、障がい者、妊婦等に対し図書資料等の宅配・収集を行った。また、地域内6か所の公共施設に返却ポストを設置し、利用促進を図った。

- ・宅配登録者数 23人
- ・宅配件数 413件
- ・貸出冊数 3,488冊
- ・返却本回収数 5,890冊

ウ 資料の状況

(7) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術		
増加数(点)	70	79	355	583	462	467		
除籍数(点)	88	348	419	589	363	381		
総数(点)	3,537	6,019	12,658	19,083	11,038	10,729		
構成比(%)	2.4	4.1	8.7	13.1	7.6	7.3		
分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計	
増加数(点)	196	259	86	1,239	153	826	4,775	
除籍数(点)	189	369	45	1,852	-	558	5,201	
総数(点)	5,122	15,080	3,747	42,264	4,766	11,929	145,972	
構成比(%)	3.5	10.3	2.6	28.9	3.3	8.2	100.0	

(イ) 視聴覚資料

分類	レコード	カセットテープ	C D	C D-R O M
増減数(点)	△4	△470	△192	△14
総数(点)	938	2,497	13,215	14
構成比(%)	4.8	12.9	68.0	0.1
分類	D V D	D V D-R O M	ビデオ	合計
増減数(点)	143	29	△40	△548
総数(点)	850	29	1,881	19,424
構成比(%)	4.4	0.1	9.7	100.0

(ウ) 逐次刊行物

(単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
8	2	115	3	128

エ 貸出状況

(7) 貸出人数

月	開館日数(日)	貸出人数(人)	一日平均(人)
4	26	4,077	157
5	27	4,152	154
6	26	4,316	166
7	27	4,502	167
8	27	5,028	186
9	27	4,422	164
10	23	3,970	173
11	26	4,053	156
12	25	3,663	147
1	25	3,932	157

2	25	4,120	165
3	27	4,439	164
計	311	50,674	163

(イ) 貸出点数

月	開館日数 (日)	貸出点数(点)	一日平均(点)
4	26	18,856	725
5	27	18,780	696
6	26	18,996	731
7	27	19,764	732
8	27	21,596	800
9	27	19,134	709
10	23	17,696	769
11	26	17,929	690
12	25	16,535	661
1	25	18,210	728
2	25	18,683	747
3	27	19,895	737
計	311	226,074	727

(ウ) 分類別貸出点数

(単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会 科学	自然 科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	1,772	346	885	710	836	1,339	499	1,746	184	4,183	6,356	18,856
5	1,805	346	852	720	831	1,292	482	1,740	107	4,073	6,532	18,780
6	1,759	334	878	862	999	1,242	452	1,812	215	4,035	6,408	18,996
7	1,715	361	1,028	778	1,034	1,321	486	2,028	208	4,467	6,338	19,764
8	1,758	389	1,169	912	1,226	1,300	547	2,159	235	5,081	6,820	21,596
9	1,823	361	915	767	838	1,298	473	2,008	171	4,492	5,988	19,134
10	1,726	289	753	707	799	1,270	403	1,795	204	3,998	5,752	17,696
11	1,709	332	687	685	779	1,321	377	1,766	134	4,216	5,923	17,929
12	1,531	320	578	589	656	1,349	289	1,845	186	3,772	5,420	16,535
1	1,858	282	720	801	745	1,549	385	1,710	200	4,017	5,943	18,210
2	1,788	323	808	643	708	1,647	391	1,890	232	4,085	6,168	18,683
3	1,880	347	1,014	723	797	1,510	385	2,034	190	4,637	6,378	19,895
計	21,124	4,030	10,287	8,897	10,248	16,438	5,169	22,533	2,266	51,056	74,026	226,074

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ 利用者登録状況

(ア) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規登録者数	登録削除	登録変更	総登録者数	新規団体	団体合計	総計
4	32	19	-	19,124	-	52	19,176
5	39	-	-	19,163	-	52	19,215
6	64	-	4	19,231	-	52	19,283
7	169	5	-	19,395	-	52	19,447
8	55	-	7	19,457	-	52	19,509
9	48	3	-	19,502	-	52	19,554
10	33	-	-	19,535	-	52	19,587
11	23	-	4	19,562	-	52	19,614
12	15	-	-	19,577	-	52	19,629
1	24	4	-	19,597	-	52	19,649
2	25	-	2	19,624	-	52	19,676
3	31	2	-	19,653	-	52	19,705
計	558	33	17	19,653	-	52	19,705

※貸出カード統一化により、登録の削除や登録館変更が実施されている。

(イ) 年齢別利用者登録状況 (単位：人)

年齢	新規登録者数	総数
～ 6	36	127
7～12	197	1,445
13～15	7	776
16～18	6	785
19～22	12	1,107
23～29	51	2,469
30～39	92	4,039
40～49	58	3,064
50～59	34	2,160
60～	65	3,681
合計	558	19,653

カ 各種利用状況

(ア) 予約・リクエスト件数 (単位：件)

月	予約件数			リクエスト 件数	合計
	図書館	インターネット	合計		
4	389	2,280	2,669	11	2,680
5	364	2,276	2,640	15	2,655
6	350	2,081	2,431	10	2,441
7	386	2,141	2,527	12	2,539
8	475	2,173	2,648	15	2,663
9	400	2,211	2,611	18	2,629

10	346	2,152	2,498	16	2,514
11	302	2,265	2,567	18	2,585
12	311	2,004	2,315	8	2,323
1	310	2,438	2,748	14	2,762
2	356	2,182	2,538	17	2,555
3	427	2,568	2,995	18	3,013
計	4,416	26,771	31,187	172	31,359

※インターネット予約件数は、館別統計がとれないため、全館共通の数字を記載。

(イ) レファレンス件数（レファレンス＝利用者からの相談や、調査の支援）（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	232	192	223	236	328	234	174	197	159	196	215	187	2,573

(ウ) 相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	543
借受数	385

(エ) コピー枚数

（単位：枚）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
枚数	57	92	80	60	70	114	103	51	52	78	157	71	985

(4) 藤岡図書館

ア 自主事業

(ア) 幼児・児童向け事業（親子向けを含む）

a おはなし会、工作教室

紙芝居、絵本の読み聞かせ、簡単に作れる工作（クリスマスリースづくり等）

- ・実施日 毎月第1・3土曜日午後2時から
- ・回数 20回
- ・参加者 86人
- ・協力 ふじおかおはなし会コロポックル

b 子ども映画会

- ・実施日 偶数月第3日曜午前10時から
- ・参加者 20人
- ・協力 ハードル会

c クリスマスコンサート

音楽、人形劇

- ・実施日 12月22日（土）
- ・参加者 45人
- ・協力 ふじおかおはなし会コロポックル

d ひなまつり

人形劇、エプロンシアター、おひなさまになろう

- ・実施日 3月3日(日)
- ・参加者 11人
- ・協力 ふじおかおはなし会コロポックル

(イ) 講座・講演会

しかけ絵本づくり(嵐田康平)

しかけ絵本展示と作成講座

- ・実施日 12月1日(土)
- ・参加者 38人

イ その他の事業

(ア) 巡回貸出事業

自動車文庫

地域内幼稚園2か所、市立保育園4か所を巡回し、本の貸出しを行った。

- ・実施期間 6月～2月(8月は除く)
- ・回数 4回
- ・貸出実績 2,800冊

(イ) 子どもの読書活動推進のための支援事業

a 読み聞かせボランティア

藤岡地域内の4小学校において、各学年向けの本を選定し、読み聞かせを行った。

- ・登録者数 4団体37人
- ・実施期間 4月～2月
- ・実績

小学校	団体	回数(回)
藤岡小学校	藤	10
部屋小学校	スマイル	8
赤麻小学校	そよかぜ	9
三鴨小学校	かたくり	8

b ブックスタート事業

月1回、9か月児の乳児検診の際に、母親が子どもに絵本を読んであげることの大切さを教えながら、子どもたちに読み聞かせを行った。

(ウ) 広報活動

- ・図書館だより
- ・イベント広報配布
- ・ホームページによる広報
- ・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」(通年)

(エ) 施設見学 (単位:人)

三鴨小2年生	32
藤岡小2年生	33
合計 2件	65

(オ) 職場体験学習 (単位:人)

藤岡第一中2年生	4
合計 1件	4

ウ 資料の状況

(ア) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術		
増加数(点)	25	-	-	-	101	183		
除籍数(点)	-	18	46	50	-	-		
総数(点)	1,662	1,676	4,932	4,573	3,724	3,023		
構成比(%)	2.9	2.9	8.5	7.9	6.5	5.2		
分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計	
増加数(点)	51	199	26	828	251	415	2,079	
除籍数(点)	-	1	-	1	-	-	116	
総数(点)	1,390	5,998	1,056	20,445	2,445	6,894	57,818	
構成比(%)	2.4	10.4	1.8	35.4	4.2	11.9	100.0	

(イ) 視聴覚資料

分類	C D	D V D	ビデオ	合計
増減数(点)	260	-	-	260
総数(点)	3,613	35	7	3,655
構成比(%)	98.8	1.0	0.2	100.0

(ウ) 逐次刊行物

(単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
6	2	24	1	33

エ 貸出状況

(ア) 貸出人数・貸出点数

月	開館日数	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一日平均(点)
4	25	883	35	4,127	165
5	25	917	37	4,841	194
6	26	1,055	41	4,711	181
7	26	938	36	4,429	170
8	27	1,017	38	4,691	174
9	26	899	35	4,070	157
10	26	996	38	4,777	184

11	26	834	32	4,038	155
12	22	666	30	4,004	182
1	24	804	34	4,489	187
2	24	772	32	3,848	160
3	27	872	32	4,295	159
計	304	10,653	35	52,320	172

(イ) 分類別貸出点数

(単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	83	58	184	117	117	272	80	786	15	799	1,616	4,127
5	150	78	182	106	179	327	95	721	20	810	2,173	4,841
6	142	87	204	142	99	337	91	872	29	857	1,851	4,711
7	139	74	179	129	181	276	90	776	35	860	1,690	4,429
8	149	78	203	144	203	338	73	849	43	884	1,727	4,691
9	156	70	184	121	98	253	71	713	24	674	1,706	4,070
10	143	55	177	135	140	276	94	616	23	744	2,374	4,777
11	138	76	150	117	98	259	66	656	16	687	1,775	4,038
12	118	53	141	97	147	283	60	543	35	510	2,017	4,004
1	129	51	124	84	148	278	86	729	22	693	2,145	4,489
2	123	54	128	113	110	285	70	663	21	749	1,532	3,848
3	153	65	143	104	135	279	80	793	27	832	1,684	4,295
計	1,623	799	1,999	1,409	1,655	3,463	956	8,717	310	9,099	22,290	52,320

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ 利用者登録状況

(ア) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規登録者数	登録削除	総登録者数	新規団体	団体合計	総計
4	52	-	6,907	-	66	6,973
5	20	-	6,927	-	66	6,993
6	18(66)	25	6,986	-	66	7,052
7	16	4	6,998	-	66	7,064
8	14	5	7,007	-	66	7,073
9	11	4	7,014	-	66	7,080
10	34	6	7,042	-	66	7,108
11	22	3	7,061	-	66	7,127

12	6	3	7,064	-	66	7,130
1	8	6	7,066	-	66	7,132
2	13	3	7,076	-	66	7,142
3	12	3	7,085	-	66	7,151
計	226(66)	56	7,085	-	66	7,151

※( )は再発行者

※貸出カード統一化による利用者統合のため、登録の削除が実施されている。

カ 各種利用状況

(ア) 予約・リクエスト件数

(単位：件)

月	予約件数			リクエスト 件数	合計
	図書館	インターネット	合計		
4	124	2,280	2,404	4	2,408
5	110	2,276	2,386	13	2,399
6	81	2,081	2,162	17	2,179
7	91	2,141	2,232	8	2,240
8	56	2,173	2,229	6	2,235
9	60	2,211	2,271	45	2,316
10	32	2,152	2,184	26	2,210
11	65	2,265	2,330	15	2,345
12	58	2,004	2,062	1	2,063
1	52	2,438	2,490	30	2,520
2	59	2,182	2,241	-	2,241
3	77	2,568	2,645	8	2,653
計	865	26,771	27,636	173	27,809

※インターネット予約件数は、館別統計がとれないため、全館共通の数字を記載。

(イ) レファレンス件数 (レファレンス=利用者からの相談や、調査の支援)

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	計
4	34	-	-	34
5	32	-	-	32
6	39	-	-	39
7	59	4	-	63
8	61	-	-	61
9	29	-	-	29
10	47	-	-	47
11	30	-	-	30
12	41	-	-	41

1	27	-	-	27
2	51	-	-	51
3	40	-	-	40
計	490	4	-	494

(ウ) 相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	275
借受数	139

(エ) 読書室・コピー利用件数

月	読書室 （件）	コピー	
		件数（件）	枚数（枚）
4	-	-	-
5	-	-	-
6	-	-	-
7	28	-	-
8	96	-	-
9	21	2	60
10	14	1	28
11	5	2	58
12	25	2	33
1	7	5	225
2	4	-	-
3	14	-	-
計	214	12	404

(5) 都賀図書館

ア 自主事業

(ア) 幼児・児童向け事業

a おはなし会

- ・実施日 4月14日（土）、5月12日（土）、6月9日（土）、7月28日（土）、  
10月13日（土）、11月10日（土）、2月2日（土）、3月26日（火）

・実施場所 都賀図書館視聴覚室

・講師 おはなしボランティア「たんぽぽ」

・参加者 176人

b クリスマスコンサート

・実施日 12月16日（日）

・実施場所 都賀保健センター大会議室

・講師 音楽の宅配便 Vivid

・参加者 78人

イ その他の事業

(ア) リサイクル市

- ・実施期間 11月9日(金)～12月9日(日)
- ・実施場所 都賀図書館ロビー
- ・展示冊数 約4,500冊
- ・提供冊数 約2,000冊

(イ) 広報活動

- ・図書館だより
- ・イベント広報配布(都賀地域内幼稚園・保育園の子ども全員)
- ・ホームページによる広報
- ・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」(通年)

(ウ) 施設見学 (単位：人)

合戦場小3年生	64
家中小3年生	29
赤津小3年生	28
合計 3件	121

(エ) 職場体験学習 (単位：人)

都賀中2年生	1
青藍泰斗高校2年生	1
合計 2件	2

ウ 資料の状況

(ア) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	
増加数(点)	710	49	98	239	164	205	
除籍数(点)	746	20	98	190	120	23	
総数(点)	1,870	1,517	4,247	6,911	4,781	4,227	
構成比(%)	2.2	1.8	5.0	8.1	5.6	5.0	
分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計
増加数(点)	116	155	44	197	155	176	2,308
除籍数(点)	90	105	49	506	-	137	2,084
総数(点)	1,509	4,858	1,046	41,947	3,101	9,045	85,059
構成比(%)	1.8	5.7	1.2	49.3	3.7	10.6	100.0

(イ) 視聴覚資料

分類	C	D	ビデオ	DVD	合計
増減数(点)		16	-	13	29

総数(点)	1,906	1,074	212	3,192
構成比(%)	59.7	33.7	6.6	100.0

(ウ) 逐次刊行物 (単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
6	2	44	4	56

エ 貸出状況

(7) 貸出人数・貸出点数

月	開館日数	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一日平均(点)
4	23	853	37	4,275	186
5	27	918	34	4,468	165
6	26	907	35	4,507	173
7	26	995	38	4,847	186
8	27	1,165	43	5,444	202
9	26	968	37	4,610	177
10	26	871	34	4,006	154
11	26	888	34	3,853	148
12	22	790	36	3,646	166
1	24	879	37	4,084	170
2	24	845	35	4,042	168
3	27	913	34	4,696	174
計	304	10,992	36	52,478	173

(イ) 分類別貸出点数 (単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	148	57	59	148	144	342	56	214	19	1,441	1,647	4,275
5	169	44	73	167	114	314	68	260	30	1,537	1,692	4,468
6	163	38	64	140	139	325	63	261	37	1,514	1,763	4,507
7	165	41	86	141	184	298	70	342	31	1,643	1,846	4,847
8	194	51	130	174	213	374	80	459	46	1,909	1,814	5,444
9	156	48	67	137	141	330	63	293	22	1,678	1,675	4,610
10	151	37	61	100	136	324	78	217	26	1,369	1,507	4,006
11	153	32	44	105	110	319	53	264	19	1,377	1,377	3,853

12	163	35	57	99	96	266	50	228	17	1,346	1,289	3,646
1	164	40	70	126	135	384	38	301	27	1,425	1,374	4,084
2	175	49	56	141	80	356	45	280	27	1,367	1,466	4,042
3	211	38	54	152	179	423	65	339	16	1,563	1,552	4,592
計	2,012	510	821	1,630	1,671	4,055	729	3,458	317	18,169	19,002	52,374

※その他(絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料)

オ 利用者登録状況

(ア) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規登録者数	登録削除	総登録者数	新規団体	団体合計	総計
4	6	-	5,891	-	29	5,920
5	20	-	5,911	-	29	5,940
6	8	7	5,912	1	30	5,942
7	18	6	5,924	-	30	5,954
8	21	12	5,933	-	30	5,963
9	14	8	5,939	-	30	5,969
10	12	8	5,943	-	30	5,973
11	29	-	5,972	-	30	6,002
12	4	8	5,968	-	30	5,998
1	7	2	5,973	-	30	6,003
2	4	7	5,970	-	30	6,000
3	6	2	5,974	-	30	6,004
計	149	60	5,974	1	30	6,004

※貸出カード統一化による利用者統合のため、登録の削除が実施されている。

カ 各種利用件数

(ア) 予約・リクエスト件数

(単位：件)

月	予約件数			リクエスト 件数	合計
	図書館	インターネット	合計		
4	105	2,280	2,385	22	2,407
5	175	2,276	2,451	43	2,494
6	180	2,081	2,261	24	2,285
7	153	2,141	2,294	18	2,312
8	159	2,173	2,332	26	2,358
9	153	2,211	2,364	39	2,403
10	164	2,152	2,316	33	2,349
11	121	2,265	2,386	37	2,423

12	156	2,004	2,160	16	2,176
1	180	2,438	2,618	28	2,646
2	118	2,182	2,300	61	2,361
3	136	2,568	2,704	43	2,747
計	1,800	26,771	28,571	390	28,961

※インターネット予約件数は、館別統計がとれないため、全館共通の数字を記載。

(イ) レファレンス件数 (レファレンス=利用者からの相談や、調査の支援)

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	計
4	37	-	-	37
5	67	1	-	68
6	51	6	-	57
7	44	2	-	46
8	72	3	-	75
9	63	2	-	65
10	110	-	-	110
11	113	6	-	119
12	56	1	-	57
1	103	3	-	106
2	68	-	-	68
3	103	-	-	103
計	887	24	-	911

(ウ) 相互貸借 (図書館間相互協力業務)

区分	図書等資料数 (点)
貸出数	190
借受数	285

(エ) 読書室・コピー利用件数

月	読書室 (件)	コピー	
		件数(件)	枚数(枚)
4	79	4	8
5	148	5	80
6	143	4	6
7	265	3	5
8	580	4	9
9	183	3	20
10	155	5	8
11	225	4	32

12	186	6	16
1	152	2	8
2	191	4	6
3	132	1	4
計	2,439	45	202

(6) 西方分館

ア 自主事業

(7) 幼児・児童向け事業

a おはなし会

- ・実施日 毎月第3土曜日 午後2時～
- ・出演 おはなし☆きらら
- ・参加者 91人（大人26人、子ども65人）  
※4月1日(日)オープニングセレモニー時のおはなし会参加者20人を含む。
- ・よみきかせ 「大型絵本」「梅雨の季節や雨の本」ほか

b 特別版おはなし会

- ・実施日 10月20日(土)
- ・出演 ふじおかおはなし会コロポックル
- ・参加者 35人（大人22人、子ども13人）

イ その他の事業

(7) 古本リサイクル市

- ・実施期間 11月17日(土)～12月2日(日)
- ・提供冊数 252冊

(イ) 広報活動

- ・ホームページによる広報
- ・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」(通年)

ウ 資料の状況

(7) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	
増加数(点)	62	71	232	193	131	177	
除籍数(点)	-	-	-	-	-	-	
総数(点)	351	467	1,166	1,015	730	638	
構成比(%)	2.5	3.3	8.3	7.2	5.2	4.5	
分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計
増加数(点)	71	156	35	1,140	161	172	2,601
除籍数(点)	-	-	-	-	-	-	-
総数(点)	237	745	176	6,797	161	1,635	14,118
構成比(%)	1.7	5.3	1.2	48.1	1.1	11.6	100.0

## (イ) 逐次刊行物 (単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
2	1	18	1	22

## エ 貸出状況

## (7) 貸出人数・貸出点数

月	開館日数	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一回平均(点)
4	27	119	4	419	16
5	27	132	5	461	17
6	26	155	6	529	20
7	26	145	6	482	19
8	27	168	6	503	19
9	26	155	6	501	19
10	26	159	6	487	19
11	26	159	6	440	17
12	24	157	7	509	21
1	24	154	6	506	21
2	24	174	7	499	21
3	27	211	8	611	23
計	310	1,888	6	5,947	19

## (イ) 分類別貸出点数

(単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	3	6	17	6	12	10	2	14	3	153	193	419
5	2	14	10	7	9	13	10	25	4	154	213	461
6	9	10	39	6	19	28	4	24	1	168	221	529
7	20	11	24	10	10	23	8	25	3	182	166	482
8	16	8	17	12	10	25	10	24	8	223	150	503
9	24	4	19	23	11	35	16	35	16	187	131	501
10	34	6	16	23	14	29	11	27	7	194	126	487
11	36	14	15	17	15	30	6	30	8	152	117	440
12	55	10	9	18	29	42	8	33	3	140	162	509
1	50	17	22	19	21	28	10	29	5	158	147	506
2	60	12	25	26	23	36	9	27	3	146	132	499

3	35	15	45	32	16	41	8	34	5	212	168	611
計	344	127	258	199	189	340	102	327	66	2,069	1,926	5,947

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ 利用者登録状況

(ア) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規登録者数	登録削除	登録変更	総登録者数	新規団体	団体合計	総計
4	50	—	24	74	—	—	74
5	22	—	—	96	—	—	96
6	17	23	—	90	—	—	90
7	22	—	—	112	—	—	112
8	17	—	—	129	—	—	129
9	3	—	—	132	—	—	132
10	6	—	—	138	—	—	138
11	3	—	—	141	1	1	142
12	3	—	23	167	—	1	168
1	7	1	—	173	—	1	174
2	9	—	1	183	—	1	184
3	8	—	—	191	—	1	192
計	167	24	48	191	1	1	192

※貸出カード統一化により、登録の削除や登録館変更が実施されている。

(イ) 年齢別利用者登録状況

(単位：人)

年齢	新規登録者数	総数
00～16	8	8
7～12	45	47
13～15	9	9
16～18	1	1
19～22	1	2
23～29	3	3
30～39	31	33
40～49	16	20
50～59	9	14
60～60	44	54
合計	167	191

カ 各種利用件数

(ア) 予約・リクエスト件数

(単位：件)

月	予約件数			リクエスト 件数	合計
	図書館	インターネット	合計		
4	40	2,280	2,320	1	2,321
5	46	2,276	2,322	3	2,325
6	36	2,081	2,117	-	2,117
7	18	2,141	2,159	3	2,162
8	28	2,173	2,201	-	2,201
9	24	2,211	2,235	-	2,235
10	32	2,152	2,184	-	2,184
11	46	2,265	2,311	2	2,313
12	31	2,004	2,035	2	2,037
1	28	2,438	2,466	1	2,467
2	46	2,182	2,228	1	2,229
3	46	2,568	2,614	1	2,615
計	421	26,771	27,192	14	27,206

※インターネット予約件数は、館別統計が取れないため、全館共通の数字を記載。

(イ) レファレンス件数（レファレンス＝利用者からの相談や、調査の支援）

（単位：件）

月	口頭	電話	文書	計
4	38	-	-	38
5	15	-	-	15
6	10	1	-	11
7	11	-	-	11
8	22	-	-	22
9	19	-	-	19
10	21	-	-	21
11	25	-	-	25
12	15	-	-	15
1	20	-	-	20
2	30	-	-	30
3	19	-	1	20
計	245	1	1	247

(ウ) 相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	39
借受数	15

(エ) 読書室・コピー利用件数

月	読書室 (件)	コピー件数	
		件数(件)	枚数(枚)
4	-	-	-
5	1	-	-
6	5	-	-
7	10	-	-
8	8	-	-
9	1	-	-
10	5	-	-
11	3	-	-
12	8	-	-
1	1	1	1
2	6	4	9
3	7	1	11
計	55	6	21

## 第4節 スポーツ振興課

### 〔総括概要〕

スポーツ振興課の主な分掌事務は、社会体育施設（運動公園施設を除く）の設置計画及び管理運営、社会体育学校施設の開放、スポーツ振興基金の管理、生涯スポーツの普及振興、生涯スポーツ関係団体の育成及び支援、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員に関することである。

社会体育学校施設の開放については、夜間照明施設の照明施設の建設、電球交換、配電盤等の改修を行い、利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営に努めた。

生涯スポーツの普及振興については、中高年者が健康で活力に満ちた有意義な日々が送れるように各種大会を開催し、「いつでも、どこでも、だれでも」気軽に参加できるペタンク等ニュースポーツの普及推進を図った。また、小・中学生の健全育成を図るため、少年スキー教室等の開催及びスポーツ少年団活動の普及推進に努めた。

生涯スポーツ関係団体の育成及び支援については、「市民ひとり1スポーツ・スポーツで築く、健康で明るい家庭」を目指す体育協会（5地区35専門部）が実施する事業及び指導者育成を支援、推進することにより市民の競技力の向上を図った。

### スポーツ振興担当

#### 1 社会体育施設

##### (1) 施設の種類

施設名	建設年	面積（㎡）		備考
		敷地	建物	
剣道場	明治44年	437.25	163.70	木造瓦葺平屋
弓道場	昭和28年	102.47	76.00	木造瓦葺平屋
皆川東宮運動場	昭和46年	14,889.23	6.00	
柳原河川敷運動場	昭和52年	12,608.00	6.23	ブロック造WC
大光寺河川敷運動場	昭和52年	13,028.00	6.23	ブロック造WC
尻内河川敷運動場	昭和54年	5,950.00	9.91	木造平屋WC
大塚運動広場	平成2年	15,942.90	7.69	木造平屋WC
大宮運動広場	平成5年	15,257.00	21.00	木造平屋WC
大皆川ニュースポーツ広場	平成16年	11,367.00	-	
城内ニュースポーツ広場	平成18年	7,200.00	-	
屋内運動場	平成4年	3,724.23	1,062.80	鉄骨造鋼板葺平屋

## (2) 利用状況

(単位:人)

施設名 月	剣道場	弓道場	大光寺河川敷 運動場	柳原河川敷 運動場	大塚運動広場	大宮運動広場	大皆川ニュー スポーツ広場	城内ニュー スポーツ広場	屋内運動場	合計
4月	240	549	750	350	690	2,329	291	790	384	6,373
5月	258	559	750	350	780	2,858	340	870	513	7,278
6月	283	517	675	357	820	2,243	356	815	476	6,542
7月	272	298	820	350	780	2,333	377	705	511	6,446
8月	211	233	1,175	304	710	2,135	459	745	669	6,641
9月	277	423	715	385	2,760	3,269	392	855	666	9,742
10月	276	440	585	315	655	2,184	387	860	590	6,292
11月	259	360	615	315	630	3,569	371	920	545	7,584
12月	233	314	625	385	740	2,103	212	810	412	5,834
1月	215	340	580	315	650	1,793	311	745	597	5,546
2月	283	304	560	280	705	2,013	384	880	958	6,367
3月	303	324	715	350	1,060	2,445	425	790	731	7,143
合計	3,110	4,661	8,565	4,056	10,980	29,274	4,305	9,785	7,052	81,788
平均	259	388	714	338	915	2,440	359	815	588	6,816

## 2 学校屋外運動場夜間照明施設関係

## (1) 利用状況

(単位:件)

学校名 月	栃木中央小	栃木第三小	栃木第五小	南小	皆川城東小	栃木東中	東陽中	吹上中	寺尾中	栃木商業高校	栃木高校	合計
4月	-	13	12	17	-	8	8	1	-	4	2	65
5月	-	9	8	19	-	7	10	5	-	4	2	64
6月	-	16	11	16	-	9	11	2	1	3	2	71
7月	-	15	9	21	4	11	12	5	2	5	3	87
8月	-	8	8	15	3	13	10	5	2	6	1	71
9月	-	11	10	22	-	5	7	1	-	7	4	67

10月	-	12	10	18	-	10	9	2	1	5	3	70
11月	-	9	13	23	-	11	8	2	1	6	2	75
12月	-	7	9	18	-	10	7	-	-	-	3	54
1月	-	6	6	19	-	9	5	-	-	1	3	49
2月	-	8	9	21	-	9	5	1	-	4	2	59
3月	-	10	10	23	-	12	8	2	-	7	2	74
合計	-	124	115	232	7	114	100	26	7	52	29	806
平均		11.8	9.6	19.0	0.6	9.5	8.3	2.2	0.6	4.3	2.4	67.2

※中央小の夜間照明施設は、校舎建替に伴う照明施設設置工事のため貸し出しせず。

(2) 施設

種別 学校名	被照明面積 (㎡)	平均照度 (ルクス)	照 明 柱	完 成 年 度
栃木中央小	4,500	224	5基 8灯－5基	平成24年 8月
栃木第三小	4,556	159	6基 6灯－2基 8灯－4基	昭和57年 6月
栃木第五小	4,500	107.6	5基 6灯－2基 4灯－3基	昭和55年10月
南 小	5,142.5	228	7基 6灯－3基 8灯－4基	昭和59年 8月
皆川城東小	6,375	138	8基 7灯－4基 6灯－4基	昭和57年 6月
栃木東中	8,500	115	7基 7灯－2基 6灯－5基	昭和56年10月
東陽中	9,100	120	7基 7灯－7基	昭和56年10月
吹上中	4,900	210	6基 6灯－2基 8灯－4基	昭和56年 8月
寺尾中	3,724	108.3	6基 4灯－6基	昭和55年10月

3 県民スポーツ大会中央大会関係

平成24年度栃木県民スポーツ大会

- ・実施日 10月21(日)、28日(日)、2月10日(日)
- ・参加者 260人
- ・会 場 県総合運動公園ほか23会場
- ・結 果 総合第三位

#### 4 県南五市大会関係

開催日	事業名	参加者(人)	会場
6月24日(日) 7月1日(日)	第66回県南五市対抗親善総合競技大会	338	総合運動公園 大平体育館 西方総合文化体育館 國學院大學栃木高校 ニッコー栃木総合射撃場
1月14日(月)	第63回県南五市対抗親善駅伝競走大会	100	小山→足利
2月18日(月)	第60回県南四市対抗親善スキー大会	25	だいくらスキー場

#### 5 国民体育大会

##### (1) 第67回国民体育大会本大会

- ・実施期間 9月29日(土)～10月9日(火)
- ・開催地 岐阜県
- ・参加者

No.	種目	氏名	備考
1	陸上	伊藤 哲二	少年監督
2	陸上	中島 大輔	少年男子選手
3	陸上	中野 怜奈	少年女子選手
4	陸上	塩谷 滯	成年女子選手
5	サッカー	瀧澤 進吾	成年男子選手
6	サッカー	岩城 正明	成年男子選手
7	サッカー	渡辺 了介	成年男子選手
8	サッカー	安間 ム月	成年男子選手
9	サッカー	長 成道	成年男子選手
10	ボート	五月女 尚宏	成年男子選手
11	ボクシング	小松 雅彦	成年男子選手
12	体操	佐藤 晴美	少年女子監督
13	体操	佐藤 亜希穂	少年女子選手
14	ウエイトリフティング	須田 俊幸	成年男子監督
15	ウエイトリフティング	田中 孝明	成年男子選手
16	ウエイトリフティング	飯塚 崇亮	成年男子選手
17	自転車	早乙女 貴英	少年男子選手
18	軟式野球	磯 恵太	成年男子選手
19	軟式野球	大橋 宏幸	成年男子選手
20	軟式野球	生井 亮太	成年男子選手
21	フェンシング	星野 貴智	成年男子選手
22	柔道	神尾 啓太	少年男子選手
23	弓道	関根 清隆	成年男子監督兼選手
24	弓道	小矢 島貴皓	成年男子選手

25	ラグビーフットボール	吉岡肇	少年男子監督
26	ラグビーフットボール	木田大雅	少年男子選手
27	ラグビーフットボール	金井駿	少年男子選手
28	ラグビーフットボール	吉岡航太郎	少年男子選手
29	ラグビーフットボール	出井三四郎	少年男子選手
30	ラグビーフットボール	尾又寛汰	少年男子選手
31	ラグビーフットボール	梶原僚太	少年男子選手
32	ラグビーフットボール	小野結也	少年男子選手
33	ラグビーフットボール	井上剛志	少年男子選手
34	ラグビーフットボール	宮下承	少年男子選手
35	ラグビーフットボール	谷嶋俊太	少年男子選手
36	ラグビーフットボール	綿引真人	少年男子選手
37	ラグビーフットボール	山士家均	少年男子選手
38	クレー射撃	味村貴行	成年選手
39	なぎなた	増山和甫	成年女子選手
40	なぎなた	早乙女美樹	少年女子選手

## 6 栃木地区市民スポーツ大会

市民一人ひとりが生涯にわたって明るく活力に満ちた生活を送ることは、私たちの願いである。そのために、生涯スポーツの推進と市民の健康の増進と体力の増強を図り、明朗にして連帯感あふれるふるさと栃木をつくることを目的に大会を開催した。

実施日	競技種目	参加者(人)	会場
8月19日(日)	軟式野球(社会人,学童) フットベースボール(一般女子,学童) ソフトボール(壮年男子,一般女子)	2,083	総合運動公園 各競技場
25日(土)	卓球(硬式,ラージボール)		
26日(日)	バレーボール(一般女子)、ゲートボール		
	ソフトテニス、テニス		
	グラウンド・ゴルフ		
	ターゲット・バードゴルフ		
	ソフトバレーボール(一般女子,男女混合)		

## 7 宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボールin栃木

市民のスポーツライフは、スポーツを楽しむ、健康や体力づくりを行うスポーツを通じて交流を深める、自己実現を図るなど、スポーツを行う目的は様々である。

こうしたなか、「地域間の交流」を望む声が聞かれることから、新市の一体感を醸成するスポーツ交流を実施するため開催した。

- ・実施日 12月2日(日)
- ・会場 総合運動公園硬式野球場,総合体育館
- ・参加選手 金田正一,張本勲,村田兆治,仁志敏久,ほか20人(敬称略)

- ・主なイベント 少年少女野球教室(受講者：小中学生408人)  
ふれあい講演会(講師：金田正一氏、参加者333人)  
ドリームゲーム(市選抜チームと対戦、入場者：5,872人)

## 8 生涯スポーツ推進事業

小中学生の健全な育成を図ることを目的とした「少年スポーツ振興事業」と、中高年が健康で豊かな生活を確保することを目的とした「中高年スポーツ振興事業」の2つを生涯スポーツ推進事業として、下記の各種スポーツ教室等を開催した。

### (1) 少年スポーツ振興事業

教室名	開催期日	会場	受講者(人)
サッカー	4月14日, 21日, 11月10日, 17日 各日(土)	総合運動公園	延べ280
陸上競技	10月13日, 27日, 11月3日, 17日 各日(土)	陸上競技場	延べ120
ラグビー	11月3日～12月8日の各週土曜日	永野川緑地公園	延べ240
スキー	1月19日(土)～20日(日)	たかつえスキー場	97

行事名	開催期日	会場	参加者(人)
第33回栃木市小・中学校 ハンドボール大会	2月16日(土) 17日(日)	國學院大學高校第二体育館	400

### (2) 中高年スポーツ振興事業

行事名	開催期日	会場	参加者(人)
第33回栃木市 ゲートボール大会	5月16日(水)	総合運動公園	110

## 9 栃木市スポーツリーダーバンク

市民の健康づくり、体力づくりに対する関心の高まりとともに、増大する地域や職域からの指導養成に対応して適切なスポーツ活動指導者を派遣し、「市民の体力増進と地域の連帯感あふれる明るく健康なまちづくり」を推進するため設置されたスポーツリーダーバンクの業務を行った。

スポーツリーダーバンク登録種目及び登録者数 (単位：人)

種目	人数	種目	人数	種目	人数
バレーボール	3	剣道	1	グラウンドゴルフ	8
バスケットボール	2	空手道	4	水泳	3
スキー	2	テニス	4	ターゲットバードゴルフ	1
弓道	2	太極拳	7	山岳	1
ゲートボール	1	陸上競技	4	野外活動	1
サッカー	3	フォークダンス	6	ボールルームダンス	1

## 10 栃木市体育協会事業

### (1) 総合大会

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月24日(日) 7月1日(日)	第66回県南五市対抗親善総合競技大会	480	総合運動公園ほか
10月21日,28日 2月10日 各日(日)	平成24年度栃木県民スポーツ大会	260	宇都宮市 栃木市

(2) 体育祭

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
9月2日(日)	平成24年度国府地区体育祭	2,000	大塚運動広場
9月2日(日)	平成24年度大宮地区体育祭	1,000	大宮運動広場
9月9日(日)	第54回吹上地区体育祭	4,500	吹上中
9月29日(土)	平成24年度赤麻地区民体育祭	400	赤麻小
9月29日(土)	平成24年度三鴨地区民体育祭	400	三鴨小
10月7日(日)	第63回寺尾地区体育祭	700	寺尾中
10月7日(日)	第43回第二支部体育祭	100	栃木中央小
10月7日(日)	第55回大平地区体育祭	2,500	大平運動公園

(3) 野球

開催期日	行事名	参加者数	場所
4月1日(日) ～8日(日)	第2回栃木市春季学童軟式野球大会	580	総合運動公園 大平運動公園 つがスポーツ公園 藤岡渡良瀬運動公園
4月1日(日) ～5月27日(日)	第2回春季栃木市軟式野球大会(A・B・C・Dクラス)	2,220	
5月12日(土) ～20日(日)	第56回高松宮賜杯全日本軟式野球大会2部	940	
5月27日(日) ～6月10日(日)	第2回栃木市春季壮年軟式野球大会	160	
6月3日(日) ～7月22日(日)	第2回栃木市体育協会長杯軟式野球大会1部	880	
6月3日(日) ～7月22日(日)	第2回栃木市体育協会長杯軟式野球大会2部	960	
6月16日(土) ～6月24日(日)	第2回栃木市学童軟式野球大会	520	
7月1日(日)	第66回県南五市対抗親善総合競技大会	100	
8月12日(日) ～16日(木)	第29回マクドナルドカップ町内選抜学童軟式野球大会	1,160	
8月19日(日) ～26日(日)	第27回栃木地区市民スポーツ大会社会人軟式野球	360	
8月25日(土) ～26日(日)	第27回栃木地区市民スポーツ大会学童軟式野球	200	

9月8日(土) ～26日(水)	第2回栃木市新人学童軟式野球大会	480
9月2日(日) ～11月11日(日)	第2回秋季栃木市軟式野球大会(A・B・C・Dクラス)	1,880
10月14日(日) ～11月11日(日)	第2回栃木市秋季壮年軟式野球大会	240
10月20日(土) ～11月3日(土)	第9回蔵の街学童軟式野球大会	700
3月9日(土) ～10日(日)	栃木市・新発田市スポーツ少年団交流会	50
3月24日(日) ～3月31日(日)	第3回春季栃木市軟式野球大会(A・B・C・Dクラス)	2,400
3月30日(土) ～3月31日(日)	第3回栃木市春季学童軟式野球大会	520

(4) 剣道

開催期日	行事名	参加者数	場所
8月26日(日)	第32回栃木地区少年剣道錬成大会	350	大平体育館
9月30日(日)	第59回近県剣道大会	1,200	総合体育館
12月2日(日)	第56回東武日光沿線三市親善剣道大会	120	鹿沼フォレストアリーナ
2月3日(日)	栃木市民剣道選手権大会	250	國學院記念館
	隣接支部対抗剣道大会	80	

(5) 柔道

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
11月4日(日)	第32回大平町少年柔道クラブ柔道大会	32	大平武道館
11月23日(金)	第28回栃木市少年柔道大会	67	
3月24日(日)	第3回わたらせ錬成柔道大会	75	大柵コミュニティセンター
	第13回都賀町少年少女柔道大会	90	

(6) バスケットボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月8日(日) ～5月13日(日)	第14回栃木市バスケットボールリーグ戦	480	栃木南中 ホコミュニティセンター
7月27日(金) ～8月8日(水)	第5回蔵の街杯ミニバスケットボール大会	480	総合体育館
11月11日(日) ～25日(日)	第38回栃木市民バスケットボール選手権大会	210	総合体育館

(7) 陸上

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月21日(土) ～22日(日)	全国小学生陸上競技競技大会栃木・小山予選会	250	陸上競技場
5月13日(日)	第16回下都賀ジュニア陸上大会	200	

6月17日(日)	第28回全国小学生陸上競技交流大会栃木県予選会	700	陸上競技場
8月18日(土)	市民スポーツ大会	500	
8月24日(金) ～25日(土)	第28回全国小学生陸上競技交流大会	1,000	横浜日産スタジアム
11月25日(日)	全国小学生クロスカントリー研修大会栃木県予選会	150	陸上競技場
12月1日(土)	第3回栃木市長距離走大会	23	
1月1日(火)	第37回栃木市元旦マラソン大会	450	
1月14日(月)	第63回県南五市対抗親善駅伝競走大会	100	小山→足利
1月27日(日)	第54回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会	30	宇都宮⇄栃木
2月11日(月)	第57回太平山廻遊駅伝競走大会	400	太平山

(8) 卓球

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月30日(月)	第5回北関東中学生卓球大会	900	総合体育館
5月19日(土)	第55回栃木市卓球選手権大会(小中学生の部)	400	
5月20日(日)	第54回栃木市卓球選手権大会(一般の部)	300	
7月14日(土)	第11回とちぎ蔵の街オープンラージボール卓球大会	400	
7月15日(日)	栃木卓球リーグ(前期)	600	
8月12日(日)	第19回とちぎ蔵の街オープン硬式卓球大会	250	
9月23日(日)	第26回あすなろ卓球大会	850	
10月13日(土)	第14回ラージボール愛好者フェスティバル	120	

(9) ソフトテニス

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月6日(日)	栃木市民ソフトテニス選手権大会(一般男子・女子)	72	総合運動公園
5月19日(土)	栃木市民ソフトテニス選手権大会(中学生)	304	
5月24日(木)	第1回栃木市シニアオープンソフトテニス大会(男子・女子)	78	
6月16日(土)	第33回家庭婦人ソフトテニス大会	24	
10月6日(土)	第38回栃木地区中学新人ソフトテニス大会	316	
11月3日(土) ～4日(日)	第62回近県高校新人ソフトテニス選手権大会	1,012	
3月16日(土) ～17日(日)	近県高校ソフトテニス大会(男子団体戦)	300	

(10) 射撃

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月24日(日)	第66回県南五市対抗親善総合競技大会 射撃	16	ニッコー栃木総合射撃場
10月21日(日)	県民スポーツ大会ビームライフル	6	県立県北体育館
10月28日(日)	県民スポーツ大会クレー射撃	9	ニッコー栃木総合射撃場

## (11) テニス

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月8日(日)	栃木市テニス大会(春季シングルス)	43	総合運動公園
5月6日(日)	西方地区春季テニス大会	12	西方テニスコート
5月27日(日)	栃木市テニス大会(春季ダブルス)	60	総合運動公園
6月6日(水)	あじさい杯テニス大会	102	
7月8日(日)	第3回つがオープンテニス大会	64	つがスポーツ公園
8月11日(土)	栃木市ジュニア大会	46	総合運動公園
9月30日(日) ～10月7日(日)	栃木市オープンシングルステニス大会	94	
10月14日(日)	西方地区秋季テニス大会	12	つがスポーツ公園
10月27日(土)	栃木市ジュニア大会	45	総合運動公園
11月7日(水)	もみじ杯テニス大会	100	
12月8日(土) ～9日(日)	第16回栃木市藤岡渡良瀬近県テニストーナメント	70	藤岡渡良瀬運動公園

## (12) バレーボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月20日(日)	栃木市春季家庭婦人バレーボール大会	150	大平体育館
5月20日(日)	西方地域春季バレーボール大会	90	西方総合文化体育館
6月3日(日)	栃木市春季ソフトバレーボール大会	256	大平・大平南体育館
6月10日(日)	栃木市長杯争奪バレーボール大会	75	都賀南部コミュニティーセンター
6月24日(日)	栃木市家庭婦人バレーボール大会	90	大平体育館
7月8日(日)	西方地域七夕杯バレーボール大会	90	西方総合文化体育館
9月9日(日)	栃木市秋季家庭婦人バレーボール大会	120	大平体育館
9月23日(日)	大平地域自治会対抗バレーボール大会	170	
10月7日(日)	栃木市秋季ソフトバレーボール大会	216	総合体育館
10月14日(日)	栃木市6人制バレーボール大会	105	都賀南部コミュニティーセンター
10月28日(日)	栃木市選手権婦人バレーボール大会	90	大平体育館
11月3日(土)	栃木市中学生バレーボール選手権大会	288	都賀中体育館ほか
11月4日(日)	栃木市バレーボール選手権大会	90	都賀南部コミュニティーセンター
11月18日(日)	西方地域秋季バレーボール大会	105	西方総合文化体育館
12月2日(日)	藤岡わたらせソフトバレーボール大会	300	藤岡総合体育館

## (13) 相撲

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月3日(日)	第45回青少年相撲大会	175	栃木東中

## (14) 弓道

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
7月1日(日)	第66回県南五市対抗親善弓道大会	15	総合運動公園

7月22日(日)	第31回栃木市民弓道大会	106
10月8日(月)	第20回栃木蔵の街県下弓道大会	144

(15) 山岳

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
7月1日(日)	第102回市民ハイキング	28	長野県水ノ塔・籠ノ登山

(16) 水泳

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
9月2日(日)	第30回栃木市民水泳大会	189	総合運動公園

(17) スキー

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
1月4日(金)	都賀町親子スキー・スノーボード教室	60	ハンターマウンテン
1月26日(土)	藤岡スキー教室	30	苗場スキー場
2月2日(土)	市民スキー祭	65	エーデルワイススキー場
2月18日(月)	第60回県南四市対抗親善スキー大会	25	だいくらスキー場
3月2日(土)	大平スキー祭	150	

(18) サッカー

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
3月～9月	栃木市社会人サッカーリーグ	80	総合運動公園
4月29日(日)	栃木市小学生サッカー春季大会	80	
7月28日(土) ～29日(日)	蔵の街小学生サッカーフェスティバル蔵の街カップ2012	240	
10月28日(日)	第9回J Cカップ少年サッカー大会	150	
11月11日(日) ～12月9日(日)	栃木市社会人サッカー選手権大会	42	
12月2日(日)	栃木市サッカーフェスティバル	80	
12月22日(土) ～28日(金)	蔵の街高校サッカーフェスティバル	800	
1月13日(日) ～2月24日(日)	栃木市社会人サッカートーナメント	80	
3月2日(土) ～10日(日)	第25回栃木ライオンズクラブ旗争奪中学生サッカー大会	300	

(19) ハンドボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
12月8日(土) ～9日(日)	栃木市民選手権ハンドボール大会	250	日立体育館
2月16日(土) ～17日(日)	第34回栃木市小中学校ハンドボール大会	400	國學院栃木高校体育館

## (20) フットベースボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月4日(金) ～5日(土)	第13回栃木市学童春季フットベースボール大会 第15回学童キック大会	244	総合運動公園
5月6日(日)	第2回栃木市春季一般女子フットベースボール大会	102	
5月13日(日) ～27日(日)	第29回栃木市スポーツ少年団フットベースボール大会	130	
7月8日(日) ～16日(月)	第58回栃木市学童フットベースボール大会 第16回学童キック大会	241	
8月19日(日) ～26日(日)	第27回栃木市民スポーツ大会 学童・一般女子	279	
9月9日(日)	第16回セントラルライオンズ杯大会	204	
9月22日(土) ～10月7日(日)	第11回関東フットベースボール大会栃木予選会	206	
9月30日(日)	第23回栃木市一般女子フットベースボール大会	100	
10月7日(日) ～8日(月)	第29回栃木市スポーツ少年団フットベースボール新人大会	140	
10月14日(日) ～21日(日)	第29回栃木市学童フットベースボール新人大会 第17回学童キック大会	135	
11月11日(日)	第11回関東女子フットベースボール大会	290	東京都羽村市

## (21) 体操

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
10月15日(月)	第41回市民体操選手権大会	20	東陽中

## (22) バドミントン

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月27日(日)	第36回栃木市春季バドミントン大会	92	総合体育館
7月29日(日)	第69回栃木市会長杯バドミントン大会	196	
9月16日(日)	第36回栃木市秋季バドミントン大会	126	

## (23) ゴルフ

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
9月16日(日)	第3回市民ゴルフ大会	260	都賀カンツリー倶楽部

## (24) 空手道

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
8月26日(日)	第2回栃木市民空手道選手権大会	110	総合体育館

## (25) ラグビーフットボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
7月7日(土)	第20回栃木市ラグビー祭	120	総合運動公園
2月3日(日)	北関東カップ大会	160	

## (26) ソフトボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月29日(日) ～6月10日(日)	第30回会長杯ソフトボール大会	1,200	総合運動公園
5月13日(日)	第2回栃木地支部大会(都賀,大平,藤岡,西方,栃木)	125	藤岡渡良瀬運動公園
7月22日(日) ～8月12日(日)	第28回ナイター杯ソフトボール大会	275	南小・皆川城東小
8月19日(日) ～26日(日)	栃木地区市民スポーツ大会	375	総合運動公園
9月2日(日) ～10月14日(日)	第31回栃木市長杯ソフトボール大会	1,125	
9月22日(土)	第1回栃木県スーパーシニアソフトボール大会	125	藤岡渡良瀬運動公園

## (27) ゲートボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月12日(木)	第16回両毛地区親善ゲートボール大会	160	総合運動公園
4月26日(木)	第29回春のオープンゲートボール大会 第26回交通安全ゲートボール大会	150	
5月16日(水)	第33回栃木市教育委員会ゲートボール大会	110	
6月21日(木)	第47回栃木支部親善ゲートボール大会	150	
7月1日(日)	第66回県南五市対抗ゲートボール大会	150	
8月19日(日)	第27回栃木市民スポーツ大会	95	
9月1日(土)	第26回北関東ゲートボール大会	450	塩原運動公園
10月17日(水)	第28回秋のオープンゲートボール大会	150	総合運動公園
10月30日(火)	第48回栃木支部親善ゲートボール大会	140	壬生町総合運動場

## (28) 太極拳

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月30日(土)	第13回栃木市太極拳交流大会	260	総合体育館

## (29) サイクリング

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月～9月	おはようサイクリング	384	市内
6月～10月	遠乗りサイクリング	87	壬生町・岩舟町

## (30) グラウンド・ゴルフ

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月6日(金)	第2回定期総会交歓交流大会	384	大平運動公園 グラウンド・ゴルフ場
5月25日(金)	第2回栃木市交流大会	419	
9月10日(月)	第2回栃木市長杯大会	474	
10月26日(金)	第21回栃木市レディース大会	242	つがスポーツ公園

11月13日(火)	第21回栃木市ペア大会	376	藤岡渡良瀬運動公園
-----------	-------------	-----	-----------

(31) レクリエーション

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月29日(日)	太平山周辺ハイキング	64	大中寺
7月14日(土)	「おやこ元気アップ事業!!」PART I(文科省委託)	34	大平体育館
11月10日(土)	「おやこ元気アップ事業!!」PART II	6	大平南体育館
1月19日(土)	「おやこ元気アップ事業!!」PART III(ドッジボール)	116	大平体育館

(32) フォークダンス

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月6日(水) ～7月11日(水)	レクリエーションダンス初心者講習会	33	都賀公民館
6月8日(金)	第54回全国フォークダンス巡回講習会	200	都賀体育館

(33) ウェイトリフティング

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月4日(月)	第1回ウェイトリフティング部記録挑戦会	15	大平運動公園
11月3日(土)	第2回ウェイトリフティング部記録挑戦会	15	

(34) ラージボール卓球

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
12月4日(火) ～18日(火)	藤岡ラージボールクラブリーグ戦	30	藤岡総合体育館

(35) リバースポーツ

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月4日(月)	小山市アルカディア・カヌー教室	15	谷中湖
6月22日(金) ～9月23日(日)	カヌー・カヤック体験	136	藤岡小・総合運動公園プール
8月19日(日)	カヌー・カヤック川下り	15	谷中湖

(36) その他

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月12日(木) ～13日(金)	都賀地区G G観桜大会	32	那須烏山市
5月20日(日)	第30回わたらせ市民射撃大会	32	ニッコー栃木総合射撃場
5月21日(月) ～12月10日(月)	G G交流大会	224	西方北グラウンド
7月26日(木)	都賀地区G G夏季コンペ	37	都賀市民運動場
9月1日(日)	都賀地区T B G大会	248	つがスポーツ公園
11月10日(土) ～11日(日)	第20回わたらせソフトボール大会	200	藤岡渡良瀬運動公園
11月20日(火)	第4回都賀地区G G交歓大会	77	都賀市民運動場

12月2日(日)	第31回大平地区マラソン大会	398	大平運動公園・日立周辺
12月2日(日)	第29回わたらせバレーボール大会	200	藤岡一中
12月8日(土)	第5回わたらせ招待小学生女子バレーボール大会	150	藤岡総合体育館
12月8日(土) ～9日(日)	第16回わたらせ近県テニストーナメント	100	藤岡渡良瀬運動公園
2月17日(日)	第12回都賀地区綱引き大会	100	都賀体育センター

G G . . . . グラウンド・ゴルフ

T B G . . . . ターゲット・バードゴルフ

## 11 栃木市スポーツ少年団関係

### (1) 事業報告

開催期日	事業名	会場	備考
4月21日(土) ～22日(日)	栃木県スポーツ少年団軟式野球交流大会地区予選会	壬生町総合運動場	6団参加
5月13日(日)	栃木県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会市予選大会	睦小・壬生小(壬生町)	4団参加
5月13日(日) ～27日(日)	第29回栃木市スポーツ少年団フットベースボール大会	総合運動公園	8団参加
6月14日(木)	栃木市スポーツ少年団総会	栃木文化会館	
6月19日(火)	栃木県スポーツ少年団バレーボール交流大会市予選会	アリーナたぬま(佐野市)	2団参加
8月26日(日)	栃木市空手道選手権大会	総合体育館	3団参加
9月29日(土)	栃木県スポーツ少年団剣道交流大会市予選会	大平武道館	5団参加
10月7日(日) ～8日(月)	第29回栃木市スポーツ少年団フットベースボール新人大会	総合運動公園	8団参加

### (2) 登録人数表

種目	団数 (団体)	指導者数 (人)	団員数(人)		
			男子	女子	合計
フットベースボール	8	31	-	121	121
剣道	5	25	49	22	71
空手道	4	10	53	29	82
卓球	1	3	16	17	33
バレーボール	2	5	-	21	21
柔道	2	6	19	2	21
野球	6	24	92	2	94
サッカー	1	6	20	2	22
ミニバスケットボール	4	12	25	29	54
合計	33	122	274	245	519

## 第5節 文化課

### 〔総括概要〕

文化課の主な分掌事務は、文化振興関係事業、文化財保護関係事業及び学芸推進関係事業である。

文化振興関係では、本市の文化芸術の基本的な考えを示し、体系的な施策の展開を図るため文化振興計画の策定を進めた。また、本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰するとともに、少年少女の情操教育に資することを目的として、栃木市俳句協会及び山本有三記念会との共催により、第22回山本有三記念「路傍の石」俳句大会を実施した。さらに、各種文化団体が開催する展覧会・演奏会の後援等を行い、その活動を支援した。

文化財保護関係では、埋蔵文化財の保護、指定文化財の管理強化、文化財の調査、文化財の資料収集保管、文化財愛護の啓発イベントなどを開催した。また、市内にある文化財保護施設の管理運営等を行った。特に、年々増加する開発に対して調査・回答の充実を図った。

学芸推進関係では、平成21年4月から指定管理者制度を導入したとちぎ蔵の街美術館、栃木文化会館については、民間事業者の能力を活用して地域住民に対するサービス向上に努めるとともに、各種企画展、展覧会や講演会等の付帯催事、公演、イベント等の事業を開催して市民の知識及び教養の向上に努めた。また、市の芸術文化を市民に紹介するため、市ゆかりの美術工芸作品を購入した。レオナルド・ダ・ヴィンチ関係では、栃木図書館にパリ手稿、マドリット手稿等のファクシミリ版を、藤岡歴史民俗資料館にパラシュート、ヘリコプター等の模型をそれぞれ展示するとともに、小・中学生を対象としたワーク・ショップを開催した。喜多川歌麿関係では、「品川の月」の高精細複製画の完成を記念したシンポジウムを開催し、市の歌麿を中心とした文化・芸術のまちづくりについて、広く市内外に周知するとともに、歌麿と栃木の関わりについて、より多くの方々に知っていただくため、市民団体等と協働で歌麿まつりを開催した。

大平文化会館では、文化振興関係事業において市内4校の小学6年生を対象にプロの演奏家が学校に出向き交流活動やコンサートを開催し、子供たちに音楽文化の振興を図った。また、地域の伝統文化の継承に努めるとともに、文化祭や納涼祭等を開催して芸術・文化活動の推進を図り、文化会館の独自の自主事業を展開し、文化振興に努めた。

藤岡文化会館では、自主事業として郷土の民話語りやハンドベルの演奏会のほか、谷村新司コンサートの際に地元の小学生が共演するなど、地域の方に身近に楽しんでいただける事業を展開し、文化振興に努めた。また、文化祭を開催して芸術・文化活動のさらなる推進を図った。

都賀文化会館では、芸術文化振興関係事業の推進において、市民参加型事業として、ピアノ、ステージの無料開放や地域の芸術活動団体の協力によるロビーコンサート等の開催や一流芸能人による舞台公演、並びに話題の映画会など、幅広い事業

を展開し、世代を超えた芸術文化の振興に努めた。

文化振興担当

1 文化振興関係

(1) 栃木市文化振興計画策定

本市の文化芸術の基本的な考えを示し、体系的な施策の展開を図るため策定部会、検討委員会を組織し文化振興計画の策定を進めた。24年度は、市民の文化芸術等に対する意識や考え方などを把握するため市民アンケート調査を実施した。

ア 文化振興計画策定部会

栃木市総合計画に係る教育委員会内関係課等の職員により構成し、計画の素案及び市民アンケート調査票の素案を作成した。

イ 文化振興計画検討委員会

学識経験者、文化芸術関係団体や社会教育団体の代表者、公募委員等により構成し、市民アンケート調査票を作成するとともに、計画の素案を検討した。

ウ 市民アンケート調査の実施

市内に住所を有する満18歳以上の方3,000人を対象として、郵送により配付・回収した。

- ・調査期間 1月25日（金）～2月12日（火）
- ・回収結果 有効回収数1,371件（回収率：45.7%）

(2) 栃木市ふるさと文化振興基金

本市の美しく豊かな自然環境と優れた多くの文化遺産を保護し、豊かな芸術文化を育てるため、栃木市ふるさと文化振興基金を設置し、市民からの協力をお願いしている。

・栃木市ふるさと文化振興基金状況 (単位：円)

個人からの寄附	4人	寄附金額	1,141,000
団体からの寄附	5団体	寄附金額	445,000
		計(A)	1,586,000
		基金利子	78,984
		繰出金※	△8,800,000
		計(B)	△8,721,016
		小計(A+B)	△7,135,016
		前年度基金額(C)	57,853,104
		基金合計(A+B+C)	50,718,088

※繰出金内訳：喜多川歌麿『品川の月』複製画の製作費、美術作品の購入費(2点)、栃木市史料調査研究費

(3) 第22回山本有三記念「路傍の石」俳句大会

本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰するとともに、俳句を通して少年少女の情操教育に資することを目的として、栃木県内及び友好親善都市である北海道滝川市の小

中学校の児童生徒を対象に実施した。

- ・ 栃木市俳句協会及び特定非営利活動法人山本有三記念会との共催
- ・ 応募総数 15,435句

期 日	場 所	内 容
6月上旬～9月上旬	—	作品募集
8月3日（金）	正庁C・D	審査員打合せ会
9月上旬～11月上旬	第2会議室	31人の審査員による審査（第1次、第2次、本選）
11月11日（日）	国府公民館 大交流室ほか	俳句大会表彰式、こども俳句教室

(4) その他の芸術・文化振興関係事業

ア 後援関係

各種文化団体の開催する展覧会、演奏会、発表会等を後援した。

イ 県立博物館等の宣伝等

県立博物館その他の施設からの催物パンフレット・ポスター等の配布・掲示及び  
広報紙への掲載を行った。

ウ 栃木文化祭

- ・ 実施期間 9月～12月
- ・ 場 所 栃木文化会館ほか
- ・ 内 容 9月26日のオープニングの集いを皮切りに、31の催しが栃木文化  
会館を主会場に盛大に行われた。

エ 第37回栃木県文化振興大会

第37回栃木県文化振興大会に参加した。

- ・ 実施日 2月7日（木）
- ・ 場 所 那須野が原ハーモニーホール
- ・ 内 容 「地域文化の振興を目指して」のテーマのもと、県文化協会や県とと  
もに本市教育委員会及び担当地域の文化協会等が主催者の一員とな  
り、ウェルカムコンサート、記念式典、アトラクション、作品展及び  
呈茶等を行った。大会は県民・文化行政関係者・各市町文化協会員、  
出演者・スタッフ等、多くの方が参加・関与して、盛大に行われた。

2 文化財保護関係

(1) 市文化財保護審議会関係

開催日	場 所	内 容
3月22日（金）	栃木文化会館中会議室	・ 文化財保護交付金について ・ 市指定文化財しめじが原の保存管理について ・ 都賀町華厳寺関連資料の調査について

(2) 文化財保護関係

- ア 大平地域の埋蔵文化財の登録、周知
- イ 遺跡詳細分布調査（都賀・西方地域）

- ・発見した遺跡総数  
都賀地域 158遺跡 西方地域 55遺跡
- ウ 埋蔵文化財試掘調査（牛久境遺跡 大平町牛久地内）
- エ 埋蔵文化財照会、問い合わせ
  - ・照会件数 704件
  - ・発掘届け出件数 33件
  - ・現地立会件数 23件
- オ 指定文化財説明板の修繕 1件
- カ 観音堂自動火災報知設備設置工事
- キ おおひら郷土資料館（戸長屋敷）の屋根改修工事（カヤ葺き替え）
- ク 岡田家所蔵岡田嘉右衛門文書の翻刻
  - ・『栃木の在村記録幕末維新期の胎動と展開』第1巻販売開始、第2巻翻刻
- ケ 郷土芸能調査・用具等修理補助
- コ 市指定文化財修理費補助
  - ・近龍寺本堂 ほか4件
- (3) 文化財保護施設関係
  - ア 下野国庁跡資料館
    - 発掘された実物の瓦・漆紙文書、下野国印（推定）、木簡のレプリカ、下野国庁復元模型ほかやりがんな槍 鉋等の古代の大工道具等を展示している。
    - ・開館日数 252日
    - ・入館者数 2,037人
  - イ 栃木市郷土参考館
    - 郷土の産業・教育・日常生活資料、文化財等を展示している。
    - ・開館日数 284日
    - ・入館者数 10,571人
  - ウ 星野遺跡地層たんけん館・憩の森
    - 星野遺跡のEトレンチの地層を展示しているほか、出土した石器等を展示している。
    - ・開館日数 310日
    - ・入館者数 5,320人
  - エ 藤岡歴史民俗資料館
    - 篠山貝塚、藤岡神社遺跡、山王寺大柵塚古墳出土遺物、田中正造、旧谷中村などの資料を展示している。
    - ・開館日数 307日
    - ・入館者数 2,218人
    - 調査・回答件数 165件、団体案内 15件、資料閲覧 2件、資料貸与 1件、資料受入 4件、埋蔵文化財照会 8件
    - ほか、喜多川儀平家文書の目録作成、長谷川建夫家文書の翻刻作業を実施した。
  - オ おおひら歴史民俗資料館・おおひら郷土資料館（戸長屋敷）
    - 国指定重要文化財の下野七廻り鏡塚古墳出土品を中心に大平地域からの出土遺物

などを展示している。

- ・開館日数 306日
- ・入館者数 8,455人（内、有料入館者 6,286人）

事業名	実施日	参加者数（人）
県民の日協賛無料開放	6月9日（土）10日（日）	193
夏期イベント「昆虫探検隊」	8月11日（土）	24
ぶどう祭り協賛無料開放	8月25日（土）	78
切り絵教室	随時	8
わた 棉の収穫祭	9月29日（土）	8
第4回ふるさと発見講座	11月23日（金）～11月25日（日）	99
クリスマスイルミネーション	12月15日（土）～12月24日（月）	—
さよならパラゴン	3月20日（水）～3月31日（日）	175

(4) その他の企画

ア 石器づくり勾玉づくり体験教室

- ・実施日 11月23日（金）
- ・実施場所 星野遺跡憩の森（星野町）
- ・参加者数 46人

(5) その他

- ・文化財等の調査、保護、活用等
- ・郷土資料の収集管理等

学芸推進担当

1 とちぎ蔵の街美術館関係

(1) とちぎ蔵の街美術館入館状況

魅力的な多彩な展覧会を開催するため、平成21年4月1日から指定管理者制度を導入し、各展覧会を開催した。

また、有名人がつむぐ100歳の詩人柴田トヨ「くじけないで」展では、とちぎ蔵の街美術館歴代1位の13,066名の入館者があった。

- ・開館期間 4月6日（金）～3月31日（日）
- ・展覧会別入館状況

展覧会名	開館日数 （日）	観覧者 総数（人）	有料観覧者（人）				無料観覧者（人）	
			一般	小中学生	チラシ割等	共通券	招待	減免等
企画展 ドレスデン・アンティーク ポーセリン展	51	4,181	1,851	246	304	737	802	241
東日本大震災復興支援企画 柴田トヨ「くじけないで」展	38	13,066	7,093	252	1,011	1,095	2,503	1,112

企画展 貴婦人に愛された扇物語	44	2,447	1,045	208	245	320	433	196
企画展 浮世絵美人くらべ	54	3,619	1,436	68	396	714	652	353
収蔵品展 田中一村の眼	21	1,426	771	5	112	144	295	99
企画展 香りとファッションの美学	49	2,368	908	68	199	531	538	124
計	257	27,107	13,104	847	2,267	3,541	5,223	2,125

・月別観覧者内訳

月	開館日数 (日)	観覧者総数 (人)	有料観覧者(人)				無料観覧者(人)	
			一般	小中学生	チラシ割引等	共通券	招待	減免等
4	22	1,473	716	79	100	276	219	83
5	26	2,317	1,013	161	165	403	430	145
6	16	4,588	2,416	60	320	500	608	684
7	25	8,869	4,799	198	730	653	2,048	441
8	18	901	345	109	91	174	116	66
9	26	1,546	700	99	154	146	317	130
10	20	1,343	522	9	206	307	124	175
11	26	1,816	789	37	159	335	365	131
12	14	669	255	25	46	99	189	55
1	15	1,217	641	2	97	117	269	91
2	23	1,006	400	25	104	228	195	54
3	26	1,362	508	43	95	303	343	70
計	257	27,107	13,104	847	2,267	3,541	5,223	2,125

(2) とちぎ蔵の街美術館運営協議会

美術館の運営を円滑に図るため運営協議会を開催した。

開催日	内 容
8月 2日 (木)	平成24年度の展覧会について
1月31日 (木)	平成25年度の展覧会について

(3) とちぎ蔵の街美術館美術資料評価委員会

美術作品購入にあたっての評価委員会を開催した。

・開催日 3月4日 (月)

・内 容

洋画1点	清水登之「ボードヴィル紐育」
------	----------------

工芸1点	二代飯塚鳳齋「恵比寿籃」
------	--------------

・場 所 (株)高崎倉庫

## 2 喜多川歌麿関係

### (1) 「品川の月」高精細複製画

市では「雪月花」三幅を再び本市に展示したいという思いから、アメリカ・フリーア美術館に所蔵されている「月」の高精細複製画を制作した。また、完成を記念して、市の歌麿を中心とした文化・芸術のまちづくりについて、広く周知することを目的としてシンポジウムを開催し、1,000人を超える来場者を集めた。

- ・実施日 10月14日(日)
- ・場 所 栃木文化会館 大ホール
- ・その他 10月12日～14日に、市所蔵の歌麿肉筆画「女達磨図」「鍾馗図」「三福神の相撲図」及び、歌麿が挿絵を手がけた狂歌絵本「春の色」を栃木文化会館展示室に展示した。

### (2) 歌麿まつり

浮世絵師喜多川歌麿と栃木市の関わりを市内外に広く周知するとともに、文化観光としての街中のにぎわいの創出を目的として、市民団体を中心とした実行委員会を組織し、狂歌体験や歌麿道中のほか、関連イベントを開催した。

- ・実施期間 10月13日(土)～10月21日(日)
- ・場 所 とちぎ蔵の街大通りを中心とした街中周辺

## 3 文化会館関係

### (1) 文化会館運営委員会会議

実 施 日	審 議 事 項
6月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度実績報告</li> <li>・平成24年度自主事業計画について</li> <li>・栃木市文化会館条例及び施行規則の見直しについて</li> </ul>
10月23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の事業計画について</li> <li>・栃木市文化会館条例及び施行規則の見直しについて</li> </ul>

### (2) 栃木文化会館

#### ア 自主事業関係

事 業 名	実 施 日 等	入 場 料	入場者数(人)
週末よしもと とちぎ お笑い祭り	4月21日(土) 午後7時開演 会場：大ホール	全席指定 3,500円 (当日は500円増)	1,085

住民参加型 ホールの舞台上 〇〇してみませんか	5月3日(木)、4日(金)、 5日(土)、6日(日) 午前10時開演 会場：大ホール	1時間 3,000円	22
住民参加型 マラソソピアノ 気分はピアニスト	6月23日(土) 午前10時開演 会場：小ホール	無料	292
岡本知高Concerto del Sopramista 2012in栃木	7月1日(日) 午後3時開演 会場：大ホール	全席指定 S席3,800円 A席3,500円 (当日は500円増)	683
劇団四季ミュージカル 「王様の耳はロバの耳」	7月28日(土) 午後5時開演 会場：大ホール	全席指定 S席4,000円 (小人3,000円) A席3,000円 (小人2,000円)	1,114
住民参加型 バックステージツアー	8月11日(土) 【開催時間(90分)】 1回目：午前10時30分 2回目：午後14時30分 会場：大ホール	無料	29 26
島田歌穂主演音楽朗読劇 「薔薇は生きている」	9月15日(土) 午後5時開演 会場：小ホール	全席指定 3,000円	366
天河 栃木公演2012	10月27日(土) 午後6時30分開演 会場：大ホール	全席自由 一般：3,000円 小中高：1,000円 (当日は500円増)	185
青春フォーク In 栃木2012	12月9日(日) 午後3時30分開演 会場：大ホール	全席指定 4,000円	298
鑑賞・参加型 トッコ演劇工房	12月22日(土) 午後5時開演 会場：小ホール	全席自由 800円	149
サンリオファミリー クラシック 「リボンの国の音楽会」	12月23日(日) 午後2時開演 会場：大ホール	全席指定 大人：1,500円 小人：500円	939

デビュー15周年 綾戸智恵 Wonderful World コンサート	1月27日（日） 午後3時30分開演 会場：大ホール	全席指定 6,500円	513
いまいゆうぞう はいだしょうこ ファンタジーコンサート2012	3月23日（土） 1回目：午後0時 2回目：午後2時30分 会場：大ホール	全席指定 3,000円	712 715
住民参加型 マラソンピアノ 気分はピアニスト	3月10日（日） 午前10時開演 会場：小ホール	無料	195

イ 貸館事業関係

（単位：人）

月	大ホール	小ホール	展示室 (屋外展示場)	リハー サル室	会議室	和室	第一練習室	第二練習室	合計
4	3,312	1,308	1,883	822	368	251	365	103	8,412
5	4,682	2,101	1,476	958	436	255	371	138	10,417
6	7,933	2,222	1,964	1,032	714	288	421	101	14,675
7	5,405	2,655	1,932	1,416	441	270	824	259	13,202
8	4,608	2,825	1,052	1,260	234	300	545	81	10,905
9	6,934	3,479	1,819	1,642	511	167	790	186	15,528
10	8,322	2,555	5,515	1,878	550	634	483	157	20,094
11	6,133	2,654	1,201	1,087	516	289	491	155	12,526
12	6,181	1,620	1,129	1,430	329	429	641	118	11,877
1	3,331	1,610	1,050	597	435	172	527	126	7,848
2	5,805	1,759	3,643	1,065	316	180	543	109	13,420
3	6,661	3,454	2,531	1,283	434	149	861	154	15,527
合計	69,307	28,242	25,195	14,470	5,284	3,384	6,862	1,687	154,431
月平均	5,775	2,353	2,099	1,205	440	282	571	140	12,869

(2) 大平文化会館

ア 文化振興事業関係

(ア) 栃木市納涼あじ祭

お囃子や盆踊り等の郷土伝統芸能の発表をメインに、ファミリー向けのイベントや模擬店参加者を募り、幼児から高齢者まで多くの市民に夏の夜のひと時を楽しんでもらい、ふるさとの連帯感を深めることを目的に開催した。

また、“なつこい”の翌日に、同会場を借りることで、経費の節減に努めた。

- ・実施日 7月22日（日）
- ・会場 大平運動公園（さくら球場）
- ・運営 栃木市大平文化協会
- ・参加者 約1,000人

(イ) 栃木市大平文化祭

広く文化への意識の高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的に各種文化団体作品展示、芸能発表、菊花展等を開催した。

- ・実施期間 10月28日～11月25日（各週末の土・日曜日開催）
- ・会場 大平公民館、大平文化会館、大平体育館ほか
- ・運営 栃木市大平文化祭実行委員会
- ・参加者 約4,000人

#### イ 自主事業関係

平成22年度から、文化会館になかなか来ることのできない市民を対象に、一流の音楽家を派遣し、ふれあいと音楽の楽しさを知ってもらい、新たな客層の掘り起しを図るとともに、音楽芸術に触れる機会を提供することを目的に「音楽活性化事業」を展開しており、平成24年度も市内各地域4か所（部屋小学校、合戦場小学校、西方小学校、寺尾南小・寺尾中央小学校合同）においてヴァイオリンコンサートを開催し、最終日に大平文化会館において有料公演を実施した。

事業名	実施日等	入場料	入場者数(人)
(共催) ふるさとふれあい スペシャルコンサート	5月13日(日) 午後3時開演 会場：ホール	全席自由 一般 1,000円 中高生 500円	401
住民参加型 ベーゼンドルファー 演奏会 Vol.38	7月28日(土) 午後1時30分 会場：ホール	無料	100
ハートフルシネマ 「仮面ライダーわが母の記」	8月25日(土) 1回目：午前10時30分 2回目：午後2時 会場：ホール	全席自由 一般1,800円 (前売1,000円 前売ペア1,500円) 学生1,400円 中学生以下1,000円	553
(共催) 松竹特別公演 舞台劇「初蕾・はつつぼみ」	9月9日(日) 午後3時開演 会場：ホール	全席指定 4,000円 (当日は500円増)	368
(共催) 公共ホール 音楽活性化事業 「甲斐摩耶ヴァイオリン コンサート」	10月13日(土) 午後3時開演 会場：ホール ※前2日無料巡回公演 (小学校)	全席自由 大人1,000円 小人500円 アクティビティ無料	339
(共催) ふるさとふれあい クリスマスコンサート 永島さゆみフルトコンサート	12月22日(土) 午後3時開演 会場：ロビー	全席自由 一般500円 ペア800円	104

東京プラススタイル公演	1月27日(日) 午後2時30分開演 会場：ホール	全席自由 一般1,200円 高校生以下1,000円	230
住民参加型 ベーゼンドルファー 演奏会 Vol.39	2月2日(土) 午後1時30分開演 会場：ホール	無料	100
しまじろうコンサート おとぎのくにのだいぼうけん	3月10日(日) 1回目：午後1時 2回目：午後3時30分 会場：ホール	全席指定 一般1,900円 市内1,600円	1,310

ウ 貸館事業関係

(単位：人)

月	ホール	舞台のみ	リハーサル室	展示室	合計
4	2,110	720	264	200	3,294
5	928	—	273	—	1,201
6	1,220	600	339	—	2,159
7	1,950	158	408	—	2,516
8	770	192	220	100	1,282
9	1,798	122	320	100	2,340
10	2,384	179	396	—	2,959
11	2,756	36	284	1,530	4,606
12	4,170	400	236	200	5,006
1	950	120	263	—	1,333
2	2,223	216	258	—	2,697
3	650	163	316	270	1,399
合計	21,909	2,906	3,577	2,400	30,792
月平均	1,825	242	298	200	2,566

(3) 藤岡文化会館

ア 文化振興事業関係

・栃木市藤岡文化祭

広く文化への意識の高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的に開催した。

また、「体験コーナー」や「みんなの美術館」のコーナーを設置し、一般参加者を募り、芸術・文化活動の裾野の広がりを期待した。

- ・実施期間 11月3日(土)～11日(日)
- ・運営 栃木市藤岡文化団体連絡協議会
- ・参加者 約2,300人

イ 自主事業関係

「谷村新司コンサート」では、藤岡小学校6年生児童が共演し、練習を重ねた見事なコーラスを披露した。谷村新司のトークと子供達の出演により、会場は温かな雰囲気包まれた。「美寿々すみ子の唄かたり」は、高齢者教室・集会所事業の講座の1コマとして受講生にも参加を呼びかけ、郷土の語り部によりふるさとの民話や民謡を鑑賞していただいた。「ファミリー映画会」では、子供達を中心に家族で楽しんでもらうため、ディズニーのアニメ「塔の上のラプンツェル」を上映した。「白鷗大学ハンドベルクワイアコンサート」は、世界レベルの涼やかなハンドベルの音色を堪能していただいた。体験タイムも大勢の参加があり好評だった。「ピアノ開放デー」は、ピアノとステージを無料開放し、思い思いの使い方ピアノに親しんでいただいた。以上のように、各世代に生の音楽芸術に触れる機会を提供した。

事業名	実施日等	入場料	入場者数(人)
住民参加型 ピアノ開放デー	7月7日(土)、8日(日) 午前10時～午後8時 会場：ホール	無料	55
谷村新司コンサート 「ココロの学校」	9月8日(土) 午後6時開演 会場：ホール	全席指定 5,500円	754
美寿々すみ子の唄かたり	12月8日(土) 午後2時開演 会場：ホール	全席自由 無料	320
ファミリー映画会 「塔の上のラプンツェル」	1月19日(土) 午後2時上映 会場：ホール	全席自由 無料	486
白鷗大学 ハンドベル・クワイア コンサート	3月20日(水) 午後2時開演 会場：ホール	全席自由 大人1,000円 高校生以下500円	273
住民参加型 ピアノ開放デー	3月23日(土)、24日(日) 午前10時～午後8時 会場：ホール	無料	50

ウ 貸館事業関係 (単位：人)

月	ホール
4	171
5	7
6	240
7	349
8	307
9	1,136
10	2,598

11	3,923
12	1,603
1	814
2	1,043
3	2,193
合計	14,384
月平均	1,198

(4) 都賀文化会館

ア 文化振興事業関係

(ア) 夏休み子どもフェスタ in つが

夏休みの日曜日を家族といっしょに、一日楽しく過ごして親子の絆を深めながら文化的な意識の高揚を図ることを目的とした。

- ・実施日 8月26日(日)
- ・内 容 ・映画会・マジックショー・演奏会等  
・楽器やゲームなどの体験学習  
・野外模擬店等
- ・運 営 夏休み子どもフェスタ in つが実行委員会
- ・参加者 約380人

(イ) 第36回 栃木市都賀町文化フェスティバル

都賀町地域内で芸術・文化活動を行っている人々が一堂に会し、作品の発表と交流の場を設け、文化・芸術への意識の高揚及び情報の交換を図ることを目的として開催した。

- ・実施期間 10月20日(土)～11月8日(木)
- ・運 営 文化フェスティバル実行委員会
- ・参加者 約2,500人

イ 自主事業関係

地域の身近な文化活動団体が出演発表することにより、気軽に入館し楽しくふれあえる手作りの催しや話題の映画並びに一流人気歌手等による公演など、芸術文化にふれる機会を広く提供することを目的に事業を実施した。

事業名	実施日等	入場料	入場者数(人)
(共催) 春の映画鑑賞会 「連合艦隊司令長官 山本五十六」	6月2日(土) 1回目：午前10時 2回目：午後1時 会場：ホール	全席自由 500円	124
住民参加型 ピアノ・ステージの開放	6月23日(土)、24日(日) 午前10時～午後7時 会場：ホール	無料	73

住民参加型 (共催) 夏休み 子どもフェスティバル	8月26日(日) 午前9時～午後3時 会場：ホール ロビー、駐車場	一部有料 大人600円 小人300円	380
(共催) 秋の映画鑑賞会 「一枚のハガキ」	9月30日(日) 1回目：午前10時 2回目：午後1時 会場：ホール	全席自由 500円	276
住民参加型 (共催) クリスマスコンサート	12月23日(日) 午後2時開演 会場：ホール	全席自由 大人1,000円 中学生以下500円	281
北島三郎コンサート	2月17日(日) 1回目：午後2時30分 2回目：午後6時 会場：ホール	全席指定 7,000円	1,330
住民参加型 ふれあいロビーコンサート	3月24日(日) 午後3時開演 会場：ロビー	無料	85

ウ 貸館事業関係

(単位：人)

月	ホール	リハーサル室	会議室	展示室	合計
4	1,082	40	86	—	1,208
5	622	135	59	—	816
6	122	—	23	—	145
7	1,930	41	244	—	2,215
8	450	30	51	173	704
9	1,106	69	71	—	1,246
10	1,490	158	280	601	2,529
11	2,606	484	761	475	4,326
12	1,981	165	186	122	2,454
1	430	25	79	—	534
2	1,628	20	32	—	1,680
3	2,113	60	132	158	2,463
合計	15,560	1,227	2,004	1,529	20,320
月平均	1,296	102	167	127	1,693

## 第6節 伝建推進室

### 〔総括概要〕

「蔵の街」の特色ある歴史的町並みを、良好な状態で次世代に引き継いでいくとともに、魅力ある商業地と住み続けられる環境を造るため、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区の指定に取り組んできた。

平成23年度に指定した嘉右衛門町地区が、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、栃木県初の重伝建地区となった。

栃木町地区については、引き続き指定のための検討を行った。

### 伝建推進担当

#### 1 伝統的建造物群保存事業に関すること

##### (1) 栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区について

- ・重要伝統的建造物群保存地区選定申出 平成24年3月26日
- ・重要伝統的建造物群保存地区選定 平成24年7月9日

##### (2) 栃木市重要伝統的建造物群保存地区における栃木市税条例及び栃木市都市計画税条例の特例を定める条例制定（資産税課） 平成24年12月28日告示

##### (3) 栃木市伝統的建造物群保存地区指定推進協議会について

栃木町地区の指定に向け、保存地区の区域や基準等の案を検討した。

- ・栃木市伝建地区指定推進協議会 -回
- ・栃木市伝建地区指定推進協議会専門部会 2回

##### (4) 選定記念講演会等

実施日	場 所	内 容
11月7日(水)	とちぎ蔵の街観光館 (多目的ホール)	栃木市嘉右衛門町地区重伝建選定記念・ 栃木町地区伝建地区指定推進講演会 参加者：約80人
2月23日(土)	とちぎコミュニティプラザ 第5地区コミュニティセンター大会議室	「嘉右衛門町伝建地区」重伝建選定記念 講演会 参加者：約170人

##### (5) 嘉右衛門町地区の伝建制度の説明会等について

- ・制度説明や許可手続き等についての説明会を開催した。

実施日	場 所	内 容
8月20日(月)	油伝味噌	伝建制度について 許可手続きについて

##### (6) 伝建制度の啓発

- ・伝建制度の啓発及び連絡事項、説明等を伝建かわら版の配布により行った。

伝建かわら版8号（嘉右衛門町地区）
-------------------

5月配布
------

伝建かわら版号外（嘉右衛門町地区）	5月配布
伝建かわら版9号（嘉右衛門町地区）	1月配布
伝建かわら版10号（嘉右衛門町地区）	3月配布

・イベント等において、嘉右衛門町地区の写真パネルを展示するコーナーを設け、啓発に努めた。

とちぎ協働まつり	総合運動公園噴水広場	10月28日（日）
とちぎ秋まつり	蔵の街第一駐車場	11月10日（土）、11日（日）

(7) 修理・修景・許可について

修理（嘉右衛門町地区）	2棟
修景（嘉右衛門町地区）	-棟
許可（嘉右衛門町地区）	5棟

## 第7節 大平教育支所

### 〔総括概要〕

教育総務担当においては、児童生徒、教職員等の安心・安全な学校づくりのため、学校施設の耐震化や施設の延命化を図るための改修工事を実施した。

また、各小中学校における特色ある学校づくりの支援をするための各種事業を実施した。

まず、学校施設の耐震化としては、大平東小学校及び大平南小学校の屋内運動場の耐震補強工事を実施した。また、大平中央小学校においては屋内運動場耐震補強実施設計業務を実施した。中学校においては、大平中学校校舎等の耐力度調査業務を実施した。

次に、学校施設の整備事業として、大平東小学校の受変電設備改修工事及び外部排水修繕工事、大平南中学校の昇降口屋上防水改修工事を実施した。また、平成25年度における大平西小学校でのクラス数増加に対応するため、多目的教室から普通教室への改修工事を実施した。

また、大平南小学校校舎改築に向けて、整備検討委員会を設置し整備基本計画を策定するとともに、基本計画に基づき基本設計業務を実施した。

学校の管理運営面については、小学校4校、中学校2校計6校の各種保守点検及び施設の維持補修を行った。また、各種教材・教具・備品等の整備充実を図った。

平成24年度で6年目となった「子どもの安全を守る活動強化事業」については、地域で活躍する児童の登下校時の見守りボランティアに対し、その組織を充実させるために奨励費を支給したほか各学校PTAで実施しているスクールガードについて、スクールガードリーダーによる防犯指導等を実施した。

また、不登校児童生徒の解消を目指し、教育相談員4名を配置した「適応指導教室（あじさい教室）」の運営では、電話相談等への対応を行った。

中学校においては、各校に心の教室相談員を各1名ずつ配置し、生徒の悩み相談や個別学習指導に対応することにより不登校生徒の減少を目指した。

生涯学習担当においては、個人や仲間と楽しく学びながら自分の考え方や生き方を変えるきっかけをつかむことを支援するため、様々な学習機会を提供した。

また、子どもたちが地域における学習に積極的に参加し、のびのびと個性にあふれ、豊かな心を育むことができるよう努めた。

さらに、地域の教育力向上のために、学校・家庭・地域の連携強化を図りながらふれあいの学習を推進するとともに、青少年リーダーの計画的な養成や青少年への体験活動機会の提供を行いながら、青少年の健全育成に努めた。

スポーツ推進については、社会体育施設の改修・修繕を行い、利用者の安全確保に努めるとともに、地区体育協会の協力を得てスポーツ教室や大平地区体育祭を開催し、市民ひとり1スポーツの推進を図るとともに生涯スポーツの普及に努めた。

教育総務担当

1 学校施設の整備状況

小・中学校施設整備工事費	( 6件)	12,791,940円
小・中学校維持補修費	( 77件)	6,332,859円
小学校耐震補強事業費	( 3棟)	23,719,500円
中学校耐震補強事業費	( 2棟)	2,835,000円
小学校校舎整備事業費	( 1棟)	12,915,000円
小・中学校設備保守点検等委託料	( 48件)	7,087,368円

(手数料含む)

(1) 主な工事

業務名称	対象施設	学校名	工事概要	工事費(円)
施設整備工事	校舎・校庭等	大平東小	機械設備工事 受変電設備改修工事 消火栓用受水槽パネルタンク改修工事 揚水ポンプ改修工事	7,663,740
		大平西小	電気設備工事 多目的教室改修工事	298,200
		大平南中	建築工事 昇降口屋上防水改修工事 1階女子トイレ改修工事	4,830,000
維持補修工事	校舎・校庭等	大平東小	外部排水修繕工事、受水槽用弁類破損修繕、体育館スクリーン移設工事、給水管漏水調査・仕切り弁設置工事、受水槽用補給管詰り修繕 等	1,891,774
		大平南小	プール濾過装置制御盤修繕、体育館ガラス修理、体育館スクリーン移設工事、理科室蛍光灯不良修繕、二宮金次郎銅像修繕 等	1,048,635
		大平西小	プール濾過設備修繕、職員室電気温水器修繕、ウサギ小屋用給水管漏水修繕、受水槽定水位弁用副弁修繕、水銀灯修理 等	241,836
		大平中央小	揚水ポンプ用電気設備修繕、プール濾過設備修繕、給水管漏水修繕、煙感知器交換、図書室ガラス修理、金魚の池排水管詰り修繕 等	533,294
		大平中	受水槽用定水位弁破損修繕、防矢ネット支柱修繕工事及び防矢ネット交換取付工事、パッケージエアコン入替工事、トイレ及び流し設備修繕 等	1,117,095
		大平南中	体育館床補修工事、教室 UD 黒板修繕工事、受水槽用定水位弁修繕、和式トイレ漏水修繕、体育用具室蛍光灯不良修繕 等	1,500,225

## (2) 耐震補強事業

業務名称	対象施設	学校名	業務概要	委託・工事費等 (円)
耐震補強設計・耐震補強工事 耐力度調査業務	屋内運動場	大平東小	屋内運動場 (552 m <sup>2</sup> ) 1棟 耐震補強工事	10,447,500
		大平南小	屋内運動場 (621 m <sup>2</sup> ) 1棟 耐震補強工事	11,487,000
		大平中央小	屋内運動場 (813 m <sup>2</sup> ) 1棟 耐震補強実施設計業務委託	1,785,000
	校舎等	大平中	管理棟 (1,599 m <sup>2</sup> ) 技術棟 (340 m <sup>2</sup> ) 計2棟 耐力度調査業務委託	2,835,000

## (3) 校舎整備事業

- ・大平南小学校整備検討委員会開催 計6回
- ・大平南小学校基本設計業務委託 12,915,000円

## (4) 主な学校設備保守点検業務委託

(単位：校)

委託名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	4	2
消防設備保守点検委託	4	2
給食用ダムウォーター保守管理委託	3	1
機械警備委託	4	2
し尿浄化槽水質検査委託	2	2
し尿浄化槽維持管理委託	2	2
し尿浄化槽清掃委託	2	2
プール循環浄化装置保守委託	4	1
受水槽高架水槽清掃業務委託	4	2

## 2 コンピュータ整備状況

(単位：台)

学校名	パソコン教室用	校務用	合計
大平東小学校	41	19	60
大平南小学校	41	21	62
大平西小学校	41	20	61
大平中央小学校	41	27	68
大平中学校	41	29	70
大平南中学校	41	29	70

合 計	246	145	391
-----	-----	-----	-----

### 3 学校教育に関する事業

#### (1) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

	対象者(人)	支給額(円)
小学校	45	2,258,650
中学校	42	3,919,609
計	87	6,178,259

#### (2) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

	対象者(人)	支給額(円)
小学校	14	443,802
中学校	7	305,916
計	21	749,718

## 生涯学習担当

### 1 大平公民館関係

#### (1) 公民館別使用状況

施設名	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
大平公民館	1,213	25,802	207,290
大平西地区公民館	373	3,624	33,600
大平南地区公民館	337	3,137	7,350
大平東地区公民館	220	2,843	110,040
計	2,143	35,406	358,280

#### (2) 生涯学習推進関係

##### ア とちぎ未来アシストネット事業

地域と学校を結ぶ地域コーディネーターを配置し、学校支援ボランティアを活用することにより、地域の教育力の向上と教員のきめ細やかな指導を行う時間の確保を目指した。また、学校の放課後を利用して、子どもたちと地域の人たちとの交流活動を行った。

・ボランティアが学校で活動した日数 延べ832日

#### (3) 成人教育関係

##### ア 成人式関係

実施日	会 場	会 議 名 等	出席者数 (人)
7月18日 (水)	大平公民館	第1回 成人式実行委員会	8
9月 7日 (金)	大平公民館	第2回 成人式実行委員会	10
10月13日 (土)	大平公民館	第3回 成人式実行委員会	10
11月24日 (土)	大平公民館	第4回 成人式実行委員会	10
12月12日 (水)	大平公民館	第5回 成人式実行委員会	4
1月12日 (土)	大平文化会館	成人式リハーサル	10
1月13日 (日)	大平文化会館	平成25年成人式	236

イ 公民館講座(4) 青少年教育関係

事 業 名	場 所	参加者(人)	講師(敬称略)	回数(回)
庭木の剪定教室	大平中学校	7	本田 保夫	6
エコクラフトかご作り教室	大平公民館	17	熊谷 知子	2
健康ウォーキング教室	大平公民館	9	小宮 剛	5
旅行に役立つ韓国語入門	大平公民館	7	高 美淑	7
パン作り教室 (前期)	大平公民館	16	岡 俊恵	5
健康を守る料理教室	大平公民館	11	杉山 敦子	5
陶芸教室	大平公民館	8	大森 博視	12
さわやかセミナー	大平東地区公民館	23	埋橋 英夫ほか	6
パン作り教室 (後期)	大平公民館	15	岡 俊恵	5
グレイドアップウォーキング	大平運動公園	18	小宮 剛	5
健康維持の料理教室	大平公民館	20	隅田 栄子	4
家族が喜ぶ洋菓子作り	大平公民館	17	鈴木 常敏	3
和太鼓講座	大平文化会館	15	小笠原 周美	5
自宅筋トレ入門講座	大平公民館	19	福田 陽	5
ガラスアート入門	大平公民館	4	森 政美	2
ヒップホップダンス入門講座	大平公民館	11	安藤 喜代	5
生活にエッセンス	大平西地区公民館	26	中村 道子ほか	6
八重の桜入門	大平公民館ほか	30	岸 明	2
アロマの癒し基礎講座	大平公民館	12	吉田 真紀	2
おもてなし料理を作ろう	大平公民館	20	杉山 敦子	1
親子書初め教室	大平公民館	20	平間 貞子	1
群れて遊ぶ楽しさを	大平公民館	7	大平レク協会	1
レッツハーモニー	大平公民館	18	稲垣 成人	1

ア わくわく野外体験事業

自然とのふれあいの中で、学校・年齢の違う仲間と集団生活を過ごすことにより、協調性や積極性を養うことを目的に、小学校4～6年生を対象に栃木地域内にある出流ふれあいの森を会場に日帰りで野外体験、レクリエーションなどを行った。

・実施日 8月21日 (火)

- ・参加者 65人

#### イ リーダー研修の実施

同じ地域に住んでいる高校生及び中学生が、その地域を活動の場として有益な奉仕活動を行うことで、自己発見・課題解決能力及び社会的行動力を習得することを目的としたジュニアリーダーを養成するための研修会を実施した。

- ・実施期間 8月4日（土）～5日（日）
- ・場 所 とちぎ海浜自然の家
- ・参加人数 93人

#### ウ 冒険遊び場の設置

「自分の責任で自由に遊ぶ」をテーマに、公民館の西側にプレイパークを整備し様々な活動を行った。

実施日	事業名	参加数(人)
5月12日（土）	アウトドアクッキング(キーマカレー&石窯ナン)	20
5月26日（土）	さつまいもの苗を植えよう	20
6月9日（土）	テントの中で遊んでみよう（木工教室1回目）	30
6月23日（土）	ラベンダースティック作り（木工教室2回目）	20
7月14日（土）	ウォータースライダー（木工教室3回目）	30
7月28日（土）	ウォータースライダー、巨大シャボン玉（木工教室4回目）	30
8月11日（土）	ウォータースライダー、マーブリング（木工教室5回目）	20
8月25日（土）	【夏休みイベント】 ウォータースライダー、巨大シャボン玉、ターザンロープ、昔遊び	80
9月8日（土）	ネイチャーゲーム「フィールドビンゴ」	20
9月22日（土）	アウトドアクッキング	20
10月13日（土）	デイキャンプ	30
10月27日（土）	ハロウィンパーティー	30
11月3日（土）	【文化祭イベント】 アウトドアクッキング（石窯スイートポテト）モザイク画作成	50
11月24日（土）	モザイク画作成	30
12月8日（土）	焼き芋大会	20
12月22日（土）	宝探し	20
1月12日（土）	焼き芋大会、正月遊び	20
1月26日（土）	自由遊び	20
2月9日（土）	自由遊び	20
2月23日（土）	アウトドアクッキング（サモア）	20
3月2日（土）	自由遊び	20
3月23日（土）	【春休みイベント】 スポーツスタンプラリー	50

#### (5) 社会教育関係団体育成

子ども会育成会・女性会等の育成

各団体の事業計画から実施について助言、援助を行い、各団体の自主的活動に協力

するとともに補助金を交付した。

## 2 スポーツ振興関係

### (1) 社会体育施設

#### ア 施設の種類

施設名	建設年	面積 (㎡)		備考
		敷地	建物	
大平体育館	昭和49年	7,180.04	1,779.46	鉄筋コンクリート造 ※敷地は公民館等含む
大平南体育館	昭和59年	7,300.14	1,162.31	鉄筋コンクリート造
大平武道館	昭和55年	1,698.97	842.00	鉄筋造(平成元年増築)
大平運動公園野球場	平成7年	40,000	285.05	鉄筋コンクリート造
大平運動公園多目的運動広場	平成9年	48,000		
大平運動公園第2多目的広場	平成16年	8,600		
大平運動公園テニスコート	平成10年	7,000		

#### イ 利用状況

(単位:人)

施設名 月	大平体育館	大平南体育館	大平武道館	野球場 大平運動公園	多目的広場 大平運動公園	第2多目的広場 大平運動公園	テニスコート 大平運動公園	合計
4月	1,583	1,118	200	500	806	171	2,309	6,687
5月	1,355	1,059	200	294	1,202	688	2,919	7,717
6月	3,216	1,128	200	255	675	1,530	2,491	9,495
7月	1,501	1,308	200	295	760	410	2,814	7,288
8月	1,372	1,103	200	397	820	856	2,824	7,572
9月	1,647	1,104	200	352	1,052	938	2,112	7,405
10月	1,164	1,104	200	250	3,423	1,050	2,256	9,447
11月	377	578	200	220	699	1,259	1,988	5,321
12月	202	568	200	284	520	820	2,529	5,123
1月	170	413	200	123	—	1,220	1,634	3,760
2月	554	546	200	226	80	743	1,563	3,912
3月	196	737	149	407	160	1,585	3,322	6,556
合計	13,337	10,766	2,349	3,603	10,197	11,270	28,761	80,283
平均	1,111	897	196	300	850	939	2,397	6,690

### (2) 学校開放施設関係

## ア 利用状況

(単位:人)

学校名 月	大平東小	大平南小	大平西小	大平中央小	大平中	大平南中	合計
4月	117	186	75	271	442	354	1,445
5月	170	307	110	329	445	393	1,754
6月	156	310	115	342	452	426	1,801
7月	180	296	100	334	517	405	1,832
8月	171	96	100	284	521	375	1,547
9月	96	196	115	284	457	381	1,529
10月	120	196	110	207	376	310	1,319
11月	96	92	100	108	334	368	1,098
12月	76	54	90	72	260	305	857
1月	70	30	85	72	308	255	820
2月	56	40	100	108	250	368	922
3月	56	96	15	126	333	387	1,013
合計	1,364	1,899	1,115	2,537	4,695	4,327	15,937
平均	114	158	93	211	391	361	1,328

## (3) 大平地区体育祭

「市民ひとり1スポーツ」の推進とともに、市民の健康の増進と体力の増強を図り、心身ともに健やかで明るい家庭を築くことを目的に開催した。

- ・実施日 10月7日(日)
- ・参加者 2,500人
- ・会場 大平運動公園、多目的広場、グラウンド・ゴルフ場
- ・競技種目
  - ①ザ・障害物リレー
  - ②花咲け三色すみれ
  - ③パスして集中!メディシンボールⅡ
  - ④大平地区記録挑戦
  - ⑤大平ダービー
  - ⑥じゃんけん☆ボーリング
  - ⑦綱引き
  - ⑧○・×クイズ!
  - ⑨目指せ!ホールインワン
  - ⑩ゲッター・ムカデⅡ
  - ⑪少年少女混合リレー
  - ⑫一般男女混合リレー

## (4) 生涯スポーツ推進事業

## ア 年間各種教室

専門部実施教室	開催曜日	会場	参加者(人)	備考
剣道教室	月・水・金・日	大平武道館	3,024	日曜日は第1・3
柔道教室	水・金・土	大平武道館	2,280	土曜日は第2・4

空手教室	火・木・日	大平武道館	1,872	
弓道教室	土・日	大平武道館	960	土・日曜日は昼の部、 土曜日は夜の部
サッカー教室	水・土・日	大平運動公園	4,032	水曜日は夜の部、 土・日曜日は昼の部
ソフトテニス教室	火・木・金	大平体育館	576	火・木曜日は昼の部、 金曜日は夜の部
卓球教室	水	大平体育館	720	
バドミントン教室	木・土	大平体育館	480	
ウエイトリフティング教室	月～土	大平運動公園	576	

イ 期間限定各種教室（寒さに負けない体力づくり）

専門部実施教室	開催日	時間	会場	参加者(人)	
卓球教室	2月6日、13日、20日、27日、 3月6日、13日 各日(水)	午後7時30分 ～9時	大平体育館	24	
バドミントン教室	2月2日、9日、16日、23日、 3月2日、9日 各日(土)	午後7時30分 ～9時	大平体育館	23	
テニス教室	2月3日、10日、17日、24日、 3月3日、10日 各日(日)	午後1時 ～3時	大平運動公園	13	
ソフト テニス	成人	2月1日、8日、15日、22日、 3月1日、8日 各日(金)	午後7時30分 ～9時	大平体育館	3
	小学生	2月2日、9日、16日、23日、 3月2日、9日 各日(土)	午前10時 ～正午	大平運動公園	17

(5) 栃木市大平地区体育協会事業

総合大会

開催日	行事名	参加者(人)	場所
10月 7日(日)	第55回大平地区体育祭	2,500	大平運動公園
12月 2日(日)	第31回大平地区マラソン大会	398	大平運動公園

## 第8節 藤岡教育支所

### 〔総括概要〕

藤岡教育支所は、藤岡地域小中学校の教育環境の整備や特色ある学校づくりを支援するための各種事務事業実施を主な分掌事務とする教育総務担当と、公民館・体育館等の社会教育施設及び藤岡渡良瀬運動公園の管理運営を行い、利用者が安全で快適に利用できる環境づくりを行う藤岡公民館チーム、スポーツ振興チームの2チームから成る生涯学習担当により、学校教育の充実と地域住民に対するサービスの向上に努めた。

教育総務担当においては、学校の管理運営面について、将来を担う児童・生徒が高度情報化社会に的確に対応できるようにするため、教育用コンピュータの配置・整備及びインターネット接続・利用などを推進した。また、各種教材・教具・備品等の整備充実を図った。学校の施設整備については、大地震などによる学校施設の倒壊被害を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする施設利用者の安全と災害発生時の避難場所を確保するため、小学校2校の校舎耐震補強工事及び小学校2校の校舎耐震補強・改修工事設計業務を行った。

その他、教育環境の整備のために、消防用設備・給排水設備・音響設備など老朽化した学校施設の改修・修繕などを実施するとともに、小学校4校、中学校2校計6校の施設の保守点検および維持補修を行った。

運用面では、教育環境の公平性と充実を図るため、就学援助事務等を行った。また、不登校または不登校傾向及び学校不適応の児童生徒を対象とした栃木市不登校児童生徒適応指導教室「わたらせ教室」を運営し、児童生徒の適応指導と保護者等への教育相談及び個に応じた学習の場を提供し、学校復帰に向けた手厚い指導並びに支援を行った。

生涯学習担当においては、藤岡公民館チームでは、生きがいとうるおいに満ちた生涯学習の実現に向けて様々な学習機会を提供するために、生涯学習の企画、生涯学習事業の連携・協力、情報提供及び学習相談事業、公民館講座、成人教育・家庭教育・視聴覚教育に関する事業を行った。また、社会教育団体への指導助言を行うことにより活動の充実を図った。

スポーツ振興チームでは、市民向けのアンケート調査の中でウォーキングへの要望が非常に高かった結果を受け、スポーツ推進委員の協力による渡良瀬遊水地・三髷山でのウォーキング事業やノルディックウォーキング事業を実施した。また、ラムサール条約登録湿地の渡良瀬遊水地を利用（ワイズユース）する為に、水と親しむ体験学習として9月に地区体育協会と共催で「ウォータースポーツ・フェスタ」を計画したが、雨で中止となった。さらに、中学校のダンス必修化に伴い、小学生の体験を目的に創作ダンス教室を実施した。

社会体育施設の管理運営については、藤岡総合体育館の改修工事を行った。その他の施設においても必要な補修を行い、利用者が安全で快適に利用できるよう努めた。

また、公園施設の管理運営については、藤岡スポーツふれあいセンターの機能充実を図るため、2階に展示スペースを設けた。さらに、利用者の利便性を高める為、平成25年度に向けて、ロッカーと展望台望遠鏡の料金を無料にするよう条例の改正を行った。

教育総務担当

1 学校施設の整備状況

小学校耐震補強工事費	( 2校)	146,265,000円
小中学校各校施設整備工事費	( 92件)	17,860,732円
小学校耐震補強工事監理・設計業務委託料	( 4校)	9,271,500円
小中学校設備保守点検等委託料	( 17件)	6,536,053円

(1) 主な工事関係

業務名称	対象施設	学校名	工事概要	工事費(円)
耐震補強工事	校舎	藤岡小	耐震補強工事 鉄筋コンクリート造 3階建校舎 東棟・西棟 3,836 m <sup>2</sup>	106,680,000
		三鴨小	耐震補強工事 鉄筋コンクリート造 3階建校舎 2,353 m <sup>2</sup>	39,585,000
施設整備工事	校庭等	藤岡小	フェンス修繕工事	945,000
		部屋小	プールサイド補修工事	414,750
	校舎等	藤岡小	体育館階段廻防水補修工事 体育館階段廻クロス張替工事	1,390,200
		部屋小	IHクッキングヒーター取付工事 体育館窓ガラス補修工事	1,492,050
		藤岡一中	体育館バスケットコートライン引替工事 (藤二中含む)	987,000
		藤岡二中	体育館雨樋修繕工事	540,750
全校	消防用設備、給排水設備、空調設備、音響設備、 体育館設備、照明器具、電気系統、雨漏り等の 修繕・改修	12,090,982		

## (2) 主な業務委託(学校施設整備関係)

業務名称	対象施設	学校名	業務概要	委託費(円)
監理業務委託 耐震補強工事	校舎	藤岡小	耐震補強工事監理業務委託 鉄筋コンクリート造3階建校舎 東棟・西棟 3,836 m <sup>2</sup>	3,202,500
		三鴨小	耐震補強工事監理業務委託 鉄筋コンクリート造3階建校舎 2,353 m <sup>2</sup>	1,575,000
設計業務委託 耐震補強工事	校舎	部屋小	耐震補強改修工事設計業務委託 鉄筋コンクリート造2階建校舎 790 m <sup>2</sup>	2,404,500
		赤麻小	耐震補強工事設計業務委託 鉄筋コンクリート造2階建校舎 983 m <sup>2</sup>	2,089,500

## (3) 主な学校設備保守点検業務委託

(単位:校)

委託名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	4	2
非常通報装置保守委託	4	2
消防設備等保守点検委託	4	2
浄化槽保守管理委託	3	-
浄化槽清掃業務委託	3	-
警備委託	4	2
簡易専用水道検査業務委託	4	2
受水槽及び高架水槽清掃業務委託	4	2
プール循環浄化装置保守点検業務委託	4	2
エレベータ保守点検業務委託	-	1

## 2 コンピュータ整備状況

(単位:台)

学校名	パソコン教室用	校務用	合計
藤岡小学校	41	34	75
部屋小学校	41	23	64
赤麻小学校	41	25	66
三鴨小学校	41	27	68
藤岡第一中学校	41	44	85
藤岡第二中学校	41	20	61
合計	246	173	419

### 3 学校教育に関する事業

#### (1) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

	対象者(人)	支給額(円)
小学校	23	1,351,573
中学校	16	1,274,699
計	39	2,626,272

#### (2) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

	対象者(人)	支給額(円)
小学校	9	289,723
中学校	2	97,987
計	11	387,710

#### (3) 適応指導教室運営に関する事務

学校教育指導員(3人)が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

・適応指導教室通級人数 4人 (学校復帰人数3人)

(単位：件)

来所相談	78
電話相談	244
学校訪問	10
家庭訪問	-
合計	332

### 生涯学習担当

#### 1 成人教育関係

成人式(藤岡会場)

実施日	会場	会議名等	出席者数(人)
8月21日(火)	藤岡公民館	成人式実行委員会	10
11月21日(水)	藤岡公民館	成人式実行委員会	6
12月5日(水)	藤岡公民館	成人式実行委員会	8
1月12日(土)	藤岡文化会館	成人式リハーサル	13
1月13日(日)	藤岡文化会館	平成25年栃木市成人式(藤岡会場)	145

## 2 家庭教育関係

### 家庭教育学級

小学校の就学時健康診断時に小学校新入学の保護者を対象に親学習プログラムを活用して実施した。指導者はどーなつクラブ（家庭教育オピニオンリーダー）。

実施日	テーマ	場所	出席者数(人)
10月3日(水)	進んであいさつしていますか？ あいさつはコミュニケーションの第一歩	部屋小学校	15
10月12日(金)		赤麻小学校	27
10月17日(水)		三鴨小学校	21
10月24日(水)		藤岡小学校	41

## 3 青少年教育関係

### みんなのつどい

子育てについての研鑽を深め、PTA活動および子ども会育成会活動の充実を図るため、栃木市PTA連合会の研修会と「みんなのつどい」の共催により講演会を開催した。テーマは～スポーツをする子どもの栄養と食事～。

- ・実施日 2月16日(土)
- ・運営 栃木市PTA連合会藤岡ブロック連絡会・栃木市藤岡町子ども会育成会連合会・藤岡公民館
- ・参加者 約100人

## 4 社会教育関係団体育成

各団体の事業計画から実施について助言等を行い、各団体の自主的活動の促進、育成のために援助、協力を行った。

- ・PTA連合会
- ・家庭教育オピニオンリーダー会
- ・栃木市藤岡町子ども会育成会
- ・その他、社会教育関係団体登録 56団体 904人

## 5 公民館関係

### 公民館別使用状況

施設名	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
藤岡公民館	1,677	26,128	41,290
藤岡地区公民館	100	1,121	400
三鴨地区公民館	247	5,060	1,620
部屋地区公民館	293	4,458	2,520
赤麻地区公民館	202	3,107	2,410
計	2,519	39,874	48,240

6 スポーツ振興関係

(1) 社会体育施設

ア 施設の種類

施設名	建設年	面積 (㎡)		備考
		敷地	建物	
藤岡渡良瀬運動公園	昭和55年	283,249		
藤岡総合体育館	昭和61年	29,149	3,334	鉄筋コンクリート造
藤岡弓道場	平成6年	256	236	鉄骨・コンクリートブロック造
三鴨スポーツ広場	平成14年	5,319		

イ 利用状況

(単位:人)

施設名 月	藤岡渡良瀬運動公園	藤岡総合体育館	藤岡弓道場	三鴨スポーツ広場	合計
4月	7,996	1,887	117	80	10,080
5月	8,267	2,585	78	80	11,010
6月	5,343	休館	休館	100	5,443
7月	4,993	休館	休館	100	5,093
8月	3,506	休館	休館	100	3,606
9月	4,529	休館	休館	80	4,609
10月	4,359	休館	休館	80	4,439
11月	8,424	1,171	76	100	9,771
12月	2,886	2,425	60	100	5,471
1月	2,656	1,462	78	100	4,296
2月	4,704	1,461	61	80	6,306
3月	6,168	1,399	54	80	7,701
合計	63,831	12,390	524	1,080	77,825
平均	5,319	1,033	44	90	6,486

(2) 学校屋外運動場夜間照明施設関係

ア 利用状況件数

(単位:件)

学校名 月	部屋小	三鴨小	藤一中	合計
4月	-	11	4	15
5月	-	13	6	19

6月	5	10	11	26
7月	5	14	12	31
8月	4	12	13	29
9月	-	10	12	22
10月	5	11	11	27
11月	-	-	6	6
12月	-	-	2	2
1月	-	-	-	-
2月	-	-	-	-
3月	-	2	-	2
合計	19	83	77	179
平均	2	7	6	15

イ 施設

種別 学校名	照明 (基)
部屋小	4
三嶋小	4
藤一中	4

(3) 生涯スポーツ推進事業

藤岡地域では、①谷中湖の自然を活用したウォータースポーツ事業、②渡良瀬遊水地や三嶋山の自然を活用したウォーキング事業の2つを積極的に活動している。その他生涯スポーツ推進事業として、下記の各種スポーツ教室等を開催した。

ア ウォータースポーツ事業

教室名	実施日	会場	受講者数(人)
ウォータースポーツ・フェスタ	5月3日(木)、9月23日(日)	谷中湖	中止

イ ウォーキング事業

教室名	実施日	会場	受講者数(人)
渡良瀬遊水地ウォーキング	4月8日(日)	渡良瀬遊水地	120
市民ハイキング	9月2日(日)	茶臼岳	38
ノルディックウォーキング	10月14日、21日、28日 各日(日)	渡良瀬運動公園 三嶋山	延べ30
三嶋山ウォーキング	10月28日(日)	三嶋山	25

ウ 生涯スポーツ事業

教室名	実施日	会場	受講者数(人)
スポーツひろば	5月12日、19日 11月10日、17日 各日(土)	藤岡総合体育館	延べ43

ロードバイクセミナー	5月12日、6月9日 8月4日 各日(土)	藤岡スポーツ ふれあいセンター	延べ30
スキー／ボード教室	1月26日(土)	だいくらスキー場	24
ターゲット・バード ゴルフ教室	3月2日、9日、16日各日(土)	大皆川ニュースポーツ広場	延べ9
創作ダンス教室	3月23日、30日 各日(土)	藤岡総合体育館	延べ10

## 第9節 都賀教育支所

### 〔総括概要〕

教育総務担当では、小学校3校、中学校1校の施設の各種保守点検及び維持補修を行い、各種教材、教具・備品等の整備により教育環境の充実を図った。さらに、将来を担う児童・生徒が高度情報化社会に的確に対応できるようにするため、教育用パソコンの配備及びインターネット接続によりコンピューター教育の推進を図った。

児童生徒の安全と災害時の地域住民の避難場所を確保するため、学校施設の耐震化率100%を目標に施設整備事業を実施した。平成22年度に危険改築した都賀中学校校舎の外構工事については、校庭整備が完了し一連の中学校施設整備事業が終了した。平成23年度に改築した合戦場小学校屋内運動場の外構工事については、駐車場等を整備し、平成25年度に校庭の拡張、遊具の整備を実施する予定である。さらに、赤津小学校の校舎耐震補強工事を実施し、平成25年度に予定している合戦場小学校校舎耐震補強工事と赤津小学校屋内運動場耐震補強改修工事の設計業務委託を実施した。また、家中小学校屋内運動場については、改築することに決定し、平成25年度に実施設計業務委託料が計上された。

新規事業の適応指導教室（すずかぜ教室）運営事業については、都賀、西方地域の不登校児童生徒の学校への早期復帰を図るため、児童生徒への適応指導や支援を行うとともに保護者等との教育相談も実施した。

生涯学習担当では、生きがいとうるおいに満ちた生涯学習社会の実現に向けて、個人や仲間と楽しく学びながら自分の考え方や生き方を変えるきっかけをつかむことを支援するため、様々な学習機会を提供した。

さらに、生涯学習社会の構築に向けて、住民の自主的な学習活動を支援する指導者の養成・資質向上や社会教育関係団体・サークル活動の充実を図った。

また、子育て支援の充実並びに地域の教育力向上のために、学校・家庭・地域社会の連携強化を図りながらふれあいの学習を推進するとともに、青少年リーダーの計画的な養成や青少年への体験活動機会の提供を行いながら青少年の健全育成に努めた。

スポーツ振興では、社会体育施設の管理運営、地域運動広場の管理、小中学校体育施設の開放を行い、市民の健康保持増進並びにスポーツの普及を図った。

さらに、第3回都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催し、市民が一堂に会し、スポーツを通しての健康づくりや市民の融和と親睦を深めた。また、総合型地域スポーツクラブ“あいあいクラブ”や地区体育協会が実施する事業への支援を行いスポーツの振興を図った。

スポーツ指導者の養成及び派遣については、小学校で実施している課外スポーツ活動に専門的な外部指導者を派遣し、スポーツ活動を通して児童の健全育成、競技力の向上を図った。

教育総務担当

1 学校施設の整備状況

(1) 主な工事

区分	学校名	工事概要	工事費(円)
耐震補強工事	赤津小	赤津小学校校舎耐震補強工事 工事概要：H鋼ブレース補強(1階、2階)4か所	31,059,000
改築に伴う外構工事	合戦場小	合戦場小学校外構工事その1 工事概要：駐車場整備(1,600㎡)	14,164,500
	都賀中	都賀中学校外構工事 工事概要：グラウンド整備(15,410㎡) 都賀中学校外構建築工事 工事概要：バックネット、防球ネット等整備	42,546,000 16,642,500
整備工事 (修繕含む)	合戦場小	洗眼水栓修理、屋根防水工事、昇降口ガラス修理、外トイレ修理	291,459
	家中小	体育館ガラス修繕、消防点検不良箇所改修、プールサイド修繕、教室床張替工事、プール棟錠前交換、マンホール鉄蓋修繕工事、浄化槽排水不能修理、浄化槽排水ポンプマグネット交換工事、トイレ天井修理、トイレ修繕、外灯タイマー修繕、手洗い場漏水修理、体育館照明ランプ改修工事、校庭南門側漏水修理、外トイレ修繕	1,669,623
	赤津小	放送設備修繕、校舎西側防犯灯修理工事、プールトイレ水栓修繕工事、カーテンレール修繕、大時計修理、職員室手洗い排水詰まり修理、図書室出入口戸車修理	209,633
	都賀中	落雷による火報受信基板交換工事、武道場換気扇交換工事、網戸修理、清心館排煙窓修理、清心館屋根雨漏り修繕工事、プール給水弁交換工事、武道場換気扇交換、武道場換気扇交換、プールろ材交換内面塗装、プール補修塗装、オートリフター交換工事	3,131,625

(2) 主な業務委託

区分	学校名	業務概要	委託費(円)
測量設計	合戦場小	合戦場小学校校舎耐震補強設計業務委託	3,129,000
	赤津小	赤津小学校校舎耐震補強工事監理業務委託	1,365,000
		赤津小学校屋内運動場耐震補強改修設計業務委託	2,100,000

## (3) 主な学校設備保守点検業務委託

(単位：校)

委託業務名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	3	1
給食用ダムウォーター保守管理委託	3	-
消防用設備等定期点検委託	3	1
し尿汲取業務委託	1	-
警備委託	3	1
し尿浄化槽水質検査委託	1	-
し尿浄化槽維持管理委託	1	-
し尿浄化槽清掃委託	1	-
水泳プール循環浄化装置保守委託	3	1
受水槽清掃業務委託	3	-
簡易専用水道管理検査委託	3	-

## 2 コンピュータ整備状況

(単位：台)

学校名	パソコン教室	校務用	合計
合戦場小	41	28	69
家中小	41	23	64
赤津小	41	19	60
都賀中	41	36	77
合計	164	106	270

## 3 学校教育に関する事業

## (1) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。また、福島原発事故で避難してきた被災児童生徒への就学援助も併せて行った。

	対象者(人)	支給額(円)
小学校	31(うち被災児童5)	1,776,293(うち被災児童286,169)
中学校	18(うち被災生徒2)	1,420,752(うち被災生徒161,766)
合計	49(うち被災関係7)	3,197,045(うち被災関係447,935)

## (2) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

	対象者(人)	支給額(円)
小学校	15	494,583

中学校	2	77,156
合 計	17	571,739

(3) 遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学生徒の保護者の経済的負担を軽減するため補助金を交付した。

中学校 6km以上

学 校 名	対 象 者(人)	支 給 額 (円)
都 賀 中	2	5,200

(4) スクールガードリーダー配置事業

各小学校にスクールガードリーダーを配置し、学校安全ボランティアと連携し児童生徒の安全を確保した。また、ボランティア活動を後押しするため、学校安全ボランティア補助金を交付した。

- ・ 下校時安全対策 183回
- ・ ボランティア募集 3回
- ・ 通学路の危険箇所調査 3回
- ・ 交通安全・防犯感謝の会 3回
- ・ 補助額 250,000円

生涯学習担当

1 生涯学習推進関係

(1) 生涯学習市民参加型事業

ア 都賀音楽フェスティバル

幅広い市民・年齢層の方々に参加を募り、音楽を通じて、地域・世代間交流を深めるとともに、地域に根ざした生涯学習を行った。

- ・ テーマ ～みんなで「第九」を楽しもう！～
- ・ 実施日 11月4日(日)
- ・ 内 容 地域内小中学校と連携しての合唱  
音楽劇「こんにちはシューベルトさん～都賀ヴァージョン～」  
一般公募により結成した混声合唱団による「第九」合唱
- ・ 構 成 生涯学習市民参加型実行委員 16人  
企画運営員 12人  
混声合唱団 190人
- ・ 参加者 699人

イ 都賀体験講座

地域住民をはじめ市民の方々が様々な講座を受講する機会と、市民講師や地元サークルが自らの活動を紹介・ピアールする機会を提供した。また、受講生が興味関心を高め、地域内外の方々と交流を深めることにより、サークル活動等を始める契機とするために実施した。

- ・ 実施期間 9月20日(木)～10月19日(金)
- ・ 時 間 午前の部 午前10時～12時

午後の部 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

夜の部 午後 7 時～9 時

- ・会場 都賀公民館及び大柿コミュニティセンター
- ・講師 市民講師 7 人  
地元サークル 5 サークル  
地元団体等 2 団体
- ・講座数 17 講座 37 回
- ・参加者 延べ 304 人

(2) 地産地消・食育推進事業

ア 食育体験学習

地域の豊かな自然や農業への理解を深めるために、食育の一環として、給食に納入される野菜を児童の手で収穫する体験学習を小学校の生活科の授業において実施した。また、収穫した野菜を給食に使用した児童と生産者の交流給食を実施することにより、感謝の気持ちを育てるとともに地産地消の理解を深めるための支援を行った。

- ・実施内容 野菜収穫体験、生産者との交流給食
- ・収穫野菜 じゃがいも
- ・対象 都賀地域各小学校 2 年生
- ・実施場所 各小学校区内地元協力者所有の畑及び各小学校

実施校	実施内容	実施日	実施場所	参加人数(人)
合戦場小	野菜収穫体験	7 月 2 日 (月)	都賀町家中	58
	交流給食	7 月 10 日 (火)	合戦場小学校	
家中小	野菜収穫体験	6 月 22 日 (金)	都賀町富張	28
	交流給食	7 月 6 日 (金)	家中小学校	
赤津小	野菜収穫体験	6 月 25 日 (月)	都賀町大橋	26
	交流給食	7 月 9 日 (月)	赤津小学校	

イ 親子手づくりケーキ教室

地元の特産物である苺を使って親子でクリスマスケーキをつくることにより、地産地消の普及と食育を考える契機とするために実施した。

- ・実施日 12 月 24 日 (月)
- ・内容 親子でのケーキづくりとプチクリスマスコンサート
- ・参加者 親子 36 家族 (88 人)

ウ 食育フェスティバル

地元で生産された安全安心な農作物・農産物加工品を地元で消費する機会を提供し地産地消の普及を図るとともに、都賀地域全体の食育に関する意識の向上を図った。

- ・実施日 2 月 24 日 (日)
- ・内容 講話「成長期の子どものためのスポーツ栄養学」  
食育体験学習発表「収穫のよろこびから食育へ」(赤津小学校児童)

アイデアお菓子開発披露、試食会、食育関係の寸劇と歌、食育カルタ  
 ・参加者 171人

## 2 地域教育関係

### (1) とちぎアシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を組織し地域の教育力を高めるため実施した。

- ・都賀地域教育協議会 3回
- ・都賀地域アシストネット本部コーディネーター打合せ会 4回
- ・都賀地域学校支援ボランティア基礎講座 1回

### (2) 地域学習事業

地域での自主的活動としての生涯学習を推進することにより、地域の教育力の充実を図るため、自治会や学校などで開催する地域学習に対して支援をした。

地域学習事業	対 象
地域学習文化、スポーツレクリエーション大会	5自治会 (548人)
自治会公民館子ども育成活動	8自治会 (559人)
地域学習講師報償関係	12自治会 (734人)
学校支援ボランティア関係	163人

### (3) 放課後子ども教室事業（地域ふれあい交流事業）

各小学校において、地域住民と児童との交流活動を昼休みに実施し、心のふれあいから児童への心の教育と地域教育力の向上を図った。

実施校	実施期間	実施回数(回)	内 容	参加者数(人)
合戦場小	9月12日(水) ～11月21日(水)	6	高齢者との交流活動 (輪投げ)	239
家中小	1月16日(水) ～2月27日(水)	6	高齢者との交流活動 (輪投げ・ペタンク)	254
赤津小	10月3日(水) ～11月28日(水)	6	高齢者との交流活動 (輪投げ・グラウンドゴルフ)	199

## 3 成人教育関係

成人式（都賀会場）

実施日	会 場	会議名等	出席者数(人)
8月18日(土)	都賀公民館	成人式実行委員会	20
8月19日(日)	都賀公民館	成人式イベント作成	5
9月8日(土)	大平公民館	市各実行委員会代表者会議	25
11月11日(日)	都賀公民館	係合同打合せ	10
12月2日(日)	都賀公民館	成人式イベント作成	7

12月15日(土)	都賀公民館	合同クラス会打合せ	6
1月6日(日)	都賀公民館	係合同打合せ	15
1月11日(金)	都賀文化会館 (ハートホール)	成人式実行委員会 成人式リハーサル	20
1月13日(日)	都賀文化会館 (ハートホール)	平成25年栃木市成人式	112

#### 4 子育て支援関係

子育て支援として家庭教育の推進を図るため、子育て中の保護者を対象に親学習プログラム等を活用して講座を開催した。

実施日	内容	会場	参加者数
8月20日(月)	親子おりがみ工場見学&親学習	(株)トーヨー 都賀公民館	親子12家族 (33人)
9月24日(月)～ 10月15日(月)	親子で伝承食を楽しもう講座	都賀公民館	親子12家族 (34人)
12月23日(日)	親子クリスマスケーキづくり	都賀公民館	親子36家族 (88人)

#### 5 社会教育関係団体育成

各団体の事業計画から実施について助言等を行い、各団体の自主的活動の促進、育成のために援助、協力を行った。

- ・対象団体 地域女性会、家庭教育オピニオンリーダー会、都賀町のこどもを育む会  
子ども会育成会連絡協議会、ジュニアリーダーズクラブ、青年団

#### 6 公民館関係

##### (1) 使用状況

施設名	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
都賀公民館	1,079	20,492	186,850

##### (2) 成人教育

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
5月17日(木) ～12月13日(木)	ふれあい大学 (高齢者教室)	都賀公民館ほか	延べ369	8回
6月6日(水) ～12月13日(木)	ふれあい大学サークル (カラオケ)	都賀公民館ほか	延べ125	7回
6月18日(月) ～12月13日(木)	ふれあい大学サークル (フォークダンス)	都賀公民館ほか	延べ109	7回
12月24日(月)	サンタの宅配サービス	都賀地域全域	38	

## (3) 女性教育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
5月17日(木) ～12月13日(木)	女性セミナー	都賀公民館ほか	延べ229	8回
5月24日(木)	女性会視察研修会	茨城県水戸市	25	女性会主催
6月18日(月) ～12月15日(土)	女性セミナーサークル(コーラス)	都賀公民館ほか	延べ96	7回
8月11日(土)	つが盆踊り大会協力	都賀運動場	女性会協力人数 54	
2月24日(日)	食育フェスティバル協力	都賀公民館	女性会協力人数 10	
3月2日(土)	福祉ふれあいのつどい協力	都賀文化会館	女性会協力人数 4	
随時	公民館除草作業	都賀公民館	40～50	女性会主催

## (4) 青少年教育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
5月12日(土)	レクリエーション大会	合戦場小・家中小・つがの里	約560	子ども会育成会主催
7月7日(土) ～2月2日(土)	子どもふれあい 楽習教室	都賀公民館ほか	延べ182	10回
7月21日(土) ～29日(日)	つが子ども会 リーダー研修会	大柿コミュニティ センター	88	子ども会育成会 への委託事業
12月23日(日)	カルタ大会	西方総合文化体育館	416	子ども会育成会主催

## (5) その他

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月11日(土)	つが盆踊り大会	都賀市民運動場	約4,000	

## 7 社会体育施設関係

## (1) 施設の種類

施設名	建設年	面積 (㎡)		備考
		敷地	建物	
都賀市民運動場	平成11年	15,537.06		
都賀体育センター	昭和50年	2,413	999.91	鉄骨平屋、瓦棒葺
つがスポーツ公園 多目的広場	平成11年	48,500		
つがスポーツ公園 テニスコート	平成4年	4,017		
都賀南部コミュニティセ ンター	平成8年	9,064.86	935.11	鉄骨造

木コミュニティセンター	平成5年	7,677.31	821.4	鉄骨造
大柿コミュニティセンター	昭和63年	4,013	517.63	鉄骨造

(2) 利用状況

(単位:人)

施設名 月	都賀市民運動場	都賀体育センター	つがスポーツ公園 多目的広場	つがスポーツ公園 テニスコート	都賀南部コミュニティセンター	木コミュニティセンター	大柿コミュニティセンター	合計
4月	1,968	1,385	493	282	2,695	1,808	243	8,874
5月	1,357	2,001	1,448	784	691	670	272	7,223
6月	3,129	1,125	293	672	2,477	710	378	8,784
7月	1,349	1,066	865	457	3,111	3,431	505	10,784
8月	2,421	883	1,887	1,469	601	1,433	408	9,102
9月	2,191	1,092	965	461	1,960	2,156	294	9,119
10月	1,444	1,129	1,246	547	1,908	1,348	306	7,928
11月	1,106	693	702	543	861	853	220	4,978
12月	1,405	1,451	405	592	1,856	1,198	133	7,040
1月	1,276	1,012	360	659	1,606	1,520	140	6,573
2月	1,320	1,436	547	604	1,451	1,475	160	6,993
3月	1,120	892	299	532	1,360	1,334	320	5,857
合計	20,086	14,165	9,510	7,602	20,577	17,936	3,379	93,255
平均	1,674	1,180	793	634	1,715	1,495	282	7,771

8 学校開放施設関係

利用状況

(単位:人)

学校名 月	合戦場小	家中小	赤津小	都賀中	合計
4月	627	470	670	1,328	3,095
5月	1,180	347	637	519	2,683
6月	262	419	566	623	1,870
7月	1,548	822	1,063	544	3,977
8月	1,285	633	980	546	3,444
9月	986	843	1,024	442	3,295
10月	708	253	450	388	1,799
11月	1,081	166	480	360	2,087
12月	626	119	473	645	1,863
1月	1,129	159	280	713	2,281
2月	1,039	264	686	650	2,639

3月	1,005	303	350	1,104	2,762
合計	11,476	4,798	7,659	7,862	31,795
平均	956	400	638	655	2,650

## 9 第3回都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバル

新種目を加え全自治会が参加し、スポーツを通して健康づくり、全体の融和と親睦を深め健康で明るい住みよい地域づくりに寄与しその連帯感を養うことを目的に実施した。

- ・実施日 10月7日（日）
- ・会場 つがスポーツ公園
- ・競技種目
  - ①ぶっ玉げた！！
  - ②10時のおやつ
  - ③綱引き
  - ④備えあれば、嬉し泣き
  - ⑤縄跳び競争
  - ⑥子ども綱引き
  - ⑦今昔玉手カゴ
  - ⑧そんなの白根マラソン
  - ⑨大玉RUNNER
- ・体験種目
  - ①ターゲットバードゴルフ
  - ②カヌー
  - ③テニス
  - ④グラウンドゴルフ（中止）
- ・参加人数 2,708人（延べ人数）

## 10 生涯スポーツ推進事業

### (1) 年間各種教室

専門部実施教室	開催曜日	会場	備考
剣道教室	水・土	都賀中学校 清心館	毎週実施
柔道教室	火・木・金	大柿コミュニティセンター	毎週実施
空手教室	月・木	木コミュニティセンター	毎週実施
健康ダイエット教室	土	西方総合文化体育館	毎週実施

### (2) 親子スポーツ教室

実施教室	実施日	会場	備考
親子スキー教室	1月7日（月）	ハンターマウンテンスキー場	

(3) 総合型地域スポーツクラブ主催教室

実施教室	開催曜日	時間	会場
カヌー体験教室	4月～7月の土・日	午前 10 時～午後 2 時	つがの里
バランスボール教室	毎週金曜日	午後 8 時～9 時	木コミュニティセンター
ジュニアバスケ教室	毎週火曜日	午後 5 時 30 分～7 時	都賀南部コミュニティセンター
ダイエット教室	毎週土曜日	午後 7 時 30 分～8 時 45 分	西方総合文化体育館

## 第10節 西方教育支所

### 〔総括概要〕

西方地域における幼稚園教育、小中学校の学校教育及び生涯学習の振興を図るため、各種事務事業を実施した。

学校教育関係事務事業における学校の管理運営面では、教育環境保持のため、施設の保守点検および維持補修を行った。

学校の施設整備では、児童生徒が1日の大半を過ごす場所、災害発生時の地域住民の応急避難場所として安全性を確保するため、耐力度調査の結果を踏まえ、構造的に危険な状態にあった西方中学校校舎の改築を平成23年度からの継続事業により12月に完成した。校舎の屋根には地球温暖化対策の推進や環境教育の活用に資するため太陽光発電設備を設置した。なお、旧校舎は新校舎への引越後、3月に解体を完了した。

また、真名子小学校及び西方中学校の屋内運動場については、耐震補強・大規模改修実施設計業務を行い、工事については文科省の前倒し要請により、3月補正予算にて工事に要する経費を計上し、平成25年度に全額繰越とした。

学校教育支援では、教育環境の公平性と充実を図るため、就学援助事務を行った。

生涯学習分野では、「いつでも、どこでも、だれでも」学習の機会を自由に選択して学びに参加し、いきいきと自分自身を輝かせ、夢を実現していった欲しいとの願いを基本理念に、①心豊かな生きがいがづくり(ひとりいち学習)として、学ぶことへの意識が高まるなか、価値観やライフスタイルの変化により、住民の多様化する学習活動や学習ニーズに応えるため、公民館講座として「おとなの学校(教養講座)」「女性セミナー」、青少年の育成や親子のふれあいなどを目的とした「ワクワク親子塾」、高齢者のいきがいがづくりのための「うきうき元気クラブ」などを実施した。

②心のふれあう人間関係づくり(ひとりいち活動)として、住民が活動を通して互いにふれあいを深めるために、地区コミュニティ推進協議会の文化・書道・子ども部による各活動、文化協会を中心とした実行委員会による「文化祭」、青少年育成を推進する組織(市民会議)を実行委員として活用した「子ども夏まつり」など、各社会教育団体が自主的・主体的に実施する活動を積極的に支援した。

また、地域の方が生涯学習で身につけた知識や技術・経験を活かして、学校をステージに子どもたちの学習を支援する「とちぎ未来アシストネット事業」の体制を構築し、地域の教育力を活かす学校支援ボランティアの推進を図った。

③いきいき健康体力づくり(ひとりいちスポーツ)として、住民の健康や体力の増進を図るため、「ピンピン体操」「ハイキング教室」などを開催し、スポーツ教室の充実を図るとともに、「西方地区体育祭」を開催し、地域住民のふれあいスポーツの充実を図った。また、スポーツ関係団体の支援については、体育協会及び体育協会が実施する事業への支援を行い、スポーツの普及推進を図った。

教育総務担当

1 学校施設の整備状況

改築・耐震補強・大規模改修工事等	( 1棟)	890,228,500円
小中学校維持補修費	( 33件)	11,781,208円
小中学校設備保守点検等委託料	( 10件)	2,292,575円

(1) 主な工事

業務名称	対象施設	学校名	工事概要	工事費(円)
西方中学校舎改築工事等	校舎等	西方中	校舎建築工事（平成23年～24年継続事業） 鉄筋コンクリート造3階建 1棟 3,465㎡	801,850,000 (1,013,250,000)
			太陽光発電設備工事（平成23年度繰越事業） 発電能力 30Kw パワーコンディショナー 3面	32,130,000
			旧校舎解体工事 旧校舎・渡り廊下・自転車置場 便所・浄化槽・門扉等	55,965,000
(修繕含む) 施設整備工事	校舎・校庭等	西方小	プール水道施設等工事、プール濾過設備修繕 普通教室照明修繕・校庭遊具修繕ほか	8,383,935
		真名子小	門扉回収工事、男子便所便器修繕、校庭遊具 修繕、手摺塗装修繕、校内防犯灯修繕ほか	2,700,777
		西方中	部室シャッター修繕、体育館器具室雨漏り修 繕、火災報知器基盤修繕ほか	696,496

(2) 主な業務委託(学校施設整備関係)

業務名称	対象施設	学校名	業務概要	委託費(円)
施工監理	校舎・校庭等	西方中	校舎建築工事の施工監理業務の委託 (平成23年～24年継続事業) 《着工から完成までの工事監理業務》	17,440,000 (19,740,000)
			旧校舎解体工事の施工監理業務の委託	472,500
測量・設計	校舎・校庭等	西方小	プール水道施設等工事設計業務の委託	446,250
		真名子小	屋内運動場耐震・大規模工事実施設計業務の委託	3,969,000
		西方中	屋内運動場耐震・大規模工事実施設計業務の委託	4,672,500
			プール管理棟改築工事実施設計業務の委託	456,750

## (3) 主な学校設備保守点検業務委託

(単位：校)

委託名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	1	1
給食用ダムウォーター保守管理委託	1	1
自動火災報知等消防設備保守点検委託	2	1
警備委託	2	1
浄化槽保守点検業務委託	1	—
水泳プール循環浄化装置保守委託	2	1
水道貯水槽清掃業務委託	2	1
簡易専用水道管理検査委託	1	1

## 2 コンピュータ整備状況

(単位：台)

学校名	パソコン教室用	校務用	合計
西方小	36	38	74
真名子小	17	21	38
西方中	37	30	67
合計	90	89	179

## 3 学校教育関係事業

## (1) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

学校名	対象者(人)	支給額(円)
小学校	9	633,574
中学校	6	622,110
計	15	1,255,684

## (2) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

学校名	対象者(人)	支給額(円)
小学校	4	136,700
中学校	1	52,170
計	5	188,870

## (3) 遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学生徒の保護者の経済的負担を軽減するため補助金を交付した。

中学校 6 km以上

学校名	対象者(人)	支給額(円)
西方中	11	33,000

4 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

西方幼稚園に就園する3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象に経済的負担軽減を目的として保育料の減免措置を行った。

(1) 国庫補助事業交付額

- ・ 交付人数 3人
- ・ 交付金額 119,000円

(2) 市単独幼稚園第三子以降保育料減免事業

- ・ 交付人数 5人
- ・ 交付金額 479,000円

5 幼稚園

(1) 幼稚園入園状況

年齢別園児数 (単位：人)

年齢	3歳	4歳	5歳	計
人数	19	18	19	56

(2) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区分	受診者数(人)	実施日	要精検者数(人)
健康診断	54	5月8日(火)	-
眼科検診	51	5月11日(金)	-
歯科検診	56	6月4日(月)	-

イ 検便等の実施状況

区分	受診者数(人)	実施日	要精検者数(人)
寄生虫卵	55	5月30日(水)	-
検尿検査	52	5月30日(水)	-

ウ 年間行事実施状況

区分	主な行事
4月	入園式
5月	親子遠足
6月	保育参観
7月	プール開き、夏祭り
8月	-

9月	—
10月	運動会、保育参観
11月	国公立幼稚園長会特別事業参加
12月	なかよし発表会、クリスマスの集い
1月	—
2月	まめまき
3月	防犯教室、お別れ会、卒園式

※ その他、毎月誕生児の誕生会を催した。

(3) 特別支援児保育の状況

- ・特別支援児入園数 1人

(4) 防災対策状況

- ・設備、遊具等の整備点検（8月実施）
- ・避難訓練（年12回実施）
- ・安全のための実施訓練（年2回実施）

(5) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定した。

イ 給食構成

- ・主食、副食（完全給食）

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況

区 分	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A ( $\mu$ gRE)	B <sub>1</sub> (mg)	B <sub>2</sub> (mg)	C (mg)	
園児栄養摂取値	411	16.0	13.4	191	1.9	425	0.24	0.33	23	1.7
栄養給与目標値	450	17.0	12.0	210	2	160	0.3	0.3	16	—

(6) 特別保育科目設定実施事業

世代間の交流を目的に季節的行事（クリスマス会）に地域の高齢者等を招待し、園児とのふれあいを行った。

生涯学習担当

1 生涯学習推進関係

(1) 生涯学習公開事業

全講座受講生及び幅広い市民の方々に参加を募り、公開講座を通して地域・世代間交流を深めるとともに、地域に根ざした生涯学習を行った。

ア ふるさと探訪会

- ・実施日 6月10日(日)
- ・内 容 小倉用水を歩きながら、先人の足跡について理解を深める。  
講 師 栃木県文書館 平野哲也氏

- ・参加者 31人

#### イ 生涯学習のつどい

- ・実施日 3月16日(土)

- ・内 容 地域の生涯学習拠点施設である西方公民館において活動する社会教育団体・講座受講生等が一堂に集い、生涯学習でいきいきと自分自身を輝かせ、夢を実現している事例を見聞した。

「バラエティショー」(漫談・口上・マジック)

出演者 プラザトリオ(代表：宇賀神功)

「津軽三味線の合奏」

出演者 大部雄山会(代表：大部俊雄)

- ・参加者 140人

## 2 地域教育関係

### (1) とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を組織し地域の教育力を高めるため実施した。

- ・地域教育協議会の開催：2回実施
- ・各学校・地域コーディネーターとの打ち合わせ会：6回実施

## 3 成人教育関係

### 成人式(西方会場)

実施日	会場	会議名等	出席者数(人)
11月16日(金)	西方公民館	成人式実行委員会	5
11月28日(水) 12月12日(水)	西方公民館	成人式イベント企画	5
1月12日(土)	西方総合文化体育館	会場準備 成人式リハーサル	10
1月13日(日)	西方総合文化体育館	平成25年栃木市成人式(西方会場)	62

## 4 子育て支援関係

小学校の就学時健康診断時に小学校新入学の保護者を対象に親学習プログラム指導者である「親学習の会にしかた」を活用して実施した。

実施日	内 容	場 所	出席者数(人)
10月16日(火)	親学習プログラム 保護者どうしのあったかこみゆにけーしょん	西方小学校	37
10月24日(水)	親学習プログラム 「子どものいい所を伸ばそう、目覚ましスイッチをいれていますか？」 ～早寝・早起き・朝ごはん～	真名子小学校	10

## 5 社会教育関係団体育成

各団体の事業計画から実施について助言等を行い、団体の自主的活動の促進、育成のために援助、協力を行った。

- ・地域婦人会
- ・家庭教育オピニオンリーダー会
- ・親学習プログラムの会
- ・子ども会育成会連絡協議会
- ・文化協会

## 6 公民館関係

### (1) 使用状況

施設名	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
西方公民館	537	7,564	46,600

### (2) 成人教育

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	回数(回)
5月27日(日)～12月9日(日)	ぶらっと栃木-戦国編-	西方公民館ほか	延べ118	5
6月1日(金)～11月7日(水)	おとなの学校	西方公民館ほか	〃 80	5
6月19日(火)～12月21日(金)	うきうき元気クラブ	西方公民館ほか	〃 33	4
6月27日(水)～10月31日(水)	男声合唱を楽しむ	西方公民館	〃 68	10
9月7日(金)～11月9日(金)	パソコン教室	西方公民館	〃 85	10

### (3) 女性教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	回数(回)
6月7日(木)～2月21日(木)	女性セミナー	西方公民館ほか	延べ118	8

### (4) 青少年教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	回数(回)
6月10日(日)～1月19日(土)	ワクワク親子塾	西方公民館ほか	延べ110	6

### (5) その他

実施日	事業名	場所	参加人数(人)
8月19日(日)	にしかた子ども夏まつり	西方総合文化体育館	約2,000人
11月23日(金)～11月24日(土)	西方文化祭	西方総合文化体育館	約1,000人

## 7 社会体育施設

### (1) 施設の種類の

施設名	建設年	面積 (㎡)		備考
		敷地	建物	
西方総合文化体育館	平成15年	13,374.52	3,868.65	鉄骨造2階

西方総合公園運動場	昭和59年	20,068	183.53	鉄骨造1階
西方北グラウンド	平成6年	14,878		
西方南グラウンド	昭和58年	11,250		
西方桜グラウンド	昭和40年	8,636		
真名子運動広場	平成1年	11,700		

(2) 利用状況

(単位:人)

施設名 月	西方総合文化体育館	西方総合公園運動場	西方北グラウンド	西方南グラウンド	西方桜グラウンド	真名子運動広場	合計
4月	3,491	312	395	68	158	111	4,535
5月	3,337	649	293	30	245	90	4,644
6月	2,603	874	325	-	158	70	4,030
7月	2,784	693	284	-	165	80	4,006
8月	2,613	484	286	39	168	90	3,680
9月	12,272	1,020	388	20	148	90	13,938
10月	2,436	560	295	-	175	90	3,556
11月	2,444	530	170	10	158	80	3,392
12月	4,718	423	387	34	148	80	5,790
1月	2,270	145	298	52	468	86	3,319
2月	3,890	188	275	52	478	80	4,963
3月	3,777	1,302	495	39	548	150	6,311
合計	46,635	7,180	3,891	344	3,017	1,097	62,164
平均	3,886	598	324	28	251	91	5,180

8 学校開放施設関係

利用状況

学校名 月	西方小	真名子小	西方中	合計
4月	748	25	120	893
5月	395	45	235	675
6月	785	55	308	1,148
7月	648	-	284	932
8月	192	-	161	353
9月	809	70	345	1,224

10月	389	200	504	1,093
11月	569	243	361	1,173
12月	409	230	303	942
1月	425	220	124	769
2月	791	240	274	1,305
3月	212	120	244	576
合計	6,372	1,448	3,263	11,083
平均	531	120	271	923

## 9 生涯スポーツ推進事業

### 健康講座

専門部実施教室	開催曜日	会場	備考
健康教室	月2回木曜日	西方総合文化体育館	

## 10 栃木市西方地区体育協会事業

### (1) 剣道

実施日	行事名	場所
7月28日(土)	西方剣道教室定期大会	西方総合文化体育館
8月26日(日)	栃木地区剣道連盟少年錬成大会	大平体育館
11月3日(土)	近津神社剣道奉納大会	近津神社境内
11月18日(日)	スポーツ少年団剣道大会	県武道館
12月15日(土)	剣道教室定期大会	西方総合文化体育館
3月30日(土)	西方剣道教室定期大会	西方総合文化体育館

### (2) テニス

実施日	行事名	場所
5月6日(日)	春季テニス大会	西方総合公園
10月14日(日)	秋季テニス大会	西方総合公園

### (3) バレーボール

実施日	行事名	場所
5月20日(日)	婦人春季バレーボール大会	西方総合文化体育館
7月8日(日)	婦人七夕杯バレーボール大会	西方総合文化体育館
11月18日(日)	婦人秋季バレーボール大会	西方総合文化体育館

### (4) 空手

実施日	行事名	場所
5月3日(木)	栃木県錬成大会	県南体育館
8月26日(日)	栃木市空手道大会	総合体育館

10月21日(日)	県民スポーツ大会	鹿沼総合体育館
-----------	----------	---------

(5) グランドゴルフ

実 施 日	行 事 名	場 所
5月21日(月)	第15回 G G 交流大会	西方北グラウンド
6月22日(金)	第16回 G G 交流大会	真名子運動広場
8月31日(金)	第17回 G G 交流大会	西方北グラウンド
12月10日(月)	第18回 G G 交流大会	西方北グラウンド
3月6日(水)	都賀・西方親善グラウンドゴルフ大会	つがスポーツ公園

## 第 16 章 選挙管理委員会事務局

### 〔総括概要〕

選挙管理委員会事務局の主な分掌事務は、選挙管理委員会の会議に関すること、各種選挙の執行管理、直接請求及び選挙の啓発に関すること等である。

選挙は、国民が政治に参加する最も基本的な機会であって、積極的な投票への参加は、民主主義の発展のために欠かすことのできないものである。また、明るく適正な選挙の推進については、国民一人ひとりが政治の基本となる選挙に関心を持ち、有権者としての自覚を持つことが必要である。

この趣旨を踏まえ、小・中学校の児童生徒を対象に明るい選挙啓発ポスターの募集・入選作品展を行い、また、新有権者に対し選挙啓発資料を配付する等、選挙の常時啓発を推進した。

本年度は11月に衆議院が解散されたことにより、12月に衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が行われたほか、11月に栃木県知事選挙が執行された。

また、国府土地改良区総代選挙、大平西部土地改良区総代選挙、都賀町土地改良区総代選挙をそれぞれ執行した。

### 選挙担当

#### 1 選挙管理委員会の状況

##### (1) 委員及び補充員

職名	氏名	就任年月日
委員長	相田 政郎	平成22年6月4日
職務代理者	平戸 和夫	〃
委員	川田 祐章	〃
〃	若林 祐市	〃
補充員	中田 芳宏	〃
〃	熊倉 通也	〃
〃	川島 文雄	〃
〃	飯島 茂雄	〃

##### (2) 委員会開催状況

開催日	種別	付議件数(件)		開催場所
		議案	報告	
4月2日(月)	定例	2	3	選挙管理委員会事務室
5月8日(火)	定例	1	2	選挙管理委員会事務室
6月2日(土)	定時	5	-	選挙管理委員会事務室
7月3日(火)	定例	3	-	選挙管理委員会事務室
8月7日(火)	定例	4	-	選挙管理委員会事務室

9月2日(日)	定時	4	2	選挙管理委員会事務室
10月5日(金)	定例	3	-	選挙管理委員会事務室
10月31日(水)	選挙時	20	-	第5会議室
11月1日(木)	選挙時	1	-	選挙管理委員会事務室
11月15日(木)	選挙時	1	-	選挙管理委員会事務室
11月18日(日)	選挙時	5	-	総合体育館
12月2日(日)	定時	4	-	期日前投票所 <sup>プ</sup> レハ <sup>ブ</sup>
12月3日(月)	選挙時	23	-	選挙管理委員会事務室
12月4日(火)	選挙時	1	-	選挙管理委員会事務室
12月13日(木)	選挙時	6	-	選挙管理委員会事務室
12月16日(日)	選挙時	2	-	西方総合文化体育館
1月8日(火)	定例	4	-	選挙管理委員会事務室
2月4日(月)	定例	3	-	選挙管理委員会事務室
2月19日(火)	定例	5	-	選挙管理委員会事務室
3月2日(土)	定時	6	-	選挙管理委員会事務室

(3) 議案件数 103件

番号	提出日	議案名
1	4月2日	選挙人名簿の抹消について
2	4月2日	選挙人名簿登録の際に登録されるべきでなかった者の抹消について
3	5月8日	選挙人名簿の抹消について
4	6月2日	選挙人名簿の抹消について
5	6月2日	選挙人名簿の定時登録について
6	6月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
7	6月2日	在外選挙人名簿の登録について
8	6月2日	国府土地改良区総代選挙の期日について
9	7月3日	選挙人名簿の抹消について
10	7月3日	国府土地改良区総代選挙の選挙長及び職務を代理すべき者の住所及び氏名について
11	7月3日	国府土地改良区総代選挙の選挙立会人の住所及び氏名について
12	8月7日	選挙人名簿の抹消について
13	8月7日	選挙人名簿登録の際に登録されるべきでなかった者の抹消について
14	8月7日	在外選挙人名簿の登録について抹消について
15	8月7日	在外選挙人名簿の登録申請について
16	9月2日	選挙人名簿の抹消について
17	9月2日	選挙人名簿の定時登録について
18	9月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
19	9月2日	在外選挙人名簿の登録について
20	10月5日	選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
21	10月5日	大平西部土地改良区総代選挙の期日について
22	10月5日	在外選挙人名の抹消について

23	10月31日	選挙人名簿の抹消について
24	10月31日	選挙人名簿の選挙時登録について
25	10月31日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
26	10月31日	栃木県知事選挙の投票所の場所について
27	10月31日	栃木県知事選挙の期日前投票所の場所及び期間について
28	10月31日	栃木県知事選挙の投票管理者及び職代理者の住所及び氏名について
29	10月31日	栃木県知事選挙の投票管理者及びその職代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について
30	10月31日	栃木県知事選挙の不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所について
31	10月31日	栃木県知事選挙の開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について
32	10月31日	栃木県知事選挙の開票の場所及び日時について
33	10月31日	栃木県知事選挙の開票立会人のくじを行う場所及び日時について
34	10月31日	栃木県知事選挙のポスター掲示場を設置する場所について
35	10月31日	栃木県知事選挙の氏名掲示の順序について
36	10月31日	栃木県知事選挙の投票立会人の選任について
37	10月31日	栃木県知事選挙の期日前投票立会人の選任について
38	10月31日	栃木県知事選挙の投票所の閉鎖時刻を繰り上げることについて
39	10月31日	在外選挙人名簿の抹消について
40	10月31日	大平西部土地改良区総代選挙の選挙長及び職務を代理すべき者の住所及び氏名について
41	10月31日	大平西部土地改良区総代選挙の選挙立会人の住所及び氏名について
42	10月31日	選挙人名簿登録の際に登録されるべきでなかった者の抹消について
43	11月1日	栃木県知事選挙の氏名掲示について
44	11月15日	栃木県知事選挙における開票立会人の決定について
45	11月18日	選挙人名簿の抹消について
46	11月18日	栃木県知事選挙の当日有権者について
47	11月18日	選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
48	11月18日	在外選挙人名簿に登録する者の縦覧の場所について
49	11月18日	選挙人名簿に登録する者の縦覧の場所について
50	12月2日	選挙人名簿の抹消について
51	12月2日	選挙人名簿の定時登録について
52	12月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
53	12月2日	在外選挙人名簿の登録について
54	12月3日	選挙人名簿の抹消について
55	12月3日	選挙人名簿の選挙時登録について
56	12月3日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
57	12月3日	衆議院議員総選挙の投票場所について
58	12月3日	衆議院議員総選挙の期日前投票所の場所及び期間について
59	12月3日	衆議院議員総選挙の指定期日前投票所の場所について

60	12月3日	衆議院小選挙区選出議員選挙の投票管理者の住所及び氏名について
61	12月3日	衆議院比例代表選出議員選挙の投票管理者の住所及び氏名について
62	12月3日	衆議院比例代表選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について
63	12月3日	衆議院小選挙区選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について
64	12月3日	衆議院議員総選挙の不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所について
65	12月3日	衆議院小選挙区選出議員選挙の開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について
66	12月3日	衆議院比例代表選出議員選挙の開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について
67	12月3日	衆議院議員総選挙の開票の場所及び日時について
68	12月3日	衆議院小選挙区選出議員選挙の開票立会人のくじを行う場所及び日時について
69	12月3日	衆議院比例代表選出議員選挙の開票立会人のくじを行う場所及び日時について
70	12月3日	衆議院小選挙区選出議員選挙のポスター掲示場を設置する場所について
71	12月3日	衆議院小選挙区選出議員選挙の氏名掲示の順序について
72	12月3日	衆議院小選挙区選出議員選挙の投票立会人の選任について
73	12月3日	衆議院比例代表選出議員選挙の投票立会人の選任について
74	12月3日	衆議院小選挙区選出議員選挙の期日前投票立会人の選任について
75	12月3日	衆議院比例代表選出議員選挙の期日前投票立会人の選任について
76	12月3日	衆議院議員総選挙の投票所の閉鎖時刻を繰り上げることについて
77	12月4日	衆議院小選挙区選出議員選挙の氏名掲示について
78	12月13日	衆議院小選挙区選出議員選挙における開票立会人の決定について (栃木県第2区)
79	12月13日	衆議院小選挙区選出議員選挙における開票立会人の決定について (栃木県第4区)
80	12月13日	衆議院小選挙区選出議員選挙における開票立会人の決定について (栃木県第5区)
81	12月13日	衆議院比例代表選出議員選挙における開票立会人の決定について (栃木県第2区)
82	12月13日	衆議院比例代表選出議員選挙における開票立会人の決定について (栃木県第4区)
83	12月13日	衆議院比例代表選出議員選挙における開票立会人の決定について (栃木県第5区)
84	12月16日	選挙人名簿の抹消について
85	12月16日	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の当日有権者数について
86	1月8日	選挙人名簿の抹消について
87	1月8日	選挙人名簿抄本閲覧者の公表について
88	1月8日	在外選挙人名簿抄本閲覧者の公表について
89	1月8日	都賀町土地改良区総代選挙の期日について
90	2月4日	在外選挙人名簿の登録について

91	2月4日	都賀町土地改良区総代選挙の選挙長及び職務を代理すべき者の住所及び氏名について
92	2月4日	都賀町土地改良区総代選挙の選挙立会人の住所及び氏名について
93	2月19日	選挙人名簿の抹消について
94	2月19日	農業委員会委員選挙人名簿の登録について
95	2月19日	栃木市農業委員会委員選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
96	2月19日	選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
97	2月19日	在外選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
98	3月2日	選挙人名簿の抹消について
99	3月2日	選挙人名簿の定時登録について
100	3月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
101	3月2日	在外選挙人名簿の登録について
102	3月2日	在外選挙人名簿の登録申請について
103	3月2日	栃木市農業委員会委員選挙の選挙期日及び選挙すべき委員の数について

(4) 告示件数 63件

番号	告示日	告示名
1	4月2日	選挙人名簿登録の際に登録されるべきでなかった者の抹消
2	5月31日	選挙人名簿縦覧場所の告示
3	5月31日	在外選挙人名簿縦覧の告示
4	6月2日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
5	7月26日	国府土地改良地区総代選挙の期日について
6	7月26日	国府土地改良地区総代選挙の選挙長及びその職務を代理すべき者の選任
7	7月26日	国府土地改良地区総代選挙の選挙立会人の選任
8	8月2日	国府土地改良地区総代選挙の当選人について
9	8月7日	選挙人名簿の際に登録されるべきでなかった者の抹消
10	8月31日	選挙人名簿縦覧場所の告示
11	8月31日	在外選挙人名簿縦覧場所の告示
12	9月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1
13	10月29日	選挙人名簿縦覧場所の告示
14	10月31日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1
15	11月1日	栃木県知事選挙の投票所の場所
16	11月1日	栃木県知事選挙の期日前投票所の場所（及び期間）
17	11月1日	栃木県知事選挙の投票管理者及びその職務代理者の選任
18	11月1日	栃木県知事選挙の期日前投票管理者とその職務代理者の選任
19	11月1日	栃木県知事選挙の不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所
20	11月1日	栃木県知事選挙の開票管理者及びその職務代理者
21	11月1日	栃木県知事選挙の開票の場所及び日時
22	11月1日	栃木県知事選挙の開票立会人のくじ

23	11月1日	栃木県知事選挙のポスター掲示場の設置
24	11月1日	栃木県知事選挙の氏名掲示の順序
25	11月1日	栃木県知事選挙の投票所の閉鎖時刻の繰り上げについて
26	11月1日	選挙人名簿の際に登録されるべきでなかった者の抹消
27	11月7日	補正登録
28	11月29日	都賀町土地改良区総代選挙の期日について
29	11月29日	都賀町土地改良区総代選挙の選挙長及び職務を代理すべき者の選任
30	11月29日	都賀町土地改良区総代選挙の選挙立会人の選任
31	11月30日	選挙人名簿縦覧場所の告示
32	11月30日	在外選挙人名簿縦覧場所の告示
33	12月1日	選挙人名簿縦覧場所の告示
34	12月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1
35	12月3日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1
36	12月4日	衆議院議員総選挙の投票所の場所
37	12月4日	衆議院議員総選挙の期日前投票所の場所（及び期間）
38	12月4日	衆議院議員総選挙の投票所の閉鎖時刻の繰り上げについて
39	12月4日	衆議院議員総選挙の指定期日前投票所の場所について
40	12月4日	衆議院小選挙区選出議員選挙の投票管理者及びその職務代理者の選任
41	12月4日	衆議院比例代表選出議員選挙の投票管理者及びその職務代理者の選任
42	12月4日	衆議院小選挙区選出議員選挙の期日前投票管理者とその職務代理者の選任
43	12月4日	衆議院比例代表選出議員選挙の期日前投票管理者とその職務代理者の選任
44	12月4日	衆議院議員総選挙の不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所
45	12月4日	衆議院小選挙区選出議員選挙の開票管理者及びその職務代理者
46	12月4日	衆議院比例代表選出議員選挙の開票管理者及びその職務代理者
47	12月4日	衆議院議員総選挙の開票の場所及び日時
48	12月4日	衆議院小選挙区選出議員選挙の開票立会人のくじ
49	12月4日	衆議院比例代表選出議員選挙の開票立会人のくじ
50	12月4日	衆議院小選挙区選出議員選挙のポスター掲示場の設置
51	12月4日	衆議院小選挙区選出議員選挙の氏名掲示の順序
52	12月6日	大平西部土地改良区総代選挙の当選人について
53	1月8日	選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表
54	1月8日	在外選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表
55	2月14日	都賀町土地改良区総代選挙の期日について
56	2月14日	都賀町土地改良区総代選挙の選挙長及び職務を代理すべき者の選任
57	2月14日	都賀町土地改良区総代選挙の選挙立会人の選任
58	2月20日	農業委員会委員選挙人名簿縦覧場所
59	2月21日	都賀町土地改良区総代選挙の当選人

60	2月26日	選挙人名簿縦覧場所の告示
61	2月26日	在外選挙人名簿縦覧場所の告示
62	3月2日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
63	3月31日	栃木市農業委員会の飯野の選挙権を有する者の2分の1の数

## 2 選挙人名簿登録者数

3月2日現在

(単位：人)

投票区名	男	女	計
栃木第1投票区	480	510	990
栃木第2投票区	573	654	1,227
栃木第3投票区	742	794	1,536
栃木第4投票区	592	666	1,258
栃木第5投票区	1,109	1,173	2,282
栃木第6投票区	889	1,020	1,909
栃木第7投票区	635	711	1,346
栃木第8投票区	1,887	1,952	3,839
栃木第9投票区	1,461	1,486	2,947
栃木第10投票区	2,084	2,261	4,345
栃木第11投票区	882	931	1,813
栃木第12投票区	1,718	1,848	3,566
栃木第13投票区	1,230	1,352	2,582
栃木第14投票区	1,072	1,087	2,159
栃木第15投票区	613	701	1,314
栃木第16投票区	1,325	1,355	2,680
栃木第17投票区	668	684	1,352
栃木第18投票区	684	725	1,409
栃木第19投票区	193	202	395
栃木第20投票区	444	464	908
栃木第21投票区	576	561	1,137
栃木第22投票区	1,765	1,869	3,634
栃木第23投票区	1,132	1,097	2,229
栃木第24投票区	1,113	1,164	2,277
栃木第25投票区	437	458	895
栃木第26投票区	372	426	798
栃木第27投票区	486	502	988

栃木第 28 投票区	59	54	113
栃木第 29 投票区	611	720	1,331
栃木第 30 投票区	672	717	1,389
栃木第 31 投票区	1,122	1,147	2,269
栃木第 32 投票区	1,882	1,993	3,875
栃木第 33 投票区	1,402	1,512	2,914
栃木第 34 投票区	1,014	1,136	2,150
合計	31,924	33,932	65,856
大平第 1 投票区	1,591	1,631	3,222
大平第 2 投票区	479	470	949
大平第 3 投票区	444	431	875
大平第 4 投票区	953	999	1,952
大平第 5 投票区	855	909	1,764
大平第 6 投票区	372	379	751
大平第 7 投票区	686	692	1,378
大平第 8 投票区	202	212	414
大平第 9 投票区	670	697	1,367
大平第 10 投票区	1,912	1,834	3,746
大平第 11 投票区	1,226	1,178	2,404
大平第 12 投票区	309	344	653
大平第 13 投票区	1,665	1,668	3,333
大平第 14 投票区	476	398	874
合計	11,840	11,842	23,682
藤岡第 1 投票区	465	458	923
藤岡第 2 投票区	198	196	394
藤岡第 3 投票区	273	283	556
藤岡第 4 投票区	455	510	965
藤岡第 5 投票区	1,011	1,055	2,066
藤岡第 6 投票区	1,199	1,236	2,435
藤岡第 7 投票区	300	325	625
藤岡第 8 投票区	13	15	28
藤岡第 9 投票区	736	759	1,495
藤岡第 10 投票区	839	872	1,711
藤岡第 11 投票区	652	668	1,320
藤岡第 12 投票区	510	475	985
藤岡第 13 投票区	411	412	823
合計	7,062	7,264	14,326

都賀第1投票区	2,063	2,135	4,198
都賀第2投票区	1,194	1,236	2,430
都賀第3投票区	506	515	1,021
都賀第4投票区	523	541	1,064
都賀第5投票区	775	821	1,596
都賀第6投票区	364	377	741
合計	5,425	5,625	11,050
西方第1投票区	657	735	1,392
西方第2投票区	293	291	584
西方第3投票区	354	398	752
西方第4投票区	550	533	1,083
西方第5投票区	320	327	647
西方第6投票区	465	495	960
西方第7投票区	29	22	51
合計	2,668	2,801	5,469
総合計	58,919	61,464	120,383

3 平成25年3月2日現在選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分1の数

- (1) 市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の50分の1 2,408人  
(2) 市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の6分の1 20,064人  
(3) 市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の3分の1 40,128人

4 在外選挙人名簿登録者数（3月2日現在）（単位：人）

指定在外選挙投票区名	男	女	計
栃木第2投票区	13	21	34
大平第1投票区	13	9	22
西方第1投票区	-	1	1
合計	26	31	57

5 啓発事業

(1) 明るい選挙啓発ポスター募集

小学生	出品総数	213点	うち市入選	28点
中学生	出品総数	242点	うち市入選	22点
高校生	出品総数	1点	うち市入選	-点

市入選作品50点のうち30点を県に出品し、優秀賞に2点、入選に6点、佳作に6点が選ばれた。

(2) 明るい選挙啓発ポスター入選作品展

- ・展示期間 2月26日(火)～3月14日(木)
- ・展示場所 市役所玄関ロビー

・展示方法 入選作品 小学生28点、中学生22点、計50点を展示

(3) 新有権者あて啓発資料を配付

新成人者 1,399人 (3月)

## 6 選挙結果

(1) 平成24年12月16日執行 衆議院議員総選挙

ア 衆議院小選挙区選出議員選挙

(ア) 栃木県第2選挙区

候補者氏名	党派	市得票数	区得票数	当落の別
藤井 ゆたか	日本共産党	58	4,348	落
西川 こうや	自由民主党	1,536	55,853	当
柏倉 ゆうじ	みんなの党	714	38,086	落
福田 あきお	民主党	770	46,271	落

(イ) 栃木県第4選挙区

候補者氏名	党派	市得票数	区得票数	当落の別
早乙女 利次	日本共産党	1,432	7,053	落
藤岡 たかお	みんなの党	5,751	49,021	落
工藤 ひとみ	民主党	2,489	22,546	落
やまおかけんじ	日本未来の党	3,321	26,310	落
さとう 勉	自由民主党	12,843	109,762	当

(ウ) 栃木県第5選挙区

候補者氏名	党派	市得票数	区得票数	当落の別
茂木 としみつ	自由民主党	22,338	101,533	当
富岡 よしただ	みんなの党	8,257	38,626	落
川上 ひとし	日本共産党	2,321	10,696	落

イ 衆議院比例代表選出議員選挙

(北関東選挙区)

政党名等	市投票数	北関東得票数	当選人数	当選者名	
日本維新の会	7,897	1,169,781	4	上野 ひろし	石関 たかし
				鈴木よしひろ	坂本ゆうのすけ
公明党	7,220	820,358	3	石井 啓一	岡本 三成
				こしみず恵一	—
みんなの党	13,420	787,462	2	山内 康一	柏倉 ゆうじ
社会民主党	930	118,046	0	—	—
幸福実現党	148	19,795	0	—	—
自由民主党	19,589	1,820,116	6	牧原 秀樹	石川あきまさ
				ながおか桂子	やな 和生

				今野ともひろ	新谷 正義
民主党	7,518	976,922	3	大島 あつし	福田あきお
				たけまさ公一	—
日本共産党	2,437	367,245	1	塩川 鉄也	—
日本未来の党	3,387	387,625	1	こみやま泰子	—

(2) 平成24年11月18日執行 栃木県知事選挙

候補者氏名	党派	市得票数	県得票数	当落の別
福田とみかず	無所属	30,375	462,299	当
野村 せつこ	日本共産党	4,023	71,700	落

(3) 平成24年8月2日執行 国府土地改良区総代選挙 定数40

候補者氏名	得票数	当落の別
大 森 榮	無投票	当
大 森 弘 夫		
長 敬 一		
長 和 夫		
早 川 久 人		
日向野 常 男		
加 藤 親 男		
大 山 幸 夫		
小 川 辰 巳		
森 田 和 幸		
荒 川 和 男		
藤 本 敏 明		
早乙女 忠 夫		
藤 本 昭 一		
山 口 亨		
田 村 芳 人		
島 田 栄 治		
大 関 晃		
島 田 勝 美		
大 塚 長 治		
岸 克 信		
櫻 井 欽 一		
金 賀 敬 介		
熊 倉 三 郎		
高 田 紀 一		
長 幸 雄		
長 昌 光		

荒川光男		
尾花正一		
赤木英夫		
荒川隆志		
荒川隆		
荒川昭夫		
荒川貞男		
長昭夫		
長勝之		
飯島義光		
松本正義		
古山隆		
松本俊雄		

(4) 平成 24 年 12 月 6 日執行 大平西部土地改良区総代選挙

ア (第 1 選挙区)

定数 19

候補者氏名	得票数	当落の別
岡部博義	無投票	当
松本静男		
松本信貞		
小島康男		
青柳勲		
寺内良雄		
角田由延		
石橋光一		
平本勲		
松島忠治		
川田圭一		
萩原将行		
川田衛		
羽金修		
岩崎和雄		
熊倉幸男		
野原和夫		
猿山功		
野原治夫		

イ (第2選挙区)

定数11

候補者氏名	得票数	当落の別
富田安彦	無投票	当
大塚徳明		
須田久男		
阿部秀夫		
大塚良一		
富田克己		
大塚繁男		
富田昌勝		
椎名信夫		
富田正幸		
富田等		

(5) 平成25年2月21日執行 都賀町土地改良区総代選挙

ア (第1選挙区)

定数18

候補者氏名	得票数	当落の別
刑部光一	無投票	当
金子仁一		
糸谷一郎		
長正弘		
根本勤		
伏木正秋		
藤野好正		
大山勝男		
柏崎克巳		
軽部岳晴		
早乙女新壽		
沼尾光男		
松島功		
青木富夫		
刑部悦男		
篠崎克博		
横地弘勝		
渡邊格治		

イ (第2選挙区)

定数24

候補者氏名	得票数	当落の別
大橋崇雄	無投票	当
藤平栄作		

奈良部 繁	無投票	当
麦倉 信一		
和賀井 克夫		
青木 實		
大賀 良男		
大川 博昭		
大島 政光		
大橋 智		
郡司 明		
篠崎 正直		
高田 昭一		
麦倉 儀		
坂本 精吉		
三室 義光		
大嶋 政一		
川津 榮一		
氏家 輝男		
亀田 正		
毛塚 好一		
中野 充		
大橋 義明		
葉山 榮一		

## 第 1 7 章 監査委員事務局

### 〔総括概要〕

監査等については、平成24年度監査計画に基づいて、定例監査、例月現金出納検査、決算審査・基金運用状況審査、工事監査、貯蔵品たな卸検査(立会い)、財政援助団体監査、指定管理者監査及び行政監査を実施した。

監査に当たっては、法令により定められた権限に基づいて、公正で合理的かつ能率的な市の行財政運営確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて実施した。

なお、監査等の結果については、報告を決定し、市議会及び市長等に提出するとともに公表するなどにより、民主的かつ効率的な行財政の執行に資し、もって市民福祉の増進と地方自治の本旨の実現の寄与に努めた。

### 監査担当

#### 1 監査委員の状況

- ・識見を有する者 板倉安秀 平成22年5月18日就任
- ・議員選出者 大武真一 平成22年5月18日就任 平成24年5月31日退任
- ・議員選出者 梅澤米満 平成24年6月1日就任

#### 2 監査等の実施状況

平成24年度監査計画により、次のとおり実施した。

##### (1) 定例監査

監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対象部局等	対象課等	実施日
総合政策部	総合政策課、まちなか土地利用推進室、地域まちづくり課、合併推進室、秘書広報課、財政課、人権推進課、地域医療対策室	4月24日(火) 4月25日(水)
総務部	総務課、職員課、情報推進課、契約検査課、消防防災課	5月25日(金)
生活環境部	市民生活課、交通防犯課、保険医療課、環境課、女性青少年課	6月25日(月)
消防本部・消防署 会計課 寺尾財産区	総務課、予防課、警防課、通信指令第1課、通信指令第2課、消防第1課、消防第2課 管財課	8月24日(金)

議会事務局 選挙管理委員会 農業委員会	議事課 選挙管理委員会事務局 農業委員会事務局	8月24日(金)
大平総合支所 藤岡総合支所 都賀総合支所 西方総合支所	地域まちづくり課、税務課、生活環境課、 健康福祉課、産業振興課、都市整備課、 都市建設課、産業建設課	9月20日(木) 9月24日(月)
保健福祉部	社会福祉課、生活福祉課、こども課、 高齢福祉課、介護保険課、健康増進課	10月22日(月) 10月23日(火)
小中学校	部屋小学校、藤岡第二中学校、大平東小学校、 大平西小学校、大平中学校、南小学校、 国府北小学校、国府南小学校	11月1日(木) 11月2日(金)
理財部	管財課、施設管理課、市民税課、資産税課、 収税課	11月26日(月)
教育委員会	教育総務課、学校教育課、生涯学習課、 スポーツ振興課、伝建推進室、文化課、 大平教育支所、藤岡教育支所、 都賀教育支所、西方教育支所	12月21日(金) 12月26日(水)
上下水道部 産業振興部	水道課、下水道課 商工観光課、農林課、産業基盤整備課	1月25日(金)
都市建設部	都市整備課、都市計画課、維持管理課、 建築指導課	2月21日(木)

(2) 例月現金出納検査

検査結果の報告については、地方自治法第235条の2第3項の規定により、市議会及び市長に提出した。

対 象	実 施 日	対 象	実 施 日
平成23年度 3月分	4月25日(水)	平成24年度 8月分	9月24日(月)
平成23年度 4月分	5月25日(金)	〃 9月分	10月23日(火)
平成24年度 4月分		〃 10月分	11月26日(月)
平成23年度 5月分	6月26日(火)	〃 11月分	12月26日(水)
平成24年度 5月分		〃 12月分	1月25日(金)
平成24年度 6月分	7月25日(水)	〃 1月分	2月21日(木)
〃 7月分	8月24日(金)	〃 2月分	3月25日(月)

(3) 決算審査・基金運用状況審査

市長から審査依頼のあった平成23年度の決算及び基金運用状況について審査を行い、意見書を提出した。

対 象	実 施 日
水道事業会計	6月25日(月)～8月17日(金)

一般会計 国民健康保険特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険特別会計(保険事業勘定) 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) 下水道特別会計 農業集落排水特別会計 地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計 J R 大平下駅前土地区画整理特別会計 医療福祉モール特別会計 中根企業用地特別会計	7月11日(水)～8月17日(金)
寺尾財産区特別会計	〃
土地開発基金 印紙等購買基金 保護費即時払基金 奨学基金	〃

(4) 健全化判断比率及び資金不足比率審査

市長から審査依頼のあった平成23年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について審査を行い、意見書を提出した。

(5) 工事監査

工事監査は、NPO法人地域と行政を支える技術フォーラムに委託をして実施した。  
なお、監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対 象 (抽出)	実 施 日
栃木市立西方中学校校舎建築工事	6月22日(金)

(6) 貯蔵品たな卸検査(立会い)

対 象	実 施 日
水道事業貯蔵品たな卸検査(立会い)	5月14日(月)
〃	11月28日(水)

(7) 財政援助団体等監査

平成23年度財政援助団体等監査を次のとおり実施し、監査結果については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対 象 (抽出)	実 施 日
大平町商工会	10月 4日(木)
藤岡町商工会	
都賀町商工会	
西方商工会	

(8) 指定管理者監査

平成23年度指定管理者監査を次のとおり実施し、監査結果については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対 象	公 の 施 設	実 施 日
NPO法人山本有三記念会・シダックス大新東ヒューマンサービス(株)・(株)紀伊國屋書店 共同事業体	栃木図書館	2月5日(火)
共立・環境整備・日立ビルシステム共同事業体	栃木文化会館	
学校法人しずわでら学園	大平児童館	

(9) 行政監査

定例監査では判断を確定するには至らなかった案件について、地方自治法第199条第2項の規定により、行政監査を次のとおり実施し、監査結果については、同条第9項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対 象	実 施 期 間
ごみ収集委託業務に関する契約のあり方について	生活環境部 環境課 3月16日(金)～4月24日(火)

(10) 要求監査

平成24年度は対象となる案件がなかったため、実施していない。

3 会議、研修会等（委員）

開 催 日	会 議 、 研 修 会 等	開 催 地	参 加 者 数 (人)
5月15日(火)	平成24年度栃木県都市監査委員会役員会・総会	下野市	1
5月24日(木)	平成24年度関東都市監査委員会定期総会	千葉県	2
11月9日(金)	(財)栃木県市町村振興協会主催研修会	宇都宮市	1
1月15日(火)	第86回栃木県都市監査委員会定例会	那須塩原市	2

## 第 1 8 章 公平委員会

### 〔総括概要〕

公平委員会に係る事務を次のとおり処理した。

なお、本年度は、特に審査すべき事件はなかった。

#### 1 公平委員の状況

職名	氏名	生年月日	就任年月日	職業	備考
委員	矢尾板 充	昭和30年 8月10日	平成22年5月18日	司法書士	委員長
〃	羽根田克子	昭和15年 7月 3日	平成22年5月18日	非常勤講師	職務代理者
〃	佐山 潔	昭和22年 7月 2日	平成22年5月18日	保護司	

#### 2 職員団体の登録・抹消

受付	届出者	内容	登録・抹消年月日
5月 9日（水）	栃木市教職員協議会会長	役員の変更	平成24年 5月 9日登録
6月 8日（金）	栃木市職員労働組合執行委員長	役員の変更	平成24年 6月11日登録

#### 3 会議、研修会等（委員）

開催日	会議、研修会等	開催地	参加者数(人)
4月27日（金）	平成24年度栃木県公平委員会連合会総会	下野市	3
7月 5日（木）	平成24年度全国公平委員会連合会本部研究会	東京都	1
10月18日（木）	平成24年度全国公平委員会連合会関東支部 第2回研究会	神奈川県	1
10月26日（金）	平成24年度全国公平委員会連合会通常総会	東京都	1

## 第 19 章 農業委員会事務局

### 〔総括概要〕

農業委員会は、農業委員会法の制定以来、農業者の利益代表機関として、「優良農地の確保と有効利用」、「担い手の確保と育成」を重要な使命として、農地法の適正な執行や地域の世話役活動に取り組んできた。

平成 21 年 12 月の農地法改正により、農地行政を担う農業委員会の役割が、これまで以上に重要になっており、農地の権利移動の許可等の適正事務執行はもとより、定期的な農地の利用状況調査の実施や遊休農地解消の制度的措置など新たな役割を担うこととなった。

こうした中で、農地と担い手を守り活かす取組として、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用した遊休農地解消、中核農家への農地集積の促進や新規就農者の就農に対して適正な助言・指導を行うなど地域農業振興の推進を図った。

また、市町合併により、年間 2,000 件にもものぼる付議案件がある、農地法に基づく許認可等事務を始め、農業者年金への加入推進、各地域での農業青色申告簿記指導会の開催、家族経営協定の啓発推進など、主要事業の推進に努めたほか、女性農業委員独自の活動や農業委員の研修会など農業委員会活動の充実を図った。

### 農地振興担当

#### 1 農業委員会の構成

##### (1) 農業委員

・定数 34 人

・現員 34 人

公選 25 人

(旧栃木市 8 人、旧大平町 5 人、旧藤岡町 6 人、旧都賀町 4 人、旧西方町 2 人)

農協・共済 4 人 (下都賀・上都賀より各 1 人)、土地改良 1 人、

学識経験(議会推薦)4 人

議席番号	選出区分	氏名	議席番号	選出区分	氏名
1	公選	大橋 重	18	〃	稲田 邦雄
2	〃	影山 和夫	19	〃	大沢 茂雄
3	〃	大島 公一	20	〃	町田 勇
4	〃	前田 克己	21	〃	太田 勲夫
5	〃	高岩 富夫	22	〃	茅島 淳二
6	〃	出井 邦治	23	〃	海老沼秀夫
7	〃	大出 陽子	24	農協(下都賀)	糸谷 一郎
8	〃	長 幸雄	25	共済(下都賀)	大塚 秀夫
9	〃	渡辺 茂	26	土地改良	篠崎 通男

10	〃	金子 忠雄	27	議 会 推 薦	渡邊 保江
11	〃	黒川 昌宏	28	〃	毛塚 玲子
12	〃	板橋 喜市	29	〃	石塚 久子
13	〃	荒川 昭夫	30	〃	手塚 政子
14	〃	須藤 法男	31	公 選	中野 林蔵
15	〃	川俣 光司	32	〃	中田 益實
16	〃	柴 賢一郎	33	農協(上都賀)	宇賀神一夫
17	〃	赤坂 敏雄	34	共済(上都賀)	福田 精機

(2) 農業委員会補助員

補助員は、各農家集落から推薦があった者を、農業委員会会長が委嘱する。任期は1年とし、農業委員会活動を補助する。(再任は妨げない)

地区名	栃木	大宮	皆川	吹上	寺尾	国府	大平	
人員(人)	22	18	20	24	15	21	35	
地区名	部屋	藤岡	赤麻	三鴨	赤津	家中	西方	合計
人員(人)	29	25	31	22	22	22	33	339

2 会議開催状況

(1) 総会

開 催 日	場 所	付議事件数(件)
4月26日(木)	国府公民館	5
5月29日(火)	吹上公民館	6
6月28日(木)	吹上公民館	8
7月31日(火)	吹上公民館	6
8月31日(金)	吹上公民館	6
9月27日(木)	吹上公民館	6
10月31日(水)	吹上公民館	8
11月30日(金)	大平公民館	6
12月27日(木)	吹上公民館	7
1月31日(木)	吹上公民館	6
2月27日(水)	国府公民館	9
3月28日(木)	国府公民館	7

(2) 役員会

開 催 日	場 所	付議事件数(件)
4月26日(木)	国府公民館	4
8月31日(金)	吹上公民館	5
2月27日(木)	国府公民館	4

3月28日(木)	国府公民館	3
----------	-------	---

### 3 農業委員会委員選挙人名簿登載申請書の確認状況

選挙区	基準農業者(人)	男(人)	女(人)	計(人)	面積(ha)
第1(栃木)	2,700	2,751	1,548	4,299	1,403,220
第2(大平)	1,152	1,380	1,039	2,419	169,860
第3(藤岡)	1,720	1,759	1,005	2,764	246,855
第4(都賀)	1,033	1,195	724	1,919	114,458
第5(西方)	609	652	369	1,021	69,151
合計	7,214	7,737	4,685	12,422	2,003,544

### 4 証明書等の発行状況

種別	件数(件)
耕作証明書	466
農家資格証明書	99
諸証明等	307
計	872

### 5 委員研修・視察等

県農業会議等の主催で開催される研修会に積極的に参加するとともに、市独自でも自主研修会を開くなど、委員の資質の向上を図った。

先進地を視察訪問し、他市農業委員会との情報交換の中で見聞を広めた。

#### ・実施状況

実施日	研修内容	開催場所
5月29日(火)	家族経営協定研修会	吹上公民館
7月11日(水)	第1回栃木県農業委員研修会	県教育会館
7月25日(水)	下都賀地区輝く農村女性のつどい (栃木市女性農業委員活動発表)	市民会館
8月2日(木)	農業者年金加入推進特別研修会	コンセーレ
9月7日(金)	栃木県女性農業委員研修会	とちぎ青少年センター
11月7日(水) 8日(木)	先進地視察研修 第2回栃木県農業委員研修会(2日目)	福島県 須賀川市
11月8日(木)	第2回栃木県農業委員研修会(視察研修と合流)	県教育会館
12月3日(月)	栃木県女性農業委員の会総会・研修会	とちぎ青少年センター

12月14日(金)	家族経営協定推進セミナー	下都賀庁舎
12月27日(木)	農業者年金加入推進特別研修会	吹上公民館
2月 8日(金)	下都賀地方農業委員会研修会	下都賀庁舎
2月27日(水)	農業機械安全利用教室	J A 広域農機 センター

## 6 農業者と農業委員との意見交換会

「地域の農地と担い手を守り活かす運動」の一環として、農業者から意見・要望を汲み上げ、農業委員会の持つ「意見の公表」「建議」の機能に基づき、実のある施策として実現させていくため、農業者との意見交換会を開催している。

今年度は、合併により広くなった市内を 16 の地区に分けて、少人数制での開催を試みたところ、意見、要望が発言しやすく、多方面の話ができたなど好評だった。

- ・実施回数 16回 (7月10日～12月13日)
- ・参加者総数 218人 (うち一般農業者 140人)

## 7 農業青色簿記記帳指導会

栃木市農業青色申告会を組織し、合併前の旧市・町単位を支部として活動している。(24年4月に西方支部を加え5支部) 自立経営農家を志向する経営主に対し、企業的農業経営の確立と、簿記記帳による適正納税が図られるよう、簿記記帳指導会を開催。また、農業経営の改善、合理化を図るため、パソコン簿記の研修会を開催した。

### (1) 農業青色申告会加入者 (単位：人)

区 分	23年度末	24年度中増減	現加入者数
栃木支部	144	▲ 1	143
大平支部	128	▲ 1	127
藤岡支部	61	▲ 1	60
都賀支部	83	1	84
西方支部	109	▲ 3	106
合 計	525	▲ 5	520

### (2) 簿記記帳指導会開催状況

区 分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講 師 (敬称略)
栃木支部	9	231	県農業会議指導協力員 島田喜一、長幸雄、谷中克己、大山久雄、 松本トミ、本澤敏江
大平支部	5	338	県農業会議指導協力員 中島英明、山中繁章、杉田禎子、生澤幸雄 青色申告指導員補助 堀江裕之

藤岡支部	8	202	県農業会議指導協力員 渡辺正行、飯塚豊、田沼正能
都賀支部	4	153	県農業会議指導協力員 渡辺繁、石川明、茅島美季 青色申告指導員補助 大栗君子
西方支部	5	130	県農業会議指導協力員 坂本光祥、川嶋信元 青色申告指導員補助 中田全紀
合 計	31	1,054	県農業会議指導協力員 18人 青色申告指導員補助 3人

(3) パソコン簿記研修会開催状況

区 分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講 師 (敬称略)
栃木支部	9	70	ソリマチ農業ソフト認定インストラクター 根本壽一
大平支部	3	22	
藤岡支部	10	57	田沼正能
都賀支部	14	159	ソリマチ農業ソフト認定インストラクター 根本壽一
西方支部	3	26	栃木県農業大学校講師ソリマチサポート 長嶋修一
合 計	39	334	

8 標準農作業料金の設定

兼業農家における、専業農家や農業協同組合等への農作業の部分又は全面委託等受委託関係が、適正かつ円滑に推進されるよう、農作業の目安となるべき標準料金を作成し、参考としている。

(1) 水稻作業

作 業 区 分		単 位	料 金 (円)
トラクター作 業	ロータリー耕起	10a当たり	4,000～5,250
	ロータリー代かき	〃	8,000～10,500
施肥 (堆肥代別途)		〃	1,600
稚苗費 (種子代別途)		〃	12,800～15,750
田植 (機械植、補植別)		〃	6,000～6,825
除草剤散布 (薬剤費別)		〃	1,500
防除 (空散別途)		〃	1,500

刈 取 ・ 脱 穀	〃	15,000～17,850
乾 燥 ・ 調 整 ( 袋 代 別 途 )	60kg当たり	1,500～1,785
畦 畔 つ く り	1m当たり	50～52

(2) 麦作業

作 業 区 分		単 位	料 金 ( 円 )
ドリル播	トラクター作業 (耕起・施肥・播種・鎮圧)	10a当たり	4,200～6,300
除 草		〃	800～2,000
麦 踏		〃	600～1,600
刈 取 ・ 脱 穀		〃	12,800～13,000
乾 燥 ・ 調 整 ( 袋 代 別 途 )	小 麦	60kg当たり	1,500～1,955
	ビ ー ル 麦	50kg当たり	1,300～1,955

(3) 労務費 (1日当たり8時間)

作 業 名	料 金 ( 円 )
一般農作業	6,640 (1時間当たり830)

9 農業者年金事業

担い手の確保、育成、農業経営資源の継承という農業の持続発展に寄与することを目的として、農業者年金事業の推進を図った。

(1) 農業者年金加入推進市内担当者研修会

県農業会議から講師を招き、農業者年金についての講義を受け、農業者年金加入推進について理解を深めた。

実施日	場 所	参加者 (人)
12月27日(木)	吹上公民館	40

・参加者内訳 農業委員32人、事務局職員8人

(2) 加入状況 (3月1日現在) (単位：人)

通 常 加 入	政 策 支 援 加 入
73	12

(3) 年金受給者数 (6月末現在)

1,330人

10 農地の権利設定、移転及び転用関係処理状況

(1) 農地法第3条関係

ア 法第3条許可 (所有権の移転関係)

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	3	3,040.00	2,070.00	5,110.00
5	8	15,205.00	7,417.00	22,622.00

6	3	2,794.00	—	2,794.00
7	7	18,103.00	694.00	18,797.00
8	5	11,964.00	3,388.00	15,352.00
9	4	11,599.00	2,615.00	14,214.00
10	5	2,953.00	1,554.00	4,507.00
11	15	49,630.00	839.00	50,469.00
12	7	15,249.00	1,729.00	16,978.00
1	7	3,857.00	524.00	4,381.00
2	6	4,784.00	1,421.00	6,205.00
3	10	29,674.00	3,572.00	33,246.00
計	80	168,852.00	25,823.00	194,675.00

イ 法第3条許可（賃借権、使用貸借権、区分地上権の設定・移転関係）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	2	13,086.00	2,454.00	15,540.00
5	1	—	624.00	624.00
6	—	—	—	—
7	—	—	—	—
8	1	1,851.00	—	1,851.00
9	2	17,740.00	—	17,740.00
10	3	21,983.00	—	21,983.00
11	2	6,644.00	—	6,644.00
12	5	32,701.00	9,842.00	42,543.00
1	—	—	—	—
2	3	23,820.00	1,806.00	25,626.00
3	1	—	178.00	178.00
計	20	117,825.00	14,904.00	132,729.00

(2) 農地法第4・5条許可

ア 法第4条許可（調整区域内、自己転用）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	—	—	—	—
5	—	—	—	—
6	3	—	957.99	957.99
7	3	943.30	987.00	1,930.30
8	3	—	648.09	648.09
9	—	—	—	—
10	4	1,888.00	819.00	2,707.00
11	3	—	1,044.00	1,044.00
12	2	998.00	346.00	1,344.00

1	1	—	168.18	168.18
2	1	—	537.73	537.73
3	1	6,438.75	—	6,438.75
計	21	10,268.05	5,507.99	15,776.04

イ 法第5条許可（調整区域内の権利の設定・移転を伴う転用）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	4	3,808.00	894.00	4,702.00
5	4	105.00	1,407.00	1,512.00
6	3	2,486.00	—	2,486.00
7	5	1,341.00	1,593.00	2,934.00
8	9	12,013.00	2,266.00	14,279.00
9	1	16,412.00	1,496.00	17,908.00
10	8	23,557.72	2,444.54	26,002.26
11	12	33,571.10	2,519.00	36,090.10
12	3	59.00	1,052.00	1,111.00
1	2	484.15	126.00	610.15
2	13	2,483.00	5,612.71	8,095.71
3	9	4,423.00	5,162.09	9,585.09
計	73	100,742.97	24,572.34	125,315.31

(3) 農地法第4・5条届出

ア 法第4条届出（市街化区域内、自己転用）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	9	1,750.45	2,420.00	4,170.45
5	2	887.00	—	887.00
6	3	1,141.00	16.00	1,157.00
7	4	1,148.00	1,710.00	2,858.00
8	7	2,519.00	1,555.00	4,074.00
9	3	1,222.00	895.00	2,117.00
10	11	2,633.77	3,244.00	5,877.77
11	4	2,223.00	—	2,223.00
12	6	1,133.00	2,306.83	3,439.83
1	1	981.00	—	981.00
2	8	7,226.87	824.00	8,050.87
3	5	261.00	2,130.00	2,391.00
計	63	23,126.09	15,100.83	38,226.92

イ 法第5条届出（市街化区域内の権利の設定・移転を伴う転用）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	13	8,477.52	3,893.91	12,371.43

5	16	4,919.00	3,284.00	8,203.00
6	14	3,943.00	2,766.28	6,709.28
7	26	13,612.22	3,637.00	17,249.22
8	13	12,417.00	3,766.00	16,183.00
9	20	6,198.00	3,716.72	9,914.72
10	25	8,277.83	7,701.00	15,978.83
11	19	7,453.00	2,913.72	10,366.72
12	11	3,470.34	1,713.00	5,183.34
1	24	5,012.59	4,024.62	9,037.21
2	9	5,685.00	—	5,685.00
3	13	4,144.37	1,558.85	5,703.22
計	203	83,609.87	38,975.10	122,584.97

(4) 農地法第18条関係（合意解約通知）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	13	23,337.00	178.00	23,515.00
5	6	16,585.25	—	16,585.25
6	15	52,189.00	1,299.00	53,488.00
7	9	13,409.00	2,464.00	15,873.00
8	5	16,201.00	—	16,201.00
9	8	12,880.42	1,087.00	13,967.42
10	19	59,755.75	2,469.00	62,224.75
11	14	61,300.00	906.00	62,206.00
12	4	6,683.00	793.00	7,476.00
1	29	95,088.00	4,099.00	99,187.00
2	10	39,593.00	767.00	40,360.00
3	10	23,174.00	451.00	23,625.00
計	142	420,195.42	14,513.00	434,708.42

(5) 各種証明関係

ア 非農地証明

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	—	—	—	—
5	2	183.00	425.00	608.00
6	7	818.00	3,091.00	3,909.00
7	7	2,258.47	2,160.00	4,418.47
8	3	511.00	823.00	1,334.00
9	3	28.07	2,074.00	2,102.07
10	4	129.00	2,247.00	2,376.00
11	5	—	2,554.00	2,554.00

12	3	—	2,774.00	2,774.00
1	7	296.00	2,558.47	2,854.47
2	5	4,233.00	780.00	5,013.00
3	6	1,906.00	684.23	2,590.23
計	52	10,362.54	20,170.70	30,533.24

イ 相続税・贈与税の納税猶予に関する適格者証明

件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
2	45,067.00	2,837.00	47,904.00

ウ 買受適格者証明

件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
2	5,199.00	—	5,199.00

(6) 農業振興地域整備計画の変更協議

件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
28	23,453.16	3,631.83	27,084.99

11 農業経営基盤強化促進法に基づく事務処理状況

利用権設定等促進事業に係る農用地利用集積計画を総会で決定し、市に要請した。

(1) 利用権の設定関係

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	91	352,552.00	2,293.00	354,845.00
5	83	363,119.25	11,020.00	374,139.25
6	39	161,760.91	572.00	162,332.91
7	12	32,348.00	515.00	32,863.00
8	12	28,129.00	909.00	29,038.00
9	24	84,070.00	13,571.00	97,641.00
10	72	277,611.00	15,531.00	293,142.00
11	105	441,521.75	5,715.00	447,236.75
12	212	871,241.15	43,648.00	914,889.15
1	101	464,746.07	5,559.00	470,305.07
2	90	363,414.00	18,327.00	381,741.00
3	80	298,011.00	4,162.00	302,173.00
計	921	3,738,524.13	121,822.00	3,860,346.13

(2) 所有権の移転関係

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	2	3,900.00	—	3,900.00

5	5	6,153.00	763.00	6,916.00
6	3	22,436.00	—	22,436.00
7	1	3,982.00	—	3,982.00
8	2	4,719.00	—	4,719.00
9	1	1,970.00	—	1,970.00
10	—	—	—	—
11	3	8,300.00	—	8,300.00
12	3	8,102.00	—	8,102.00
1	—	—	—	—
2	6	17,297.00	—	17,297.00
3	4	11,256.00	3,011.00	14,267.00
計	30	88,115.00	3,774.00	91,889.00

## 12 国有農地の管理事務

国有農地の管理、処分、対価の徴収及び登記事務の推進に努めた。

区分	件数(件)	筆数(筆)	面積 (㎡)
農耕貸付	10	13	4,705
転用貸付	2	5	2,147
未貸付	17	17	4,245
合計	29	35	11,097

## 13 農地銀行活動事業

効率的かつ安定的な「育成すべき農業経営体」への農用地の利用集積を促進するため、農用地の有効利用と流動化等の調整を行った。(通年)

- ・利用権設定に結びつけたもの 921件 3,860,346.13 ㎡

## 14 耕作放棄地解消対策事業

耕作放棄地解消対策のため、耕作放棄地の実態把握と解消促進に努めた。

- (1) 栃木市耕作放棄地対策協議会総会
  - ・実施日 10月 1日 (月)
  - ・場 所 市役所
- (2) 農業委員の担当地区ごとに、耕作放棄地実態調査を実施
  - ・実施時期 12月
  - ・耕作放棄地面積 65ha
- (3) 耕作放棄地再生利用緊急対策活用事業
  - ・栃木地区 40a
  - ・藤岡地区 10a
  - ・西方地区 20a

15 家族経営協定の啓発推進

農業の意欲ある担い手を育成するとともに、農業経営の体質強化を進める取組の一つとして、農業委員による家族経営協定の普及推進に取り組んでいる。これは地域農業の振興対策の一環としてだけでなく、「地域の農地と担い手を守り活かす運動」を助長することにもつながるため、今年度はとくに女性農業委員を中心に啓発を推進した。

(単位：件)

地 区 名	平成 22 年度末	平成 23 年度末	平成 24 年度末
栃木地区	106	107	112
大平地区	49	50	54
藤岡地区	29	30	32
都賀地区	26	27	27
西方地区		60	62
合 計	210	274	287

(西方地区については平成 23 年 10 月合併からの件数)

## 第 20 章 固定資産評価審査委員会

### 〔総括概要〕

固定資産の価格等は、毎年3月末日までに決定され、固定資産課税台帳に登録され、その後一定期間閲覧・縦覧に供される。

固定資産評価審査委員会は、納税義務者からの不服申出に基づき、固定資産課税台帳に登録されている価格について審査決定している。また、公平・適正な審査を期するため独立した中立的な機関であり、委員定数5名、任期3年により運営している。

審査委員会においては、委員長を選任、評価の概要等の報告を行った。

#### 1 固定資産評価審査委員

職名	氏名	生年月日	就任年月日	備考
委員長	諏訪 晃	昭和19年 1月 3日	平成 22年 5月 18日	
委員	町田 郁夫	昭和26年11月 5日	平成 22年 5月 18日	
委員	三柴 力夫	昭和16年 7月17日	平成 22年 5月 18日	
委員	松本 格	昭和19年 9月18日	平成 22年 5月 18日	
委員	天海 達雄	昭和24年 7月 4日	平成 23年 11月 25日	

#### 2 会議開催状況

開催日	内容	場所	備考
5月21日（月）	・委員長選出 ・平成24年度固定資産評価の概要について ・平成24年度固定資産評価資産課税台帳の縦覧・閲覧状況について	正庁	

## 第 2 1 章 消防本部

### 第 1 節 総務課

#### 〔総括概要〕

総務課の主な分掌事務は、消防職員の人事、研修、福利厚生関係、広報広聴関係、消防事務の企画及び調整関係、消防施設の整備及び維持管理関係等である。

消防職員の人事については、昭和 46 年の広域消防発足時に採用された職員が、平成 24・25 年度に大量退職することを見据え、職員を適正配置し、人材育成、組織の活性化及び業務の継続性を図りながら市民サービスが低下しない組織づくりに配慮し、異動等を実施した。

職員研修については、複雑多様化する災害や救急業務など、近年の消防を取り巻く環境の変化に対応できるよう各種研修に積極的に参加し、職員の知識及び技能の向上に努めた。

職員福利厚生については、消防職員の健康増進と職場環境の向上を図るため、安全衛生推進者及び第 2 種衛生管理者の養成や予防接種等を実施した。

また、消防職員委員会を開催し、職員の意見を積極的に職場に反映し、風通しのよい職場づくりに努めた。

広報業務については、市民に消防行政への理解と関心を高めてもらうため、ホームページの活用、報道機関への情報提供等、きめ細やかな広報活動を展開した。

消防施策の意思決定、その他重要な案件の審議並びに消防本部、消防署及び各消防分署の相互の連絡調整等を行い、消防行政の統一的、効率的な運営を図るため、定期的に定例幹部会議を開催した。

また、災害時の活動拠点としての役割を果たすため、消防本部、消防署及び各分署庁舎等の消防施設を適正に管理するとともに修繕工事等を行った。

庶務係

1 消防職員数

(1) 階級別職員数

(単位：人)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他	計
定員	階級別定員なし								170
実員	1	9	14	62	16	14	51	1	168

(2) 所属別職員数

(単位：人)

階級 所属		消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	そ の 他	計	摘 要
消防 本部	消防長	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	次長	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	総務課	-	1	1	6	2	-	-	1	11	県消防防災航空隊へ派遣 1 市秘書広報課へ併任 1 市消防防災課へ併任 1 市消防防災課から併任 1
	予防課	-	1	1	6	-	-	1	-	9	
	警防課	-	1	2	2	-	-	-	-	5	県消防学校へ派遣 1
	通信指令第1課	-	1	-	3	1	-	-	-	5	
	通信指令第2課	-	1	-	3	1	-	-	-	5	
	計	1	6	4	20	4	-	1	1	37	
消防 署	署長	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	副署長	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	1(1)	
	消防第1課	-	1	1	11	1	4	10	-	28	
	消防第2課	-	(1)	1	9	3	4	9	-	26(1)	
	大平分署	-	-	2	6	2	1	6	-	17	
	藤岡分署	-	-	2	6	2	3	4	-	17	
	都賀分署	-	-	2	5	2	1	5	-	15	
	西方分署	-	-	2	5	2	1	5	-	15	
計	-	3(2)	10	42	12	14	39	-	120(2)		
研修職員	-	-	-	-	-	-	11	-	11	県消防学校へ入校 11	
合計	1	9(2)	14	62	16	14	51	1	168(2)		

※ ( ) 内数字は兼務者数

## (3) 級別職員数

(単位：人)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	小計
男	1	9	9	5	63	16	29	35	167
女	-	-	-	-	-	-	-	1	1
計	1	9	9	5	63	16	29	36	168

## 2 消防職員人事

## (1) 職員の採用

(単位：人)

職 種	人 員	男	女
消 防	11	10	1

## (2) 職員の退職

(単位：人)

消防職	17
-----	----

## (3) 消防職員採用試験の実施状況

## ・試験実施状況

実 施 日	内 容
9月16日(日)	第一次試験(筆記試験)実施
10月17日(水)	第二次試験(体力測定)実施
10月22日(月)・23日(火)	第二次試験(面接試験)実施

## ・受験状況

区 分	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			倍率 (倍)
			男	女	計	
消 防	71	60	15	1	16	3.8

## 3 消防職員研修

## (1) 栃木県消防学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数(人)
4月5日(木)～9月21日(金) [117日]	初任教育(第60期)	11
9月24日(月)～9月28日(金) [5日]	特別教育水難救助科	2
9月25日(火)～10月24日(水) [21日]	専科教育救助科	2
10月10日(水)～10月23日(火) [10日]	幹部教育初級幹部科	2
10月25日(木)～12月26日(水) [43日]	専科教育救急科	9
1月9日(水)～1月11日(金) [3日]	幹部教育上級幹部科	1
1月21日(月)～1月25日(金) [5日]	幹部教育中級幹部科	1
1月21日(月)～2月1日(金) [10日]	専科教育予防査察科	2
1月21日(月)～2月1日(金) [10日]	専科教育火災調査科	2
2月18日(月)～2月26日(火) [7日]	専科教育特殊災害科	2

(2) 消防大学学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数 (人)
1月15日(火)～3月5日(火) [34日]	専科教育予防科 (第93期)	1

4 職員厚生

健康診断の実施状況

検 診 名	対 象 者	受診者数 (人)
一般健康診断	全職員	135
胃がん検診	〃	96
肺がん検診 (胸部X線撮影)	〃	110
大腸がん検診	〃	106
前立腺がん検診	50歳以上	7
人間 (脳) ドック	35歳以上	54

5 広報関係

(1) ホームページ

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、消防本部の組織、各種統計、試験・講習会の案内及び応急処置方法等、消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知を図り、広報活動のより一層の充実に努めた。

(2) 報道機関等への情報提供

人命救助や初期消火等の消防防災業務に対し、功績及び協力のあった方への感謝状贈呈について情報提供を行った。

6 定例幹部会

消防長が主宰し、消防施策の意思決定、その他重要な案件の審議並びに組織内の連絡調整等を行った。

開 催 日	案件数 (件)	開 催 日	案件数 (件)
4月2日(月)	4	10月1日(月)	5
5月1日(火)	4	11月1日(木)	2
6月4日(月)	2	12月3日(月)	4
7月2日(月)	3	1月4日(金)	4
8月1日(水)	3	2月1日(金)	2
9月3日(月)	3	3月1日(金)	3

企画係

1 消防施設の概要

(単位：㎡)

区分	所在地	敷地面積	構造	1階床面積	2階床面積	3階床面積	延面積
消防本部	平柳町1-34-5	1,725	鉄骨造陸屋根3階建	467	437	22	926
栃木市消防署	平柳町1-34-5	2,722	鉄筋コンクリート造 3階建	641	330	315	1,286
大平分署	大平町蔵井 2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造 2階建	228	65		293
藤岡分署	藤岡町藤岡 81-2	1,312	鉄筋コンクリート造 2階建	266	104		370
都賀分署	都賀町大柿 1529	1,286	鉄筋コンクリート造 2階建	225	65		290
西方分署	西方町金井 293	1,371	鉄筋コンクリート造 2階建	226	63		289

2 消防施設の整備状況

(1) 主な施設整備工事

(単位：円)

工事名	金額
栃木市消防署乾燥機（洗濯機能付）設置工事	779,100
栃木市消防署大平分署乾燥機（洗濯機能付）設置工事	510,000
栃木市消防署藤岡分署乾燥機（洗濯機能付）設置工事	449,820
栃木市消防署都賀分署乾燥機（洗濯機能付）設置工事	568,050
栃木市消防署西方分署乾燥機（洗濯機能付）設置工事	741,300

(2) 主な維持補修工事

(単位：円)

工事名	金額
栃木市消防署（作業棟）感知器取替工事	10,500
栃木市消防署感知器取替工事	47,250
栃木市消防本部洗面台修理工事	28,875
栃木市消防本部2階小会議室空調機修理工事	48,825
栃木市消防署感知器取替工事	6,825
栃木市消防本部1階事務室空調機修理工事	26,565
栃木市消防署3階大会議室ブラインド交換工事	215,250
栃木市消防署感知器取替工事	28,350
栃木市消防署用洗濯機修理工事	23,730

## (3) 主な業務委託

(単位：円)

業 務 内 容	金 額
消防本部・消防署・分署パソコン保守運用管理業務	474,012
栃木市消防本部自家用電気工作物保安管理業務	143,640
栃木市消防署自家用電気工作物保安管理業務	196,308
栃木市消防本部・消防署・分署消防設備保守点検業務	52,500
栃木市消防本部庁舎高圧受電設備清掃業務	27,720
栃木市消防署庁舎高圧受電設備清掃業務	27,720

## 第2節 予防課

### 〔総括概要〕

予防課の主な分掌事務は、火災予防、危険物規制、防火対象物指導事務等である。

火災予防事務については、全国統一の火災予防運動・防火ポスターの展示及び住宅用火災警報器設置の推進を実施し、市民の防災意識の高揚を図った。

危険物規制事務については、全国統一の危険物安全週間等による危険物施設等の立入検査を実施し、危険物施設の保安管理の充実を図った。

防火対象物指導事務については、全国統一の火災予防運動等による防火対象物等への立入検査を実施し、関係者に火災予防の周知を図った。

### 予防係

#### 1 火災原因及び件数

(単位：件)

原 因	件 数	原 因	件 数
コ ン ロ	6	取 灰	1
た き 火	11	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1
放 火	7	こ た つ	-
放 火 の 疑 い	9	ボ イ ラ ー	-
た ば こ	6	電 灯 電 話 等 の 配 線	-
焼 却 炉	4	内 燃 機 関	1
電 気 機 器	-	火 あ そ び	1
ス ト ー ブ	4	火 入 れ	2
配 線 器 具	1	そ の 他	24
溶 接 機 ・ 切 断 機	-	不 明 、 調 査 中	10
合 計			88

#### 2 消防関係

##### (1) 予防関係

行事	区分	実 施 日	内 容
危 険 物 安 全 週 間		6 月 3 日(日)～6 月 9 日(土)	広報活動 製造所等の立入検査
危 険 物 取 扱 者 保 安 講 習 会		9 月 14 日(金)	危険物取扱者対象の講習
秋 季 全 国 火 災 予 防 運 動		11 月 9 日(金)～11 月 15 日(木)	防火対象物立入検査
春 季 全 国 火 災 予 防 運 動		3 月 1 日(金)～3 月 7 日(木)	防火対象物立入検査

## (2) 災害関係

区分	件数	焼損棟数 (類焼含)		世帯数 (類焼含)		焼損床面 積 (㎡)	死傷者 (人)		損害額 (千円)		
		全焼	半焼	部分焼	ぼや		全損	半損	小損	死亡	負傷
建物火災	36	全焼	15	全損	10	2,335	2	3		建物	89,971
		半焼	3	半損	1						
		部分焼	20	小損	18						
		ぼや	13								
林野火災	2				-	-	-			-	
車両火災	8									7,649	
その他の火災	42							2	-		4,996

## 指導係

## 1 消防同意処理状況

(1) 防火対象物 (延面積 150 ㎡以上) (単位: 件)

用途別			件数
1	イ	劇場等	-
	ロ	公会堂等	1
2	イ	キャバレー等	-
	ロ	遊技場等	-
	ハ	性風俗施設	-
	ニ	カラオケボックス等	-
3	イ	料理店等	-
	ロ	飲食店	2
4		物品販売店舗等	7
5	イ	旅館・ホテル等	-
	ロ	共同住宅	4
6	イ	病院等	5
	ロ	老人短期入所施設等	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	-
	ニ	幼稚園等	-
7		学校	5
8		図書館等	-
9	イ	特殊浴場	-
	ロ	公衆浴場	-
10		停車場等	-
11		神社・寺院等	1
12	イ	工場・作業場	11

	ロ	スタジオ	-
13	イ	駐車場等	-
	ロ	航空機格納庫	-
14		倉庫	9
15		事務所等	13
16	イ	特定複合用途	4
	ロ	非特定複合用途	1
17		文化財	-
計			64

(2) (1)以外のもの

住宅	61
その他	101
計	162

2 防火対象物別立入検査実施状況

(単位：件)

用途別		地域別	栃木 地域	大平 地域	藤岡 地域	都賀 地域	西方 地域	計
1	イ	劇場等	-	-	-	-	-	-
	ロ	公会堂等	-	-	-	-	3	3
2	イ	キャバレー等	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場等	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗施設	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-
3	イ	料理店等	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	1	-	-	1	3	5
4		物品販売店舗等	4	2	6	7	-	19
5	イ	旅館・ホテル等	38	22	11	1	1	73
	ロ	共同住宅	-	-	-	-	-	-
6	イ	病院等	-	8	-	-	-	8
	ロ	老人短期入所施設等	20	3	6	1	5	35
	ハ	老人デイサービスセンター等	22	4	5	-	1	32
	ニ	幼稚園等	-	-	-	4	-	4
7		学校	46	-	-	2	1	49
8		図書館等	-	-	-	-	-	-
9	イ	特殊浴場	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-	-
10		駐車場等	-	-	-	-	-	-

11		神社・寺院等	-	1	-	-	2	3
12	イ	工場・作業場	-	2	47	7	15	71
	ロ	スタジオ	-	-	-	-	-	-
13	イ	駐車場等	-	8	-	-	-	8
	ロ	航空機格納庫	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	-	5	-	2	10	17
15		事務所等	-	3	-	9	5	17
16	イ	特定複合用途	7	3	1	2	3	16
	ロ	非特定複合用途	-	-	-	-	-	-
17		文化財	2	2	-	1	-	5
独居老人宅防火診断			6	10	8	8	10	42
合 計			146	73	84	45	59	407

危険物係

1 地域別危険物施設設置状況

(単位:件)

区分		地域別					計
		栃木 地域	大平 地域	藤岡 地域	都賀 地域	西方 地域	
製 造 所		-	1	-	-	2	3
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	33	15	11	5	6	70
	屋外タンク貯蔵所	23	9	2	3	12	49
	屋内タンク貯蔵所	5	4	1	2	-	12
	地下タンク貯蔵所	85	19	13	13	17	147
	簡易タンク貯蔵所	1	-	1	-	-	2
	移動タンク貯蔵所	73	26	15	9	9	132
	屋 外 貯 蔵 所	2	4	1	-	-	7
	計	222	77	44	32	44	419
取 扱 所	給 油 取 扱 所	71	20	23	13	8	135
	第1種販売取扱所	3	-	-	-	-	3
	第2種販売取扱所	-	-	-	1	-	1
	一 般 取 扱 所	53	29	17	11	10	120
	計	127	49	40	25	18	259
合 計		349	127	84	57	64	681
事 業 所 数		185	34	29	26	20	294

## 2 製造所等立入検査実施状況

(単位：件)

区分	地域別	栃木 地域	大平 地域	藤岡 地域	都賀 地域	西方 地域	計
立入検査実施件数		54	11	18	16	17	116

## 3 指定数量の倍数別危険物施設設置状況

(単位：件)

区分	倍数別	合 計	5 倍 以下	1 0 倍 以下	5 倍 を 超 え	5 0 倍 以下	1 0 倍 を 超 え	1 0 0 倍 以下	5 0 倍 を 超 え	1 5 0 倍 以下	1 0 0 倍 を 超 え	2 0 0 倍 以下	1 5 0 倍 を 超 え	1 0 0 倍 以下	2 0 0 倍 を 超 え
総	計	681	296	132	136	55	25	13	24						
製	造	所	3	1	-	-	-	2	-	-					
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	70	42	15	9	-	1	2	1						
	屋外タンク貯蔵所	49	9	11	17	10	2	-	-						
	屋内タンク貯蔵所	12	10	2	-	-	-	-	-						
	地下タンク貯蔵所	147	59	42	31	8	4	1	2						
	簡易タンク貯蔵所	2	2	-	-	-	-	-	-						
	移動タンク貯蔵所	132	97	5	13	14	3	-	-						
	屋 外 貯 蔵 所	7	2	3	2	-	-	-	-						
	小	計	419	221	78	72	32	10	3	3					
取 扱 所	給 油 取 扱 所	135	29	9	37	19	12	10	19						
	第1種販売取扱所	3	3	-	-	-	-	-	-						
	第2種販売取扱所	1	-	-	1	-	-	-	-						
	一 般 取 扱 所	120	42	45	26	4	1	-	2						
	小	計	259	74	54	64	23	13	10	21					

### 第3節 警防課

#### 〔総括概要〕

警防課の主な分掌事務は、火災を警戒、鎮圧し排除するための警防対策、消防計画関係、他の消防機関との相互応援協定関係、消防車両の整備及び配置管理関係、消防水利関係、水防関係、安全運転管理関係、救急事務関係、救急医療情報関係、救急救命士の養成教育関係、メディカルコントロール事務関係、救急車両及び救急資器材の整備・配置管理関係等である。

警防業務では、複雑多様化する各種災害発生時における市民の生命、身体及び財産を守るための消防計画の策定、高度で有効な消防活動が展開できるよう消防車両・消防資器材の維持管理及び更新等を行った。

救急管理業務では、増加傾向にある救急事案に対応するため、プレホスピタルケア（病院前救護）体制の構築、メディカルコントロール（医学的観点から救急隊員が行う応急処置等の質を保証）での事後検証及び救急救命士の養成及び教育を行っているほか高規格救急自動車及び救急資器材の整備等を行った。

また、救急出動時において、適切な病院選定が可能となる救急医療情報端末を救急車に整備し、積極的な救急対応に努めた。

警防係

1 消防車両現勢

区分 署・種別		車名	年式	備考
消防本部	庁用車	ニッサン	平成 7	
	指令車	〃	平成 9	
	総務連絡車	トヨタ	平成 10	
	査察広報車	〃	平成 20	
	予防広報車	ニッサン	平成 11	
	防火号	ニッサン	平成 24	
	予防連絡車	スズキ	平成 20	
	物資搬送車	マツダ	平成 21	
栃木市消防署	普通ポンプ車	三菱	平成 4	
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 10	水槽 2,500 ℓ
	化学車	日野	平成 19	水槽 1,500 ℓ 薬液 500 ℓ
	梯子車	〃	平成 5	30m級
	救助工作車	いすゞ	平成 9	クレーン、ウインチ、照明装置付
	災害支援車	〃	平成 25	
	救急車	トヨタ	平成 24	高規格
	〃	〃	平成 19	〃
	〃	〃	平成 22	〃
	栃木広報車	〃	平成 15	
大平分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 10	
	化学車	日野	平成 22	
	救急車	トヨタ	平成 21	高規格
	大平広報車	〃	平成 21	
藤岡分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 20	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 11	
	救急車	ニッサン	平成 15	高規格
	藤岡広報車	トヨタ	平成 20	
都賀分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 11	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 2	
	救急車	トヨタ	平成 18	高規格
	都賀広報車	〃	平成 23	

西方分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 22	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 12	
	救急車	トヨタ	平成 20	高規格
	西方広報車	〃	平成 24	

2 地域別消防水利設置状況

(単位:基)

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	計
消火栓	1,399	428	375	292	148	2,642
防火井戸	240	106	43	4	-	393
防火水槽	563	170	236	103	41	1,113
プール	24	6	6	4	3	43
計	2,226	710	660	403	192	4,191

3 消防資機材

(単位:一式)

種別	所属別	合計	消防本部	消防署				
				栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署
救助器具	救命索発射銃	3	-	3	-	-	-	-
	油圧式救助器具	5	-	3	-	2	-	-
	ワイヤーはしご	1	-	1	-	-	-	-
	可搬式ウインチ	4	-	3	-	1	-	-
	救助マット	3	-	3	-	-	-	-
	排煙機	2	-	1	1	-	-	-
	自動ポンプ式油圧救助器具	2	-	1	-	1	-	-
	マット型空気ジャッキ	1	-	1	-	-	-	-
	耐熱防護服	6	-	6	-	-	-	-
	化学防護服(防毒衣)	14	-	10	2	-	2	-
	放射線防護服	3	-	3	-	-	-	-
	放射線測定器	4	-	4	-	-	-	-
	可燃・有毒ガス測定器	6	-	2	1	1	1	1
	耐電用防護服	3	-	3	-	-	-	-
	潜水器具一式	8	-	8	-	-	-	-
	救命ボート	4	-	2	-	1	-	1
	船外機	1	-	-	-	1	-	-
エアーテント	2	-	2	-	-	-	-	

救急用具	人工呼吸器	7	-	3	1	1	1	1
	陰圧式固定具	8	-	3	1	1	1	2
	バックボード一式	13	-	5	2	2	2	2
	血圧計	17	-	6	2	3	3	3
	血中酸素飽和濃度測定器	12	-	3	2	2	2	3
	血中酸素・一酸化炭素飽和濃度測定器	4	-	3	-	-	1	-
	吸引器	12	-	5	2	2	1	2
	喉頭鏡	11	-	2	2	3	2	2
	半自動体外式除細動器	7	-	3	1	1	1	1
	自動体外式除細動器 (AED)	5	-	1	1	1	1	1
	ベットサイドモニター	7	-	3	1	1	1	1
	輸液用資機材	5	-	1	1	1	1	1
破壊器具	エンジンカッター	5	-	1	1	1	1	1
	エアツール	2	-	1	1	-	-	-
	ガス熔断器	2	-	2	-	-	-	-
	チェーンソー	2	-	2	-	-	-	-
	削岩器	1	-	1	-	-	-	-
	万能斧	10	-	6	2	-	1	1
呼吸保護具	空気充填設備	1	-	1	-	-	-	-
	空気呼吸器	54	-	28	7	7	6	6
	空気ボンベ	162	-	85	22	20	17	18
	酸素呼吸器	5	-	5	-	-	-	-
	簡易呼吸器	3	-	3	-	-	-	-
作業用具	ホースカー	8	-	2	1	2	1	2
	連梯子	12	-	4	2	2	2	2
	かぎ付梯子	2	-	2	-	-	-	-
	照明発電機	15	1	6	2	3	1	2
	拡声装置	29	3	11	4	4	3	4
放水・発砲器具	簡易発泡器	5	-	2	1	1	1	-
	エアフォームノズル	9	-	5	4	-	-	-
	ピックアップノズル	4	-	1	-	1	1	1
	ラインプロポーションナー	4	-	1	1	1	1	-
	消火栓用スタンドパイプ	13	-	5	2	2	2	2
	分岐金具	21	-	9	3	3	3	3
	ホースブリッジ	11	-	3	2	2	2	2
	ロータリー管鎗	3	-	1	-	1	1	-
	フォグガン	13	-	5	2	2	2	2
	山林火災用手動ポンプ	57	-	28	5	10	5	9

	山林火災用可搬式送水装置	6	-	2	1	1	1	1
	ウォーターチャージャー	6	-	2	1	2	-	1
	界面活性剤原液(ℓ)	2,600	-	1,340	380	340	280	260
その他の器具	超音波厚さ計	1	1	-	-	-	-	-
	ピンホール探知機	1	1	-	-	-	-	-
	膜厚計	1	1	-	-	-	-	-
	非接触温度計	4	-	1	1	1	-	1

#### 4 消防相互応援協定関係

- (1) 東北自動車道消防相互応援協定
- (2) 特殊災害消防対策相互応援協定
- (3) 特殊災害消防相互応援協定
- (4) 消防相互応援協定

### 救急管理係

#### 1 救急救命士養成

救急救命士は国家資格であり、救急救命処置は、医師の具体的指示の基に行われている。現在 34 人が救急救命士として認定されている。

救命率の向上、高度化する救急業務に対応するため、毎年 1～2 人の救急救命士を養成している。

- (1) 救急救命士の編成状況 (単位:人)

消防本部	消 防 署				
	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署
1	13	7	4	4	5

- (2) 救急救命士資格状況 (単位:人)

救急救命士資格別		試験別	合格者数	新試験合格者数	認定者・合格者数合計
			(平成 18 年以前)	(平成 18 年以降)	
救 急 救 命 士 認 定			22	12	34
資 格 内 訳	薬剤投与実施救命士認定		13		13
	薬剤投与連携確認試験合格者		12	10	22
	気管挿管実施救命士認定		17	5	22

#### 2 事後検証会

毎月救急救命士は、地域メディカルコントロール (MC) の基に、心肺停止等救急事案の事後検証を行うことによりプロトコル (確実に救命処置を行うための手順) 厳守の重要性、MC体制の必要性など、救急救命士としての資質向上を図っている。

- ・実施回数 22 回

## 第4節 通信指令課

### 〔総括概要〕

通信指令課は指令第1係と指令第2係で組織されており、24時間勤務の2交代制で業務を行っている。

通信指令課の主な分掌事務は、災害通報の受付及び出動指令関係、非常召集及び応援要請関係、通信施設の整備及び維持管理関係、気象観測及び気象通報関係、通信技術の指導関係等である。

災害通報の受付及び出動指令については、高機能消防指令センターで119番を受信すると同時に、発信地表示装置に住所と付近地図が自動的に（一部を除く）に表示されるので、これらの情報を基に車両の台数を決定し出動させた。

非常召集及び応援要請については、災害規模状況等により部隊を編成させ実施した。通信技術の指導については、若手職員に対して知識技能伝承研修会を実施した。

### 指令係

#### 1 災害等受付回数

(単位：回)

種別 月	火災	救急・救助	その他の災害	通報訓練	問い合わせ	いたちがいら	合計
4月	6 (4)	387 (80)	43 (1)	40 (0)	57 (22)	63 (36)	596 (143)
5月	8 (3)	386 (84)	45 (2)	39 (0)	71 (29)	60 (22)	609 (140)
6月	4 (0)	389 (92)	34 (1)	48 (0)	55 (25)	51 (22)	581 (140)
7月	6 (1)	446 (105)	39 (3)	33 (1)	74 (35)	68 (37)	666 (182)
8月	7 (3)	467 (127)	38 (2)	28 (1)	77 (42)	55 (21)	672 (196)
9月	3 (1)	413 (90)	22 (5)	48 (0)	57 (30)	55 (19)	598 (145)
10月	6 (4)	401 (91)	27 (2)	64 (1)	41 (17)	85 (42)	624 (157)

11月	5	412	32	71	59	52	631
	(1)	(85)	(2)	(2)	(23)	(21)	(134)
12月	8	513	29	53	85	82	770
	(4)	(107)	(1)	(0)	(37)	(39)	(188)
1月	3	508	28	25	71	63	698
	(2)	(119)	(2)	(0)	(21)	(28)	(172)
2月	12	408	26	45	70	90	651
	(6)	(87)	(4)	(2)	(24)	(42)	(165)
3月	25	442	33	63	65	80	708
	(10)	(92)	(2)	(1)	(18)	(43)	(166)
合計	93	5,172	396	557	782	804	7,804
	(39)	(1,159)	(27)	(8)	(323)	(372)	(1,928)

※下段（）内は携帯電話からの受付で内数

## 2 システム主要機器

機器名		数量	概略仕様
通 信 指 令 課	自動出動指定装置 地図検索装置	3席	Ⅱ型 補助受付機能3席
	音声合成装置	1台	プロジェクタ 70インチ  プロジェクタ 70インチ 市町村波・県内共通波・救急波・全国共通3波 栃木署・藤岡分署（藤岡分署は風向風速のみ）  メール 119 FAX 119
	指令伝送装置	1台	
	非常用指令設備	1台	
	車両運用表示盤	1面	
	支援情報表示盤	1面	
	多目的情報表示盤	1面	
	無線統制台	1台	
	気象情報収集装置	1式	
	災害状況等自動案内装置	1式	
	順次指令装置	1式	
	発信地表示装置	1式	
	携帯・IP位置情報システム	1式	
	映像伝送装置	1式	
	聴覚障害者用パソコン	1台	
	聴覚障害者用FAX	1台	
	サイレン吹鳴装置	1式	
署 ・ 分 署	署所端末装置	各署1台	
	指令情報出力装置	各署1台	
	監視カメラ	各署2台	
	駆け付け通報装置	各分署2台	

## 3 無線機台数

(単位:台)

所 属	種 別	所 有 台 数	周 波 数 内 訳 台 数			
			市町村波	県内共通波	救急波	全国共通3波
消防本部	基 地 局	1	1	1	1	1
	陸上移動局	5	5	5	-	1
栃木市消防署	陸上移動局	22	22	22	3	14
大平分署	陸上移動局	11	11	11	1	6
藤岡分署	陸上移動局	11	11	11	1	5
都賀分署	陸上移動局	9	9	9	1	5
西方分署	陸上移動局	9	8	8	1	3

## 4 気象関係

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均気温(℃)	12.5	18.0	20.4	25.6	28.0	24.6	17.1	9.5	4.1	2.2	3.2	9.8
最高気温(℃)	26.3	28.1	31.6	37.3	36.2	33.8	31.4	21.2	17.5	13.2	16.4	25.7
最低気温(℃)	-0.8	6.2	12.4	15.9	20.9	14.4	6.5	-1.1	-6.5	-6.1	-7.1	-2.1
降水量(mm)	92.5	302.0	155.5	138.0	62.0	138.0	100.5	51.5	32.5	27.5	20.5	15.5
1日最高 降水量(mm)	22.0	148.5	62.5	31.5	36.0	31.0	27.5	20.0	18.0	26.5	11.5	7.0
1時間最高 降水量(mm)	5.5	24.5	14.5	11.0	35.0	16.5	23.0	6.0	7.5	4.0	4.0	4.0
降水日数(日)	11	15	10	13	6	10	10	5	8	4	7	10
平均風速(m)	2.1	1.8	1.9	1.6	1.6	1.8	1.5	1.4	1.7	1.6	2.0	2.2
最大瞬間風速(m)	25.2	20.9	21.4	23.0	23.1	25.4	16.0	19.4	18.4	17.7	21.7	26.6
平均湿度(%)	61.3	66.0	71.3	74.5	69.0	74.6	71.0	69.4	61.7	56.4	50.6	53.6
最高湿度(%)	96.8	95.7	96.1	95.7	94.3	96.0	97.4	97.9	97.9	95.3	96.1	95.4
最低湿度(%)	13.1	13.6	22.6	28.2	22.2	31.5	21.8	19.1	16.1	15.0	10.9	9.6

## 第5節 消防署

### 〔総括概要〕

消防署の主な分掌事務は、火災、救急、救助並びにその他の災害の防除活動等であり、市民の安全・安心な暮らしの確保のため、1署4分署、計141人の職員が24時間体制で勤務している。

出動件数については、火災 93 件、救急 5,260 件、救助 127 件、その他の災害 566 件であった。

消防署の庁舎見学及び体験学習受入については 34 件、消防訓練出動は 86 件、救命講習会は 131 件を実施した。また、これらの講習会に併せ、火災予防及び救急車の適正利用についての啓発活動を実施した。

### 消防係

#### 1 救助事故関係

##### (1) 事故種別救助出動件数及び救助人員

種別 件数 及び人員	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス 酸 欠	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
出動件数(件)	32	43	2	—	3	1	1	—	45	127
活動件数(件)	10	18	2	—	2	—	1	—	15	48
救助人員(人)	3	18	2	—	2	—	—	—	15	40

##### (2) 地域別救助出動、活動件数 (単位：件)

地域 件数	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	管 外	合 計
出動件数	69	16	10	14	13	5	127
活動件数	31	3	4	3	6	1	48

※ 活動件数とは、出動した件数の中で実際に救助活動を行った件数

#### 2 その他の事故関係

##### (1) その他の出動件数 (単位：件)

区 分	内 訳	活動内容	件数
危険排除	流出	事故等により、危険物が流出し、緊急を要するもの	58
	倒木	道路等への倒木の排除	2
	土砂崩れ	土砂の排除等	—
特別危険 排除	N災害	核臨界事故等の核汚染による災害	—
	B災害	炭そ菌等の生物汚染による災害	—
	C災害	サリン等の化学物質汚染による災害	—

	ガス臭	明らかにLPG臭とわかるもの	—
	異臭	その他の異臭	1
緊急確認	ベル鳴動	自火報、住警器の異常発報で出動したもの	20
	焚火	火災、怪煙等の通報で緊急出動したが焚火だったもの	17
	誤報	火災、怪煙等の通報で緊急出動し、事実が無かったもの	7
調査	焚火	緊急性を要しない焚火指導	21
	落雷	緊急性を要しない落雷調査	1
	電線のショート	送電線の火花	—
	流出	河川への油膜等の浮遊による調査	—
水防活動	工法	水防工法活動を行ったもの	3
	巡回	河川増水等の巡回広報活動等を行ったもの	18
支援	救急支援	主に救急活動の支援を行ったもの	77
	高速支援	高速道路に出動した救急支援活動	25
	搬出困難	主に傷病者の搬出活動を行ったもの	89
	航空支援	防災ヘリ、ドクターヘリ要請に伴う出動	130
	PA連携	直近救急隊出動時に消防隊が出動したもの	60
その他	施錠	屋内、車両等の施錠	1
	捜索	行方不明者又は、救急現場等が不明確な場合の捜索活動	2
	動物等	人以外の救出活動等	—
	怪煙等	雲、水蒸気等を煙と錯覚したもの	3
	悪戯	事実がなく、明らかに通報が悪戯ととれるもの	2
	誤報	事実のないもの	9
	その他	上記に掲げる以外の活動	20
合 計			566

## (2) 署別その他の出動件数

(単位：件)

区分	内 訳	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	合計
危険排除	流出	24	12	8	7	7	58
	倒木	—	—	—	1	1	2
	土砂崩れ	—	—	—	—	—	—
特別危険排除	N災害	—	—	—	—	—	—
	B災害	—	—	—	—	—	—
	C災害	—	—	—	—	—	—
	ガス臭	—	—	—	—	—	—

	異臭	1	—	—	—	—	1
緊急確認	ベル鳴動	16	1	—	1	2	20
	焚火	7	7	2	—	1	17
	誤報	2	—	1	2	2	7
調査	焚火	13	2	5	—	1	21
	落雷	1	—	—	—	—	1
	電線のショート	—	—	—	—	—	—
	流出	—	—	—	—	—	—
水防活動	工法	3	—	—	—	—	3
	巡回	3	7	1	3	4	18
支援	救急支援	42	10	12	6	7	77
	高速支援	16	—	—	1	8	25
	搬出困難	63	11	13	2	—	89
	航空支援	77	16	18	8	11	130
	P A連携	31	16	11	2	—	60
その他	施錠	—	—	1	—	—	1
	捜索	2	—	—	—	—	2
	動物等	—	—	—	—	—	—
	怪煙等	—	—	2	—	1	3
	悪戯	—	—	2	—	—	2
	誤報	5	2	2	—	—	9
	その他	11	2	4	2	1	20
合 計							566

予防係

1 火災予防条例に基づく届出の受付状況

(単位：件)

条 例 別	署 別					合 計
	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	
消 防 訓 練 実 施 計 画 書	407	115	80	74	55	731
消 防 訓 練 結 果 報 告 書	374	112	75	70	54	685

火災とまぎらわしい煙または、火災を 発するおそれのある行為の届出書	34	21	13	6	3	77
煙 火 の 届 出 書	28	14	19	34	0	95
催 物 開 催 届 出 書	12	11	9	3	3	38
水素ガスを充てんする気球の設置届	0	0	0	0	0	0
合 計	855	273	196	187	115	1,626

## 2 予防査察の実施状況

### (1) 防火対象物

(単位：件)

条 例 別		署 別		栃 木 市 消 防 署	大 平 分 署	藤 岡 分 署	都 賀 分 署	西 方 分 署	合 計
1	イ	劇 場 等		—	—	—	—	—	—
	ロ	公 会 堂 等		—	—	—	—	3	3
2	イ	キ ャ バ レ ー 等		—	—	—	—	—	—
	ロ	遊 技 場 等		—	—	—	—	—	—
	ハ	性 風 俗 施 設		—	—	—	—	—	—
	ニ	カラオケボックス等		—	—	—	—	—	—
3	イ	料 理 店 等		—	—	—	—	—	—
	ロ	飲 食 店		—	—	—	3	2	5
4		物 品 販 売 店 舗 等		2	2	3	2	6	15
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等		26	22	4	—	—	52
	ロ	共 同 住 宅		—	—	—	—	—	—
6	イ	病 院 等		—	8	—	—	—	8
	ロ	社 会 福 祉 施 設 等		16	1	3	3	4	27
	ハ	保 育 園 等		21	4	4	—	—	29
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校		—	—	—	—	4	4
7		学 校		46	—	—	2	2	50
8		図 書 館 等		—	—	—	—	—	—
9	イ	特 殊 浴 場		—	—	—	—	—	—
	ロ	公 衆 浴 場		—	—	—	—	—	—
10		停 車 場 等		—	—	—	—	—	—
11		神 社 ・ 寺 院 等		—	1	—	—	2	3
12	イ	工 場 ・ 作 業 場		—	2	33	18	17	70
	ロ	ス タ ジ オ		—	—	—	—	—	—
13	イ	駐 車 場 等		—	8	—	—	—	8
	ロ	航 空 機 格 納 庫		—	—	—	—	—	—

14		倉庫	—	5	—	—	12	17
15		事務所等	—	3	—	1	13	17
16	イ	特定複合用途	2	3	—	4	3	12
	ロ	非特定複合用途	—	—	—	—	—	—
17		文化財	2	2	—	—	—	4
合 計			115	61	47	33	68	324

(2) 危険物施設

(単位：件)

区 分		署 別	栃 木 市 消 防 署	大 平 分 署	藤 岡 分 署	都 賀 分 署	西 方 分 署	合 計
製 造 所			—	—	—	—	—	—
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		—	7	1	—	17	25
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		2	—	—	7	5	14
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		14	3	—	—	2	19
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		13	2	11	4	14	44
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		—	—	—	—	—	—
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		—	—	—	2	—	2
	屋 外 貯 蔵 所		—	—	—	—	—	—
取 扱 所	給 油 取 扱 所		6	1	5	5	6	23
	第 1 種 販 売 取 扱 所		—	—	—	—	—	—
	第 2 種 販 売 取 扱 所		—	—	—	—	—	—
	一 般 取 扱 所		14	2	2	2	7	27
合 計			49	15	19	20	51	154

(3) 一人暮らし老人宅防火診断

(単位：件)

区 分		署 別	栃 木 市 消 防 署	大 平 分 署	藤 岡 分 署	都 賀 分 署	西 方 分 署	合 計
件数			6	10	8	8	10	42

救急係

1 署別・月別救急活動状況

署別 月別	栃木市消防署		大平分署		藤岡分署		都賀分署		西方分署		合計	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
4月	213	195	74	72	46	41	24	22	41	37	398	367
5月	203	186	83	73	47	41	30	27	34	33	397	360
6月	210	190	70	68	50	43	28	27	34	32	392	360
7月	229	220	96	92	60	58	40	40	29	29	454	439
8月	252	222	103	100	55	50	30	29	36	34	476	435
9月	230	213	88	81	44	42	28	28	26	23	416	387
10月	221	200	78	80	39	37	35	33	35	34	408	384
11月	243	213	75	71	48	45	28	23	29	28	423	380
12月	281	250	99	89	58	53	42	36	44	42	524	470
1月	261	229	99	93	47	44	61	51	42	37	510	454
2月	229	182	78	71	52	43	29	24	29	21	417	341
3月	243	220	81	76	57	52	26	22	38	36	445	406
合計	2,815	2,520	1,024	966	603	549	401	362	417	386	5,260	4,783

## 2 地域別・事故種別救急活動状況

地域別 事故種別	栃木地域		大平地域		藤岡地域		都賀地域		西方地域		管外	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
火災	17	2	4	—	2	1	5	—	2	—	2	—
自然災害	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水難	1	1	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—
交通事故	341	342	112	116	63	63	51	49	28	26	24	28
労働災害	72	69	22	21	15	14	7	7	6	5	—	—
運動競技	16	16	3	3	9	9	1	1	—	—	2	2
一般負傷	376	348	94	91	87	83	65	58	22	22	1	1
加害	16	12	4	4	1	1	2	2	—	—	—	—
自損行為	38	28	11	8	13	6	9	6	5	1	—	—
急病	1,799	1,602	580	535	459	418	232	199	141	132	4	2
その他	333	307	94	88	20	12	10	7	34	33	2	—
合計	3,010	2,728	924	866	669	607	382	329	240	220	35	33

## 3 事故種別・月別救急活動状況

(単位：件)

区分 月別	出動件数	救 急 事 故 種 別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
4月	398	4	—	—	53	8	—	46	2	5	247	33
5月	397	3	—	—	44	12	2	57	2	5	235	37
6月	392	1	—	—	51	7	4	43	4	7	237	38
7月	454	3	1	1	61	19	5	56	3	5	259	41
8月	476	3	—	—	55	12	4	47	3	6	292	54
9月	416	—	—	—	55	7	9	42	—	5	252	46
10月	408	4	—	1	55	8	4	56	2	4	230	44
11月	423	2	—	—	57	12	—	66	1	12	237	36
12月	524	3	—	—	62	9	2	67	3	5	332	41
1月	510	—	—	1	42	11	1	67	—	8	338	42
2月	417	7	—	—	41	12	—	52	—	6	266	33
3月	445	2	—	—	43	5	—	46	3	8	290	48
合計	5,260	32	1	3	619	122	31	645	23	76	3,215	493

## 4 事故種別・曜日別搬送人員状況

(単位：件)

事故種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月	—	—	1	76	11	2	88	2	8	440	69	697
火	—	1	—	85	22	2	87	2	7	375	84	665
水	—	—	—	80	24	1	80	5	7	366	61	624
木	—	—	—	105	25	4	82	3	9	432	64	724
金	1	—	—	79	16	2	72	5	7	419	69	670
土	2	—	—	110	9	8	93	1	4	407	62	696
日	—	—	1	89	9	12	101	1	7	449	38	707
合計	3	1	2	624	116	31	603	19	49	2,888	447	4,783

5 月別高速道路救急活動状況

区分 月別	東北縦貫自動車道						北関東自動車道						合 計		
	交通事故				その他		交通事故				その他				
	上 り		下 り				東行き		西行き						
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	
4月	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—
5月	3	3	1	1	1	1	—	—	1	1	—	—	—	6	6
6月	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	1
7月	—	—	1	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	3	3
8月	1	—	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—	3	2
9月	6	6	—	—	2	—	—	—	1	1	1	—	—	10	7
10月	2	4	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5
11月	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	2	1
12月	—	—	3	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	7
1月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2月	2	1	1	1	1	—	—	—	1	—	—	—	—	5	2
3月	2	2	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	3	3
合計	17	16	10	12	9	3	3	3	4	3	1	—	—	44	37

6 事故種別・年齢別・程度別搬送人員状況

(単位：人)

年齢 程度	事故 種別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	他	計
新 生 児	死	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後重	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	5
	28日	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	14	15
	以	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2
	内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	19	23
乳 幼	28日	死	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
	重	—	—	—	—	—	—	2	1	—	3	1	7
	中	—	—	—	3	—	—	1	—	—	16	7	27

	ら 6 歳	軽	—	—	1	12	—	—	33	—	—	106	6	158
		他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		計	—	—	1	16	—	—	36	1	—	125	14	193
少 年	7 歳 か ら	死	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
		重	—	—	—	3	—	—	2	—	—	3	1	9
	17 歳	中	—	—	—	6	—	4	3	—	1	5	1	20
		軽	—	—	—	33	—	13	20	2	1	39	2	110
		他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		計	—	—	—	43	—	17	25	2	2	47	4	140
成 人	18 歳 か ら	死	—	—	—	1	2	—	2	—	5	21	—	31
		重	—	—	—	25	18	4	7	2	9	82	53	200
	64 歳	中	—	—	—	47	24	3	34	2	13	245	93	461
		軽	—	—	—	346	54	7	87	9	13	479	15	1,010
		他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
		計	—	—	—	419	98	14	130	13	40	828	161	1,703
老 人	65 歳 以 上	死	1	—	—	—	—	—	9	—	2	110	—	122
		重	—	—	—	20	1	—	66	1	2	294	81	465
	計	中	1	1	1	36	9	—	176	—	3	804	142	1,173
		軽	1	—	—	90	8	—	158	2	—	679	25	963
		他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
		計	3	1	1	146	18	—	409	3	7	1,887	249	2,724

※程度（死重中軽他）について

略語の意味                      内容説明（初診医による重症度評価より）

- (1) 死は死亡を示す       ： 初診時において、死亡が確認されたもの
- (2) 重は重症を示す       ： 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- (3) 中は中等症を示す     ： 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- (4) 軽は軽症を示す       ： 傷病の程度が入院を必要としないもの
- (5) 他はその他を示す     ： 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの